令和２年度

阿武隈川上流小作田橋橋梁詳細設計業務

設計図面（橋梁設計）

令和４年 ３月

Total Consulting & Character
東京コンサルタンツ株式会社

図 面 目 録【小作田橋】

図面名称			図面番号
位置図			1
橋梁全体一般図		（その1～2）	2 ・ 3
上部構造	線形図	（その1～3）	4 ～ 6
	支承配置図		7
	上部工構造一般図		8
	断面構成図	（その1～8）	9 ～ 16
	キャンバー図		17
	共通詳細図	（その1～2）	18 ・ 19
	主桁	G1（その1～12）	20 ～ 31
	主桁	G2（その1～12）	32 ～ 43
	主桁	G3（その1～12）	44 ～ 55
	主桁	G4（その1～12）	56 ～ 67
	横桁図	（その1～5）	68 ～ 72
	中間対傾構	（その1～4）	73 ～ 76
	横構	（その1～10）	77 ～ 86
	横変位拘束構造	（その1～2）	87 ・ 88
	塗装区分図		89
	床版配筋図	（その1～7）	90 ～ 96
	支承詳細図	（その1～2）	97 ・ 98
	伸縮装置図	（その1～2）	99 ・ 100
	上部工排水装置	（その1～17）	101 ～ 117
	橋面排水		118
	上部工検査路	（その1～6）	119 ～ 124
	下部工検査路	（その1～5）	125 ～ 129
	防護柵詳細図	（その1～3）	130 ～ 132
	照明配置計画図		133
	上部構造架設計画図		134
	ベント B1 基礎杭図		135
下部構造	下部工座標図		136
	A1 橋台構造一般図	（その1～2）	137 ・ 138
	P1 橋脚構造一般図		139
	P2 橋脚構造一般図		140
	A2 橋台構造一般図	（その1～2）	141 ・ 142
	A1 橋台配筋図	（その1～10）	143 ～ 152
	A1 橋台場所打杭配筋図		153
	P1 橋脚配筋図	（その1～5）	154 ～ 158
	P2 橋脚配筋図	（その1～5）	159 ～ 163
	A2 橋台配筋図	（その1～11）	164 ～ 174
	A1 橋台裏込め工詳細図		175
	A2 橋台裏込め工詳細図		176
	A1 ・ A2 橋台踏掛版構造図		177
	A1 橋台踏掛版配筋図		178
	A2 橋台踏掛版配筋図		179

図面名称			図面番号
護岸	条件護岸計画図		180
	条件護岸詳細図	（その1～2）	181 ・ 182
仮設土留 新設橋	A1 橋台仮設土留工図		183
	P1 橋脚仮設土留工図	（その1～2）	184 ・ 185
	P2 橋脚仮設土留工図	（その1～2）	186 ・ 187
	A2 橋台仮設土留工図		188
工事用仮橋 新設橋	新設下部工工事用仮橋		189
	新設下部工工事用仮橋詳細図	（その1～6）	190 ～ 195
	新設上部工工事用仮橋		196
	新設上部工工事用仮橋詳細図	（その1～7）	197 ～ 203
仮排水路	右岸上流 既設排水路水路切廻し図		204
旧橋撤去	既設橋一般図（車道橋）		205
	既設橋一般図（歩道橋）		206
	既設橋下部工構造図	（その1～4）	207 ～ 210
	既設橋撤去要領図	（その1～3）	211 ～ 213
	既設橋車道部床版分割詳細図		214
	既設橋側道部床版分割詳細図		215
	A1 橋台側・既設擁壁・護岸撤去図		216
	A2 橋台側・盛土・擁壁・排水路撤去図		217
仮設橋 旧土留撤去	既設橋撤去 A1 橋台仮設土留工図		218
	既設橋撤去 P1 橋脚仮設土留工図		219
	既設橋撤去 P2 橋脚仮設土留工図		220
	既設橋撤去 P3 橋脚仮設土留工図		221
	既設橋撤去 A2 橋台仮設土留工図		222
旧橋撤去工事用仮橋	旧橋撤去工事用仮橋	（その1～2）	223 ・ 224
	旧橋撤去工事用係橋詳細図	（その1～7）	225 ～ 231
施工計画	施工手順図	（その1～17）	232 ～ 249
参考図	照明配置・配管配線図		250
	照明詳細図	（その1～2）	251 ・ 252

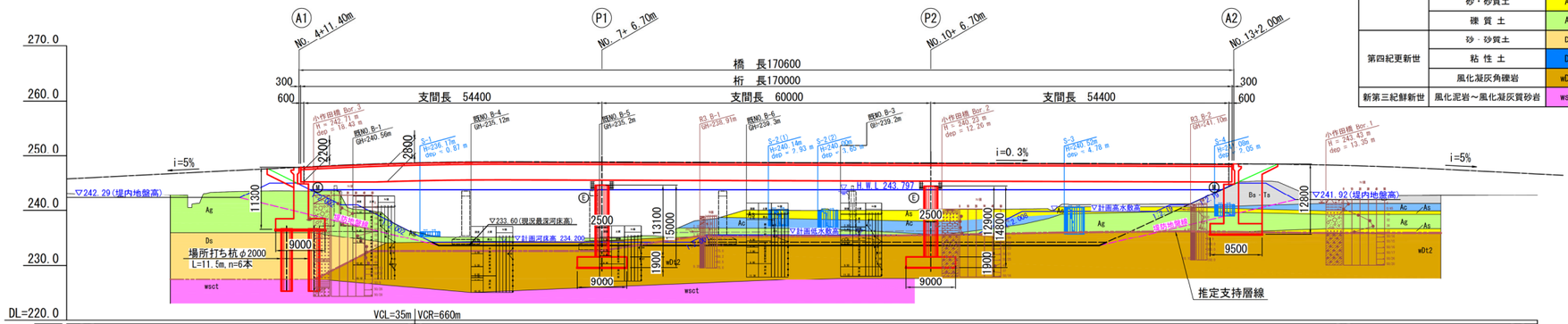
位 置 図 S=1:15000



工事名			
図面名	位 置 図		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	1:15000	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

小作田橋 一般図(その1) S=1:500

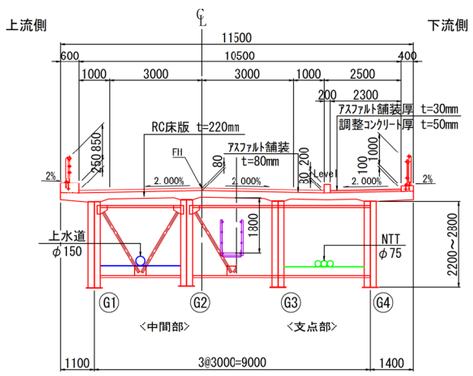
側面図



地層構成状況

地質時代	地層名	層記号	N値(回)
第四紀完新世	盛土・表土	Bs・Ts	3
	粘性土	Ac	0～7
	砂・砂質土	As	2～13
	礫質土	Ag	9～60
第四紀更新世	砂・砂質土	Ds	32・50
	粘性土	Dc	—
	風化凝灰角礫岩	wDt2	37～300
新第三紀鮮新世	風化泥岩～風化凝灰質砂岩	wsct	54～167

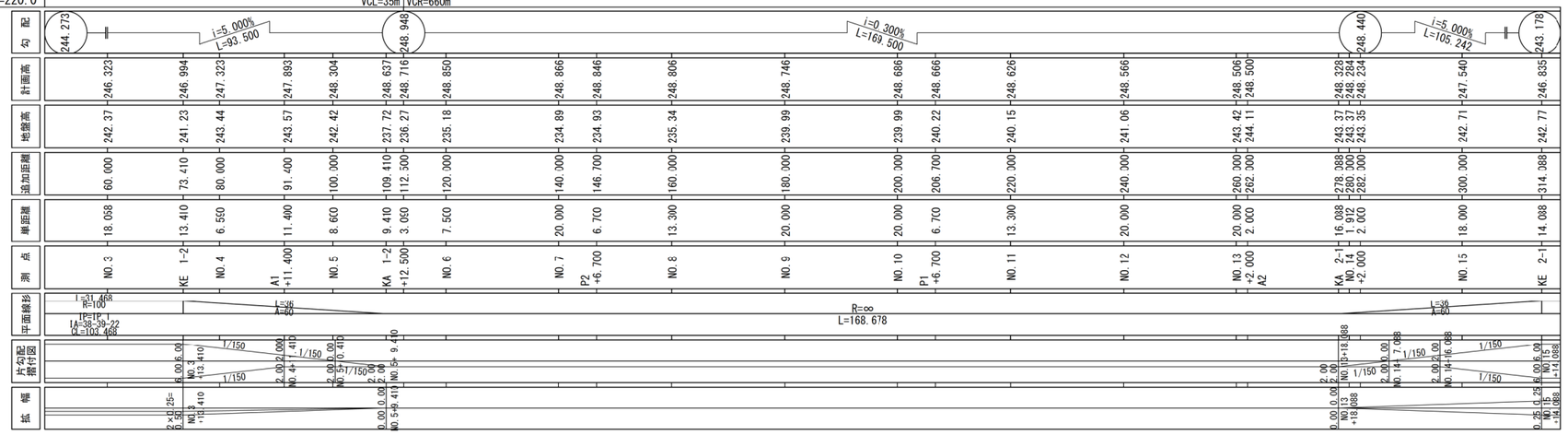
断面図 S=1:100



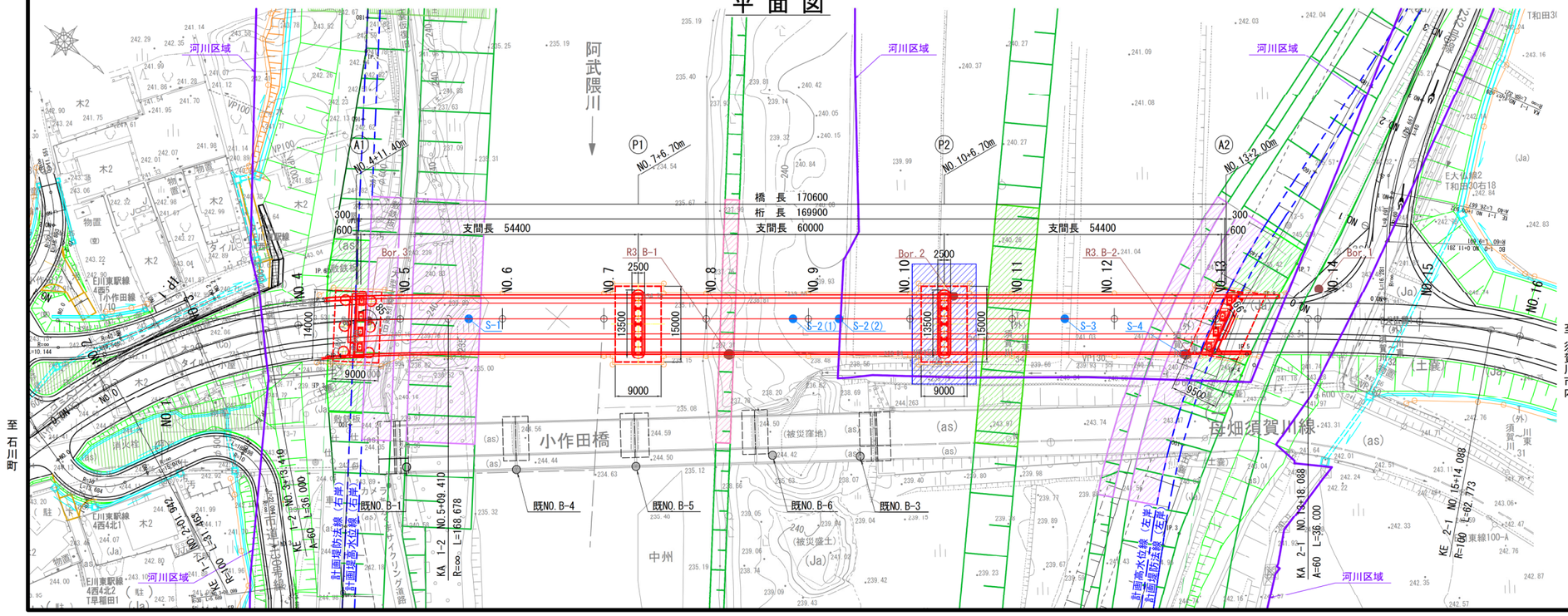
設計条件表

基本条件		橋梁名	小作田橋
		路線名	一般県道 母畑須賀川線
		道路規格	第3種 第3級
		設計速度	V= 40km/h
		設計活荷重	B活荷重
		計画交通量	2,885／日(H27センサス)， 大型車 100台/日・方向
		橋の重要度	B種の橋
		塩害対策区分	対策区分無 (凍結防止剤散布)
		雪荷重	W=0kN/m²
		橋長	L=170.600m
		桁長	L=170.000m
		支間長	L=54.400m+60.000m+54.400m
	斜角		A1橋台：θ=85° 00′ 00″ (左)(道路中心線に対して)
			P1～P2橋脚：θ=90° 00′ 00″ (道路中心線に対して)
			A2橋台：θ=66° 00′ 00″ (左)(道路中心線に対して)
	幅員構成		W=10.50～11.00m (=1.00m+2@3.00～3.25m+1.00m+2.50m)
	平面線形		A=60m～R=∞
	縦断勾配		5.000% 0.300%
	横断勾配		車道：2.000%(片勾配～拝み勾配) 歩道：2.000%(片勾配)
	舗装		アスファルト舗装(t=80mm)
	耐震設計条件	耐震性能	レベル1：耐震性能1、レベル2：耐震性能2
		地域別補正係数	Cz=0.85、CIz=1.0、CIIz=0.85(B2地域)
		地盤種別	Ⅱ種地盤：A1橋台 Ⅰ種地盤：P1橋脚,P2橋脚,A2橋台
		設計震度(L1)	kh=0.17～0.21
上部工	上部工形式		鋼3径間連続鈑桁橋 (多主桁)
	床版		RC床版 t=220mm
	防護柵		歩道側：歩行者自転車用柵を兼用した車両防護柵 車道側：車両用防護柵
	添架物		上水道:1条 NTT:3条 φ150(上流側) W=1kN/m φ75(下流側) W=1kN/m
	使用材料	コンクリート	床版：σck=30N/mm2， 地覆：σck=24N/mm2
		鋼材	SM400W,SMA490W,S10TW 耐候性鋼材
		鉄筋	SD345
	支承構造		端支点：可動支承，中間支点：免震支承 (M-E-E-M)
	架設方法		ベント併用クレーン架設
下部工	橋台形式		A1,A2橋台：逆T式橋台、P1～P2橋脚：小判壁式橋脚
	使用材料	コンクリート	σck=24N/mm2
		鉄筋	SD345
基礎工	形式		A1橋台：場所打ち杭 (φ2000 オールケーシング)
			P1橋脚，P2橋脚，A2橋台：直接基礎
	支持地盤		A1橋台：風化凝灰質砂岩(wsct)
			P1橋脚，P2橋脚，A2橋台：風化凝灰角礫岩(wDt2)
	使用材料	コンクリート	場所打ち杭：σck=24N/mm2 (呼び強度30N/mm2)
		鉄筋	SD345
交差物件			一級河川阿武隈川
適用示方書			道路橋示方書(H29.11)
主たる点検方法			橋梁検査路による点検
参考図書			土木設計マニュアル(橋梁編)H29.9月訂正(福島県)

勾配・計画高・地盤高・追加距離・単距離・測点・平面線形・片勾配据付図・幅杭



平面図

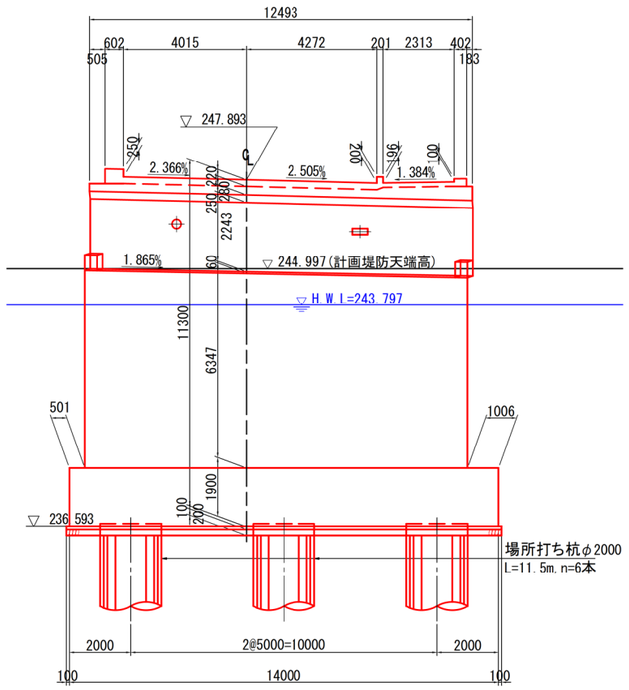


工事名	
図面名	小作田橋 一般図(その1)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図示 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

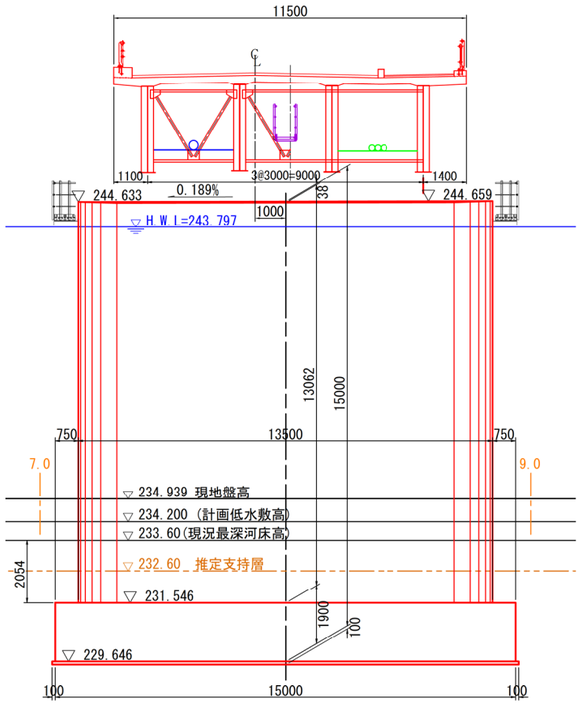
小作田橋 一般図(その2)

下部工正面図 S=1:100

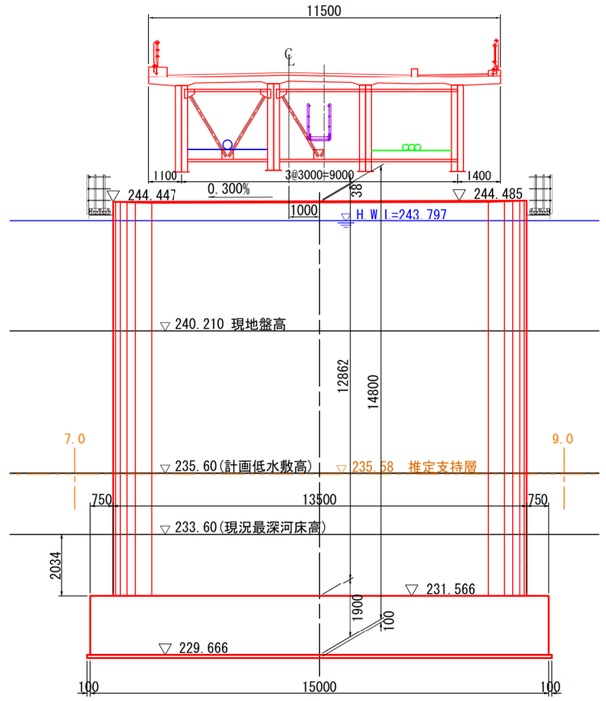
A1橋脚



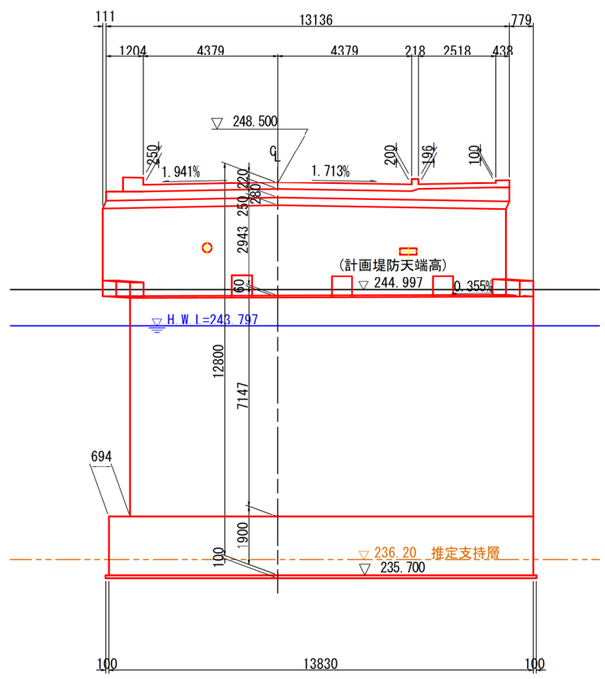
P1橋脚



P2橋脚

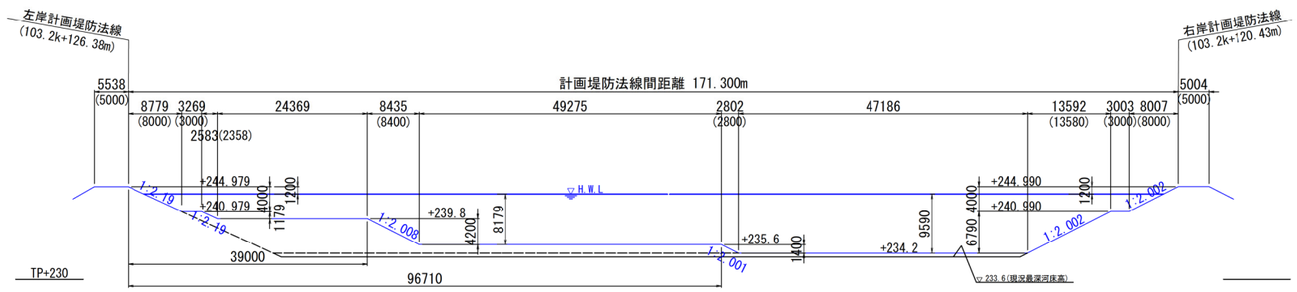


A2橋脚



阿武隈川計画断面図 S=1:500

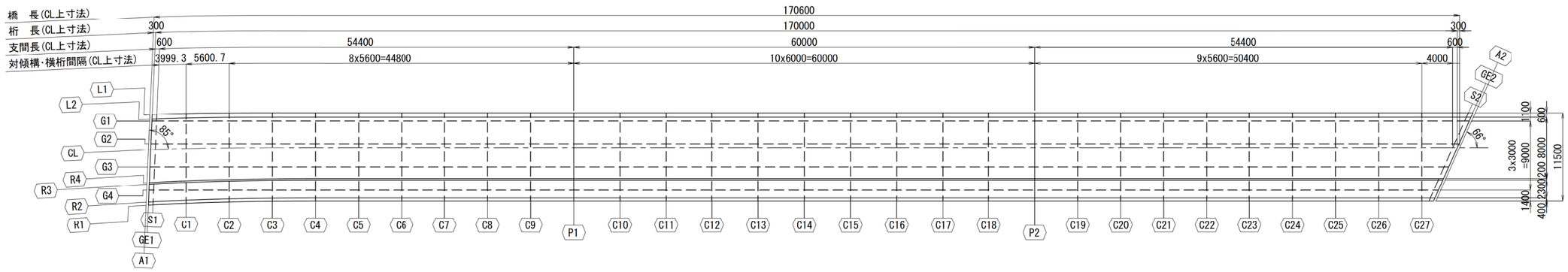
(道路中心)



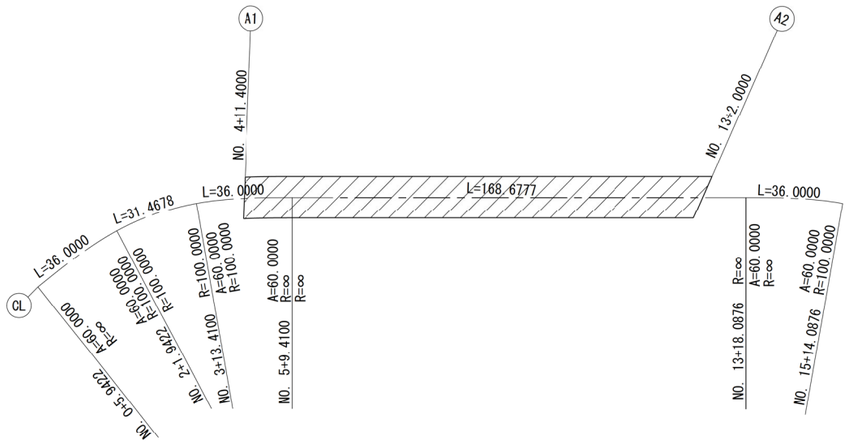
工事名			
図面名	小作田橋 一般図(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

線形図(その1)　S=1:300

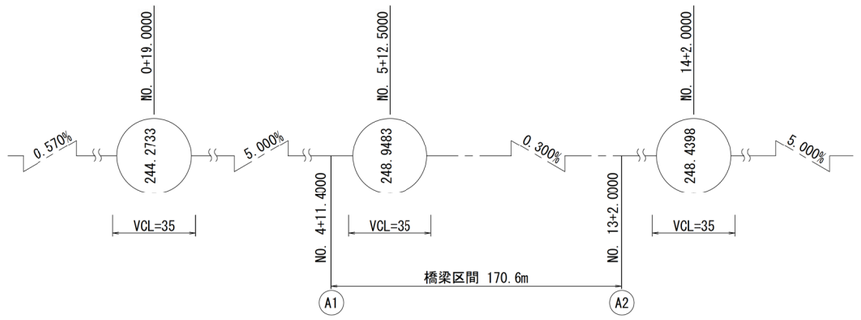
平　面　図



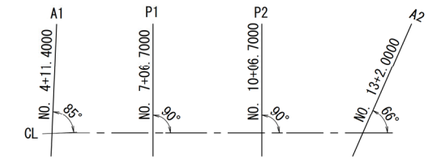
平 面 線 形



縦 断 線 形



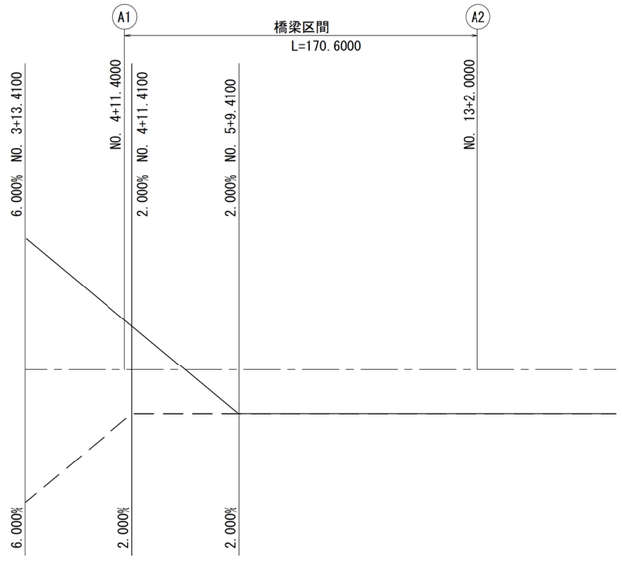
ピア設定方法



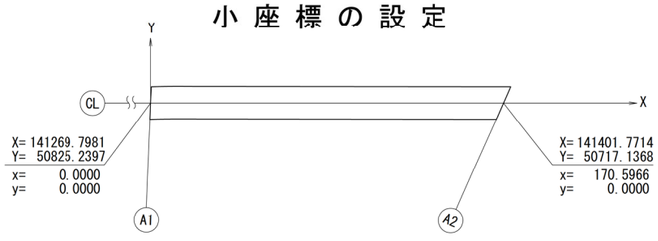
主要点の大座標

変化点	測　点	X 座 標	Y 座 標	要　素
KA 1-1	NO. 0+5.9422	141231.159020	50899.375323	
KE 1-1	NO. 2+1.9422	141240.795748	50864.742887	A=60.0000
KE 1-2	NO. 3+13.4100	141257.142279	50838.005904	R=100.0000
KA 1-2	NO. 5+9.4100	141283.574816	50813.642137	A=60.0000
KA 2-1	NO. 13+18.0876	141414.232919	50706.962169	R=∞
KE 2-1	NO. 15+14.0876	141443.391317	50685.936947	A=60.0000

横 断 線 形



小 座 標 の 設 定



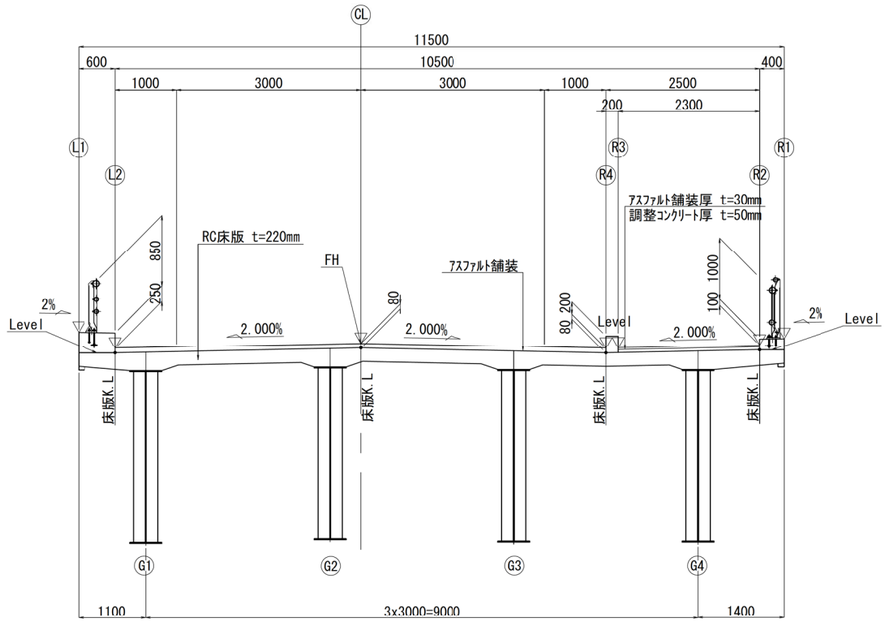
注)

1. A1とCLとの交点を小座標系原点(x=0, y=0)とする。
2. A2とCLとの交点と小座標系原点を結ぶ直線をx軸とする。
3. 小座標系原点を通り、x軸に垂直する直線をy軸とする。

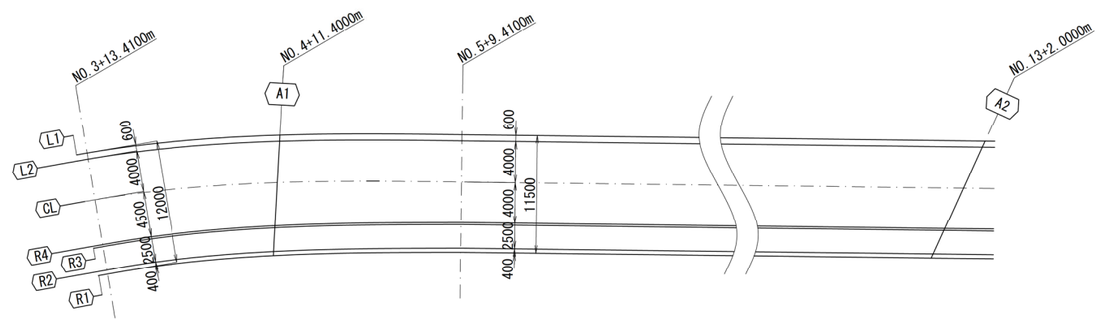
工事名	
図面名	線形図(その1)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

線形図(その2) S=1:50

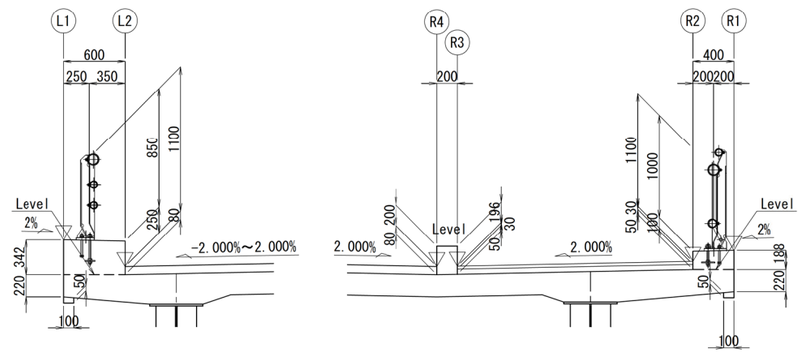
標 準 断 面 図



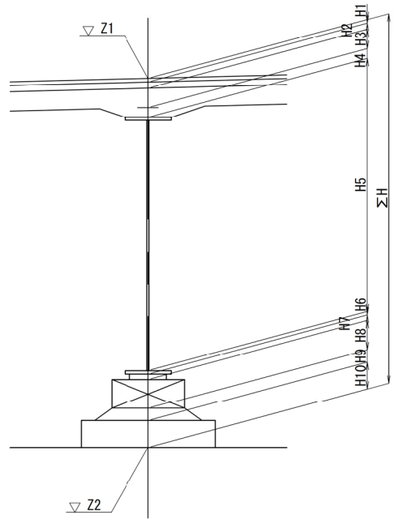
拡幅変化要領 S=1:300



防護柵･地覆･縁石詳細図 S=1:30



構造高図



Z1 ：路面計画高
H1 ：舗装厚
H2 ：調整ｺﾝｸﾘｰﾄ厚
H3 ：床版厚
H4 ：ハンチ高
H5 ：主桁高
H6 ：下フランジ厚
H7 ：ソールプレート厚
H8 ：支承高
H9 ：沓座モルタル厚
H10 ：台座コンクリート高
ΣH ：構造高合計(H1～H9)
Z2 ：下部工天端計画高

支点上構造高表

		A1(S1)				P1				P2				A2(S2)			
		G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4
路面計画高	Z1	248.018	247.954	247.884	247.851	248.776	248.836	248.796	248.796	248.596	248.656	248.616	248.616	248.428	248.492	248.456	248.460
舗装厚	H1	0.080	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080	0.080	0.030	0.080	0.080	0.080	0.030
調整ｺﾝｸﾘｰﾄ厚	H2	－	－	－	0.050	－	－	－	0.050	－	－	－	0.050	－	－	－	0.050
床版厚	H3	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220	0.220
ハンチ高	H4	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080
主桁高	H5	2.200	2.200	2.200	2.200	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800	2.800
下フランジ厚	H6	0.019	0.016	0.016	0.017	0.046	0.034	0.035	0.049	0.048	0.034	0.034	0.043	0.019	0.016	0.016	0.016
ソールプレート厚	H7	0.026	0.027	0.028	0.029	0.067	0.067	0.067	0.067	0.067	0.067	0.067	0.067	0.027	0.027	0.027	0.027
支承高	H8	0.270	0.270	0.270	0.270	0.650	0.650	0.650	0.650	0.650	0.650	0.650	0.650	0.270	0.270	0.270	0.270
モルタル厚	H9	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030	0.030
台座高	H10	0.156	0.150	0.135	0.156	0.165	0.232	0.185	0.165	0.167	0.233	0.185	0.167	0.139	0.194	0.147	0.139
構造高合計	ΣH	3.081	3.073	3.059	3.082	4.138	4.193	4.147	4.141	4.142	4.194	4.146	4.137	3.665	3.717	3.670	3.662
下部工天端高	Z2	244.937	244.881	244.825	244.769	244.638	244.643	244.649	244.655	244.454	244.462	244.470	244.479	244.763	244.775	244.786	244.798

工事名			
図面名	線形図(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

線形図(その3)

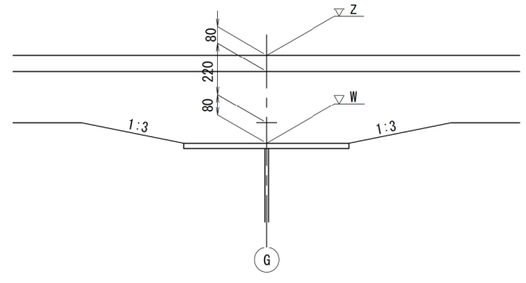
小座標値及び路面計画高

		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	P1	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17
L1	X	0.2022	0.5019	1.1013	4.9039	10.5040	16.1040	21.7040	27.3040	32.9040	38.5040	44.1040	49.7040	55.3040	61.3040	67.3040	73.3040	79.3040	85.3040	91.3040	97.3039	103.3039
	Y	4.6127	4.6250	4.6482	4.7596	4.8343	4.8446	4.8360	4.8271	4.8183	4.8094	4.8005	4.7916	4.7828	4.7732	4.7637	4.7542	4.7447	4.7352	4.7257	4.7162	4.7067
	Z	248.2516	248.2636	248.2878	248.4397	248.6321	248.7790	248.9123	249.0150	249.0703	249.0781	249.0613	249.0445	249.0277	249.0097	248.9917	248.9737	248.9557	248.9377	248.9197	248.9017	248.8837
L2	X	0.1758	0.4755	1.0750	4.9029	10.5031	16.1031	21.7031	27.3031	32.9031	38.5031	44.1031	49.7031	55.3030	61.3030	67.3030	73.3030	79.3030	85.3030	91.3030	97.3030	103.3030
	Y	4.0111	4.0234	4.0468	4.1594	4.2343	4.2446	4.2360	4.2271	4.2183	4.2094	4.2005	4.1916	4.1828	4.1732	4.1637	4.1542	4.1447	4.1352	4.1257	4.1162	4.1067
	Z	247.9875	247.9996	248.0238	248.1772	248.3700	248.5170	248.6503	248.7530	248.8083	248.8161	248.7993	248.7825	248.7657	248.7477	248.7297	248.7117	248.6937	248.6757	248.6577	248.6397	248.6217
G1	X	0.1652	0.4644	1.0628	4.9023	10.5023	16.1023	21.7023	27.3023	32.9023	38.5023	44.1023	49.7023	55.3023	61.3022	67.3022	73.3022	79.3022	85.3022	91.3022	97.3022	103.3022
	Y	3.7701	3.7697	3.7687	3.7626	3.7538	3.7449	3.7360	3.7271	3.7183	3.7094	3.7005	3.6916	3.6828	3.6732	3.6637	3.6542	3.6447	3.6352	3.6257	3.6162	3.6067
	Z	247.9820	247.9940	248.0181	248.1733	248.3715	248.5249	248.6603	248.7630	248.8183	248.8261	248.8093	248.7925	248.7757	248.7577	248.7397	248.7217	248.7037	248.6857	248.6677	248.6497	248.6317
	W	247.6020	247.6140	247.6381	247.7933	247.9915	248.1449	248.2803	248.3830	248.4383	248.4461	248.4293	248.4125	248.3957	248.3777	248.3597	248.3417	248.3237	248.3057	248.2877	248.2697	248.2517
G2	X	0.0338	0.3329	0.9313	4.8976	10.4976	16.0975	21.6975	27.2975	32.8975	38.4975	44.0975	49.6975	55.2975	61.2975	67.2975	73.2975	79.2975	85.2975	91.2975	97.2974	103.2974
	Y	0.7704	0.7699	0.7689	0.7626	0.7538	0.7449	0.7360	0.7271	0.7183	0.7094	0.7005	0.6916	0.6828	0.6732	0.6637	0.6542	0.6447	0.6352	0.6257	0.6162	0.6067
	Z	247.9119	247.9260	247.9544	248.1432	248.3807	248.5721	248.7203	248.8230	248.8783	248.8861	248.8693	248.8525	248.8357	248.8177	248.7997	248.7817	248.7637	248.7457	248.7277	248.7097	248.6917
	W	247.5319	247.5460	247.5744	247.7632	248.0007	248.1921	248.3403	248.4430	248.4983	248.5061	248.4893	248.4725	248.4557	248.4377	248.4197	248.4017	248.3837	248.3657	248.3477	248.3297	248.3117
CL	X	0.0000	0.2997	0.8992	4.8966	10.4967	16.0968	21.6967	27.2967	32.8967	38.4967	44.0967	49.6967	55.2967	61.2967	67.2967	73.2967	79.2967	85.2967	91.2967	97.2967	103.2966
	Y	0.0000	0.0128	0.0371	0.1583	0.2342	0.2446	0.2360	0.2271	0.2183	0.2094	0.2005	0.1916	0.1828	0.1732	0.1637	0.1542	0.1447	0.1352	0.1257	0.1162	0.1067
	Z	247.8933	247.9083	247.9383	248.1370	248.3823	248.5800	248.7303	248.8330	248.8883	248.8961	248.8793	248.8625	248.8457	248.8277	248.8097	248.7917	248.7737	248.7557	248.7377	248.7197	248.7017
G3	X	-0.0977	0.2014	0.7998	4.8928	10.4928	16.0928	21.6928	27.2928	32.8928	38.4928	44.0928	49.6927	55.2927	61.2927	67.2927	73.2927	79.2927	85.2927	91.2927	97.2927	103.2927
	Y	-2.2294	-2.2299	-2.2309	-2.2374	-2.2462	-2.2551	-2.2640	-2.2729	-2.2817	-2.2906	-2.2995	-2.3084	-2.3172	-2.3268	-2.3363	-2.3458	-2.3553	-2.3648	-2.3743	-2.3838	-2.3933
	Z	247.8380	247.8538	247.8836	248.0863	248.3319	248.5300	248.6803	248.7830	248.8383	248.8461	248.8293	248.8125	248.7957	248.7777	248.7597	248.7417	248.7237	248.7057	248.6877	248.6697	248.6517
	W	247.4580	247.4738	247.5036	247.7063	247.9519	248.1500	248.3003	248.4030	248.4583	248.4661	248.4493	248.4325	248.4157	248.3977	248.3797	248.3617	248.3437	248.3257	248.3077	248.2897	248.2717
R4	X	-0.1871	0.1129	0.7128	4.8900	10.4902	16.0904	21.6904	27.2904	32.8904	38.4904	44.0904	49.6904	55.2904	61.2904	67.2903	73.2903	79.2903	85.2903	91.2903	97.2903	103.2903
	Y	-4.2679	-4.2503	-4.2164	-4.0264	-3.8707	-3.7820	-3.7640	-3.7729	-3.7817	-3.7906	-3.7995	-3.8084	-3.8172	-3.8267	-3.8363	-3.8458	-3.8553	-3.8648	-3.8743	-3.8838	-3.8933
	Z	247.7855	247.8038	247.8355	248.0484	248.2989	248.4994	248.6503	248.7530	248.8083	248.8161	248.7993	248.7825	248.7657	248.7477	248.7297	248.7117	248.6937	248.6757	248.6577	248.6397	248.6217
R3	X	-0.1959	0.1041	0.7040	4.8897	10.4899	16.0901	21.6901	27.2901	32.8901	38.4901	44.0901	49.6901	55.2900	61.2900	67.2900	73.2900	79.2900	85.2900	91.2900	97.2900	103.2900
	Y	-4.4688	-4.4511	-4.4171	-4.2265	-4.0708	-3.9820	-3.9640	-3.9729	-3.9817	-3.9906	-3.9995	-4.0084	-4.0172	-4.0267	-4.0363	-4.0458	-4.0553	-4.0648	-4.0743	-4.0838	-4.0933
	Z	247.7884	247.8067	247.8386	248.0522	248.3028	248.5034	248.6543	248.7570	248.8123	248.8201	248.8033	248.7865	248.7697	248.7517	248.7337	248.7157	248.6977	248.6797	248.6617	248.6437	248.6257
G4	X	-0.2292	0.0699	0.6683	4.8881	10.4880	16.0880	21.6880	27.2880	32.8880	38.4880	44.0880	49.6880	55.2880	61.2880	67.2880	73.2880	79.2880	85.2879	91.2879	97.2879	103.2879
	Y	-5.2292	-5.2297	-5.2307	-5.2373	-5.2462	-5.2551	-5.2640	-5.2729	-5.2817	-5.2906	-5.2995	-5.3084	-5.3172	-5.3267	-5.3363	-5.3458	-5.3553	-5.3648	-5.3743	-5.3838	-5.3933
	Z	247.7994	247.8181	247.8512	248.0712	248.3259	248.5288	248.6803	248.7830	248.8383	248.8461	248.8293	248.8125	248.7957	248.7777	248.7597	248.7417	248.7237	248.7057	248.6877	248.6697	248.6517
	W	247.4194	247.4381	247.4712	247.6912	247.9459	248.1488	248.3003	248.4030	248.4583	248.4661	248.4493	248.4325	248.4157	248.3977	248.3797	248.3617	248.3437	248.3257	248.3077	248.2897	248.2717
R2	X	-0.2971	0.0028	0.6028	4.8860	10.4863	16.0864	21.6864	27.2864	32.8864	38.4864	44.0864	49.6864	55.2864	61.2864	67.2864	73.2864	79.2864	85.2864	91.2864	97.2863	103.2863
	Y	-6.7791	-6.7611	-6.7263	-6.5282	-6.3713	-6.2822	-6.2640	-6.2729	-6.2817	-6.2906	-6.2995	-6.3084	-6.3172	-6.3267	-6.3363	-6.3458	-6.3553	-6.3648	-6.3743	-6.3838	-6.3933
	Z	247.8216	247.8402	247.8744	248.0954	248.3481	248.5494	248.7003	248.8030	248.8583	248.8661	248.8493	248.8325	248.8157	248.7977	248.7797	248.7617	248.7437	248.7257	248.7077	248.6897	248.6717
R1	X	-0.3147	-0.0148	0.5852	4.8854	10.4856	16.0858	21.6858	27.2858	32.8858	38.4858	44.0858	49.6858	55.2858	61.2858	67.2858	73.2857	79.2857	85.2857	91.2857	97.2857	103.2857
	Y	-7.1810	-7.1628	-7.1280	-6.9285	-6.7714	-6.6823	-6.6640	-6.6729	-6.6817	-6.6906	-6.6995	-6.7084	-6.7172	-6.7267	-6.7363	-6.7458	-6.7553	-6.7648	-6.7743	-6.7838	-6.7933
	Z	247.9274	247.9460	247.9806	248.2029	248.4560	248.6574	248.8083	248.9110	248.9663	248.9741	248.9573	248.9405	248.9237	248.9057	248.8877	248.8697	248.8517	248.8337	248.8157	248.7977	248.7797

		C18	P2	C19	C20	C21	C22	C23	C24	C25	C26	C27	S2	GE2	A2
L1	X	109.3039	115.3039	120.9039	126.5039	132.1039	137.7039	143.3039	148.9039	154.5039	160.1039	165.7039	171.7519	172.3519	172.6519
	Y	4.6972	4.6876	4.6788	4.6699	4.6610	4.6521	4.6433	4.6344	4.6255	4.6166	4.6078	4.5982	4.5972	4.5967
	Z	248.8657	248.8477	248.8309	248.8141	248.7973	248.7805	248.7637	248.7469	248.7301	248.7133	248.6965	248.6784	248.6766	248.6757
L2	X	109.3030	115.3030	120.9030	126.5030	132.1029	137.7029	143.3029	148.9029	154.5029	160.1029	165.7029	171.4838	172.0838	172.3838
	Y	4.0972	4.0876	4.0788	4.0699	4.0610	4.0521	4.0433	4.0344	4.0255	4.0166	4.0078	3.9986	3.9976	3.9972
	Z	248.6037	248.5857	248.5689	248.5521	248.5353	248.5185	248.5017	248.4849	248.4681	248.4513	248.4345	248.4172	248.4154	248.4145
G1	X	109.3022	115.3022	120.9022	126.5022	132.1022	137.7021	143.3021	148.9021	154.5021	160.1021	165.7021	171.2604	171.8604	172.1604
	Y	3.5972	3.5876	3.5788	3.5699	3.5610	3.5521	3.5433	3.5344	3.5255	3.5166	3.5078	3.4990	3.4980	3.4975
	Z	248.6137	248.5957	248.5789	248.5621	248.5453	248.5285	248.5117	248.4949	248.4781	248.4613	248.4445	248.4278	248.4260	248.4251
	W	248.2337	248.2157	248.1989	248.1821	248.1653	248.1485	248.1317	248.1149	248.0981	248.0813	248.0645	248.0478	248.0460	248.0451
G2	X	109.2974	115.2974	120.8974	126.4974	132.0974	137.6974	143.2974	148.8974	154.4974	160.0974	165.6974	169.9200	170.5200	170.8200
	Y	0.5972	0.5877	0.5788	0.5699	0.5610	0.5521	0.5433	0.5344	0.5255	0.5166	0.5078	0.5011	0.5001	0.4996
	Z	248.6737	248.6557	248.6389	248.6221	248.6053	248.5885	248.5717	248.5549	248.5381	248.5213	248.5045	248.4918	248.4900	248.4891
	W	248.2937	248.2757	248.2589	248.2421	248.2253	248.2085	248.1917	248.1749	248.1581	248.1413	248.1245	248.1118	248.1100	248.1091
CL	X	109.2966	115.2966	120.8966	126.4966	132.0966	137.6966	143.2966	148.8966	154.4966	160.0966	165.6966	169.6966	170.2966	170.5966
	Y	0.0972	0.0877	0.0788	0.0699	0.0610	0.0521	0.0433	0.0344	0.0255	0.0166	0.0078	0.0014	0.0005	0.0000
	Z	248.6837	248.6657	248.6489	248.6321	248.6153	248.5985	248.5817	248.5649	248.5481	248.5313	248.5145	248.5025	248.5007	248.4998
G3	X	109.2927	115.2927	120.8927	126.4927	132.0926	137.6926	143.2926	148.8926	154.4926	160.0926	165.6926	168.5795	169.1795	169.4795
	Y	-2.4028	-2.4123	-2.4212	-2.4301	-2.4390	-2.4478	-2.4567	-2.4656	-2.4745	-2.4834	-2.4922	-2.4968	-2.4978	-2.4982
	Z	248.6337	248.6157	248.5989	248.5821	248.5653	248.5485	248.5317	248.5149	248.4981	248.4813	248.4645	248.4558	248.4540	248.4531
	W	248.2537	248.2357	248.2189	248.2021	248.1853	248.1685	248.1517	248.1349	248.1181	248.1013	248.0845	248.0758	248.0740	248.0731
R4	X	109.2903	115.2903	120.8903	126.4903	132.0903	137.6903	143.2903	148.8902	154.4902	160.0902	165.6902	167.9093	168.5093	168.8093
	Y	-3.9028	-3.9123	-3.9212	-3.9301	-3.9390	-3.9478	-3.9567	-3.9656	-3.9745	-3.9834	-3.9922	-3.9957	-3.9967	-3.9972
	Z	248.6037	248.5857	248.5689	248.5521	248.5353	248.5185	248.5017	248.4849	248.4681	248.4513	248.4345	248.4278	248.4260	248.4251
R3	X	109.2900	115.2900	120.8900	126.4900	132.0900	137.6899	143.2899	148.8899	154.4899	160.0899	165.6899	167.8199	168.4199	168.7199
	Y	-4.1028	-4.1123	-4.1212	-4.1301	-4.1390	-4.1478	-4.1567	-4.1656	-4.1745	-4.1834	-4.1922	-4.1956	-4.1966	-4.1970
	Z	248.6077	248.5897	248.5729	248.5561	248.5393	248.5225	248.5057	248.4889	248.4721	248.4553	248.4385	248.4321	248.4303	248.4294
G4	X	109.2879	115.2879	120.8879	126.4879	132.0879	137.6879	143.2879	148.8879	154.4879	160.0879	165.6878	167.2391	167.8391	168.1391
	Y	-5.4028	-5.4123	-5.4212	-5.4301	-5.4390	-5.4478	-5.4567	-5.4656	-5.4745	-5.4834	-5.4922	-5.4947	-5.4956	-5.4961
	Z	248.6337	248.6157	248.5989	248.5821	248.5653	248.5485	248.5317	248.5149	248.4981	248.4813	248.4645	248.4598	248.4580	248.4571
	W	248.2537	248.2357	248.2189	248.2021	248.1853	248.1685	248.1517	248.1349	248.1181	248.1013	248.0845	248.0798	248.0780	248.0771
R2	X	109.2863	115.2863	120.8863	126.4863	132.0863	137.6863	143.2863	148.8863	154.4863	160.0863	165.6863	166.7923	167.3923	167.6923
	Y	-6.4028	-6.4123	-6.4212	-6.4301	-6.4390	-6.4478	-6.4567	-6.4656	-6.4745	-6.4833	-6.4922	-6.4940	-6.4949	-6.4954
	Z	248.6537	248.6357	248.6189	248.6021	248.5853	248.5685	248.5517	248.5349	248.5181	248.5013	248.4845	248.4812	248.4794	248.4785
R1	X	109.2857	115.2857	120.8857	126.4857	132.0857	137.6857	143.2857	148.8857	154.4856	160.0856	165.6856	166.6135	167.2135	167.5135
	Y	-6.8028	-6.8123	-6.8212	-6.8301	-6.8390	-6.8478	-6.8567	-6.8656	-6.8745	-6.8833	-6.8922	-6.8937	-6.8946	-6.8951
	Z	248.7617	248.7437	248.7269	248.7101	248.6933	248.6765	248.6597	248.6429	248.6261	248.6093	248.5925	248.5897	248.5879	248.5870

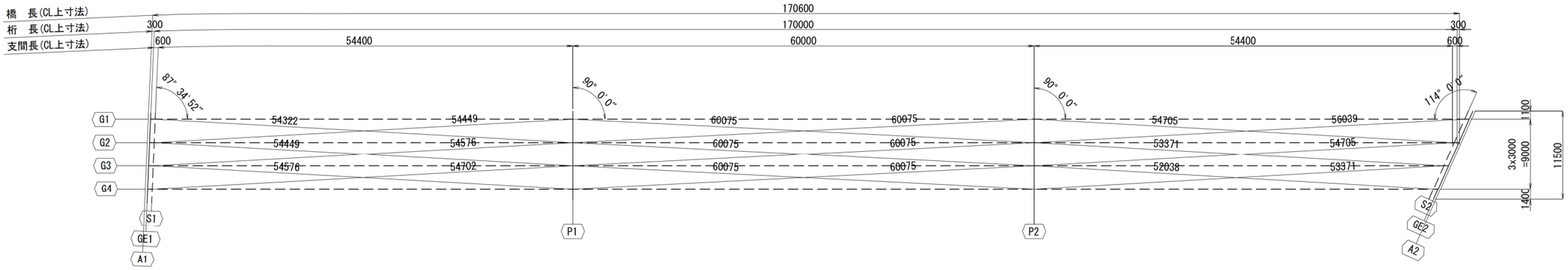
X： x座標
Y： y座標
Z： 路面計画高
W： 上フランジ上面

ハンチ部詳細図



工事名	
図面名	線形図(その3)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

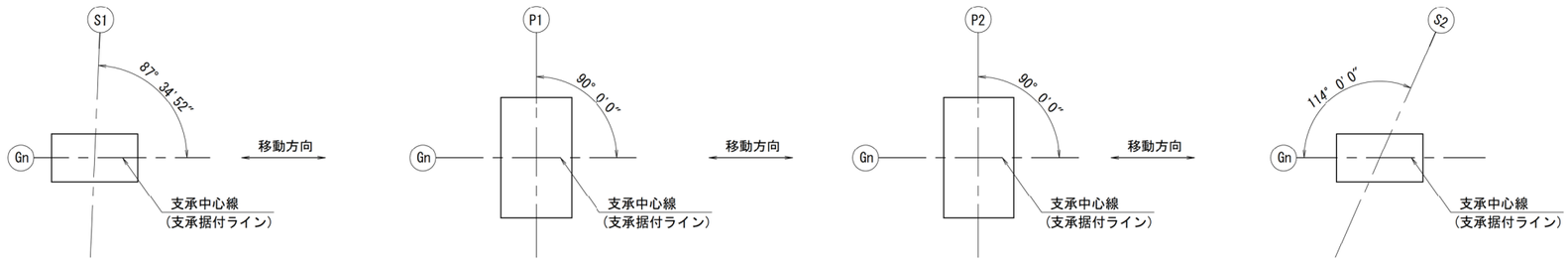
支承配置図　S=1:300



支承位置の座標

		S1				P1				P2				S2			
		G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4	G1	G2	G3	G4
大座標	X	141268.2321	141270.0313	141271.8305	141273.6297	141310.2462	141312.1436	141314.0409	141315.9382	141356.7223	141358.6197	141360.5170	141362.4144	141400.0678	141400.9305	141401.7932	141402.6559
	Y	50821.6507	50824.0547	50826.4586	50828.8626	50787.3470	50789.6708	50791.9946	50794.3184	50749.4001	50751.7239	50754.0477	50756.3715	50714.0093	50717.1779	50720.3464	50723.5150
小座標	X	1.0628	0.9313	0.7998	0.6683	55.3023	55.2975	55.2927	55.2880	115.3022	115.2974	115.2927	115.2879	171.2604	169.9200	168.5795	167.2391
	Y	3.7687	0.7689	-2.2309	-5.2307	3.6828	0.6828	-2.3172	-5.3172	3.5876	0.5877	-2.4123	-5.4123	3.4990	0.5011	-2.4968	-5.4947

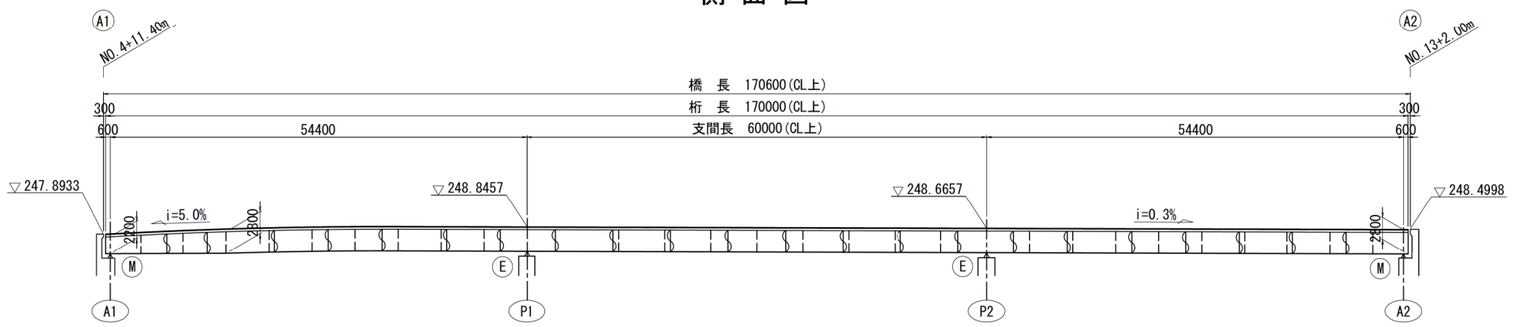
支承セット角



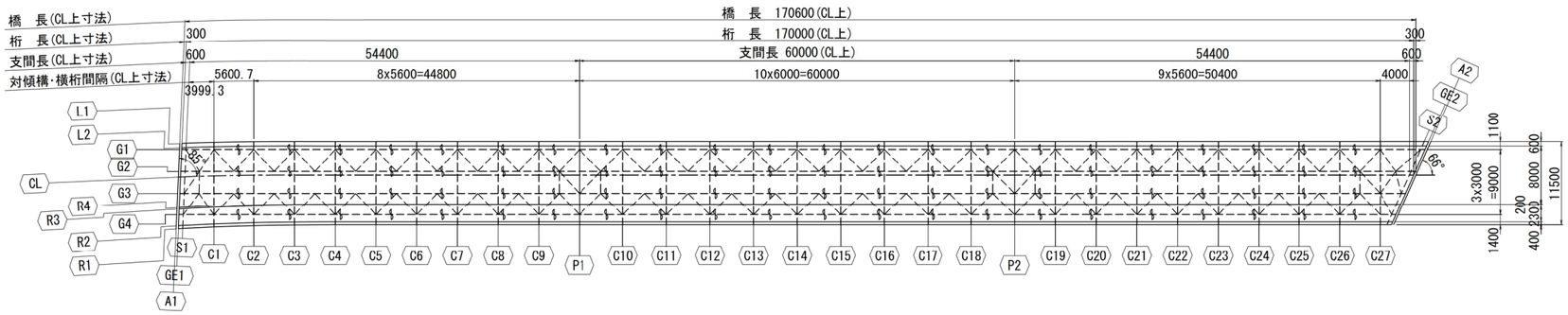
工事名	
図面名	支承配置図
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工構造一般図　S=1:400

側 面 図



平 面 図

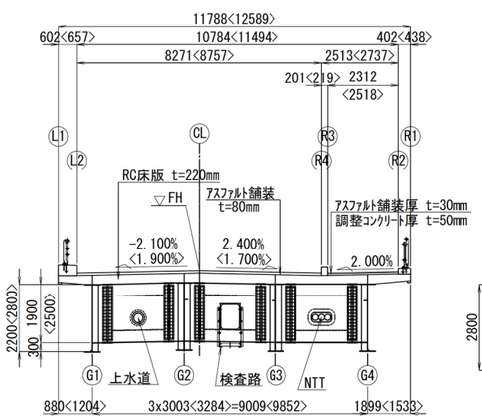


設計条件表

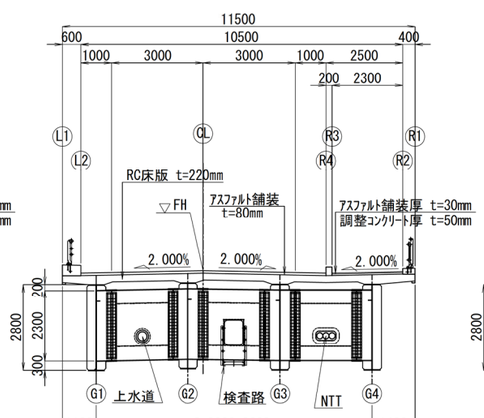
基本条件		橋　梁　名	小作田橋
		路　線　名	一般県道 母知須賀川線
		道 路 規 格	第3種　第3級
		設 計 速 度	V= 40km/h
		設計活荷重	B活荷重
		計画交通量	2,885／日(H27センサス)，大型車 100台/日・方向
		橋の重要度	B種の橋
		塩害対策区分	対策区分有（凍結防止剤散布）
		雪　荷　重	W=0kN/m²
		橋　　長	L=170.600m
		桁　　長	L=170.000m
		支　間　長	L=54.400m+60.000m+54.400m
		斜　　角	A1橋台：θ=85° 00' 00"（左）(道路中心線に対して)
			P1～P2橋脚：θ=90° 00' 00"（道路中心線に対して)
			A2橋台：θ=66° 00' 00"（左）(道路中心線に対して)
		幅員構成	W=10.50～11.00m (=1.00m+2@3.00～3.25m+1.00m+2.50m)
		平 面 線 形	A=60m～R=∞
		縦 断 勾 配	5.000%　0.300%
		横 断 勾 配	車道：2.000%（片勾配～拝み勾配）　歩道：2.000%（片勾配）
		舗　　装	アスファルト舗装(車道部：t=80mm、歩道部：t=30mm)
	耐震設計条件	耐 震 性 能	レベル1：耐震性能1、レベル2：耐震性能2
		地域別補正係数	Cz=0.85、CIz=1.0、CIIz=0.85(B2地域)
		地 盤 種 別	Ⅱ種地盤：A1橋台　　Ⅰ種地盤：P1橋脚,P2橋脚,A2橋台
		設計震度(L1)	kh=0.17～0.21
上部工		上部工形式	鋼3径間連続鈑桁橋（多主桁）
		床　　版	RC床版 t=220mm
		防　護　柵	歩道側：歩行者自転車用柵を兼用した車両防護柵 車道側：車両用防護柵
		添　架　物	上水道:1条　　NTT:3条 φ150(上流側)　　φ75(下流側)
	使用材料	コンクリート	床版：σck=30N/mm²，地覆：σck=24N/mm²
		鋼　　材	SMA400W,SMA490W,SMA570W,S10TW　耐候性鋼材
		鉄　　筋	SD345
		支 承 構 造	端支点：可動支承，中間支点：免震支承　(M-E-E-M)
		架 設 方 法	ベント併用クレーン架設
下部工		橋 台 形 式	A1,A2橋台：逆T式橋台、P1～P2橋脚：小判壁式橋脚
	使用材料	コンクリート	σck=24N/mm²
		鉄　　筋	SD345
交 差 物 件			一級河川阿武隈川
適用示方書			道路橋示方書(H29.11)
主たる点検方法			橋梁検査路による点検
参考図書			土木設計マニュアル(橋梁編)H29.9月訂正(福島県)

断 面 図　S=1:100

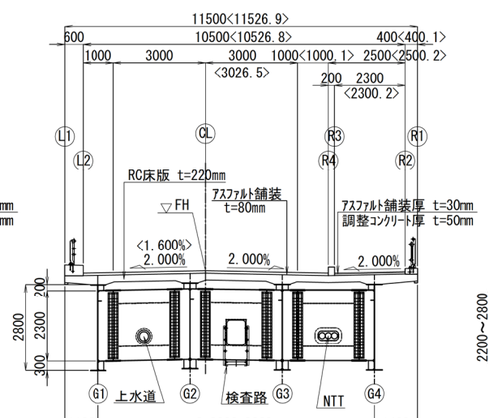
端支点横桁
S1<S2>



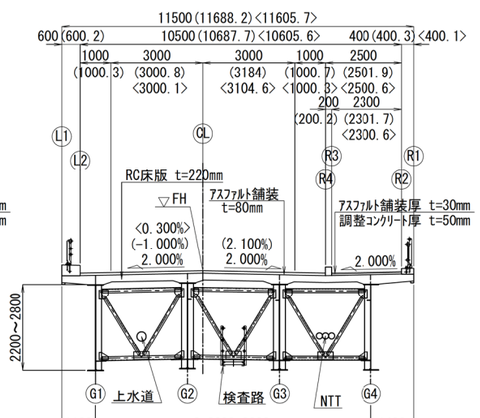
中間支点横桁



分配横桁
C3以外<C3>



中間対傾構
C1、C2以外(C1)<C2>

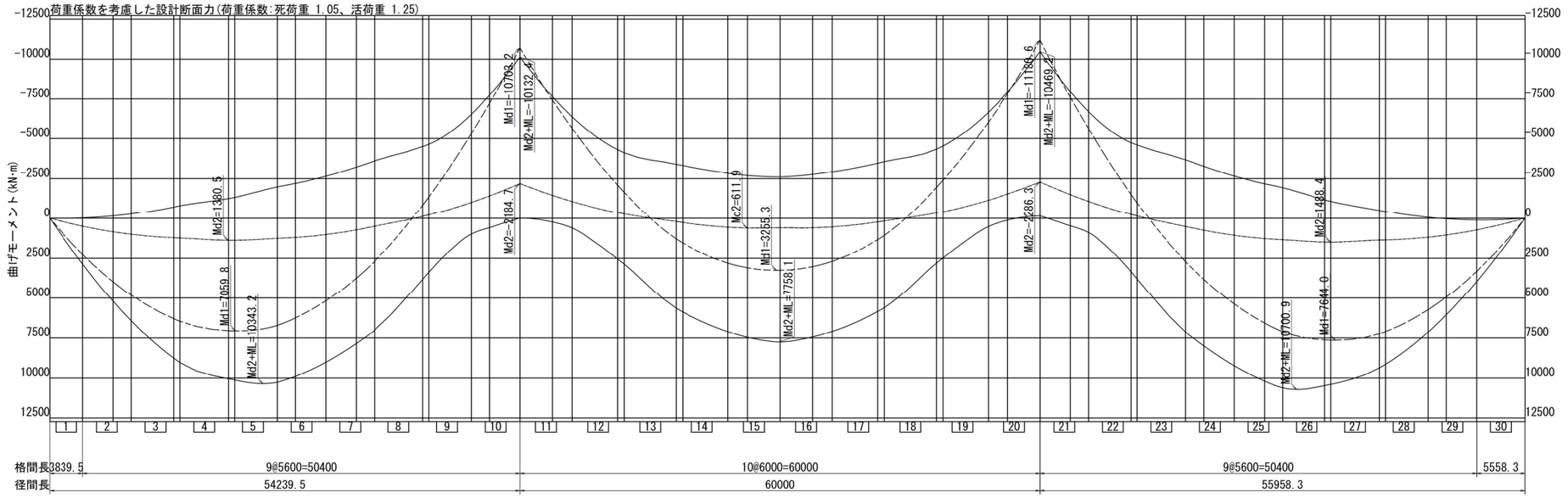


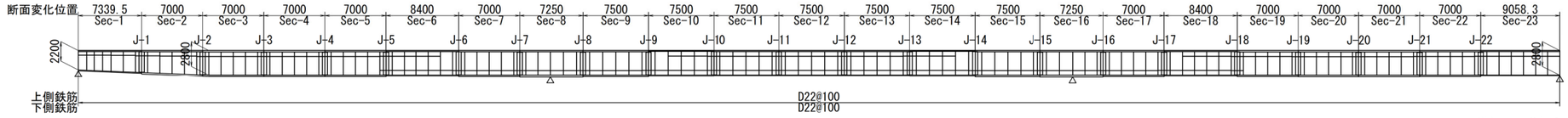
工事名	
図面名	上部工構造一般図
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

断面構成図(その1)　S=1:300

合成設計

G1
合成前死荷重 Md1----------
合成後死荷重 Md2----------
Md2+ML----------





単位：mm N/mm2

第 1主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18	Sec-19	Sec-20	Sec-21	Sec-22	Sec-23
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	22(3)	27(3)	33(3)	33(3)	30(3)	23(3)	29(3)	29(4)	29(3)	18(3)	22(3)	22(3)	22(3)	18(3)	31(3)	31(4)	31(3)	23(3)	32(3)	36(3)	36(3)	30(3)	22(3)
腹板	高さ	2178	2745.1	2767	2767	2770	2777	2771	2771	2771	2782	2778	2778	2778	2782	2769	2769	2769	2777	2768	2764	2764	2770	2778
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	19(3)	34(3)	40(3)	40(3)	37(3)	22(3)	38(3)	46(8)	40(3)	21(3)	18(3)	18(3)	18(3)	22(3)	43(7)	48(8)	40(3)	23(3)	39(3)	43(7)	43(7)	37(3)	19(3)
上フランジ	σd	-173	-182	-174	-173	-164	-133	191	256	192	-81	-116	-119	-114	84	194	258	192	-134	-164	-174	-175	-185	-179
	σud	272	272	272	272	272	272	272	344	272	272	272	272	272	272	272	344	272	272	272	272	272	272	272
	σud-σd	99	90	98	98	107	139	81	88	80	190	156	153	158	187	78	87	80	138	107	97	96	86	93
	応力ケース	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	7:鋼	6:鋼	6:鋼	22:鋼	22:鋼	22:鋼	22:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	7:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼
下フランジ	σd	206	207	206	206	202	191	-223	-266	-219	-150	187	195	185	-158	-218	-267	-223	190	203	207	207	209	211
	σud	272	272	272	272	272	272	229	274	225	218	272	272	272	219	225	274	229	272	272	272	272	272	272
	σud-σd	66	64	66	65	69	81	6	8	6	68	85	76	86	61	7	7	6	81	69	65	65	62	60
	応力ケース	4:合成	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	4:合成	4:合成
腹板	τd	49	33	20	-19	-28	-42	-47	-48	43	36	23	-14	-23	-37	-43	49	48	43	30	21	-18	-27	-39
	τud	157	157	157	157	157	157	157	199	157	157	157	157	157	157	157	199	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.60	0.57	0.55	0.56	0.55	0.51	0.73	0.62	0.69	0.35	0.47	0.51	0.46	0.39	0.69	0.62	0.74	0.51	0.55	0.55	0.55	0.58	0.62
孔引き後σ	上フランジ						73	211		212	106			31	118	214		212	79					
	下フランジ	228	229	228		224	211				168	207	205	171					211	225	231		231	234
決定要因	上フランジ	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F
	下フランジ	F	F	F	F	F	F	B	B	B	E	F	F	F	E	B	B	B	F	F	F	F	F	F

材質　(1):SMA400W , (5):SMA400W-H
　　(2):-------- , (6):----------
　　(3):SMA490W , (7):SMA490W-H
　　(4):SMA570W , (8):SMA570W-H
　　(9):SBHS400W
　　(10):SBHS500W

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①] (合成前死荷重)
2:D+TF+CR+SH[①]　12:2+TH[③]　22:2-TH[③]
3:D-TF+CR+SH[〃]　13:3+TH[〃]　23:3-TH[〃]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②]　14:4+TH[⑤]　24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax-TF+CR+SH[〃]　15:5+TH[〃]　25:5-TH[〃]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[〃]　16:6+TH[〃]　26:6-TH[〃]
7:D+Lmin-TF+CR+SH[〃]　17:7+TH[〃]　27:7-TH[〃]
[ ]:道示Ⅰ表-3.1.1 作用の組合せ番号

抵抗断面　鋼桁：鋼桁のみ（合成前）
　　鋼　：鋼桁+鉄筋（合成後）
　　合成：鋼桁+ｺﾝｸﾘｰﾄ床版（合成後）

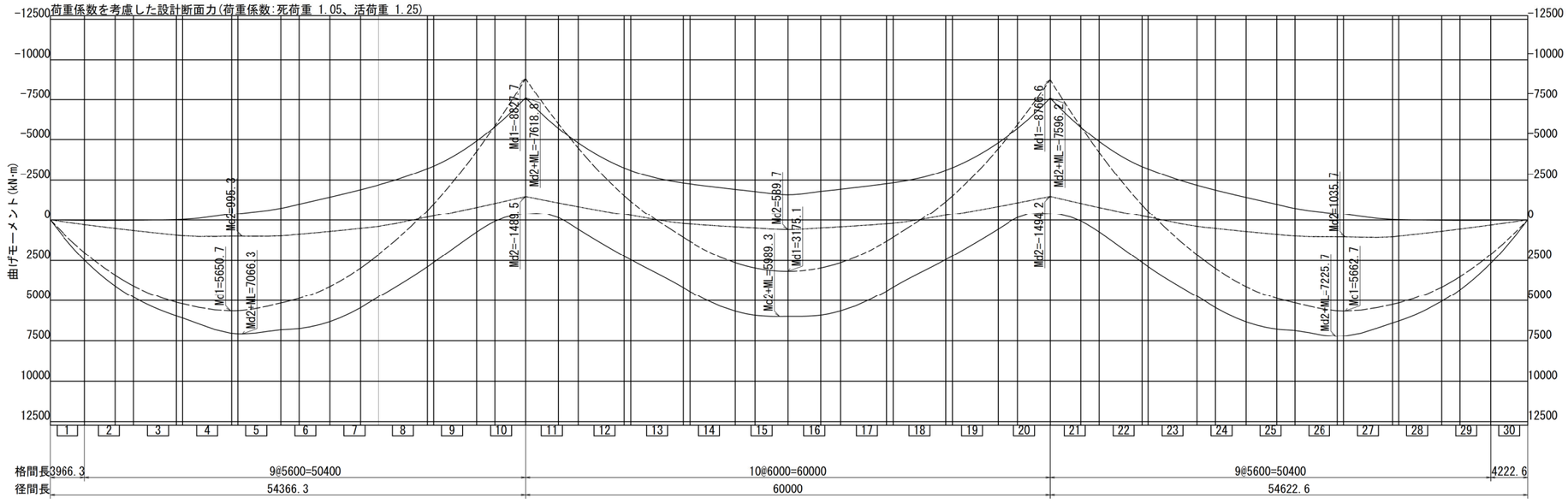
決定要因　A:引張応力度
　　B:圧縮応力度
　　C:孔引応力度
　　D:フランジ自由突出
　　E:フランジ板厚差
　　F:非合成決定

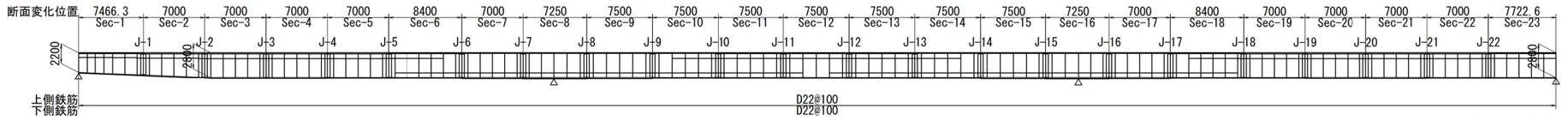
工事名	
図面名	断面構成図(その1)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

断面構成図(その2)　S=1:300

合成設計

G2
合成前死荷重 Md1----------
合成後死荷重 Md2----------
Md2+ML----------





単位：mm N/mm2

第 2主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18	Sec-19	Sec-20	Sec-21	Sec-22	Sec-23
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	20(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)	19(3)	16(3)	16(4)	16(3)	16(3)	20(3)	20(3)	20(3)	16(3)	16(3)	16(4)	16(3)	19(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)	18(3)
腹板	高さ	2180	2749.3	2777	2777	2777	2781	2784	2784	2784	2784	2780	2780	2780	2784	2784	2784	2784	2781	2777	2777	2777	2777	2782
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	16(3)	19(3)	24(3)	24(3)	20(3)	16(3)	28(3)	34(4)	30(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	30(3)	34(4)	28(3)	16(3)	20(3)	24(3)	24(3)	19(3)	16(3)
上フランジ	σd	-164	-179	-182	-182	-165	-129	189	260	191	-82	-118	-124	-118	-82	190	258	188	-130	-165	-182	-183	-179	-156
	σud	272	272	272	272	272	272	272	344	272	272	272	272	272	272	272	344	272	272	272	272	272	272	272
	σud-σd	108	93	89	90	106	143	82	85	81	189	154	148	154	190	82	86	84	142	106	89	89	93	116
	応力ケース	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼
下フランジ	σd	183	208	207	207	205	-113	-219	-265	-214	-134	167	173	167	-134	-213	-264	-218	-112	205	210	210	210	164
	σud	272	272	272	272	272	164	226	271	222	164	272	272	272	164	222	271	226	164	272	272	272	272	272
	σud-σd	89	64	64	64	67	51	7	6	8	30	105	99	105	30	9	7	8	52	66	62	62	61	107
	応力ケース	4:合成	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	5:合成	5:合成	5:合成	4:合成	4:合成
腹板	τd	44	25	16	-16	-24	-33	-41	-43	38	30	23	-12	-23	-29	-38	43	41	33	24	16	-15	-23	-35
	τud	157	157	157	157	157	157	157	199	157	157	157	157	157	157	157	199	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.47	0.58	0.57	0.57	0.56	0.37	0.70	0.61	0.66	0.28	0.38	0.40	0.38	0.27	0.65	0.61	0.69	0.37	0.57	0.58	0.58	0.59	0.38
孔引き後σ	上フランジ						44	210		211	71				70	210		208	42						
	下フランジ	233	230	230		227	205				146	213	213		145				206	227	232		233	231
決定要因	上フランジ	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	F	F	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F
	下フランジ	D	F	F	F	F	D	B	B	B	D	D	D	D	D	B	B	B	D	F	F	F	F	D

材質　(1):SMA400W
(2):--------
(3):SMA490W
(4):SMA570W
(9):SBHS400W
(10):SBHS500W

応力ケース：以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①] (合成前死荷重)
2:D+TF+CR+SH[①]　12:2+TH[③]　22:2-TH[③]
3:D-TF+CR+SH[〃]　13:3+TH[〃]　23:3-TH[〃]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②]　14:4+TH[⑤]　24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax-TF+CR+SH[〃]　15:5+TH[〃]　25:5-TH[〃]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[〃]　16:6+TH[〃]　26:6-TH[〃]
7:D+Lmin-TF+CR+SH[〃]　17:7+TH[〃]　27:7-TH[〃]
[ ]:道示Ⅰ表-3.1.1 作用の組合せ番号

抵抗断面　鋼桁：鋼桁のみ (合成前)
鋼　：鋼桁+鉄筋 (合成後)
合成：鋼桁+ｺﾝｸﾘｰﾄ床版 (合成後)

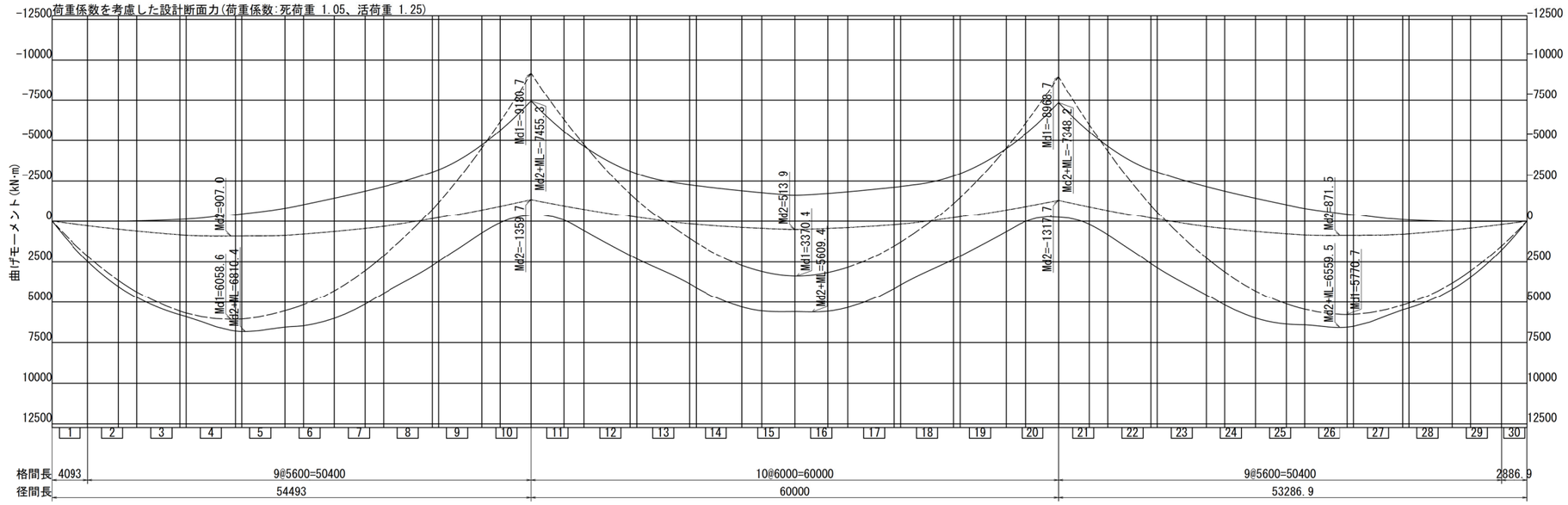
決定要因　A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差
F:非合成決定

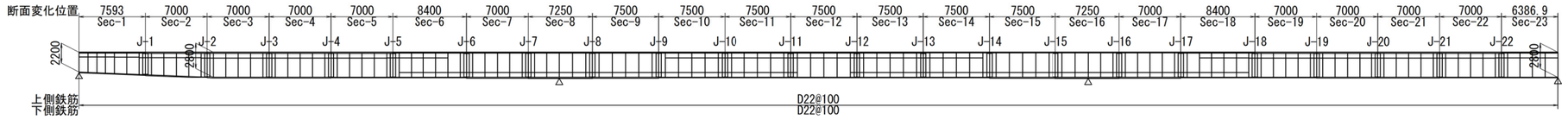
工事名	
図面名	断面構成図(その2)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

断面構成図(その3)　S=1:300

合成設計

G3
合成前死荷重 Md1----------
合成後死荷重 Md2----------
Md2+ML----------





単位：mm N/mm2

第 3主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18	Sec-19	Sec-20	Sec-21	Sec-22	Sec-23
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	20(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)	20(3)	17(3)	17(4)	17(3)	17(3)	20(3)	20(3)	20(3)	16(3)	16(3)	16(4)	16(3)	19(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)	17(3)
腹板	高さ	2180	2749.5	2777	2777	2777	2780	2783	2783	2783	2783	2780	2780	2780	2784	2784	2784	2784	2781	2777	2777	2777	2777	2783
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	16(3)	20(3)	25(3)	25(3)	20(3)	16(3)	28(3)	35(4)	30(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	29(3)	34(4)	28(3)	16(3)	20(3)	23(3)	23(3)	16(3)	16(3)
上フランジ	σd	-169	-186	-188	-188	-170	-127	191	259	192	-80	-120	-127	-121	-87	191	260	189	-132	-169	-184	-184	-177	-147
	σud	272	272	272	272	272	272	272	344	272	272	272	272	272	272	272	344	272	272	272	272	272	272	272
	σud-σd	103	86	83	84	102	144	81	85	79	191	152	144	150	184	81	84	83	140	102	88	88	94	125
	応力ケース	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼
下フランジ	σd	188	210	207	207	207	-114	-221	-264	-217	-135	164	171	166	-127	-215	-264	-217	-109	204	207	207	211	141
	σud	272	272	272	272	272	164	226	271	222	164	272	272	272	164	221	271	226	164	272	272	272	272	272
	σud-σd	84	61	64	64	65	50	5	7	5	29	108	100	106	37	6	7	9	55	67	64	64	61	130
	応力ケース	4:合成	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	5:合成	5:合成	5:合成	4:合成	4:合成
腹板	τd	44	26	15	-15	-24	-33	-40	-42	37	29	23	12	-22	-29	-37	42	40	33	23	14	-16	-23	-34
	τud	157	157	157	157	157	157	157	199	157	157	157	157	157	157	157	199	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.49	0.59	0.57	0.57	0.58	0.35	0.70	0.60	0.67	0.28	0.36	0.39	0.37	0.25	0.66	0.60	0.68	0.36	0.56	0.57	0.57	0.60	0.29
孔引き後σ	上フランジ						46	211		213	73				65	211		209	41					
	下フランジ	239	233	229		229	221				138	209	211		147				205	226	229		233	198
決定要因	上フランジ	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D	F	F	F	F	F	F	F	F	F
	下フランジ	D	F	F	F	F	D	B	B	B	D	D	D	D	D	B	B	B	D	F	F	F	F	D

材質　(1):SMA400W
　　(2):--------
　　(3):SMA490W
　　(4):SMA570W
　　(9):SBHS400W
　　(10):SBHS500W

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①] (合成前死荷重)
2:D+TF+CR+SH[①]　12:2+TH[③]　22:2-TH[③]
3:D-TF+CR+SH[〃]　13:3+TH[〃]　23:3-TH[〃]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②]　14:4+TH[⑤]　24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax-TF+CR+SH[〃]　15:5+TH[〃]　25:5-TH[〃]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[〃]　16:6+TH[〃]　26:6-TH[〃]
7:D+Lmin-TF+CR+SH[〃]　17:7+TH[〃]　27:7-TH[〃]
[ ]:道示Ⅰ表-3.1.1 作用の組合せ番号

抵抗断面　鋼桁：鋼桁のみ（合成前）
　　鋼　：鋼桁+鉄筋（合成後）
　　合成：鋼桁+ｺﾝｸﾘｰﾄ床版（合成後）

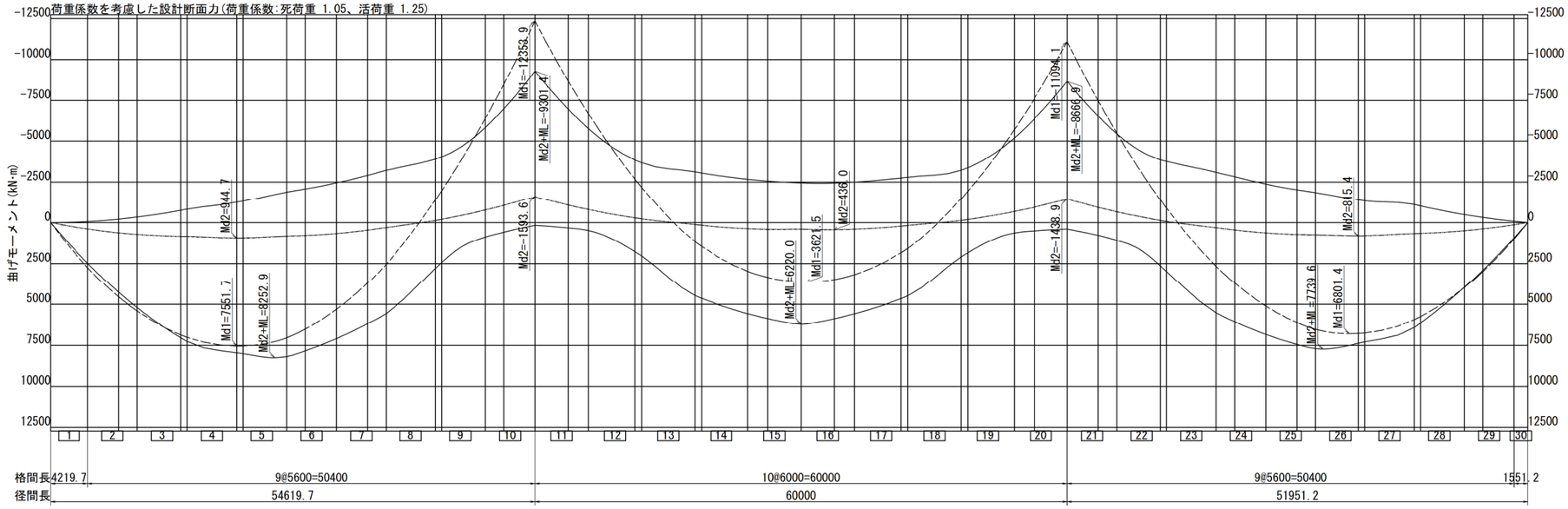
決定要因　A:引張応力度
　　B:圧縮応力度
　　C:孔引応力度
　　D:フランジ自由突出
　　E:フランジ板厚差
　　F:非合成決定

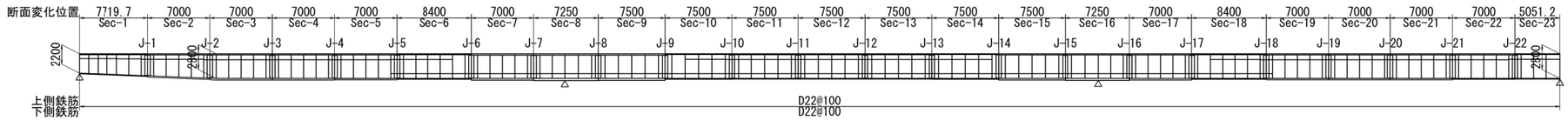
工事名	
図面名	断面構成図(その3)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

断面構成図(その4)　S=1:300

合成設計

G4
合成前死荷重 Md1----------
合成後死荷重 Md2----------
Md2+ML----------





単位：mm N/mm2

第 4主桁		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
	断面名	Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17	Sec-18	Sec-19	Sec-20	Sec-21	Sec-22	Sec-23
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	22(3)	25(3)	28(3)	28(3)	25(3)	21(3)	30(3)	30(4)	30(3)	16(3)	21(3)	21(3)	21(3)	17(3)	26(3)	26(4)	26(3)	21(3)	25(3)	25(3)	25(3)	25(3)	16(3)
腹板	高さ	2178	2747.8	2772	2772	2775	2779	2770	2770	2770	2784	2779	2779	2779	2783	2774	2774	2774	2779	2775	2775	2775	2775	2784
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	17(3)	30(3)	35(3)	35(3)	32(3)	21(3)	41(7)	49(8)	43(7)	22(3)	16(3)	16(3)	16(3)	19(3)	37(3)	43(8)	35(3)	18(3)	30(3)	30(3)	30(3)	22(3)	16(3)
上フランジ	σd	-188	-197	-193	-193	-181	-135	195	265	198	-83	-124	-130	-128	-93	190	261	189	-138	-175	-191	-191	-179	-147
	σud	272	272	272	272	272	272	272	344	272	272	272	272	272	272	272	344	272	272	272	272	272	272	272
	σud-σd	83	74	78	79	91	137	77	79	74	189	147	141	144	178	82	83	82	133	96	80	80	93	124
	応力ケース	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	6:鋼	7:鋼	6:鋼	22:鋼	22:鋼	22:鋼	22:鋼	22:鋼	6:鋼	7:鋼	6:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼	2:鋼
下フランジ	σd	212	210	207	207	201	170	-221	-267	-219	-153	176	188	179	-137	-217	-267	-222	-125	197	210	208	210	134
	σud	272	272	272	272	272	272	229	274	225	219	272	272	272	201	224	274	228	189	272	272	272	272	272
	σud-σd	60	62	64	64	70	102	8	7	6	66	96	84	92	64	7	7	6	64	75	62	64	62	138
	応力ケース	4:合成	4:合成	5:合成	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	5:合成	5:合成	5:合成	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	6:鋼	5:合成	5:合成	5:合成	4:合成	4:合成
腹板	τd	46	28	16	-17	-26	-39	-45	-46	41	34	21	12	-20	-32	-39	44	42	36	23	15	-19	-28	-34
	τud	157	157	157	157	157	157	157	199	157	157	157	157	157	157	157	199	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.63	0.58	0.56	0.56	0.54	0.41	0.71	0.62	0.68	0.36	0.42	0.47	0.43	0.29	0.67	0.61	0.71	0.45	0.52	0.58	0.57	0.60	0.30
孔引き後σ	上フランジ						80	216		219	115	15			84	210		209	61						
	下フランジ	234	232	229		223	198					206	209		159				210	218	230		232	188
決定要因	上フランジ	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	F	D
	下フランジ	F	F	F	F	F	E	B	B	B	E	D	D	D	E	B	B	B	E	F	F	F	F	D

材質　(1):SMA400W，(5):SMA400W-H
　　(2):--------，(6):----------
　　(3):SMA490W，(7):SMA490W-H
　　(4):SMA570W，(8):SMA570W-H
　　(9):SBHS400W
　　(10):SBHS500W

応力ケース:以下の番号と抵抗断面で表示
1:D1[①]（合成前死荷重）
2:D+TF+CR+SH[①]　12:2+TH[③]　22:2-TH[③]
3:D-TF+CR+SH[〃]　13:3+TH[〃]　23:3-TH[〃]
4:D+Lmax+TF+CR+SH[②]　14:4+TH[⑤]　24:4-TH[⑤]
5:D+Lmax-TF+CR+SH[〃]　15:5+TH[〃]　25:5-TH[〃]
6:D+Lmin+TF+CR+SH[〃]　16:6+TH[〃]　26:6-TH[〃]
7:D+Lmin-TF+CR+SH[〃]　17:7+TH[〃]　27:7-TH[〃]
[ ]:道示Ⅰ表-3.1.1 作用の組合せ番号

抵抗断面　鋼桁：鋼桁のみ（合成前）
　　鋼　：鋼桁+鉄筋（合成後）
　　合成：鋼桁+ｺﾝｸﾘｰﾄ床版（合成後）

決定要因　A:引張応力度
　　B:圧縮応力度
　　C:孔引応力度
　　D:フランジ自由突出
　　E:フランジ板厚差
　　F:非合成決定

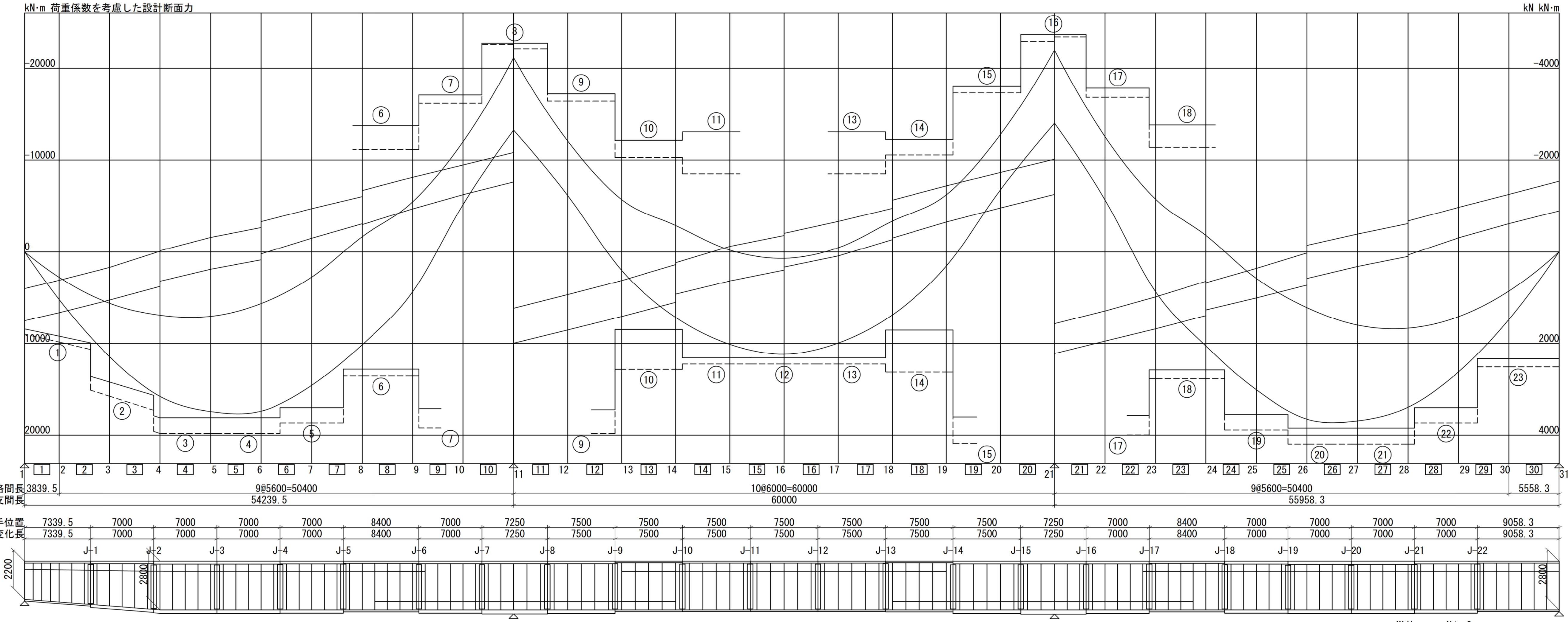
工事名	
図面名	断面構成図(その4)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

断面構成図(その5) S=1:250

非合成照査

G1

上フランジ ―――――
下フランジ - - - - - -



単位：mm N/mm2

		1		2	3	4		5	6	
断面名		Sec-1		Sec-2	Sec-3	Sec-4		Sec-5	Sec-6	
上フランジ	幅	520		520	520	520		520	520	
	厚	22(3)		27(3)	33(3)	33(3)		30(3)	23(3)	
腹板	高さ	2178	2470.8	2745.1	2767	2767	2767	2770	2777	2777
	厚	14(3)		14(3)	14(3)	14(3)		14(3)	14(3)	
下フランジ	幅	520		520	520	520		520	520	
	厚	19(3)		34(3)	40(3)	40(3)		37(3)	22(3)	
上フランジ	σ	0	-225	-267	-263	-263	-265	-265	-236	121
	σd	272	240	272	272	272	272	272	253	272
	σd-σ	272	15	5	9	9	6	6	17	151
下フランジ	σ	0	237	242	240	240	242	242	240	-123
	σd	272	272	272	272	272	272	272	272	224
	σd-σ	272	34	30	31	31	29	30	32	101
腹板	τ	49	33	21	9	9	11	20	28	43
	τd	157	157	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.00	0.79	0.95	0.90	0.90	0.92	0.93	0.79	0.27
計算点位置		左	J-1	J-2	J-3	左	最大値	J-4	J-5	J-6
上フランジ孔引き後σ									0	170
下フランジ孔引き後σ			262	267	266			267	266	95
決定要因	上フランジ	B		B	B	B		B	B	
	下フランジ	C		C	C	C		C	C	

		7		8		9		10		11		12
断面名		Sec-7		Sec-8		Sec-9		Sec-10		Sec-11		Sec-12
上フランジ	幅	520		520		520		520		520		520
	厚	29(3)		29(4)		29(3)		18(3)		22(3)		22(3)
腹板	高さ	2771	2771	2771	2771	2771	2771	2782	2782	2778	2778	2778
	厚	15(3)		16(4)		15(3)		14(3)		14(3)		14(3)
下フランジ	幅	520		520		520		520		520		520
	厚	38(3)		46(8)		40(3)		21(3)		18(3)		18(3)
上フランジ	σ	97	240	320	320	239	99	140	-170	-159	-223	-232
	σd	272	272	344	344	272	272	272	189	240	240	240
	σd-σ	175	31	24	24	32	172	131	19	81	17	8
下フランジ	σ	-86	-214	-262	-262	-208	-86	-134	162	170	238	248
	σd	229	229	280	274	225	225	218	272	272	272	272
	σd-σ	143	15	18	12	17	139	84	110	102	33	23
腹板	τ	40	48	49	45	44	35	37	23	23	14	10
	τd	157	157	199	199	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.19	0.85	0.89	0.88	0.82	0.18	0.32	0.40	0.40	0.76	0.82
計算点位置		左	J-7	最大左	最大右	J-8	右	J-9	J-10	左	J-11	最大値
上フランジ孔引き後σ			266			265		197	83			
下フランジ孔引き後σ								38	228		264	
決定要因	上フランジ	C		C		C		B		B		B
	下フランジ	F		F		F		F		C		C

		13		14		15		16		17	
断面名		Sec-13		Sec-14		Sec-15		Sec-16		Sec-17	
上フランジ	幅	520		520		520		520		520	
	厚	22(3)		18(3)		31(3)		31(4)		31(3)	
腹板	高さ	2778	2778	2782	2782	2769	2769	2769	2769	2769	2769
	厚	14(3)		14(3)		15(3)		16(4)		15(3)	
下フランジ	幅	520		520		520		520		520	
	厚	18(3)		22(3)		43(7)		48(8)		40(3)	
上フランジ	σ	-221	-153	-164	152	103	240	319	319	240	98
	σd	240	240	189	272	272	272	344	344	272	272
	σd-σ	19	87	25	120	169	32	25	25	31	174
下フランジ	σ	236	164	153	-142	-89	-207	-263	-263	-214	-87
	σd	272	272	272	219	225	225	274	280	229	229
	σd-σ	35	108	119	77	136	18	11	17	15	142
腹板	τ	15	23	23	38	36	44	46	50	49	41
	τd	157	157	157	157	157	157	199	199	157	157
	合成	0.75	0.38	0.38	0.36	0.19	0.83	0.88	0.89	0.85	0.19
計算点位置		J-12	J-13	左	J-14	左	J-15	最大左	最大右	J-16	右
上フランジ孔引き後σ			90		213		265			266	
下フランジ孔引き後σ		261	230		22						
決定要因	上フランジ	B		B		C		C		C	
	下フランジ	C		F		F		F		F	

単位：mm N/mm2

		18		19	20		21		22	23	
断面名		Sec-18		Sec-19	Sec-20		Sec-21		Sec-22	Sec-23	
上フランジ	幅	520		520	520		520		520	520	
	厚	23(3)		32(3)	36(3)		36(3)		30(3)	22(3)	
腹板	高さ	2777	2777	2768	2764	2764	2764	2764	2770	2778	2778
	厚	14(3)		14(3)	14(3)		14(3)		14(3)	14(3)	
下フランジ	幅	520		520	520		520		520	520	
	厚	23(3)		39(3)	43(7)		43(7)		37(3)	19(3)	
上フランジ	σ	126	-240	-266	-263	-261	-261	-234	-265	-230	0
	σd	272	253	272	272	272	272	272	272	240	272
	σd-σ	145	13	6	8	10	10	37	6	10	272
下フランジ	σ	-126	240	242	241	240	240	215	241	242	0
	σd	224	272	272	272	272	272	272	272	272	272
	σd-σ	98	32	29	30	32	32	57	30	30	272
腹板	τ	44	30	21	12	9	9	18	18	28	40
	τd	157	157	157	157	157	157	157	157	157	157
	合成	0.29	0.79	0.93	0.90	0.89	0.89	0.72	0.93	0.80	0.00
計算点位置		J-17	J-18	J-19	最大値	右	J-20	右	J-21	J-22	右
上フランジ孔引き後σ		178	0								
下フランジ孔引き後σ		91	265	268			269		267	268	
決定要因	上フランジ	B		B	B		B		B	B	
	下フランジ	C		C	C		C		C	C	

小作田橋 G1

材質
(1):SMA400W
(2):-------
(3):SMA490W
(4):SMA570W
(5):SMA400W-H
(6):---------
(7):SMA490W-H
(8):SMA570W-H
(9):SBHS400W
(10):SBHS500W

記号の説明
TH:D+L+TH

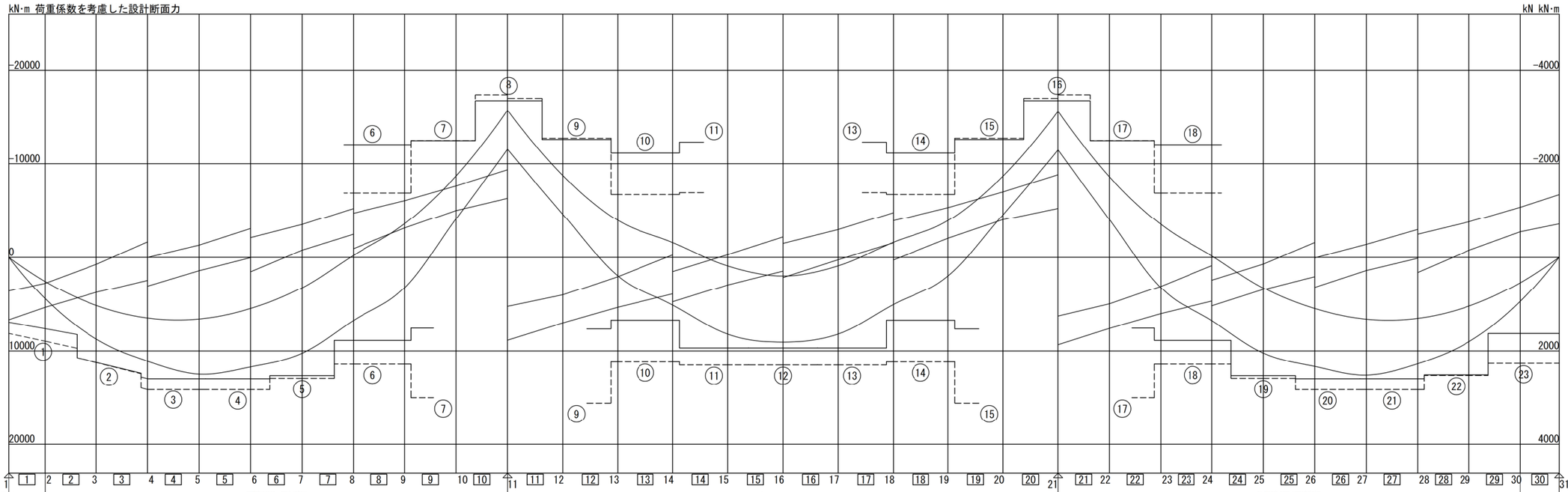
決定要因
A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差
F:合成決定

工事名			
図面名	断面構成図(その5)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

断面構成図（その6） S=1:250

非合成照査

G2
上フランジ ――――――
下フランジ - - - - - - - - - -



単位：mm N/mm2

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	20(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)	19(3)	16(3)	16(4)	16(3)	16(3)	20(3)	20(3)	20(3)	16(3)	16(3)	16(4)	16(3)
腹板	高さ	2180 2475.4	2749.3	2777	2777	2777	2781 2781	2784 2784	2784 2784	2784 2784	2784 2784	2784 2780	2780	2780 2780	2784 2784	2784 2784	2784 2784	2784 2784
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	16(3)	19(3)	24(3)	24(3)	20(3)	16(3)	28(3)	34(4)	30(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	30(3)	34(4)	28(3)
上フランジ	σ	0 -191	-222	-244	-243	-226	-185 TH -57	TH -55 242	324 324	240 TH -31	TH -35 -134	-122 -194	-200	-194 -121	-134 TH -35	TH -31 238	321 321	240 TH -55
	σd	272 214	253	253	253	253	201 201	165 272	344 344	272 165	164 164	214 214	214	214 214	164 164	165 272	344 344	272 165
	σd-σ	272 23	31	9	10	27	16 144	110 29	20 20	32 134	129 30	92 20	14	20 93	30 129	134 33	23 23	31 110
下フランジ	σ	0 206	237	240	240	238	195 -98	-75 -201	-251 -251	-194 -77	-108 TH -33	TH -32 208	215	208 TH -33	TH -34 -107	-77 -193	-249 -249	-200 -74
	σd	272 272	272	272	272	272	272 164	226 226	277 271	222 222	164 164	164 272	272	272 164	164 164	222 222	271 277	226 226
	σd-σ	272 66	34	32	32	34	77 66	151 25	26 20	28 145	56 131	132 64	57	64 131	130 57	145 29	22 28	26 152
腹板	τ	44 25	14	7	8	13	24 32	30 40	42 40	37 27	29 23	23 12	11	12 23	23 28	27 37	40 42	40 30
	τd	157 157	157	157	157	157	157 157	157 157	199 199	157 157	157 157	157 157	157	157 157	157 157	157 157	199 199	157 157
	合成	0.00 0.59	0.75	0.78	0.78	0.75	0.53 0.17	0.14 0.84	0.91 0.91	0.82 0.15	0.19 0.26	0.25 0.58	0.62	0.58 0.25	0.26 0.18	0.15 0.81	0.89 0.90	0.83 0.14
計算点位置		左 J-1	J-2	最大値	J-3	J-4	J-5 J-6	左 J-7	最大左	最大右	J-8 右	J-9	J-10	左 J-11	最大値	J-12 右	J-13	J-14 左 J-15	最大左	最大右	J-16 右
上フランジ孔引き後σ							131	268			266	151	46				47	150	264		266	
下フランジ孔引き後σ		263	263		265	263	248 85					49	189	265		265	188	50				
決定要因	上フランジ	B	E	B	B	E	B	C	C	C	D	B	B	B	D	C	C	C
	下フランジ	D	C	C	C	C	D	F	F	F	D	D	D	D	D	F	F	F

単位：mm N/mm2

		18	19	20	21	22	23
断面名		Sec-18	Sec-19	Sec-20	Sec-21	Sec-22	Sec-23
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520
	厚	19(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)	18(3)
腹板	高さ	2781 2781	2777	2777	2777	2777	2782 2782
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520
	厚	16(3)	20(3)	24(3)	24(3)	19(3)	16(3)
上フランジ	σ	TH -57 -185	-225	-245	-245	-225	-177 0
	σd	201 201	253	253	253	253	189 272
	σd-σ	144 16	28	8	8	28	12 272
下フランジ	σ	-97 195	237	241	242	240	184 0
	σd	164 272	272	272	272	272	272 272
	σd-σ	67 77	35	30	30	32	88 272
腹板	τ	32 23	13	8	8	14	22 34
	τd	157 157	157	157	157	157	157 157
	合成	0.17 0.53	0.75	0.79	0.79	0.77	0.47 0.00
計算点位置		J-17 J-18	J-19	J-20 最大値		J-21	J-22 右
上フランジ孔引き後σ		129					
下フランジ孔引き後σ		85 249	262	267		265	258
決定要因	上フランジ	B	E	B	B	E	B
	下フランジ	D	C	C	C	C	D

小作田橋 G2

材質 (1):SMA400W
(2):
(3):SMA490W
(4):SMA570W
(9):SBHS400W
(10):SBHS500W

記号の説明
TH:D+L+TH

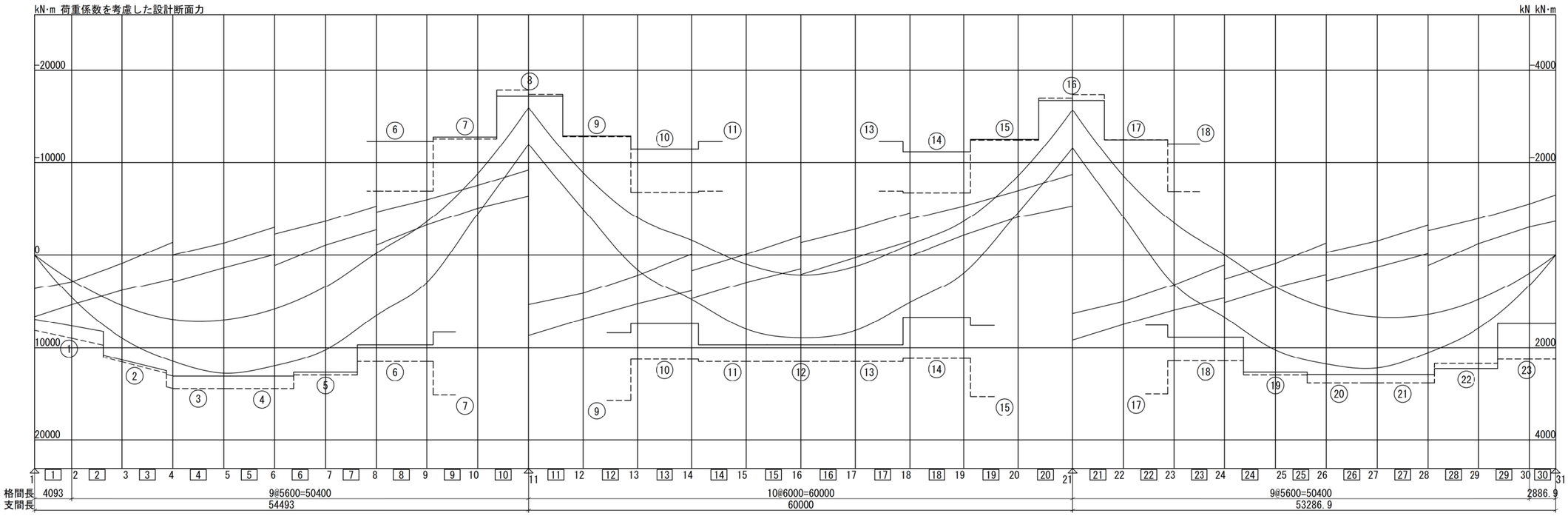
決定要因 A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差
F:合成決定

工事名	
図面名	断面構成図（その6）
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

断面構成図（その7） S=1:250

G3
上フランジ ――――――
下フランジ ----------

非合成照査



単位：mm N/mm2

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	20(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)	20(3)	17(3)	17(4)	17(3)	17(3)	20(3)	20(3)	20(3)	16(3)	16(3)	16(4)	16(3)
腹板	高さ	2180 2477.9	2749.5	2777	2777	2777	2780 2780	2783 2783	2783 2783	2783 2783	2783 2783	2780 2780	2780	2780 2780	2784 2784	2784 2784	2784 2784	2784 2784
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	16(3)	20(3)	25(3)	25(3)	20(3)	16(3)	28(3)	35(4)	30(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	16(3)	29(3)	34(4)	28(3)
上フランジ	σ	0 -196	-228	-247	-247	-229	-176 TH -49	TH -47 240	320 320	239 TH -22	TH -25 -124	-116 -190	-197	-192 -122	-135 TH -34	TH -30 239	324 324	241 TH -54
	σd	272 214	253	253	253	253	214 214	177 272	344 344	272 177	176 176	214 214	214	214 164	164	165 272	344 344	272 165
	σd-σ	272 18	25	6	6	24	38 165	130 32	24 24	33 155	151 52	98 24	17	22 92	29 130	135 33	21 21	31 111
下フランジ	σ	0 211	239	240	240	241	189 -98	-75 -203	-249 -249	-196 -78	-109 TH -33 TH	-33 204	212	206 131	135 -101	-74 -196	-251 -251	-200 -73
	σd	272 272	272	272	272	272	272 164	226 226	278 271	222 222	164 164	164 272	272	272 272	272 164	221 221	271 277	226 226
	σd-σ	272 61	32	32	32	31	82 66	151 23	29 22	26 144	55 131	131 68	60	66 141	137 63	147 25	20 26	26 153
腹板	τ	44 25	14	7	8	14	24 32	30 39	41 39	36 26	28 23	23 12	10	12 22	22 28	26 37	39 41	39 29
	τd	157 157	157	157	157	157	157 157	157 157	199 199	157 157	157 157	157 157	157	157 157	157 157	157 157	199 199	157 157
	合成	0.00 0.62	0.76	0.81	0.80	0.77	0.50 0.17	0.14 0.83	0.89 0.88	0.81 0.15	0.19 0.23	0.23 0.56	0.60	0.57 0.25	0.26 0.17	0.14 0.81	0.90 0.91	0.83 0.14
計算点位置		左 J-1	J-2	最大値	J-3	J-4	J-5 J-6	左 J-7	最大左	最大右	J-8 右	J-9	J-10 左	J-11	最大値	J-12 右	J-13	J-14 左 J-15	最大左	最大右	J-16 右
上フランジ孔引き後σ							129	266			264	150 46			32 142		264				266
下フランジ孔引き後σ		269	265		265	267	266 74					36 178		260		263		189 47			
決定要因	上フランジ	B	E	B	B	E	E	C	C	C	E	B	B	B	D	C	C	C
	下フランジ	D	C	C	C	C	D	F	F	F	D	D	D	D	D	F	F	F

単位：mm N/mm2

		18	19	20	21	22	23
断面名		Sec-18	Sec-19	Sec-20	Sec-21	Sec-22	Sec-23
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520
	厚	19(3)	23(3)	23(3)	23(3)	23(3)	17(3)
腹板	高さ	2781 2781	2777	2777 2777	2777	2777	2783 2783
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520
	厚	16(3)	20(3)	23(3)	23(3)	16(3)	16(3)
上フランジ	σ	TH -56 -184	-227	-240 -240	-240	-212 -152	0
	σd	201 201	253	253 253	253	253	176 272
	σd-σ	145 17	26	13 13	13	41	24 272
下フランジ	σ	-95 194	239	240 240	240	239	155 0
	σd	164 272	272	272 272	272	272	272 272
	σd-σ	69 77	33	31 31	31	33	116 272
腹板	τ	32 23	13	8 8	8	14	23 33
	τd	157 157	157	157 157	157	157	157 157
	合成	0.16 0.52	0.76	0.76 0.76	0.76	0.76	0.34 0.00
計算点位置		J-17 J-18	J-19	最大値 右	J-20	J-21	J-22 右
上フランジ孔引き後σ		127					
下フランジ孔引き後σ		83 248	264		266	264	218
決定要因	上フランジ	B	E	B	B	E	B
	下フランジ	D	C	C	C	C	D

小作田橋 G3

材質 (1):SMA400W
(2):
(3):SMA490W
(4):SMA570W
(9):SBHS400W
(10):SBHS500W

記号の説明
TH:D+L+TH

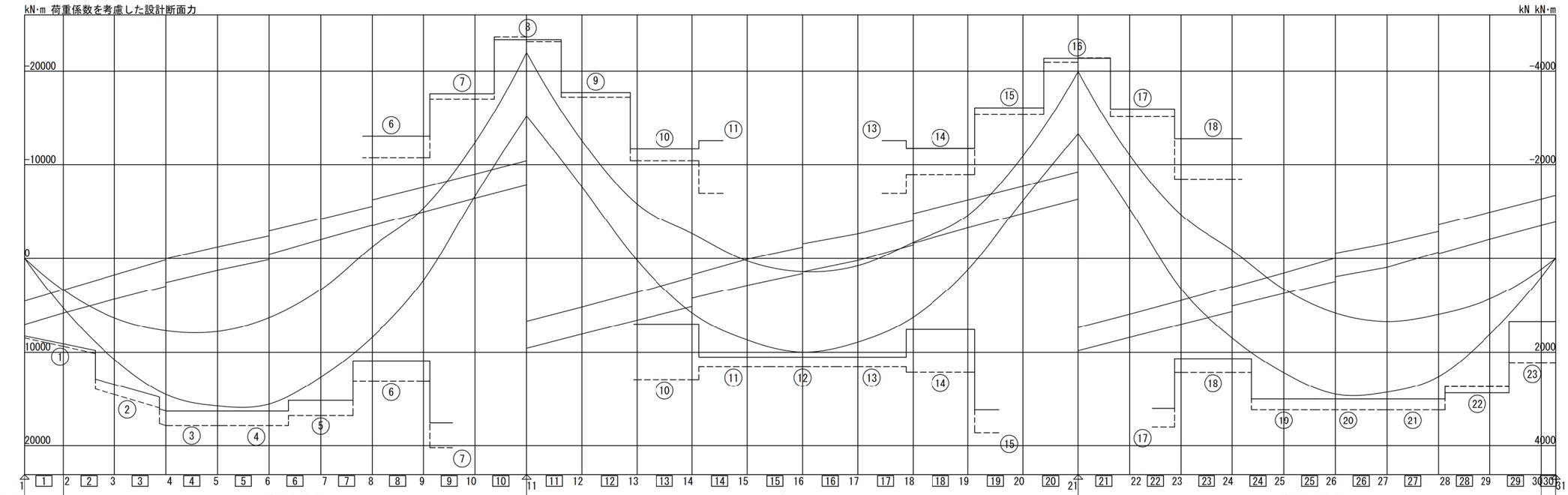
決定要因 A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差
F:合成決定

工事名	
図面名	断面構成図（その7）
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

断面構成図（その8） S=1:250

非合成照査

G4
上フランジ ――――――
下フランジ - - - - - - - - - -



単位：mm N/mm2

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
断面名		Sec-1	Sec-2	Sec-3	Sec-4	Sec-5	Sec-6	Sec-7	Sec-8	Sec-9	Sec-10	Sec-11	Sec-12	Sec-13	Sec-14	Sec-15	Sec-16	Sec-17
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	22(3)	25(3)	28(3)	28(3)	25(3)	21(3)	30(3)	30(4)	30(3)	16(3)	21(3)	21(3)	21(3)	17(3)	26(3)	26(4)	26(3)
腹板	高さ	2178 2478.4	2747.8	2772	2772 2772	2775	2779 2779	2770 2770	2770 2770	2770	2784 2784	2779 2779	2779	2779 2779	2783 2783	2774 2774	2774 2774	2774 2774
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	15(3)	16(4)	15(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520	520
	厚	17(3)	30(3)	35(3)	35(3)	32(3)	21(3)	41(7)	49(8)	43(7)	22(3)	16(3)	16(3)	16(3)	19(3)	37(3)	43(8)	35(3)
上フランジ	σ	0 -218	-260	-264	-264 -265	-264	-212 127	94 242	324 324	242	151 -148	-137 -203	-216	-206 -146	-157 121	88 236	322 322	239 91
	σd	272 240	272	272	272 272	272	227 272	272 272	344 344	272	272 164	227 227	227	227 227	176 272	272 272	344 344	272 272
	σd-σ	272 22	11	8	8 6	7	15 145	177 30	21 21	30	121 16	90 24	11	21 81	19 150	183 36	22 22	33 181
下フランジ	σ	0 239	242	239	239 241	239	212 -127	-82 -211	-260 -260	-206	-136 133TH	-56 221	235	225 159	151 -117	-76 -204	-261 -261	-212 -80
	σd	272 272	272	272	272 272	272	272 223	229 229	280 274	225	219 272	164 272	272	272 272	272 201	224 224	274 280	228 228
	σd-σ	272 33	30	32	32 31	33	60 96	147 18	20 14	19	83 138	108 50	37	47 113	120 84	148 20	13 19	16 148
腹板	τ	46 28	16	7	7 9	18	26 40	37 46	47 43	42	35 21	21 12	8	11 20	20 33	31 40	42 44	43 35
	τd	157 157	157	157	157 157	157	157 157	157 157	199 199	157	157 157	157 157	157	157 157	157 157	157 157	199 199	157 157
	合成	0.00 0.79	0.90	0.91	0.91 0.92	0.93	0.62 0.28	0.17 0.85	0.91 0.90	0.83	0.35 0.31	0.31 0.65	0.74	0.67 0.35	0.34 0.24	0.14 0.79	0.89 0.90	0.82 0.16
計算点位置		左 J-1	J-2	J-3	左 最大値	J-4	J-5 J-6	左 J-7	最大左 最大右	J-8	J-9 右	J-10 J-11	最大値	J-12 右	J-13 J-14	左 J-15	最大左 最大右	J-16 右
上フランジ孔引き後σ							178	268		268	212	72			48 171	261		264
下フランジ孔引き後σ		264	267	265		264	248 40					209 258		262	213 16			
決定要因	上フランジ	B	B	B	B	B	B	C	C	C	B	B	B	B	B	C	C	C
	下フランジ	C	C	C	C	C	F	F	F	F	F	D	D	D	F	F	F	F

単位：mm N/mm2

		18	19	20	21	22	23
断面名		Sec-18	Sec-19	Sec-20	Sec-21	Sec-22	Sec-23
上フランジ	幅	520	520	520	520	520	520
	厚	21(3)	25(3)	25(3)	25(3)	25(3)	16(3)
腹板	高さ	2779 2779	2775	2775 2775	2775	2775	2784 2784
	厚	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)	14(3)
下フランジ	幅	520	520	520	520	520	520
	厚	18(3)	30(3)	30(3)	30(3)	22(3)	16(3)
上フランジ	σ	113 -214	-251	-265 -261	-261	-231	-146 0
	σd	272 227	272	272 272	272	272	164 272
	σd-σ	158 13	20	6 11	11	41	18 272
下フランジ	σ	-119 225	233	247 242	242	242	146 0
	σd	189 272	272	272 272	272	272	272 272
	σd-σ	70 47	38	25 29	29	29	125 272
腹板	τ	37 24	15	8 7	7	19	28 35
	τd	157 157	157	157 157	157	157	157 157
	合成	0.24 0.69	0.84	0.93 0.89	0.89	0.79	0.32 0.00
計算点位置		J-17 J-18	J-19	最大値 右	J-20	J-21	J-22 右
上フランジ孔引き後σ		159					
下フランジ孔引き後σ		74 263	258		268	268	206
決定要因	上フランジ	B	E	B	B	E	D
	下フランジ	F	E	C	C	C	D

小作田橋 G4

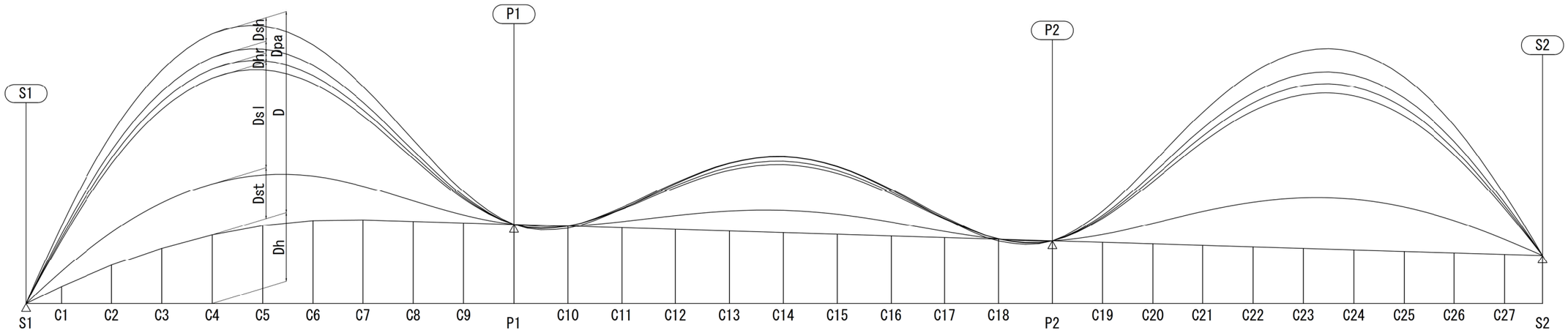
材質 (1):SMA400W
(2):
(3):SMA490W
(4):SMA570W
(5):SMA400W-H
(6):――――――
(7):SMA490W-H
(8):SMA570W-H
(9):SBHS400W
(10):SBHS500W

記号の説明
TH:D+L+TH

決定要因 A:引張応力度
B:圧縮応力度
C:孔引応力度
D:フランジ自由突出
E:フランジ板厚差
F:合成決定

工事名	
図面名	断面構成図（その8）
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

キャンバー図　S=1:250



単位　mm

		S1	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	P1	C10	C11	C12	C13	C14	C15	C16	C17	C18	P2	C19	C20	C21	C22	C23	C24	C25	C26	C27	S2
G1	Dh	0	155	353	507	642	745	800	808	791	774	758	740	722	704	686	668	650	632	614	596	578	561	544	527	510	494	477	460	443	426	410
	Dst	0	8	17	23	26	26	23	18	11	4	0	0	3	7	10	11	10	7	3	0	0	4	11	19	24	28	28	26	20	11	0
	Dsl	0	15	34	46	52	52	46	35	21	8	0	0	6	14	20	23	20	13	5	−1	0	9	22	37	49	56	57	51	39	22	0
	Dhr	0	2	3	5	5	5	5	3	2	1	0	0	1	1	2	2	2	1	0	0	0	1	2	4	5	6	6	5	4	2	0
	Dpa	0	2	4	6	7	7	6	4	3	1	0	0	1	2	2	3	2	1	1	0	0	1	3	5	6	7	7	6	5	3	0
	Dsh	0	4	9	11	12	12	11	9	6	2	0	−1	−1	−1	0	0	0	−1	−1	−1	0	2	6	9	11	13	13	12	10	6	0
	D	0	31	67	91	103	103	91	70	42	16	0	−1	9	23	34	38	34	22	8	−2	0	17	44	73	96	109	111	100	78	43	0
G2	Dh	0	189	426	618	766	869	924	932	915	898	881	863	845	827	809	791	773	755	737	719	701	685	668	651	634	617	601	584	567	550	538
	Dst	0	8	18	24	27	27	24	18	11	4	0	0	3	7	11	12	11	7	3	0	0	4	11	18	24	27	27	24	17	8	0
	Dsl	0	17	37	50	57	56	50	38	23	9	0	0	7	15	22	24	22	15	7	0	0	9	22	37	49	55	55	49	35	16	0
	Dhr	0	1	3	4	5	5	4	3	2	1	0	0	0	1	2	2	2	1	0	0	0	1	2	3	4	5	5	4	3	1	0
	Dpa	0	2	4	5	6	6	5	4	2	1	0	0	1	2	2	3	2	2	1	0	0	1	2	4	5	6	6	5	4	2	0
	Dsh	0	4	9	11	13	12	11	9	6	2	0	−1	−1	0	0	0	0	0	−1	−1	0	2	6	9	11	12	12	11	9	4	0
	D	0	32	70	95	107	107	94	72	44	17	0	−1	10	24	36	41	36	25	10	−1	0	17	43	71	93	105	106	93	68	32	0
G3	Dh	0	203	448	646	797	900	955	963	946	929	912	894	876	858	840	822	804	786	768	750	732	715	699	682	665	648	631	615	598	581	572
	Dst	0	9	18	25	28	28	24	18	11	4	0	0	3	8	11	12	11	8	4	0	0	4	10	17	23	26	25	22	15	5	0
	Dsl	0	18	40	54	61	60	53	40	24	9	0	0	7	16	23	27	24	17	8	1	0	8	22	37	49	55	54	46	31	11	0
	Dhr	0	1	3	4	5	5	4	3	2	1	0	0	0	1	2	2	2	1	0	0	0	1	2	3	4	4	4	4	3	1	0
	Dpa	0	2	4	5	6	6	5	4	2	1	0	0	1	1	2	2	2	1	1	0	0	1	2	3	5	5	5	4	3	1	0
	Dsh	0	4	9	11	13	12	11	9	6	2	0	−1	−1	0	0	0	0	0	−1	−1	0	2	5	8	10	12	12	10	8	3	0
	D	0	35	74	99	112	111	97	74	45	17	0	−1	10	26	38	43	39	27	12	0	0	16	42	69	90	102	100	86	59	22	0
G4	Dh	0	220	475	678	829	932	987	995	978	961	945	927	909	891	873	855	837	819	801	783	765	748	731	714	697	681	664	647	630	613	609
	Dst	0	9	19	25	29	28	25	19	11	4	0	0	3	8	11	13	12	8	4	0	0	4	10	17	22	24	24	19	12	3	0
	Dsl	0	21	43	58	65	64	56	42	25	9	0	0	7	17	25	29	26	19	9	1	0	8	22	37	48	54	53	43	27	6	0
	Dhr	0	2	4	5	5	5	5	3	2	1	0	0	1	1	2	2	2	2	1	0	0	1	2	3	4	4	4	3	2	1	0
	Dpa	0	2	3	4	5	5	4	3	2	1	0	0	0	1	2	2	2	1	1	0	0	1	2	3	4	4	4	3	2	0	0
	Dsh	0	5	9	11	12	12	11	8	5	2	0	−1	−1	0	0	0	0	0	−1	−1	0	2	5	8	10	11	11	9	6	2	0
	D	0	38	78	104	116	114	100	76	45	17	0	−1	10	26	40	46	42	30	13	1	0	15	41	67	88	98	95	79	50	12	0

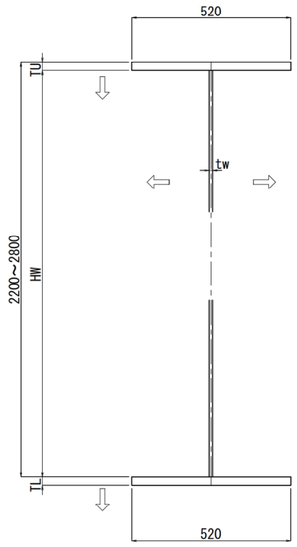
記号の説明

Ｄｈ　：縦断勾配
Ｄｓｔ　：鋼重＋検査路によるたわみ
Ｄｓｌ　：床版＋ハンチ＋水切りによるたわみ
Ｄｈｒ　：高欄＋地覆＋歩中詰＆縁石＋添架物(水道)＋添架物(NTT)によるたわみ
Ｄｐａ　：舗装によるたわみ
Ｄｓｈ　：乾燥収縮＋クリープによるたわみ
Ｄ　：合　計
※たわみは荷重係数を乗じていない特性値。後死荷重によるたわみ値は、床版を考慮した合成断面による剛性で算出。

工事名	
図面名	キャンバー図
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示
図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

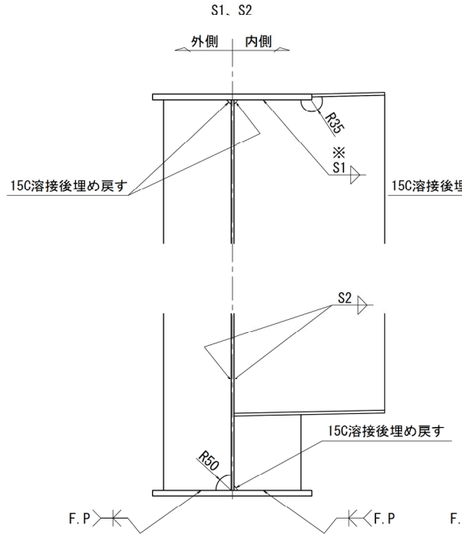
共通詳細図(その1) S=1:10

主桁板厚変化方向

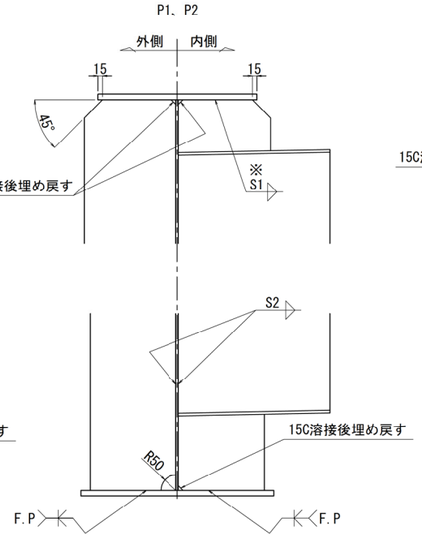


垂直補剛材スカーラップ及び溶接

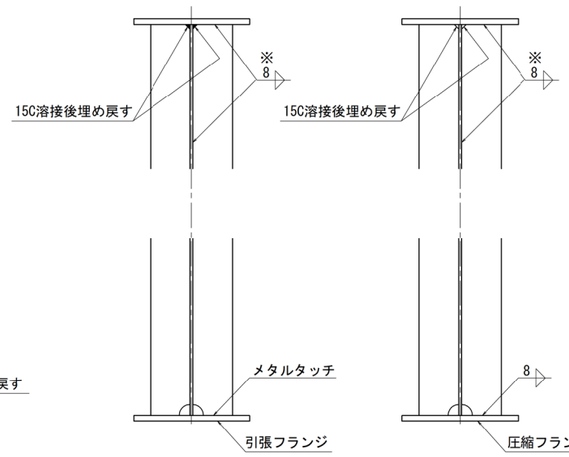
端支点上



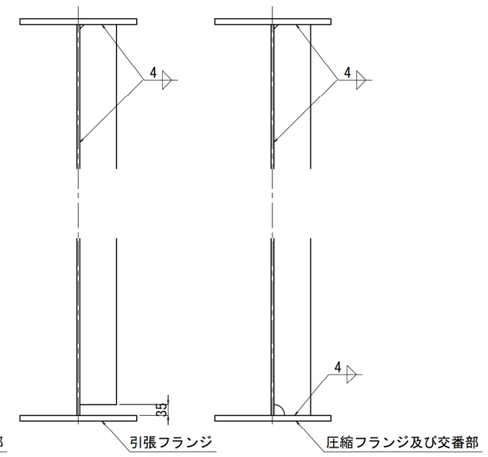
中間支点上



対傾構、分配横桁位置



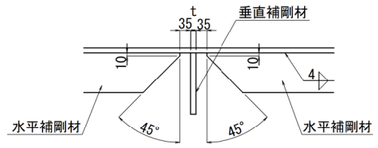
中間補剛材



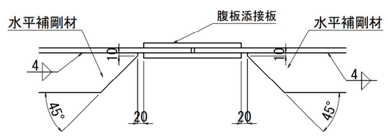
※部溶接は、疲労設計指針より8mm以上とする。

水平補剛材詳細及び溶接

垂直補剛材位置

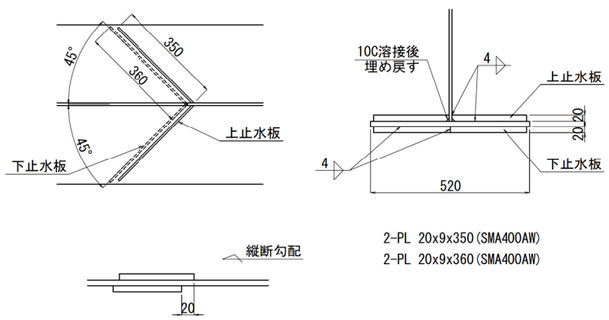


継手位置



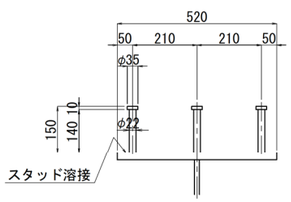
主桁下フランジ止水板詳細図

両桁端に設置

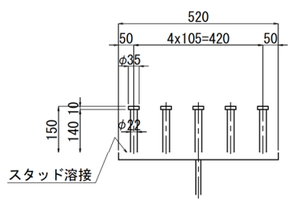


スタッドジベル詳細

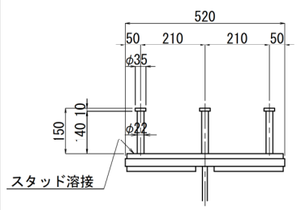
主桁一般部



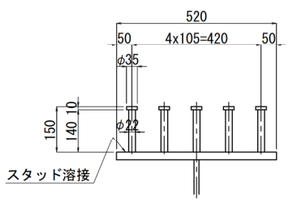
主桁支点部



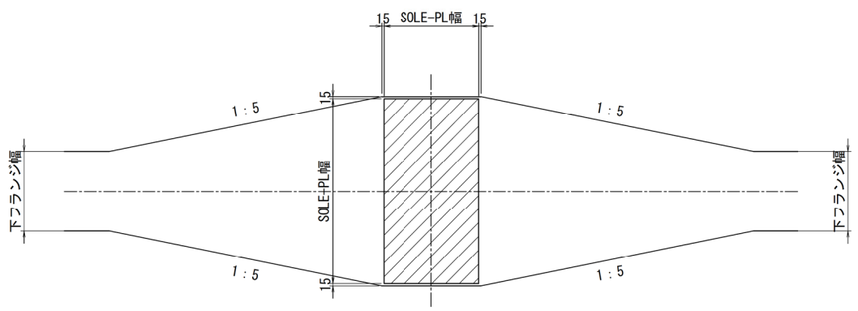
主桁添接一般部



主桁添接支点部

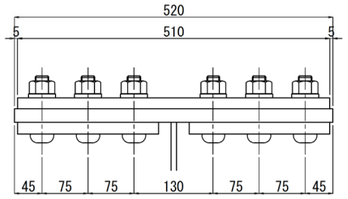


中間支点上下フランジ拡幅要領 S=1:20

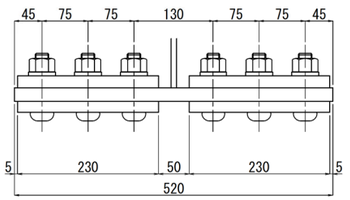


添接板の配置詳細 S=1:5

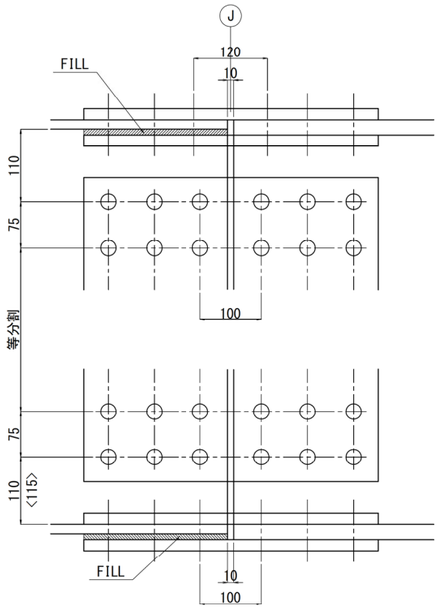
FLG
上フランジ部



下フランジ部

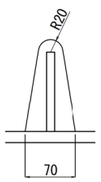


WEB



< > 内寸法はG1のJ3、J4、J19～J21を示す。

下横構ガセットスカーラップ詳細 S=1:5



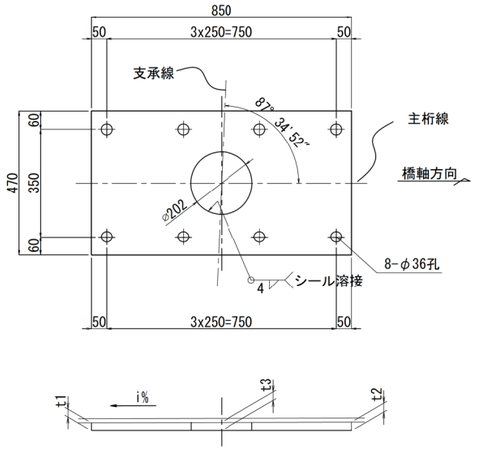
注記：
1. 特記なきスカーラップは全てR35とする。

工事名			
図面名	共通詳細図(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

共通詳細図(その2)　S=1:10

ソールプレート詳細

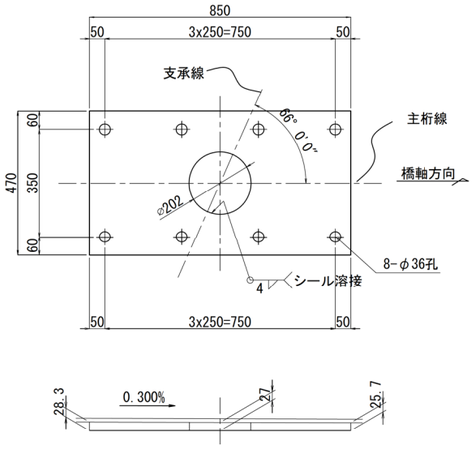
S1
制作数：4



1-SOLE PL 470xtx850(SMA490BW)

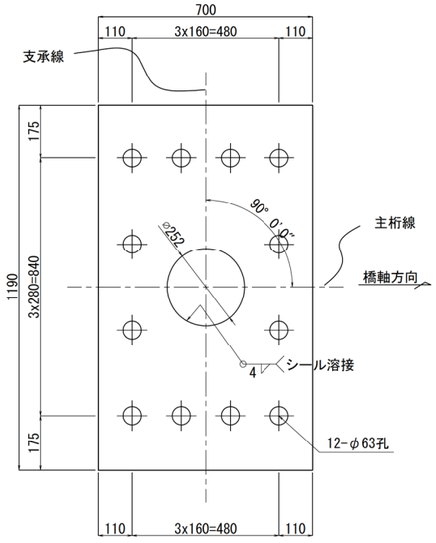
	i	t1	t2	t3	t
G1	0.04	25.8	26.2	26	29
G2	0.79	23.6	30.4	27	33
G3	1.04	23.6	32.4	28	35
G4	1.49	22.7	35.3	29	38

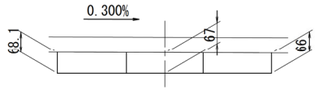
S2
制作数：4



1-SOLE PL 470x31x850(SMA490BW)

P1、P2
制作数：8

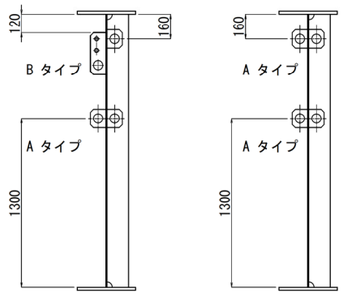




1-SOLE PL 1190x71x700(SMA490CW)

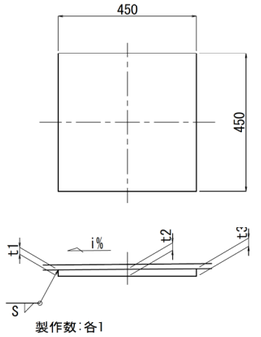
足場用吊金具取付位置図　S=1:20

外桁　　内桁



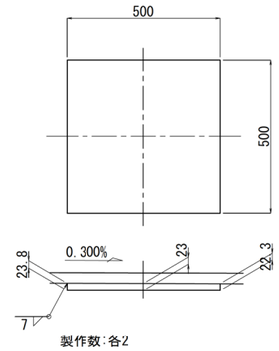
ベースプレート詳細図

端支点
S1、S2



製作数:各1
1-BASE PL 450xtx450(SMA400BW)

中間支点
P1、P2

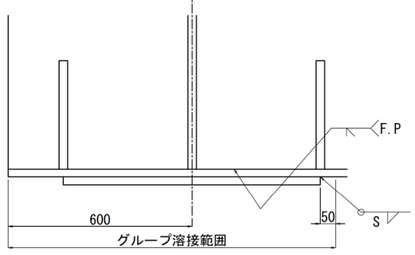


製作数:各2
1-BASE PL 500x26x500(SMA400BW)

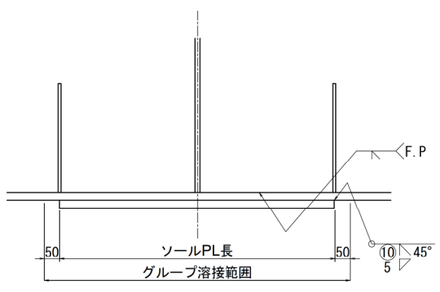
端支点		i	t1	t2	t3	t	S
S1	G1	0.031	22.9	23	23.1	26	7
	G2	0.780	22.2	24	25.8	28	8
	G3	1.041	22.7	25	27.3	30	8
	G4	1.654	22.3	26	29.7	32	8
S2	G1	-0.300	23.8	23	22.3	26	7
	G2	-0.300	23.8	23	22.3	26	7
	G3	-0.300	23.8	23	22.3	26	7
	G4	-0.300	23.8	23	22.3	26	7

主桁支点部ウェブ下端の溶接詳細

端支点
S1、S2

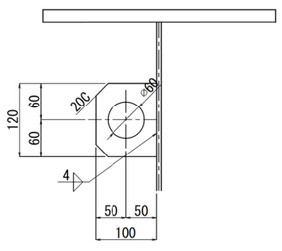


中間支点
P1、P2



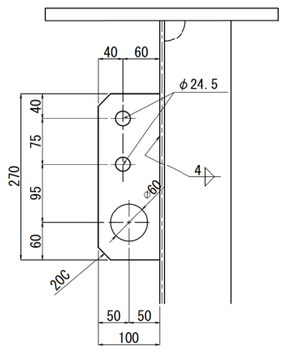
吊金具詳細図　S=1:5

A タイプ
(1.8m以内)



1-PL 100x 9x 120(SMA400AW)

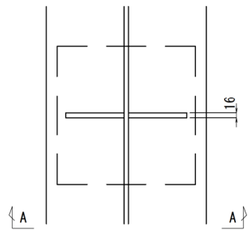
B タイプ
(1.8m以内)



1-PL 100x 9x 270(SMA400AW)

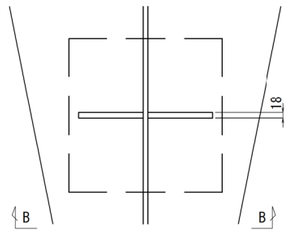
ジャッキアップ補強詳細図

端支点(主桁設置)
S1、S2



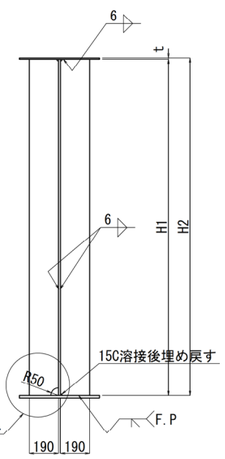
端支点		t	H1	H2	h
S1	G1	22	2224.0	2246.0	2224
	G2	20	2225.6	2245.6	2226
	G3	20	2225.2	2245.2	2226
	G4	22	2222.9	2244.9	2223
S2	G1	22	2778	2800	2778
	G2	18	2782	2800	2782
	G3	17	2783	2800	2783
	G4	16	2784	2800	2784

中間支点(主桁設置)
P1、P2



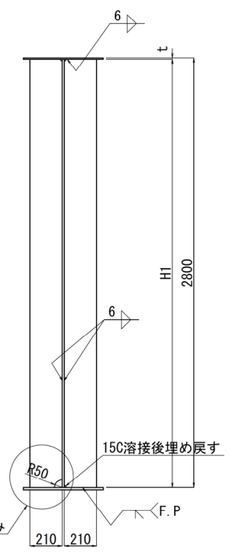
中間支点		t	H1	h
P1	G1	29	2771	2771
	G2	16	2784	2784
	G3	17	2783	2783
	G4	30	2770	2770
P2	G1	31	2769	2769
	G2	16	2784	2784
	G3	16	2784	2784
	G4	26	2774	2774

A - A　S=1:20



製作数:各1
2-PL 190x16xh(SMA400AW)

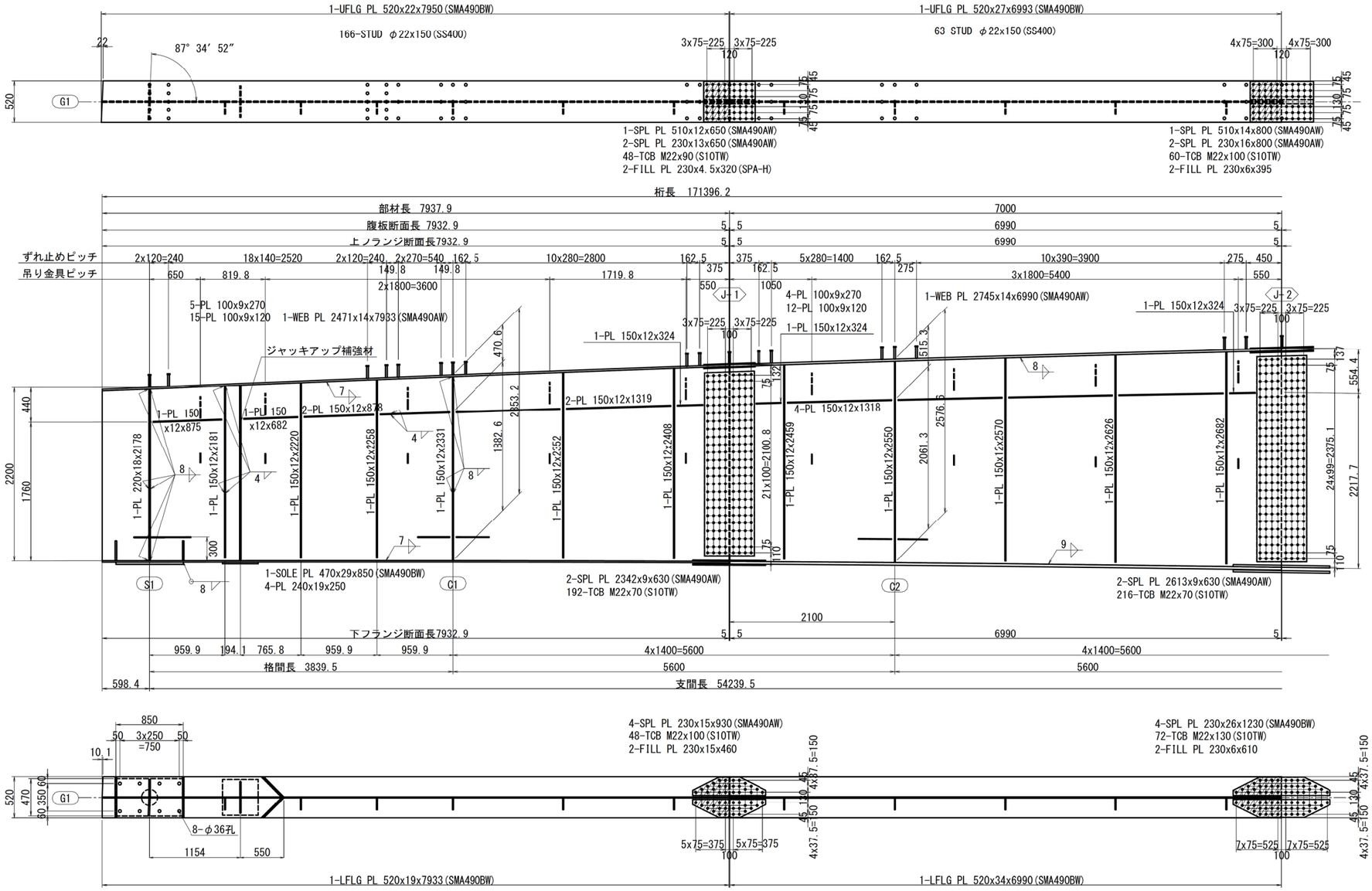
B - B　S=1:20



製作数:各2
2-PL 210x18xh(SMA400AW)

工事名	
図面名	共通詳細図(その2)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

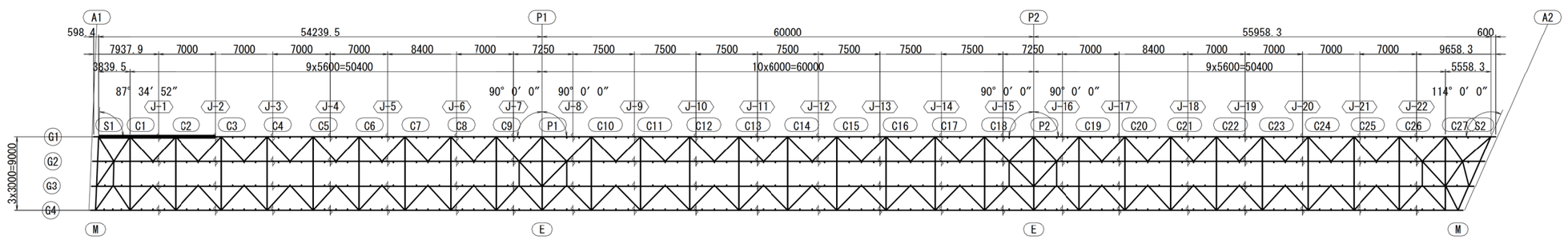
主桁G1(その1)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



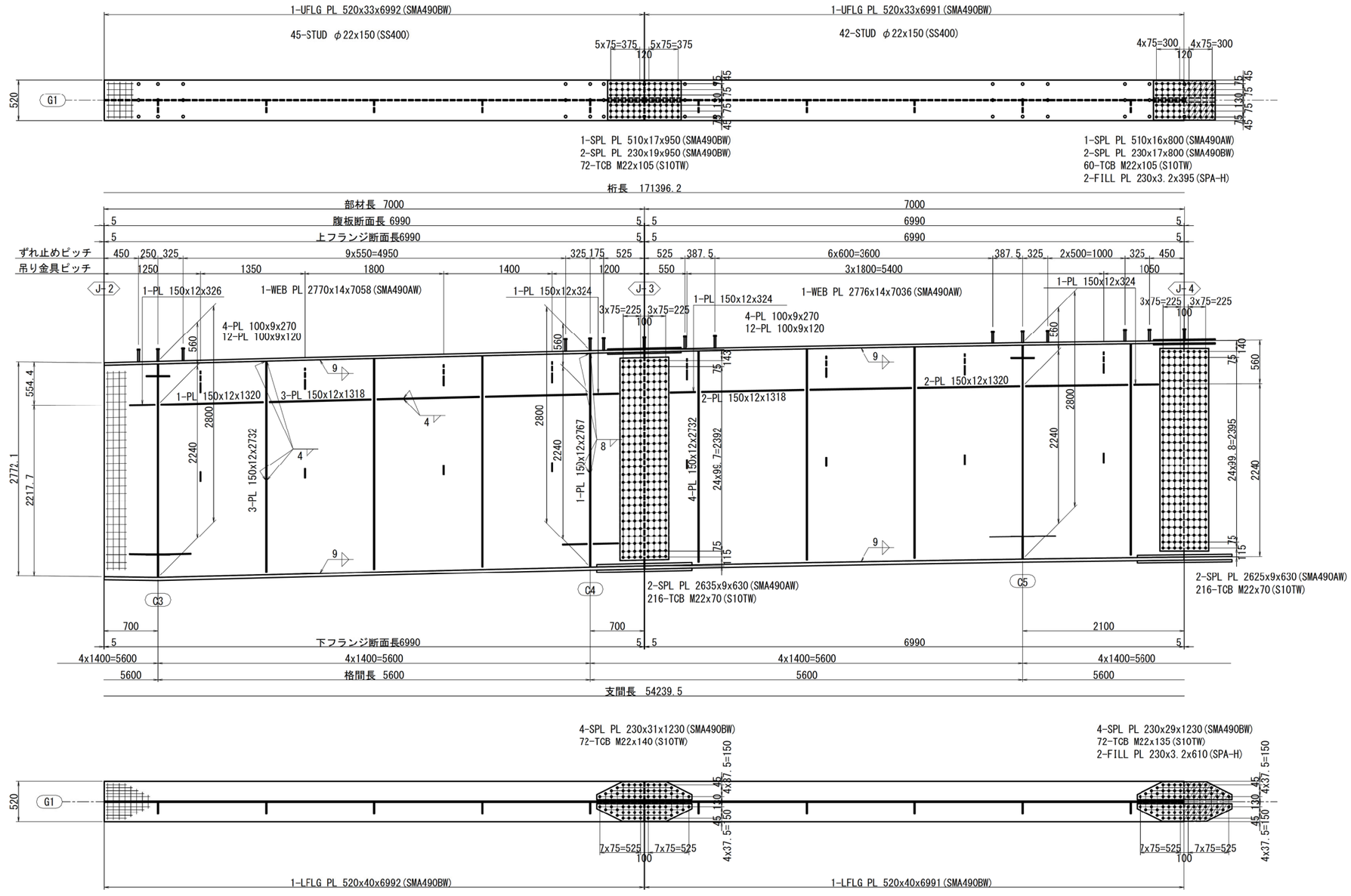
配　置　図　S=1:300



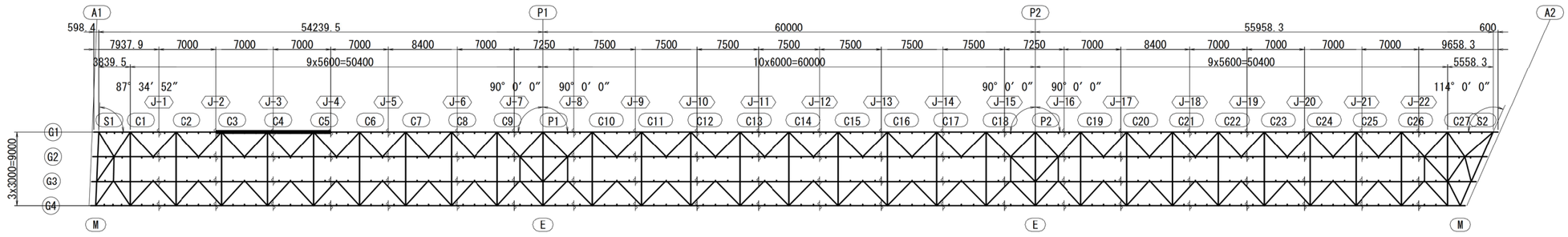
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G1(その2)　S=1:30



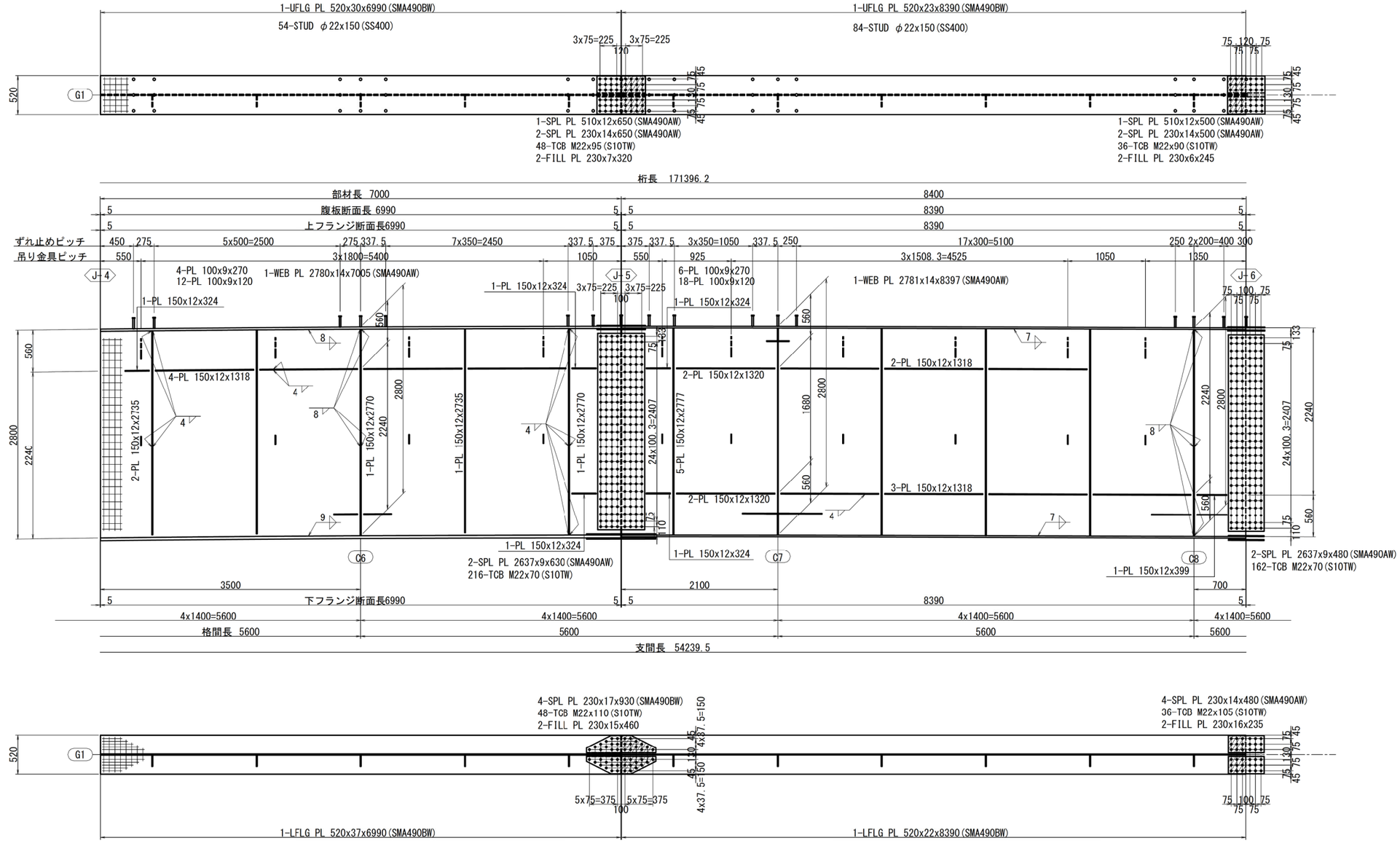
配　置　図　S=1:300



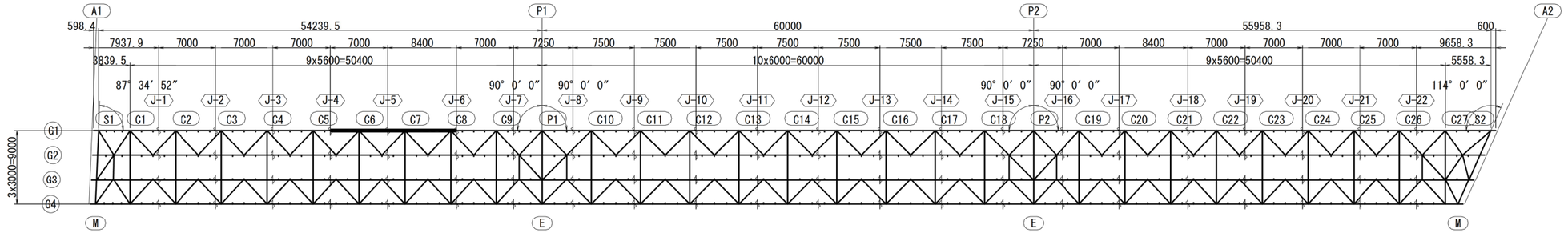
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G1(その3)　S=1:30



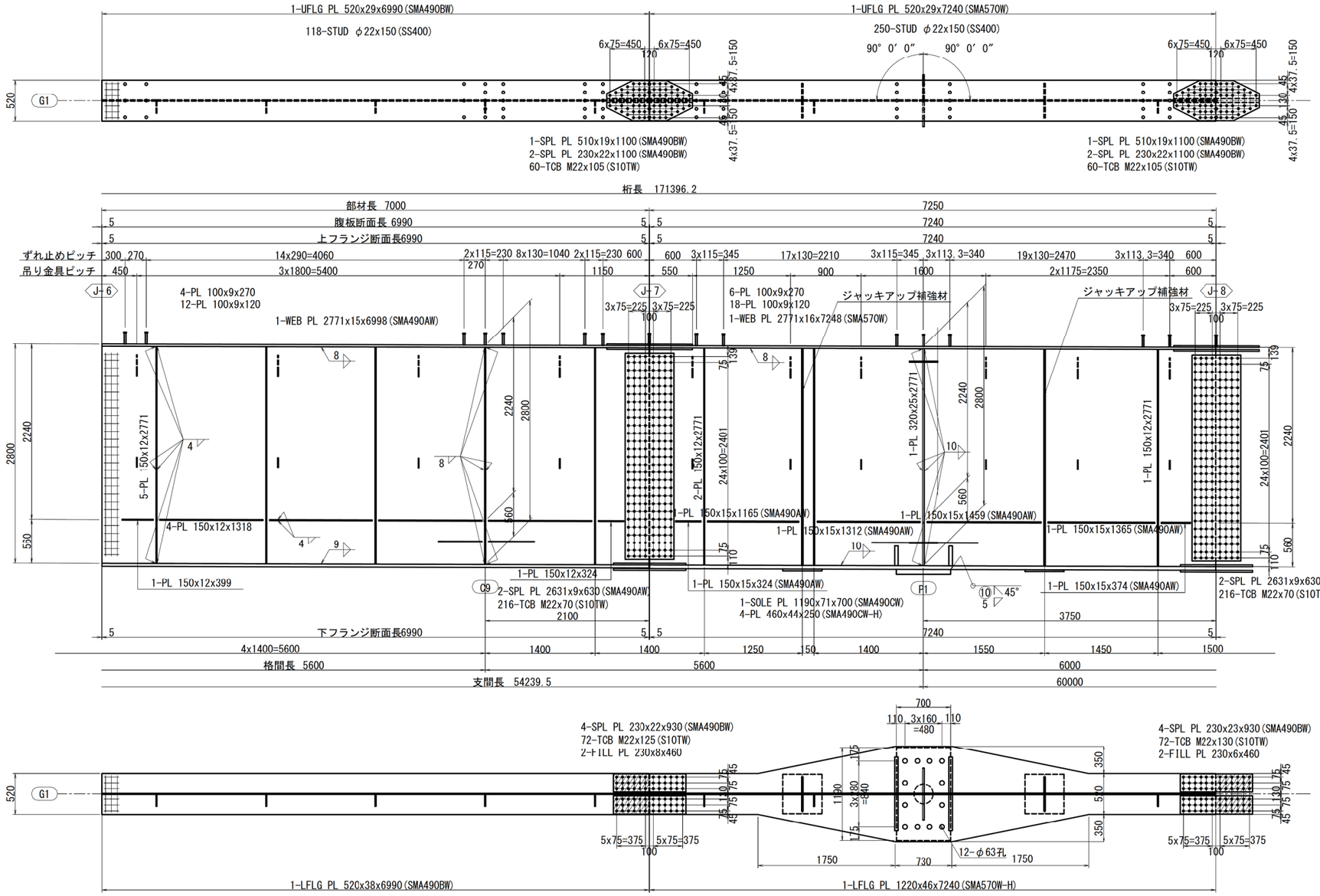
配　置　図　S=1:300



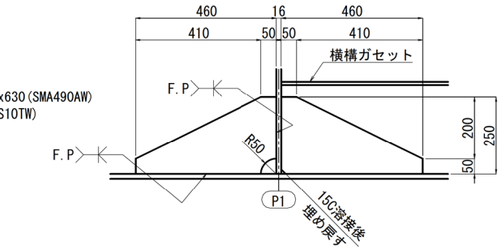
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名	
図面名	主桁G1(その3)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

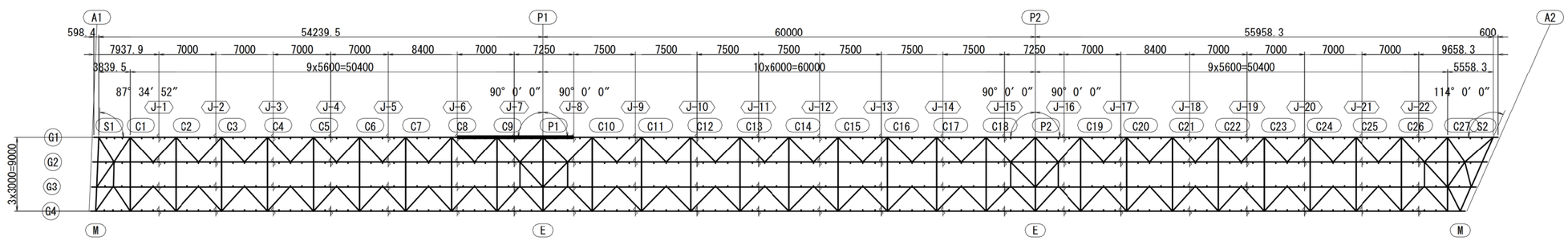
主桁G1(その4)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



配　置　図　S=1:300

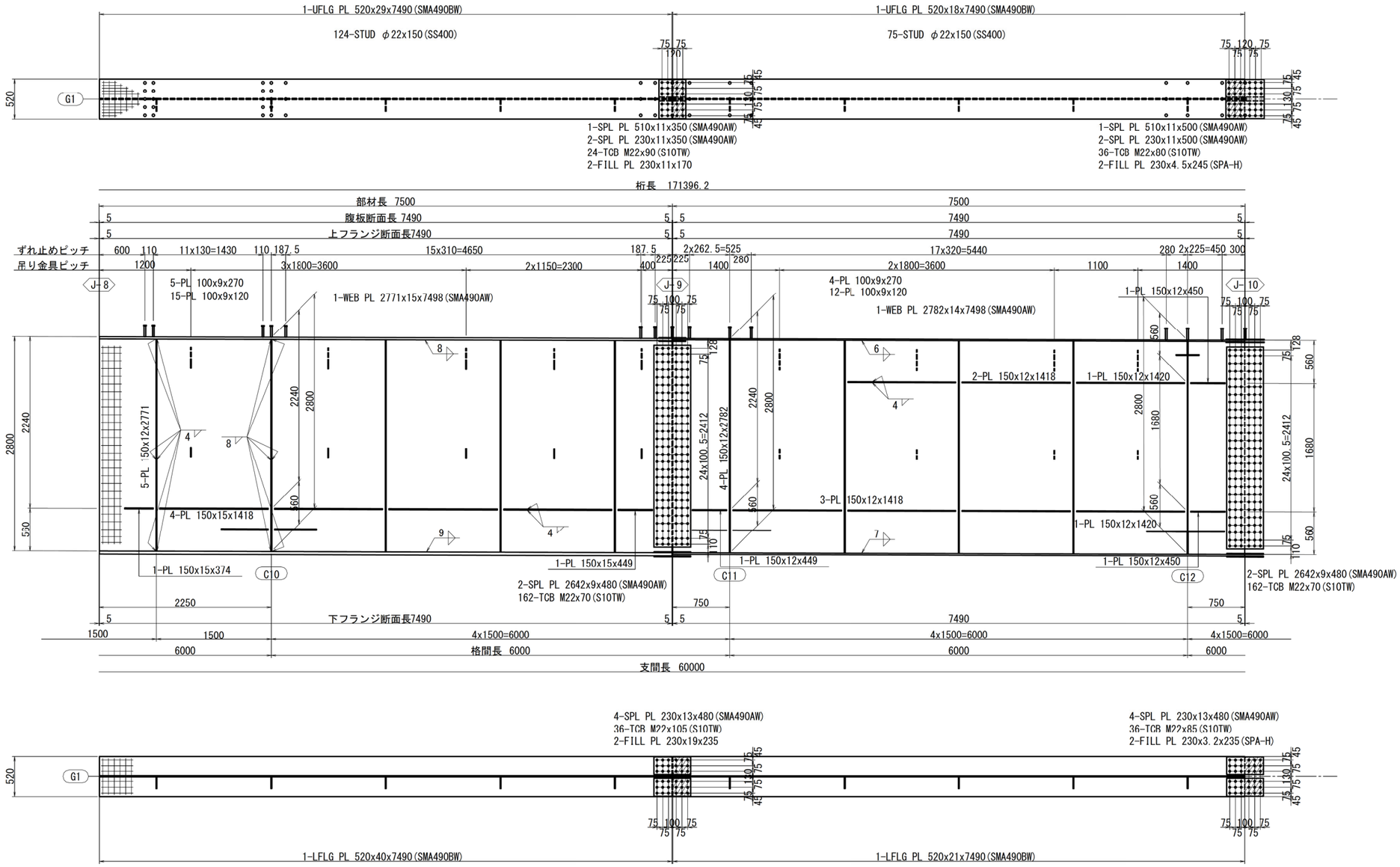


注)

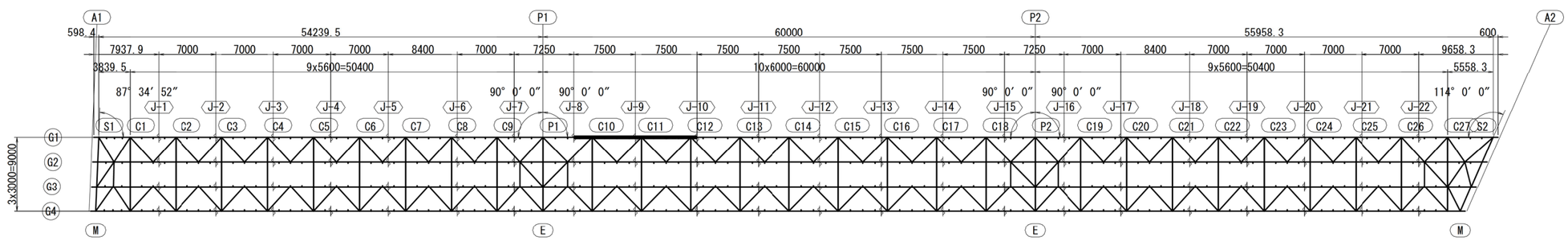
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G1(その5)　S=1:30



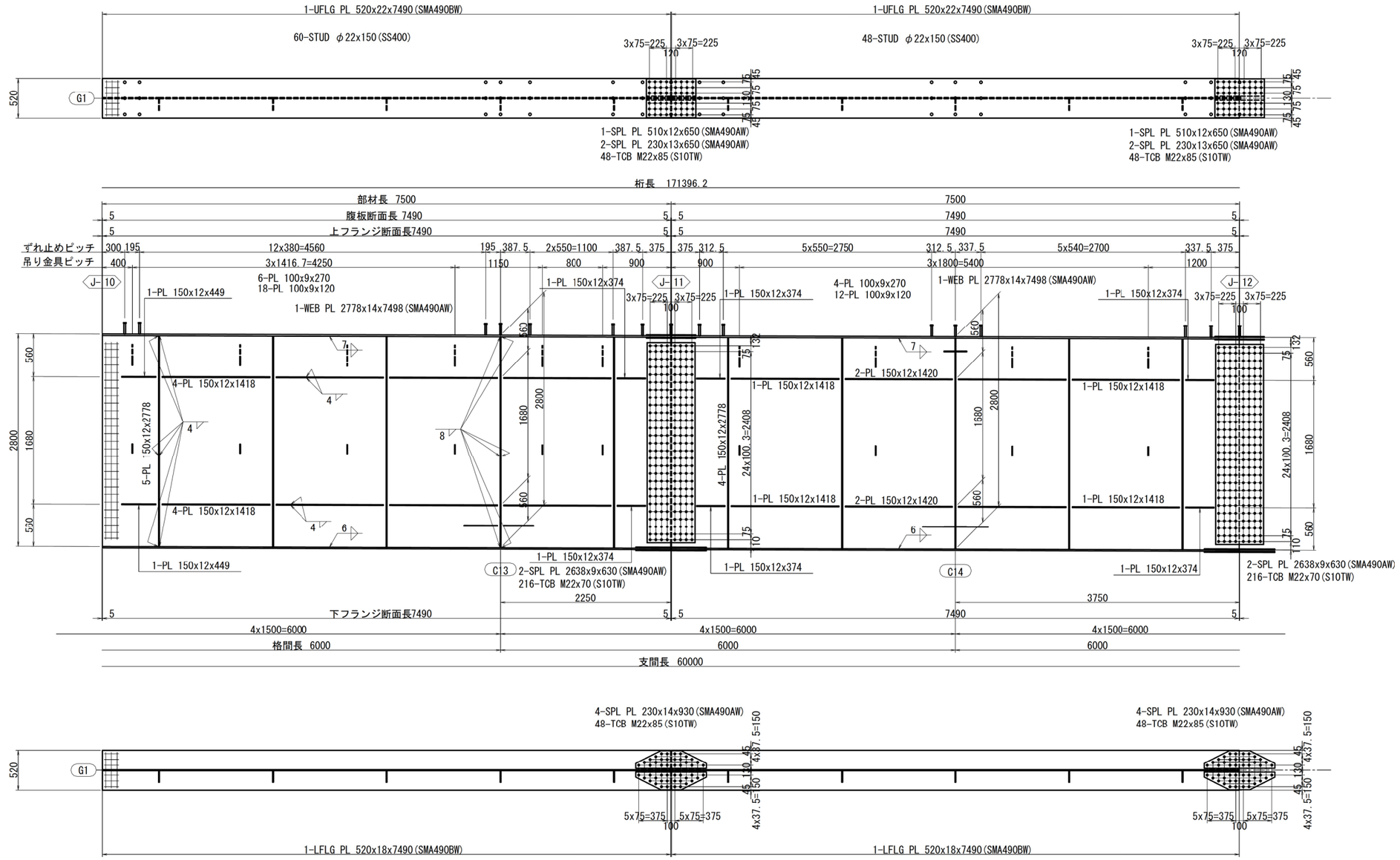
配　置　図　S=1:300



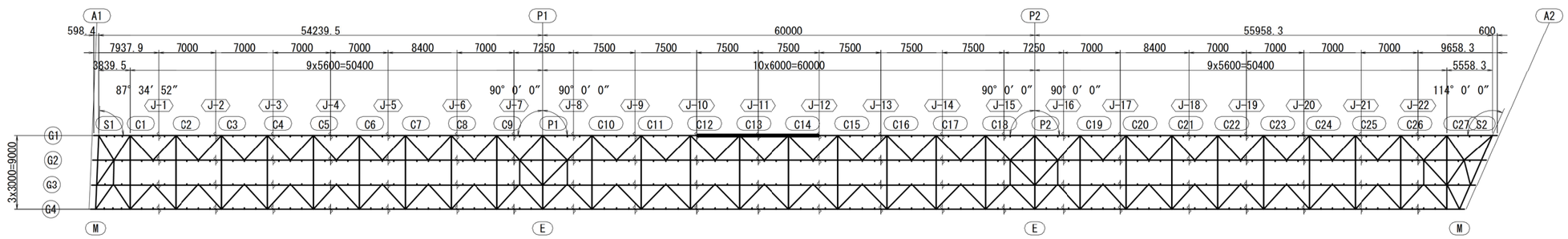
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その5)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G1(その6)　S=1:30



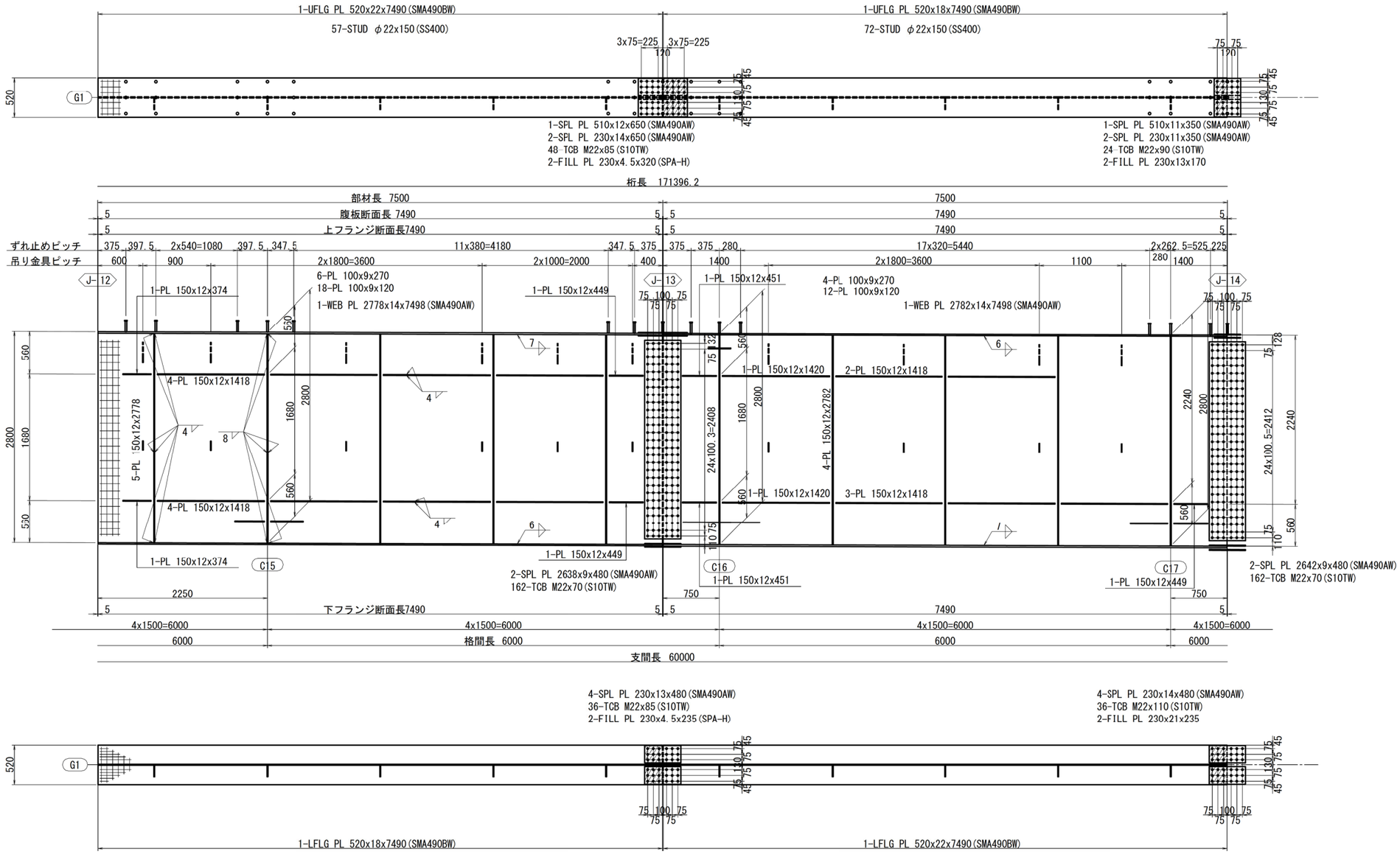
配　置　図　S=1:300



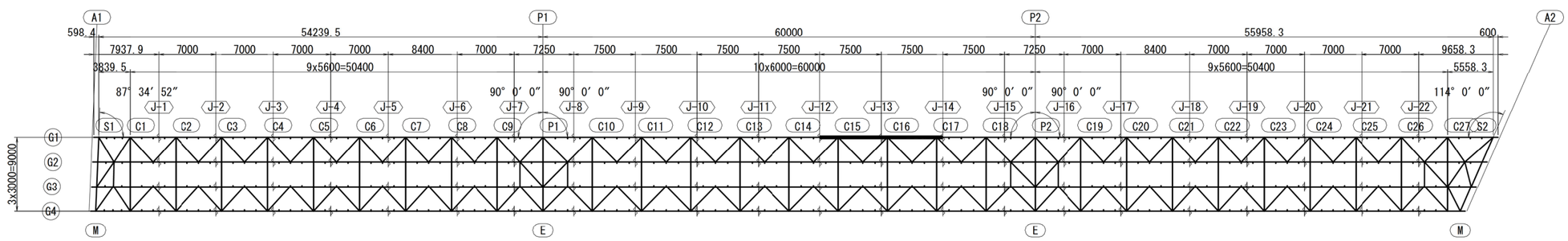
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その6)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G1(その7)　S=1:30



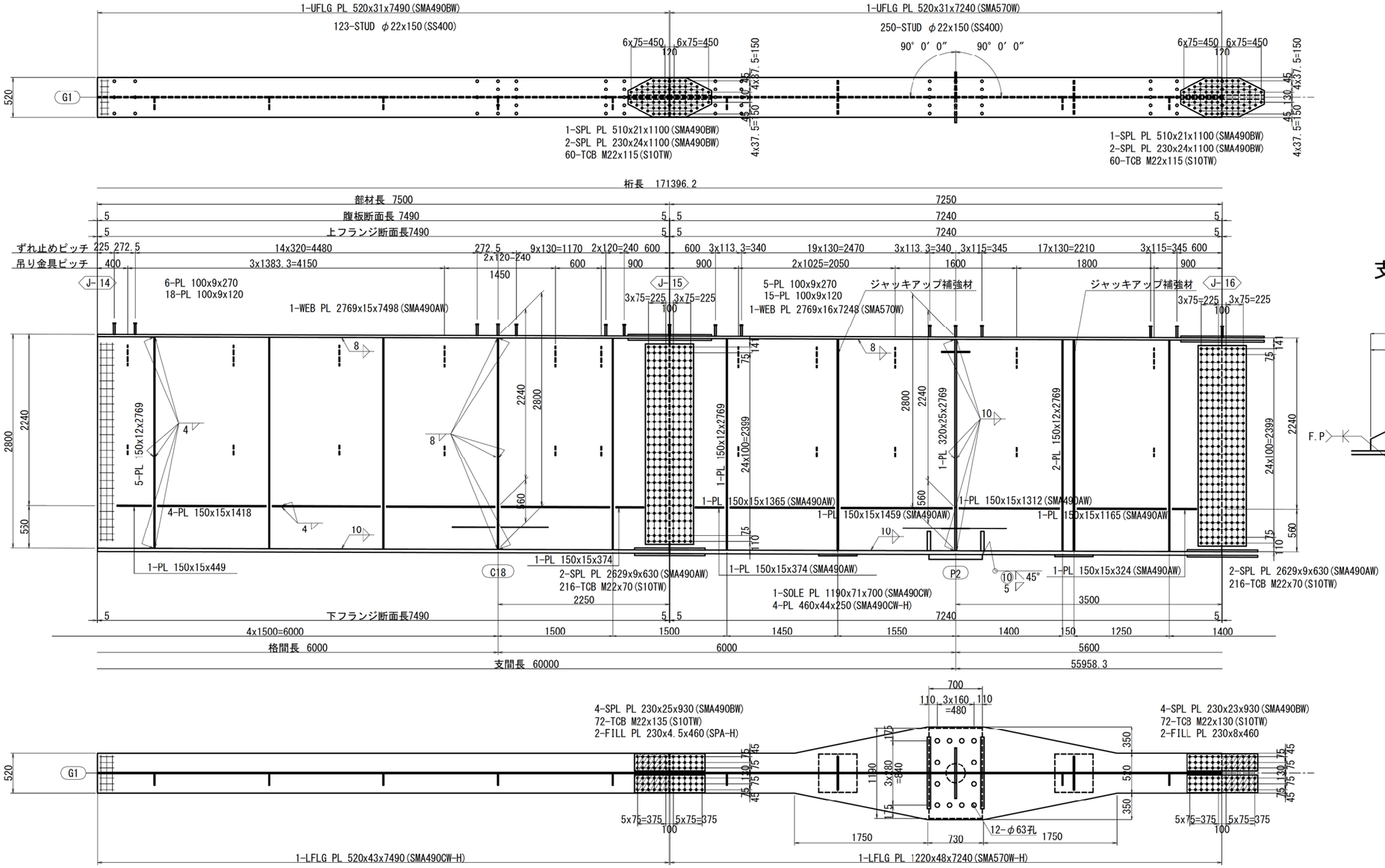
配　置　図　S=1:300



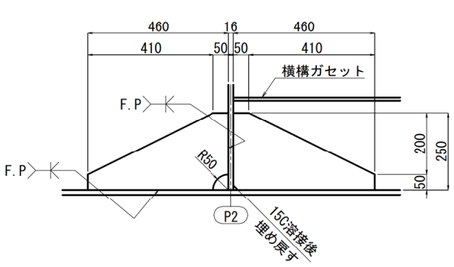
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その7)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

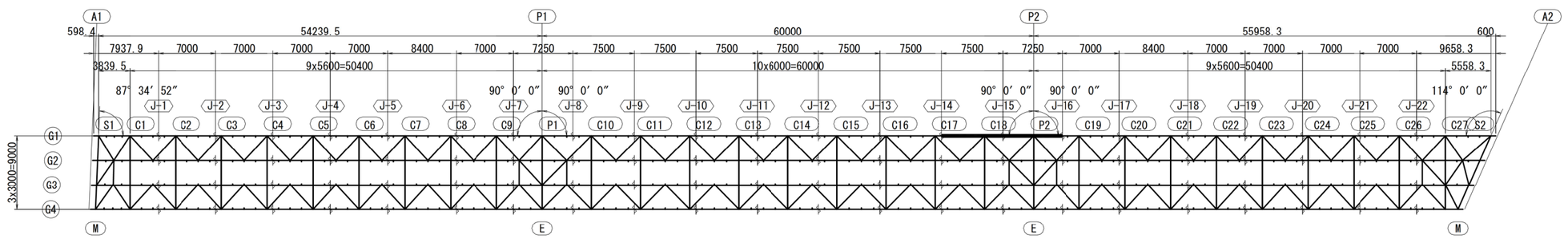
主桁G1(その8)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



配　置　図　S=1:300

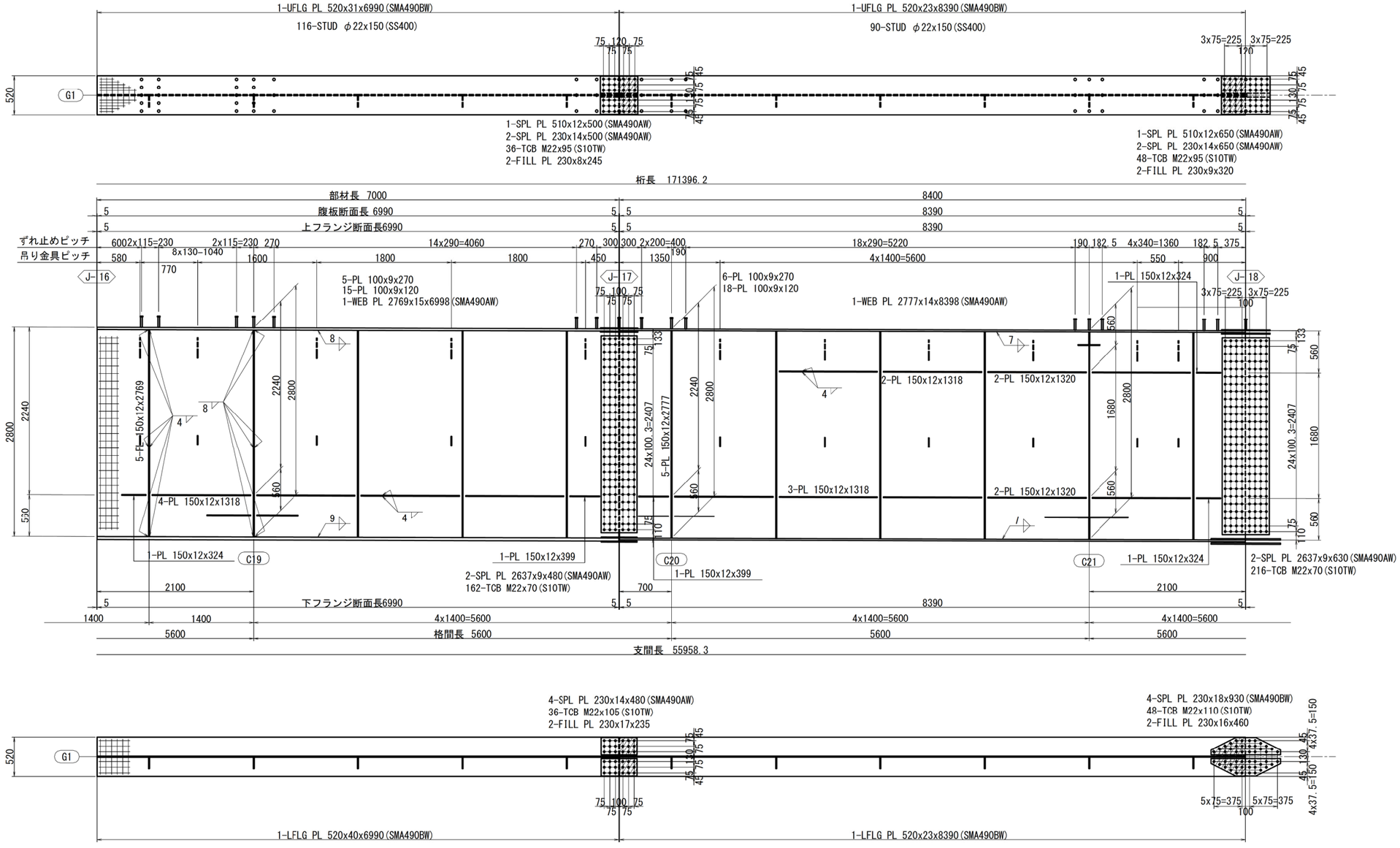


注)

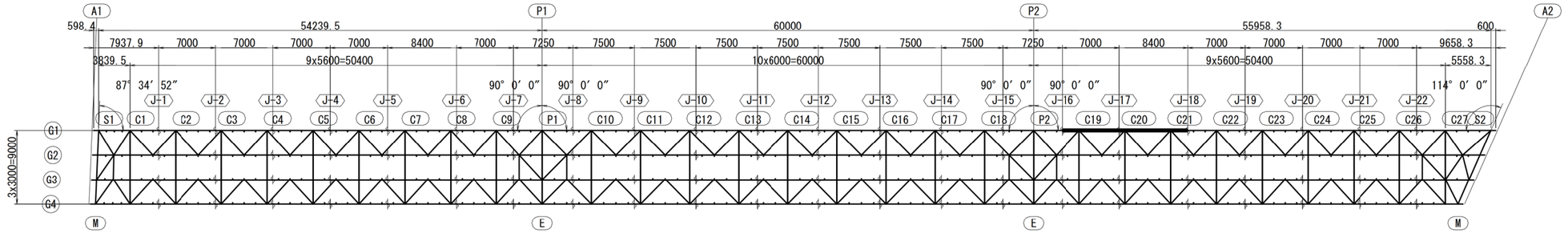
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その8)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G1(その9)　S=1:30



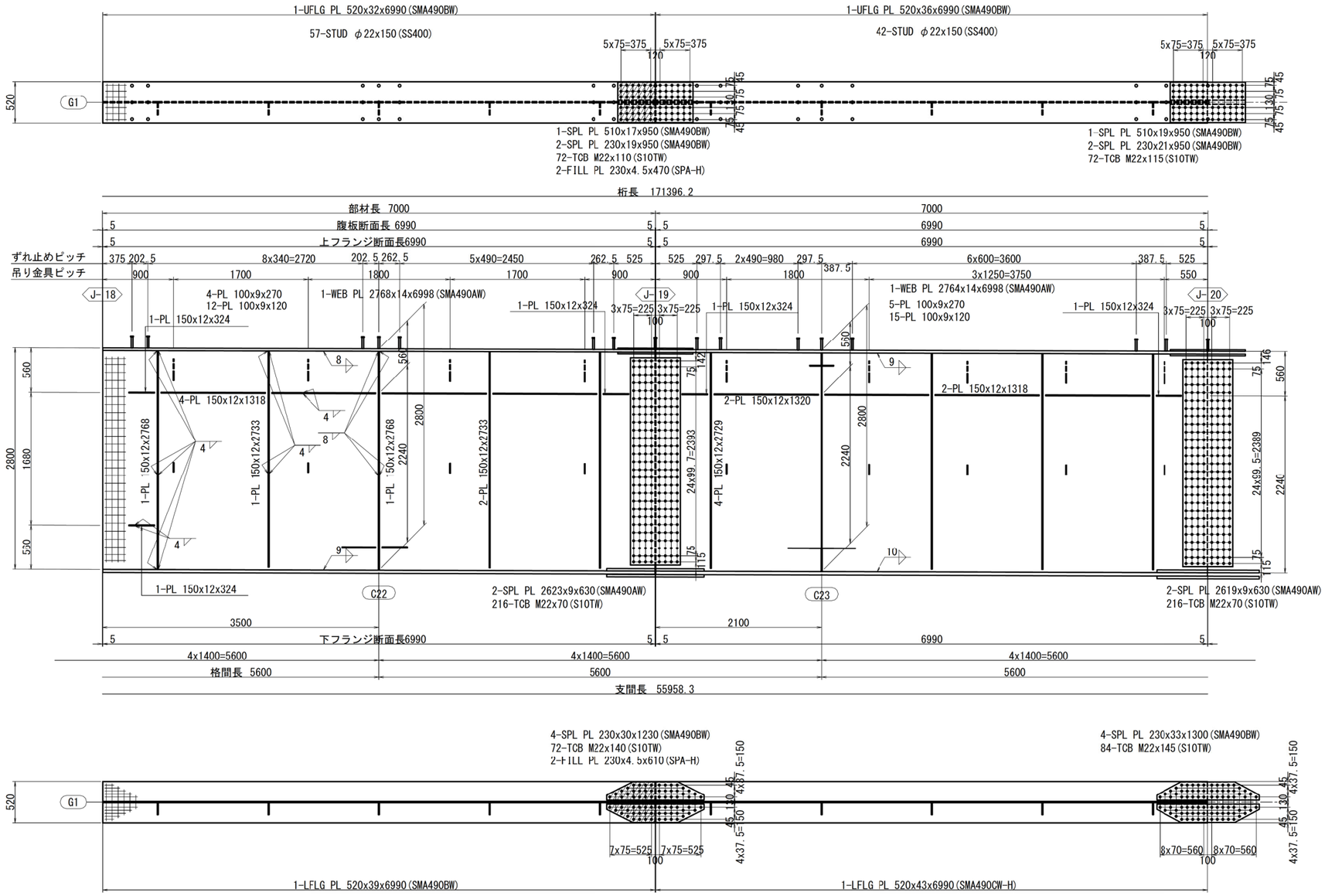
配　置　図　S=1:300



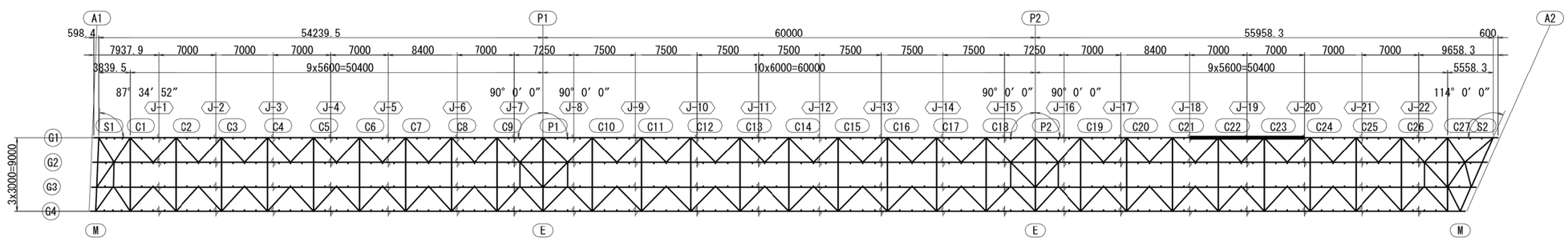
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その9)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G1(その10)　S=1:30



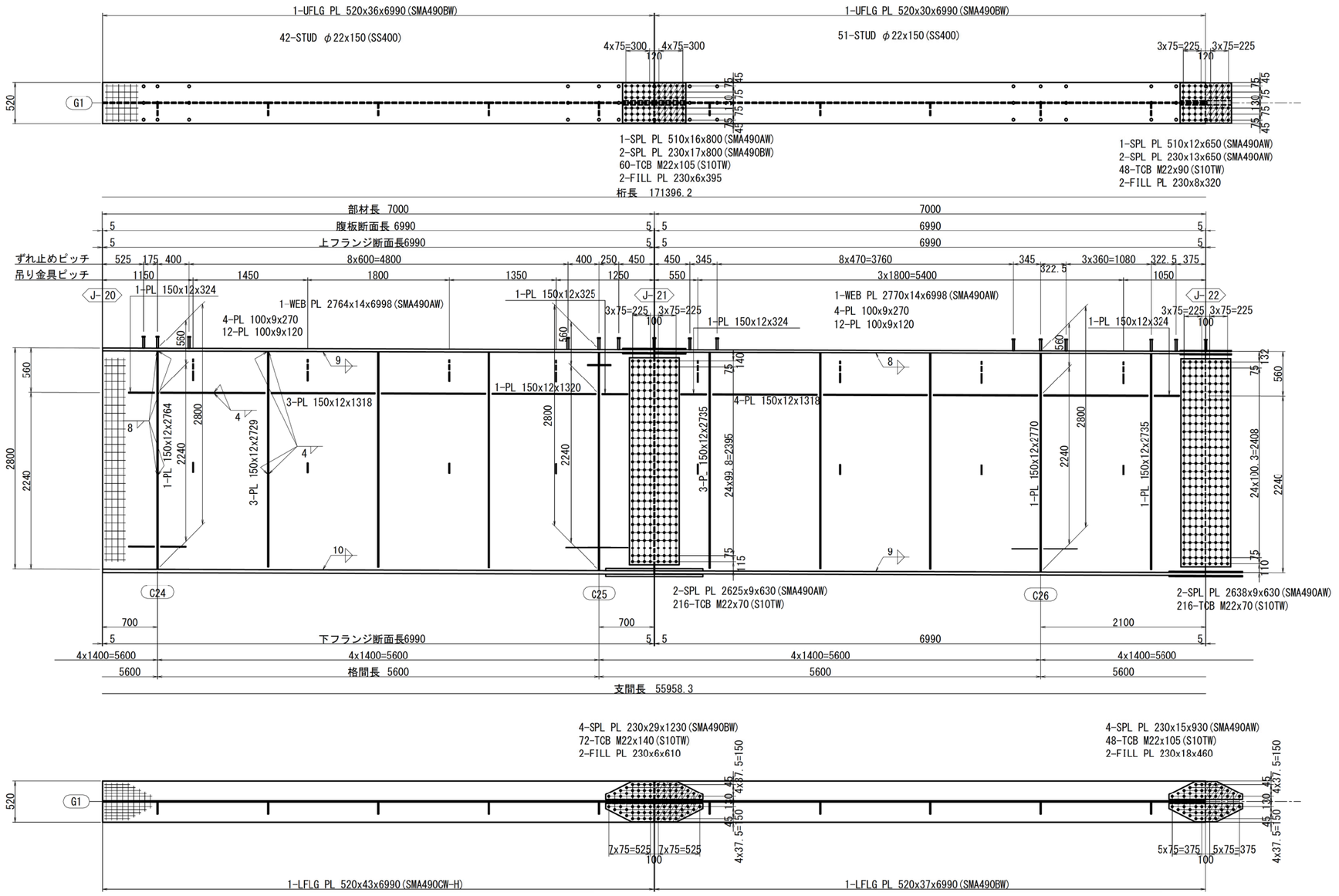
配　置　図　S=1:300



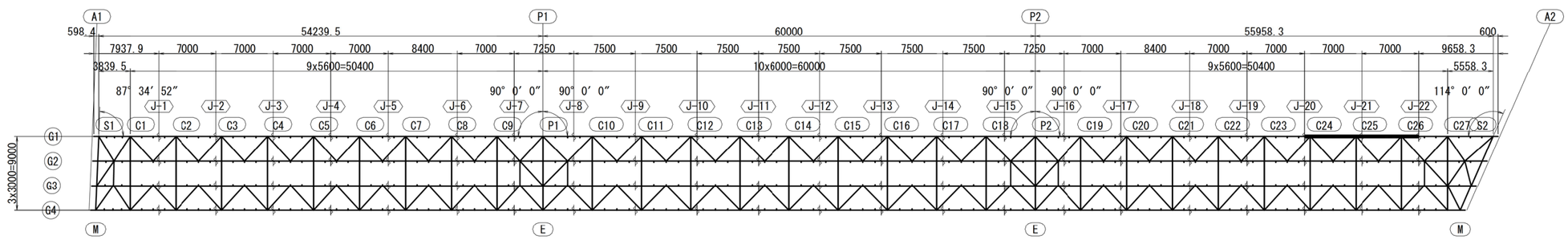
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その10)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G1(その11)　S=1:30



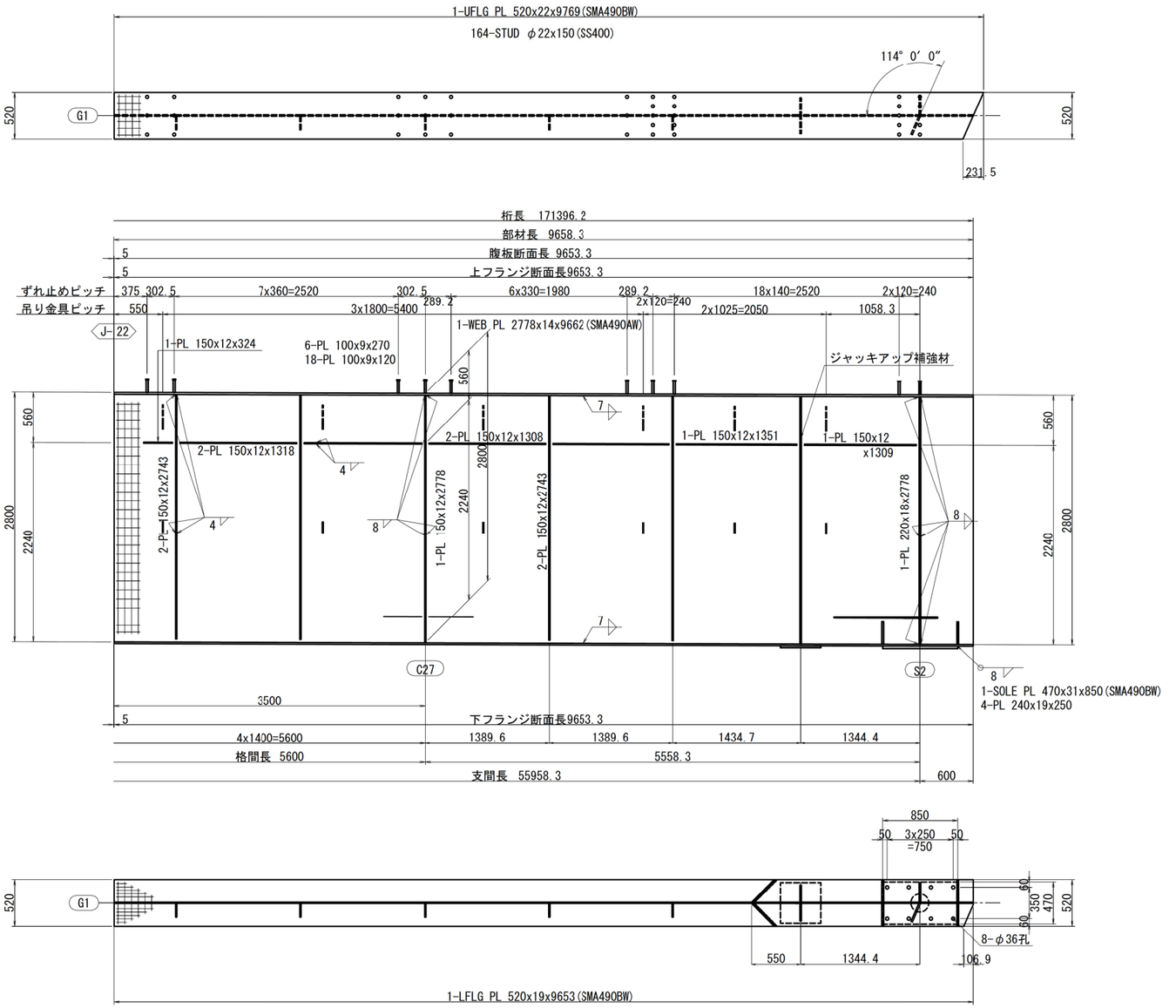
配　置　図　S=1:300



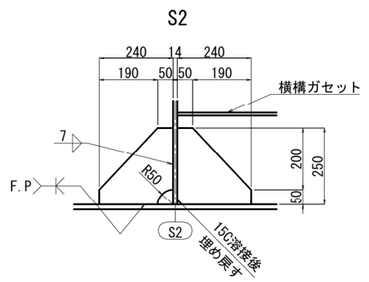
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その11)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

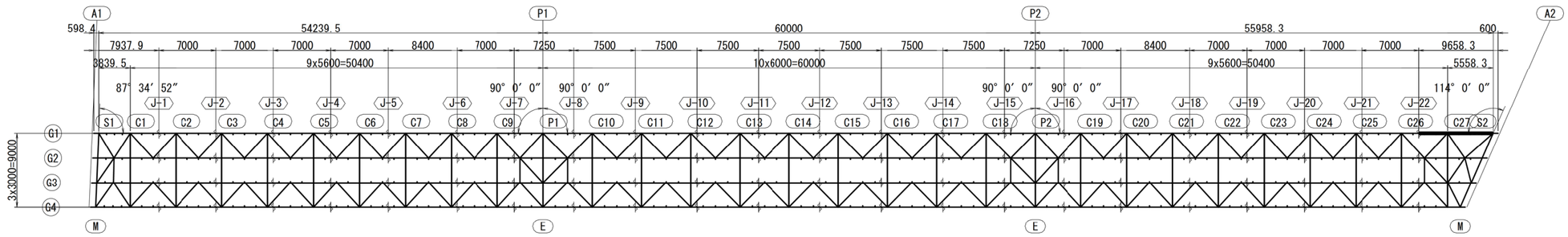
主桁G1(その12)　S=1:30



支点補強リブ詳細　S=1:10



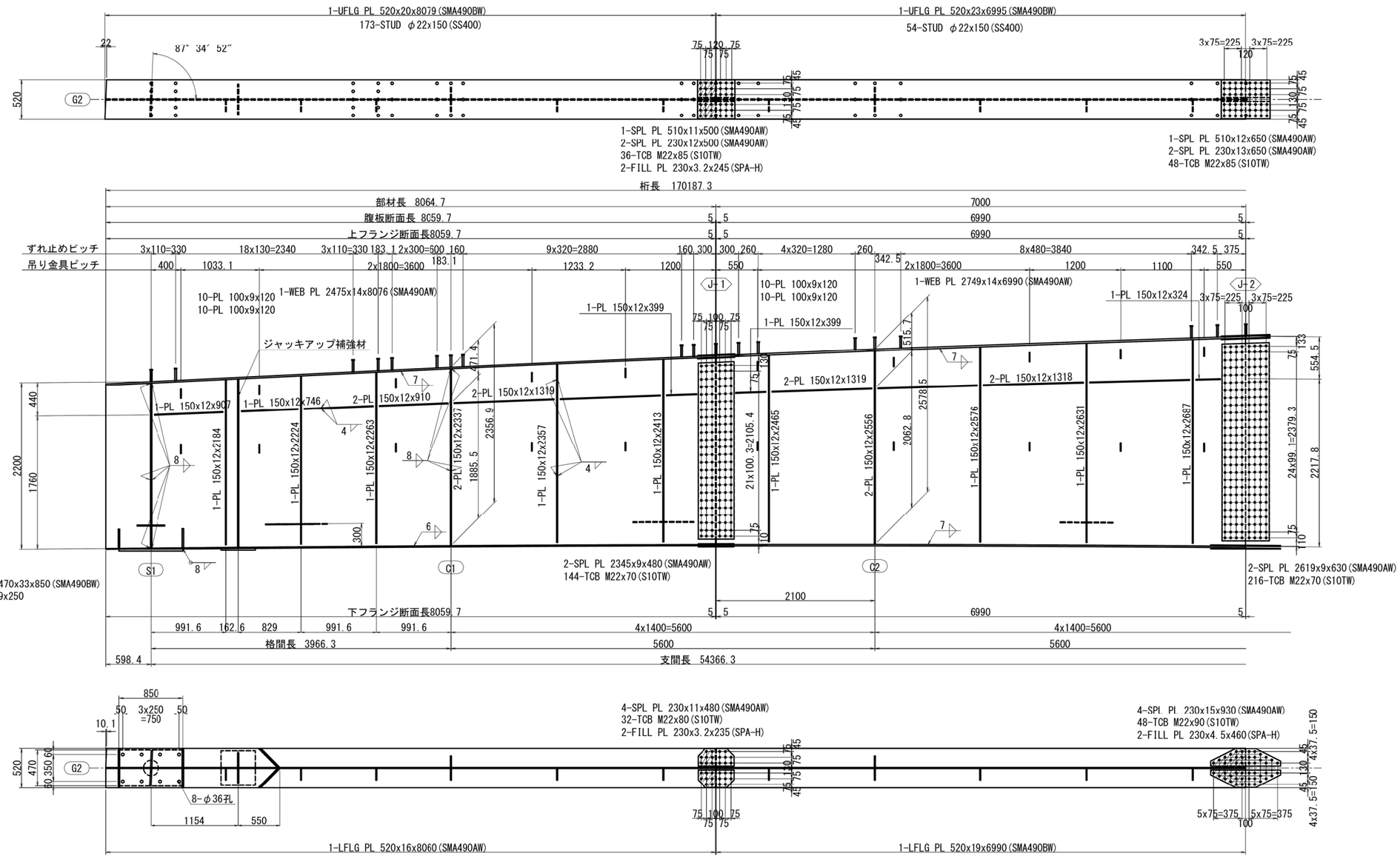
配　置　図　S=1:300



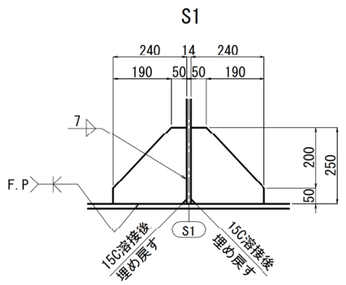
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G1(その12)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

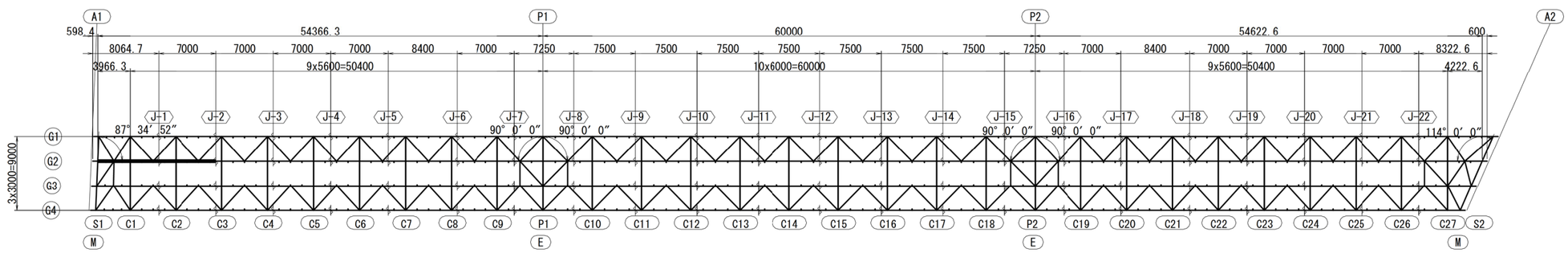
主桁G2(その1)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



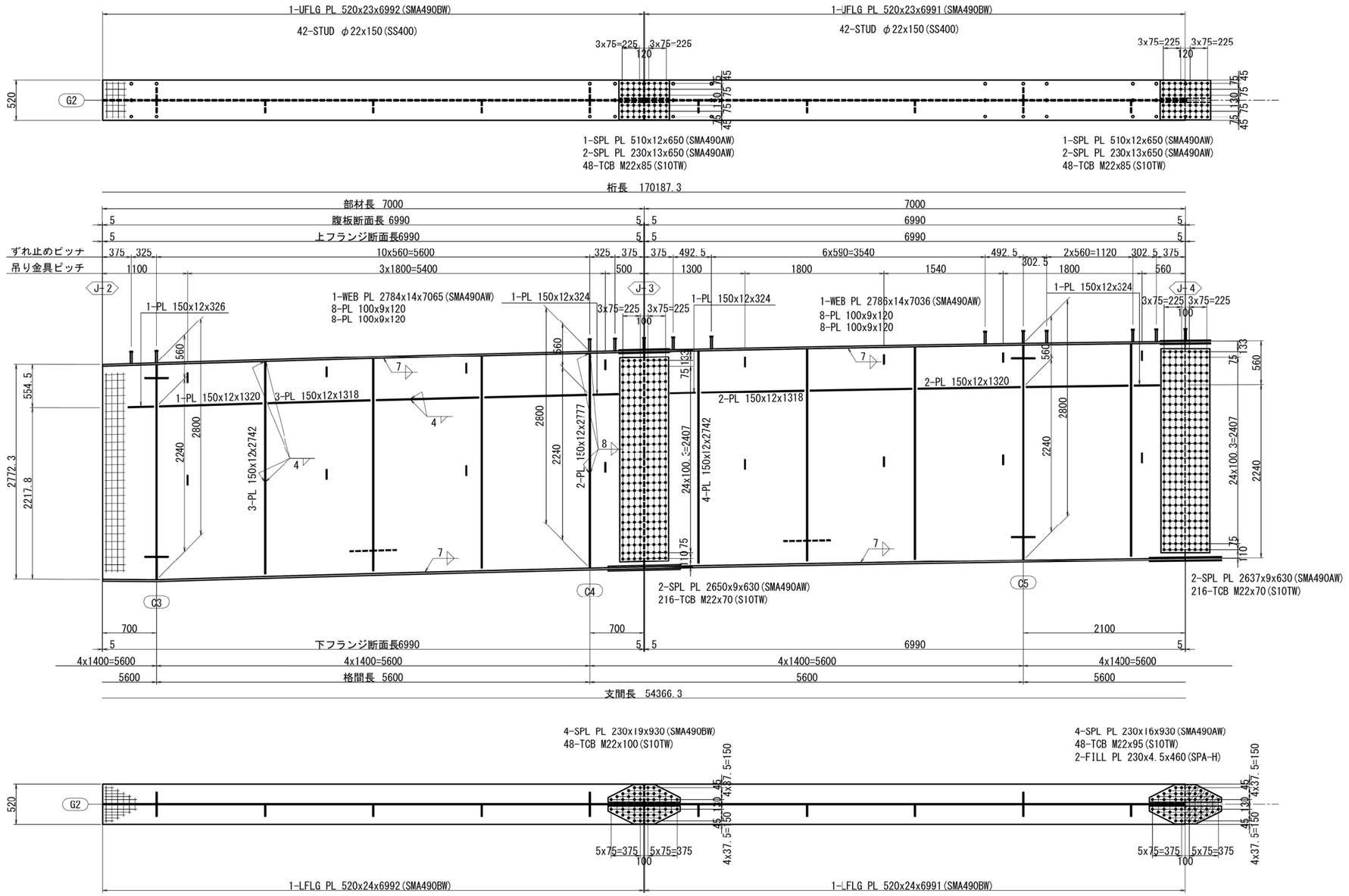
配　置　図　S=1:300



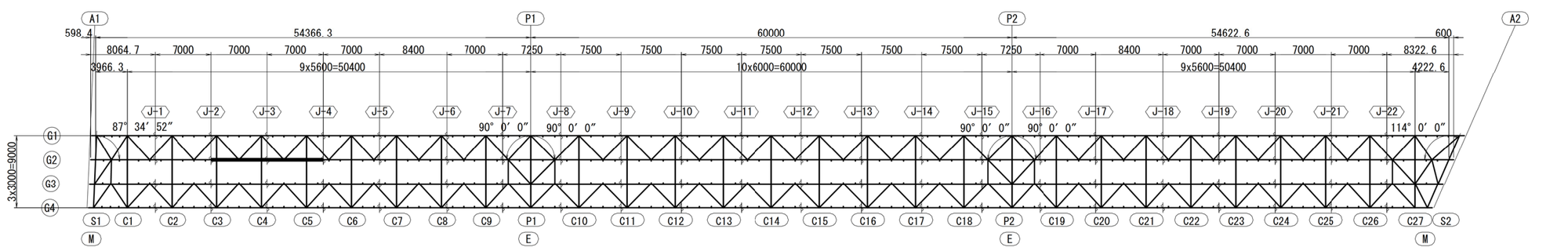
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G2(その2)　S=1:30



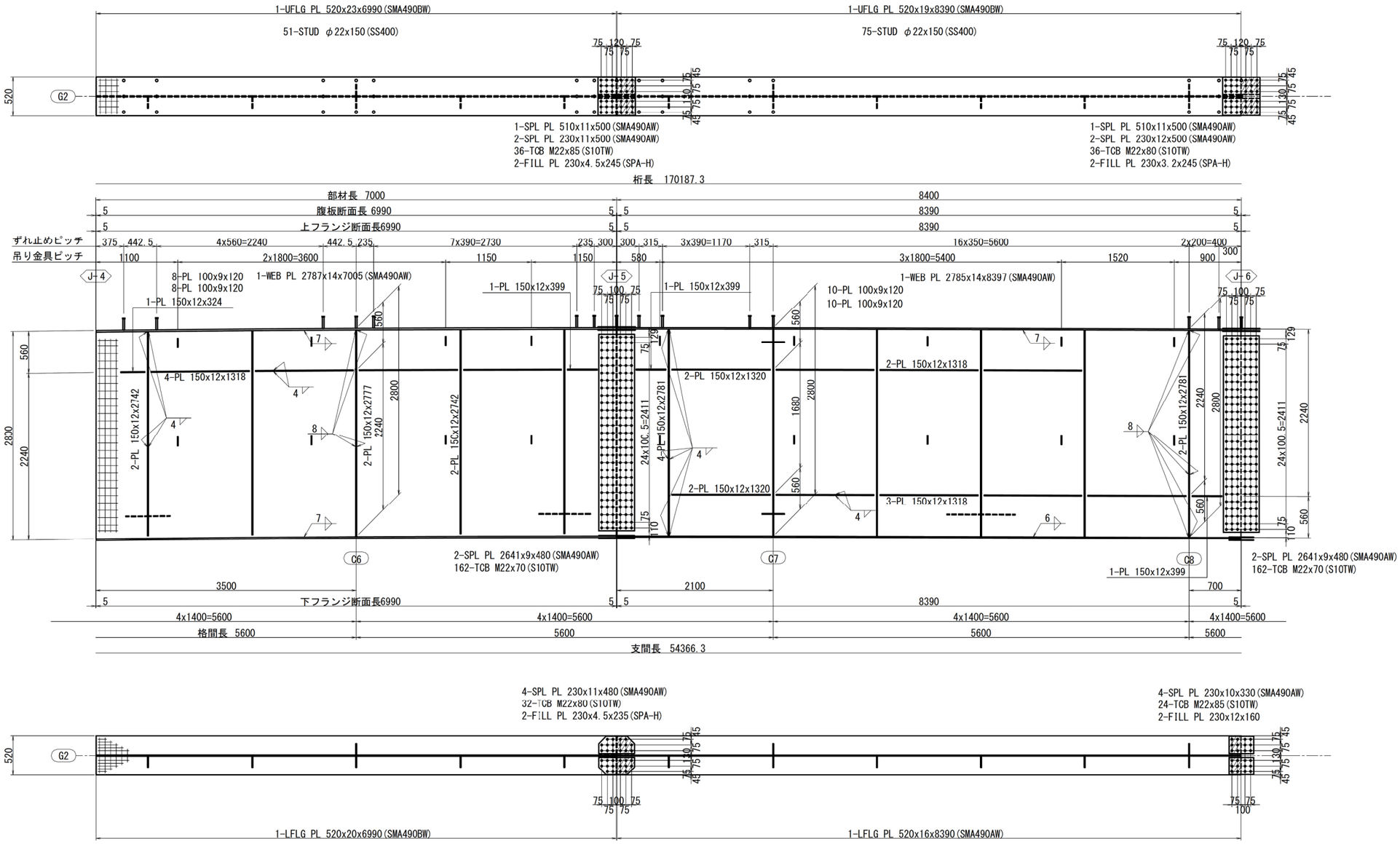
配　置　図　S=1:300



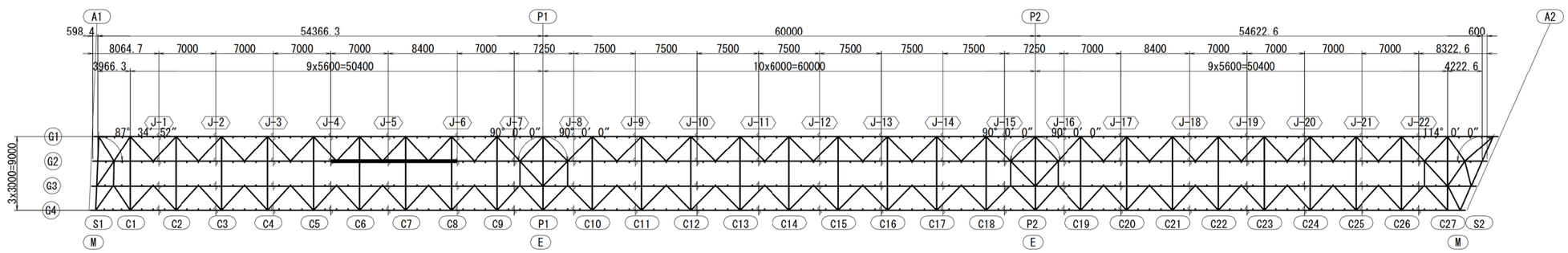
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名	
図面名	主桁G2(その2)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

主桁G2(その3)　S=1:30



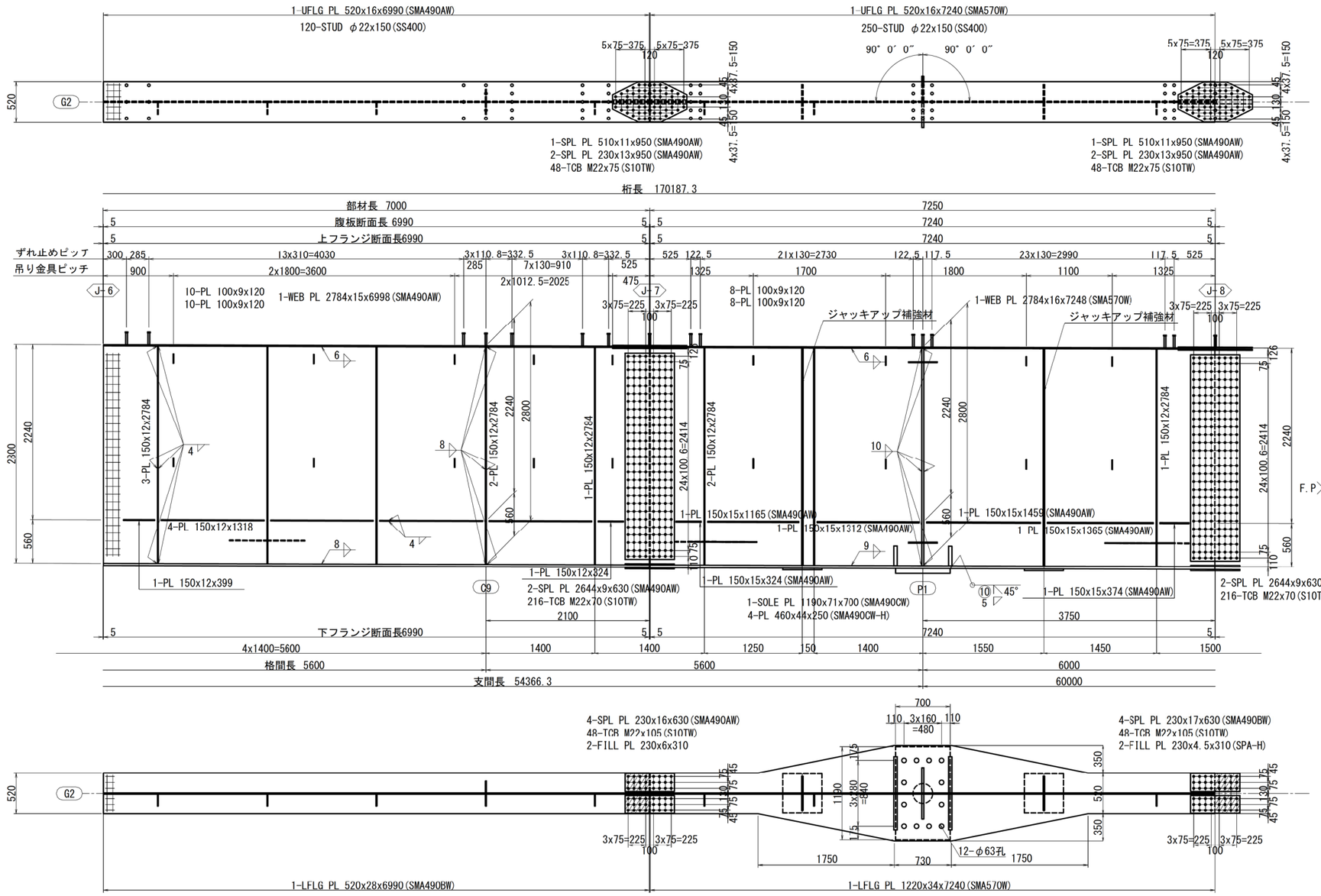
配　置　図　S=1:300



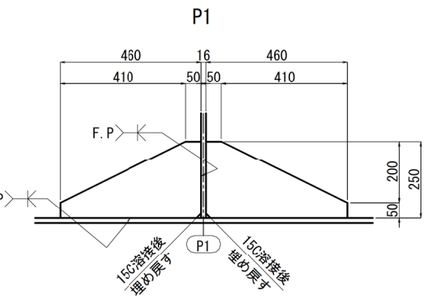
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

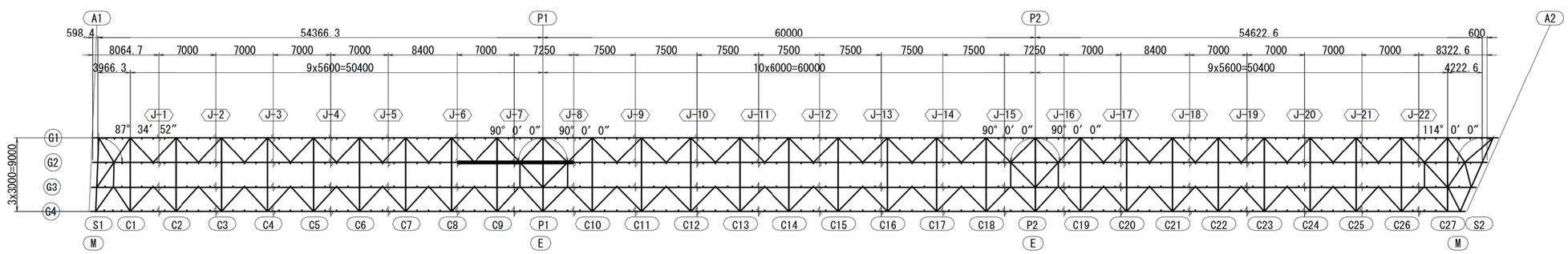
主桁G2(その4)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



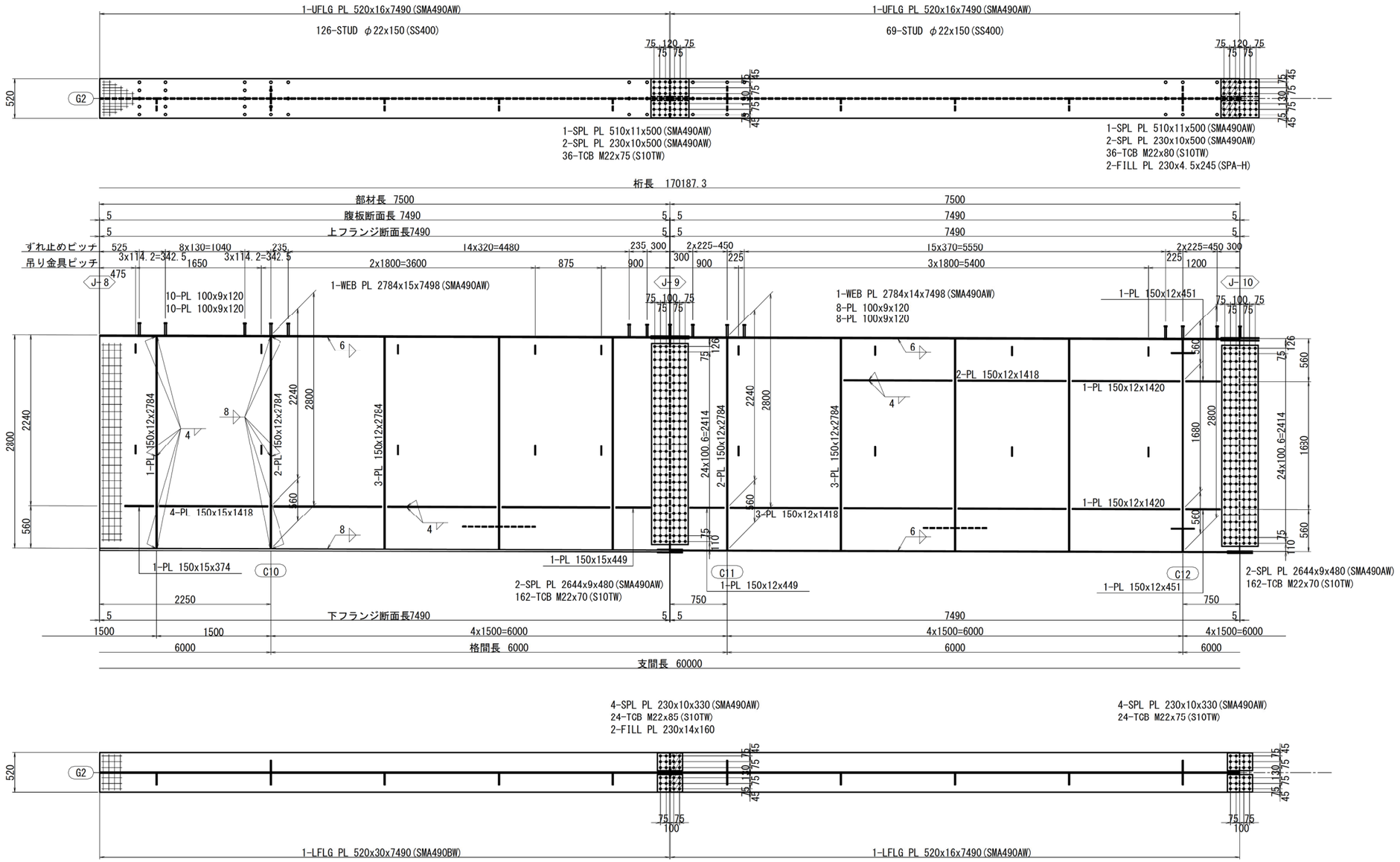
配　置　図　S=1:300



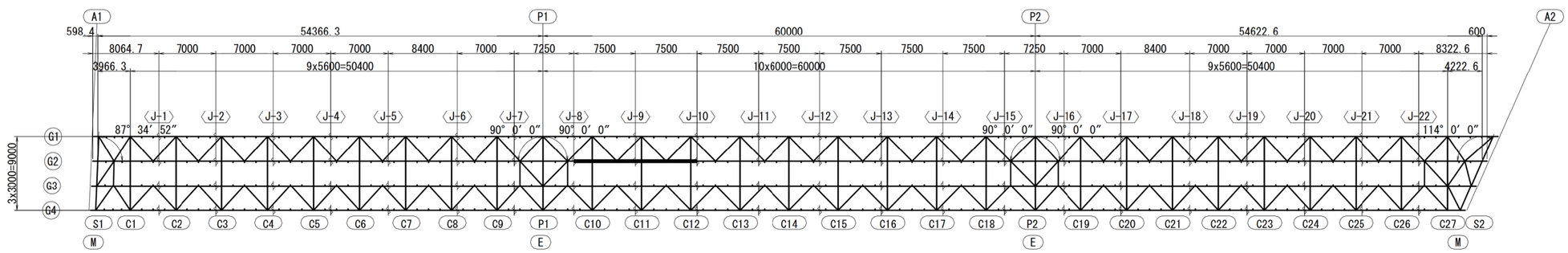
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G2(その5)　S=1:30



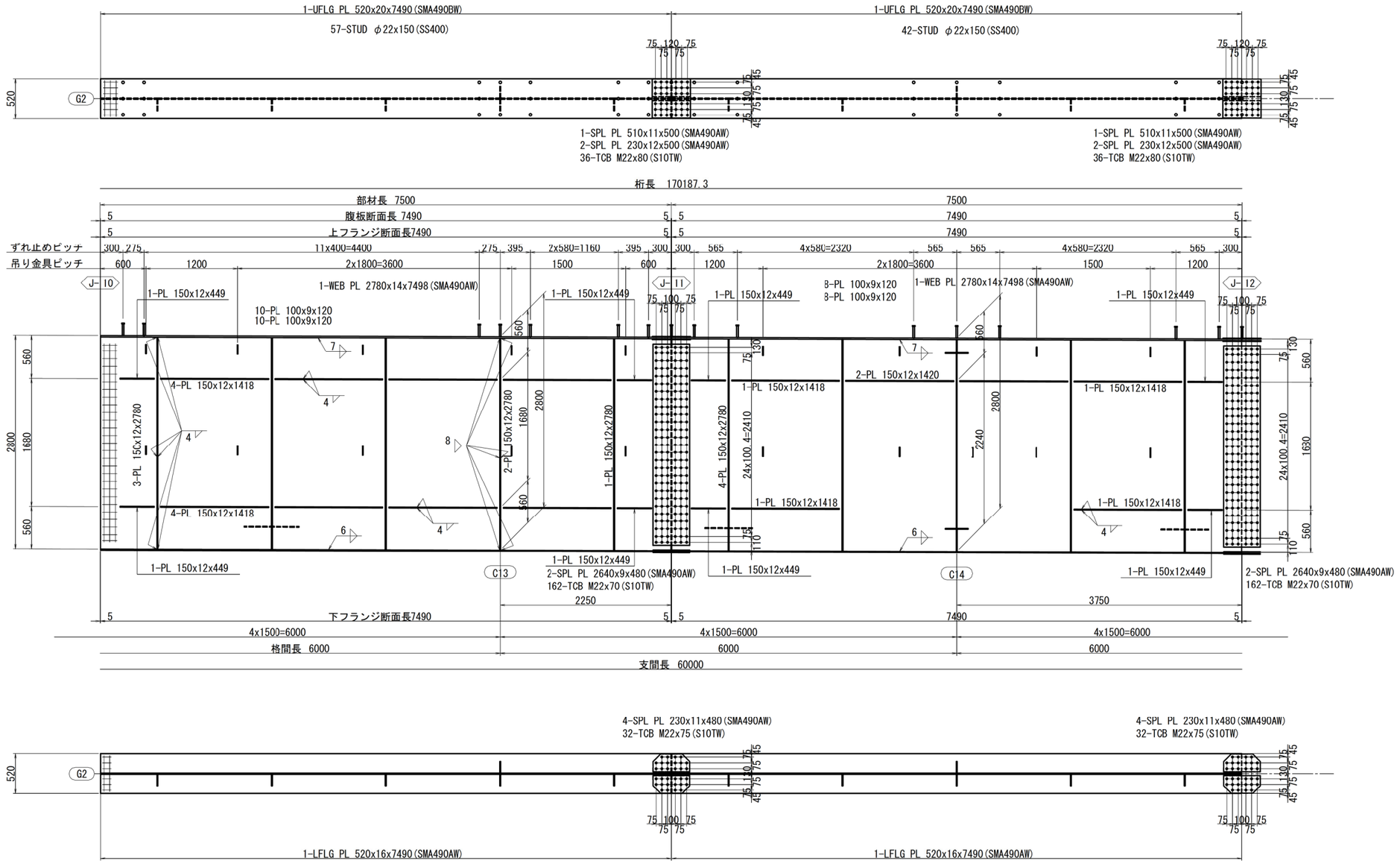
配　置　図　S=1:300



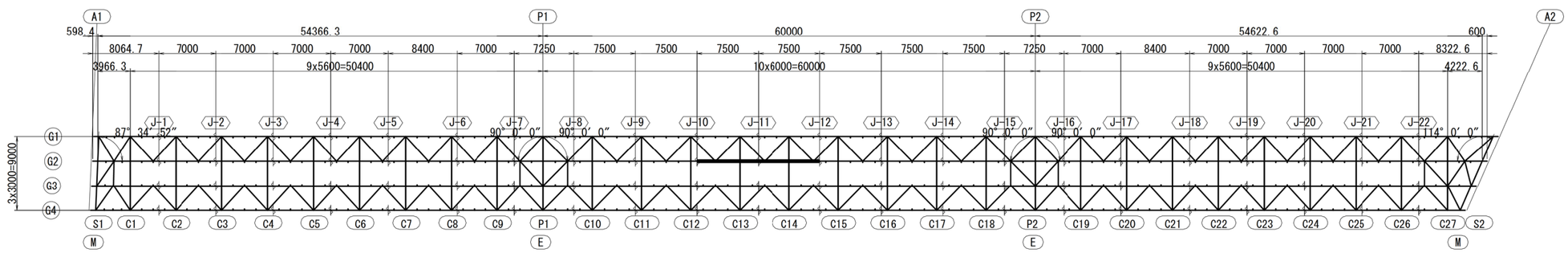
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名	
図面名	主桁G2(その5)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

主桁G2(その6)　S=1:30



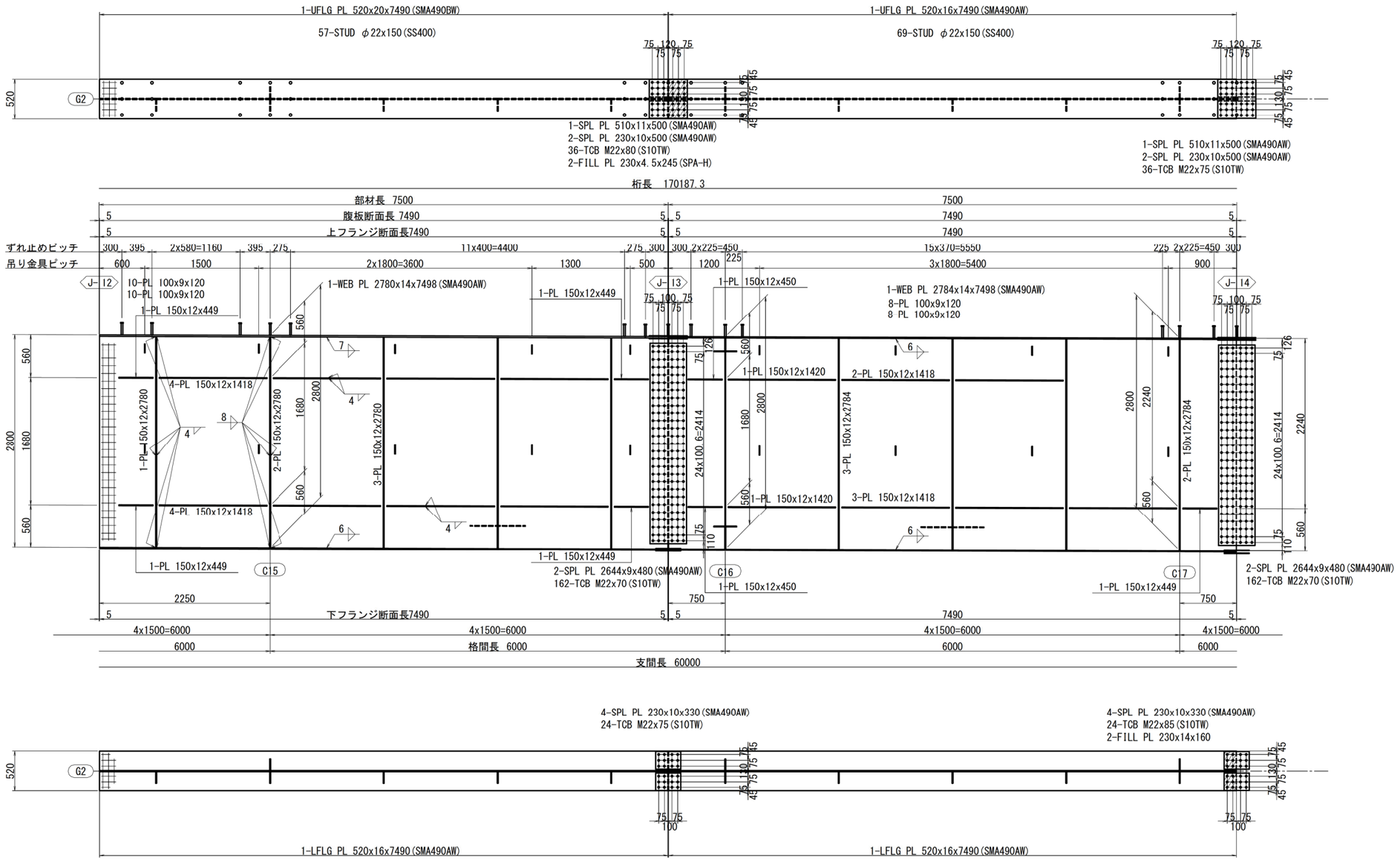
配　置　図　S=1:300



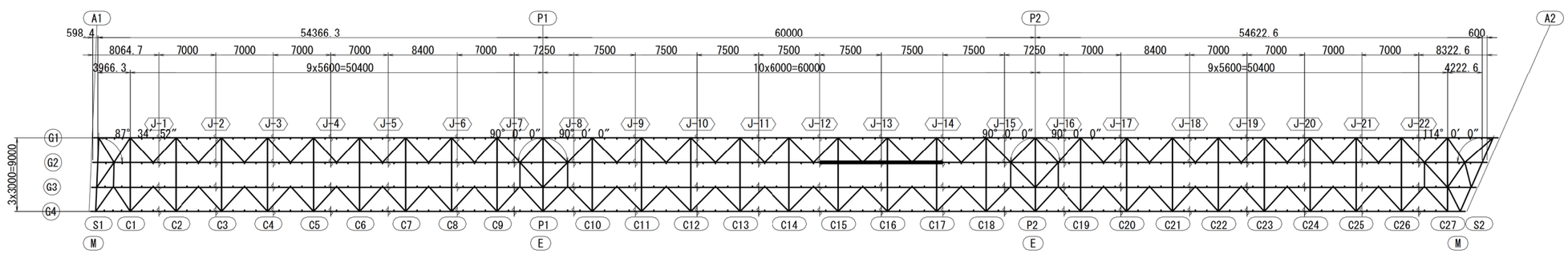
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その6)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G2(その7)　S=1:30



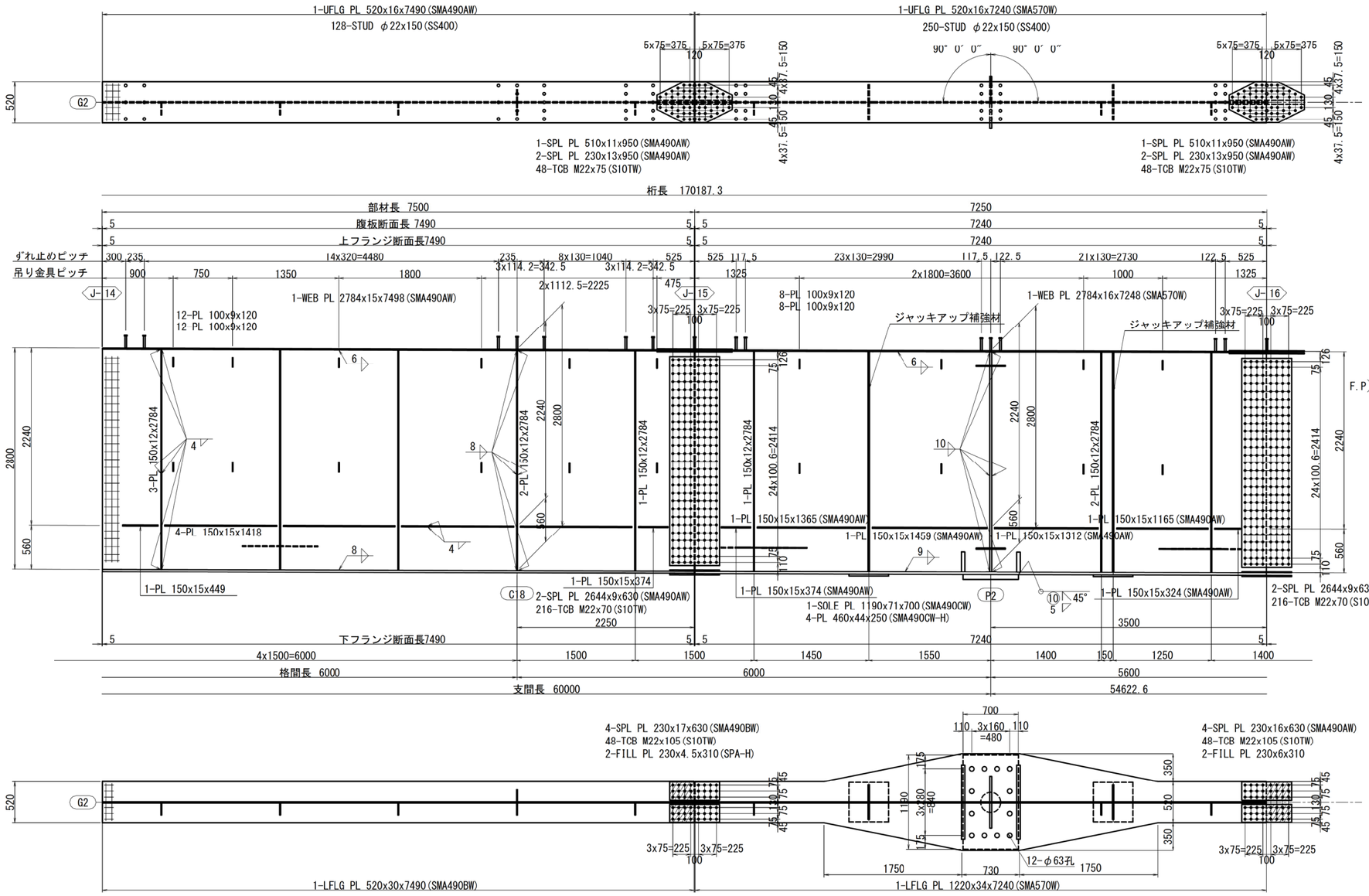
配　置　図　S=1:300



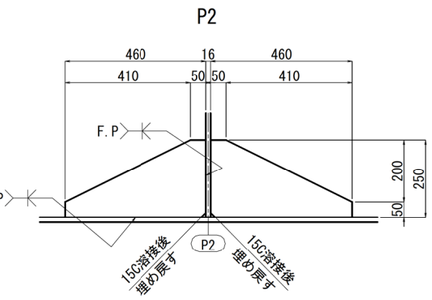
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その7)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

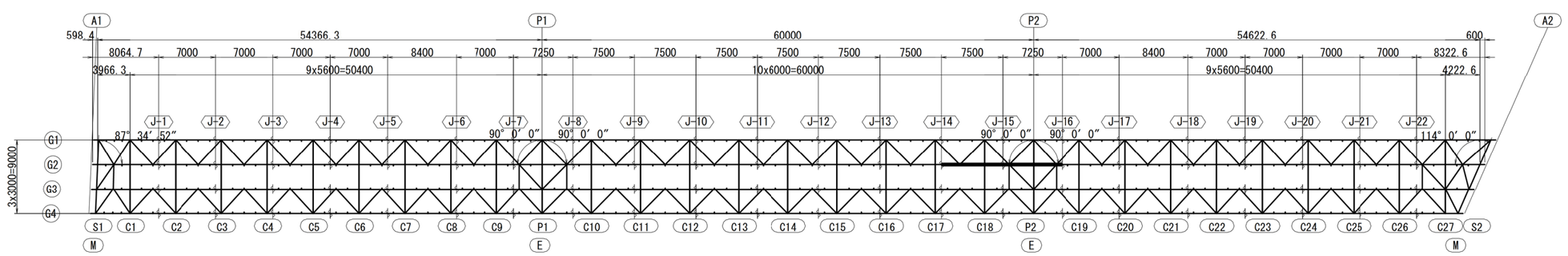
主桁G2(その8)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



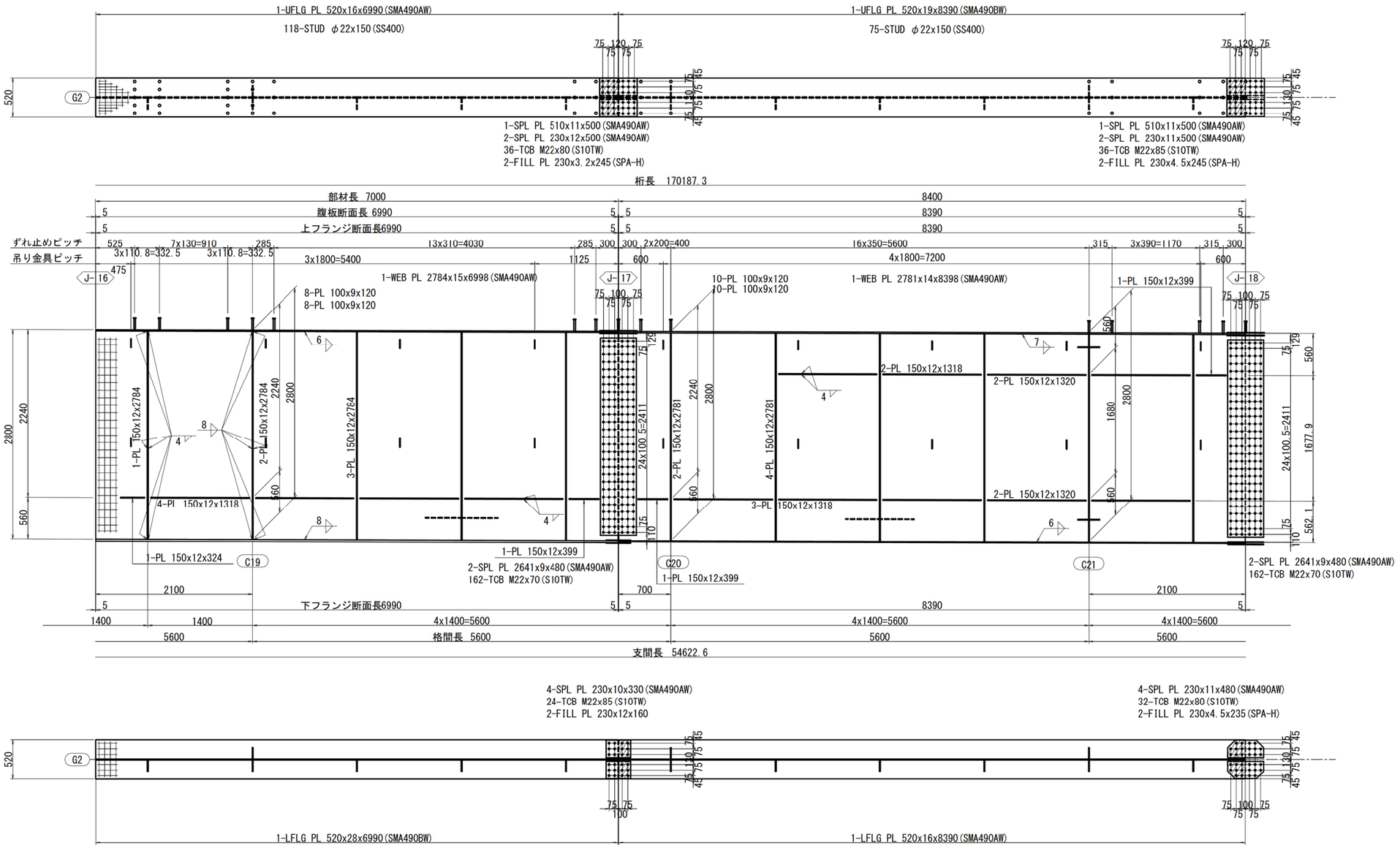
配　置　図　S=1:300



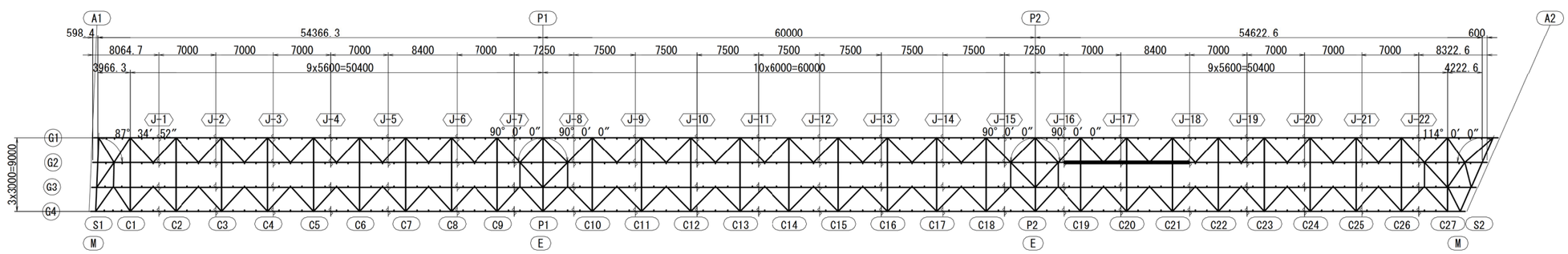
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その8)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G2(その9)　S=1:30



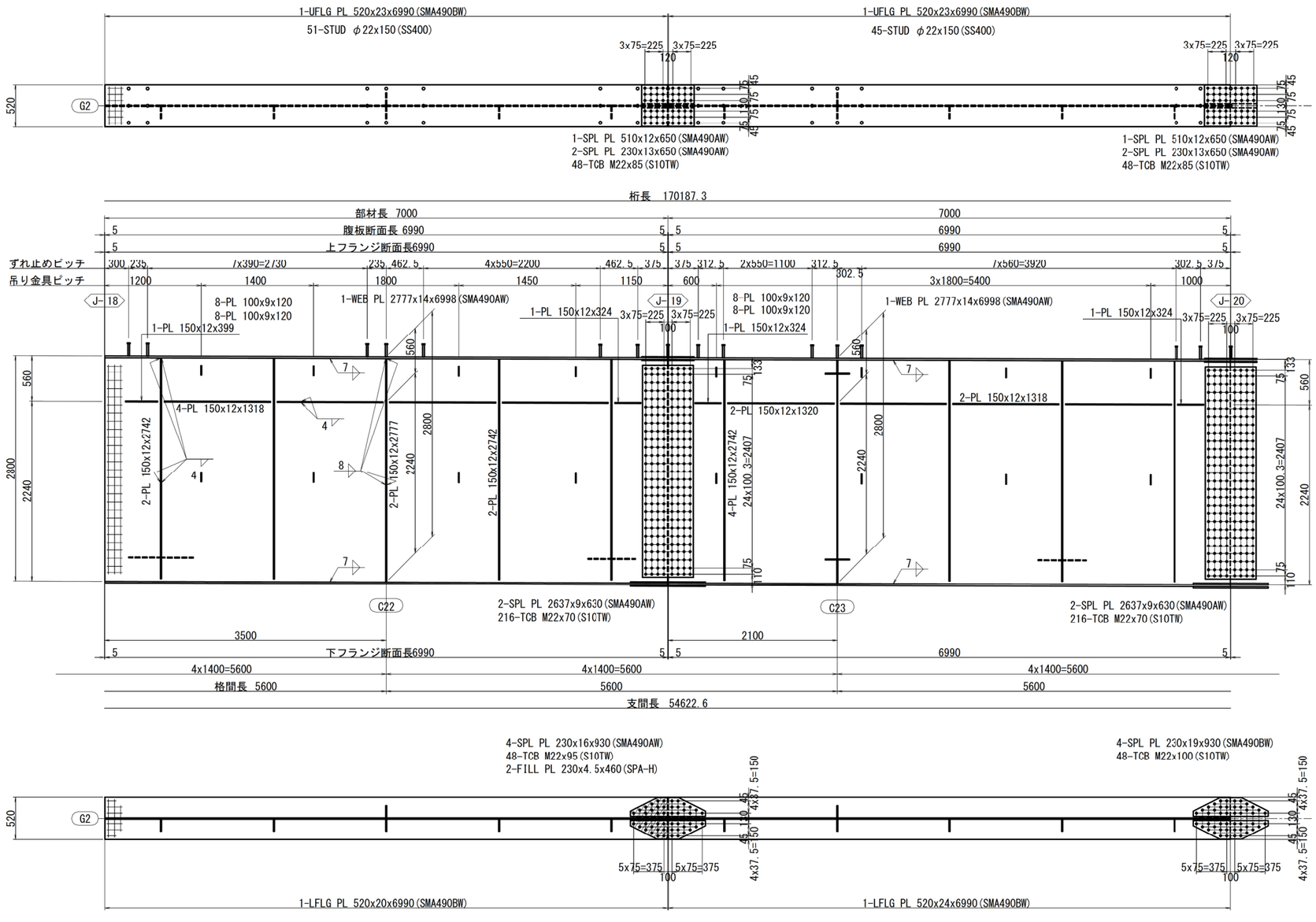
配　置　図　S=1:300



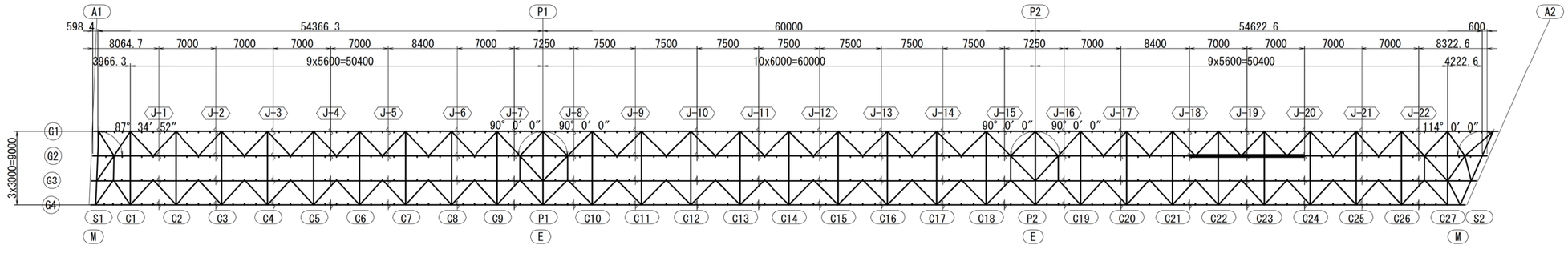
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その9)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G2(その10)　S=1:30



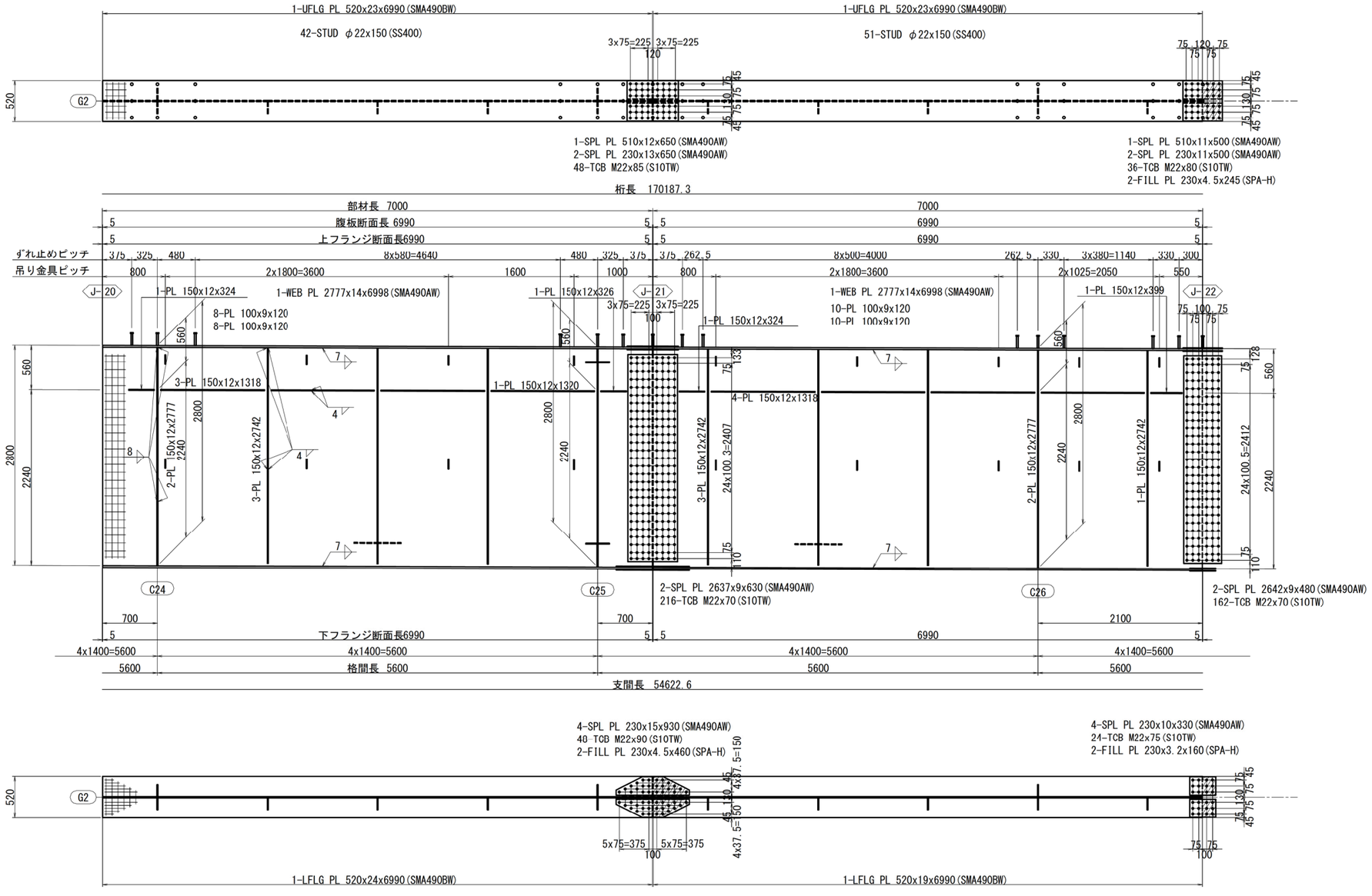
配　置　図　S=1:300



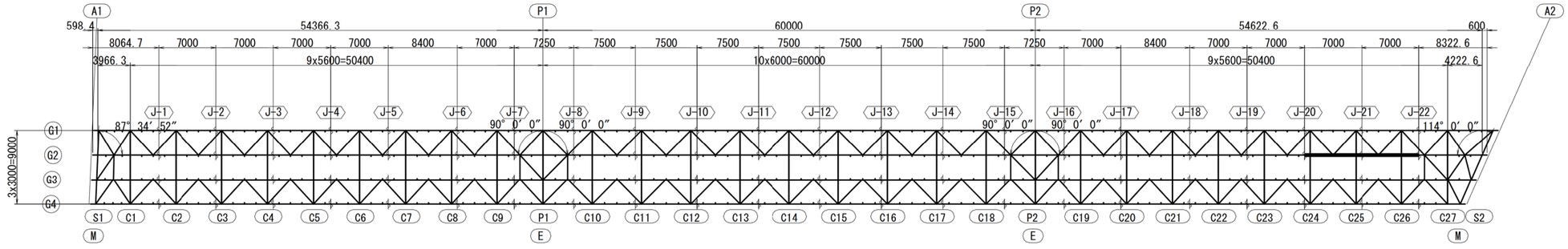
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その10)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G2(その11)　S=1:30



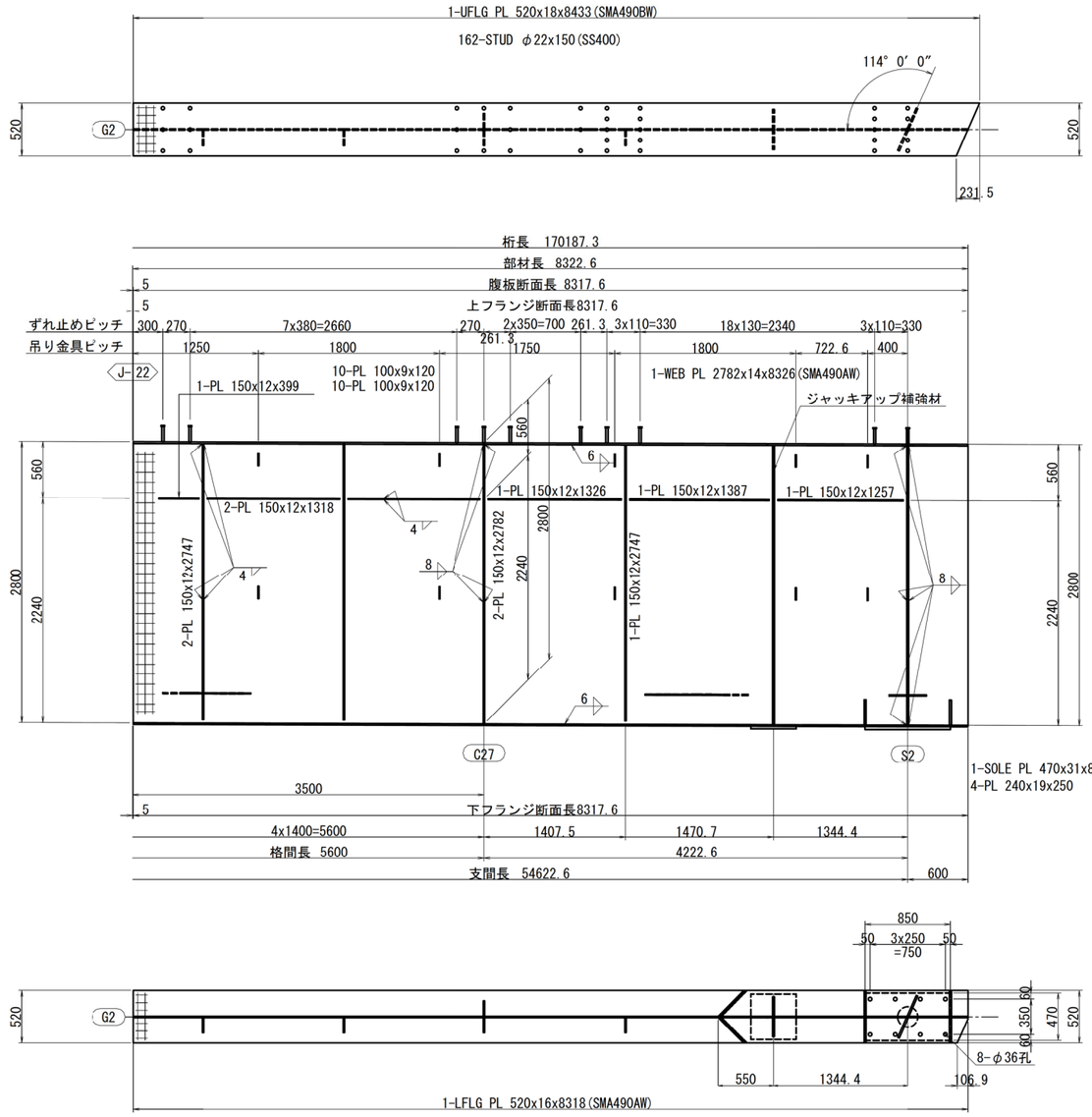
配　置　図　S=1:300



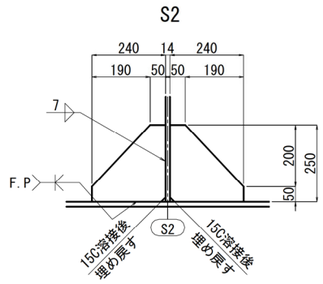
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その11)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

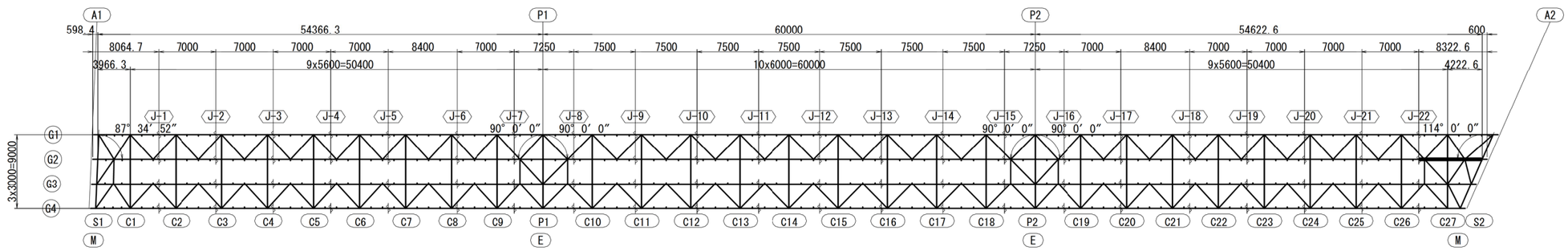
主桁G2(その12)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



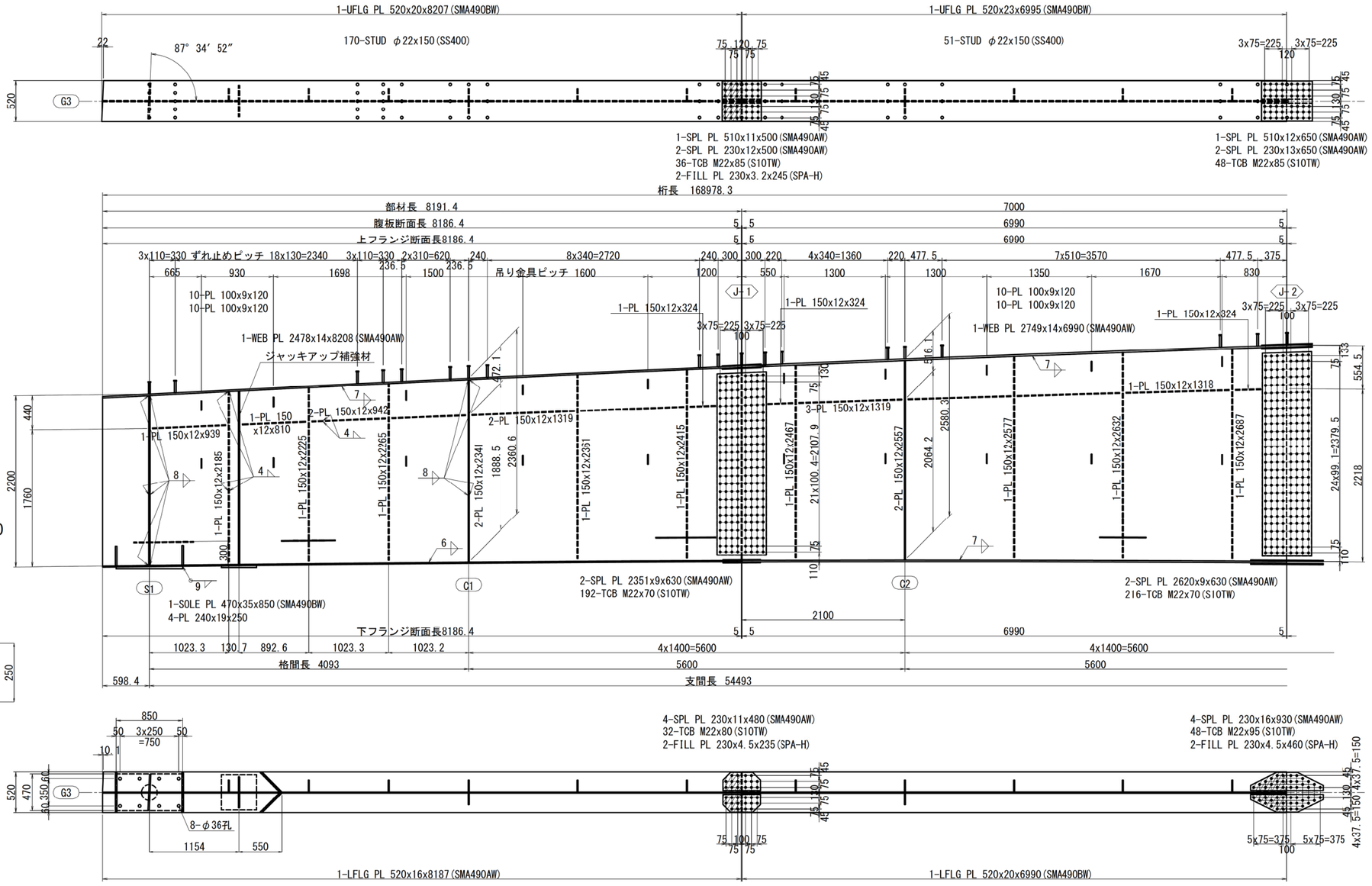
配　置　図　S=1:300



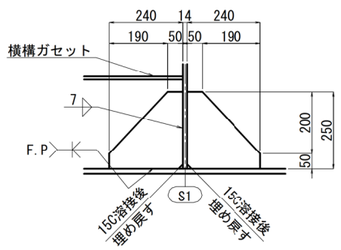
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G2(その12)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

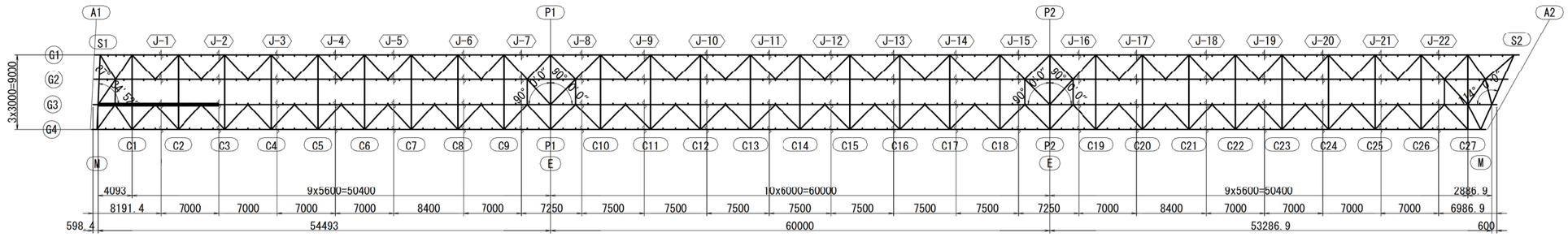
主桁G3(その1)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



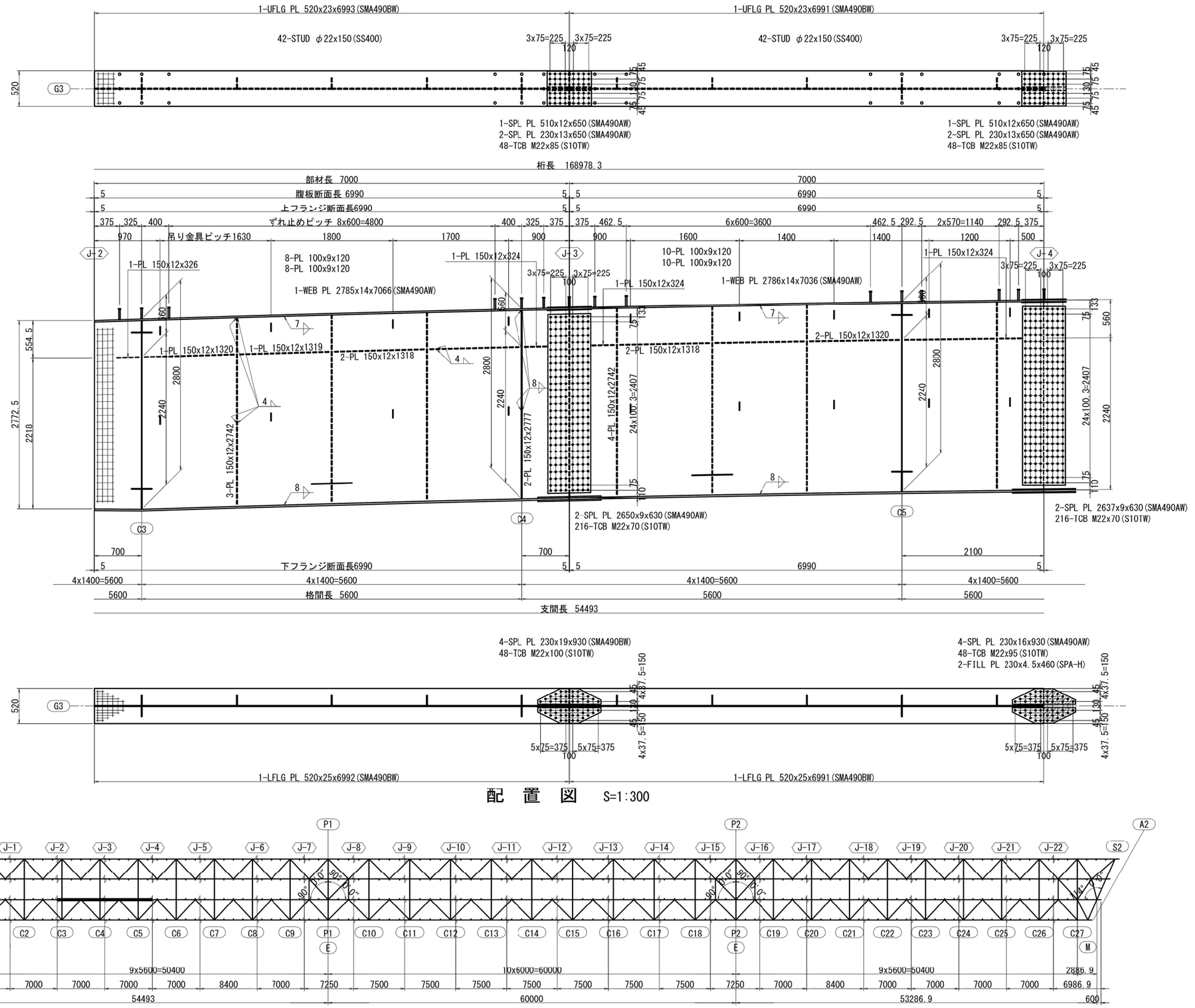
配　置　図　S=1:300



注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名	
図面名	主桁G3(その1)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

主桁G3(その2)　S=1:30

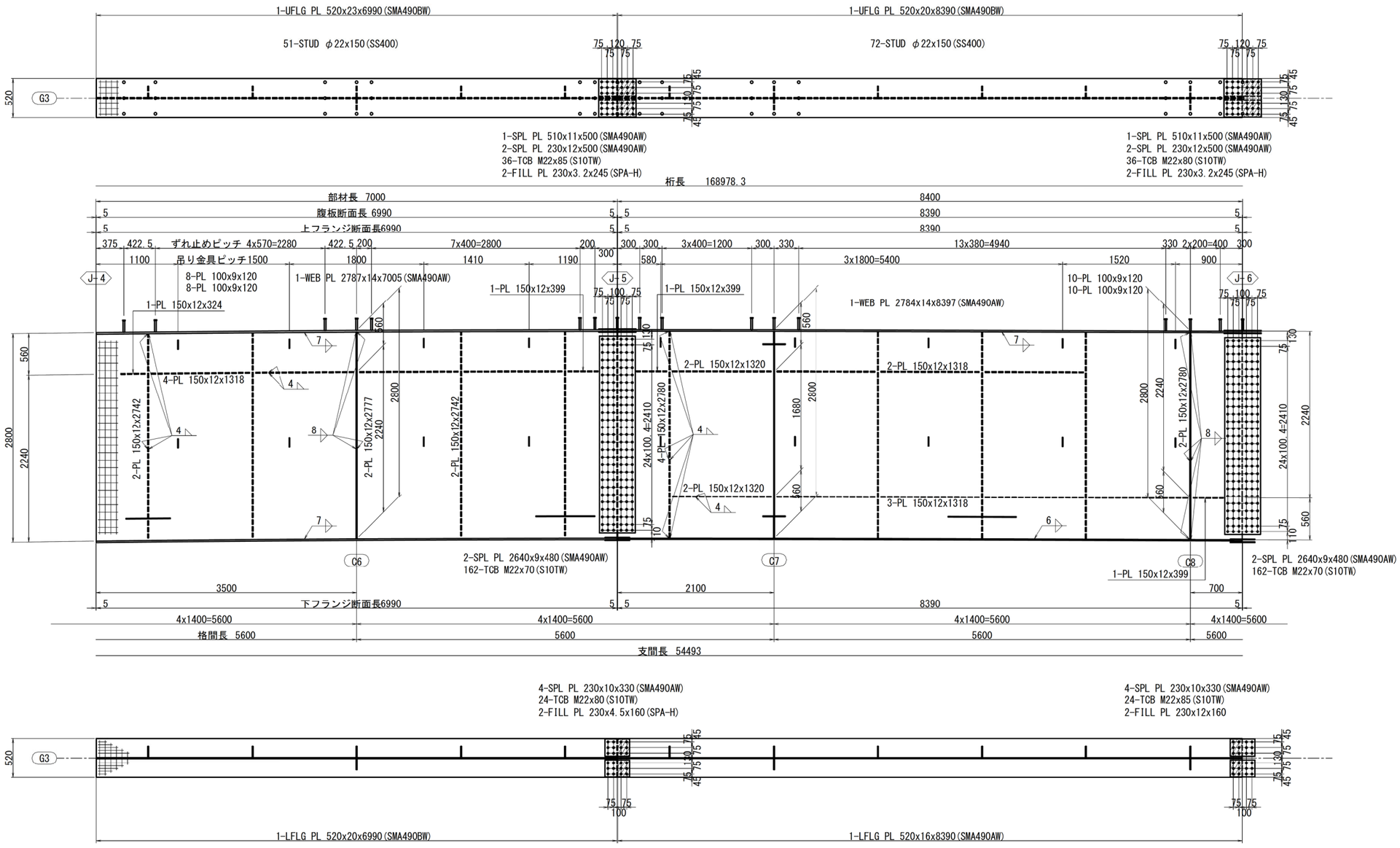


配　置　図　S=1:300

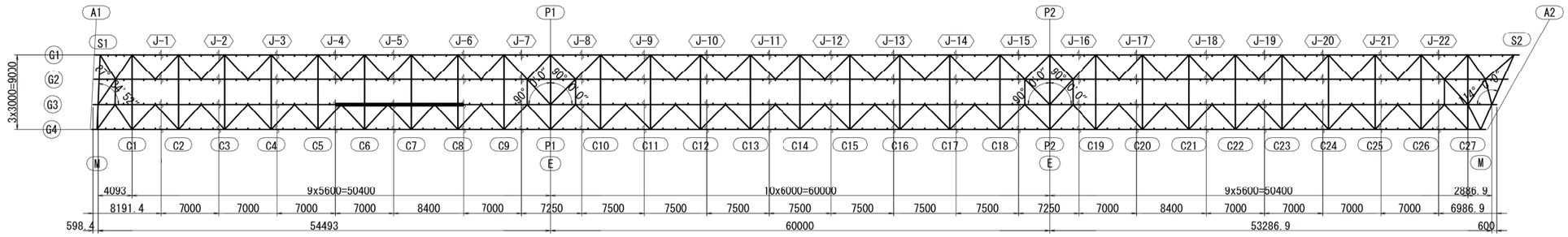
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G3(その3)　S=1:30



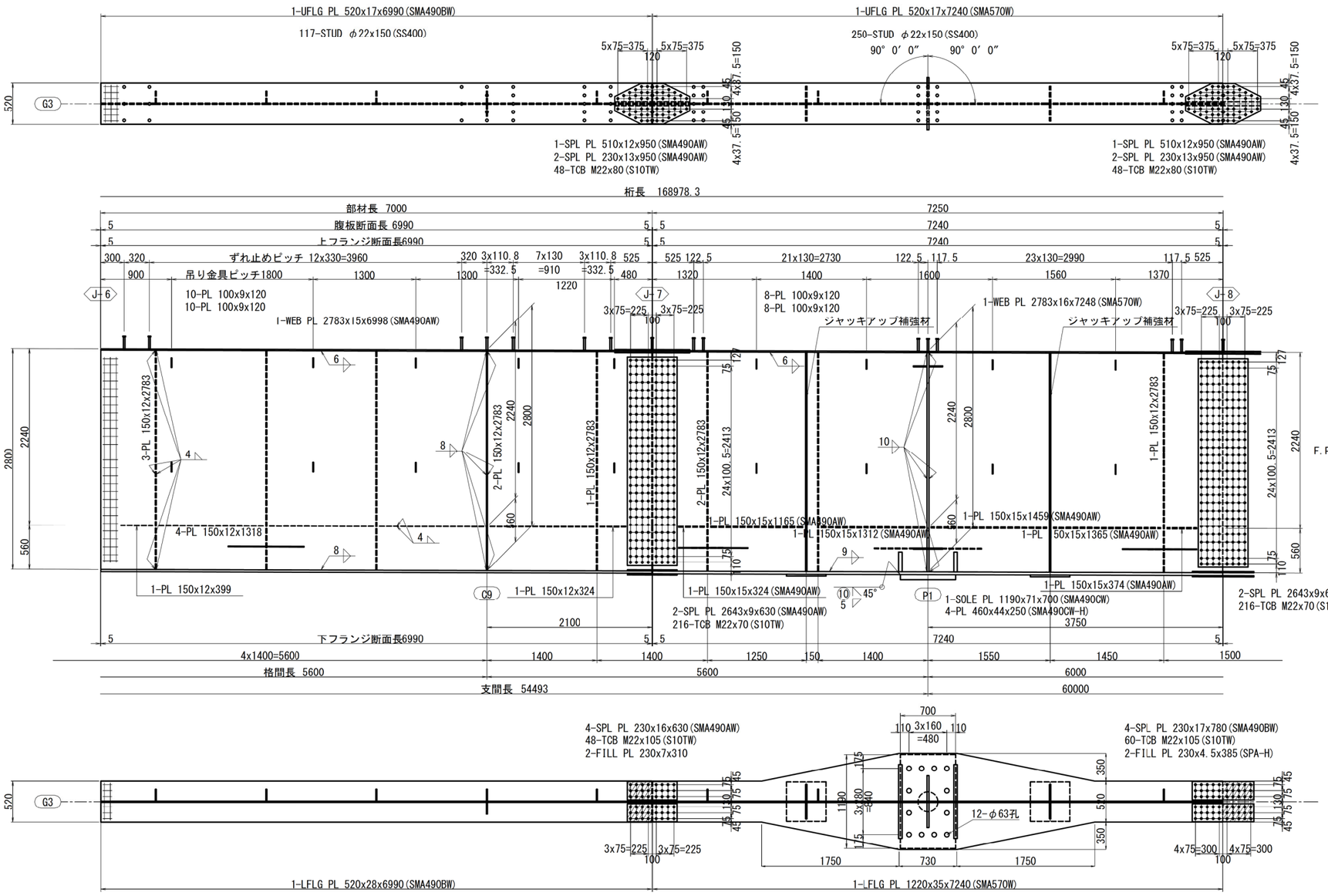
配　置　図　S=1:300



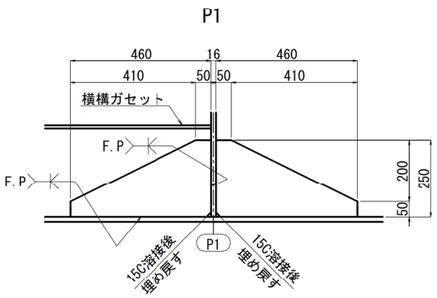
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

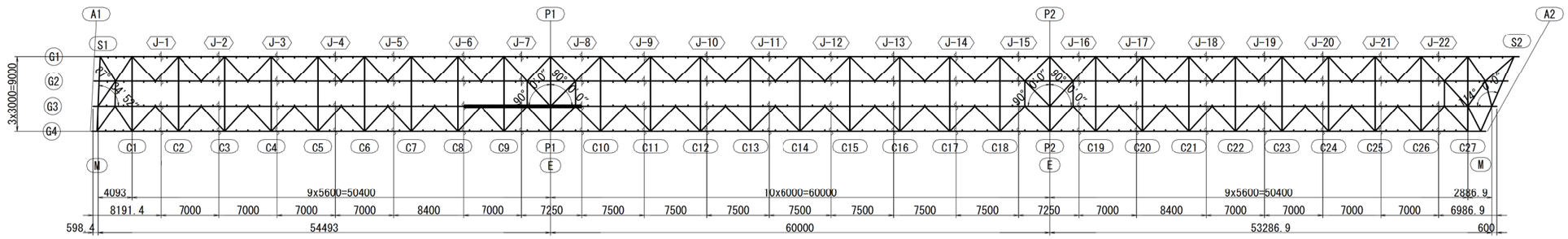
主桁G3(その4)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



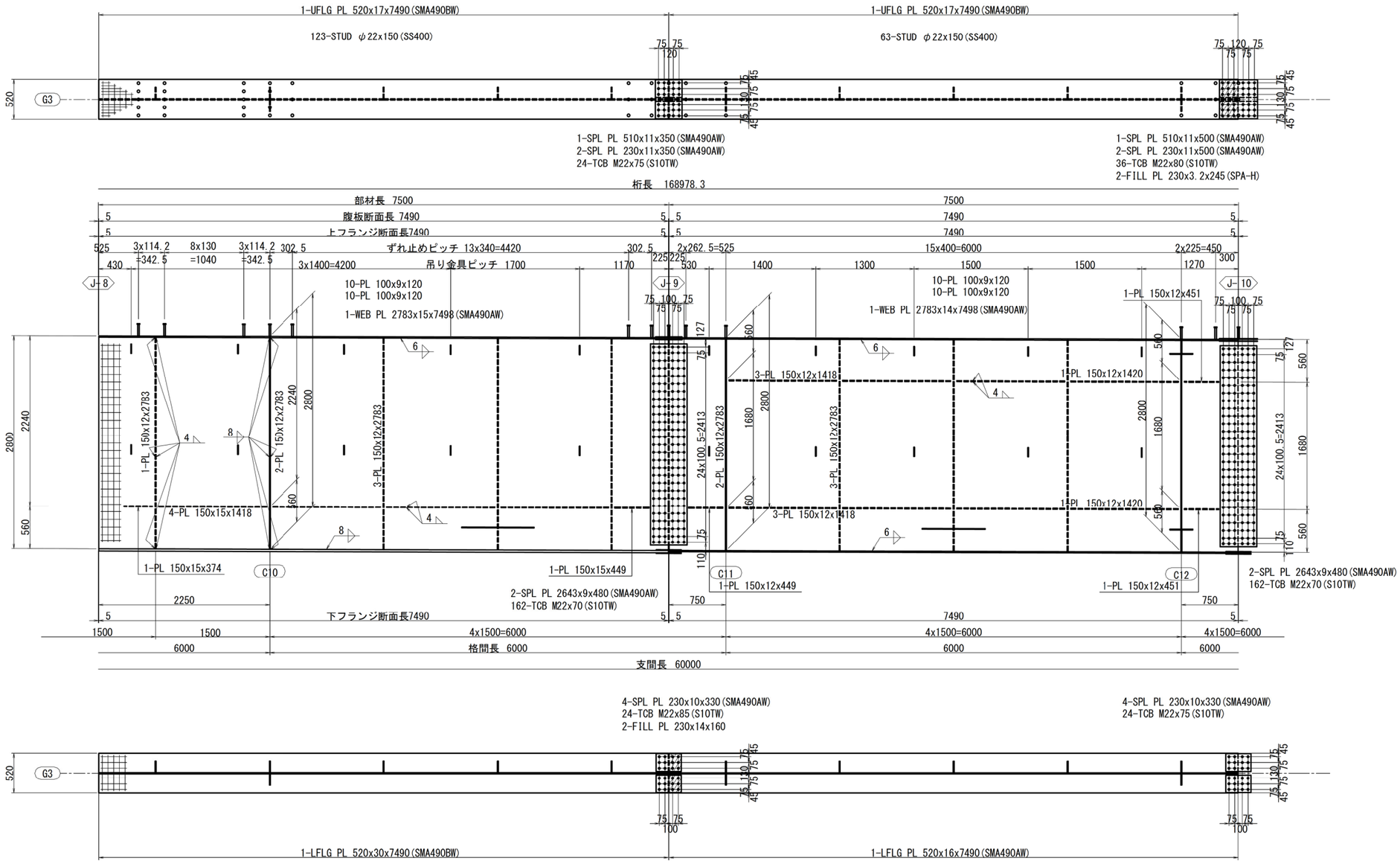
配　置　図　S=1:300



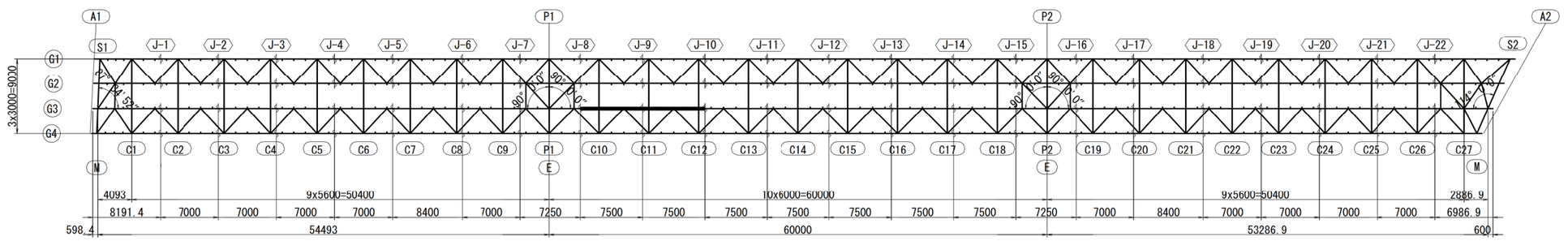
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G3(その5)　S=1:30



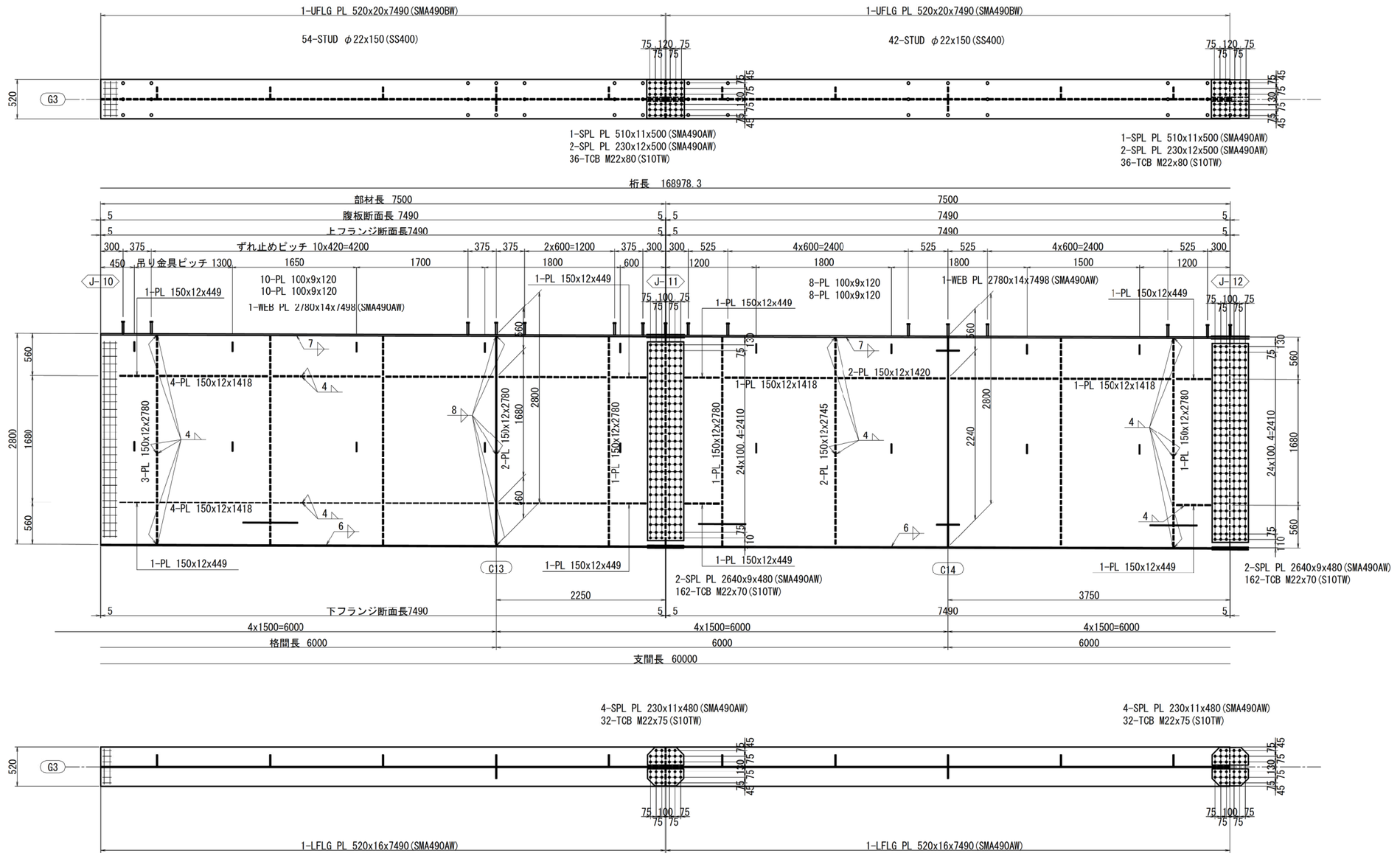
配　置　図　S=1:300



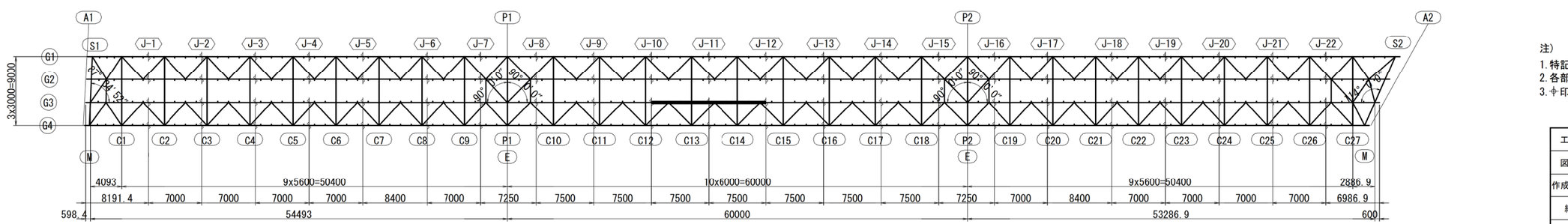
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その5)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G3(その6)　S=1:30



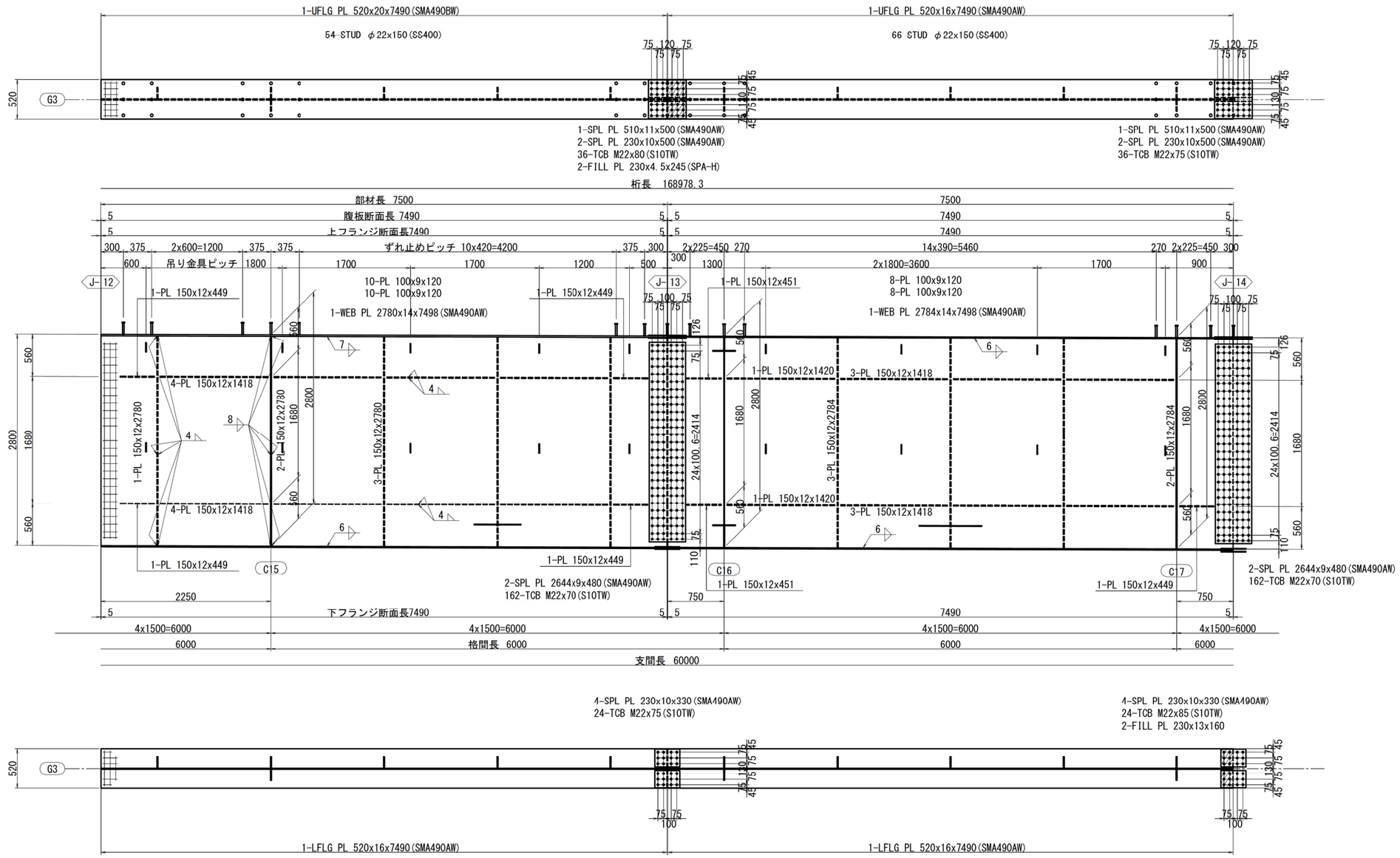
配　置　図　S=1:300



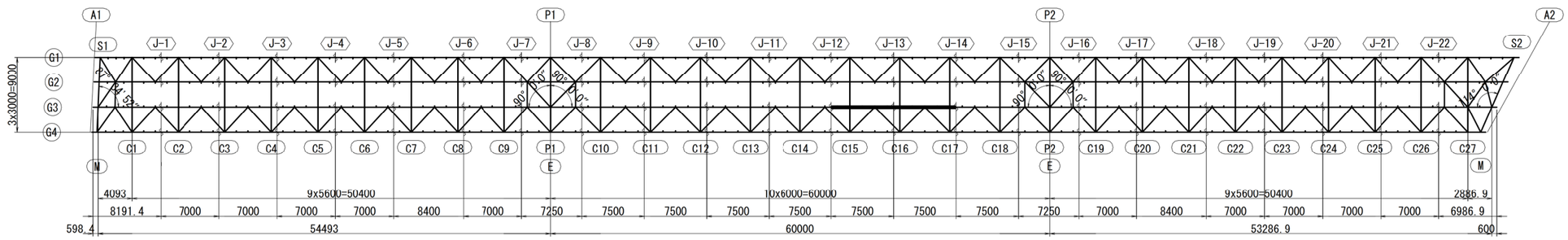
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その6)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G3(その7)　S=1:30



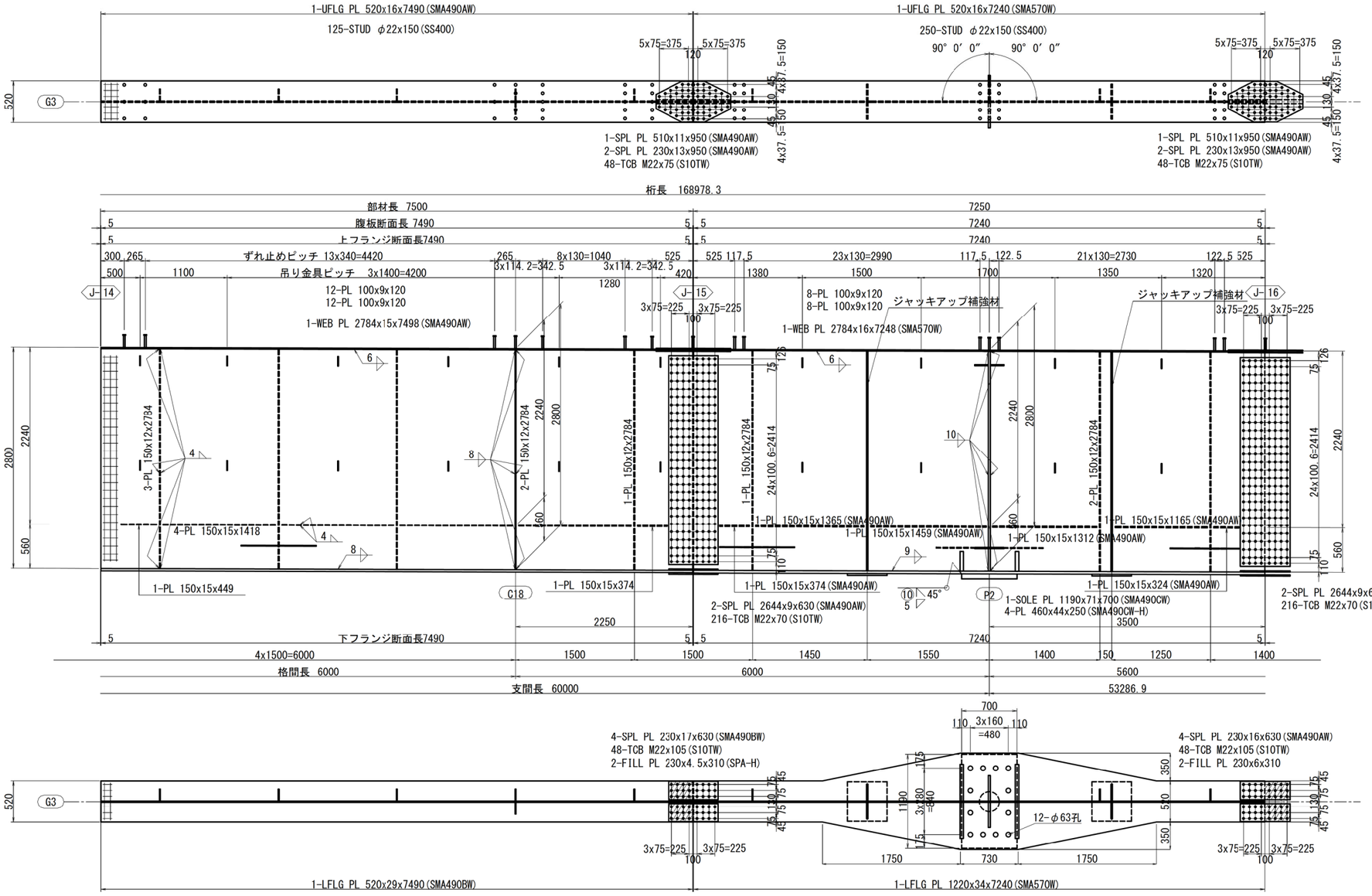
配　置　図　S=1:300



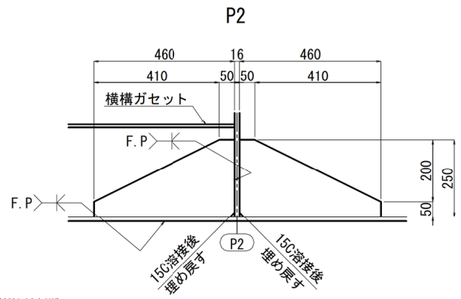
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その7)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

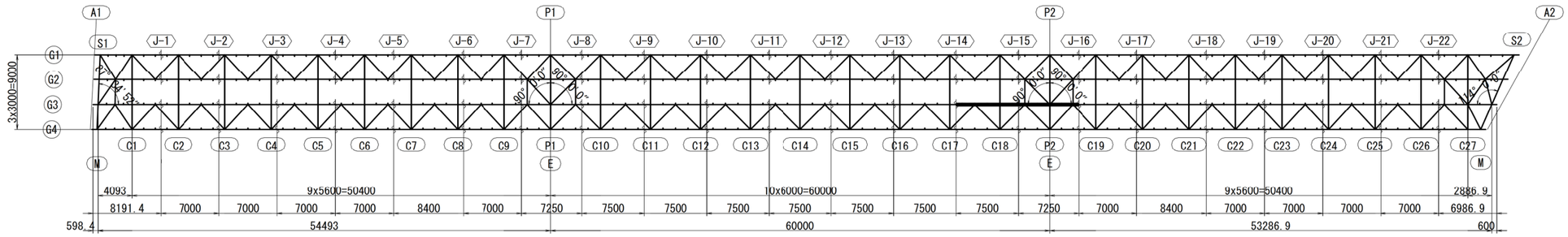
主桁G3(その8)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



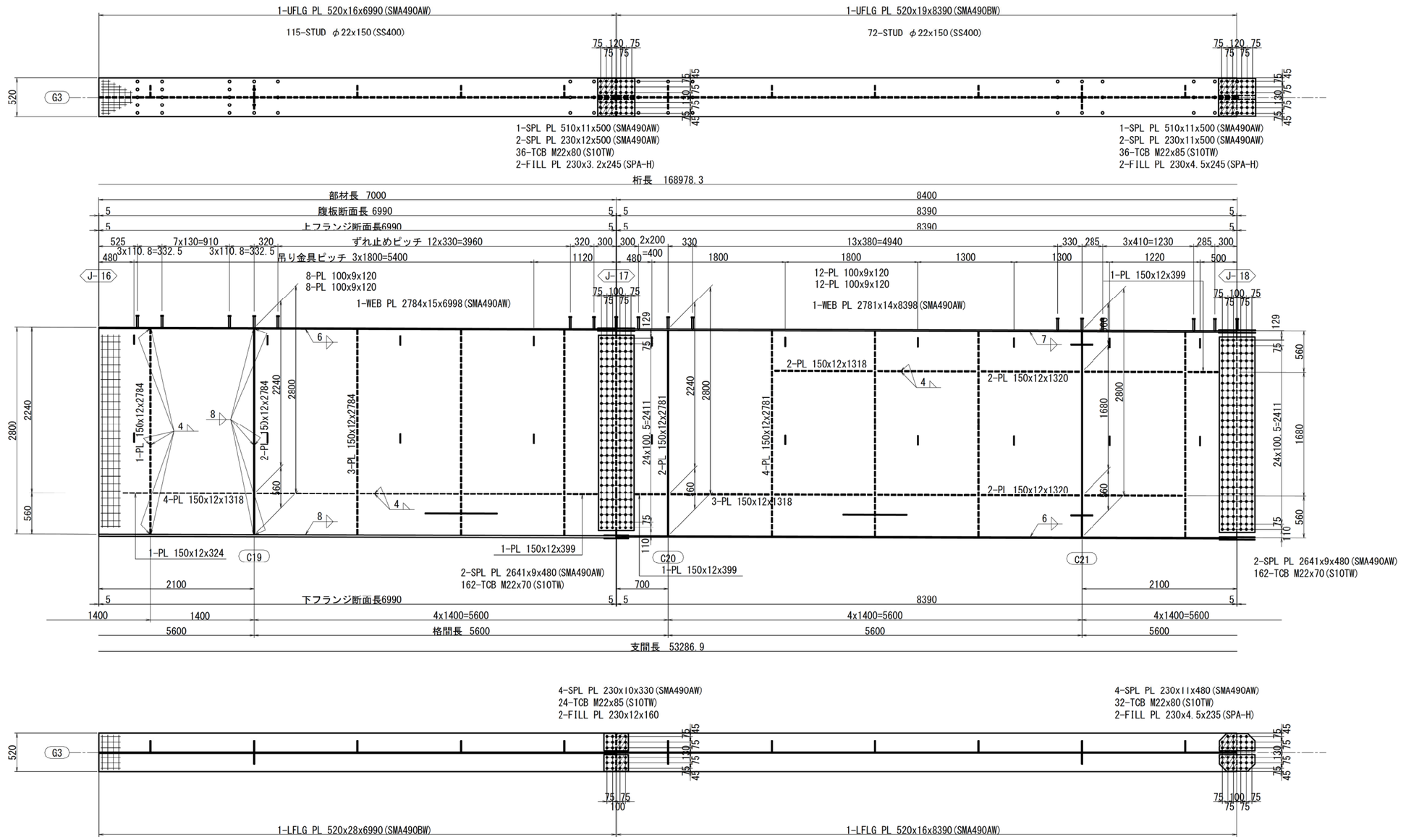
配　置　図　S=1:300



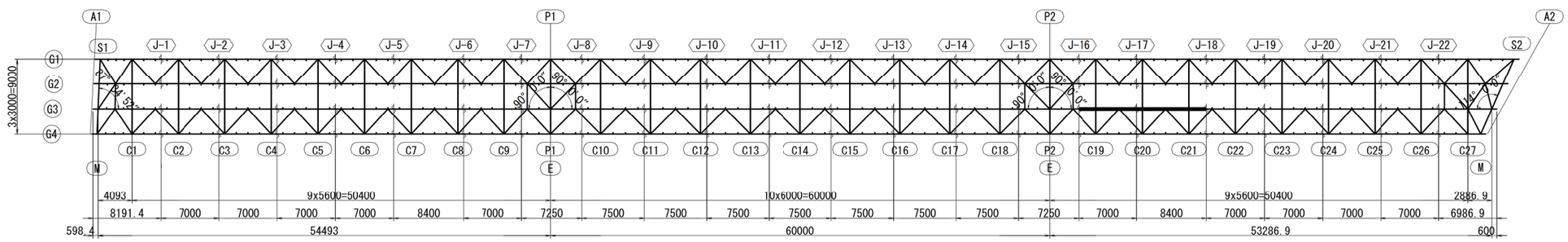
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その8)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G3(その9)　S=1:30



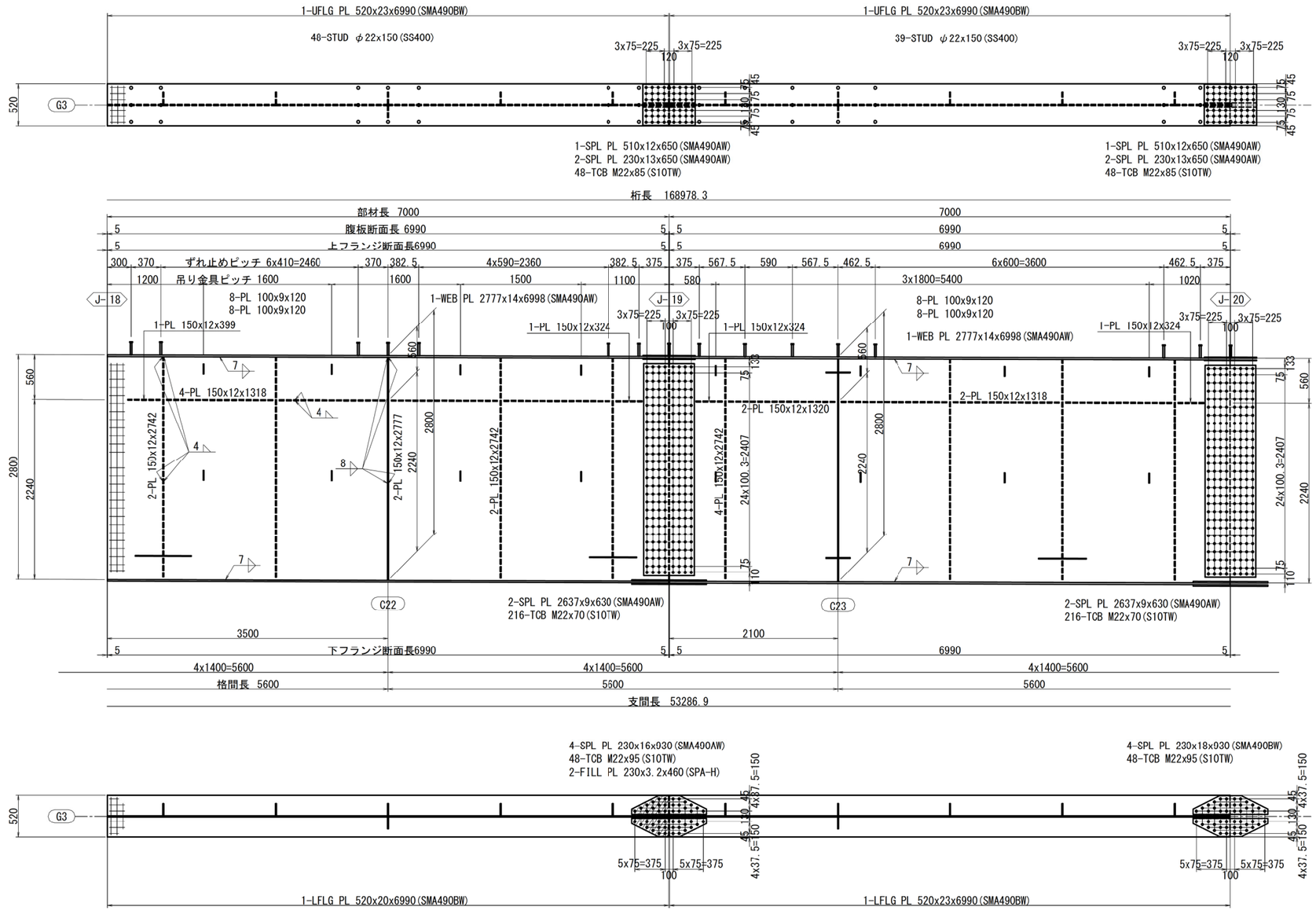
配　置　図　S=1:300



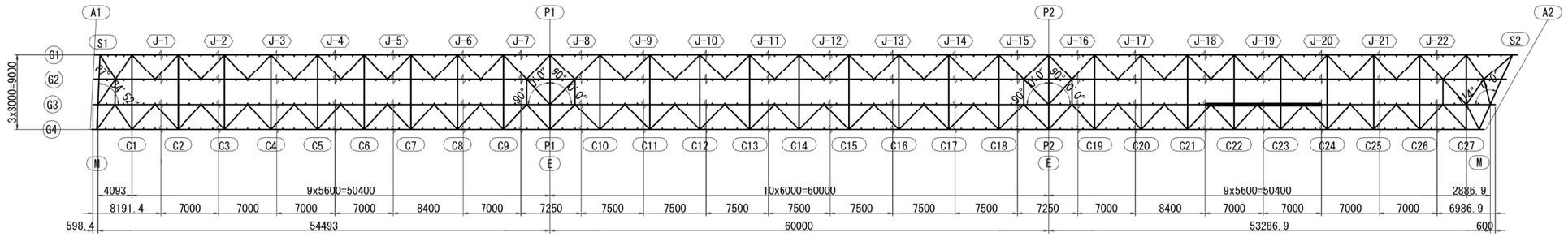
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その9)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G3(その10)　S=1:30



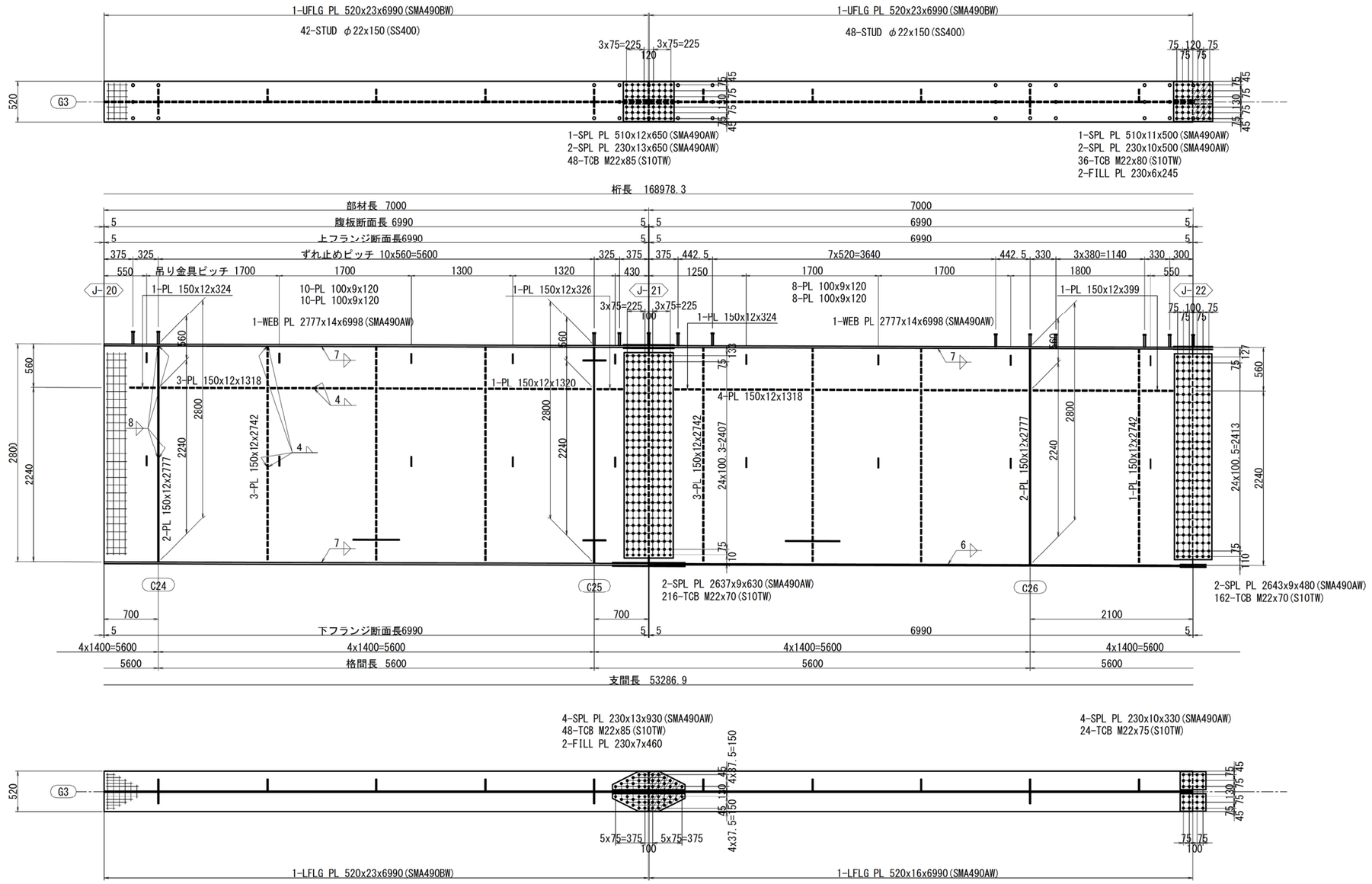
配　置　図　S=1:300



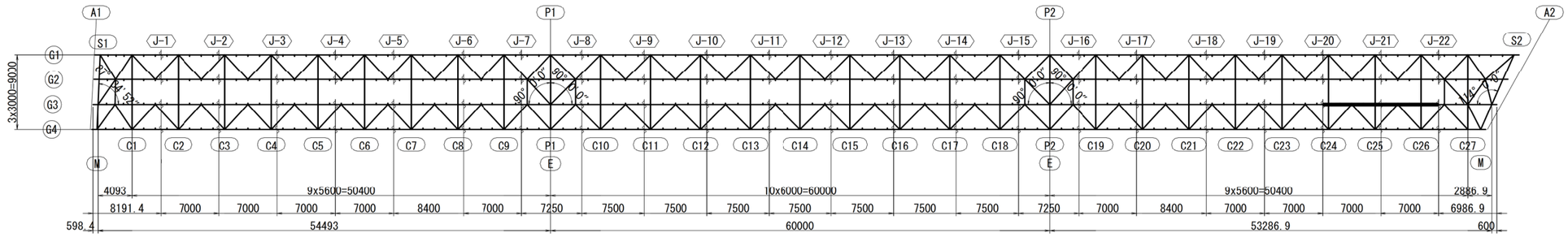
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名	
図面名	主桁G3(その10)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示
図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

主桁G3(その11)　S=1:30



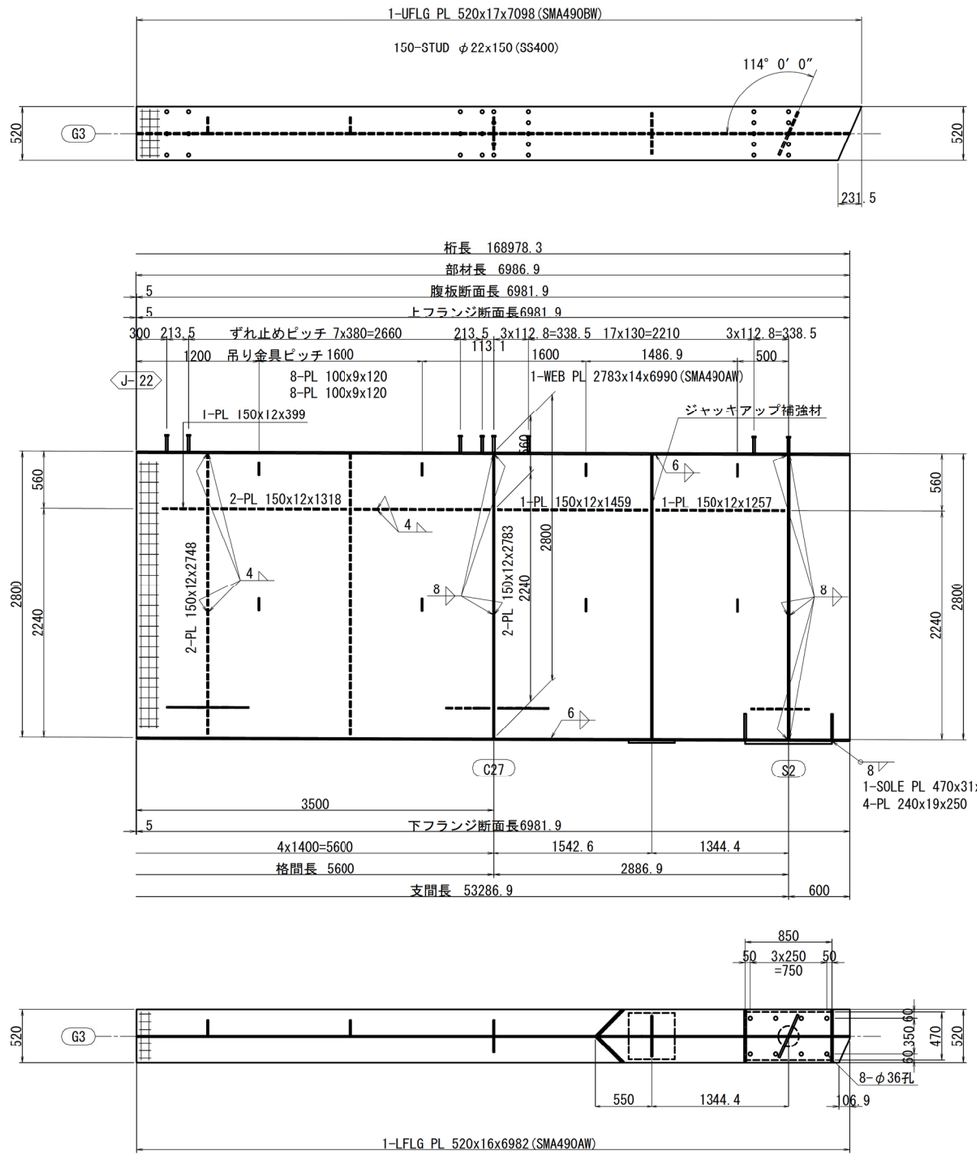
配　置　図　S=1:300



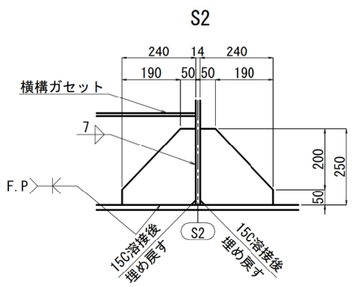
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G3(その11)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

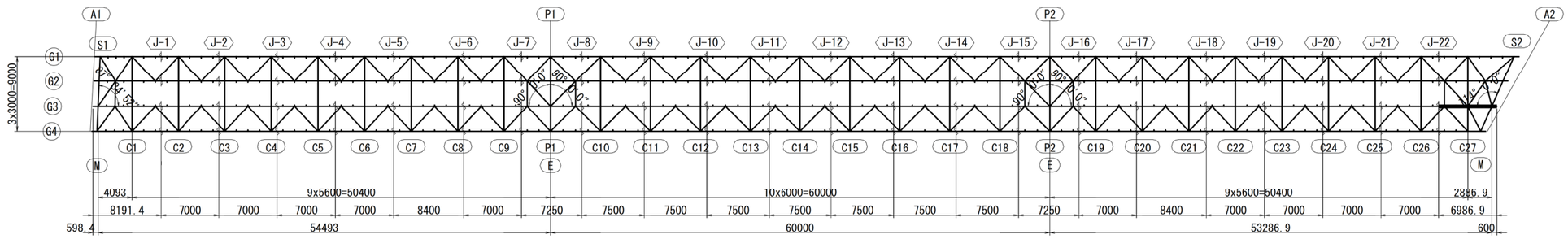
主桁G3(その12)　S=1:30



支点補強リブ詳細 S=1:10



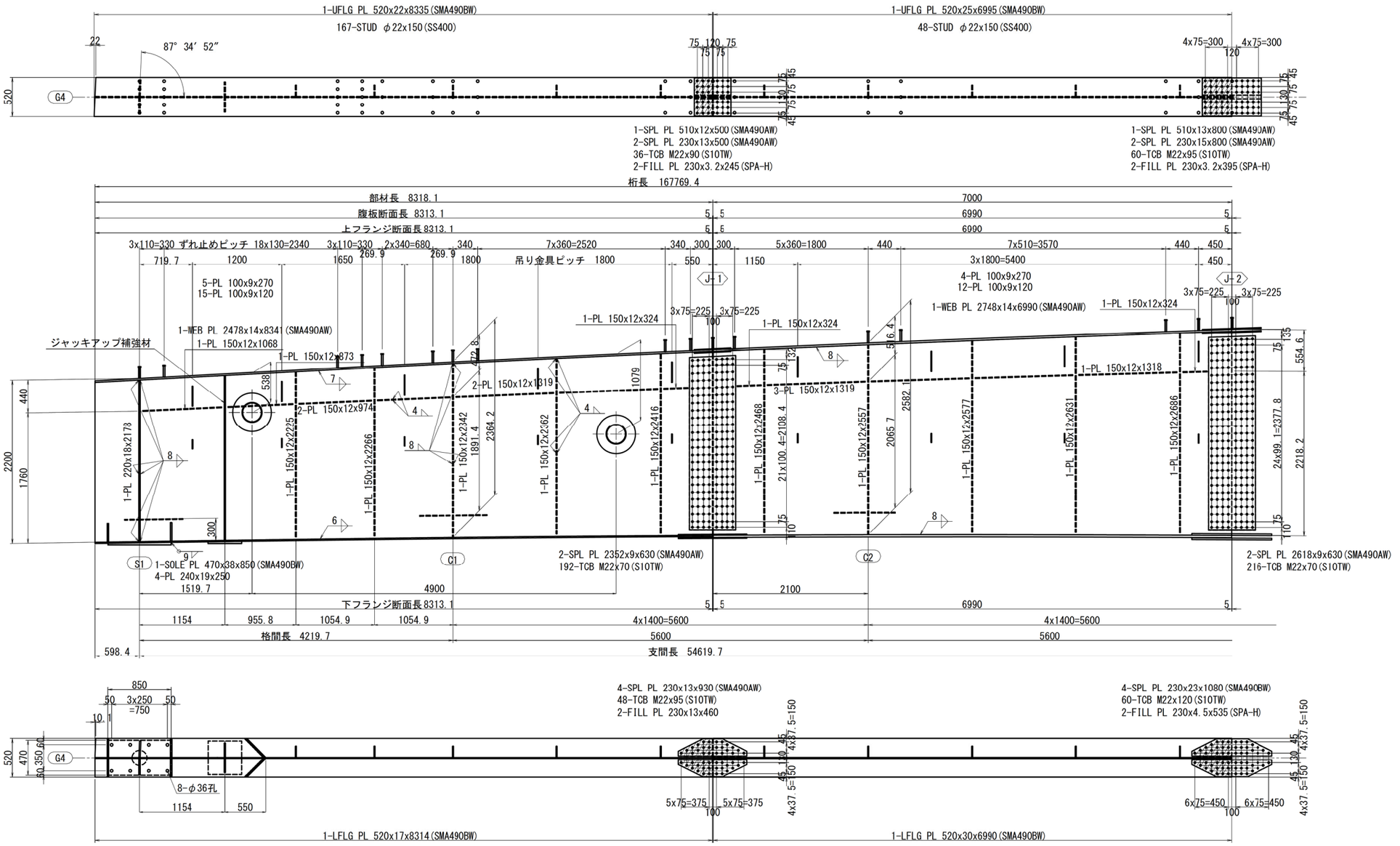
配　置　図　S=1:300



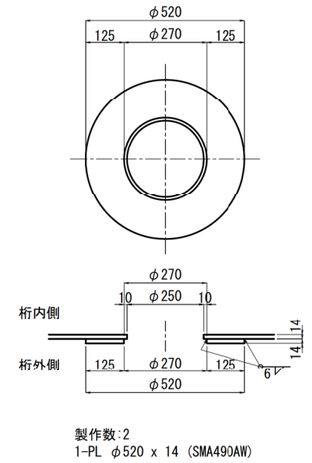
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名	
図面名	主桁G3(その12)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

主桁G4(その1)　S=1:30

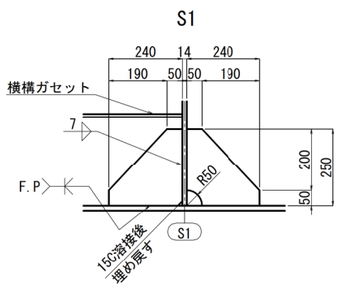


排水開口補強詳細　S=1:10

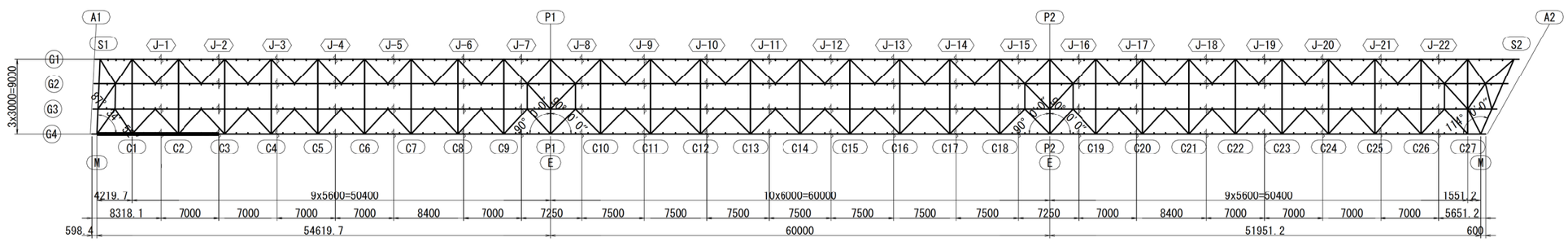


製作数:2
1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)

支点補強リブ詳細　S=1:10



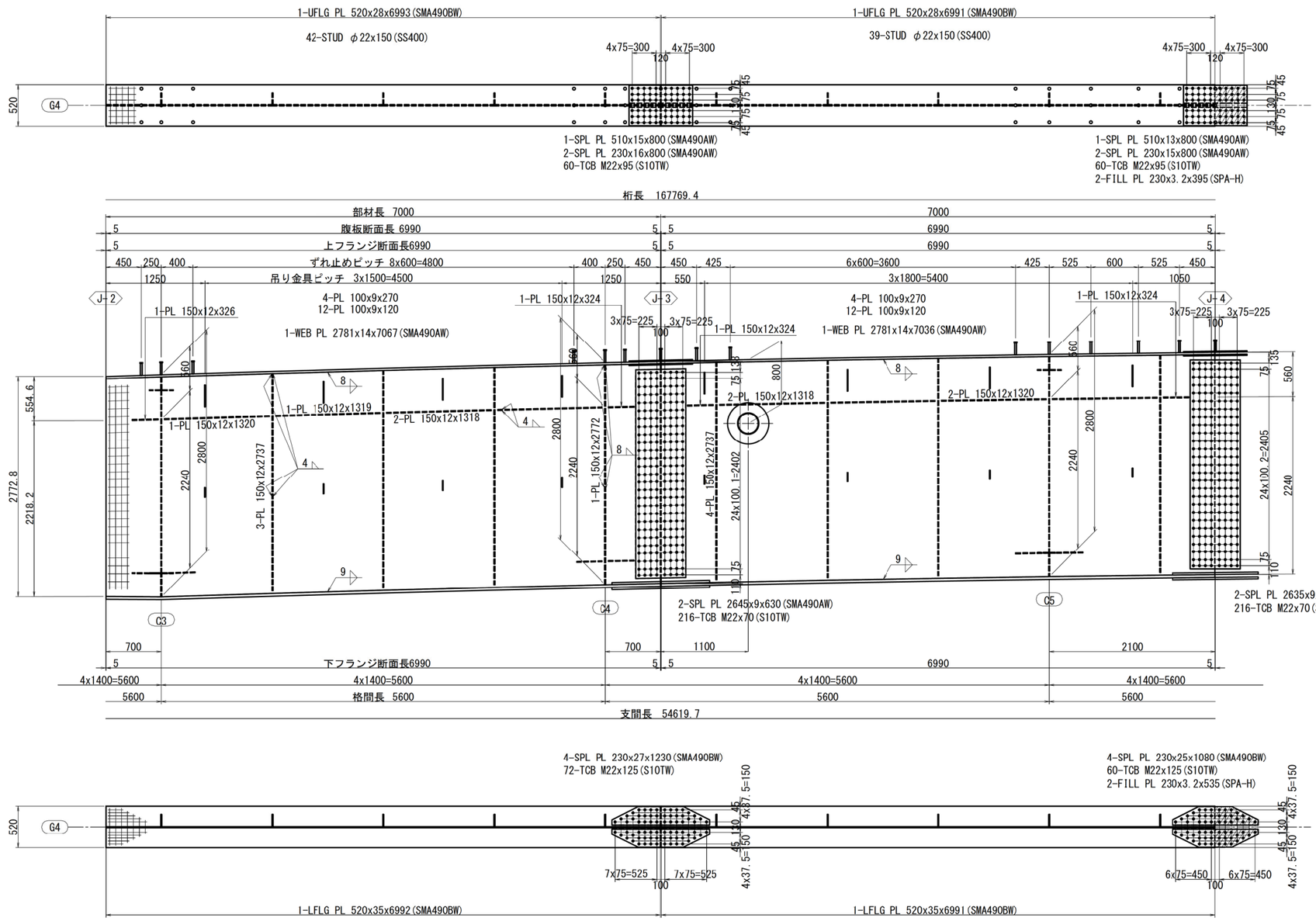
配　置　図　S=1:300



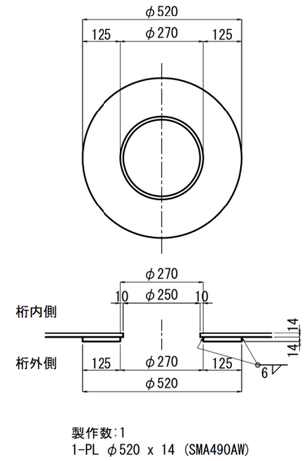
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G4(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その2)　S=1:30

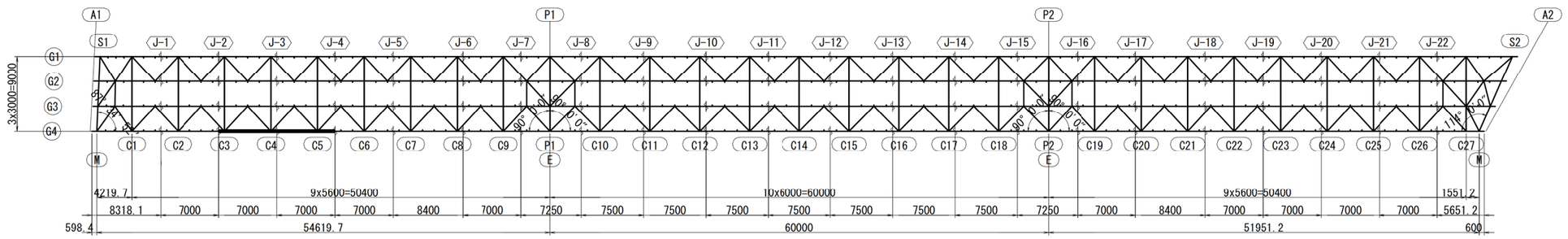


排水開口補強詳細　S=1:10



製作数:1
1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)

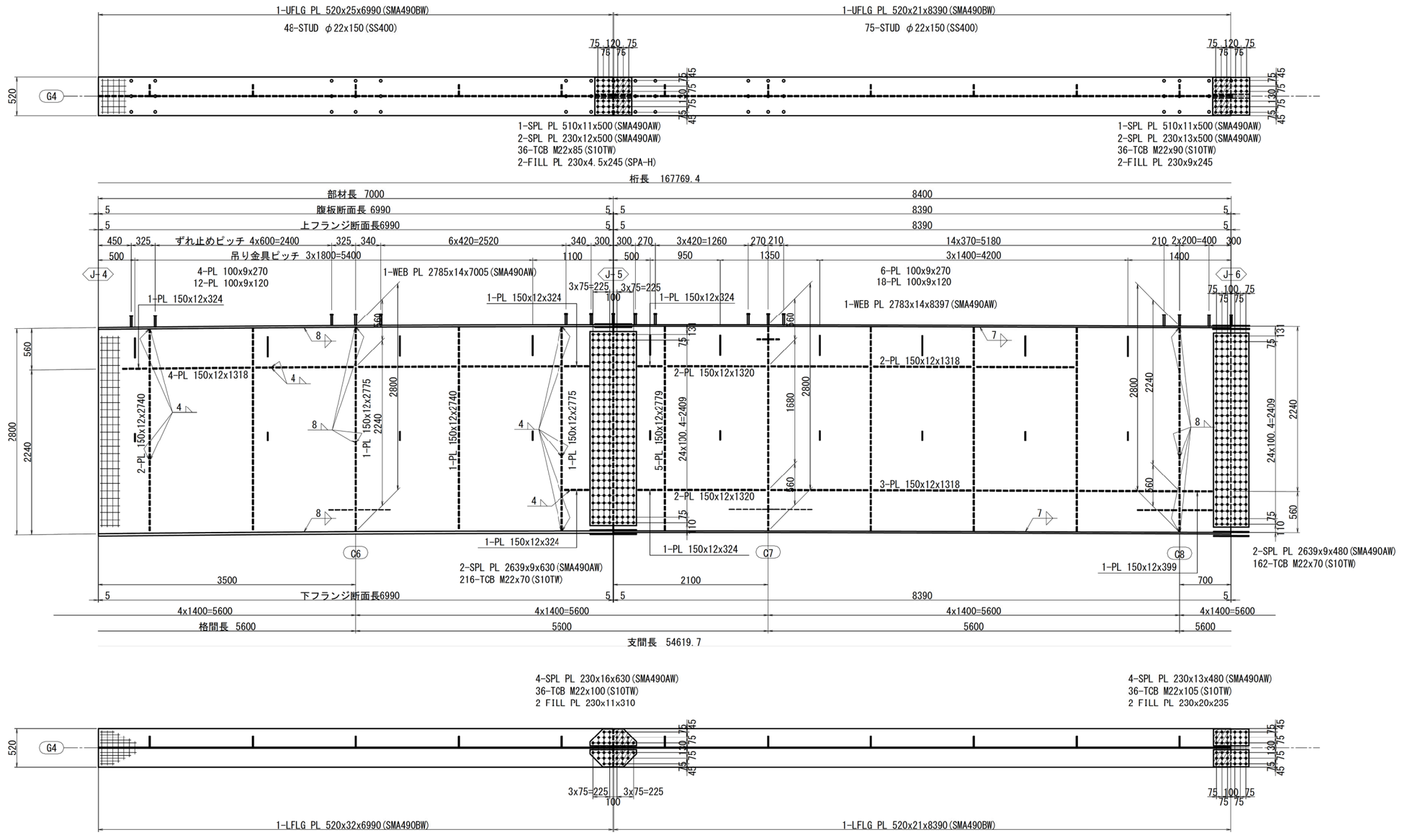
配　置　図　S=1:300



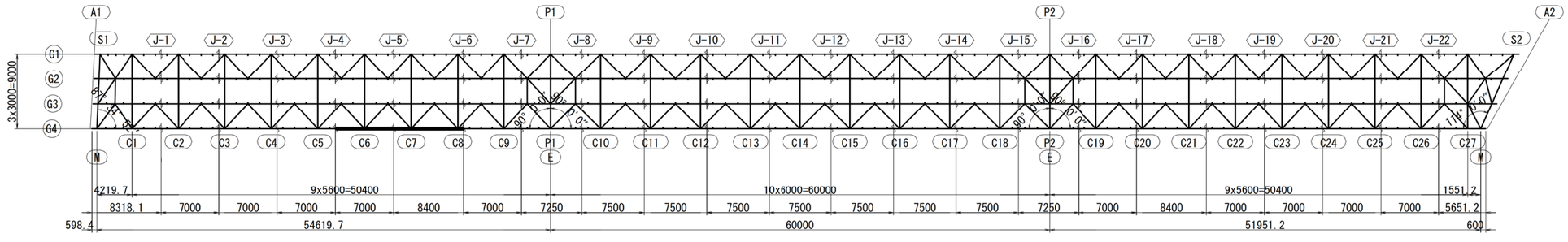
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名	
図面名	主桁G4(その2)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

主桁G4(その3)　S=1:30



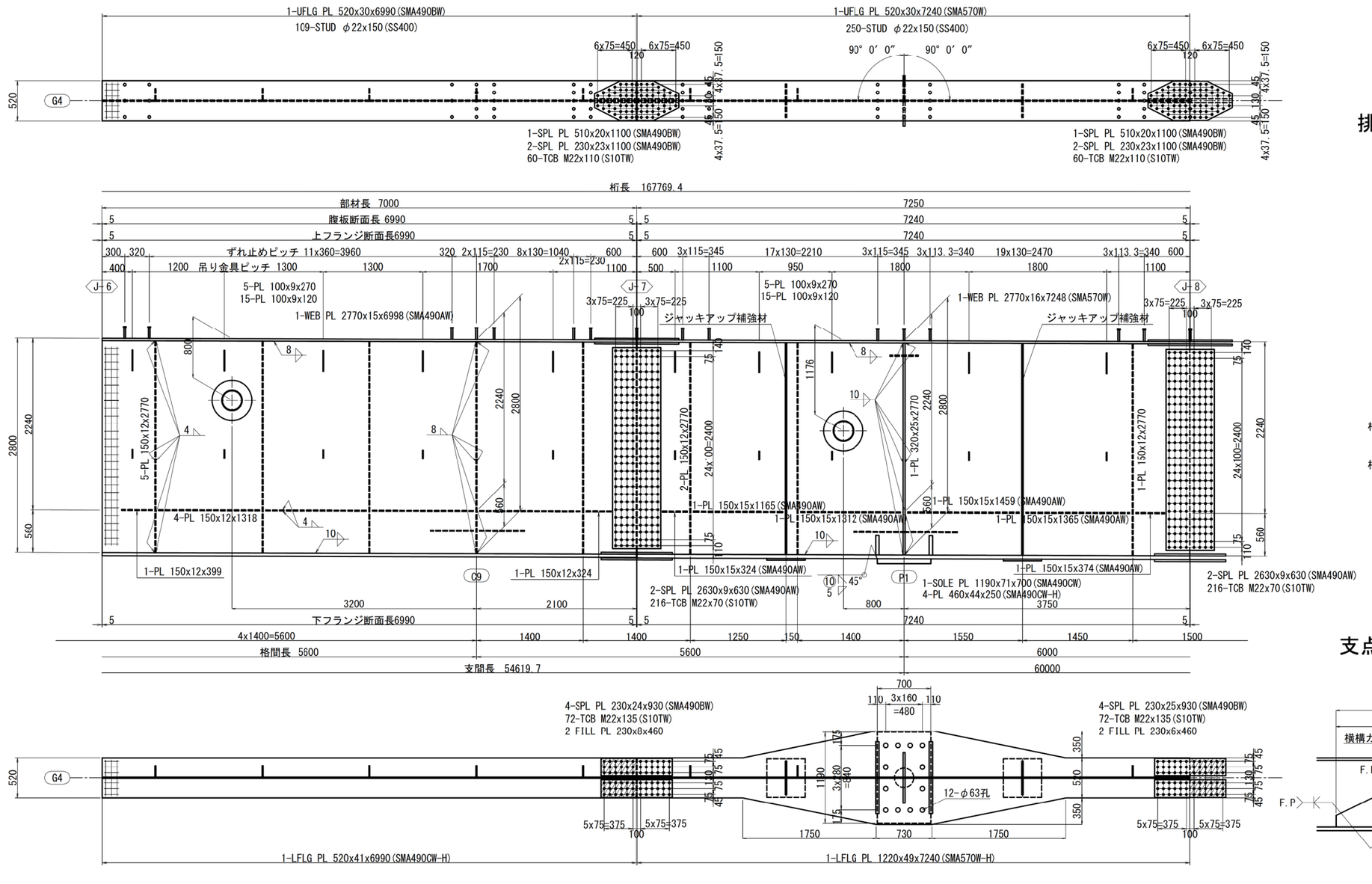
配　置　図　S=1:300



注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

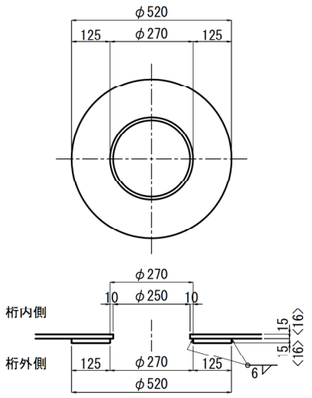
工事名			
図面名	主桁G4(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その4)　S=1:30



排水開口補強詳細　S=1:10

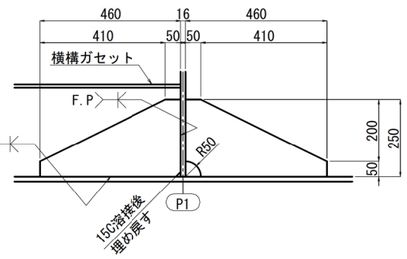
J-6～J-7
〈J-7～J-8〉



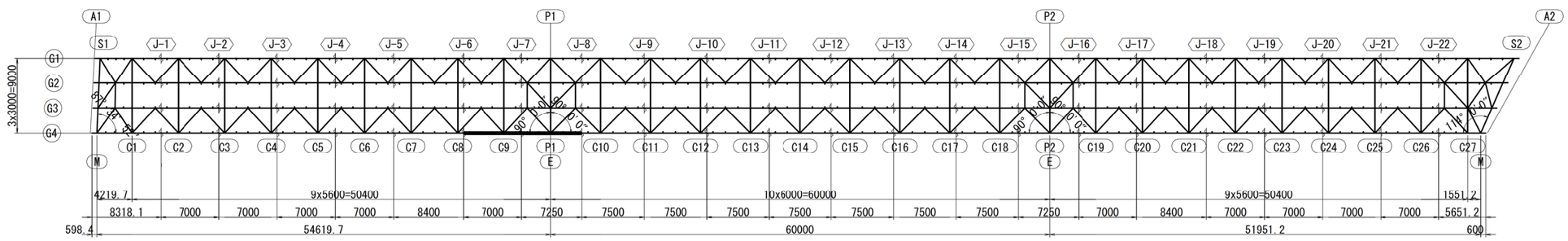
製作数:1〈1〉
1-PL φ520 x 15 (SMA490AW)
〈1-PL φ520 x 16 (SMA570W)〉

支点補強リブ詳細　S=1:10

P1



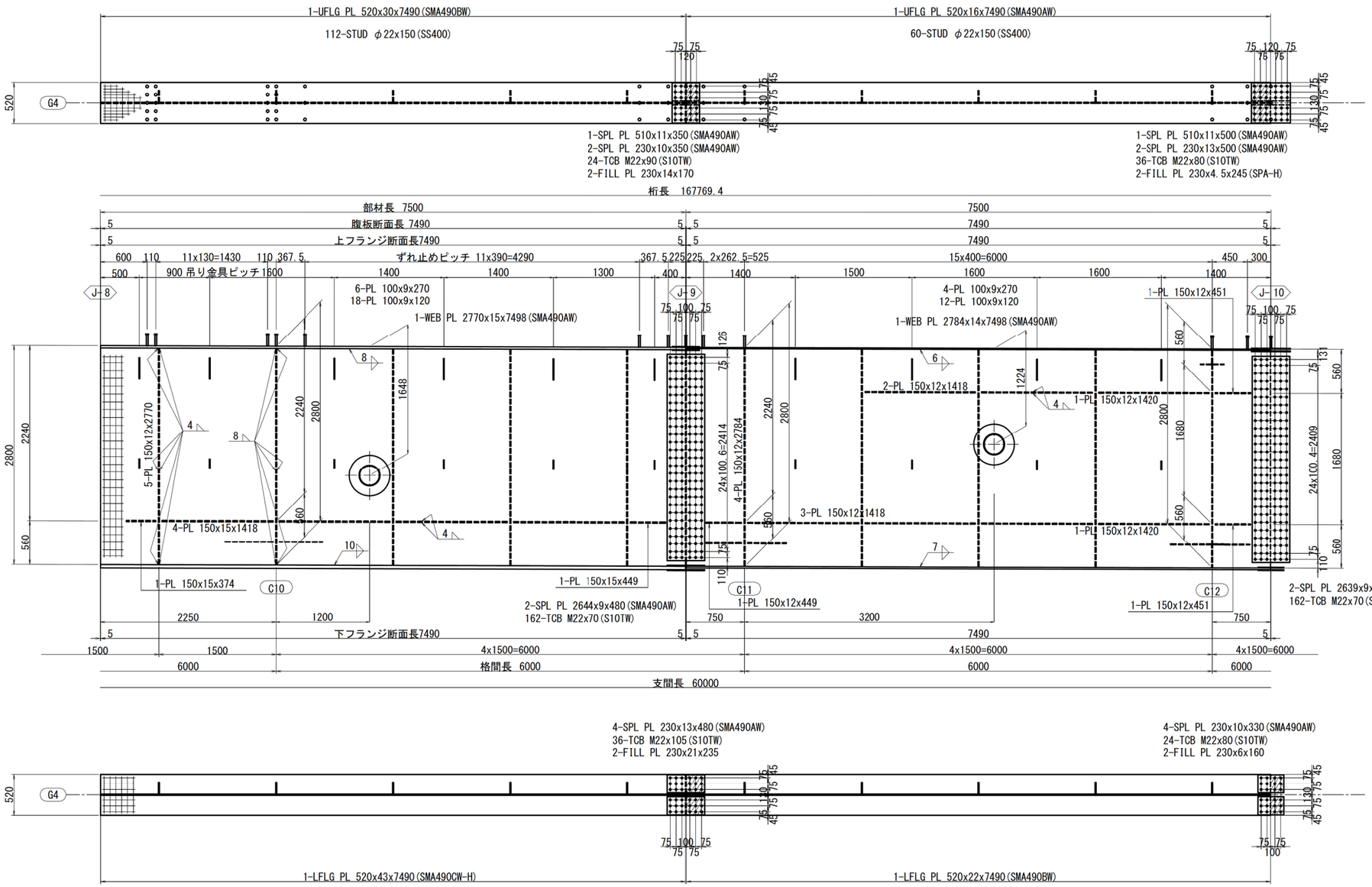
配　置　図　S=1:300



注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

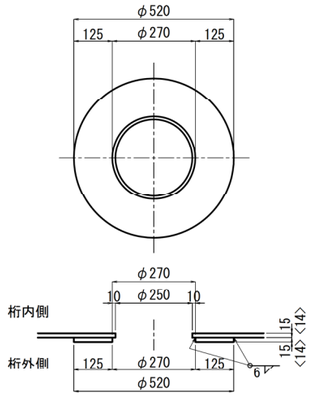
工事名			
図面名	主桁G4(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その5)　S=1:30



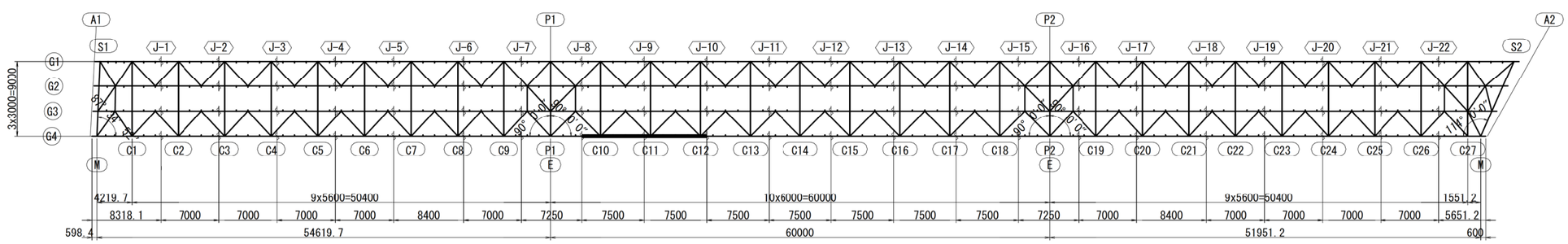
排水開口補強詳細　S=1:10

J-8～J-9
<J-9～J-10>



製作数:1<1>
1-PL φ520 x 15 (SMA490AW)
<1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)>

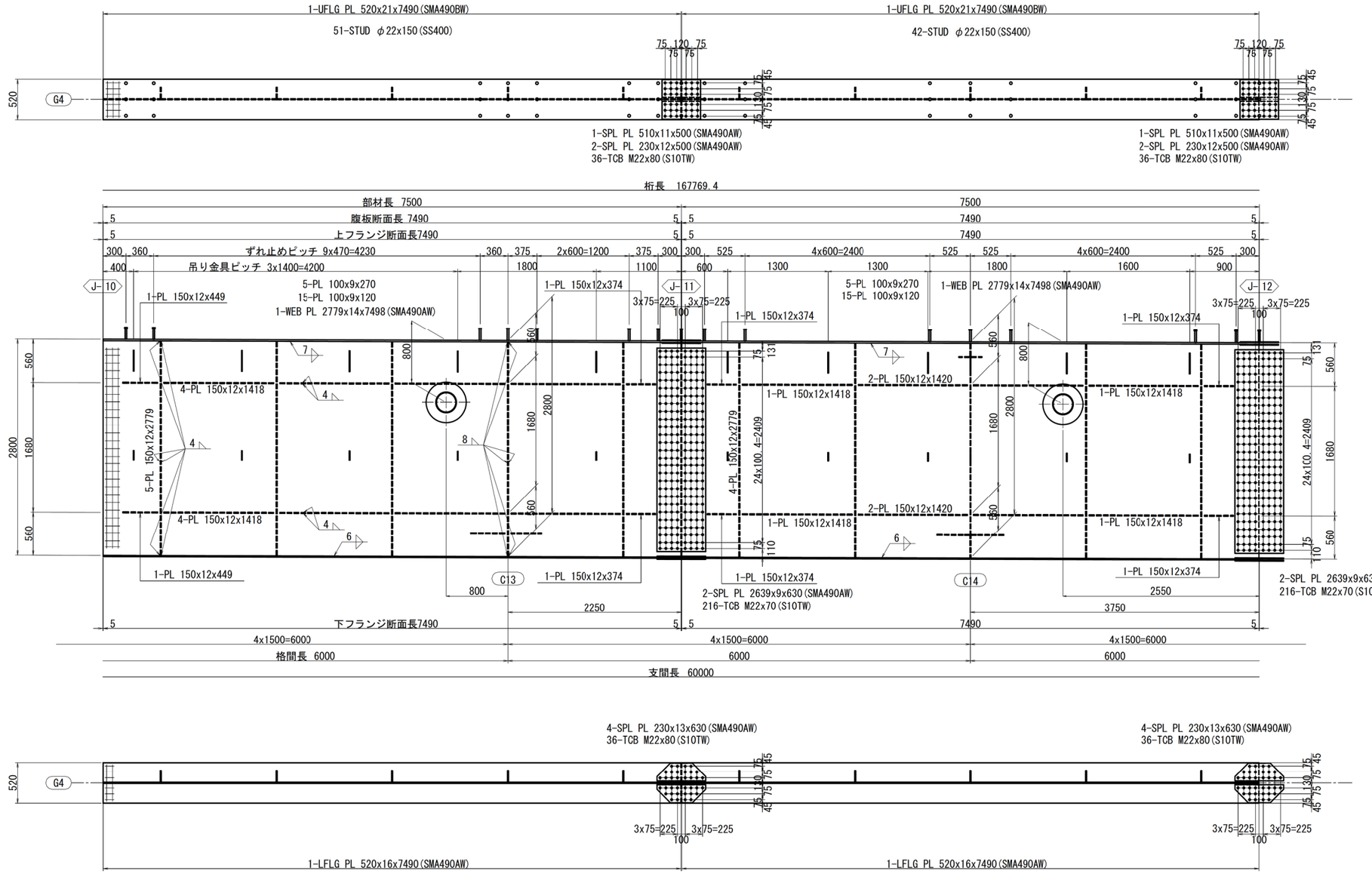
配　置　図　S=1:300



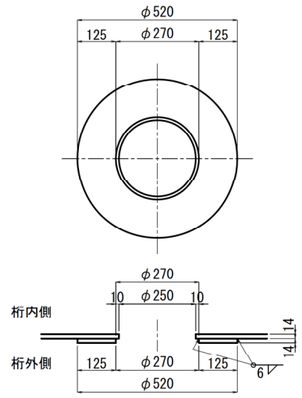
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.╪印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G4(その5)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その6)　S=1:30

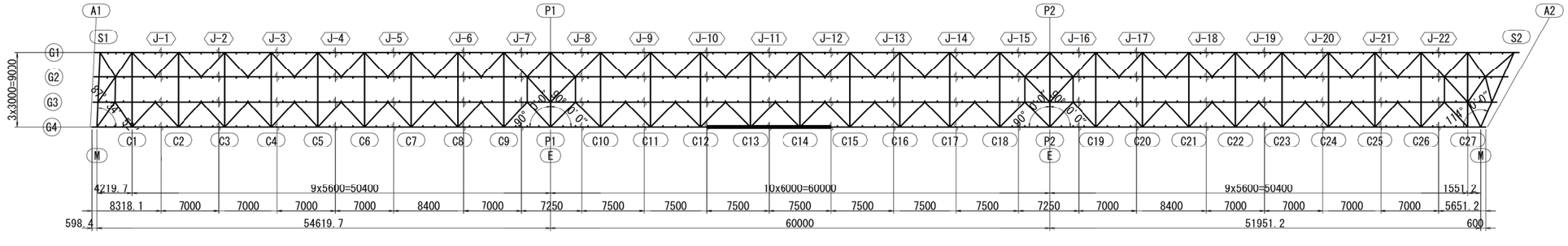


排水開口補強詳細　S=1:10



製作数:2
1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)

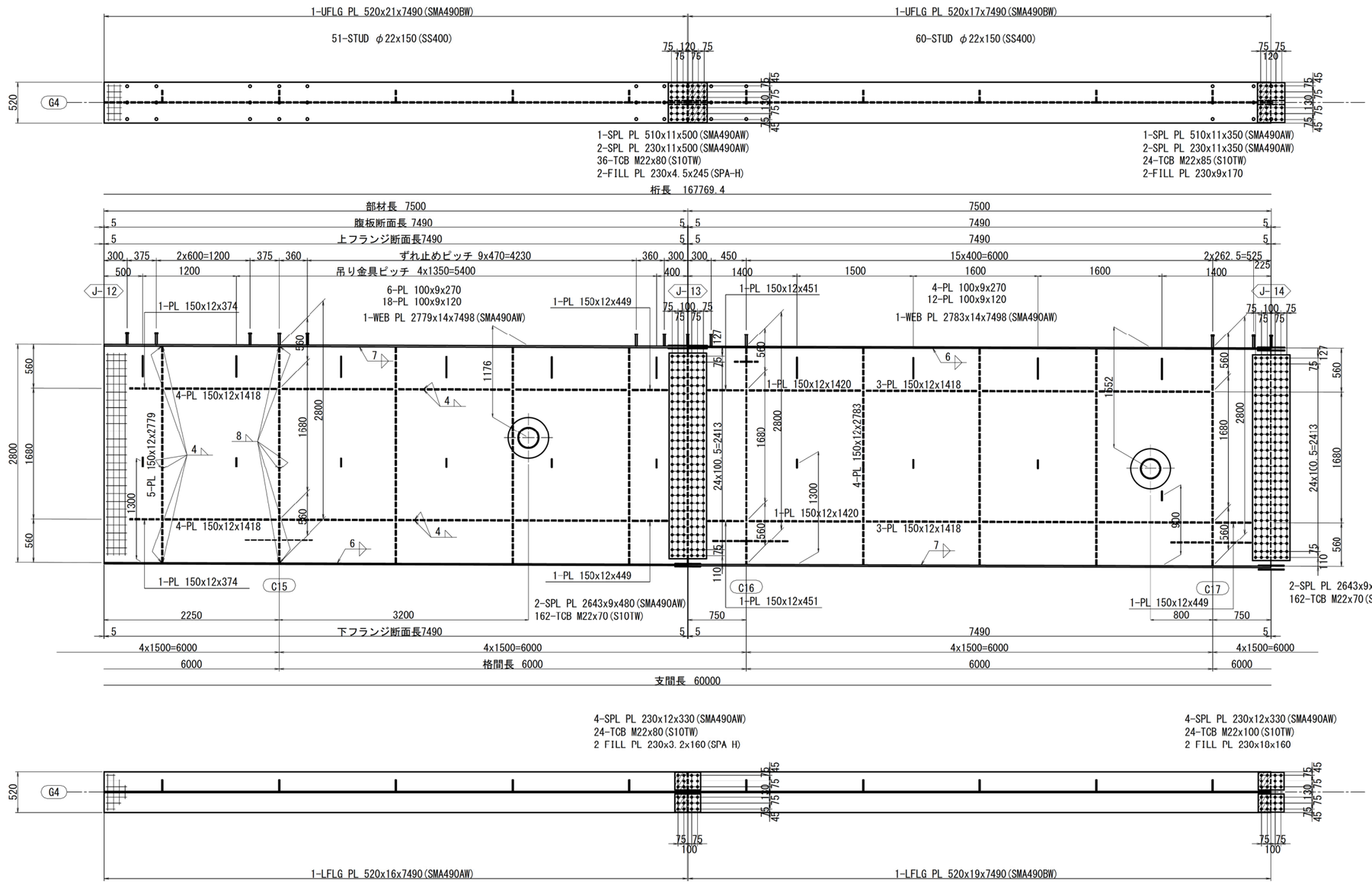
配　置　図　S=1:300



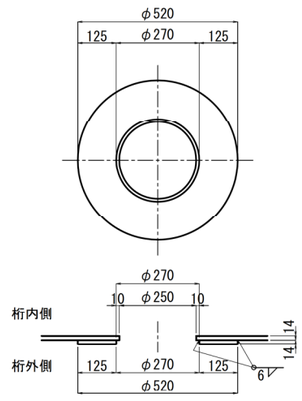
注)
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3. ＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G4(その6)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その7)　S=1:30

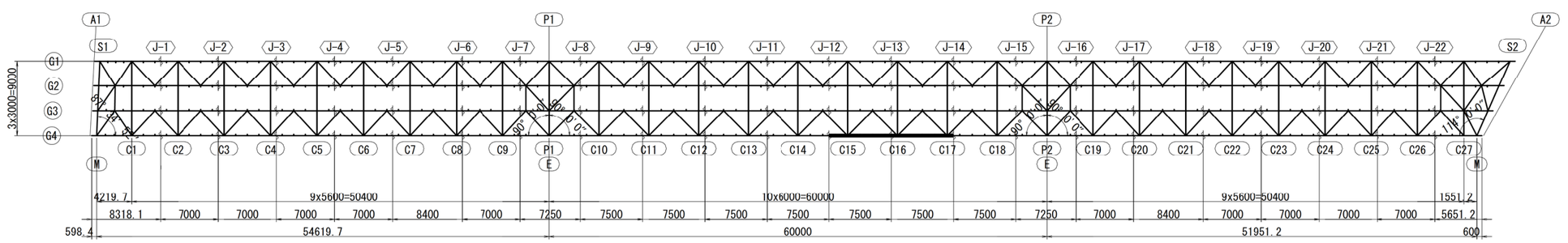


排水開口補強詳細　S=1:10



製作数:2
1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)

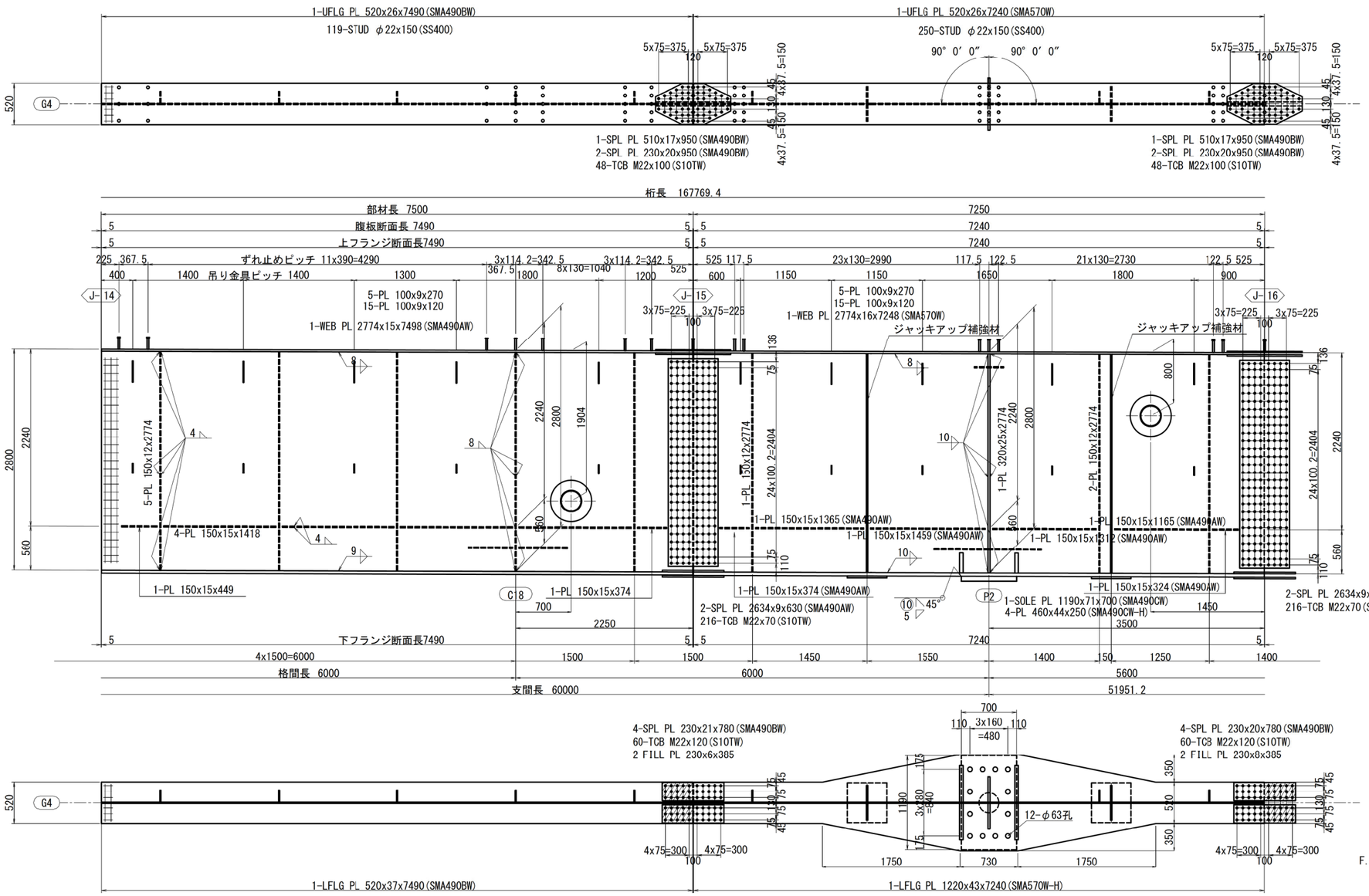
配　置　図　S=1:300



注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.╪印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

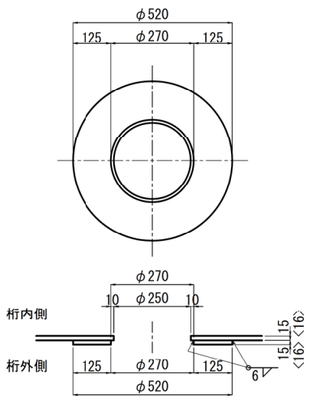
工事名			
図面名	主桁G4(その7)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その8)　S=1:30



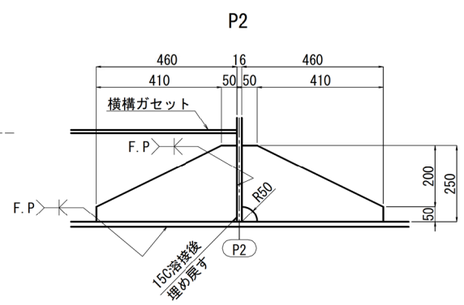
排水開口補強詳細　S=1:10

J-14～J-15
〈J-15～J-16〉

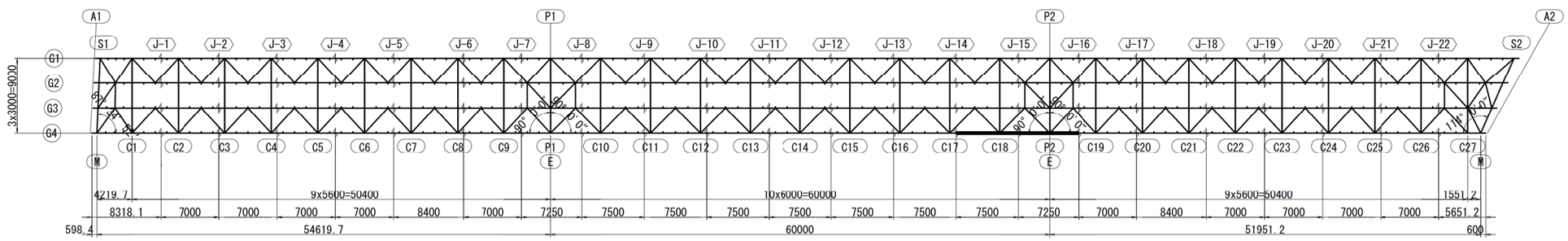


製作数:1〈1〉
1-PL φ520 x 15 (SMA490AW)
〈1-PL φ520 x 16 (SMA570W)〉

支点補強リブ詳細　S=1:10



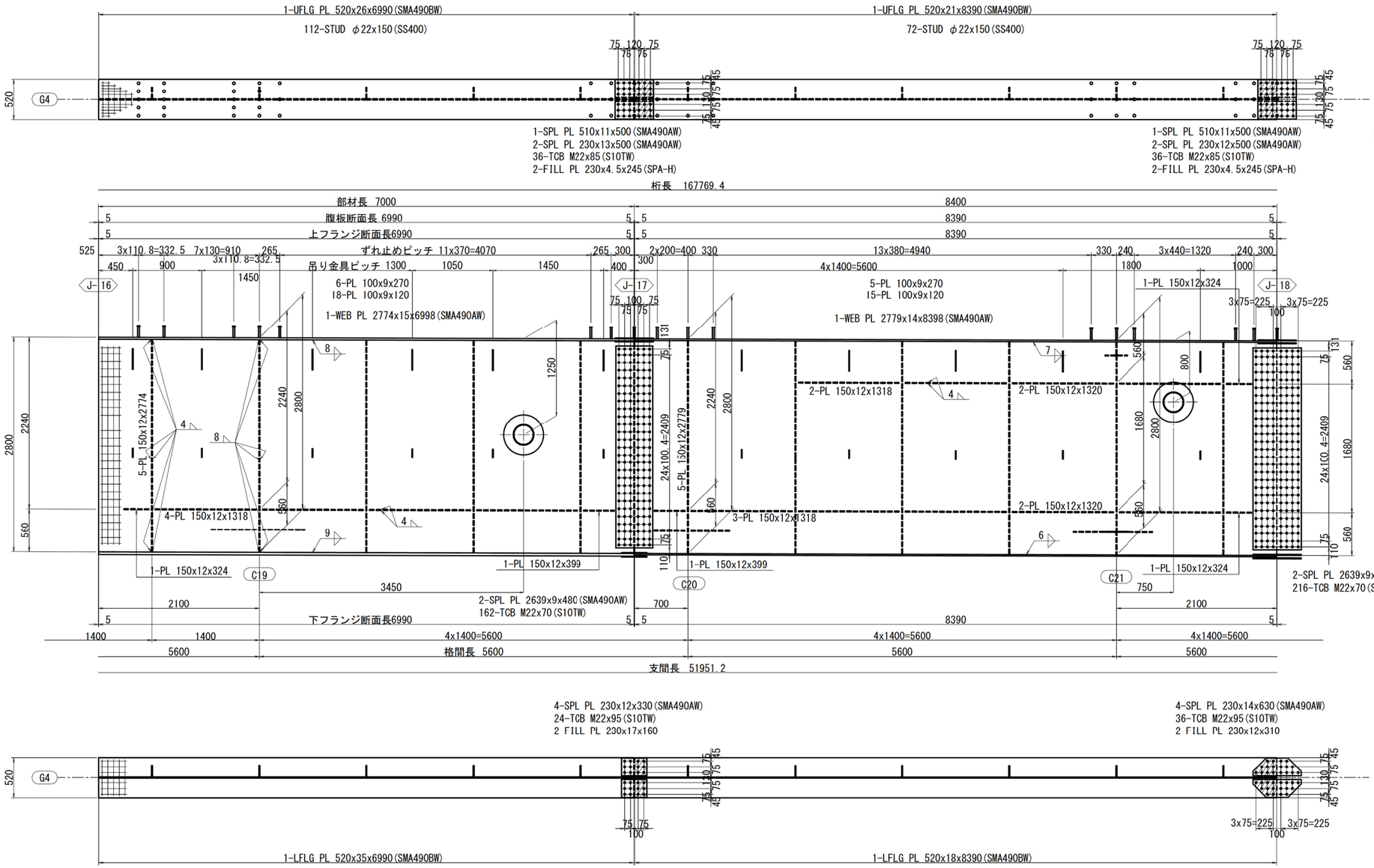
配　置　図　S=1:300



注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

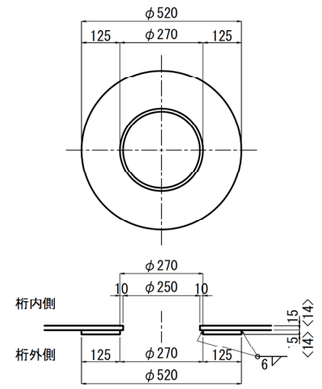
工事名			
図面名	主桁G4(その8)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その9)　S=1:30



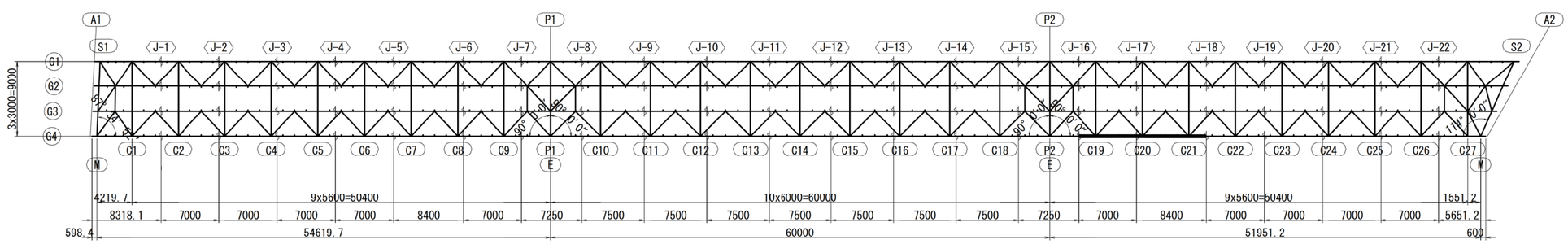
排水開口補強詳細　S=1:10

J-16～J-17
〈J-17～J-18〉



製作数:1〈1〉
1-PL φ520 x 15 (SMA490AW)
〈1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)〉

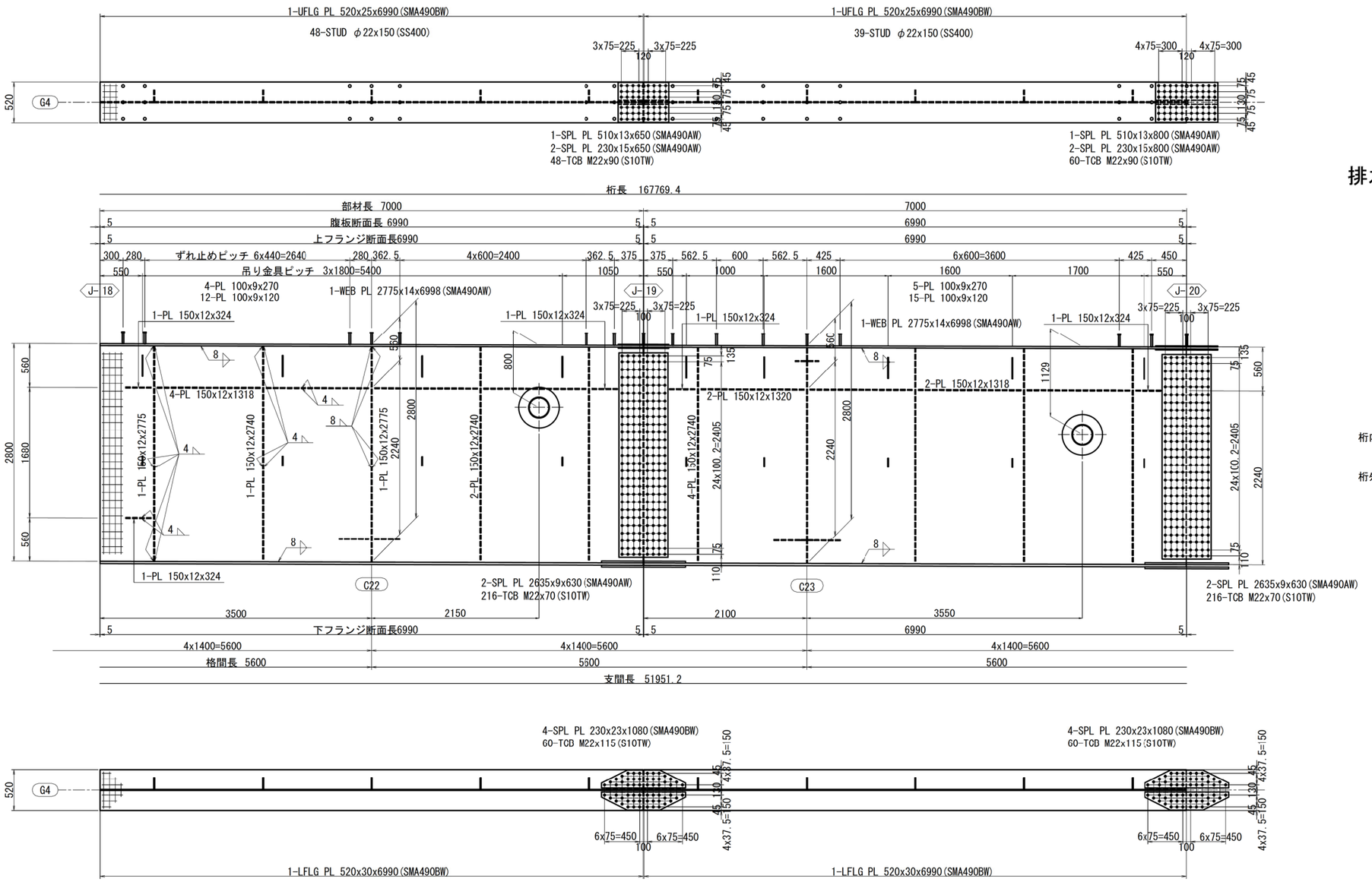
配　置　図　S=1:300



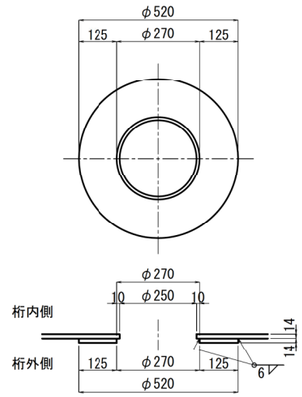
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G4(その9)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その10)　S=1:30

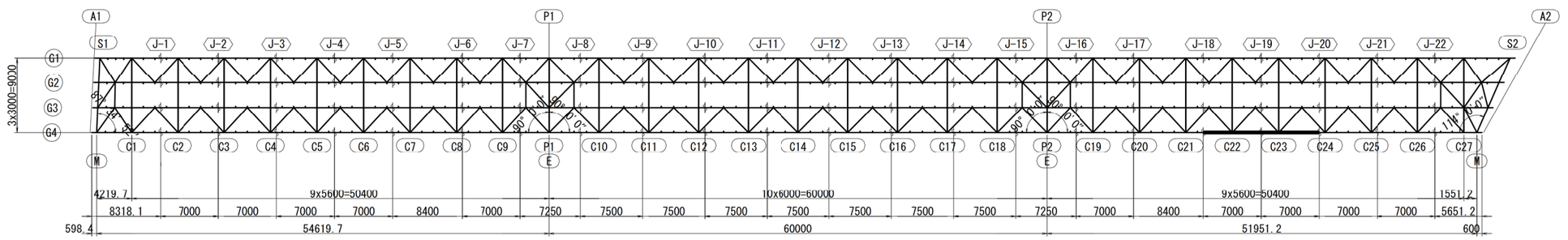


排水開口補強詳細　S=1:10



製作数:2
1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)

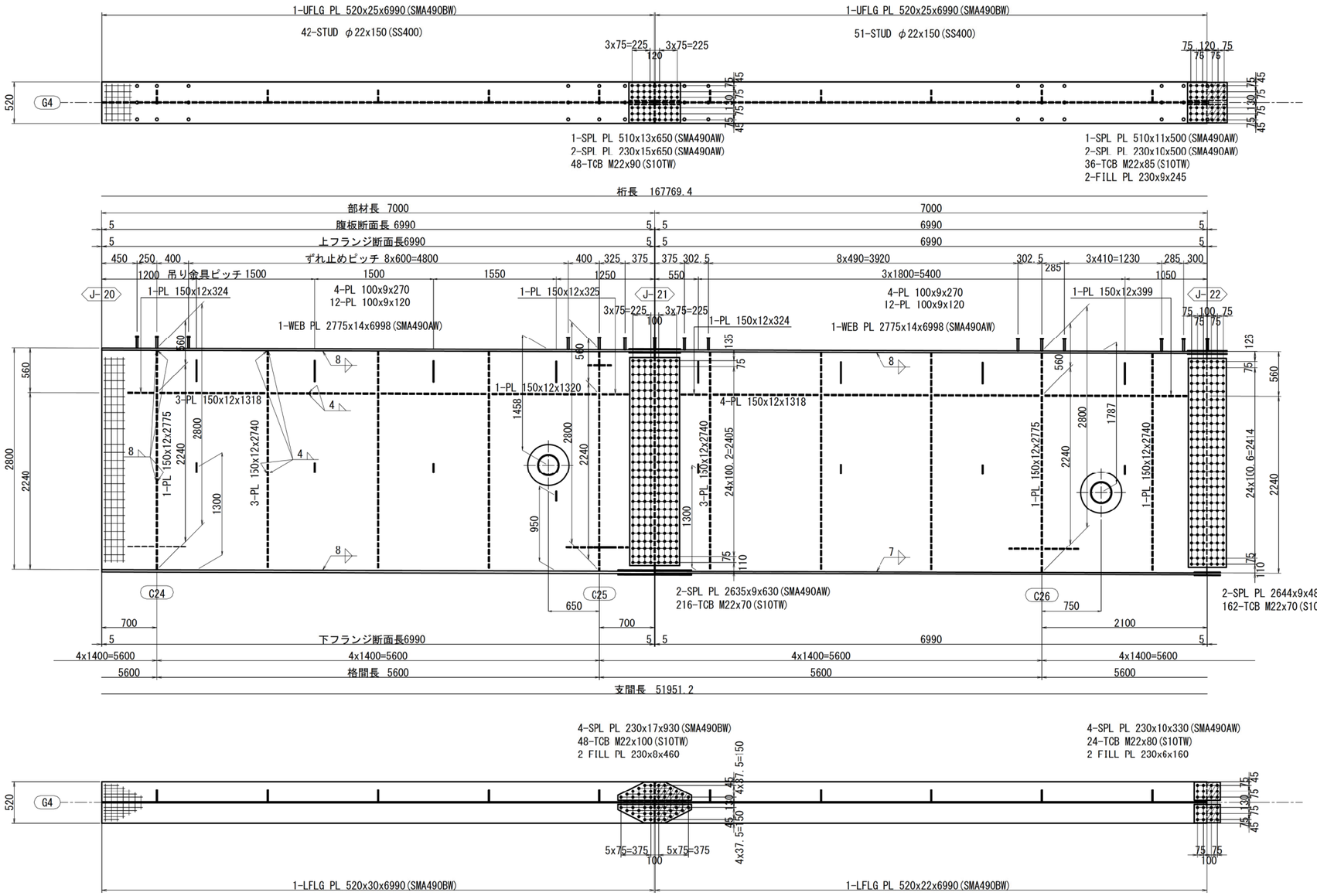
配　置　図　S=1:300



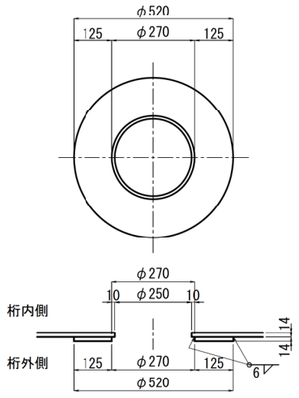
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名			
図面名	主桁G4(その10)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

主桁G4(その11)　S=1:30

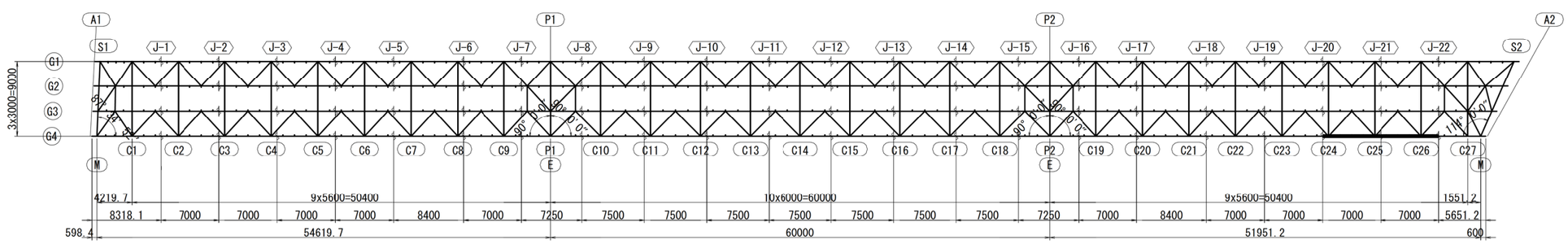


排水開口補強詳細　S=1:10



製作数:2
1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)

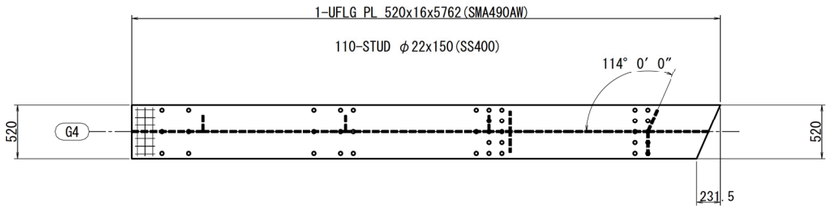
配　置　図　S=1:300

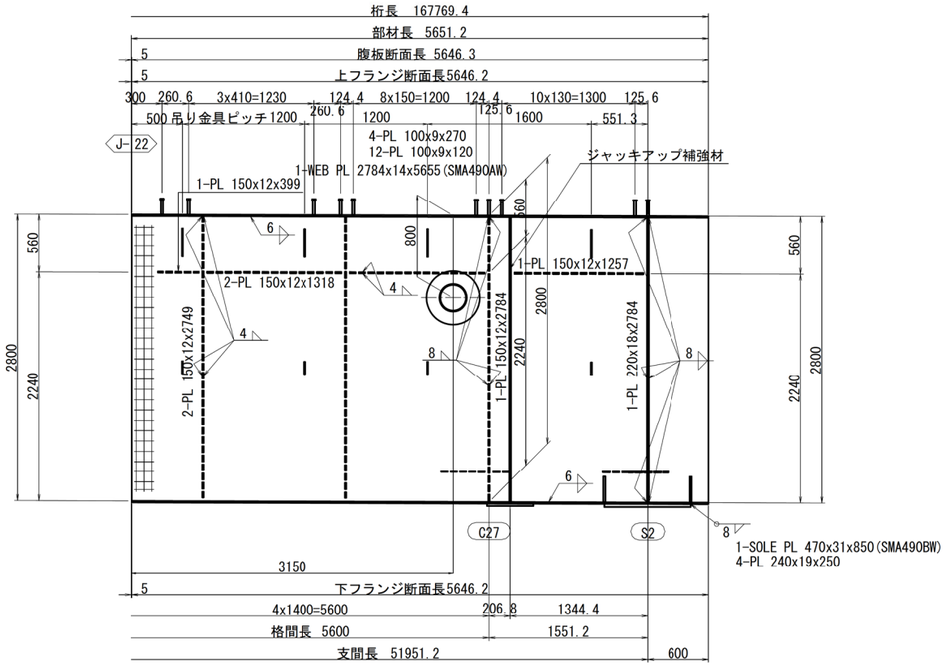


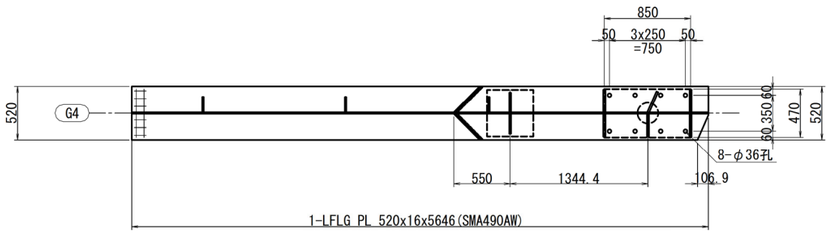
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

工事名	
図面名	主桁G4(その11)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

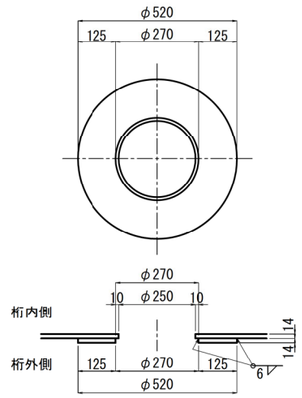
主桁G4(その12)　S=1:30





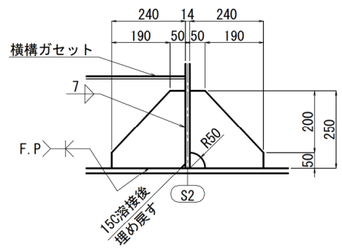


排水開口補強詳細　S=1:10

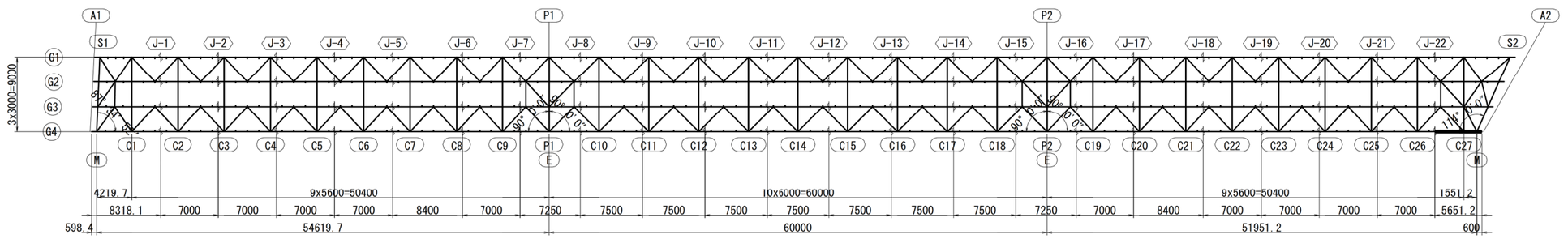


製作数:1
1-PL φ520 x 14 (SMA490AW)

支点補強リブ詳細　S=1:10



配　置　図　S=1:300

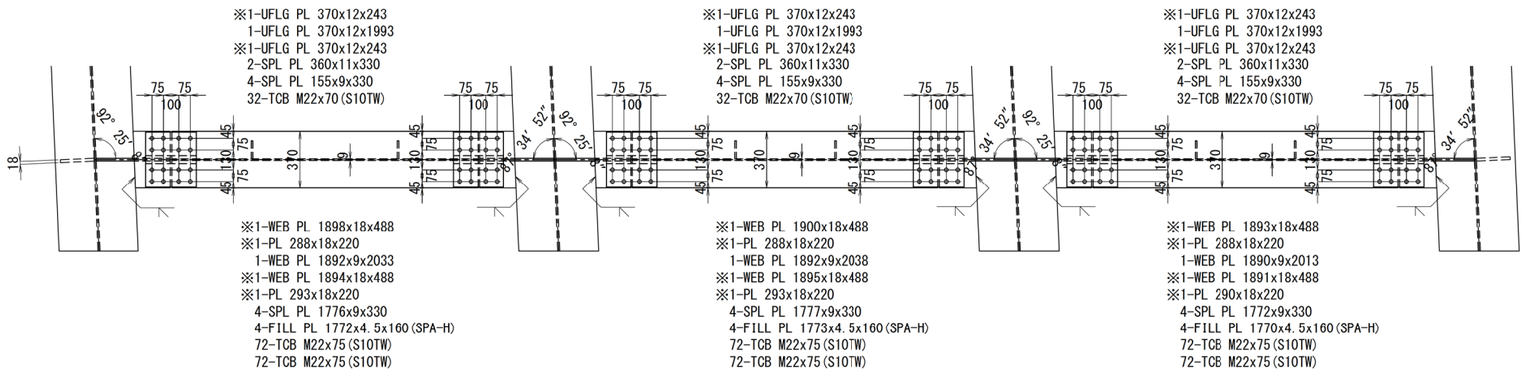


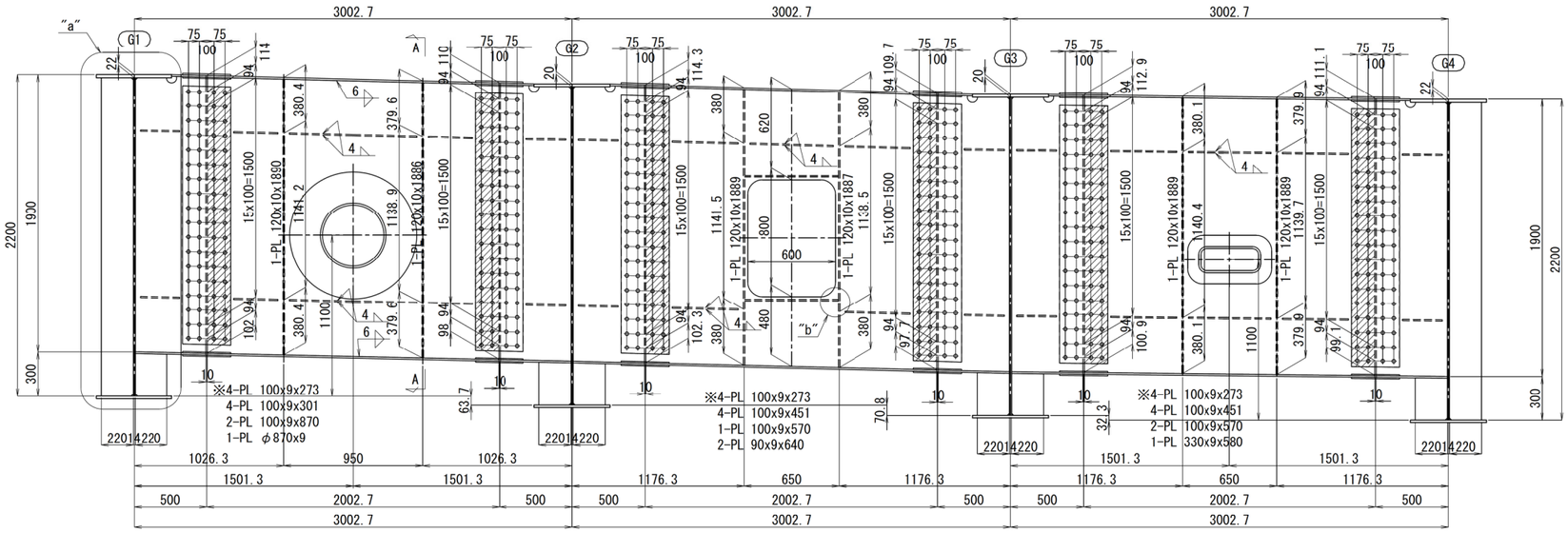
注)
1.特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2.各部詳細は「共通詳細図」を参照のこと。
3.＋印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。

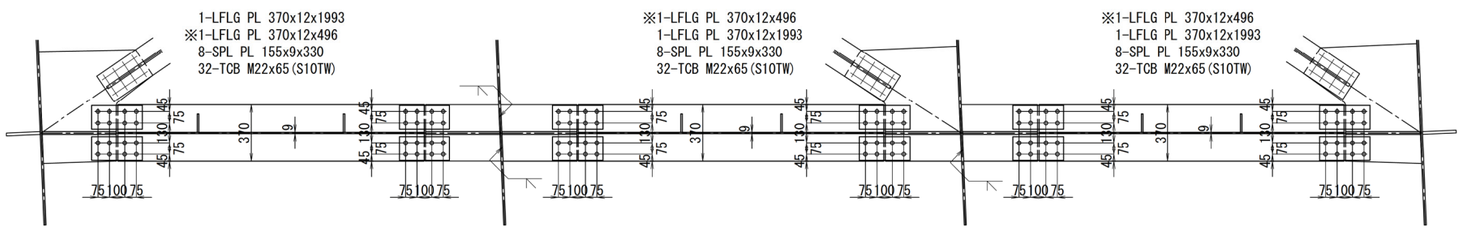
工事名			
図面名	主桁G4(その12)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横桁図(その1)　S=1:20

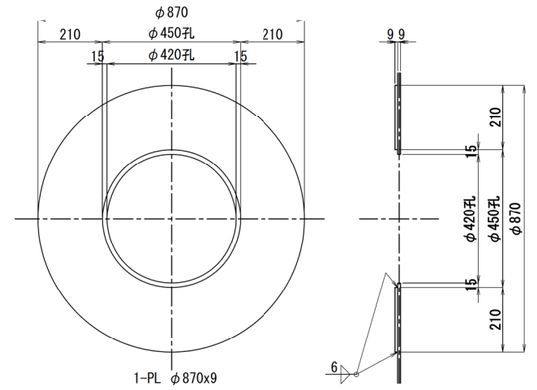
端支点上横桁 S1



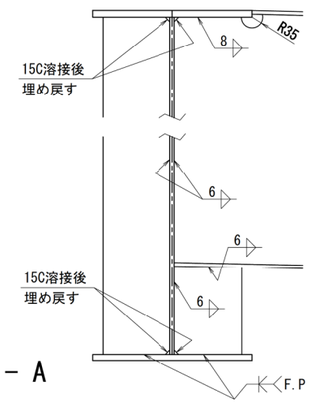




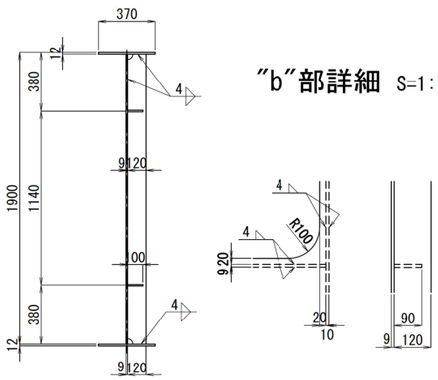
上水道の添架物貫通孔詳細　S=1:10



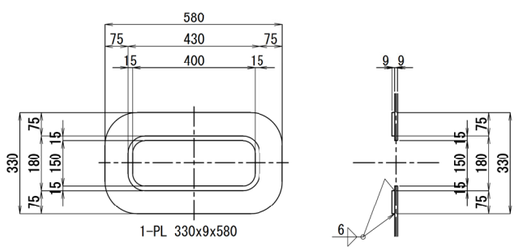
"a"部詳細　S=1:10



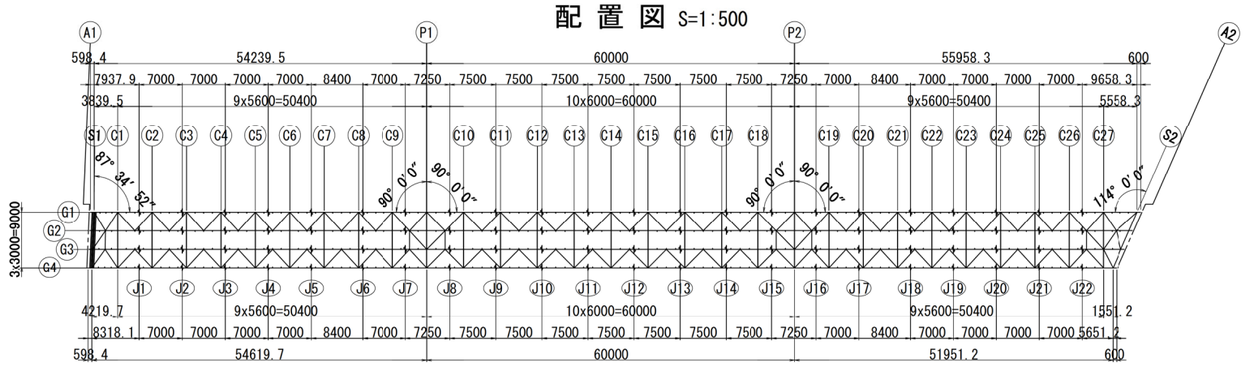
"b"部詳細　S=1:10



NTTの添架物貫通孔詳細　S=1:10



配 置 図　S=1:500



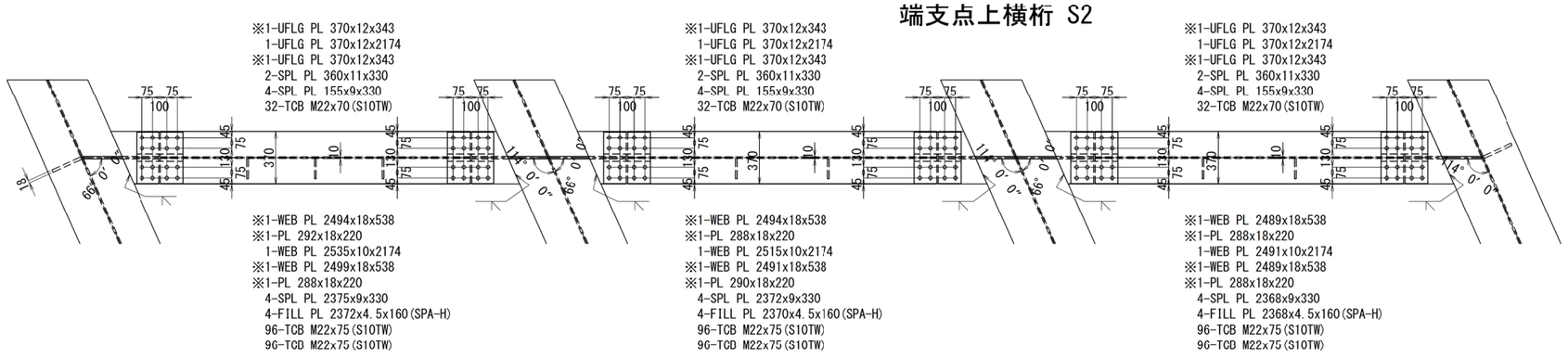
注 記

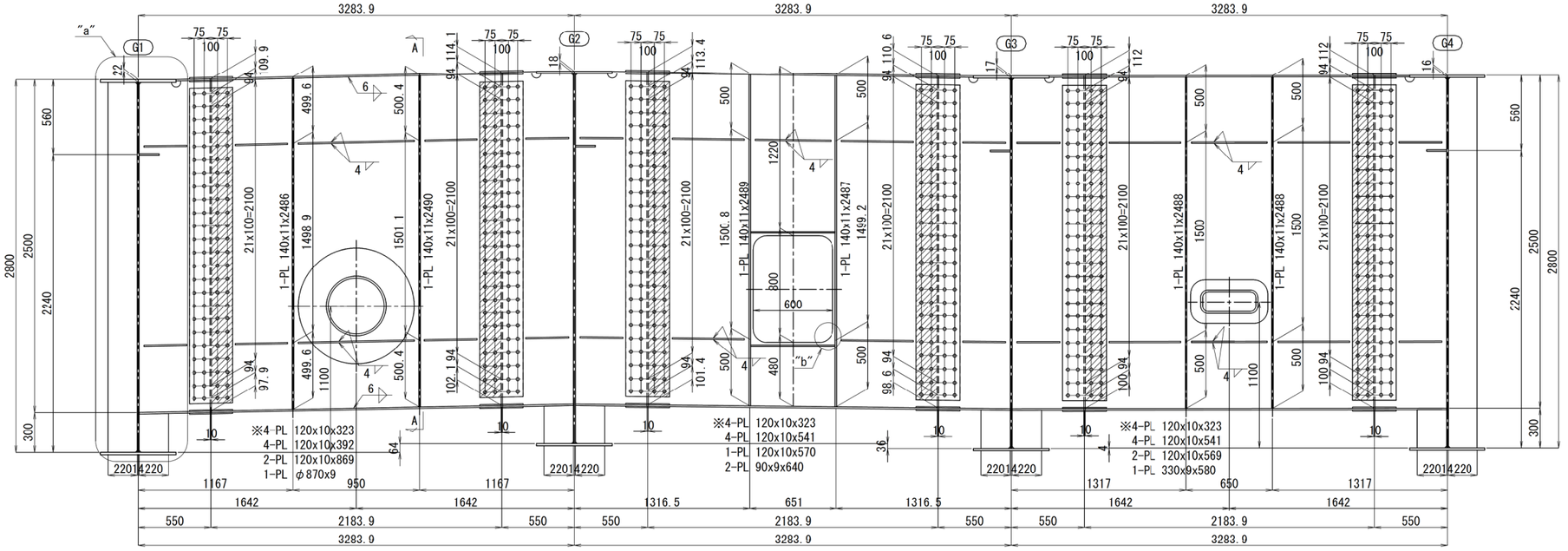
1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ＊印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. ※印の材料は、主桁で計上する。

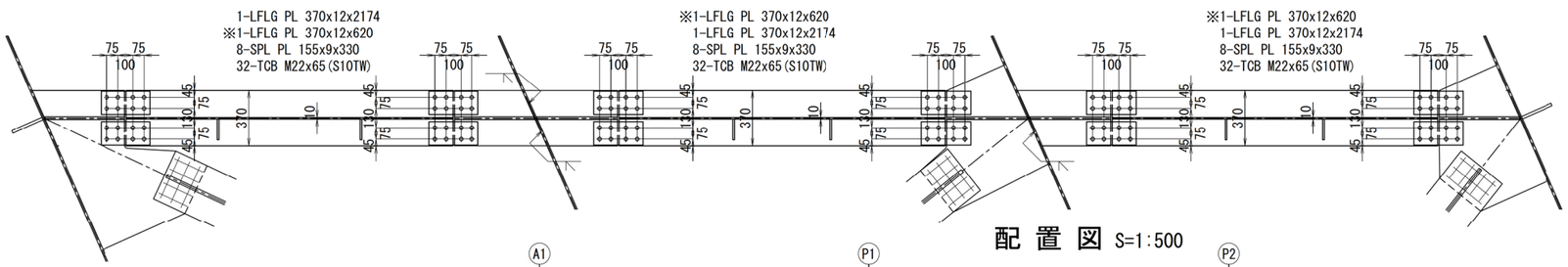
工事名	
図面名	横桁図(その1)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

横桁図(その2)　S=1:20

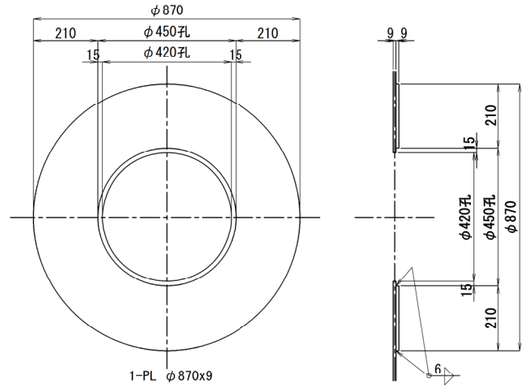
端支点上横桁 S2



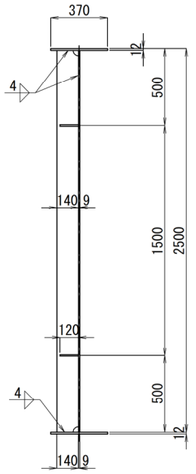




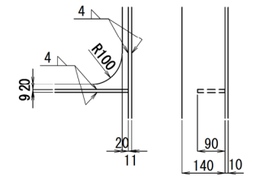
上水道の添架物貫通孔詳細　S=1:10



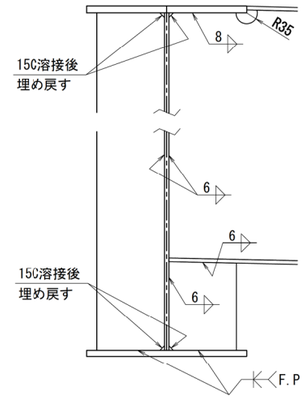
A - A



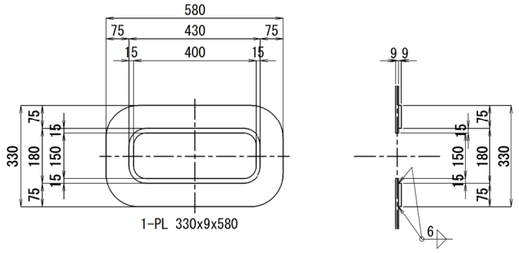
"b"部詳細　S=1:10



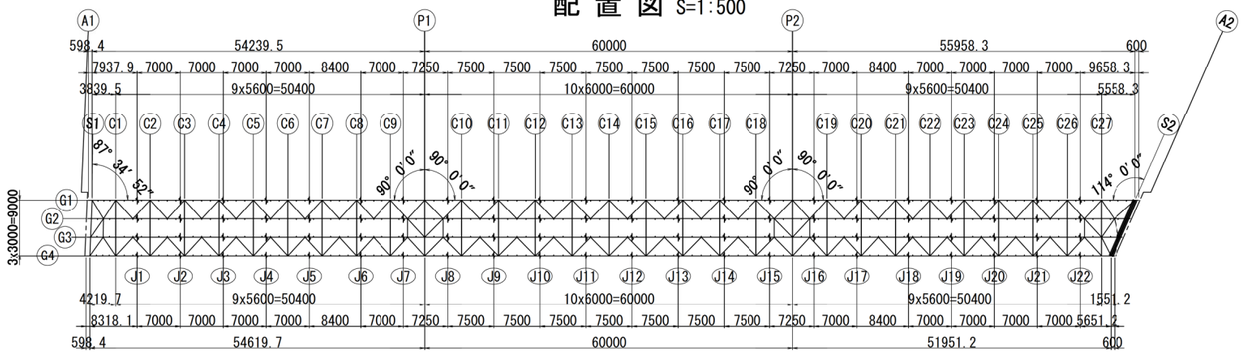
"a"部詳細　S=1:10



NTTの添架物貫通孔詳細　S=1:10



配 置 図　S=1:500



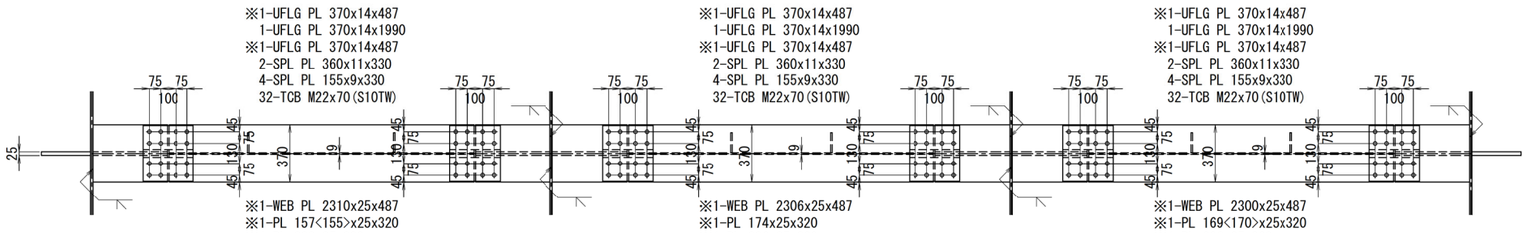
注 記

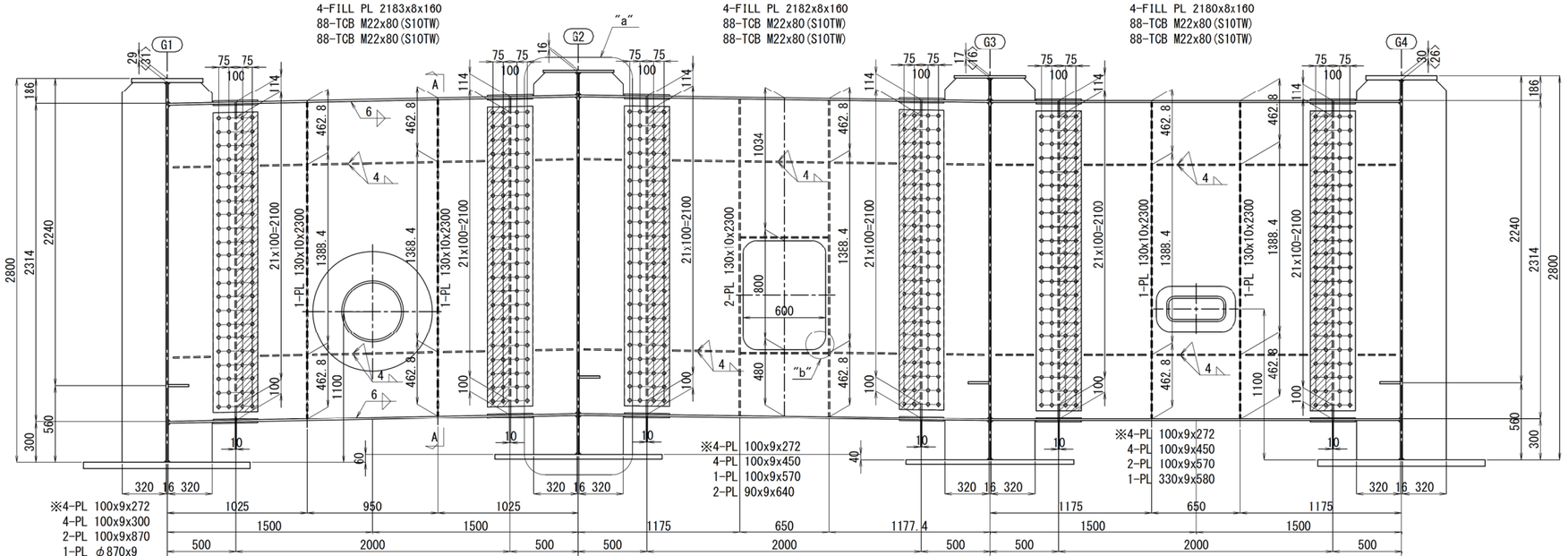
1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ※印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. ※印の材料は、主桁で計上する。

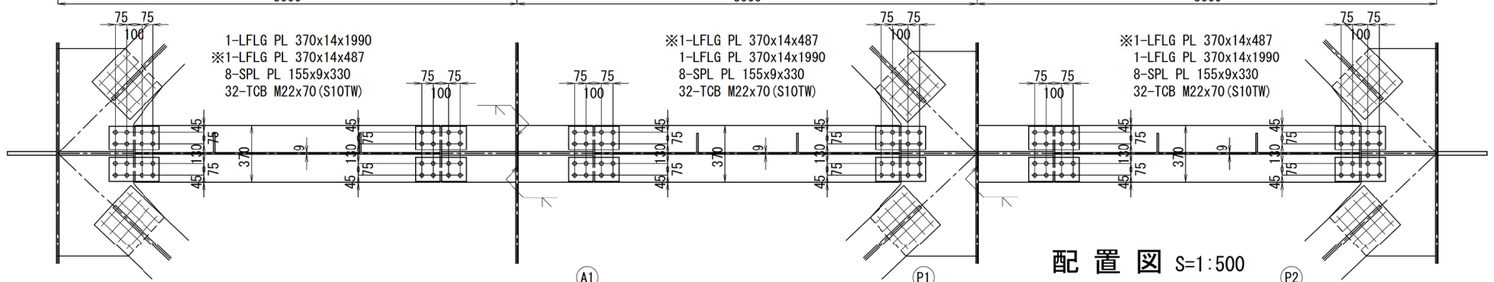
工事名	
図面名	横桁図(その2)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

横桁図(その3)　S=1:20

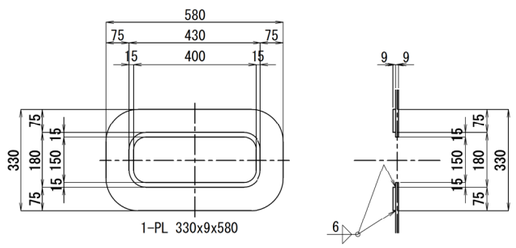
中間支点上横桁 P1<P2>



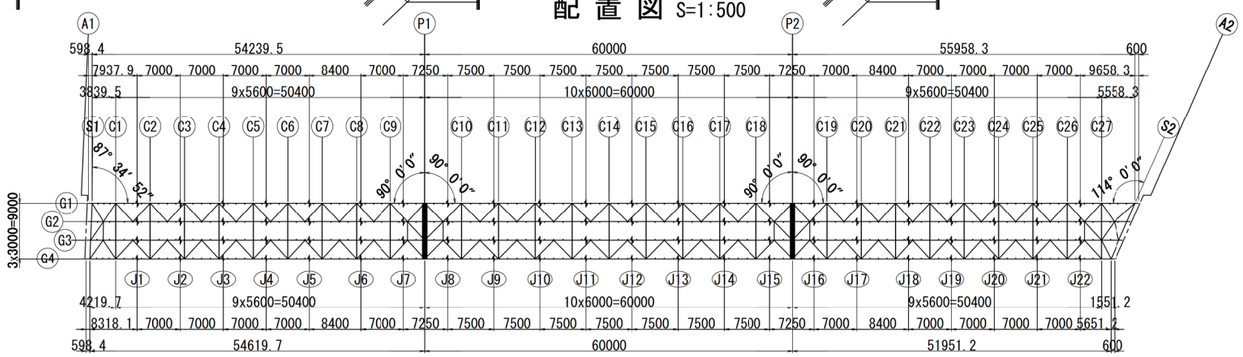




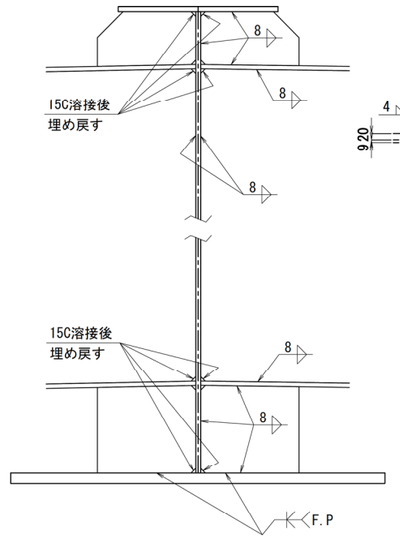
NTTの添架物貫通孔詳細　S=1:10



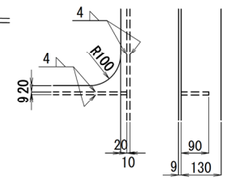
配 置 図 S=1:500



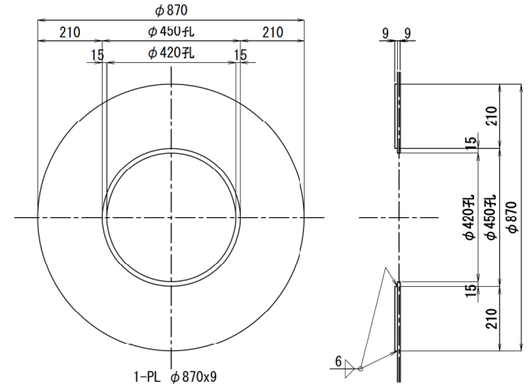
"a"部詳細　S=1:10



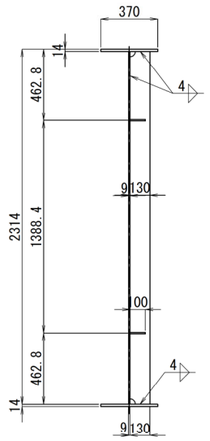
"b"部詳細　S=1:10



上水道の添架物貫通孔詳細　S=1:10



A - A



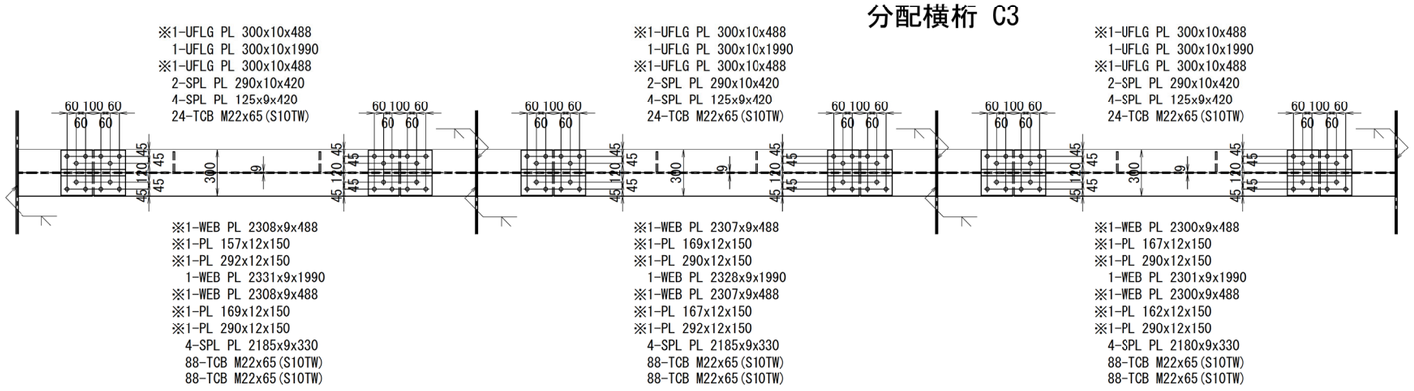
注 記

1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ＋印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. ※印の材料は、主桁で計上する。

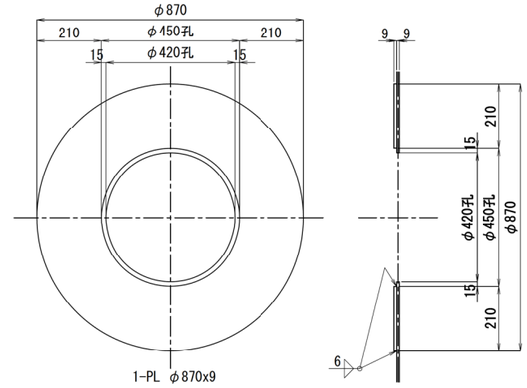
工事名	
図面名	横桁図(その3)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

横桁図(その4)　S=1:20

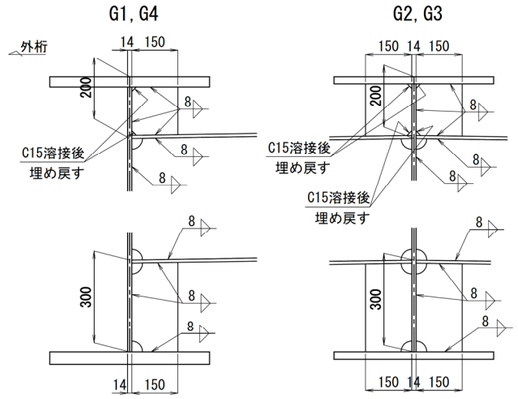
分配横桁 C3



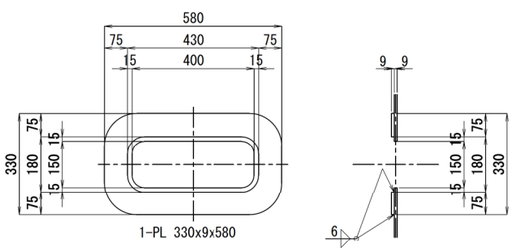
上水道の添架物貫通孔詳細　S=1:10



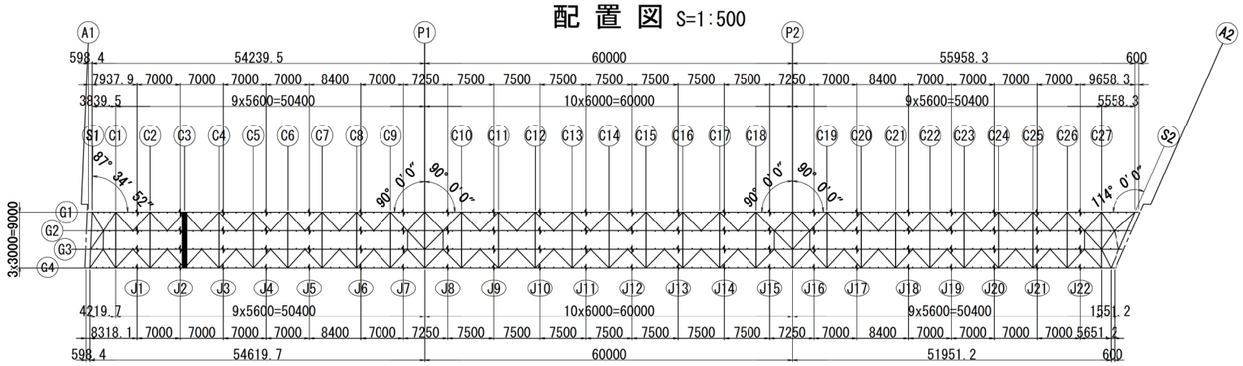
主桁取付部詳細　S=1:10



NTTの添架物貫通孔詳細　S=1:10



配 置 図　S=1:500



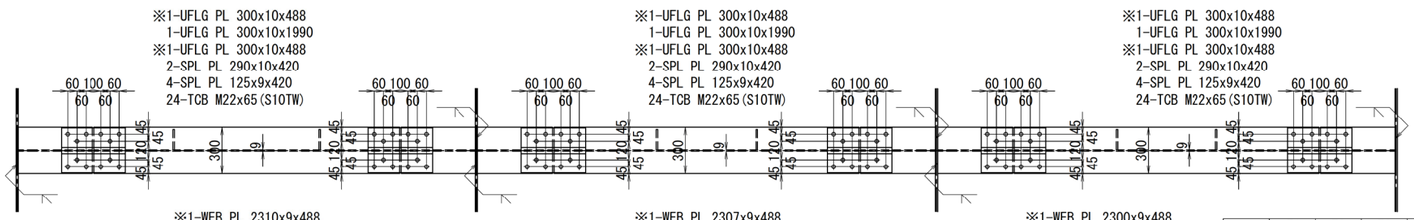
注 記

1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ＋印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. ※印の材料は、主桁で計上する。

工事名	
図面名	横桁図(その4)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図 示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

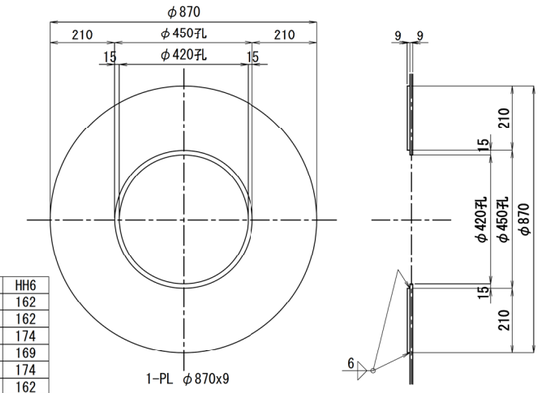
横桁図(その5)　S=1:20

分配横桁　C5, C7, C12, C14, C16, C21, C23, C25

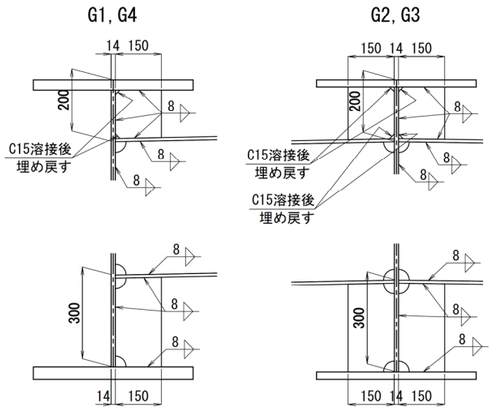


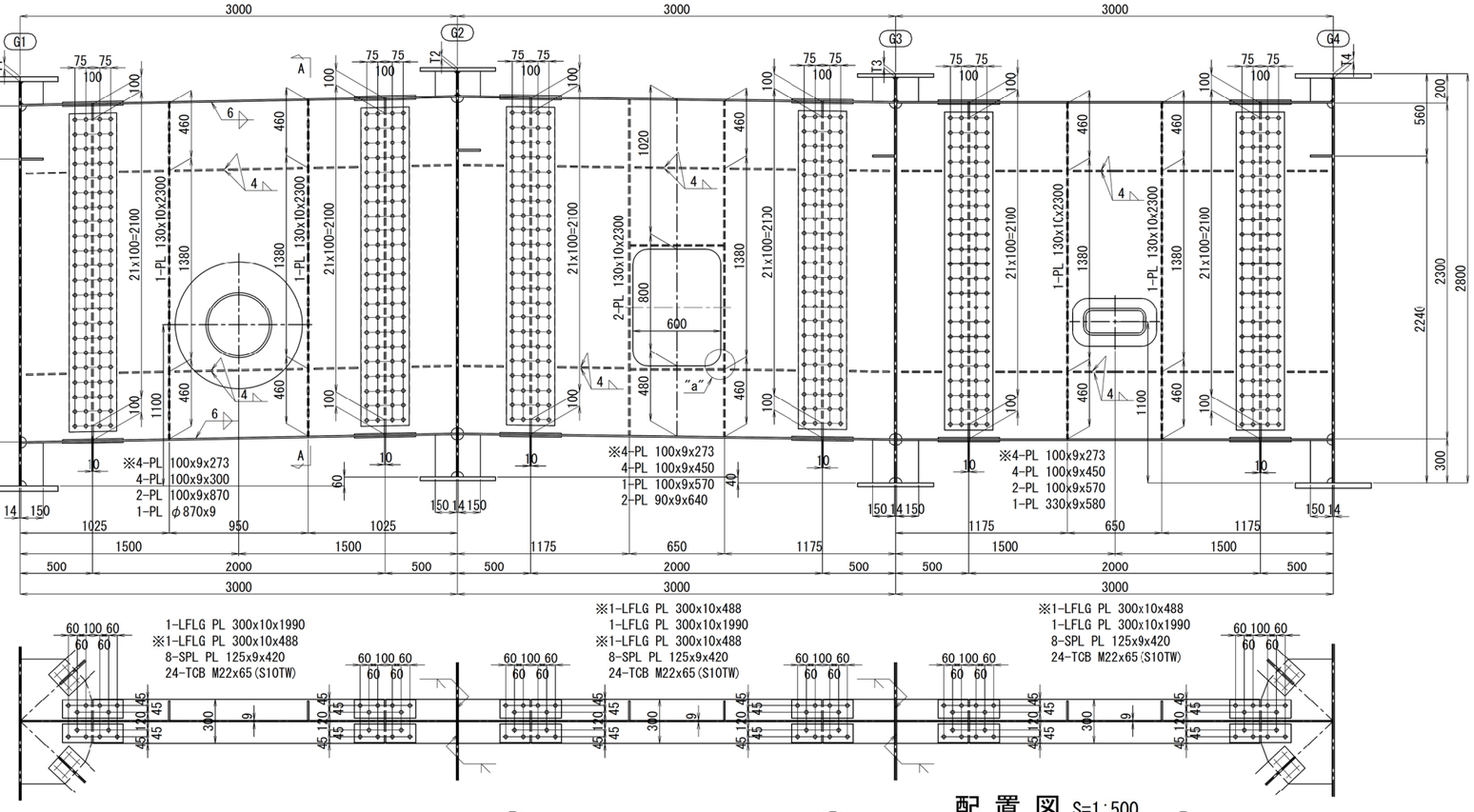
	T1	T2	T3	T4	HH1	HH2	HH3	HH4	HH5	HH6
C5	33	23	23	28	157	170	169	167	167	162
C7	23	19	20	21	167	174	173	170	167	162
C12	18	16	17	16	157	170	169	167	173	174
C14	22	20	20	21	168	173	172	170	170	169
C16	18	16	16	17	157	170	169	167	173	174
C21	23	19	19	21	167	174	173	170	167	162
C23	36	23	23	25	157	170	169	167	167	162
C25	36	23	23	25	157	170	169	167	173	174

上水道の添架物貫通孔詳細　S=1:10

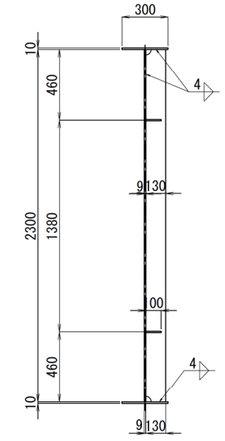


主桁取付部詳細　S=1:10

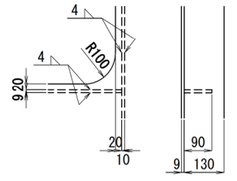




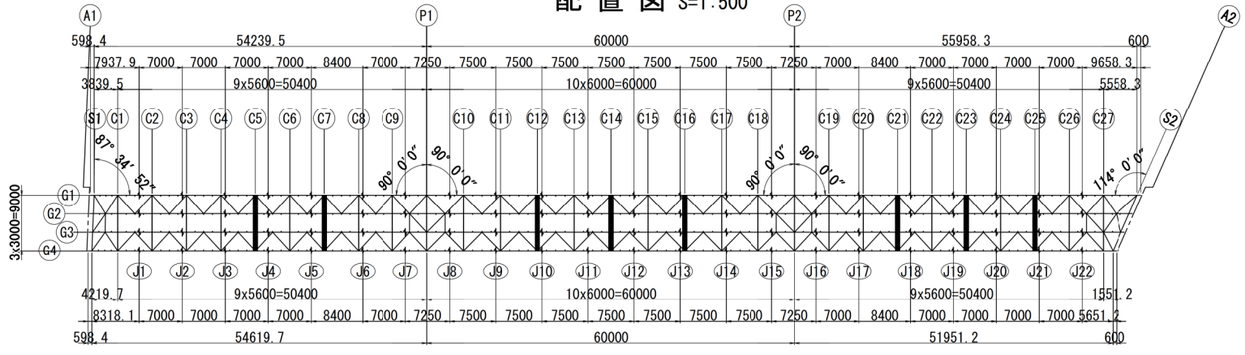
A - A



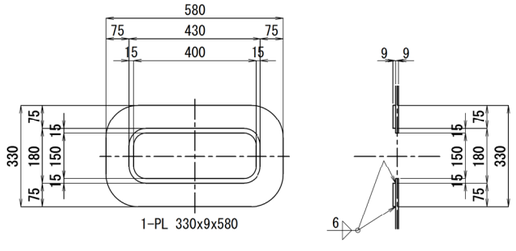
"a"部詳細　S=1:10



配 置 図　S=1:500



NTTの添架物貫通孔詳細　S=1:10



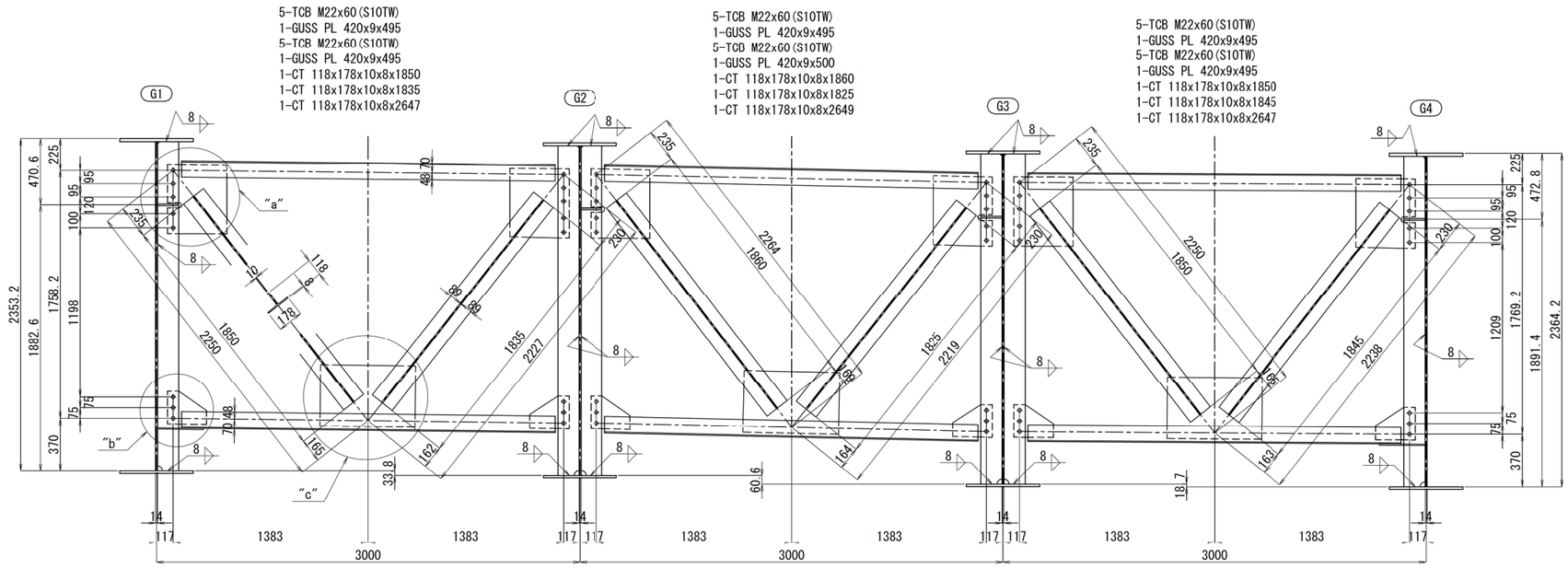
注 記

1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ＊印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。
5. ※印の材料は、主桁で計上する。

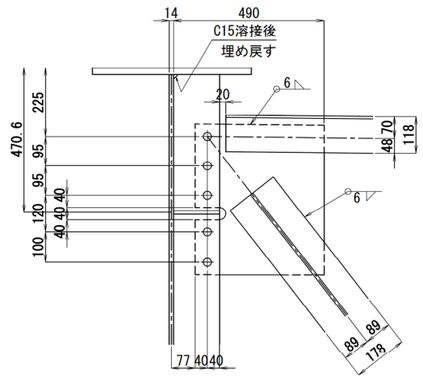
工事名	
図面名	横桁図(その5)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

中間対傾構図（その1）　S=1:20

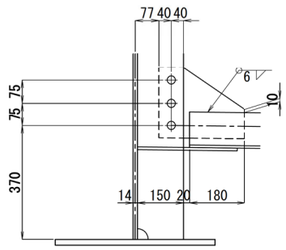
C1



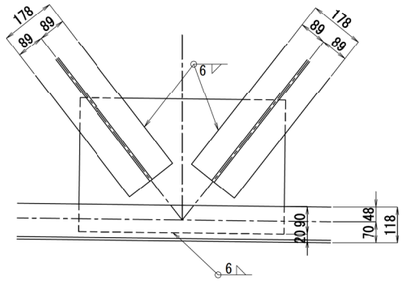
"a"部詳細図　S=1:10



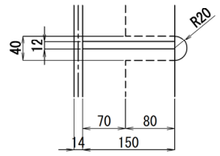
"b"部詳細図　S=1:10



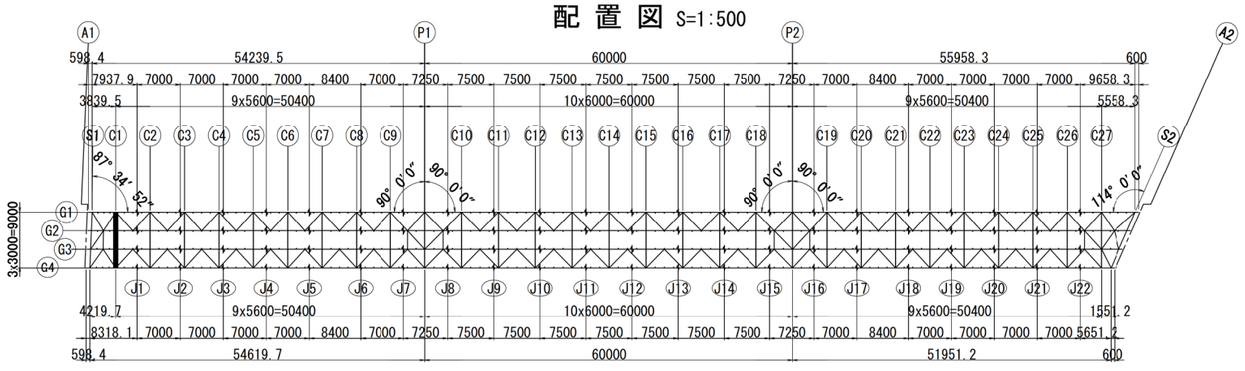
"c"部詳細図　S=1:10



スカーラップ詳細図　S=1:5



配 置 図　S=1:500



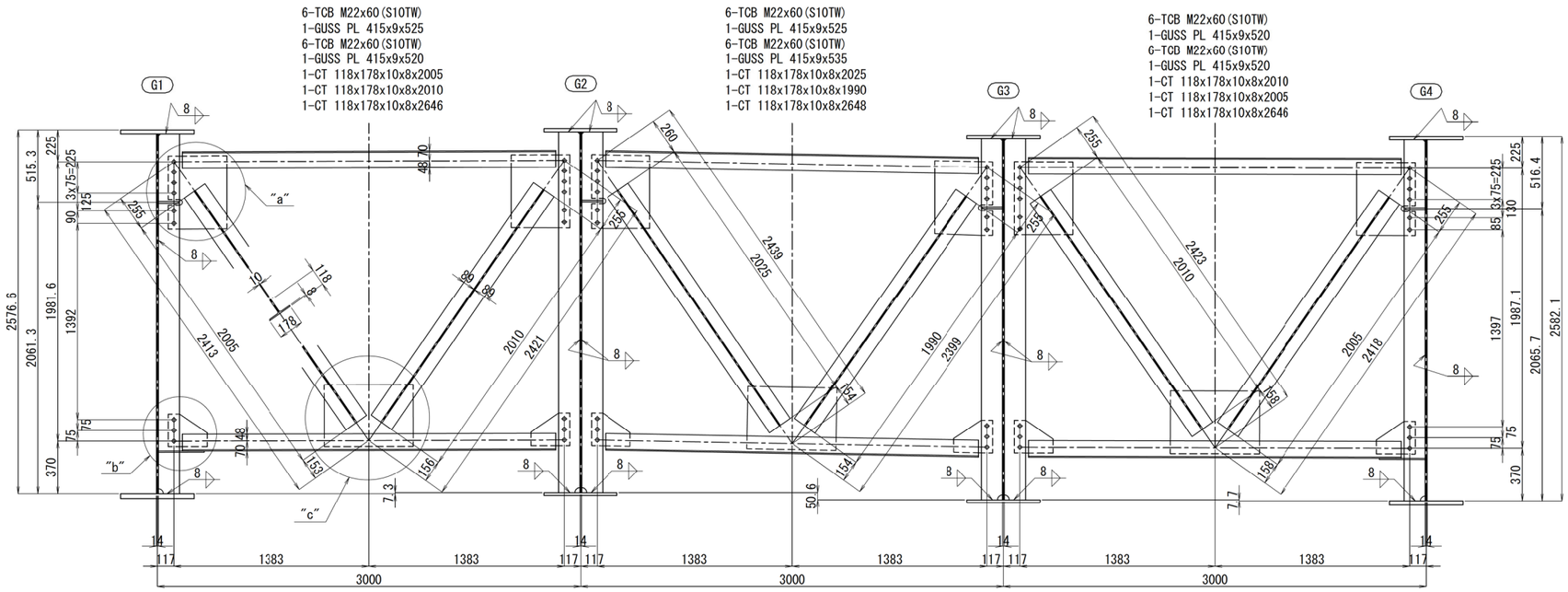
注 記

1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーフップは、全て R=35 とする。
3. ⊕印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

工事名			
図面名	中間対傾構図(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

中間対傾構図（その2）　S=1:20

C2

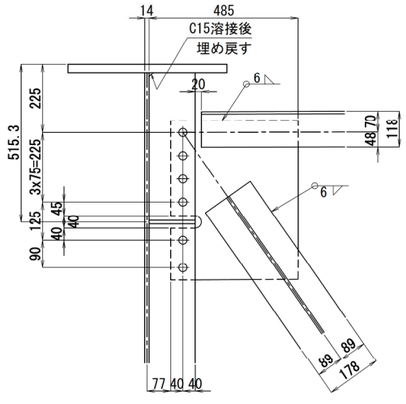


1-CT 118x178x10x8x2646
1-GUSS PL 440x9x630
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)

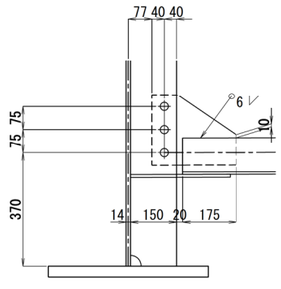
1-CT 118x178x10x8x2649
1-GUSS PL 440x9x630
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)

1-CT 118x178x10x8x2646
1-GUSS PL 445x9x635
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)
1-GUSS PL 230x9x275
3-TCB M22x60(S10TW)

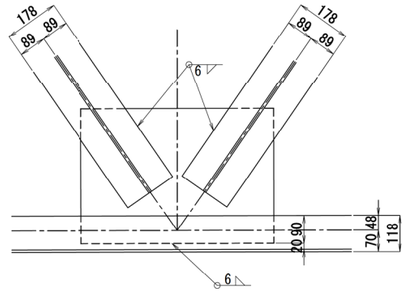
"a"部詳細図　S=1:10



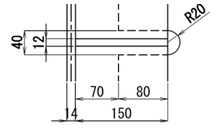
"b"部詳細図　S=1:10



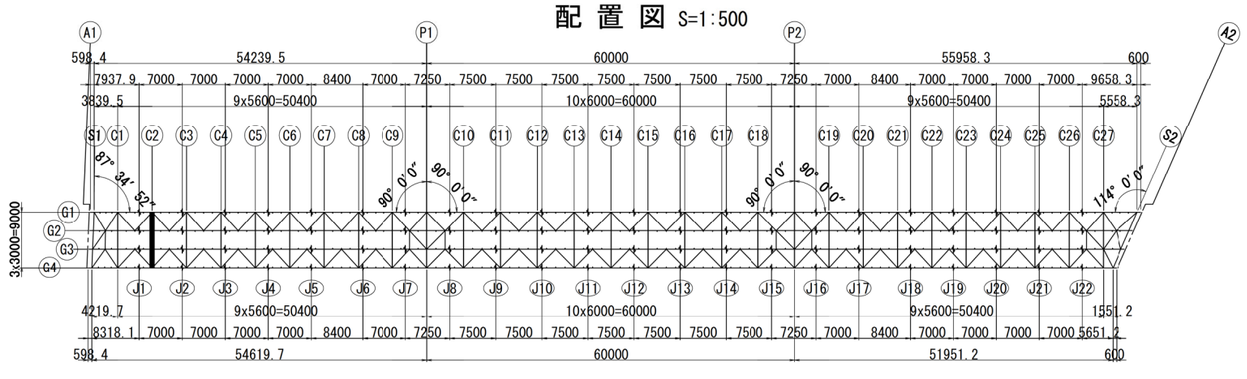
"c"部詳細図　S=1:10



スカーラップ詳細図　S=1:5



配 置 図　S=1:500



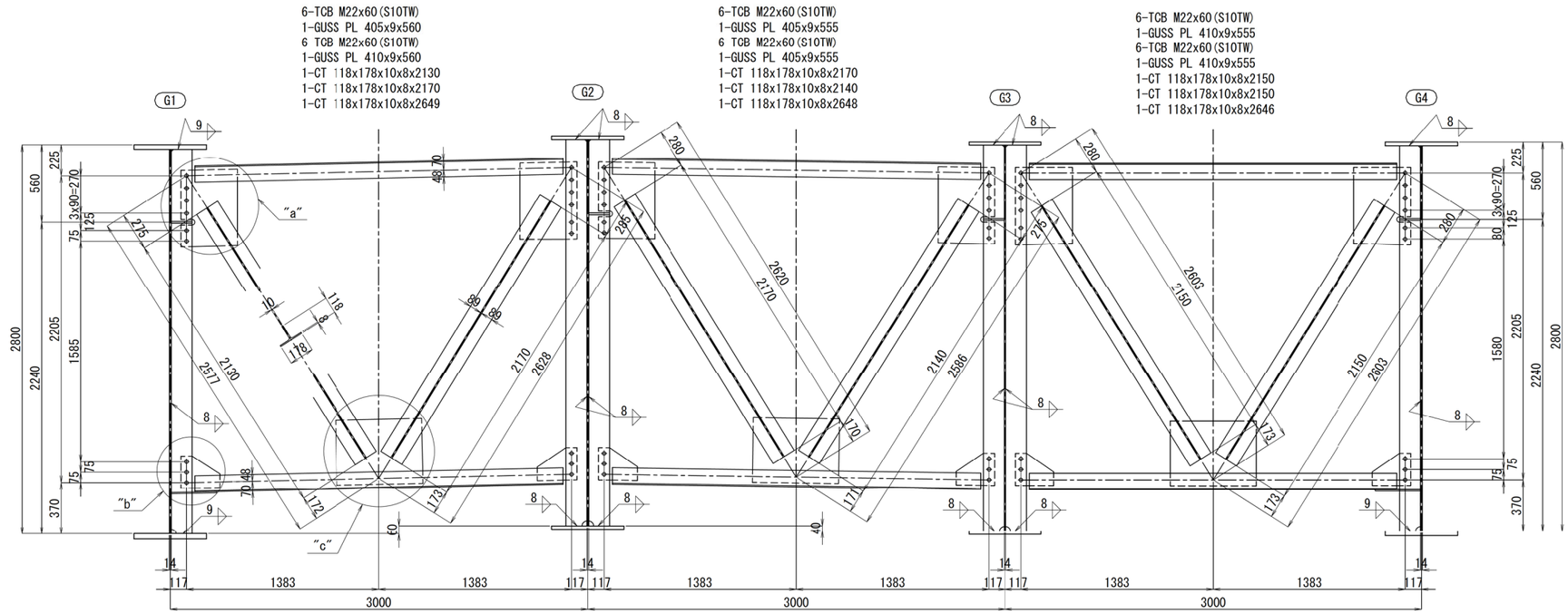
注 記

1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーフップは、全て R=35 とする。
3. ＋印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

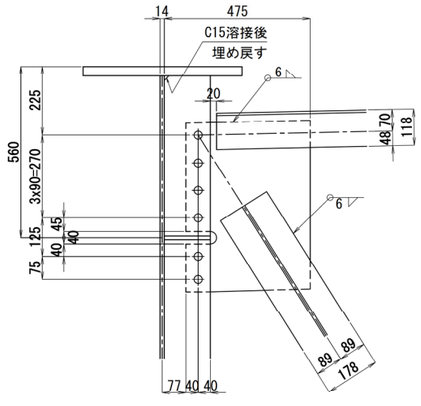
工事名			
図面名	中間対傾構図(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

中間対傾構図（その3）　S=1:20

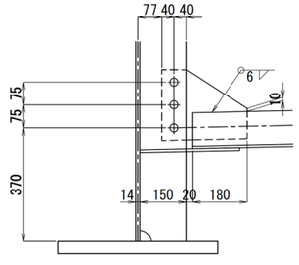
C4, C6, C8, C11, C13, C15, C17, C20, C22, C24, C26, C27



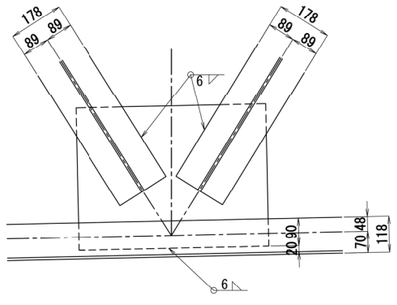
"a"部詳細図　S=1:10



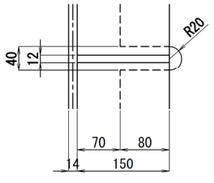
"b"部詳細図　S=1:10



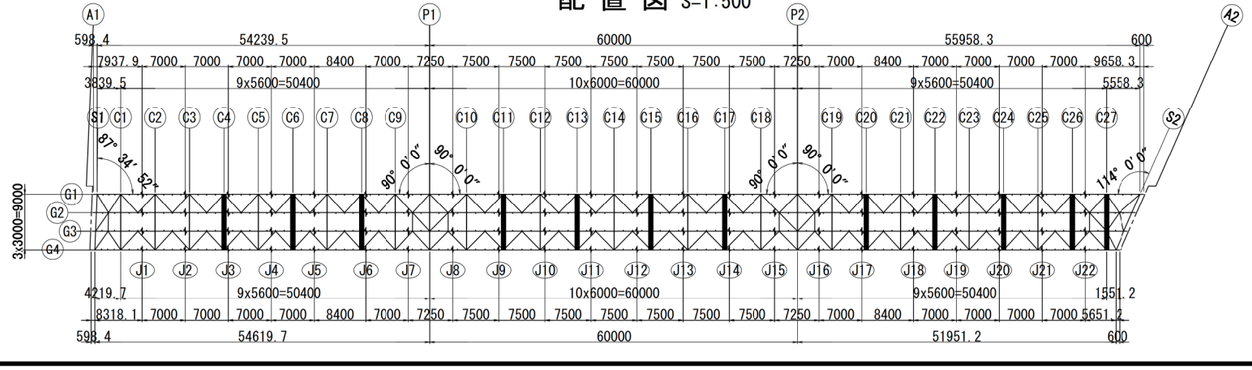
"c"部詳細図　S=1:10



スカーラップ詳細図　S=1:5



配 置 図　S=1:500



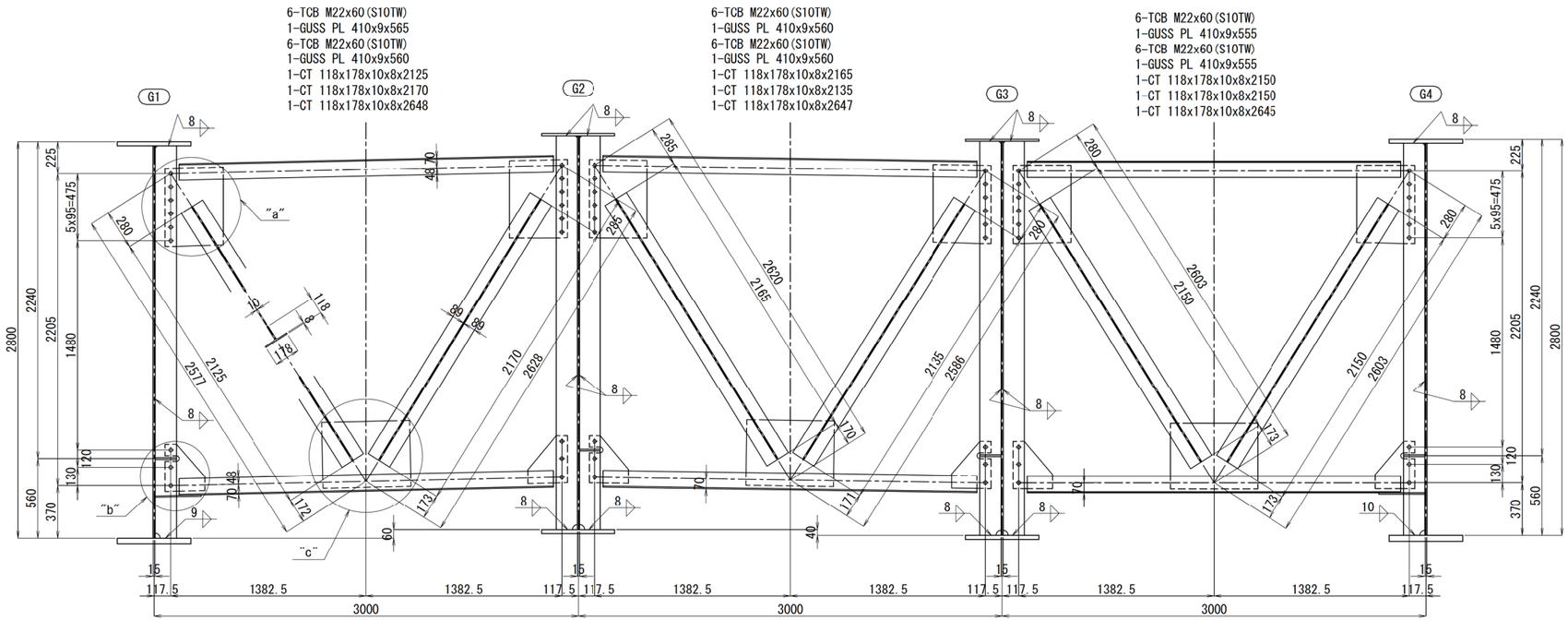
注 記

1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て R=35 とする。
3. ✙印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

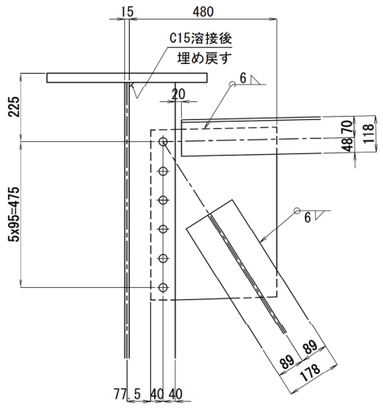
工事名			
図面名	中間対傾構図(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

中間対傾構図（その4）　S=1:20

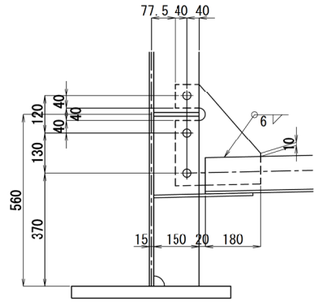
C9, C10, C18, C19



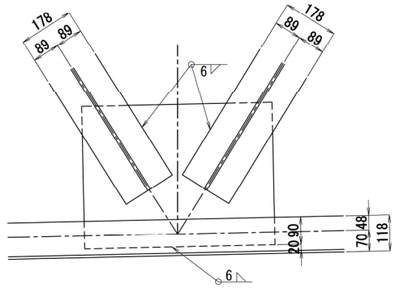
"a"部詳細図　S=1:10



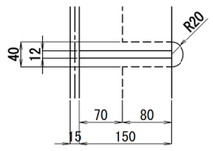
"b"部詳細図　S=1:10



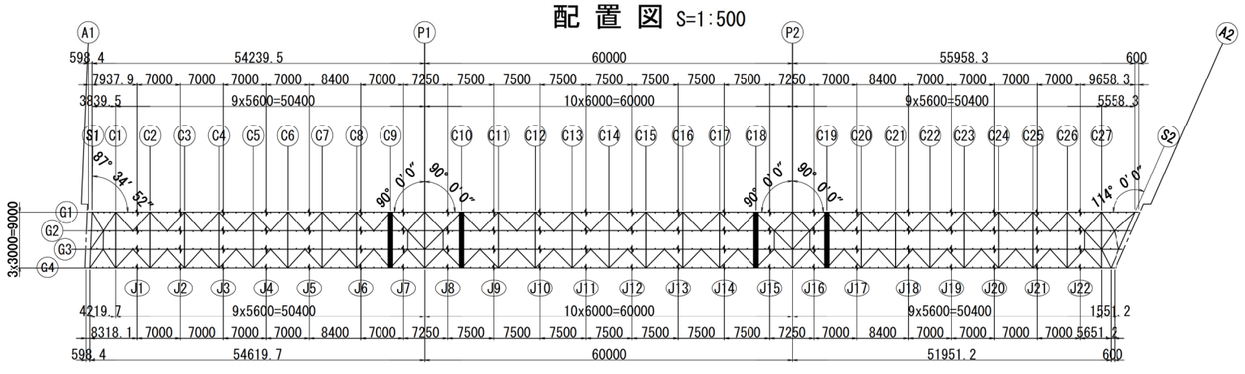
"c"部詳細図　S=1:10



スカーラップ詳細図　S=1:5



配 置 図　S=1:500

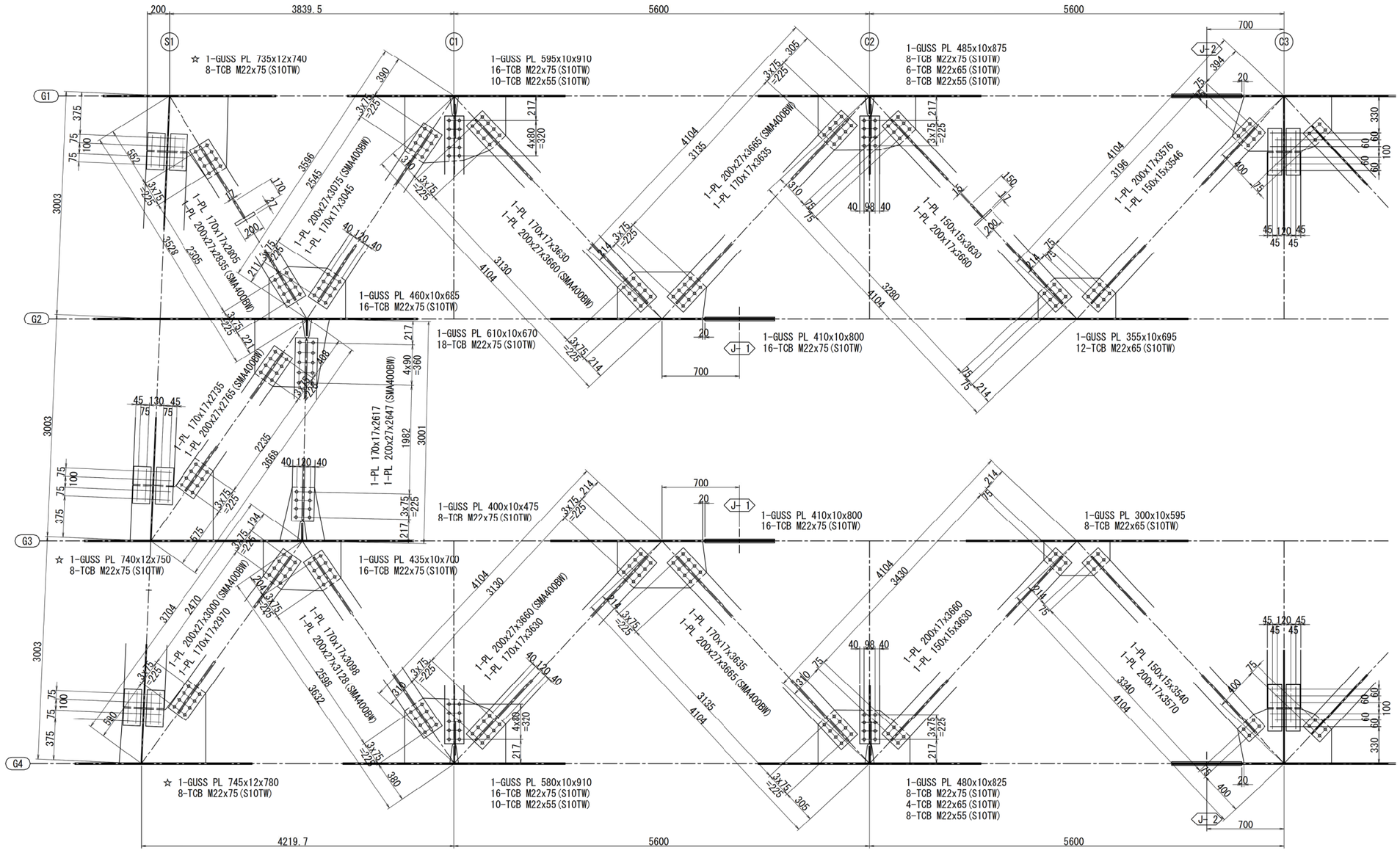


注 記

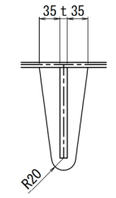
1. 特記なき材質は、全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーフップは、全て R=35 とする。
3. ＋印は、高力ボルト TCB M22 (S10TW) を示す。
4. 特記なき詳細は、共通詳細図を参照のこと。

工事名			
図面名	中間対傾構図(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

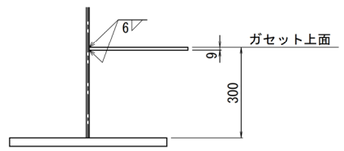
横構(その1)　骨組縮尺 S=1:30　詳細縮尺 S=1:20



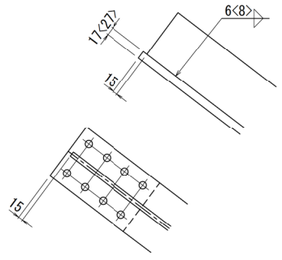
スカ―ラップ詳細　S=1:5



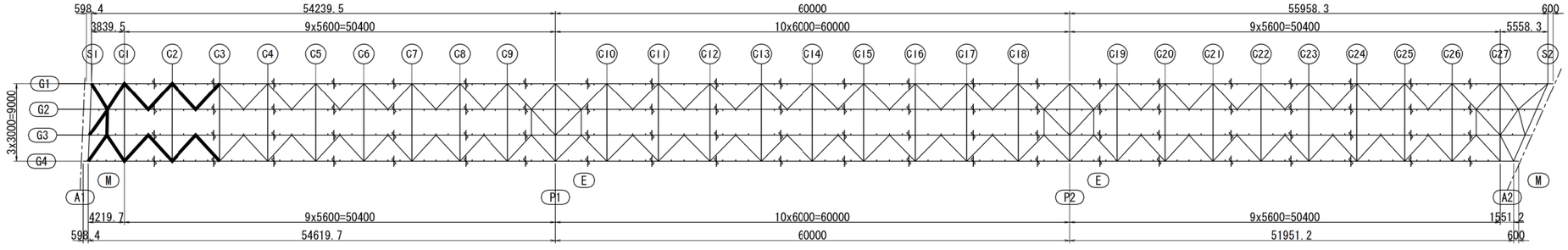
ガセット取付面位置　S=1:10



ビルドアップCT鋼 端部詳細図　S=1:10



配 置 図　S=1:500

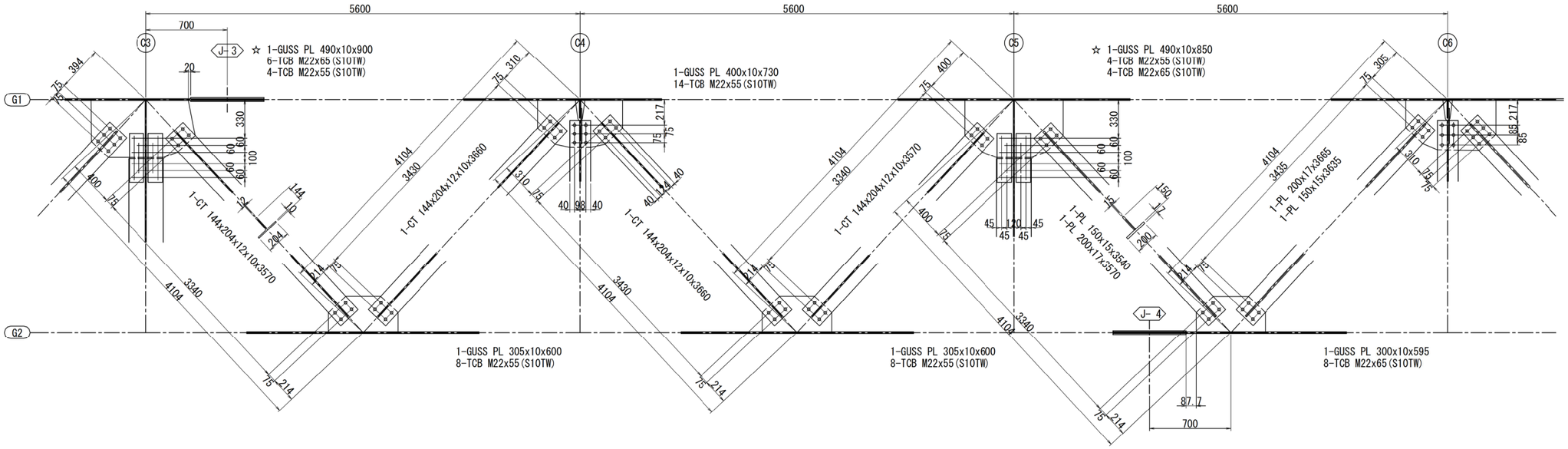


特 記 事 項

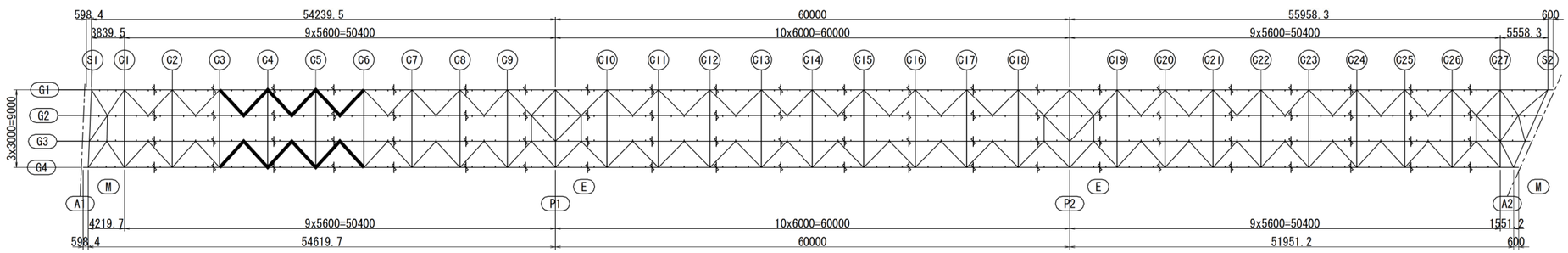
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ϕ印はトルシア形高カボルトM22(S10TW)を示す。
4. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その2)　骨組縮尺 S=1:30 詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500

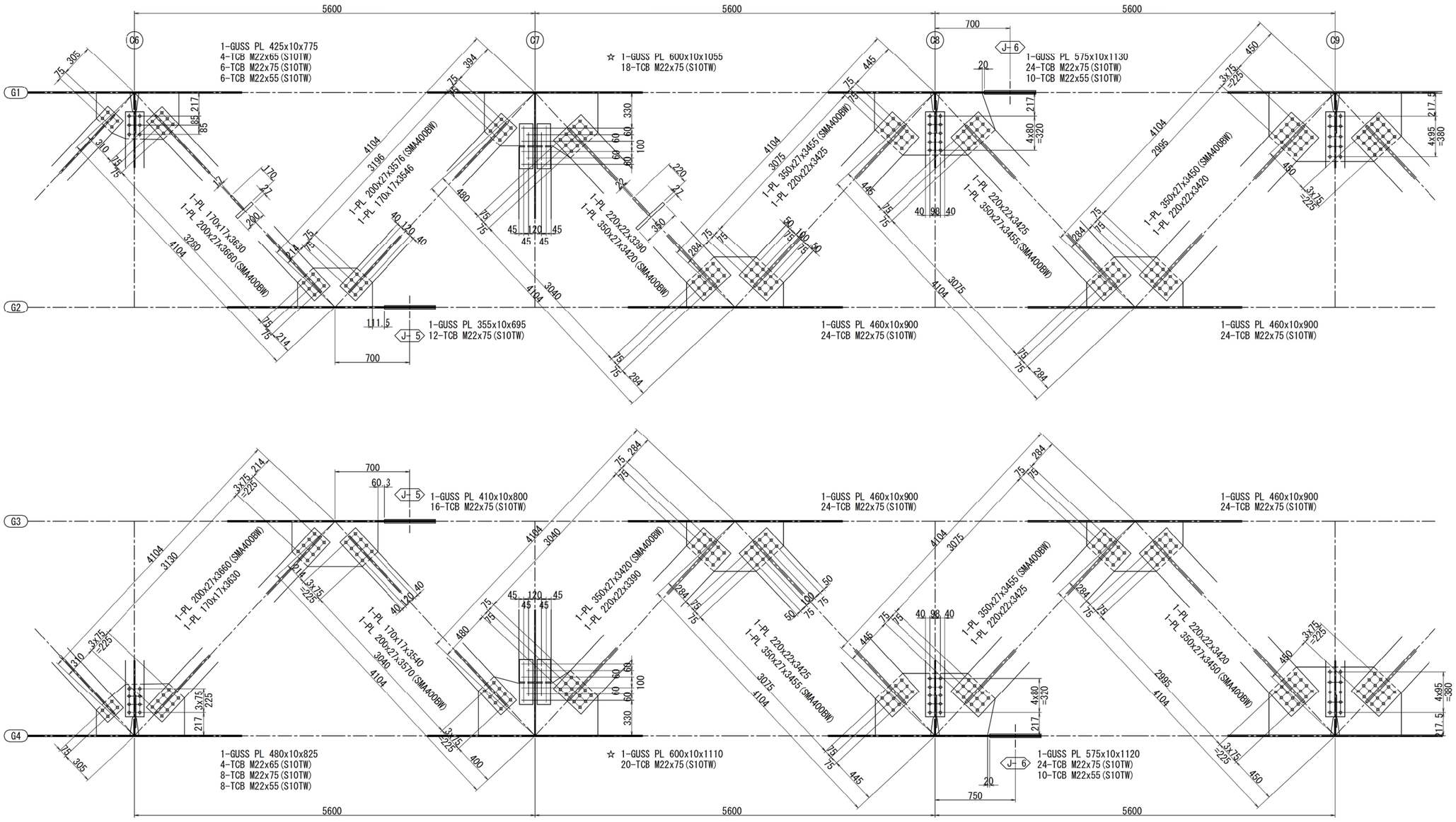


特 記 事 項

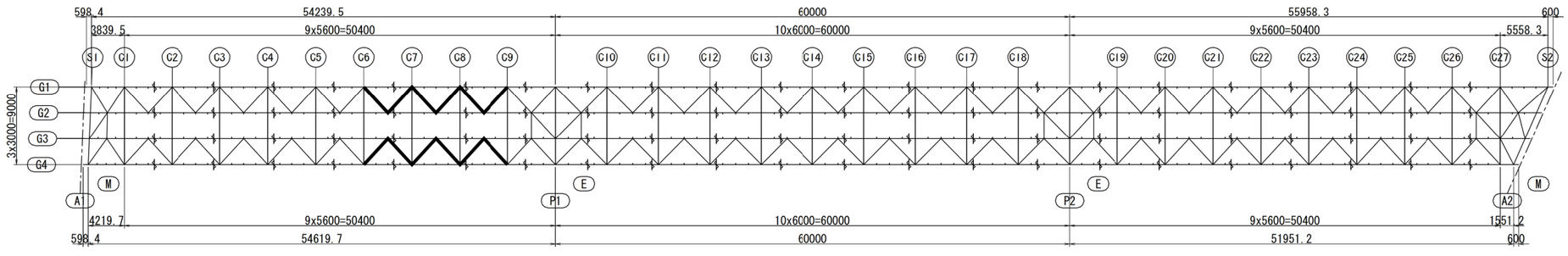
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ⊕印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その3)　骨組縮尺 S=1:30 詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500

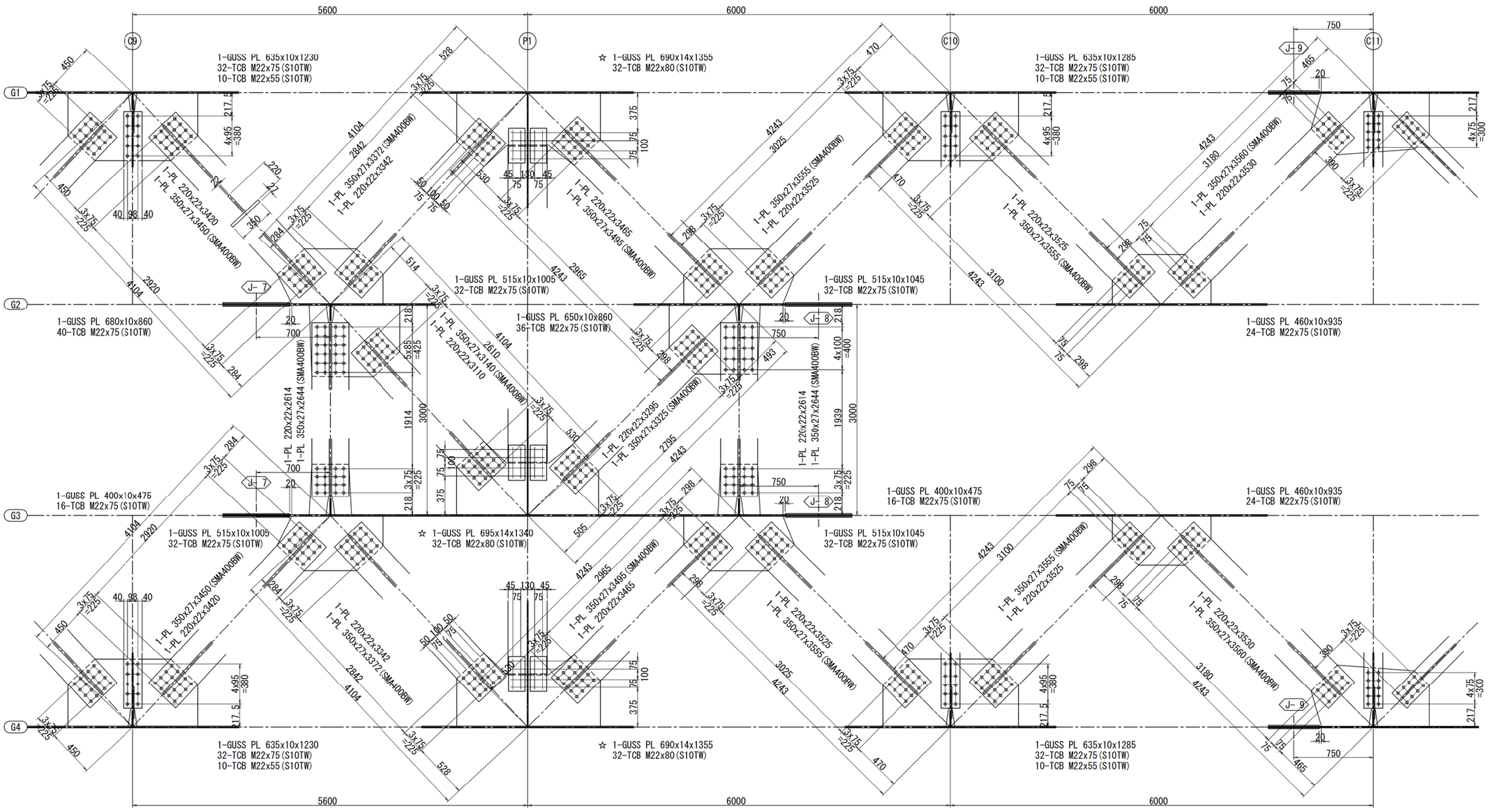


特 記 事 項

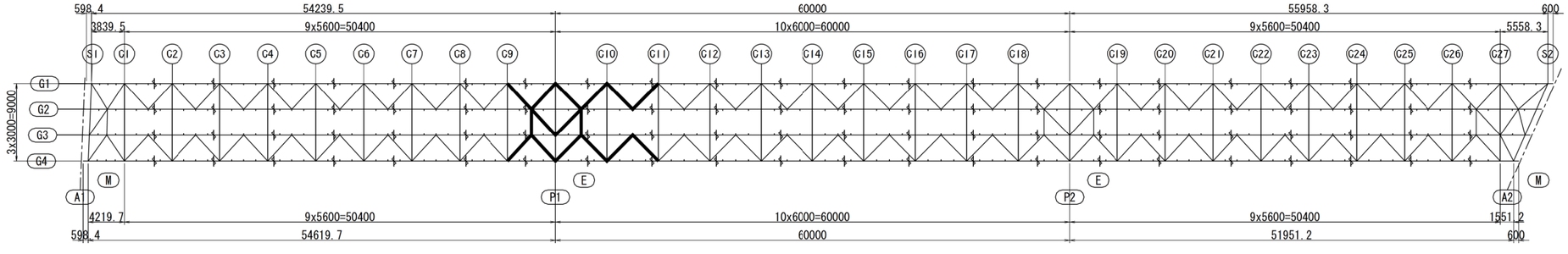
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ⊕印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その4)　骨組縮尺 S=1:30 詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500

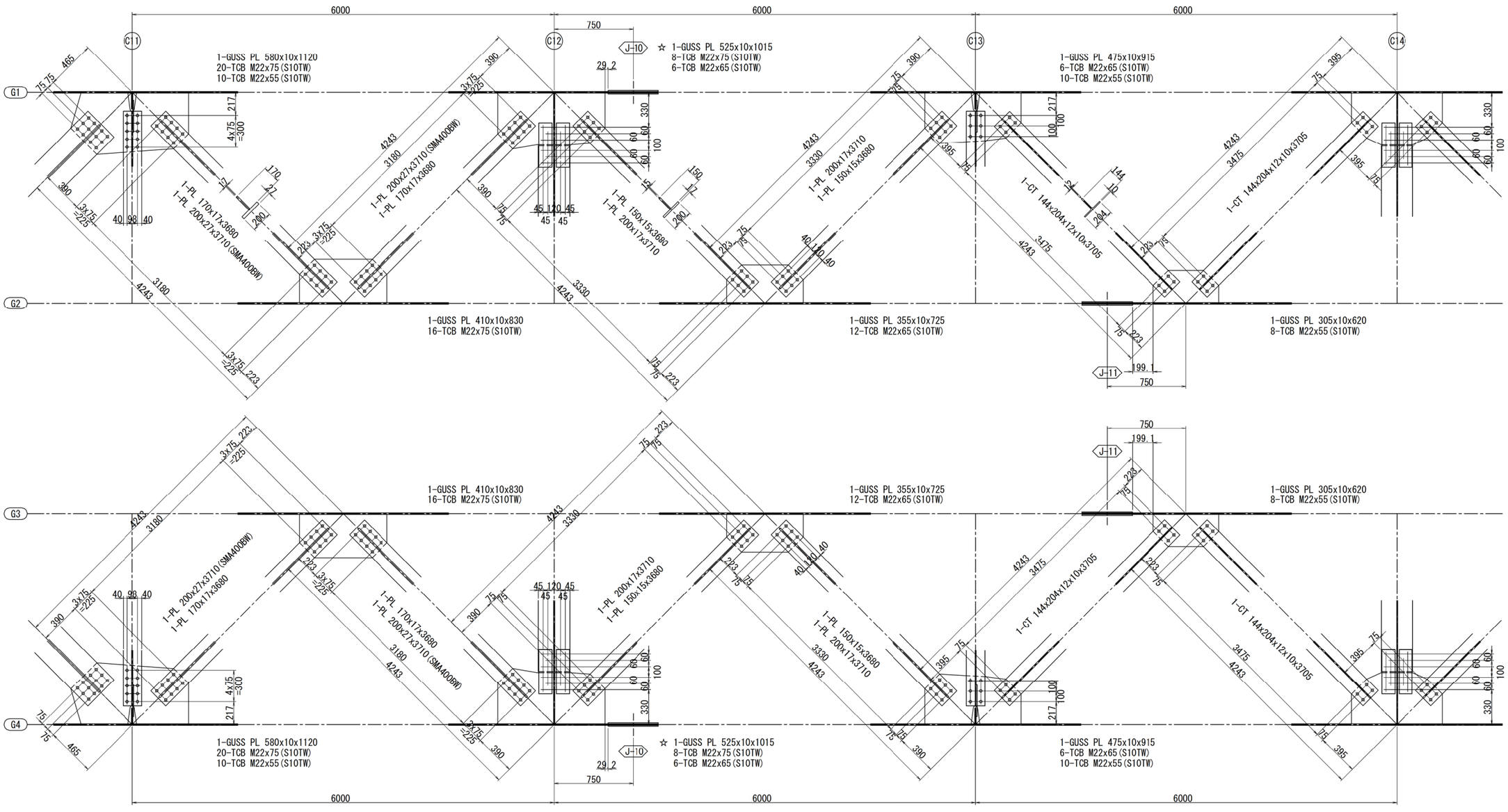


特 記 事 項

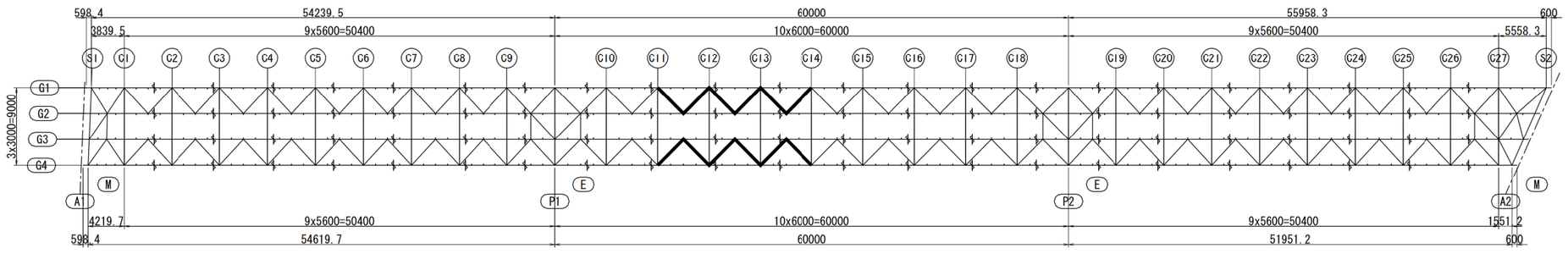
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. 中印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その5)　骨組縮尺 S=1:30 詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500

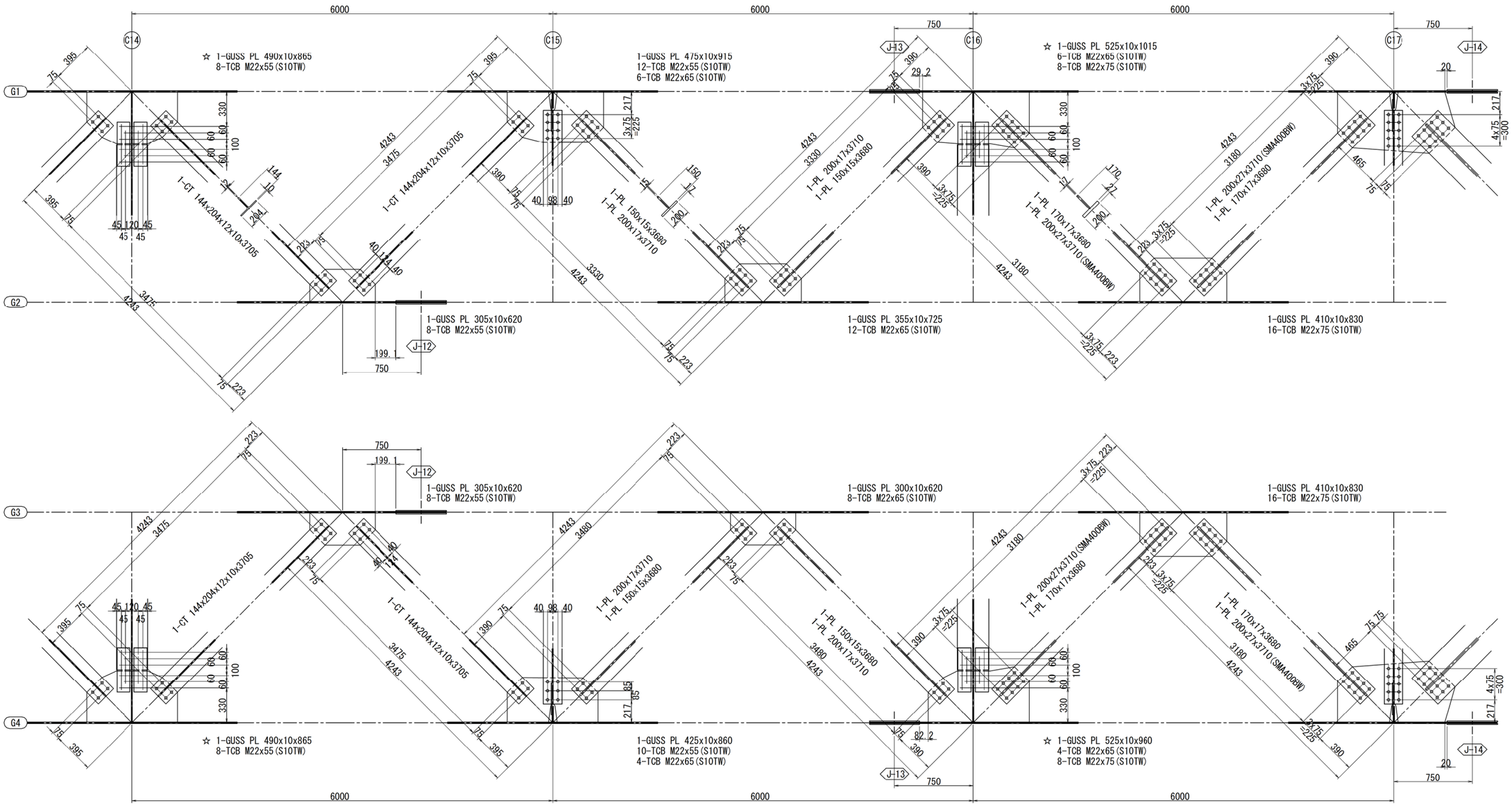


特 記 事 項

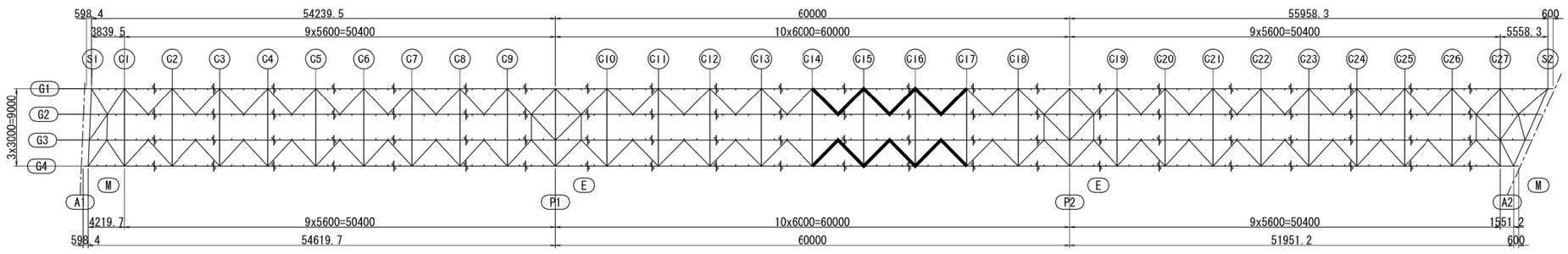
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ⊕印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その5)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その6)　骨組縮尺 S=1:30 詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500

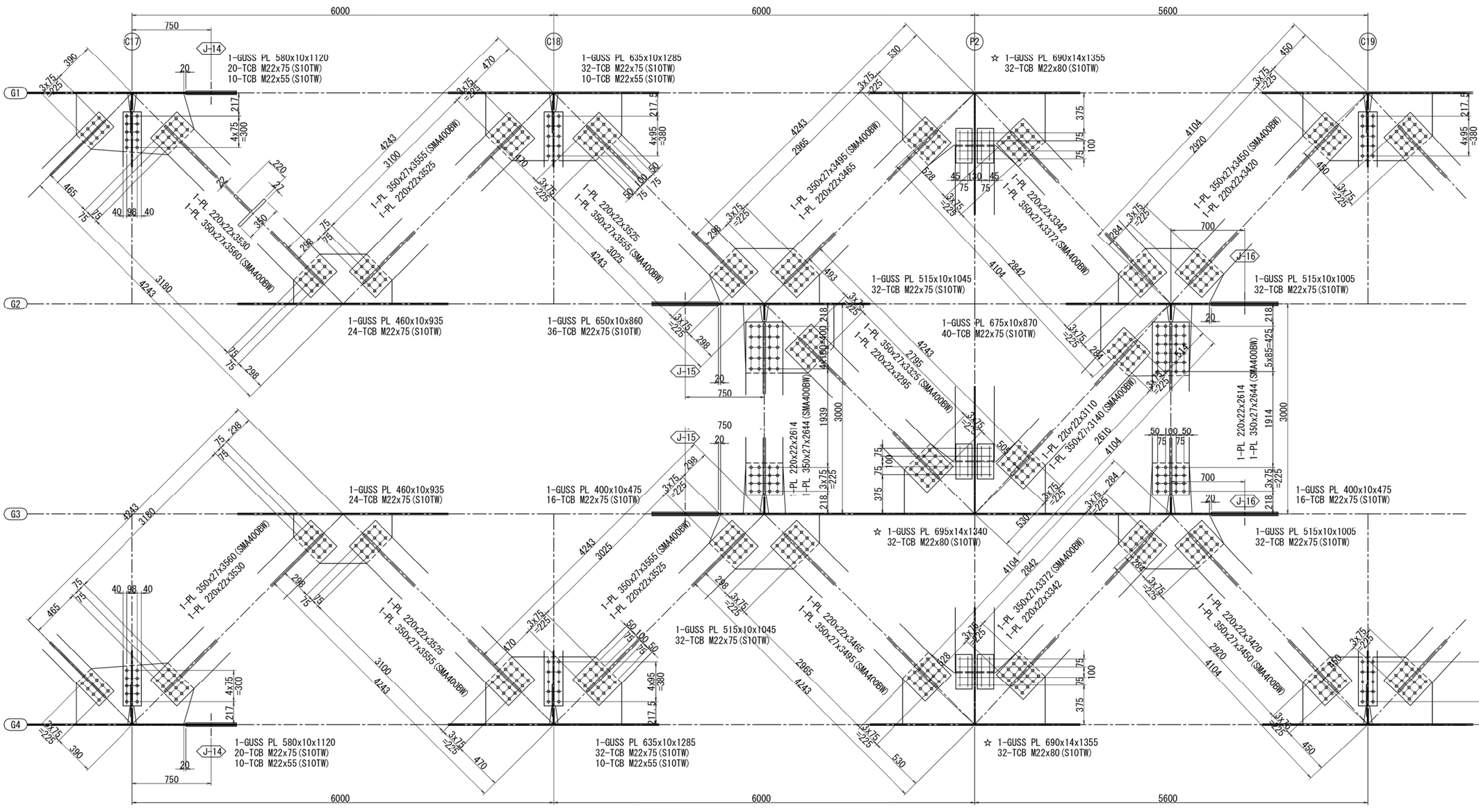


特 記 事 項

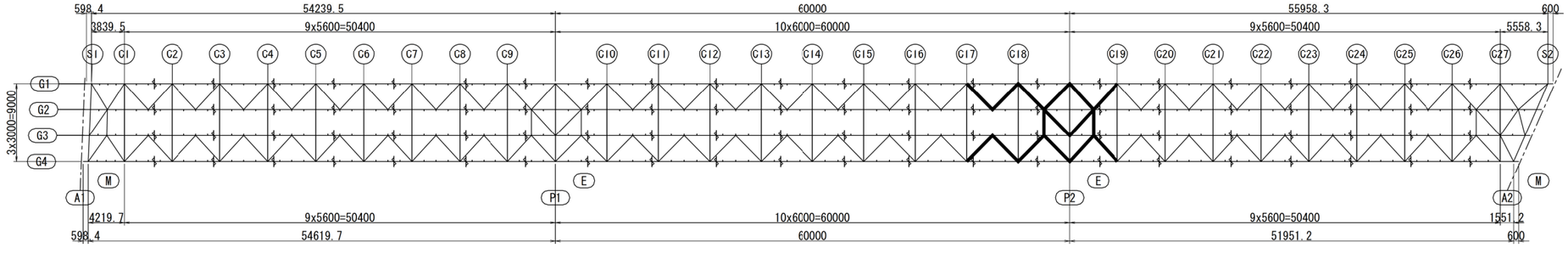
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ⊕印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その6)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その7)　骨組縮尺 S=1:30 詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500

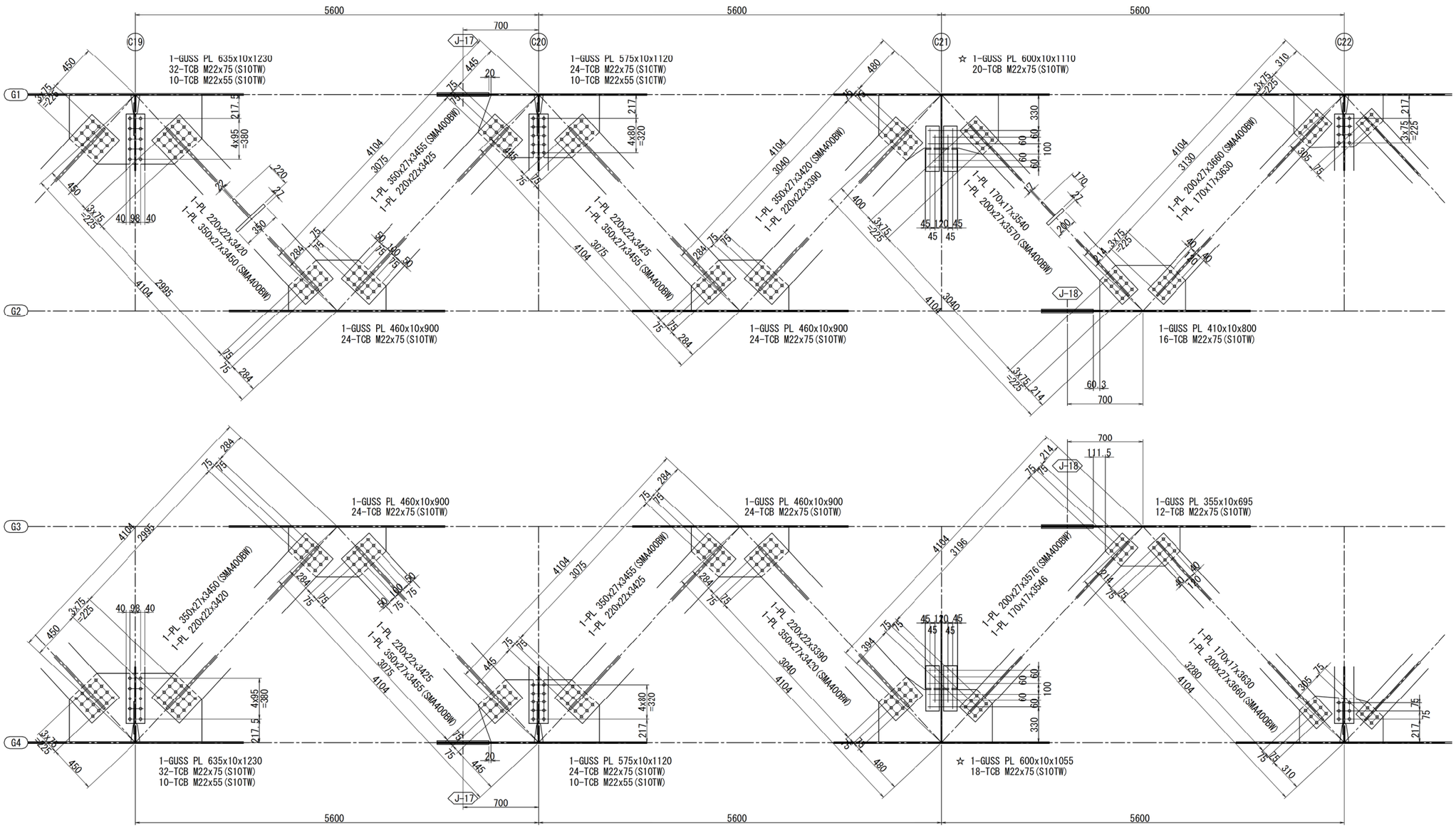


特 記 事 項

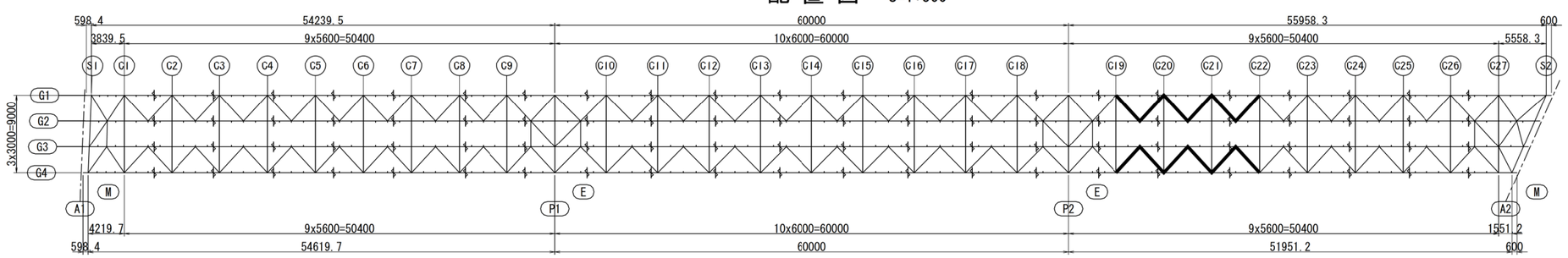
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ⊕印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その7)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その8)　骨組縮尺 S=1:30 詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500

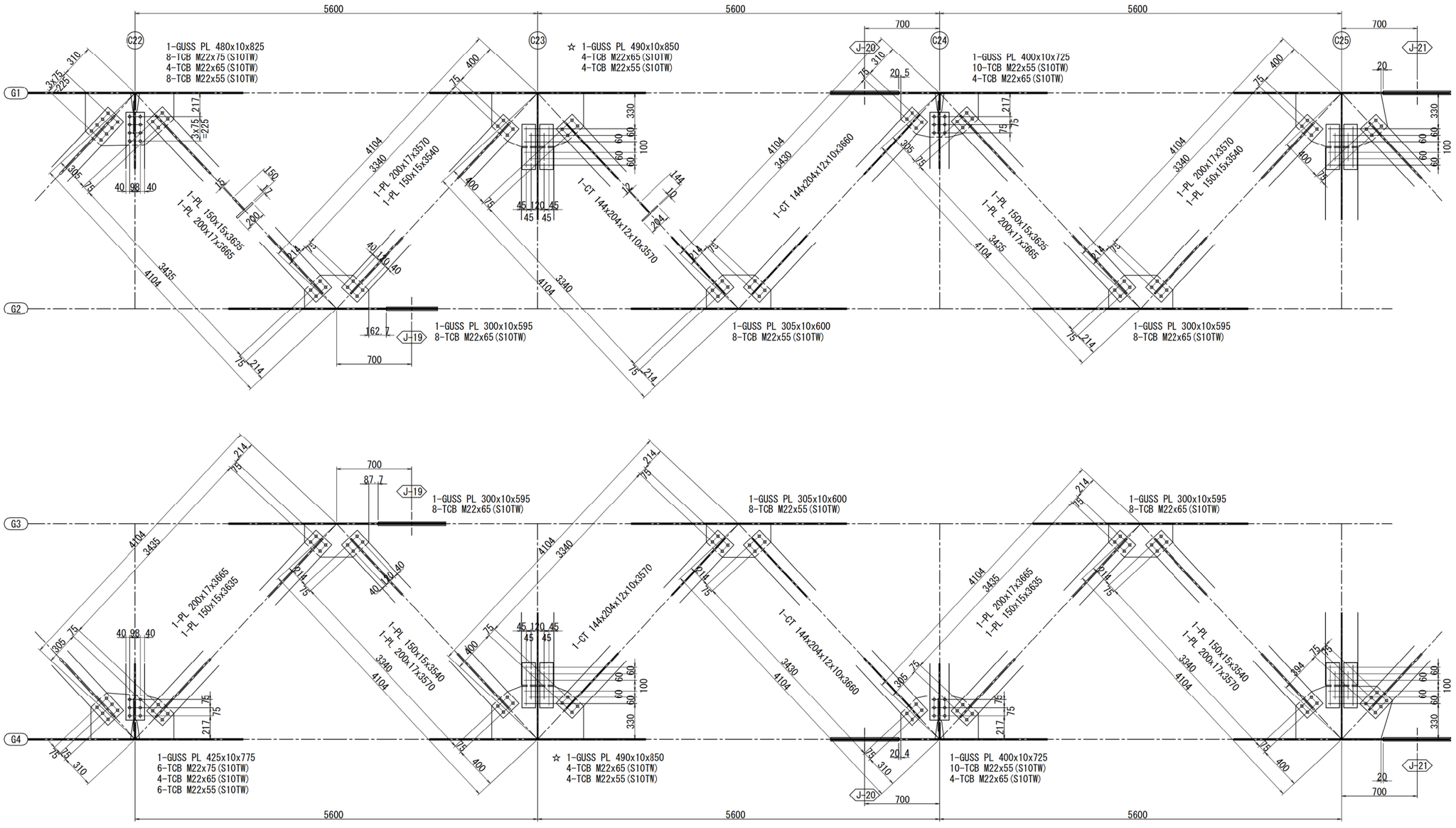


特 記 事 項

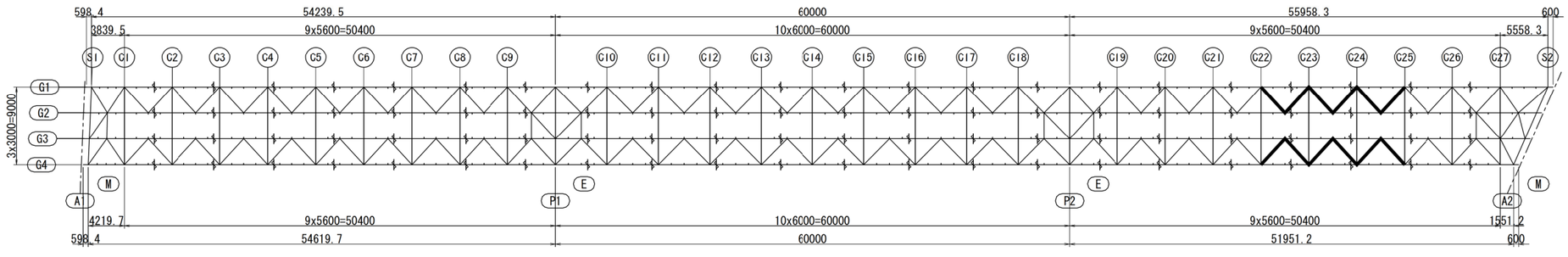
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ⊕印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その8)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その9)　骨組縮尺 S=1:30 詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500

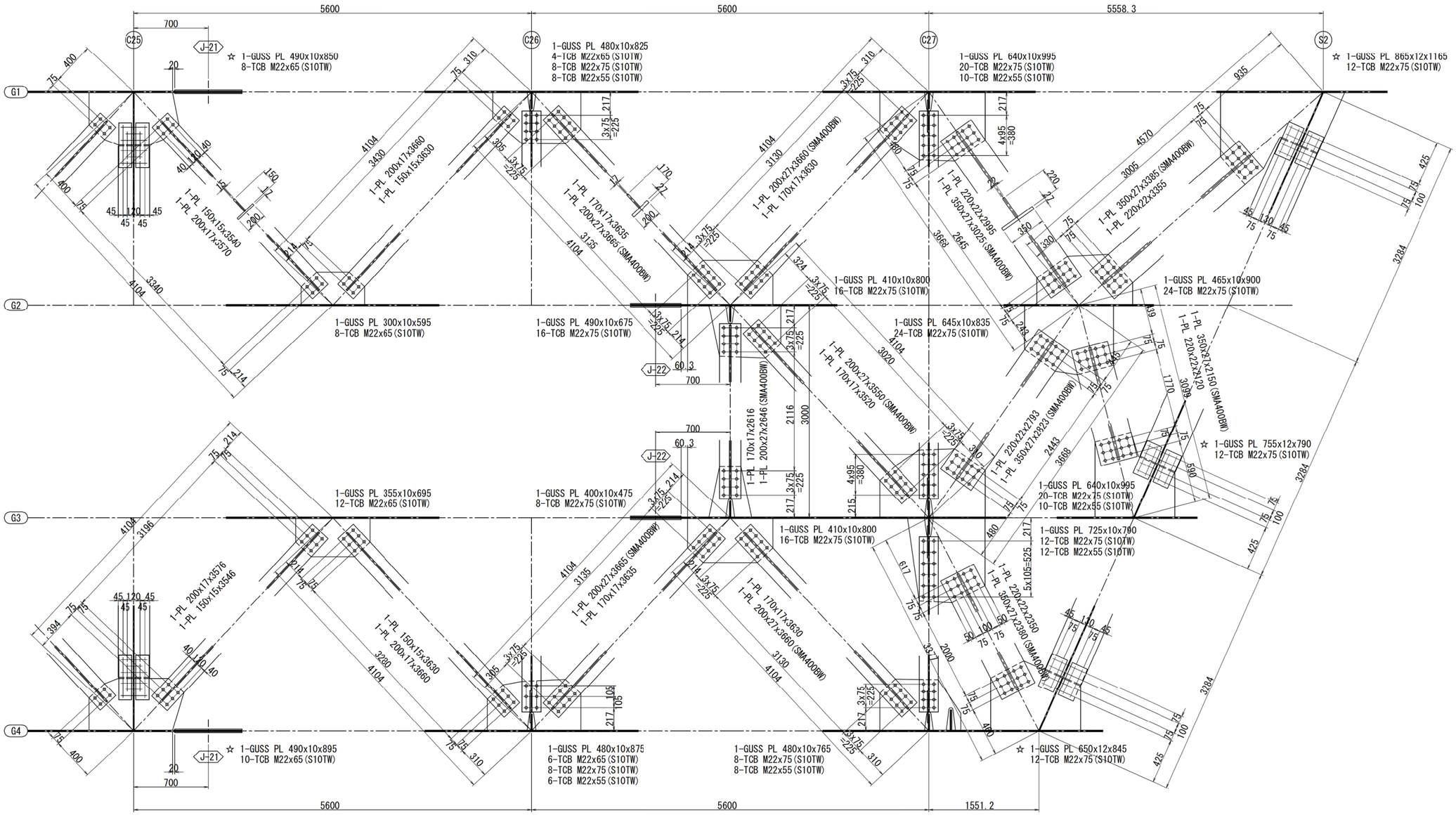


特 記 事 項

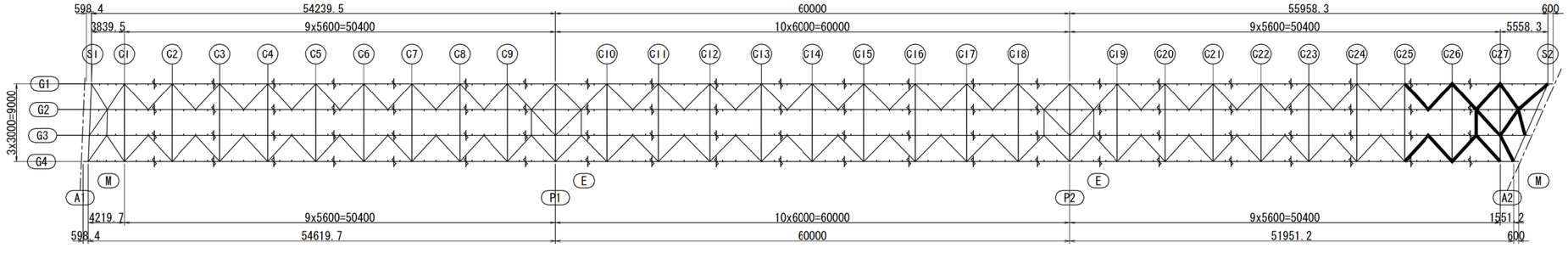
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ⊕印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その9)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横構(その10)　骨組縮尺 S=1:30　詳細縮尺 S=1:20



配 置 図　S=1:500



特 記 事 項

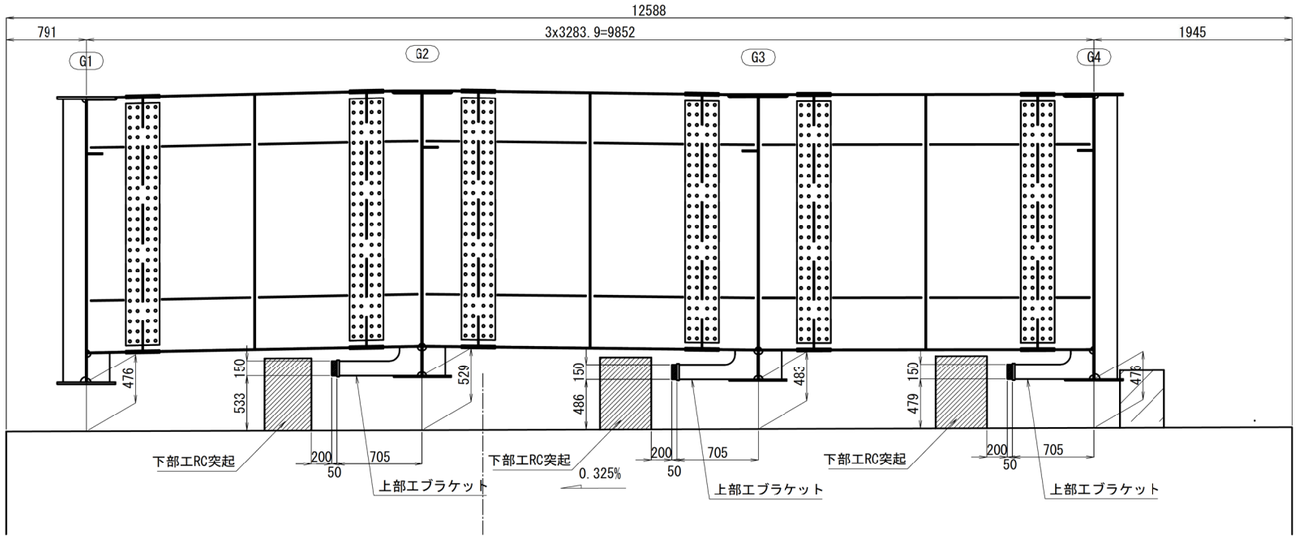
1. 特記なき材質は全て SMA400AW とする。
2. 特記なきスカーラップは全て R35 とする。
3. ⊕印はトルシア形高力ボルトM22(S10TW)を示す。
4. 各詳細図は横構（その１）を参照すること。
5. ☆印の材料は横桁ガセットとして
   小型材片に集計する。

工事名			
図面名	横構(その10)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

横変位拘束構造(その1)　S=1:30

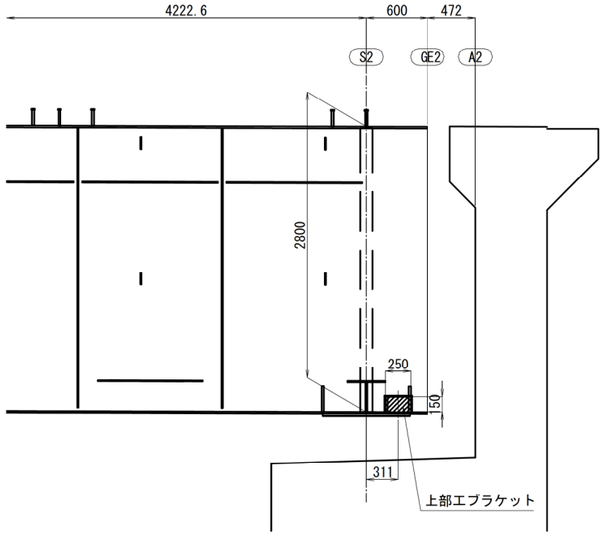
A2橋台

断面図

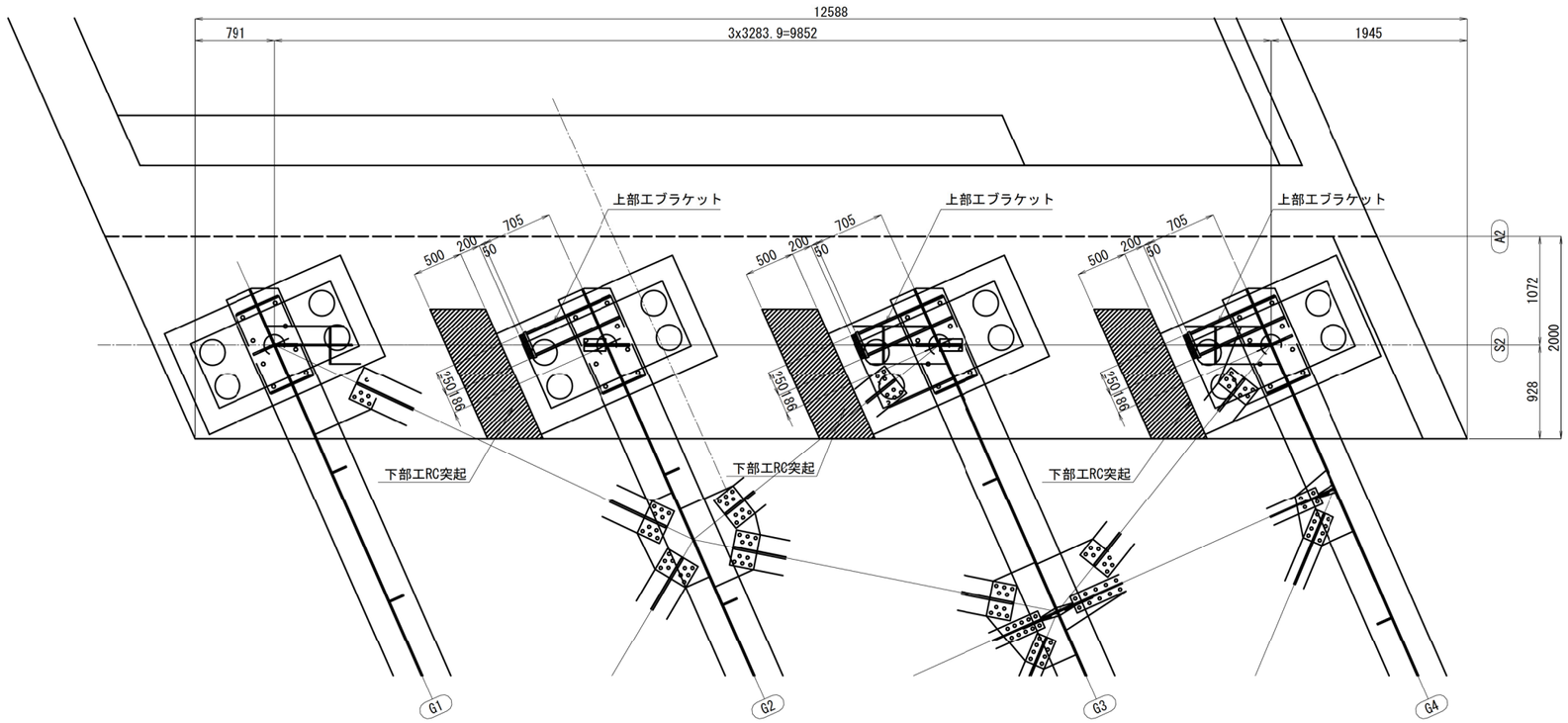


側面図

G2～G4



平面図



注記
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 特記なきスカーフップは全て35Rとする。

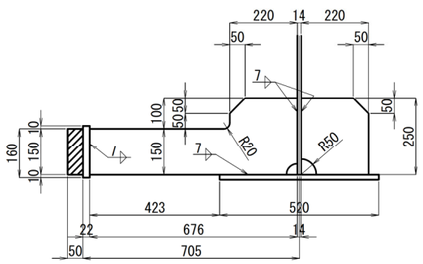
工事名			
図面名	横変位拘束構造(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

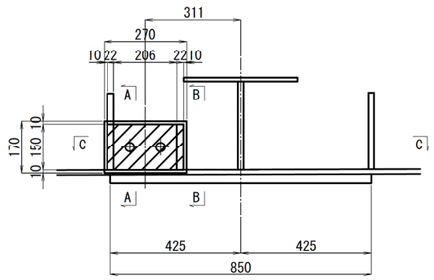
横変位拘束構造(その2)　S=1:10

ブラケット詳細図

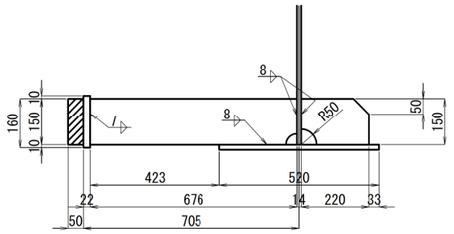
G2～G4
製作数：3

A － A

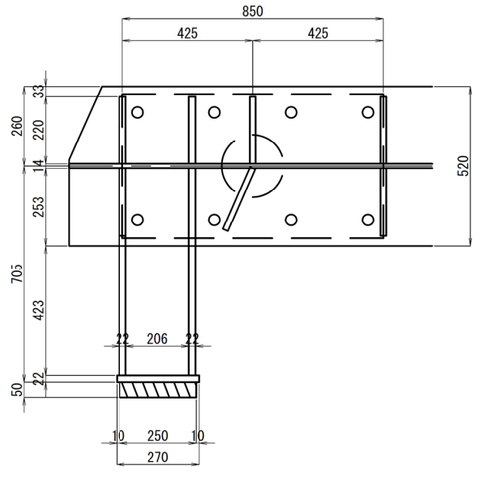




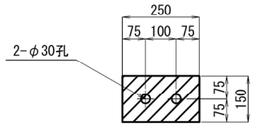
B － B



C － C

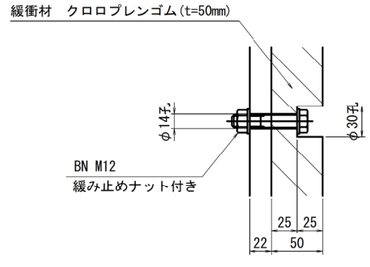


緩衝ゴム詳細



1-BASE PL　170x22x270
1-RIB PL　250x22x676
1-RIB PL　220x22x250
1-RIB PL　150x22x676
1-RIB PL　220x22x150
2-BN　M12 x 70 (UN 2-W付) (SUS304)
1-クロロプレンゴム　150 x 50 x 250 (硬度55° ±5°)

緩衝ゴム取付詳細 S=1:3

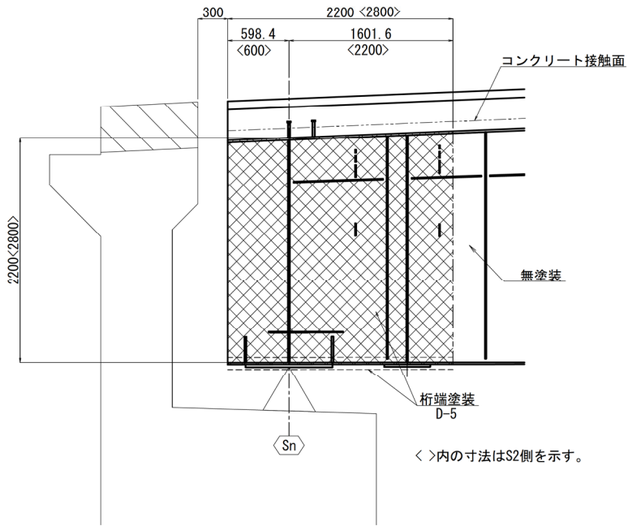


注記
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 特記なきスカーフップは全て35Rとする。

工事名			
図面名	横変位拘束構造(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

塗装区分図

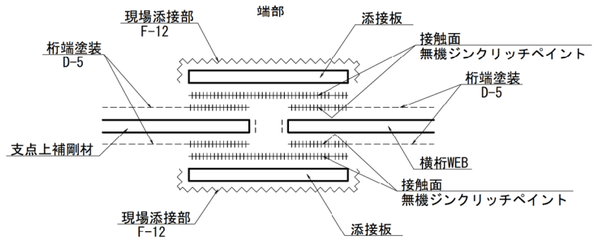
外桁内側・内桁

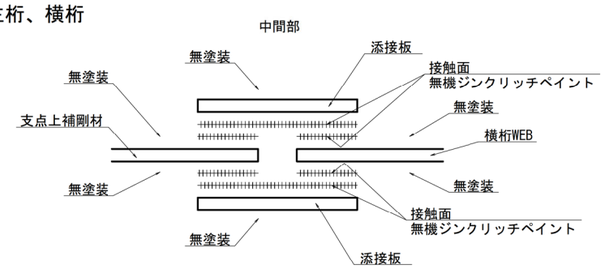


< >内の寸法はS2側を示す。

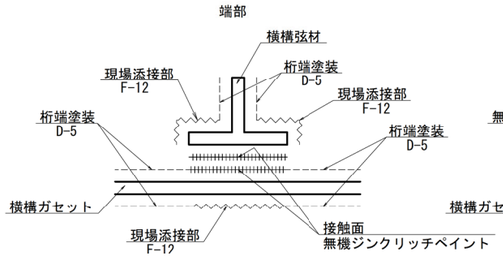
添接部

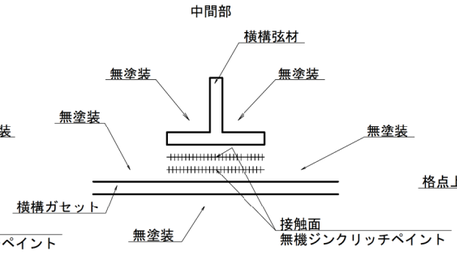
主桁、横桁



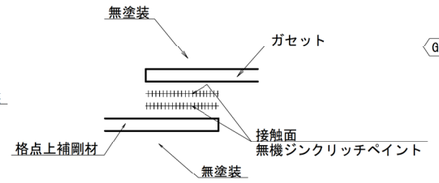


横構

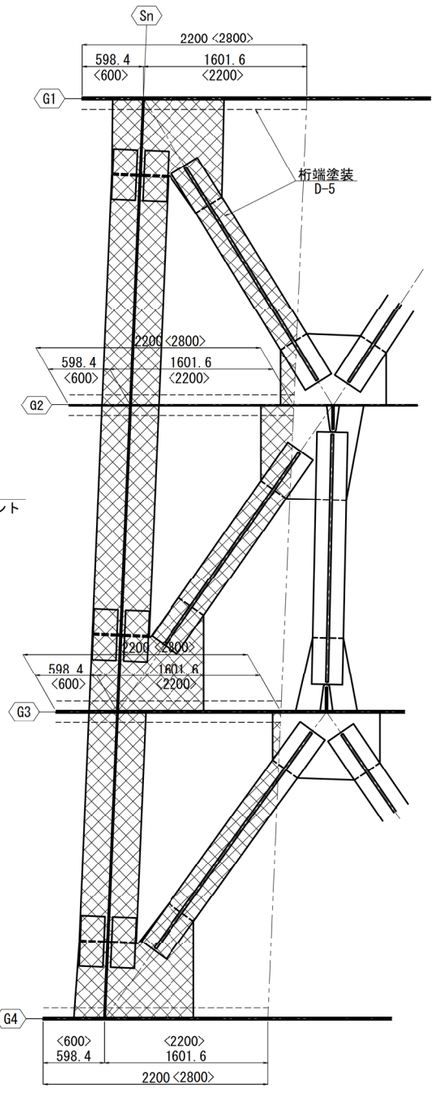




中間対傾構

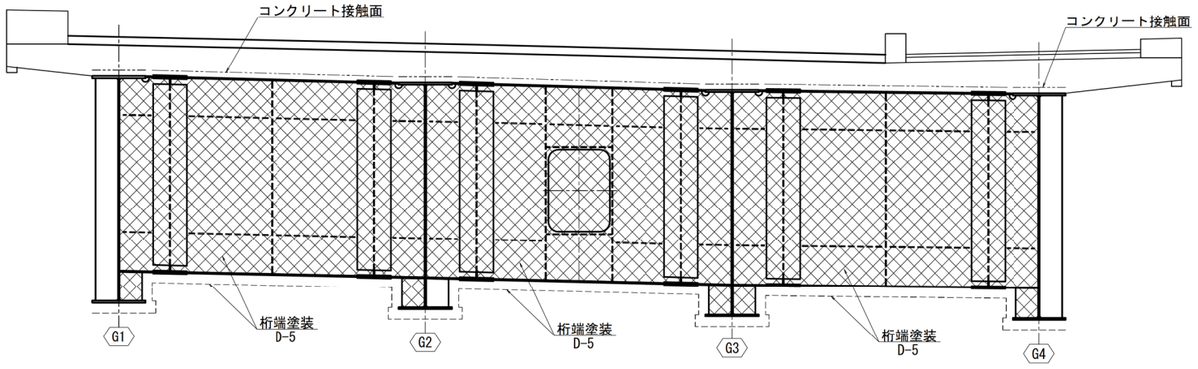


横構



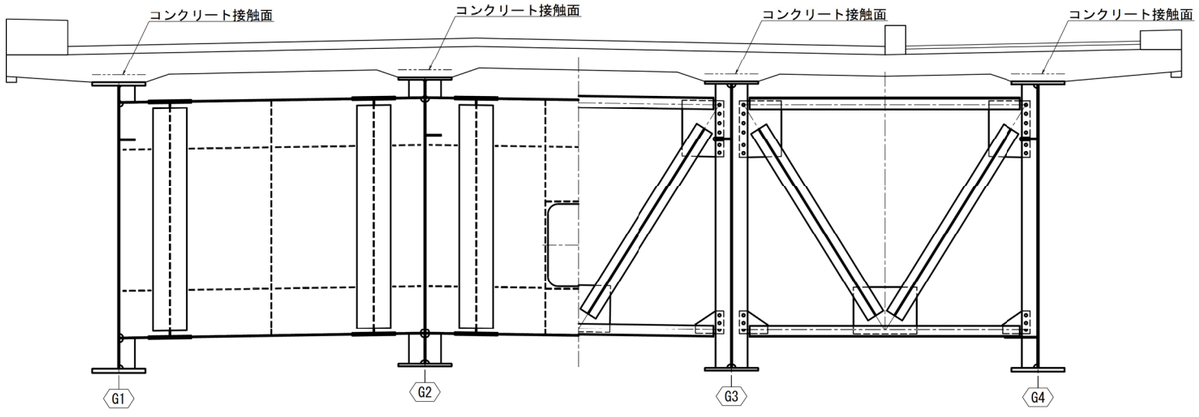
< >内の寸法はS2側を示す。

端支点部

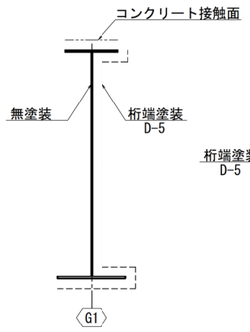


中間部

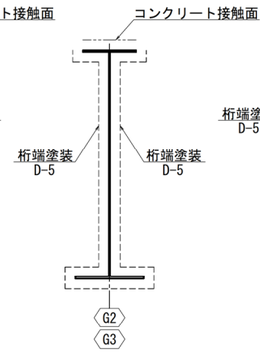
無塗装



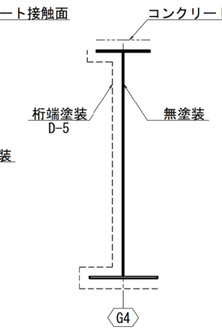
外桁



内桁



外桁

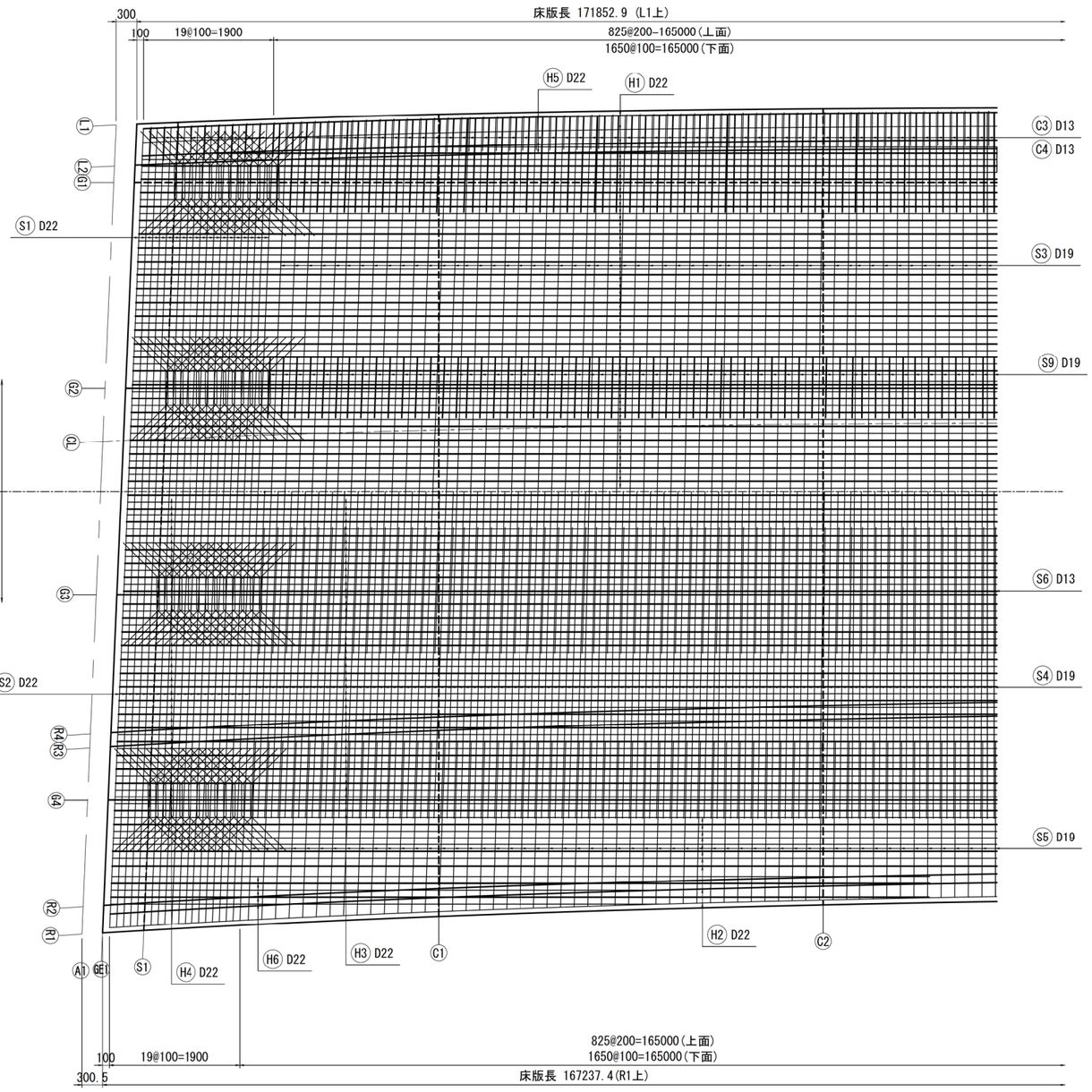


記号	工　程		塗料または素地調整程度	標準使用量 (g/m²)	標準膜厚 (μm)
D5	前処理	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2	—	—
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	160	15
	工場塗装	2次素地調整	道具工処理 ISO St3	—	—
		第1層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410	120
		第2層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	410	120
D12	現場塗装	素地調整	道具工処理 ISO St3	—	—
		ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	130	15
		下塗	超厚膜型エポキシ樹脂塗料	500x2	300
接触面	製鋼工場	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2	—	—
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	160	15
	工場塗装	2次素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2	—	—
		防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	75
コンクリート接触面	製鋼工場	素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2	—	—
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	160	15
	工場塗装	2次素地調整	ブラスト処理 ISO Sa2 1/2	—	—
		防食下地	無機ジンクリッチペイント	600	30

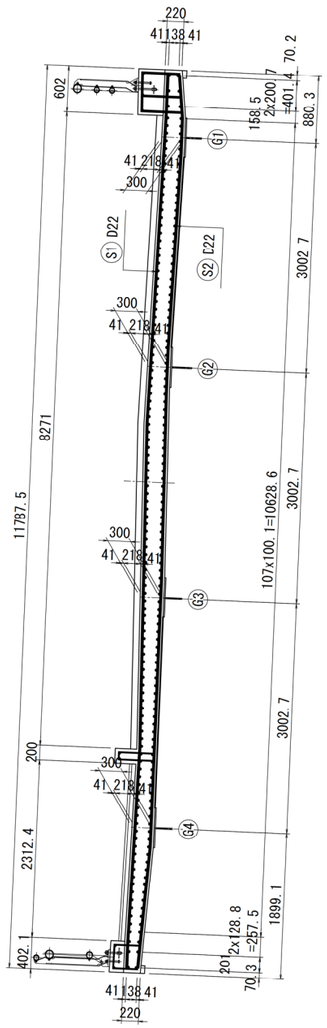
工事名			
図面名	塗装区分図		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

床版配筋図（その1） S=1:40

平 面 図

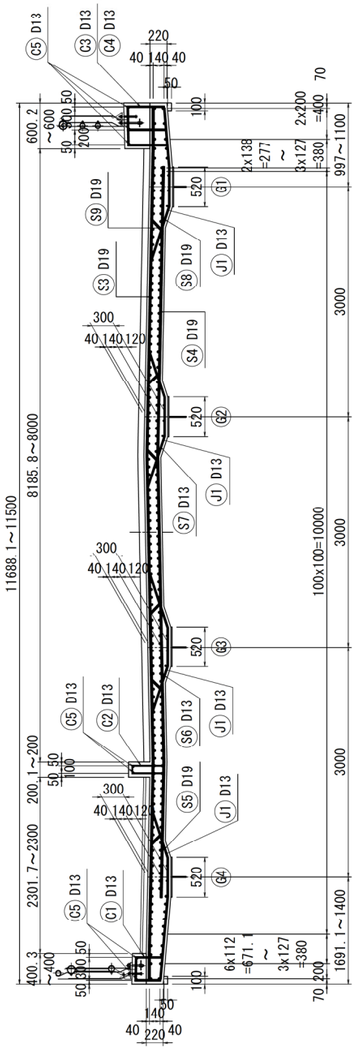


端支点上断面 S1

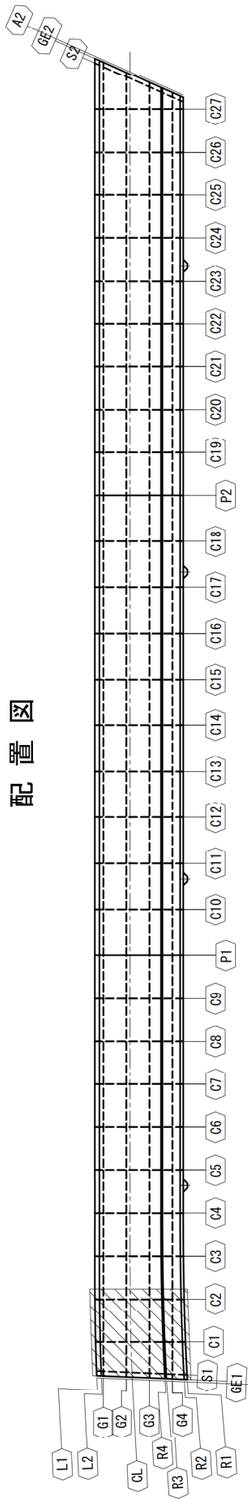


下面配筋 | 上面配筋

中間断面

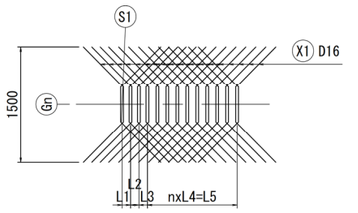


配 置 図



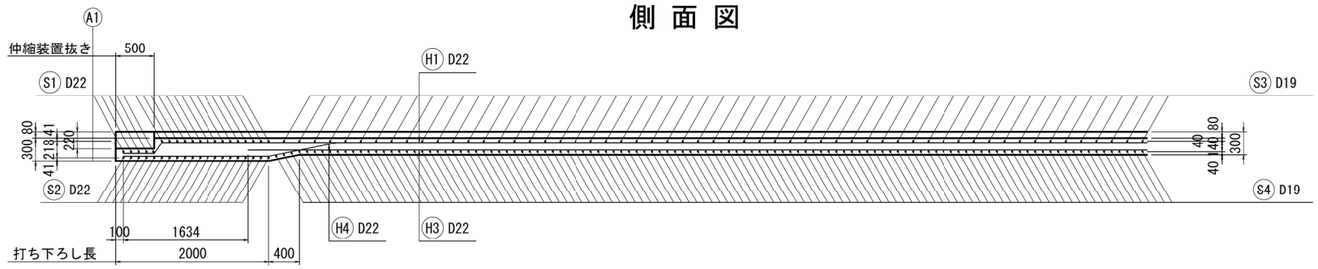
せん断補強筋

G1～G4



	L1	L2	L3	L4	L5	n
G1	120	120	140	140	1120	8
G2～G4	110	110	110	130	1170	9

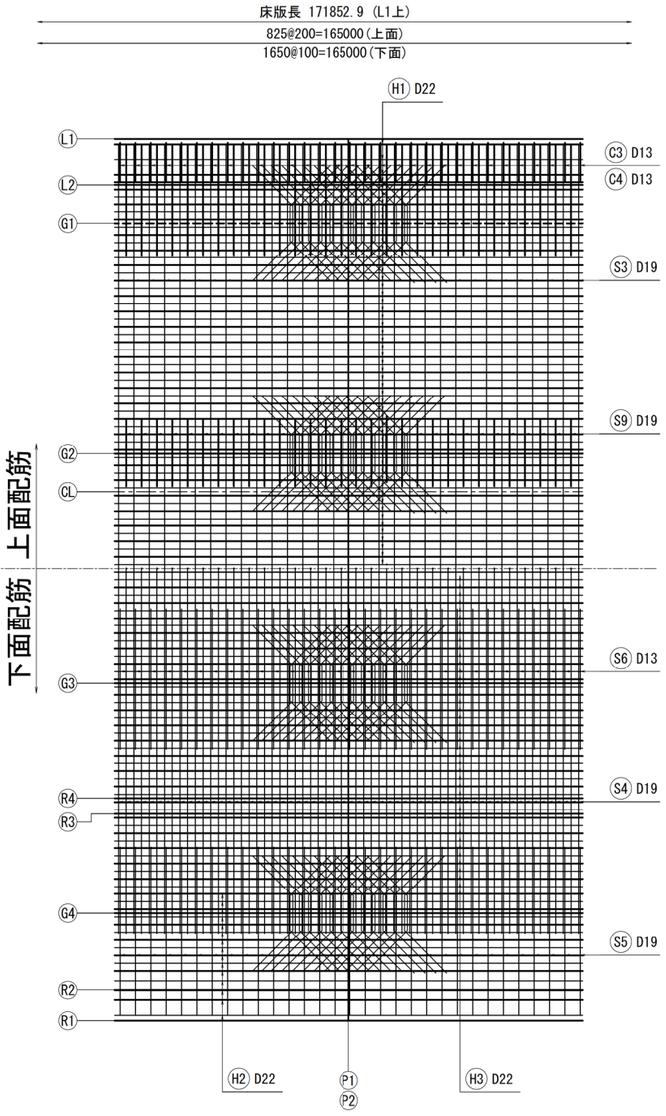
側 面 図



工事名	
図面名	床版配筋図(その1)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

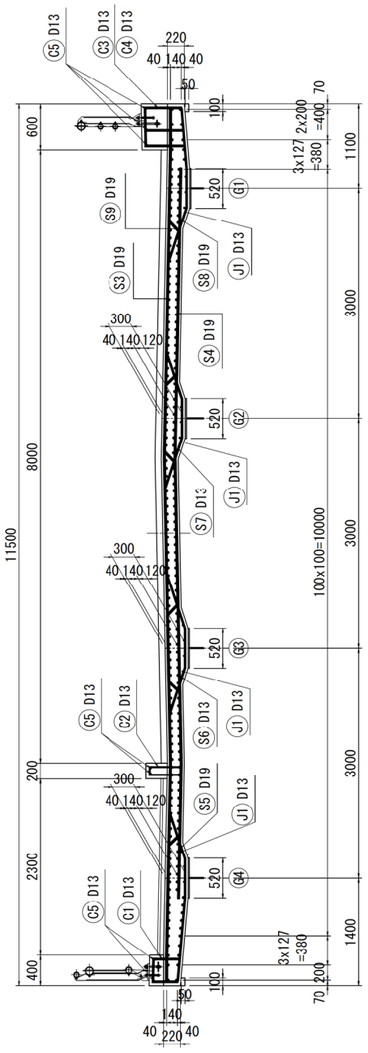
床版配筋図(その2) S=1:40

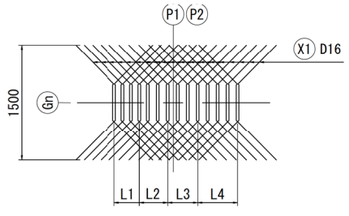
平 面 図



下面配筋 上面配筋

中間支点上断面 P1,P2

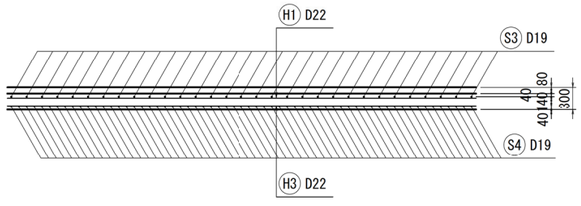




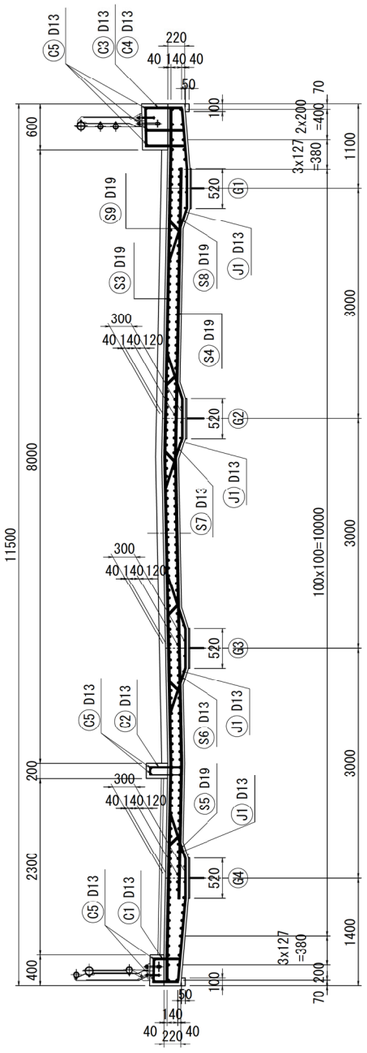
P1	L1	L2	L3	L4
G1	390	345	340	520
G2	650	122.5	117.5	650
G3	650	122.5	117.5	650
G4	390	345	340	520

P2	L1	L2	L3	L4
G1	390	340	345	520
G2	650	117.5	122.5	650
G3	650	117.5	122.5	650
G4	650	117.5	122.5	650

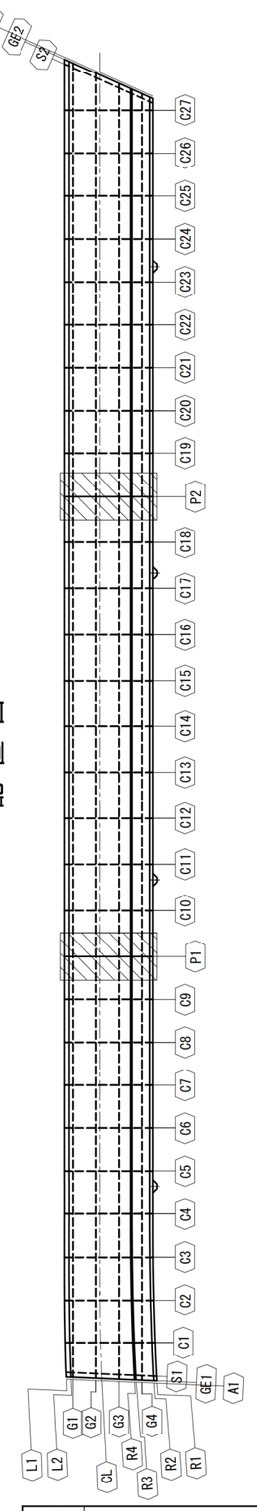
側 面 図



中間断面



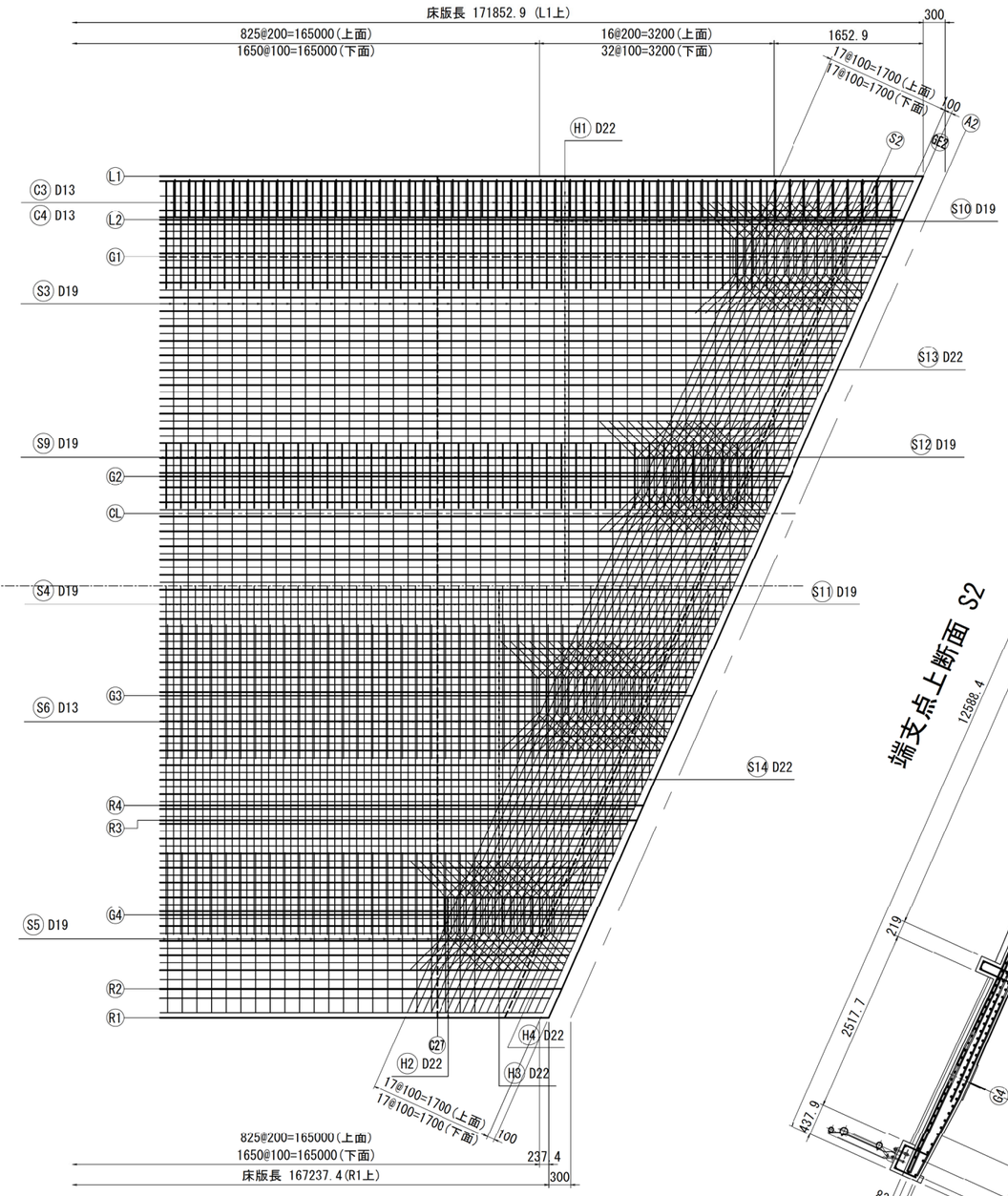
配置図



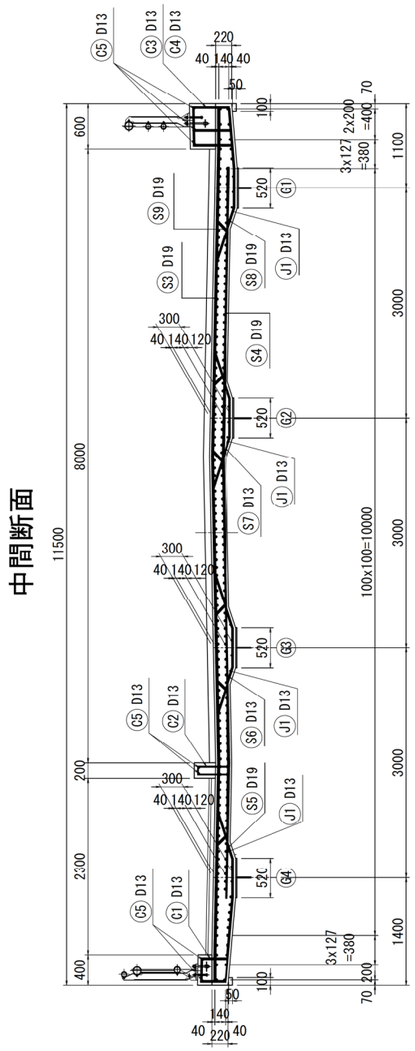
工事名			
図面名	床版配筋図(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

床版配筋図（その3） S=1:40

平 面 図



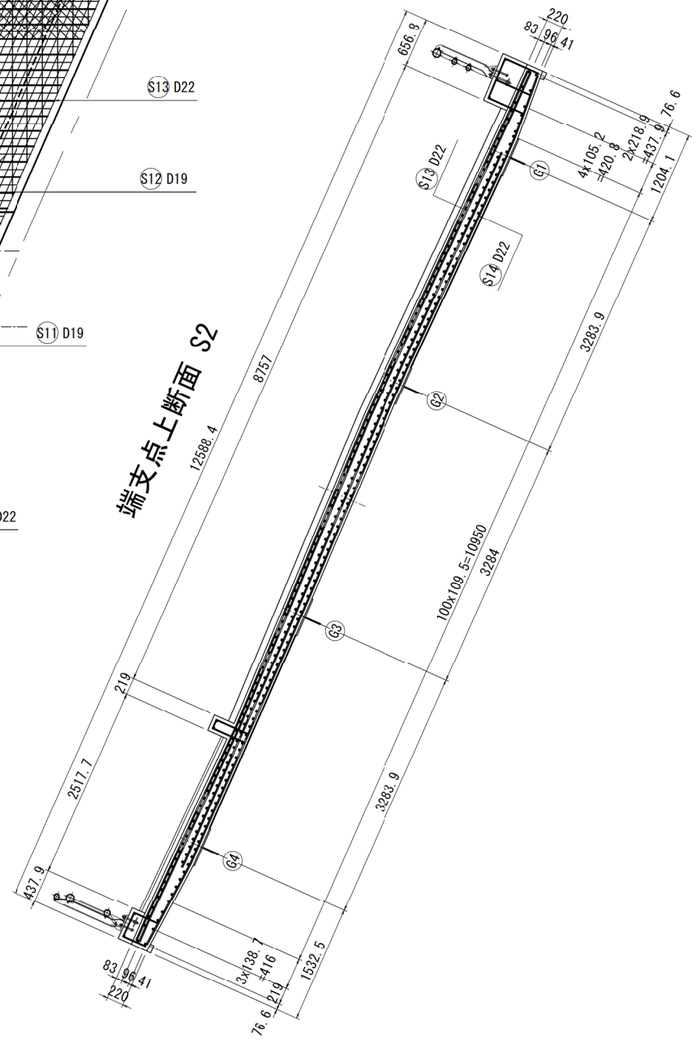
中間断面



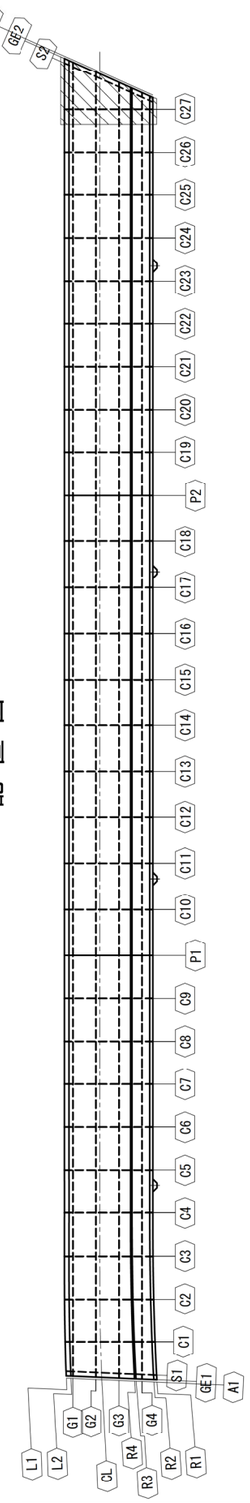
下面配筋 上面配筋



端支点上断面 S2

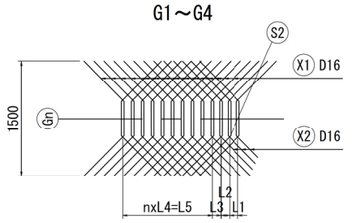


配 置 図



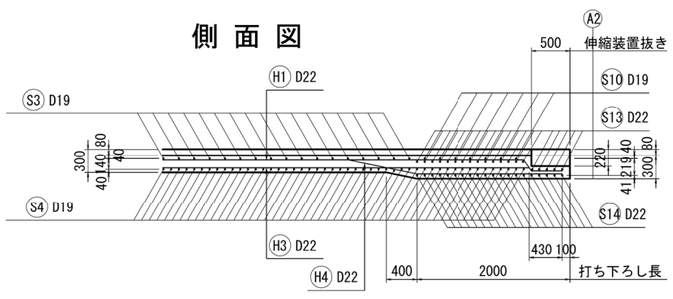
せん断補強筋

G1～G4



	L1	L2	L3	L4	L5	n
G1	120	120	140	140	1120	8
G2	110	110	110	130	1170	9
G3	112.8	112.8	130	130	1170	9
G4	125.6	130	130	130	1040	8

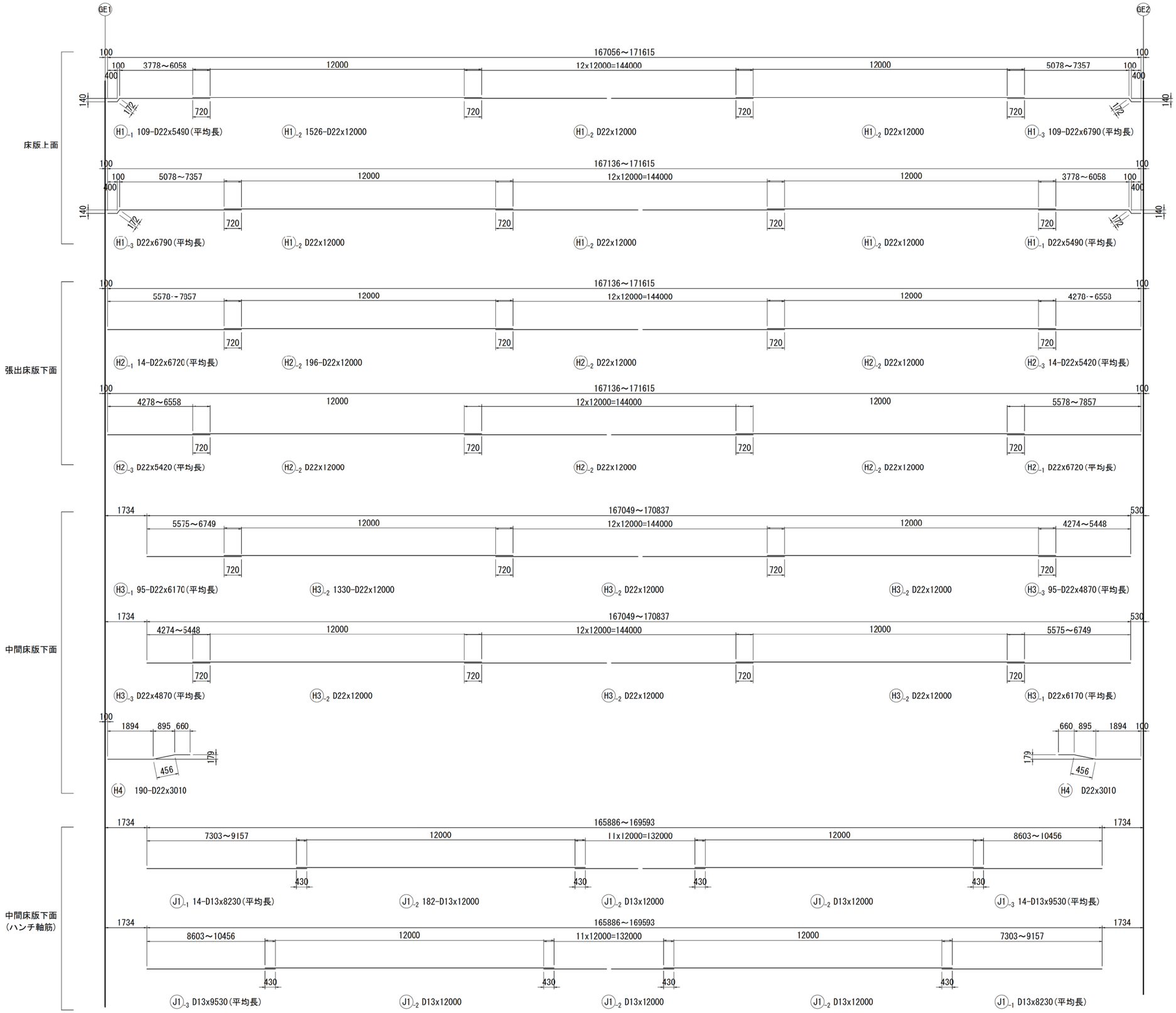
側 面 図



（注記）
桁端部で主桁上フランジ上面のスタッドジベルと
斜め鉄筋（S14）が干渉する箇所は，
設計計算上の鉄筋間隔を超えない範囲で，
適宜鉄筋配置や鉄筋曲げ加工形状を調整すること。
・設計計算上の鉄筋間隔
　橋軸方向@100
　直角方向@100

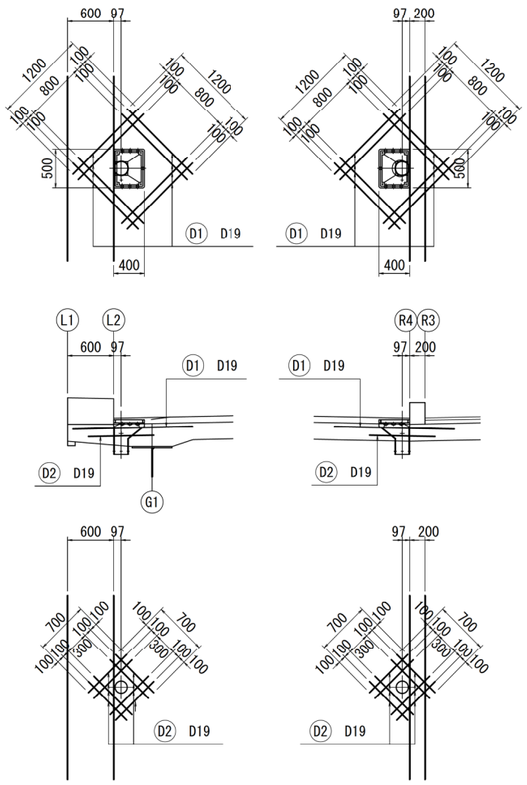
工事名			
図面名	床版配筋図（その3）		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

床版配筋図（その4） S=1:40



排水桝補強筋

製作数：40箇所



D1 320-D19x1200

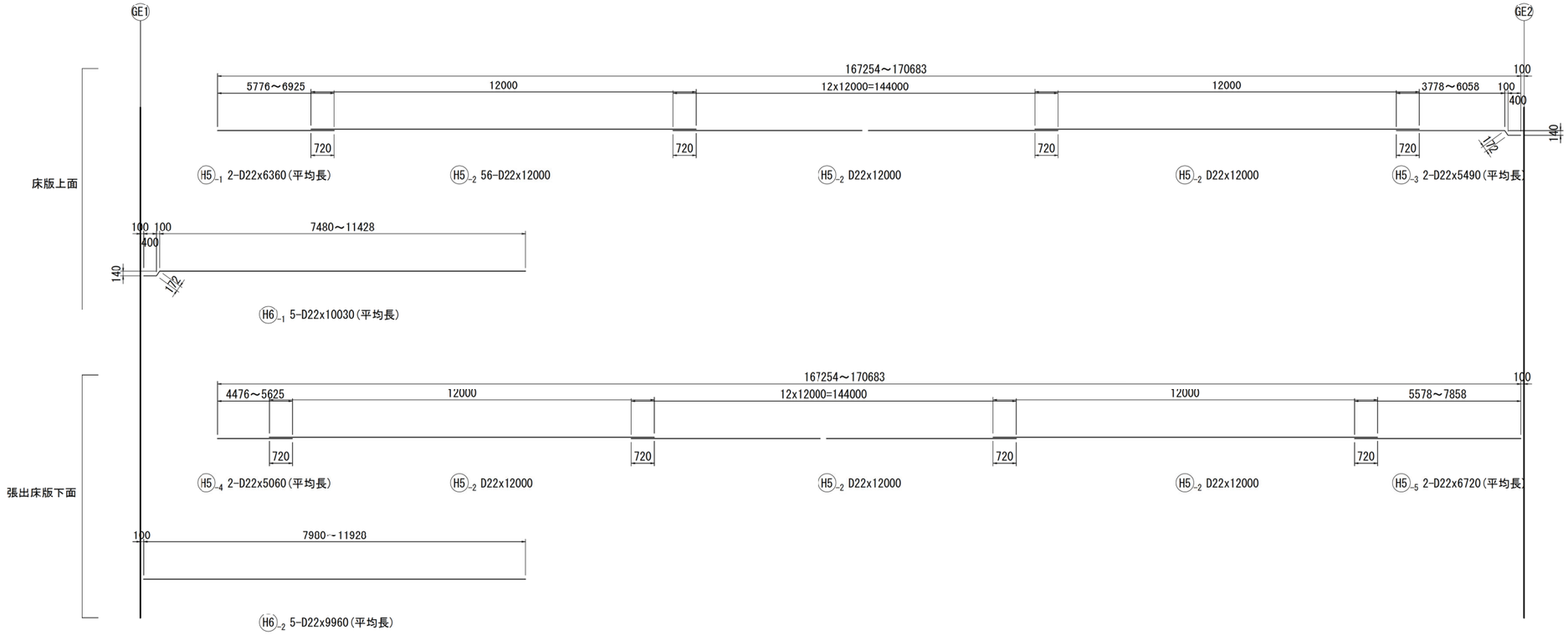
D2 320-D19x700

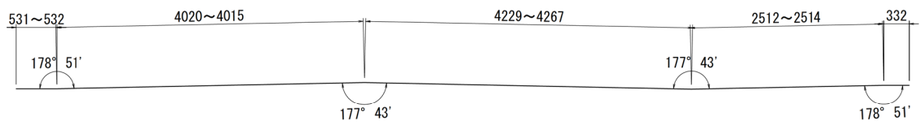
注記

1. 鉄筋の材質は全てSD345（エポキシ鉄筋）とする。
2. 鉄筋は、継手位置が同一面にならない様
   交互に配置すること。

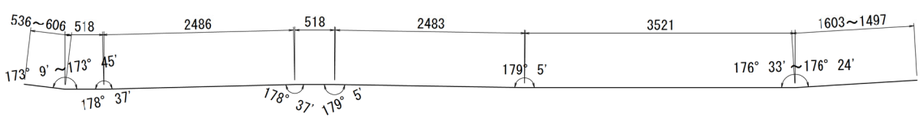
工事名			
図面名	床版配筋図（その4）		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

床版配筋図（その5） S=1:40

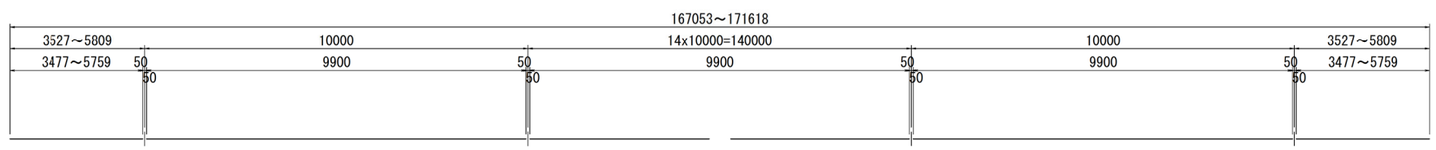




S1 20-D22x11650(平均長)



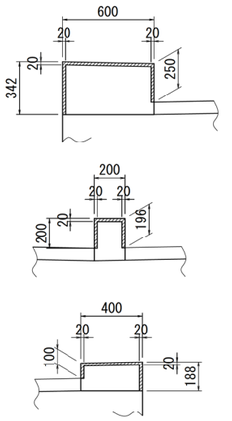
S2 20-D22x11650(平均長)



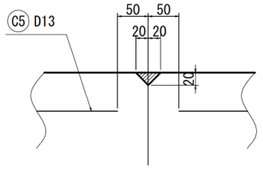
C5-1 14-D13x4620(平均長)　C5-2 112-D13x9900　C5-2 D13x9900　C5-2 D13x9900　C5-1 D13x4620

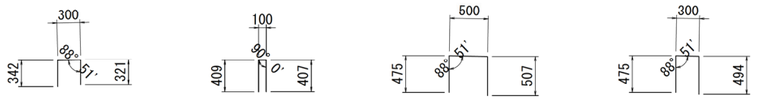
地覆部詳細図

地覆Vカット範囲 S=1:20



地覆Vカット詳細 S=1:5



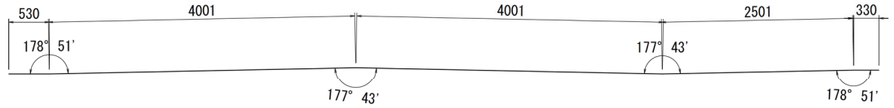


C1 835-D13x970　C2 841-D13x920　C3 857-D13x1490　C4 857-D13x1270

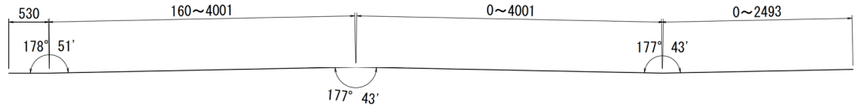
注記
1. 鉄筋の材質は全てSD345（エポキシ鉄筋）とする。
2. 鉄筋は、継手位置が同一面にならない様
交互に配置すること。

工事名			
図面名	床版配筋図（その5）		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

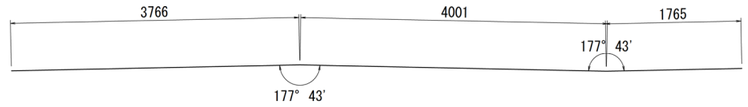
床版配筋図(その6) S=1:40



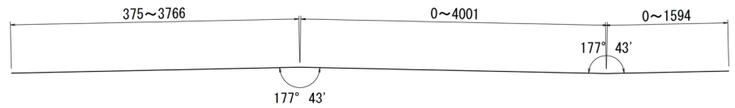
S3 826-D19x11370



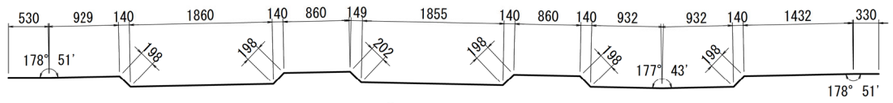
S10 24-D19x5860(平均長)



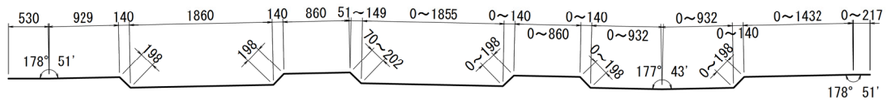
S4 1657-D19x9540



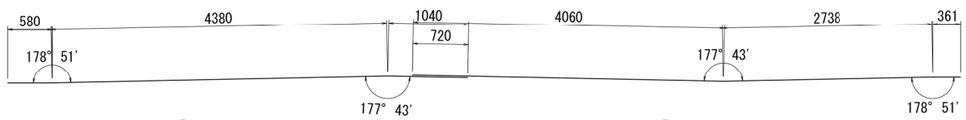
S11 41-D19x4870(平均長)



S9 826-D19x11720

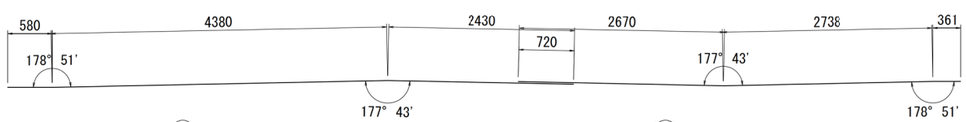


S12 16-D19x8130(平均長)



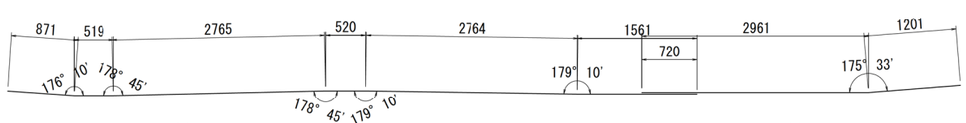
S13-1 9-D22x6000

S13-2 9-D22x7160



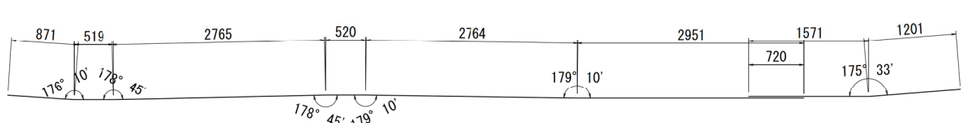
S13-3 9-D22x7390

S13-4 9-D22x5770



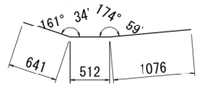
S14-1 9-D22x9000

S14-2 9-D22x4170

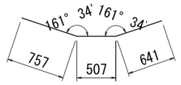


S14-3 9-D22x10390

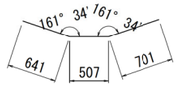
S14-4 9-D22x2780



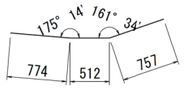
S5 822-D19x2230



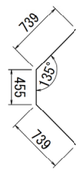
S6 828-D13x1910



S7 833-D13x1850



S8 839-D19x2050



X1 420-D16x1940



X2 12-D16x1720(平均長)

鉄筋質量表

種別	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	形状	摘要
S1	D22	11650	20	3.04	35.4	708		(平均長)
S2	D22	11650	20	3.04	35.4	708		(平均長)
S3	D19	11370	826	2.25	25.6	21146		
S4	D19	9540	1657	2.25	21.5	35626		
S5	D19	2230	822	2.25	5.02	4126		
S6	D13	1910	828	0.995	1.90	1573		
S7	D13	1850	833	0.995	1.84	1533		
S8	D19	2050	839	2.25	4.61	3868		
S9	D19	11720	826	2.25	26.4	21806		
S10	D19	5860	24	2.25	13.2	317		(平均長)
S11	D19	4870	41	2.25	11.0	451		(平均長)
S12	D19	8130	16	2.25	18.3	293		(平均長)
S13-1	D22	6000	9	3.04	18.2	164		
S13-2	D22	7160	9	3.04	21.8	196		
S13-3	D22	7390	9	3.04	22.5	203		
S13-4	D22	5770	9	3.04	17.5	158		
S14-1	D22	9000	9	3.04	27.4	247		
S14-2	D22	4170	9	3.04	12.7	114		
S14-3	D22	10390	9	3.04	31.6	284		
S14 4	D22	2780	9	3.04	8.45	76		
H1-1	D22	5490	109	3.04	16.7	1820		(平均長)
H1-2	D22	12000	1526	3.04	36.5	55699		
H1-3	D22	6790	109	3.04	20.6	2245		(平均長)
H2-1	D22	6720	14	3.04	20.4	286		(平均長)
H2-2	D22	12000	196	3.04	36.5	7154		
H2-3	D22	5420	14	3.04	16.5	231		(平均長)
H3-1	D22	6170	95	3.04	18.8	1786		(平均長)
H3-2	D22	12000	1330	3.04	36.5	48545		
H3-3	D22	4870	95	3.04	14.8	1406		(平均長)
H4	D22	3010	190	3.04	9.15	1739		
H5-1	D22	6360	1	3.04	19.3	20		(平均長)
H5-2	D22	12000	56	3.04	36.5	2044		
H5-3	D22	5490	2	3.04	16.7	33		(平均長)
H5-4	D22	5060	1	3.04	15.4	16		(平均長)
H5-5	D22	6720	2	3.04	20.4	41		(平均長)
H6-1	D22	10030	5	3.04	30.5	153		(平均長)
H6-2	D22	9960	5	3.04	30.3	152		(平均長)
J1-1	D13	8230	14	0.995	8.19	115		(平均長)
J1-2	D13	12000	182	0.995	11.9	2166		
J1-3	D13	9530	14	0.995	9.48	133		(平均長)
C1	D13	970	835	0.995	0.965	806		
C2	D13	920	841	0.995	0.915	770		
C3	D13	1490	857	0.995	1.48	1268		
C4	D13	1270	857	0.995	1.26	1080		
C5-1	D13	4620	14	0.995	4.60	64		(平均長)
C5-2	D13	9900	112	0.995	9.85	1103		
D1	D19	1200	320	2.25	2.70	864		
D2	D19	700	320	2.25	1.58	506		
F1	D13	1280	8	0.995	1.27	10		
F2	D13	1080	8	0.995	1.07	9		
F3	D13	1070	16	0.995	1.06	17		(平均長)
F4	D13	880	16	0.995	0.876	14		(平均長)
F5	D13	1740	12	0.995	1.73	21		(平均長)
F6	D13	1170	12	0.995	1.16	14		(平均長)
F7	D13	1820	8	0.995	1.81	14		
F8	D13	1710	16	0.995	1.70	27		
X1	D16	1940	420	1.56	3.03	1273		
X2	D16	1720	12	1.56	2.68	32		(平均長)

D22	126228	kg
D19	89003	kg
D16	1305	kg
D13	10737	kg
総合計	227273	kg

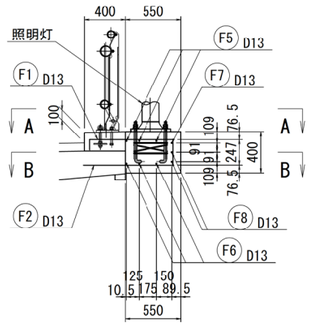
注記
1. 鉄筋の材質は全てSD345(エポキシ鉄筋)とする。
2. 鉄筋は、継手位置が同一面にならない様
交互に配置すること。

工事名	
図面名	床版配筋図(その6)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

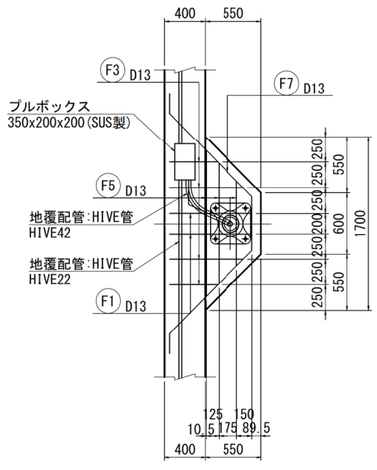
床版配筋図（その7） S=1:30

照明柱拡幅詳細図
（製作数：4箇所）

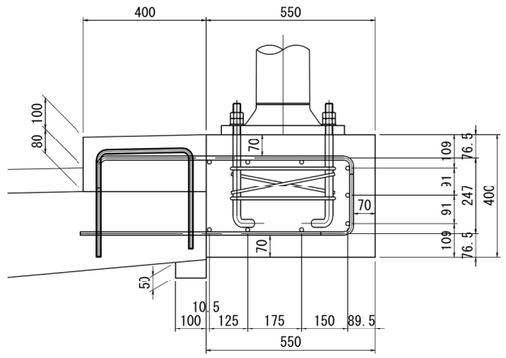
照明基礎周辺詳細図



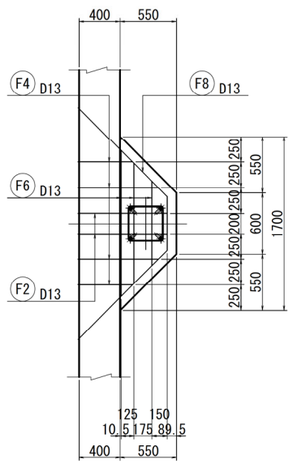
A － A



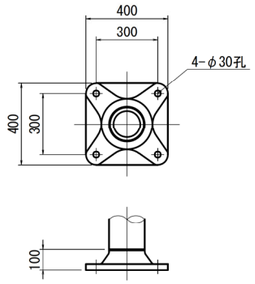
かぶり詳細図 S=1:10



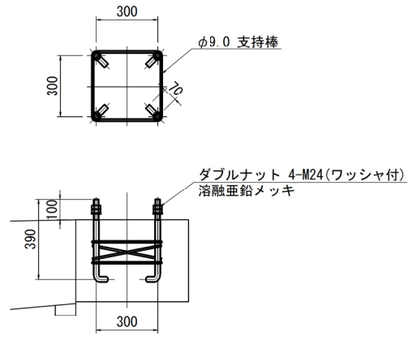
B － B



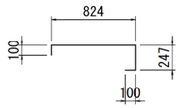
ベース部詳細 S=1:15



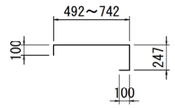
アンカーボルト S=1:15



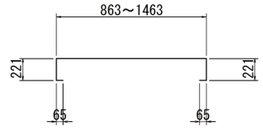
照明柱拡幅鉄筋詳細図



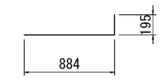
F1 8 － D13 x 1280



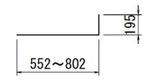
F3 16 － D13 x 1070(平均長)



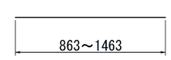
F5 12 － D13 x 1740(平均長)



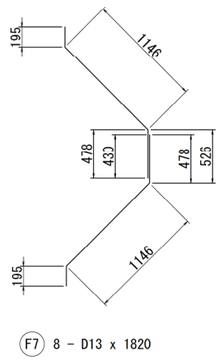
F2 8 － D13 x 1080



F4 16 － D13 x 880(平均長)



F6 12 － D13 x 1170(平均長)

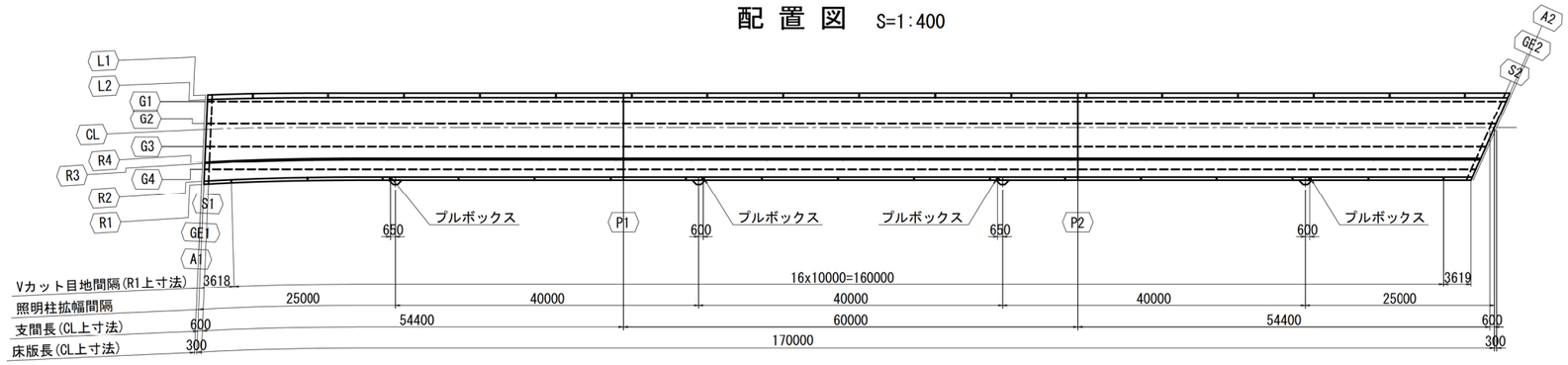


F7 8 － D13 x 1820

F8 16 － D13 x 1710

※ ブルボックス設置位置は、配置図参照のこと。

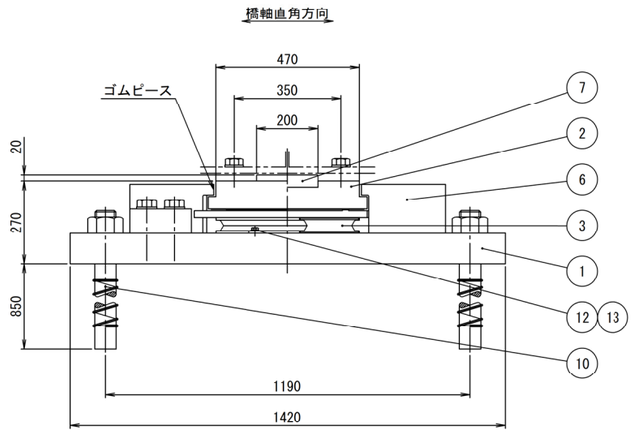
配 置 図 S=1:400

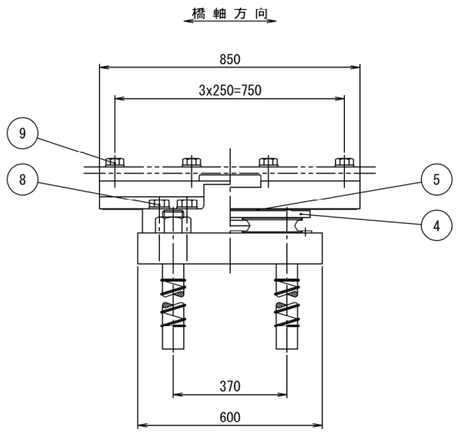


特記
ブルボックス位置は防護柵支柱との
取り合いを踏まえて適宜調整すること。

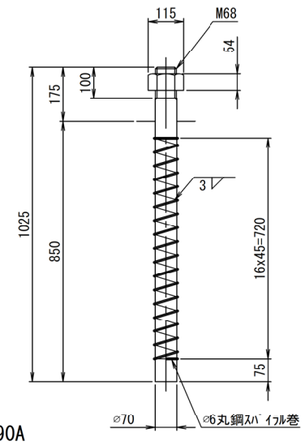
工事名			
図面名	床版配筋図（その7）		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

支承詳細図（その1） S=1:10

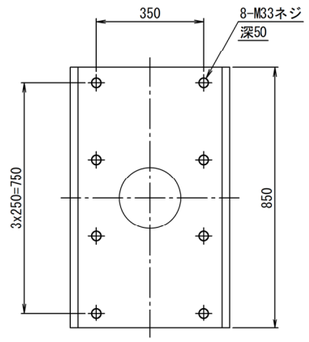


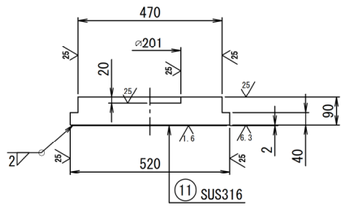


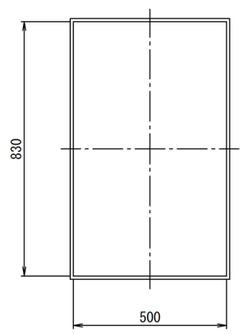
⑩ SS400



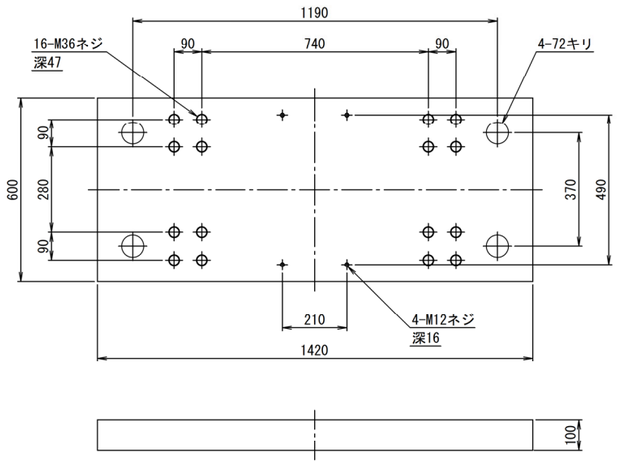
② SM490A



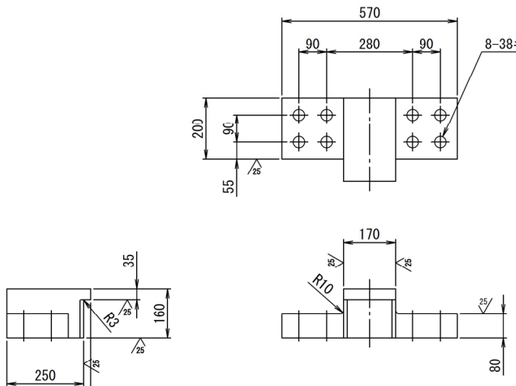




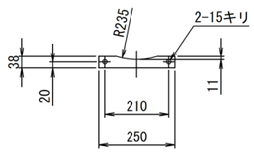
① SM490A



⑥ SM490A



⑫ SS400
38×250×9 t

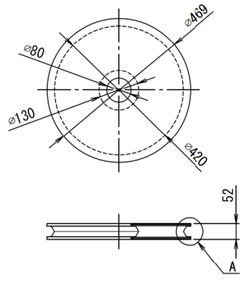


⑧ 六角ボルト 中 M36x130 8.8
（平座金付き）

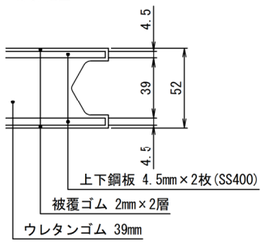
⑨ 六角ボルト 中 M33x 8.8
（平座金付き）

⑬ 六角ボルト 中 M12x25 4.8
（平座金付き）

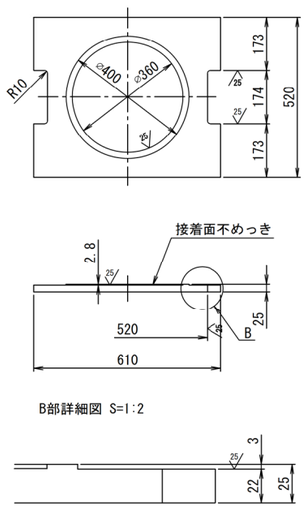
③ DRB



A部詳細図 S=1:2

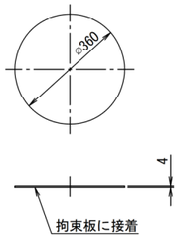


④ SM490A

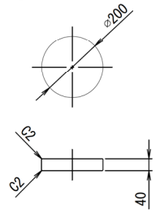


B部詳細図 S=1:2

⑤ PTFE



⑦ SM490A



設計条件

反力		
最大鉛直荷重（耐久性）	R	1371 kN
死荷重（永続支配）	Rd	848 kN
橋軸方向水平力（変動支配）	Rh1	155 kN
橋軸直角方向水平力（L2時）	Rh2	1358 kN
上揚力（L2時）	V	1230 kN
移動量		
設計移動量	e	± 240 mm
回転角		
設計回転角		1/150 rad
設計条件		
最大鉛直荷重（変動支配）	R	1549 kN
死荷重（特性値）	Rd	830 kN
回転照査荷重	Rmax2	1120 kN
回転変位量	δr	0.535 mm
照査荷重	R1L	287 kN
照査荷重圧縮変位量	δcL	0.267 mm
摩擦係数		
設計摩擦係数	f	0.10
支承部支持条件		
橋軸方向： 可動	橋軸直角方向： 固定	
適用基準		
道路橋示方書・同解説(H29年11月)、道路橋支承便覧(H30年12月)		

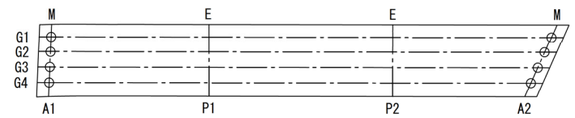
材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	下沓	SM490A	1	650.0	
②	上沓	SM490A	1	287.9	
3	高面圧ゴム支承	DRB	1	20.7	
④	拘束板	SM490A	1	52.8	
5	滑り板	PTFE	1	0.9	
⑥	サイドブロック	SM490A	2	198.0	
⑦	せん断キー	SM490A	1	9.9	
⑧	六角ボルト･座金		16	24.3	JIS B 1180 JIS B 1256
⑨	六角ボルト･座金		8	7.6	JIS B 1180 JIS B 1256
⑩	アンカーボルト・ナット	SS400	4	132.8	JIS B 1181
11	ステンレス板	SUS316	1	6.6	500x2x830
⑫	スットパー	SS400	2	1.3	
⑬	六角ボルト･座金		4	0.2	JIS B 1180 JIS B 1256
全重量				1393.0	(kg)
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	付着量550g/m²以上、350g/m²以上(ﾎﾞﾙﾄ類)				

注１）必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。

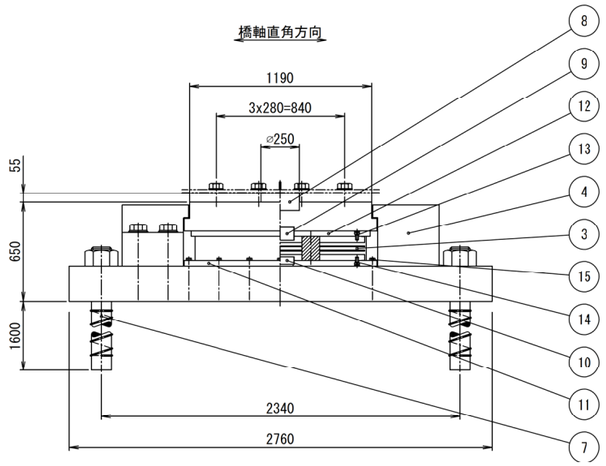
注２）部番9の六角ボルト・座金の重量は、参考重量とする。

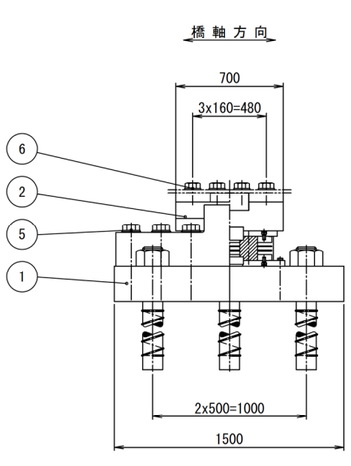
配置図



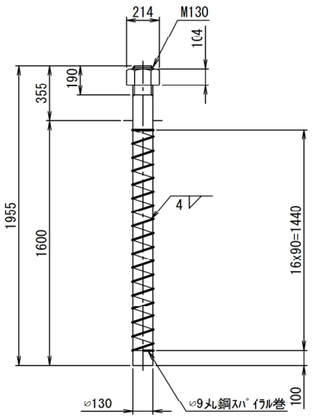
工事名			
図面名	支承詳細図（その1）		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	S=1:10	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

支承詳細図（その2） S=1:20

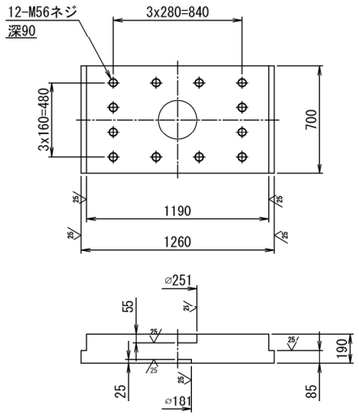




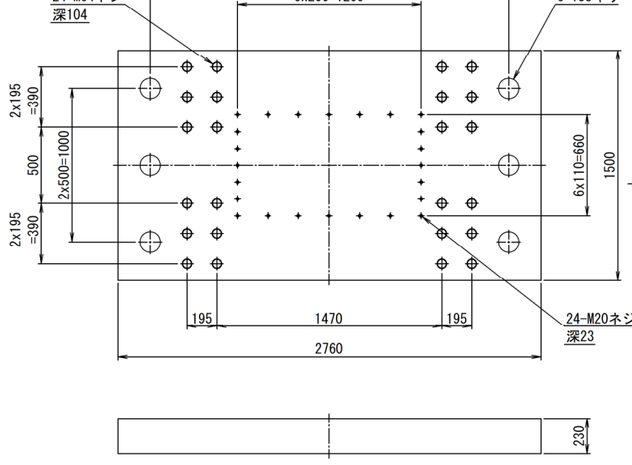
⑦ ▽ SM490A



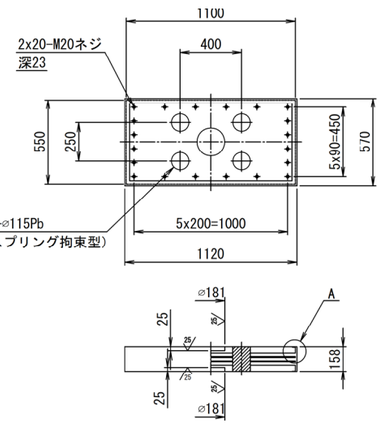
② ▽(25/) SM490A



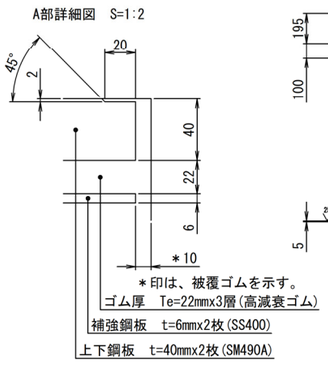
① ▽ SM490A又はSCW480N



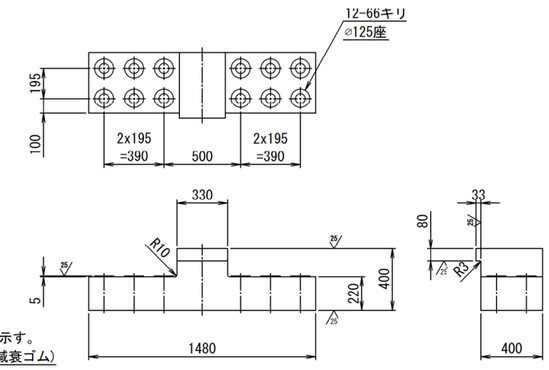
③ ▽(25/) 高減衰ゴム+Pb+SM490A+SS400



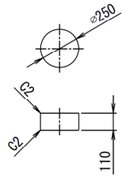
A部詳細図 S=1:2



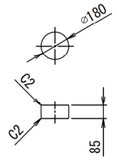
④ ▽(25/) SCW480N



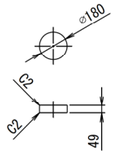
⑧ ▽ SM490A



⑨ ▽ SM490A



⑩ ▽ SM490A

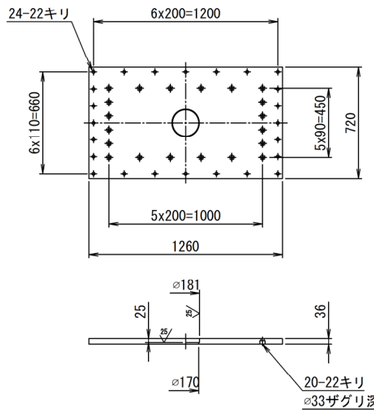


配 置 図

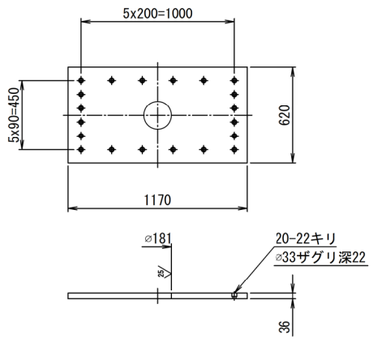


⑤	六角ボルト 中（平座金付き）	M64x335	8.8
⑥	六角ボルト 中（平座金付き）	M56x	8.8
⑬	六角穴付ボルト	M20x35	12.9
⑭	六角穴付ボルト	M20x35	12.9
⑮	六角ボルト 中（平座金付き）	M20x60	8.8

⑪ ▽(25/) SM490A



⑫ ▽(25/) SM490A



設計条件

設計	反力	
最大鉛直荷重（耐久性）	R	3525 kN
死荷重（永続支配）	Rd	2569 kN
橋軸方向水平力 (L2時)	Rh1e	1576 kN
橋軸直角方向水平力 (L2時)	Rh2e	5517 kN
上揚力 (L2時)	V	6265 kN
移動量		
最大変位量 (L2時)	UB	± 146 mm
ゴム沓		
せん断弾性係数	Ge	1.2 N/mm²
せん断ひずみの制限値	γs	250 %
形状係数	S1/S2	7.76 / 8.33
試験条件		
最大鉛直荷重（変動支配）	R	3920 kN
死荷重（特性値）	Rd	2406 kN
試験変位量	ΔL	± 116 mm
等価剛性	KB	11.063 kN/mm
等価減衰定数	hB	25.63 %
回転照査荷重	Rr	2921 kN
回転変位量	δr	0.550 mm
支点支持条件		
橋軸方向：免震	橋軸直角方向：固定	
適用基準		
道路橋示方書･同解説（H29年11月）、道路橋支承便覧（H30年12月）		

材料表

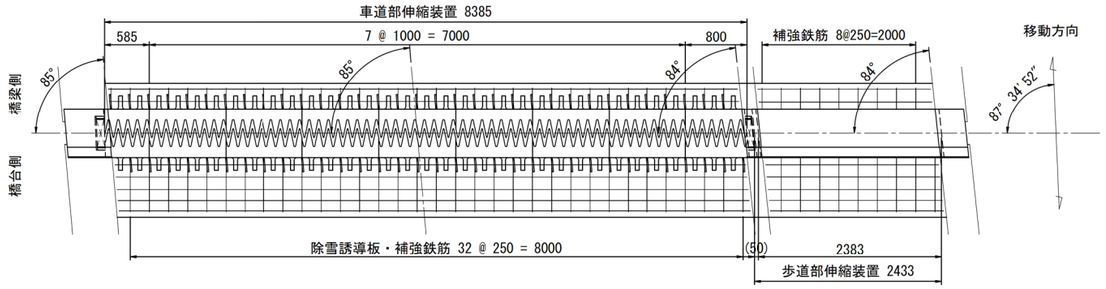
部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
①	ベースプレート	SM490A又はSCW480N	1	7259.9	
②	上沓	SM490A	1	1227.8	
3	ゴム沓	高減衰ゴム+Pb+SM490A+SS400	1	517.8	
④	サイドブロック	SCW480N	2	2298.0	
⑤	六角ボルト･座金	———	24	261.8	JIS B 1180
⑥	六角ボルト･座金	———	12	52.0	JIS B 1180
⑦	アンカーボルト・ナット	SD345	6	1306.3	JIS B 1181
⑧	せん断キー	SM490A	1	42.4	
⑨	せん断キー	SM490A	1	17.0	
⑩	せん断キー	SM490A	1	9.8	
⑪	下沓	SM490A	1	243.0	
⑫	中間プレート	SM490A	1	193.9	
13	六角穴付ボルト	———	20	3.2	JIS B 1176
14	六角穴付ボルト	———	20	3.2	JIS B 1176
⑮	六角ボルト･座金	———	24	5.5	JIS B 1180
全重量				13441.6	(kg)
一般外面の防食処理					
溶融亜鉛めっき	材料表部番の○印部品をめっきのこと。				
	付着量550g/m²以上、350g/m²以上(ﾎﾞﾙﾄ類)				

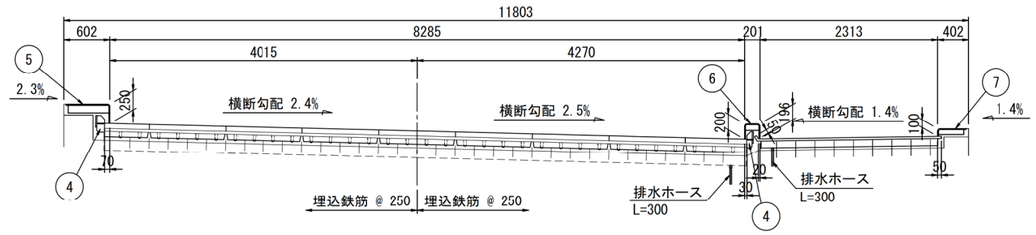
注１）必要に応じて吊り用のネジ穴を設けてもよい。
注２）ゴム支承の上下鋼鈑露出部は、有機ジンクリッチペイント処理とする。
注３）六角穴付ボルトは黒色酸化皮膜処理ボルトを使用し、締付け後、高濃度亜鉛末塗料を塗布のこと。
注４）ゴム沓側面は、クロロスルホン化ポリエチレン系塗料（K-Coat-R）を塗布のこと。
注５）部番6の六角ボルト・座金の重量は、参考値とする。

工事名	
図面名	支承詳細図（その2）
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	S=1:20 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

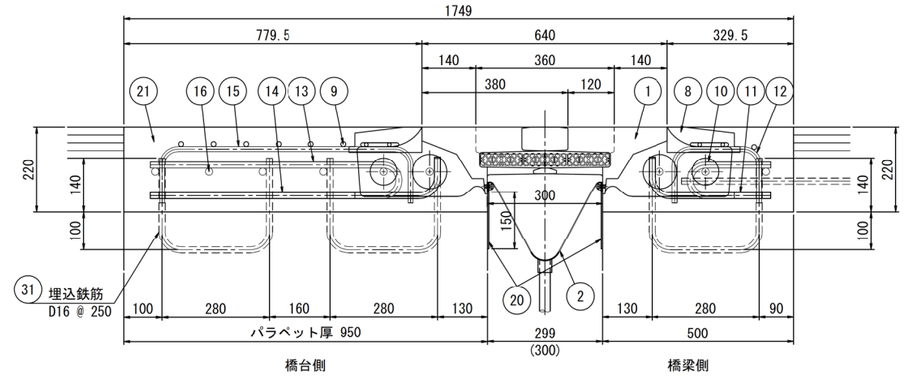
伸縮装置詳細図(その1) A1

金物設置図 S=1:40

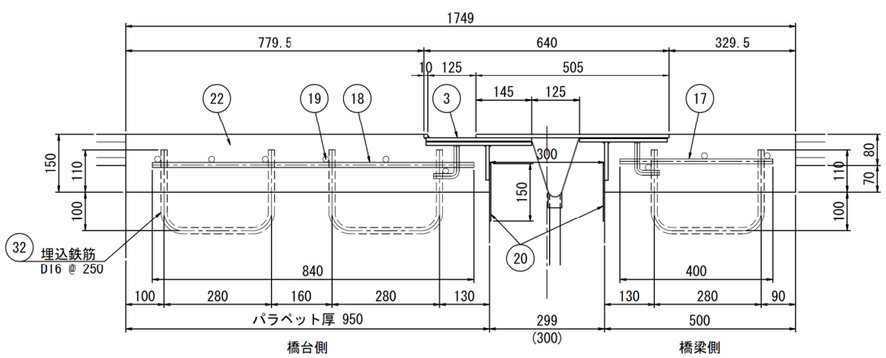




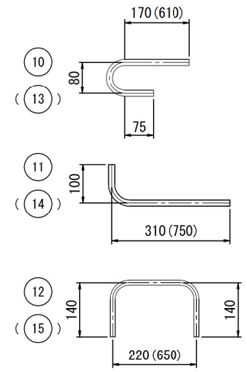
車道部 伸縮装置断面図 S=1:8



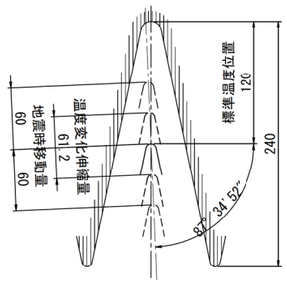
歩道部 伸縮装置断面図 S=1:8



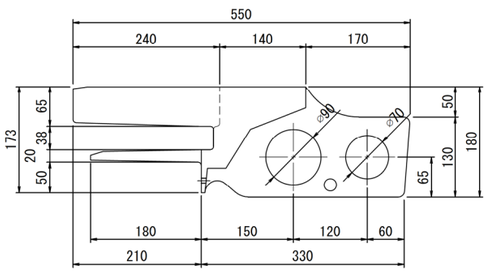
伸縮金物断面図 S=1:8



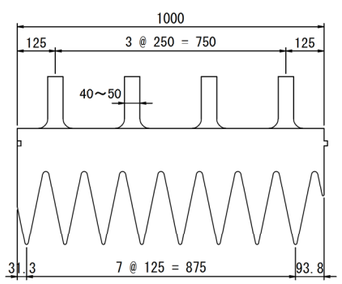
フィンガー移動図 S=1:3



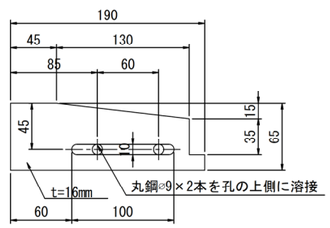
伸縮金物断面図 S=1:5



伸縮金物平面図 S=1:10



除雪誘導板詳細図 S=1:3



材料表 (1箇所当たり)

番号	名称	材質	単位	数量	記事
1	車道部伸縮装置	アルミ合金鋳物	m	8．385	KMA－230Nタイプ
2	二重止水装置		m	8．385	排水ホース:外径φ27.6、内径φ19
3	歩道部伸縮装置	SS材・その他		2．433	SP－230KMAタイプ
4	アップスタンド	アルミ合金	個	2	斜角用，歩車道境界部：薄型仕様 歩道側：84°車道側：88°
5	車道部地覆カバー	SS400	組	1	t＝6（斜角用）
6	歩車道境界カバー	SS400	組	1	t＝6（斜角用）
7	歩道部地覆カバー	SS400	組	1	t＝6（斜角用）
8	除雪誘導板（斜角用）	SS400	枚	66	PL16 × 65× 190
9	用心鉄筋(メッキ処理)	SD345	kg	57．81	D13 × 8．3m× 7本
10	車道部補強鉄筋	SD345	kg	19．05	D16 × 370× 33本
11	車道部補強鉄筋	SD345	kg	21．11	D16 × 410× 33本
12	車道部補強鉄筋	SD345	kg	16．42	D13 × 500× 33本
13	車道部補強鉄筋	SD345	kg	41．70	D16 × 810× 33本
14	車道部補強鉄筋	SD345	kg	43．76	D16 × 850× 33本
15	車道部補強鉄筋	SD345	kg	30．54	D13 × 930× 33本
16	車道部補強鉄筋	SD345	kg	168．08	D19 × 8．3m× 9本
17	歩道部補強鉄筋	SD345	kg	5．62	D16 × 400× 9本
18	歩道部補強鉄筋	SD345	kg	11．79	D16 × 840× 9本
19	歩道部補強鉄筋	SD345	kg	32．29	D16 × 2．3m× 9本
20	遊間部型枠	鋼板等	m^2	3．54	150 ×11．8m× 2式
21	車道部後打ちコンクリート	高強度コンクリート	m^3	2．64	σck＝36 N／mm^2
22	歩道部後打ちコンクリート	普通コンクリート	m^3	0．50	σck＝24 N／mm^2

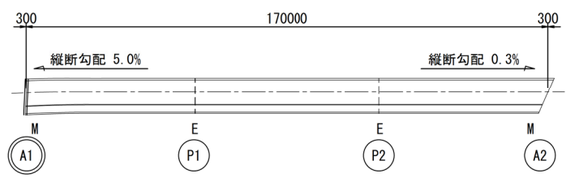
上部工および下部工において施工

31	車道部埋込鉄筋	SD345	kg	117．37	D16 × 760× 99本
32	歩道部埋込鉄筋	SD345	kg	29．48	D16 × 700× 27本

設計条件	
温度範囲	－20℃～＋40℃
温度変化伸縮量	61．2mm
常時伸縮量	88．2mm
地震時移動量	±60mm

注記
1．施工において図面相当品とする
2．伸縮装置の割付は変更することがある
3．遊間と平行に施工する通し筋を分割する場合
　重ね長さを考慮すること
4．排水ホースにはフレキシブルチューブ等を接続のうえ、
　適切に流末処理を行うこと
5．縦断勾配が大きいこと、移動方向と地覆角度が異なることを考慮し、
　地覆カバー側面と上面に隙間を設けること

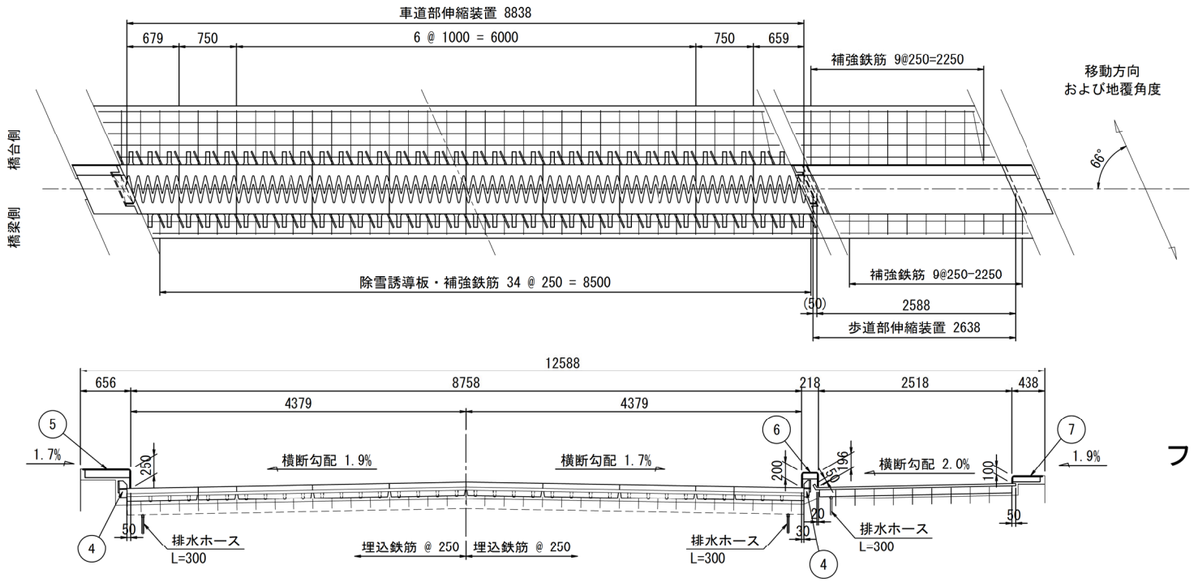
配置図



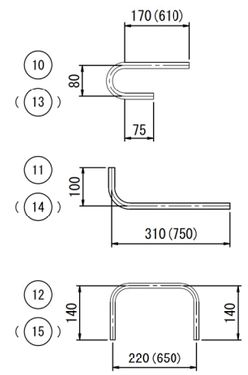
工事名	
図面名	伸縮装置詳細図(その1)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示
図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

伸縮装置詳細図(その2) A2

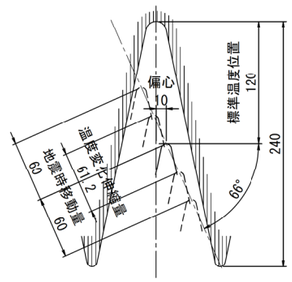
金物設置図 S=1:40



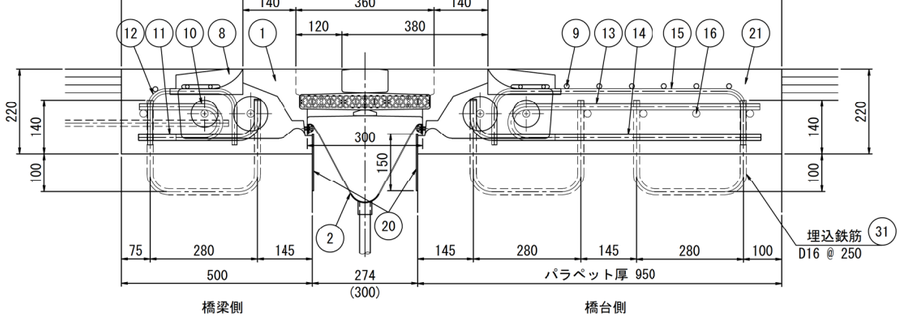
伸縮金物断面図 S=1:8



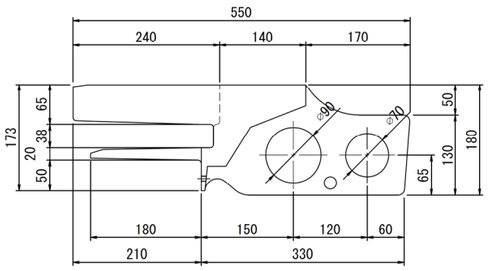
フィンガー移動図 S=1:3



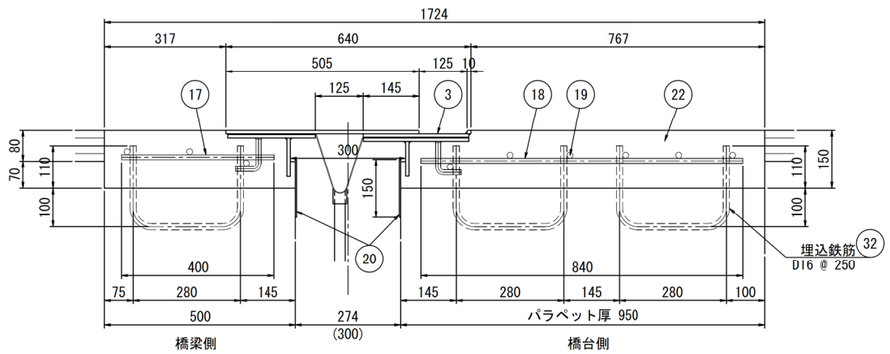
車道部 伸縮装置断面図 S=1:8



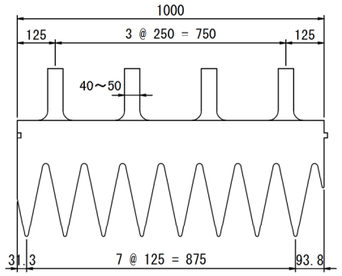
伸縮金物断面図 S=1:5



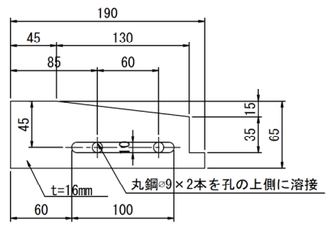
歩道部 伸縮装置断面図 S=1:8



伸縮金物平面図 S=1:10



除雪誘導板詳細図 S=1:3



材料表 （1箇所当たり）

番号	名称	材質	単位	数量	記事
1	車道部伸縮装置	アルミ合金鋳物	m	8．838	KMA－230Nタイプ
2	二重止水装置		m	8．838	排水ホース:外径φ27.6、内径φ19
3	歩道部伸縮装置	SS材・その他		2．638	SP－230KMAタイプ
4	アップスタンド	アルミ合金	個	2	斜角用，歩車道境界部：薄型仕様
5	車道部地覆カバー	SS400	組	1	t＝6（斜角用）
6	歩車道境界カバー	SS400	組	1	t＝6（斜角用）
7	歩道部地覆カバー	SS400	組	1	t＝6（斜角用）
8	除雪誘導板（斜角用）	SS400	枚	70	PL16 × 65× 190
9	用心鉄筋(メッキ処理)	SD345	kg	61．29	D13 × 8．8m× 7本
10	車道部補強鉄筋	SD345	kg	20．20	D16 × 370× 35本
11	車道部補強鉄筋	SD345	kg	22．39	D16 × 410× 35本
12	車道部補強鉄筋	SD345	kg	17．41	D13 × 500× 35本
13	車道部補強鉄筋	SD345	kg	44．23	D16 × 810× 35本
14	車道部補強鉄筋	SD345	kg	46．41	D16 × 850× 35本
15	車道部補強鉄筋	SD345	kg	32．39	D13 × 930× 35本
16	車道部補強鉄筋	SD345	kg	178．20	D19 × 8．8m× 9本
17	歩道部補強鉄筋	SD345	kg	6．24	D16 × 400× 10本
18	歩道部補強鉄筋	SD345	kg	13．10	D16 × 840× 10本
19	歩道部補強鉄筋	SD345	kg	35．10	D16 × 2．5m× 9本
20	遊間部型枠	鋼板等	m^2	3．75	150 ×12．5m× 2式
21	車道部後打ちコンクリート	高強度コンクリート	m^3	2．74	σck＝36 N／mm^2
22	歩道部後打ちコンクリート	普通コンクリート	m^3	0．54	σck＝24 N／mm^2

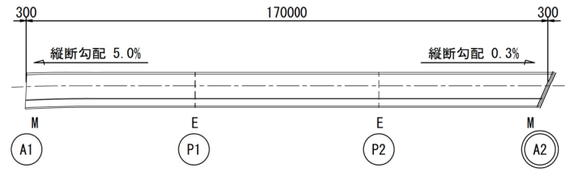
上部工および下部工において施工

31	車道部埋込鉄筋	SD345	kg	124．49	D16 × 760×105本
32	歩道部埋込鉄筋	SD345	kg	32．76	D16 × 700× 30本

設計条件	
温度範囲	－20℃～＋40℃
温度変化伸縮量	61．2mm
常時伸縮量	92．2mm
地震時移動量	±60mm

注記
1．施工において図面相当品とする
2．伸縮装置の割付は変更することがある
3．遊間と平行に施工する通し筋を分割する場合
　重ね長さを考慮すること
4．排水ホースにはフレキシブルチューブ等を接続のうえ、
　適切に流末処理を行うこと

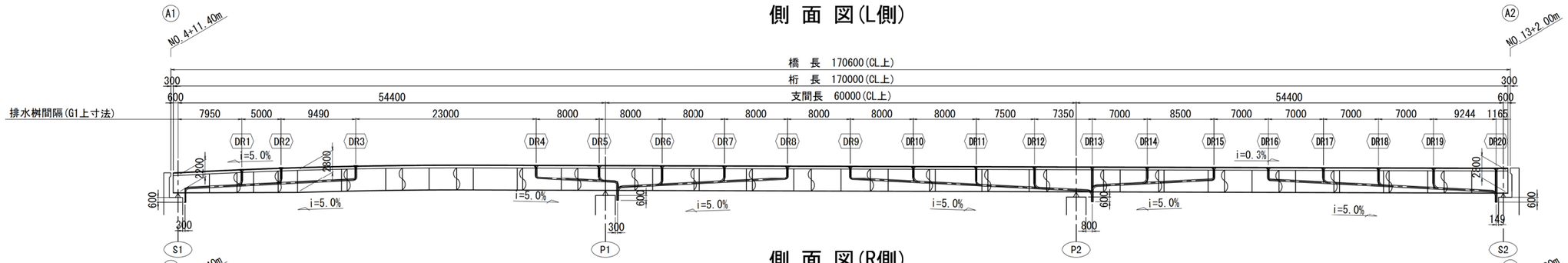
配置図



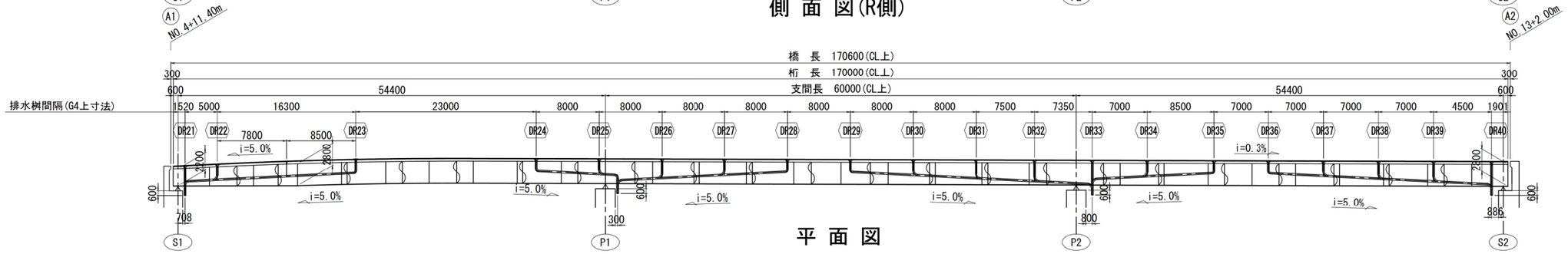
工事名	
図面名	伸縮装置詳細図(その2)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工排水装置(その1) S=1:300

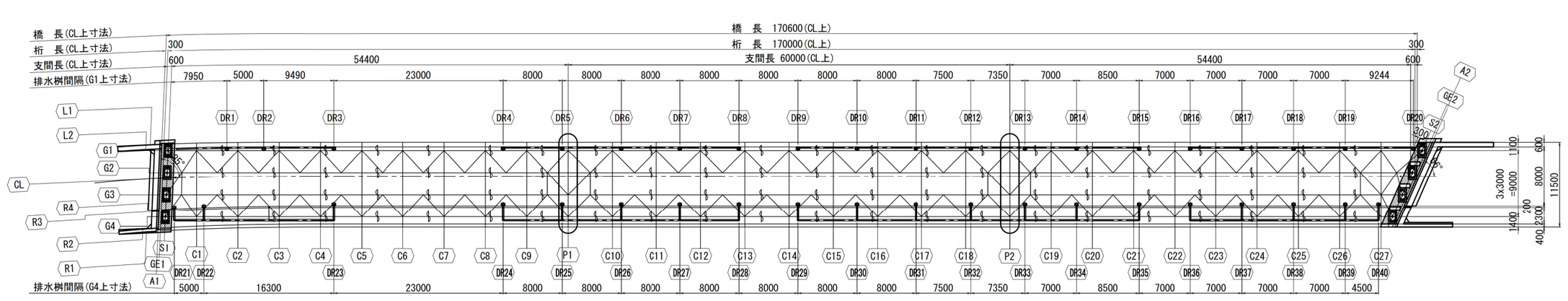
側 面 図(L側)



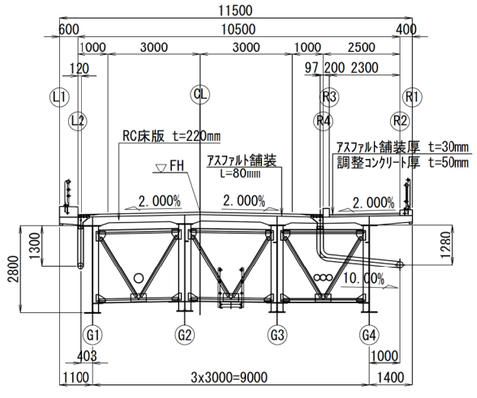
側 面 図(R側)



平 面 図



断 面 図 S=1:100

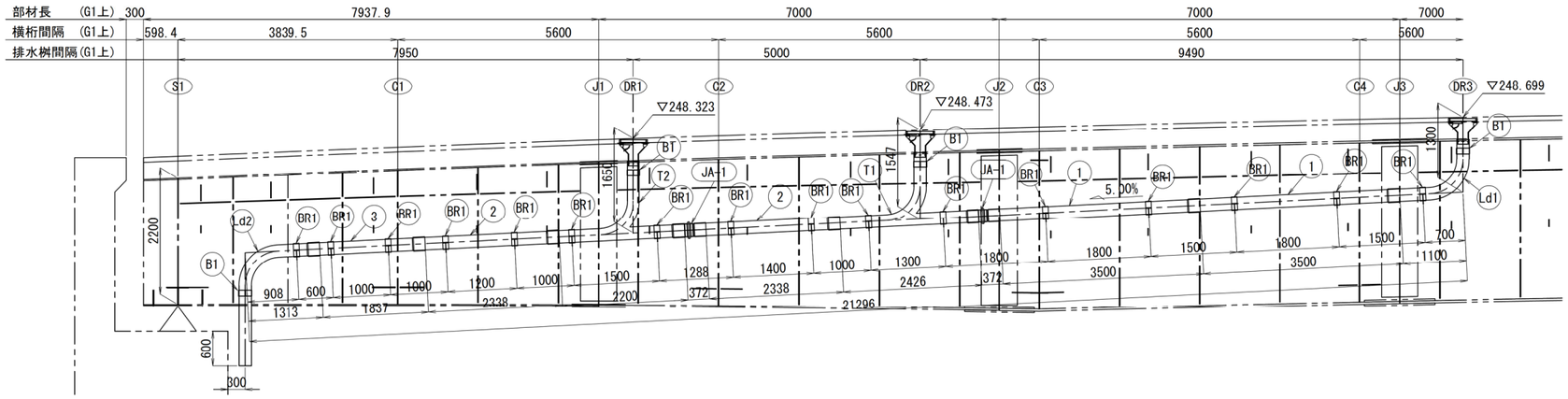


工事名			
図面名	上部工排水装置(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

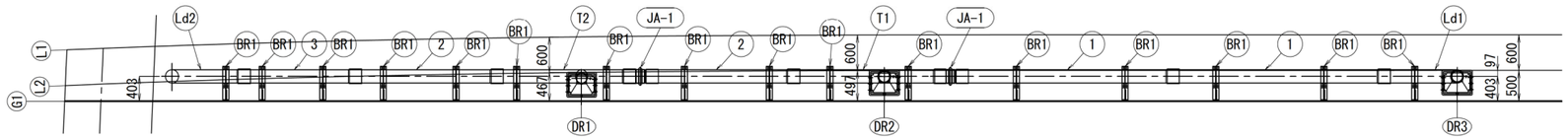
上部工排水装置(その2)　S=1:50

第1系統

側 面 図

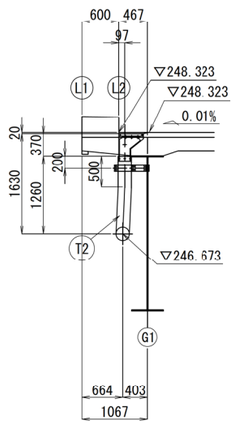


平 面 図

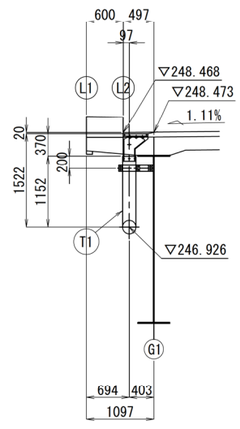


断 面 図

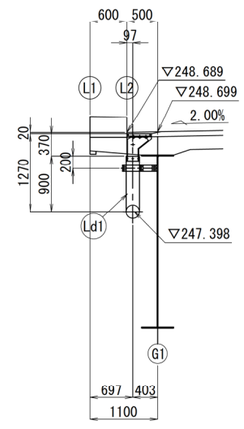
DR1



DR2



DR3



直管

1	2-VP 200Ax3700
2	2-VP 200Ax2538
3	1-VP 200Ax2037

支持金具

BR1	： 16個
B1	： 4個
JA-1	： 2個

加工管

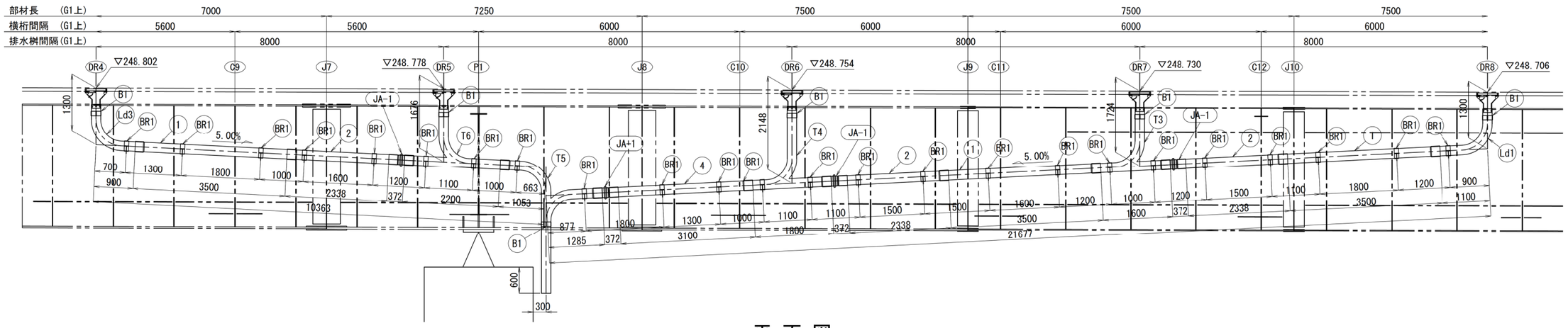
Ld1	： 1個
Ld2	： 1個
T1	： 1個
T2	： 1個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

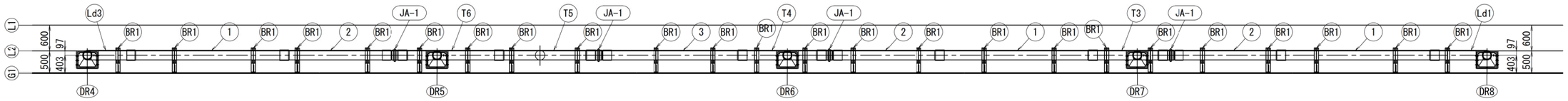
上部工排水装置(その3)　S=1:50

第2系統

側 面 図

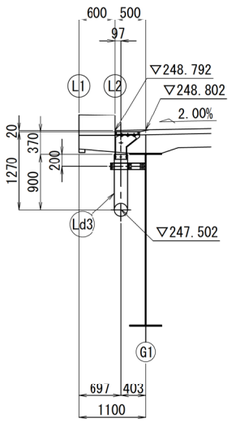


平 面 図

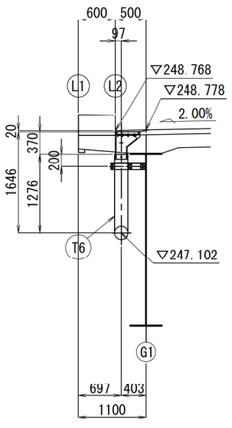


断 面 図

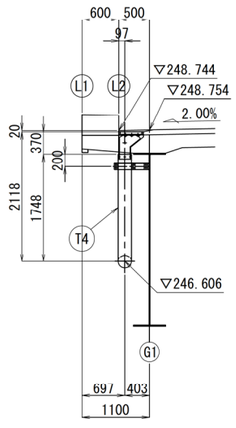
DR4



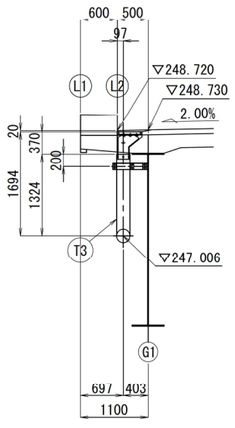
DR5



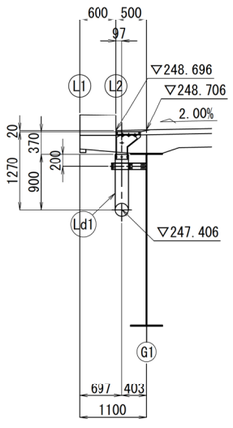
DR6



DR7



DR8



直管

1	3-VP 200Ax3700
2	3-VP 200Ax2538
4	1-VP 200Ax3300

加工管

Ld1	：1個
Ld3	：1個
T3	：1個
T4	：1個
T5	：1個
T6	：1個

支持金具

BR1	：24個
B1	：6個

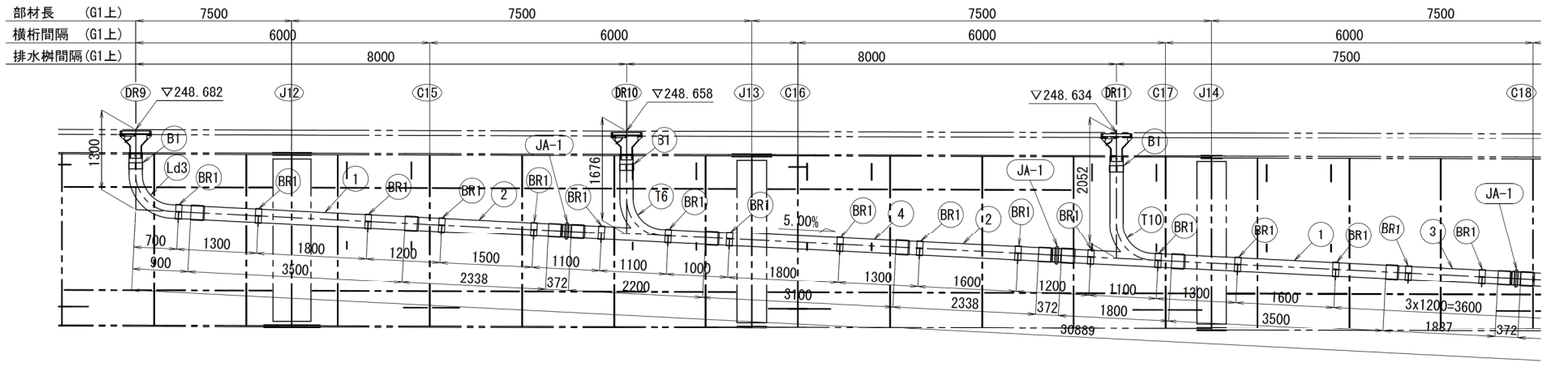
JA-1　：4個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

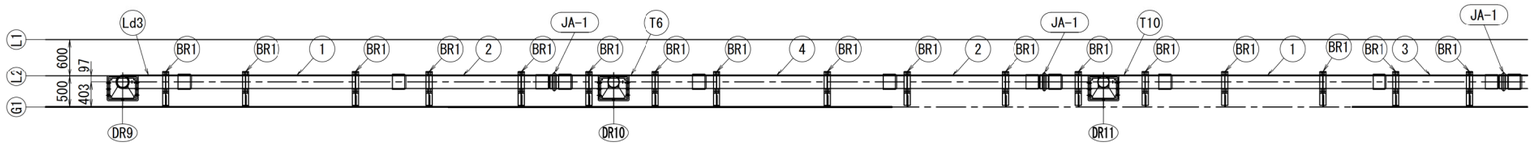
上部工排水装置(その4)　S=1:50

第3系統

側 面 図

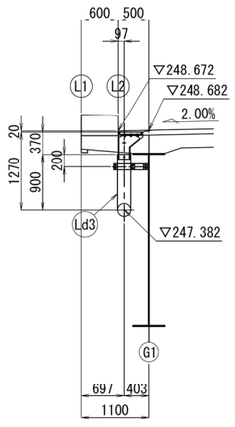


平 面 図

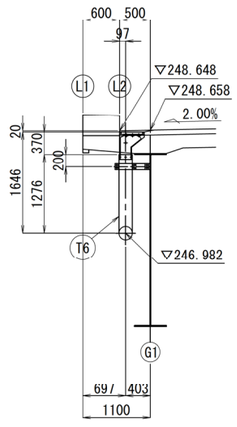


断 面 図

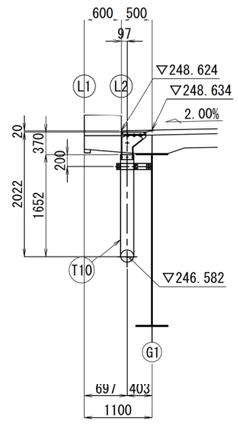
DR9



DR10



DR11



直管

1	2-VP 200Ax3700
2	2-VP 200Ax2538
3	1-VP 200Ax2037
4	1-VP 200Ax3300

加工管

Ld3	: 1個
T6	: 1個
T10	: 1個

支持金具

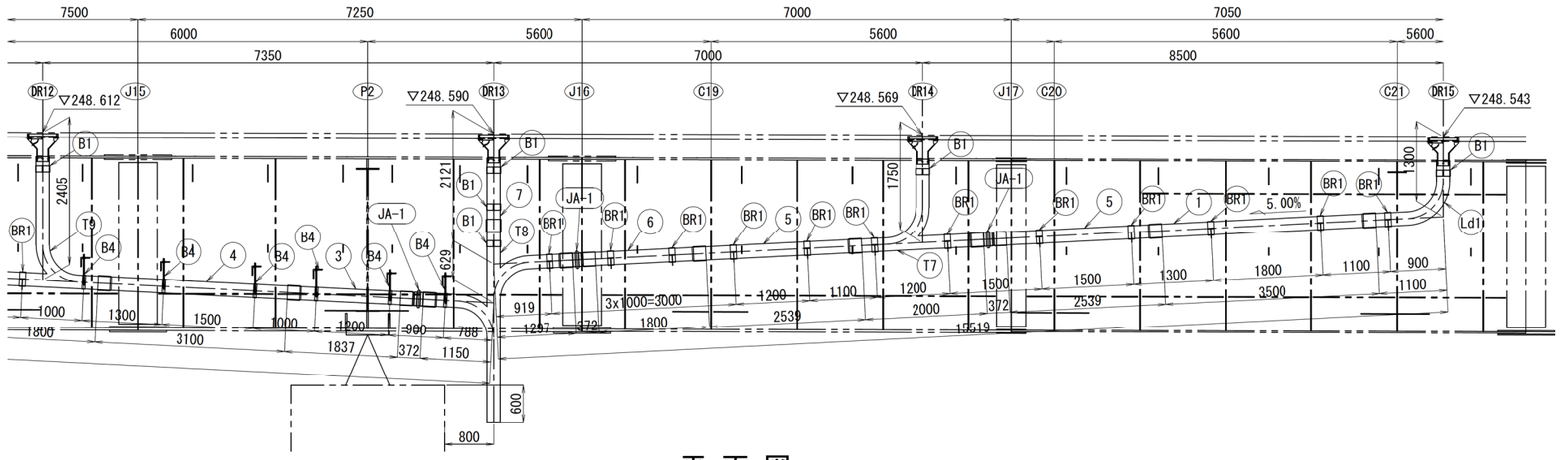
BR1	: 17個
B1	: 3個
JA-1	: 3個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

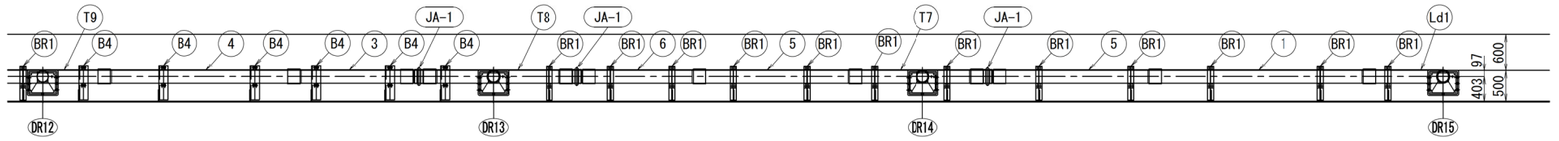
上部工排水装置(その5)　S=1:50

第3系統

側 面 図

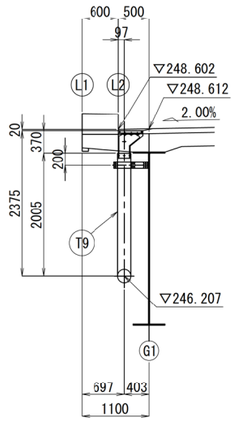


平 面 図

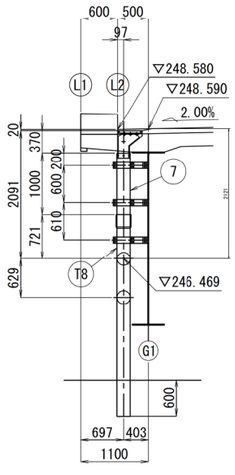


断 面 図

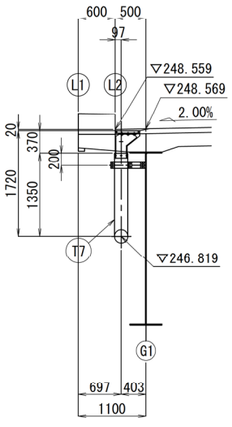
DR12



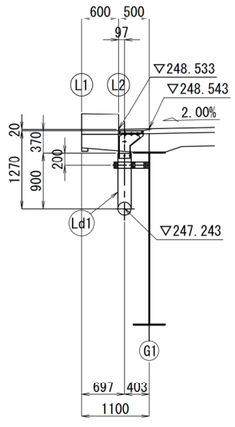
DR13



DR14



DR15



直管

1	1-VP 200Ax3700
3	1-VP 200Ax2037
4	1-VP 200Ax3300
5	2-VP 200Ax2739
6	1-VP 200Ax2000
7	1-VP 200Ax1200

加工管

Ld1	： 1個
T7	： 1個
T8	： 1個
T9	： 1個

支持金具

BR1	： 13個
B1	： 6個
B4	： 6個

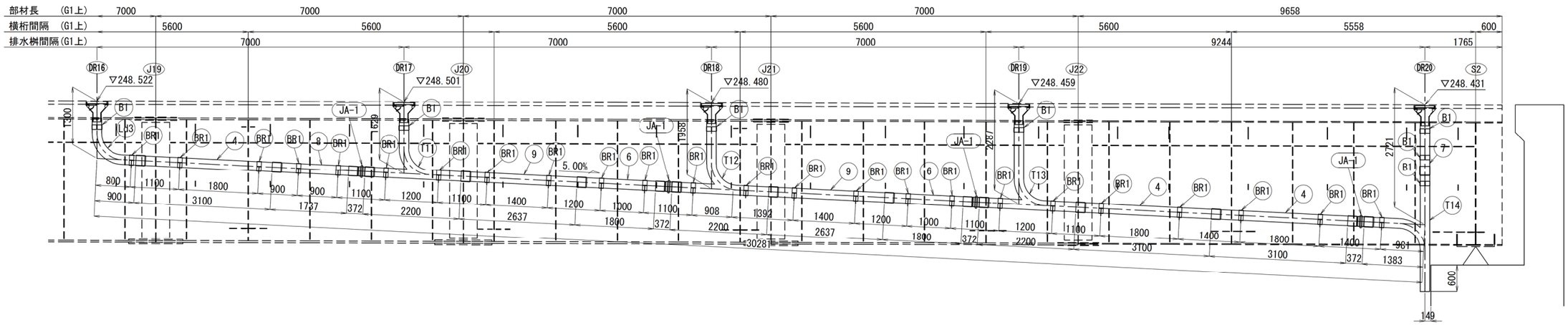
JA-1　： 3個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その5)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

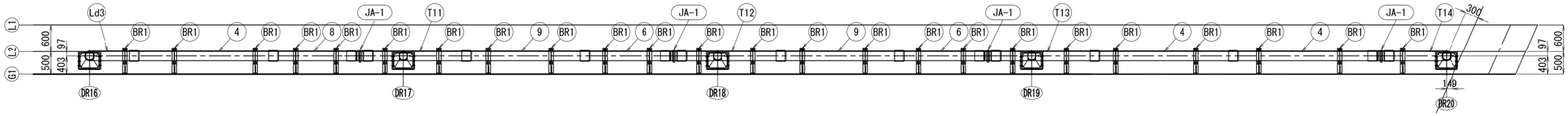
上部工排水装置(その6)　S=1:50

第4系統

側 面 図

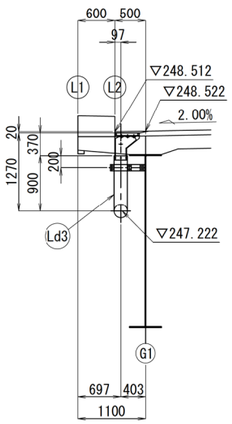


平 面 図

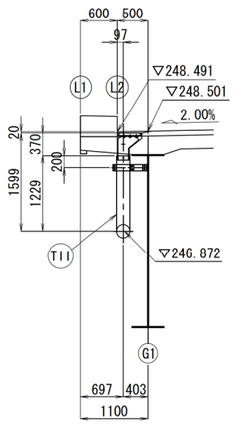


断 面 図

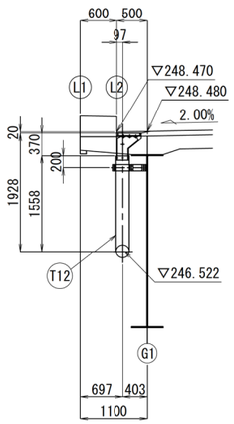
DR16



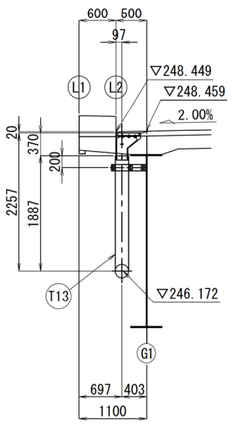
DR17



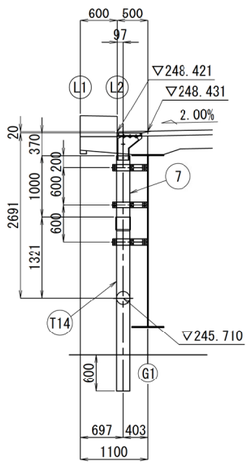
DR18



DR19



DR20



直管

4	3-VP 200Ax3300
6	2-VP 200Ax2000
7	1-VP 200Ax1200
8	1-VP 200Ax1937
9	2-VP 200Ax2837

支持金具

BR1	： 24個
B1	： 7個
JA-1	： 4個

加工管

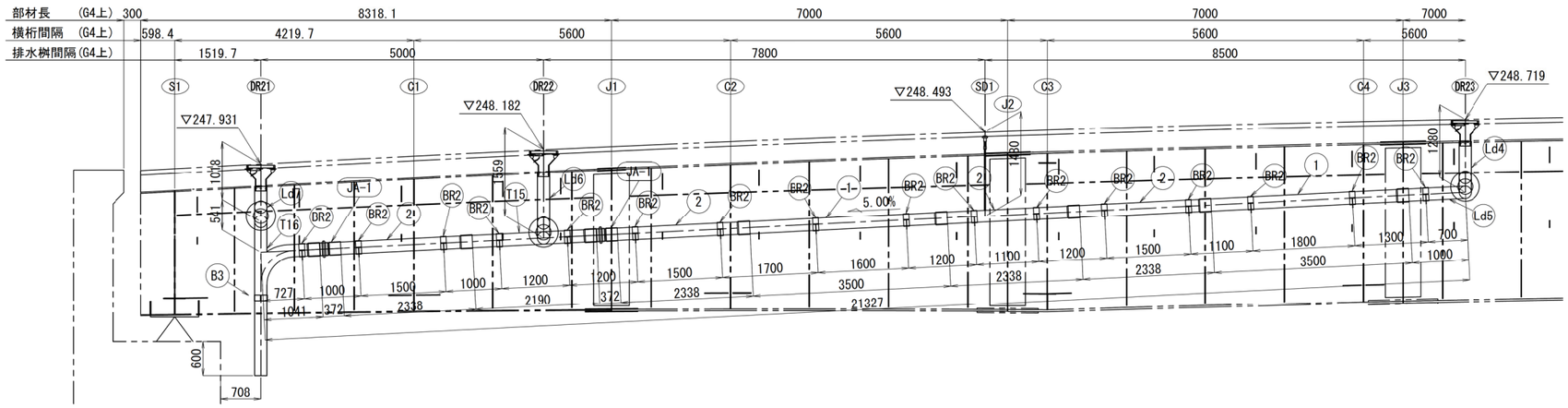
Ld3	： 1個
T11	： 1個
T12	： 1個
T13	： 1個
T14	： 1個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その6)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

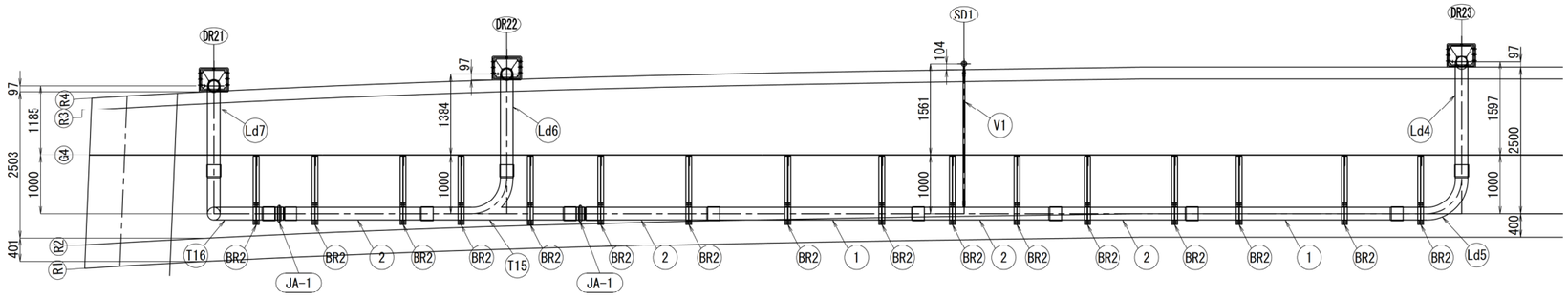
上部工排水装置(その7)　S=1:50

第5系統

側 面 図

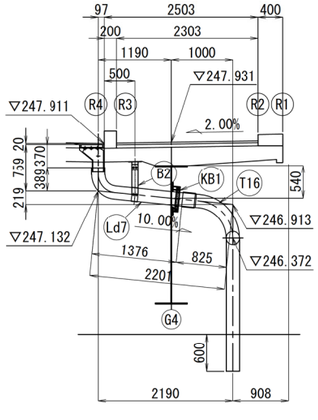


平 面 図

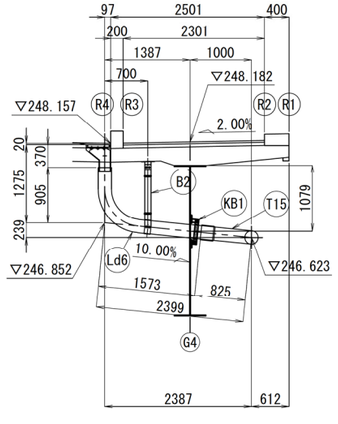


断 面 図

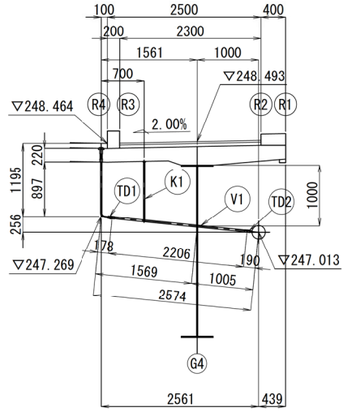
DR21



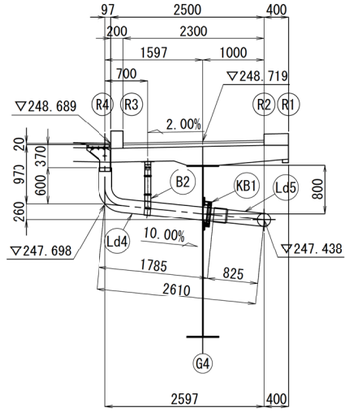
DR22



SD1



DR23



直管

1	2-VP 200Ax3700
2	4-VP 200Ax2538
V1	1-VP 25Ax2206

加工管

Ld4	: 1個
Ld5	: 1個
Ld6	: 1個
Ld7	: 1個
T15	: 1個
T16	: 1個

支持金具

BR2	: 16個
B2	: 3個
KB1	: 3個
B3	: 1個
K1	: 1個

JA-1　: 2個

接続部

TD1	: 1個
TD2	: 1個

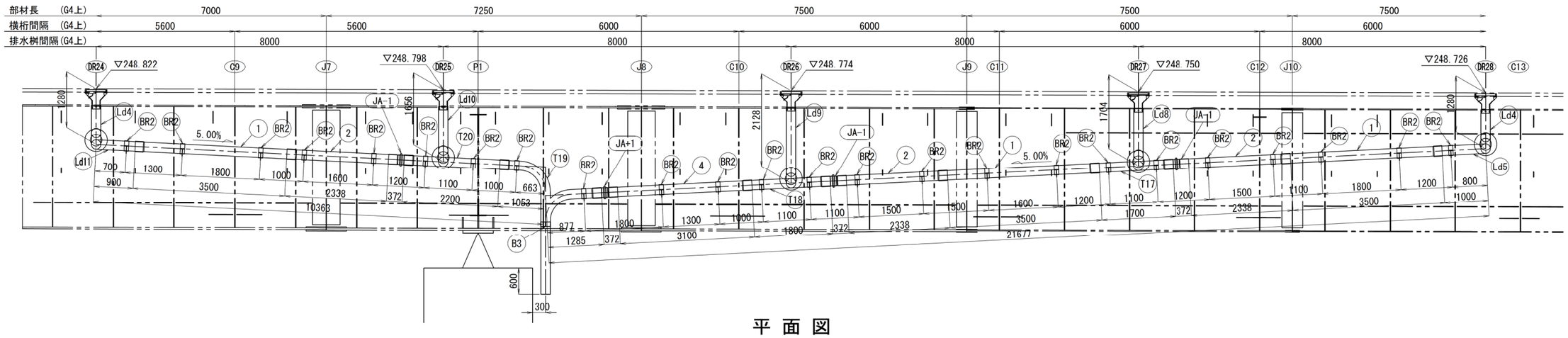
フレキシブルチューブ
φ20x1100

工事名			
図面名	上部工排水装置(その7)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

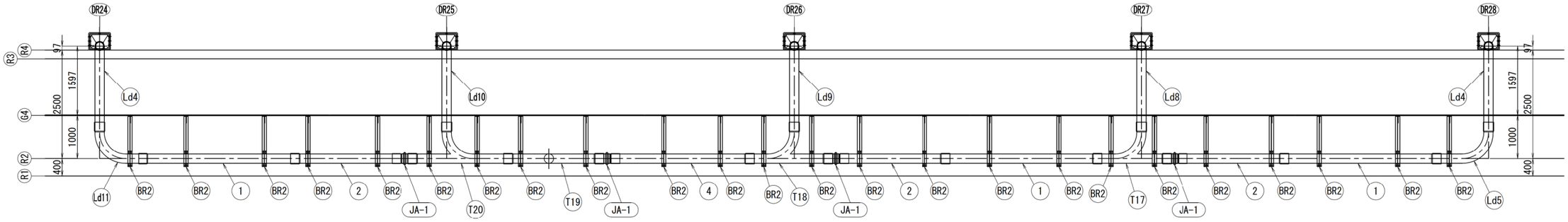
上部工排水装置(その8)　S=1:50

第6系統

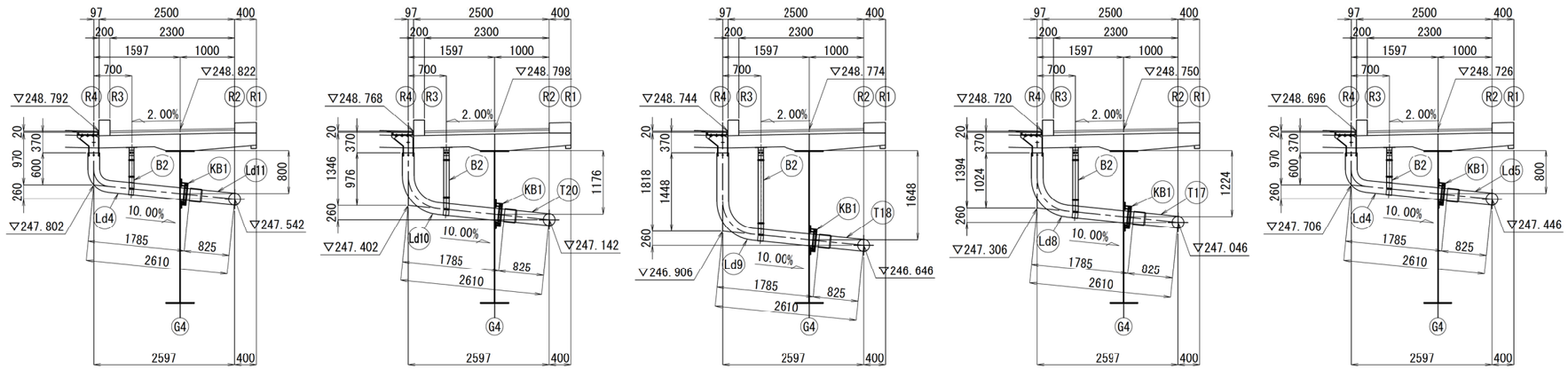
側 面 図



平 面 図



断 面 図



直管

1	3-VP 200Ax3700	
2	3-VP 200Ax2538	
4	1-VP 200Ax3300	

加工管

Ld4	: 2個	Ld11	: 1個
Ld5	: 1個	T17	: 1個
Ld8	: 1個	T18	: 1個
Ld9	: 1個	T19	: 1個
Ld10	: 1個	T20	: 1個

支持金具

BR2	:	24個
B2	:	5個
KB1	:	5個
B3	:	1個

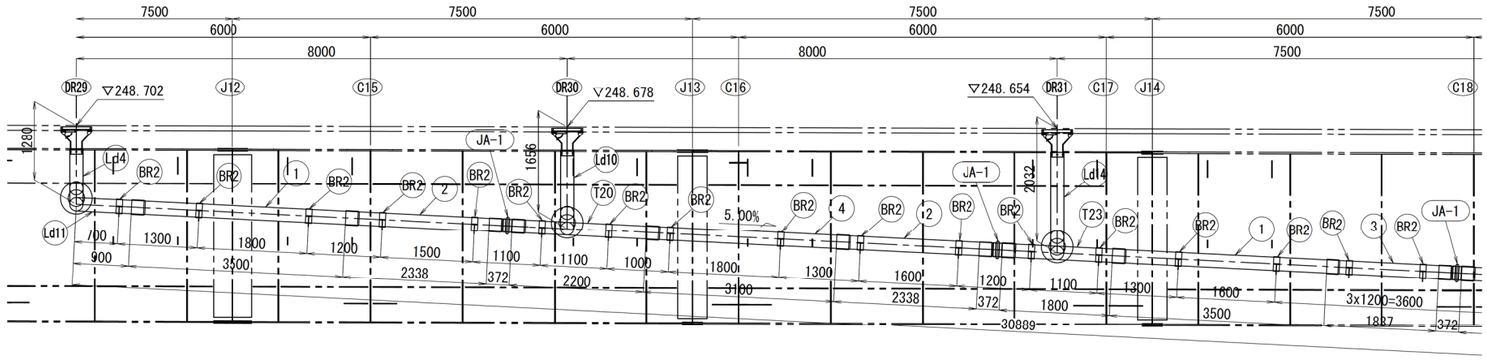
JA-1　: 4個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その8)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

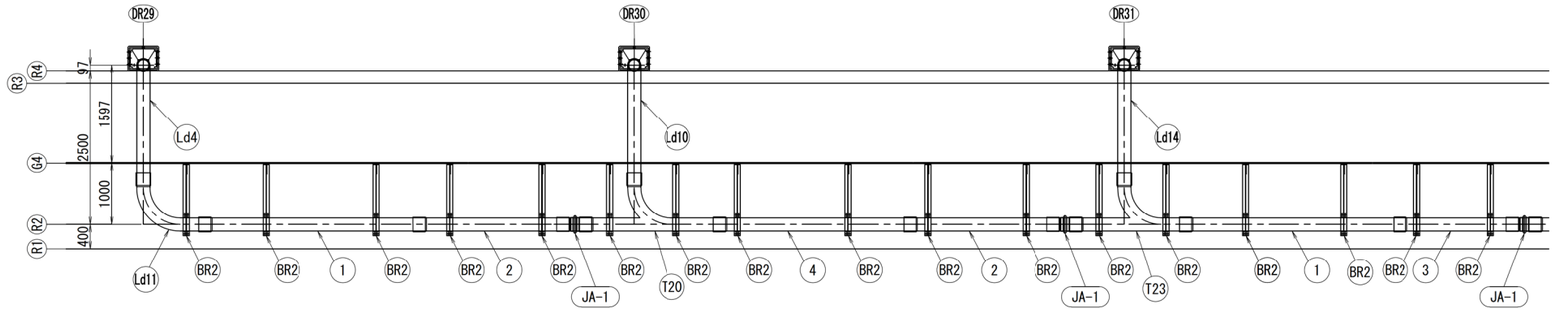
上部工排水装置(その9)　S=1:50

第7系統

側 面 図

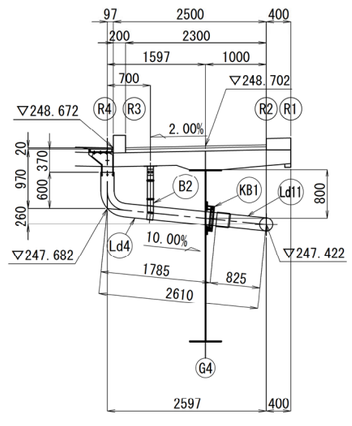


平 面 図

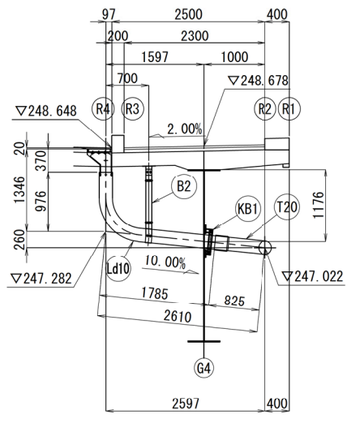


断 面 図

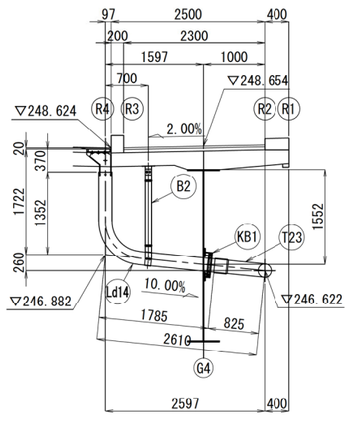
DR29



DR30



DR31



直管

1	2-VP 200Ax3700
2	2-VP 200Ax2538
3	1-VP 200Ax2037
4	1-VP 200Ax3300

加工管

Ld4	: 1個
Ld10	: 1個
Ld11	: 1個
Ld14	: 1個
T20	: 1個
T23	: 1個

支持金具

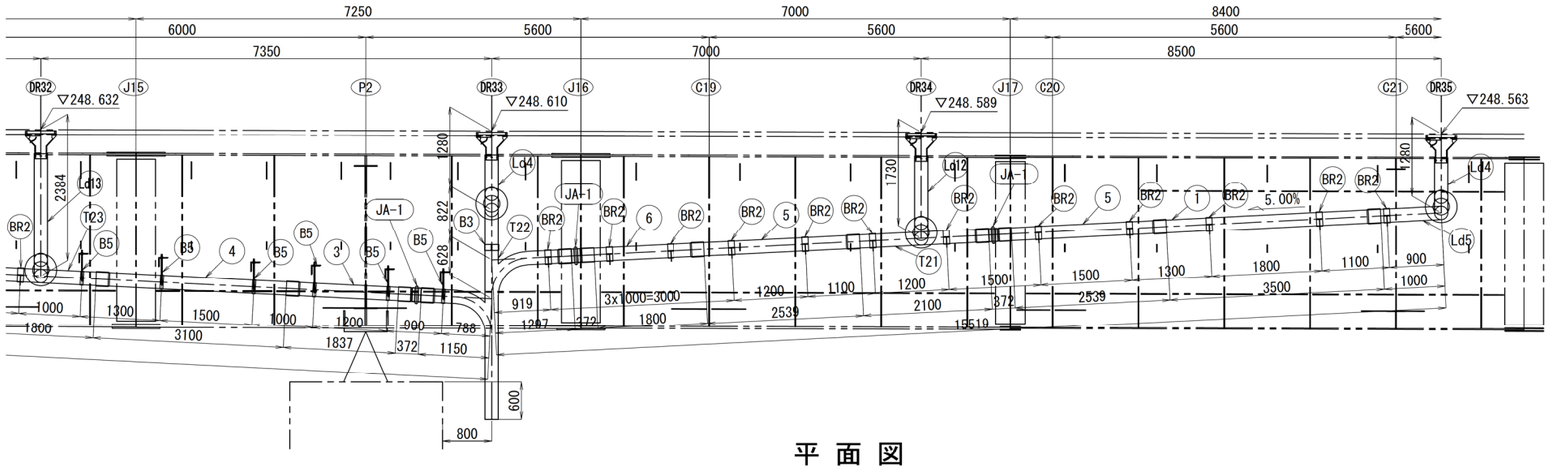
BR2	: 17個
B2	: 3個
KB1	: 3個
JA-1	: 3個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その9)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

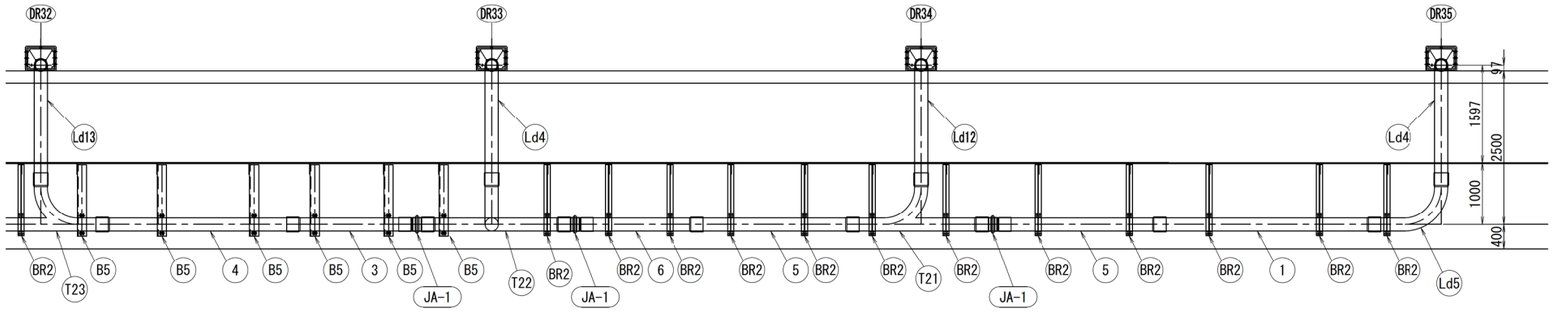
上部工排水装置(その10) S=1:50

第7系統

側 面 図

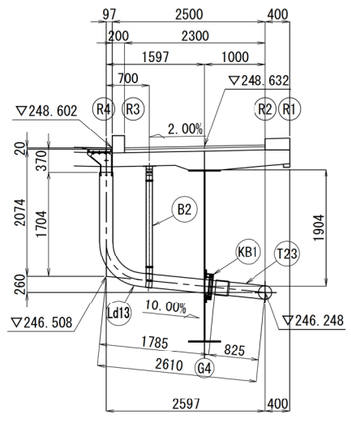


平 面 図

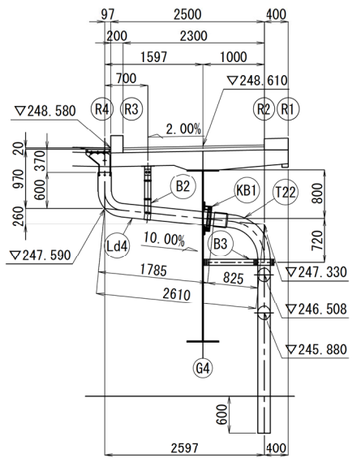


断 面 図

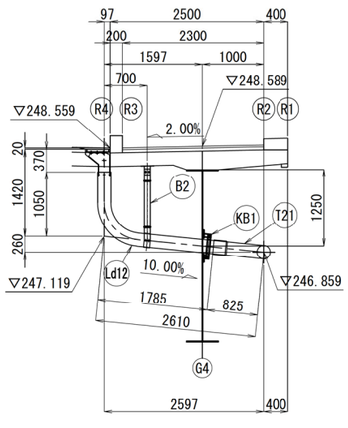
DR32



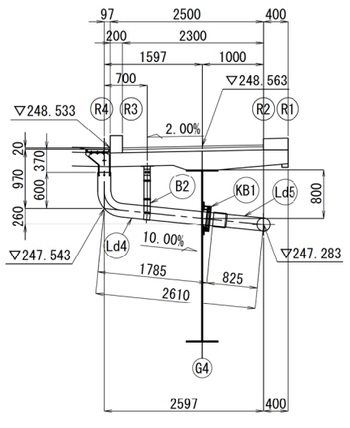
DR33



DR34



DR35



直管

1	1-VP 200Ax3700
3	1-VP 200Ax2037
4	1-VP 200Ax3300
5	2-VP 200Ax2739
6	1-VP 200Ax2000

加工管

Ld4	: 2個	T21	: 1個
Ld5	: 1個	T22	: 1個
Ld12	: 1個	T23	: 1個
Ld13	: 1個		

支持金具

BR2	: 13個
B2	: 4個
KB1	: 4個
B3	: 1個
B5	: 6個

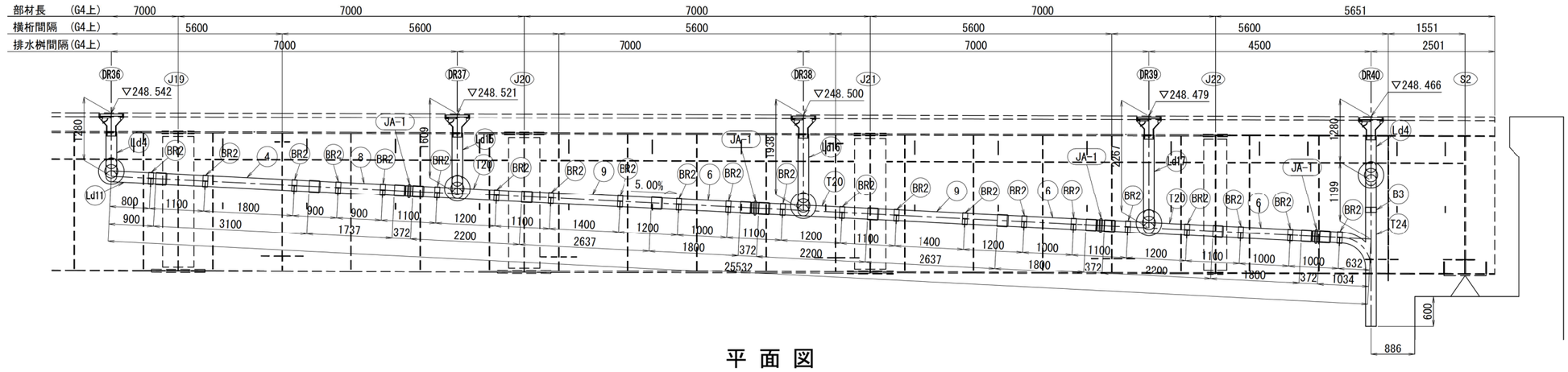
JA-1 : 3個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その10)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

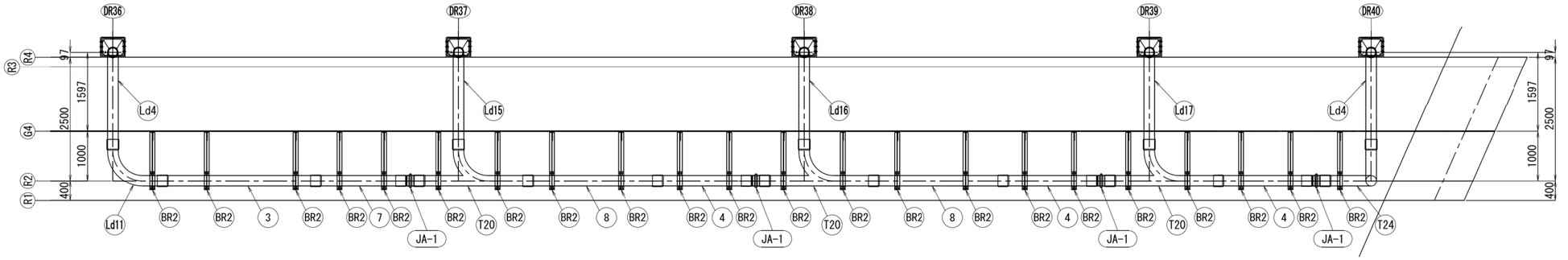
上部工排水装置(その11) S=1:50

第8系統

側 面 図

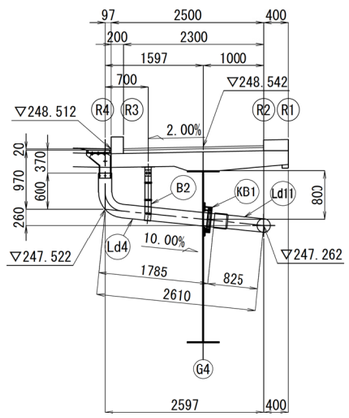


平 面 図

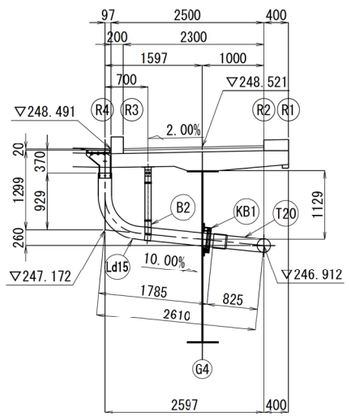


断 面 図

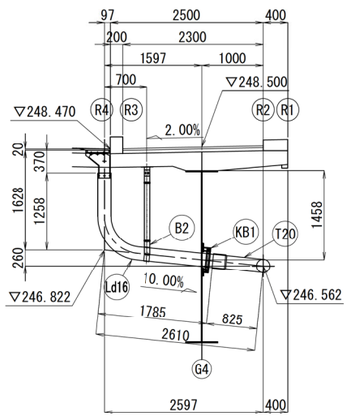
DR36



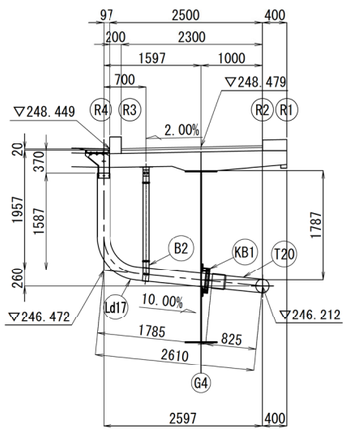
DR37



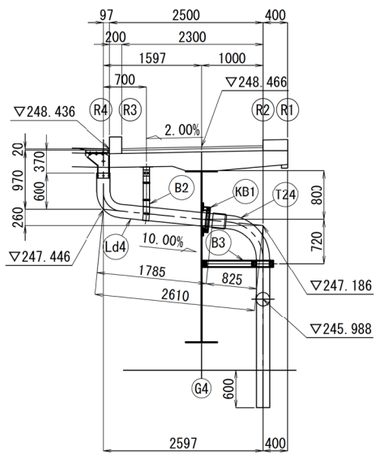
DR38



DR39



DR40



直管

4	1-VP 200Ax3300
6	3-VP 200Ax2000
8	1-VP 200Ax1937
9	2-VP 200Ax2837

支持金具

BR2	:	22個
B2	:	5個
B3	:	1個
KB1	:	5個

JA-1 : 4個

加工管

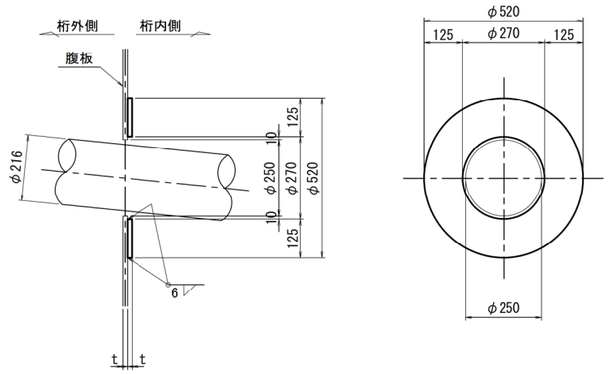
Ld4	:	2個
Ld11	:	1個
Ld15	:	1個
Ld16	:	1個
Ld17	:	1個
T20	:	3個
T24	:	1個

工事名			
図面名	上部工排水装置(その11)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

上部工排水装置(その12) S=1:20

主桁腹板補強板詳細

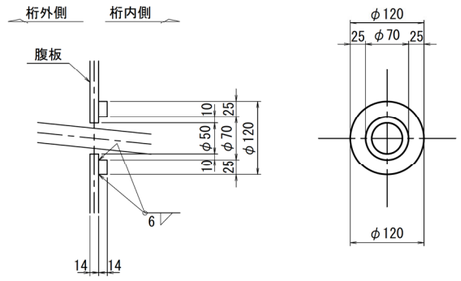
DR21～DR40 S=1:10



※ 1-PL φ520xt(SMA490AW)

	t		t		t		t
DR21	14	DR26	15	DR31	14	DR36	14
DR22	14	DR27	14	DR32	15	DR37	14
DR23	14	DR28	14	DR33	16	DR38	14
DR24	15	DR29	14	DR34	15	DR39	14
DR25	16	DR30	14	DR35	14	DR40	14

SD1 S=1:5

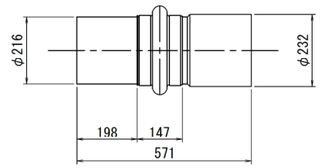


※ 1-PL φ120x14(SMA490AW)

伸縮管詳細図 S=1:10

JA-1

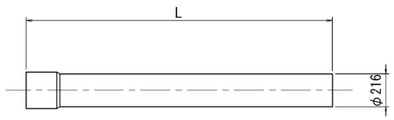
製作数：32



直管詳細

①～⑥,⑧,⑨

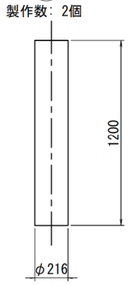
製作数: n個



	L	n
1	3700	16
2	2538	16
3	2037	5
4	3300	10
5	2739	4
6	2000	7
8	1937	2
9	2837	4

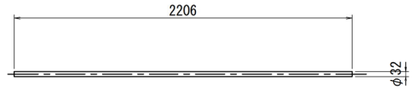
⑦

製作数: 2個



V1

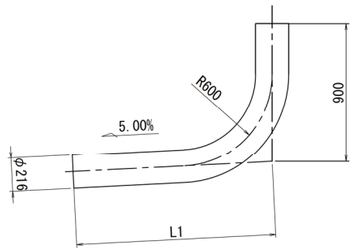
製作数: 1個



加工管詳細

Ld1,Ld3

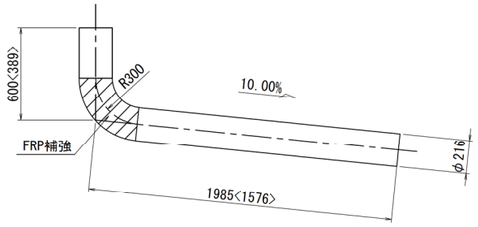
製作数: n個



	L1	n
Ld1	1300	3
Ld3	1100	3

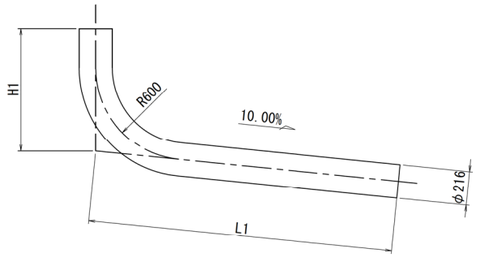
Ld4,<Ld7>

製作数: 8<1>個



Ld6,Ld8～Ld10,Ld12～Ld17

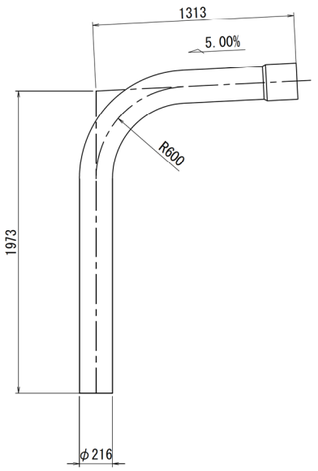
製作数: n個



	H1	L1	n
Ld6	905	1770	1
Ld8	1024	1985	1
Ld9	1448	1985	1
Ld10	976	1985	2
Ld12	1050	1985	1
Ld13	1704	1985	1
Ld14	1352	1985	1
Ld15	929	1985	1
Ld16	1258	1985	1
Ld17	1587	1985	1

Ld2

製作数．1個



注 記

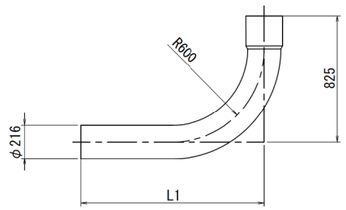
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. ※印付き部材は、本体付き部材を示す。
3. ※印部材以外は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、鋼材については、
   板厚3.2mm以上5mm以下の部材HDZ45
   板厚3.2mm未満の部材及びボルト・ナット類は
   HDZ35とする。

工事名	
図面名	上部工排水装置(その12)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工排水装置(その13) S=1:20

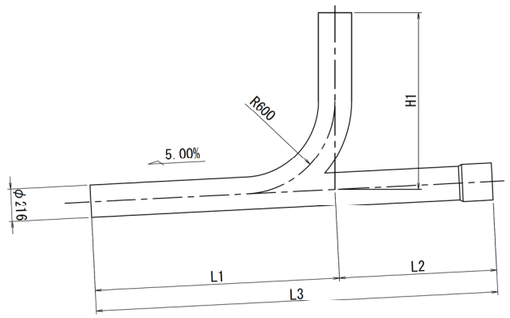
加工管詳細

Ld5, Ld11
製作数: n個



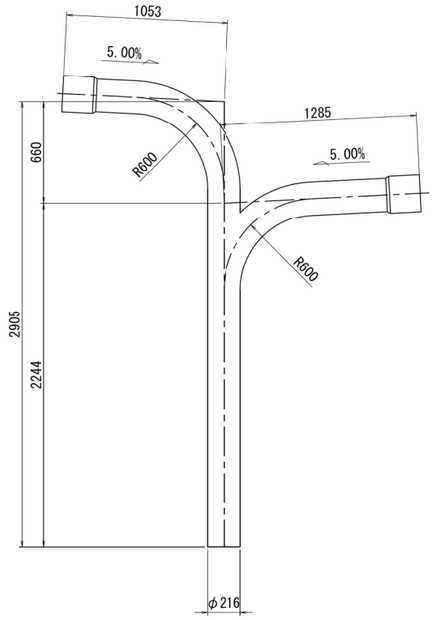
	L1	n
Ld5	1200	3
Ld11	1100	3

T1, T3, T4, T7
製作数: n個

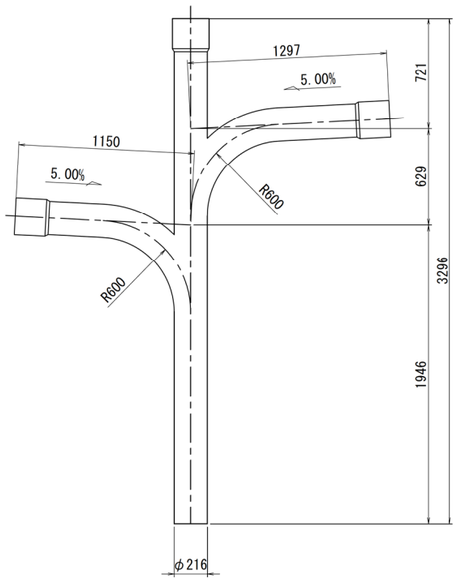


	H1	L1	L2	L3	n
T1	1152	1596	1030	2626	1
T3	1324	1100	700	1800	1
T4	1748	1100	900	2000	1
T7	1350	1200	1000	2200	1

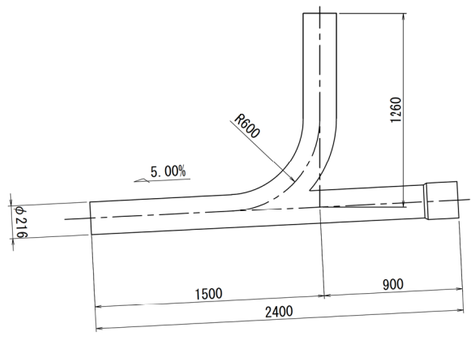
T5
製作数: 1個

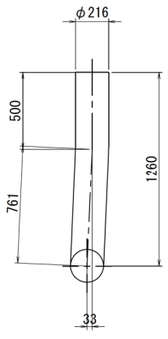


T8
製作数: 1個

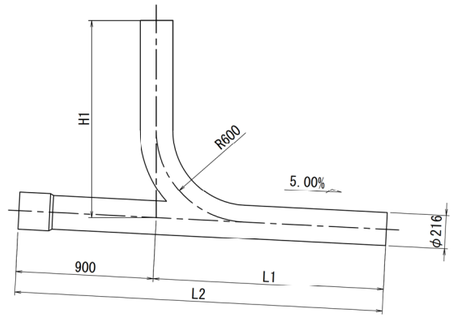


T2
製作数: 1個



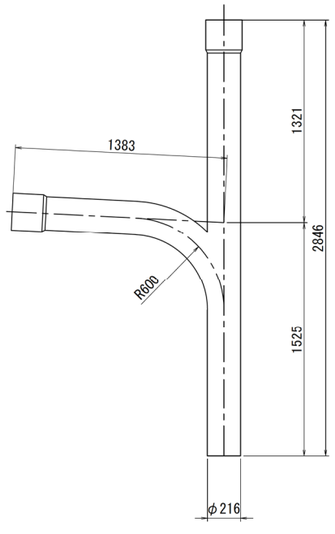


T6, T9～T13
製作数: n個



	H1	L1	L2	n
T6	1276	1500	2400	2
T9	2005	1100	2000	1
T10	1652	1500	2400	1
T11	1229	1500	2400	1
T12	1558	1500	2400	1
T13	1887	1500	2400	1

T14
製作数: 1個

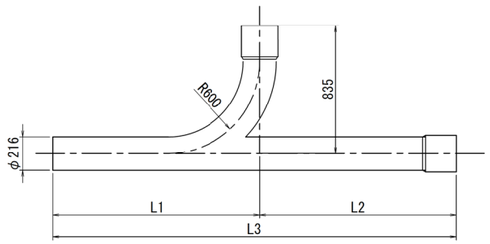


工事名	
図面名	上部工排水装置(その13)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工排水装置(その14) S=1:20

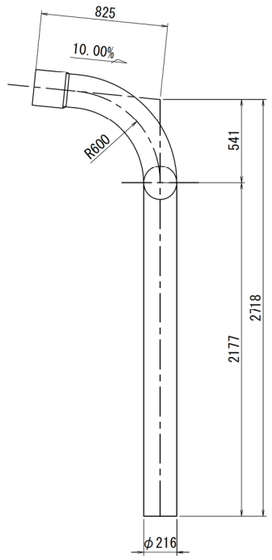
加工管詳細

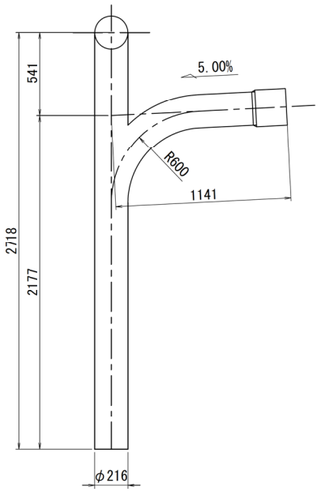
T15
製作数：n



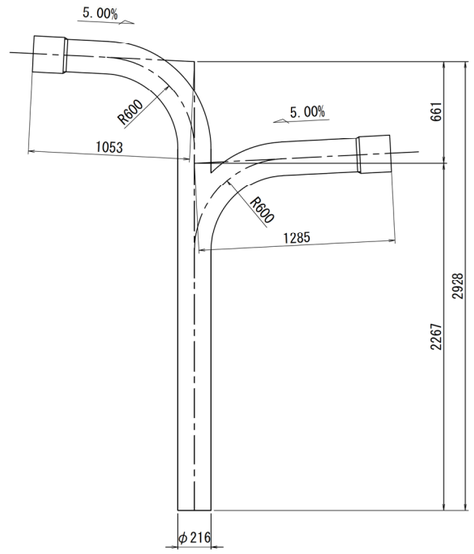
	L1	L2	L3	n
T15	1455	935	2390	1
T17	1100	800	1900	1
T18	1100	900	2000	1
T21	1200	1100	2300	1

T16
製作数：1

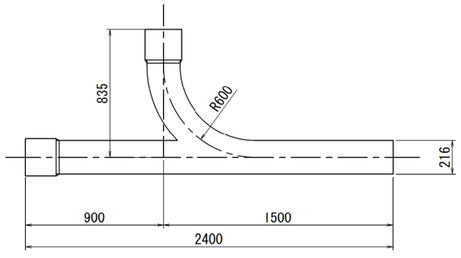




T19
製作数：1

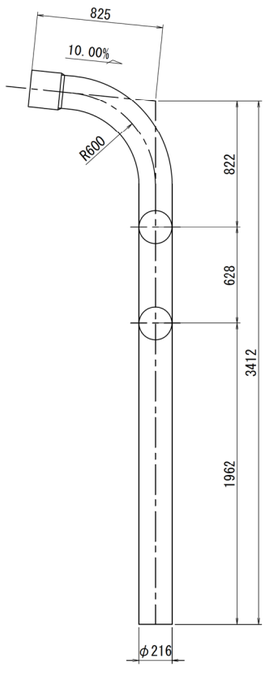


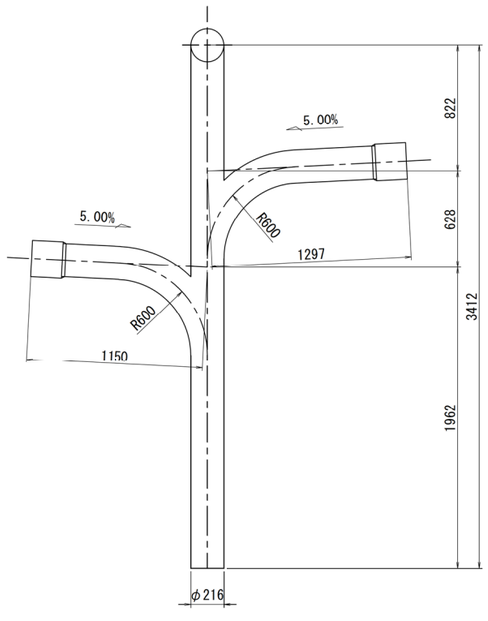
T20
製作数：n



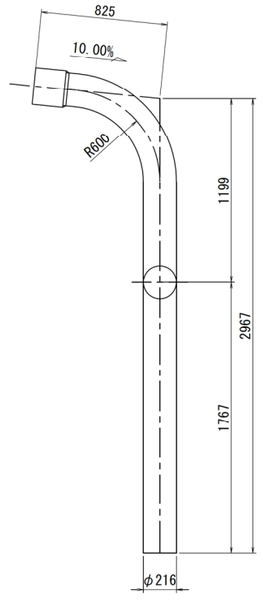
	L1	L2	L3	n
T20	900	1500	2400	5
T23	900	1100	2000	2

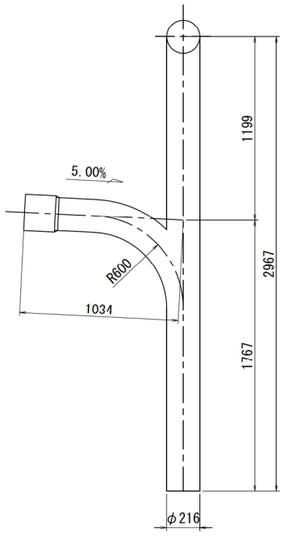
T22
製作数：1





T24
製作数：1





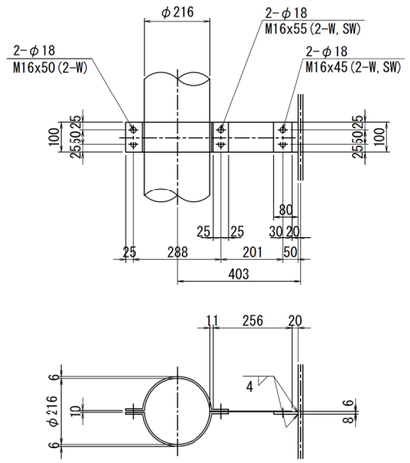
工事名	
図面名	上部工排水装置(その14)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工排水装置(その15) S=1:10

排水金具詳細図

B1

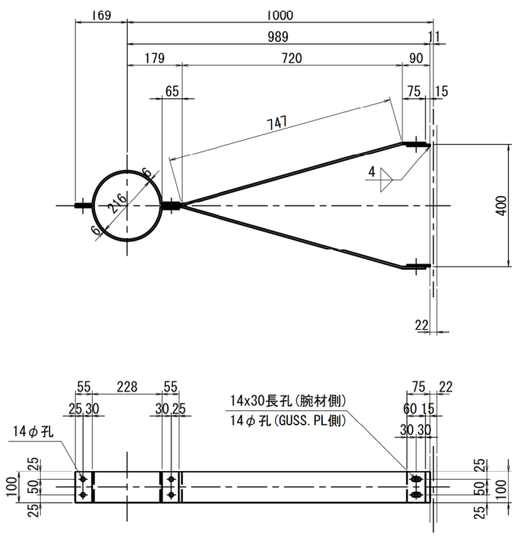
製作数:26



2-PL 100x6x453
1-PL 100x6x256
※ 1-PL 100x8x80(SMA400AW)
2-BN M16x50(2-W)
2-BN M16x55(2-W,SW)
2-BN M16x45(2-W,SW)

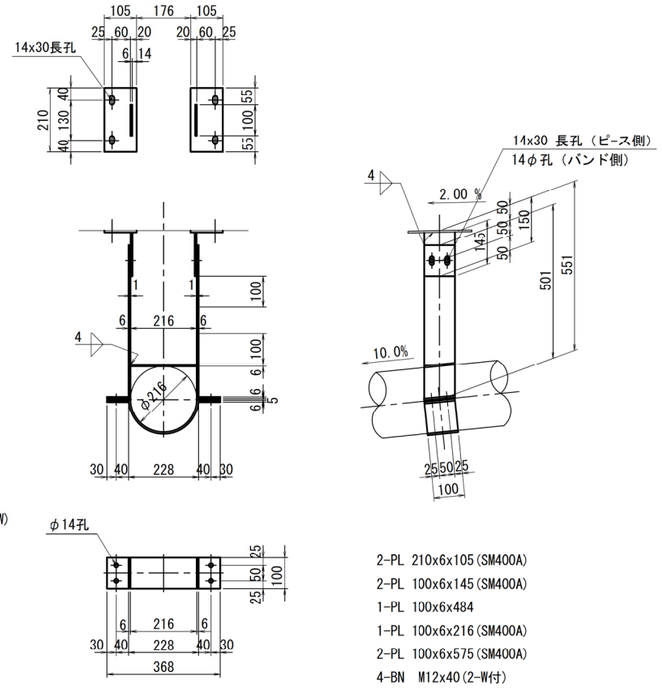
B3

製作数:4



※ 2-PL 100x6x75(SMA400AW)
2-PL 100x6x887
2-FB 100x6x453
6-BN M12x35(2-W付)
2-BN M12x45(2-W付)

DR21

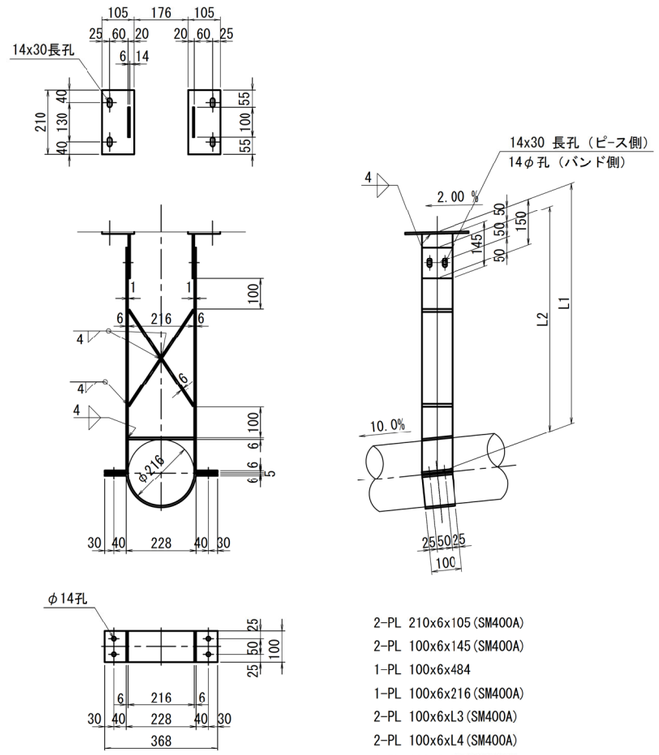


2-PL 210x6x105(SM400A)
2-PL 100x6x145(SM400A)
1-PL 100x6x484
1-PL 100x6x216(SM400A)
2-PL 100x6x575(SM400A)
4-BN M12x40(2-W付)
4-BN M12x35(2-W付)
4-ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰ M12x100

B2

DR22～DR40

製作数:各1

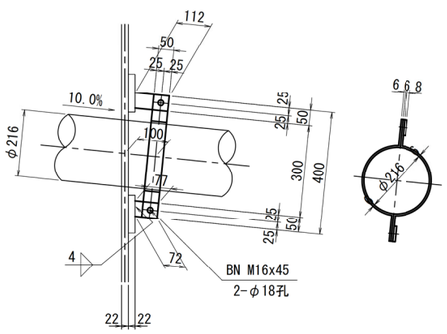


2-PL 210x6x105(SM400A)
2-PL 100x6x145(SM400A)
1-PL 100x6x484
1-PL 100x6x216(SM400A)
2-PL 100x6xL3(SM400A)
2-PL 100x6xL4(SM400A)
1-PL 100x6xL5(SM400A)
4-BN M12x40(2-W付)
4-BN M12x35(2-W付)
4-ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰ M12x100

	L1	L2	L3	L4	L5
DR22	1077	1027	1101	412	829
DR23	772	722	795	227	460
DR24	772	722	795	227	460
DR25	1148	1098	1172	454	914
DR26	1620	1570	1644	739	1483
DR27	1196	1146	1220	483	972
DR28	772	722	795	227	460
DR29	772	722	795	227	460
DR30	1148	1098	1172	454	914
DR31	1524	1474	1548	681	1367
DR32	1876	1826	1900	893	1792
DR33	772	722	795	227	460
DR34	1222	1172	1246	498	1003
DR35	772	722	795	227	460
DR36	772	722	795	227	460
DR37	1101	1051	1125	426	857
DR38	1430	1380	1454	624	1254
DR39	1759	1709	1783	822	1651
DR40	772	722	795	227	460

KB1

製作数:20



※ 1-PL 50x8x112(SMA400AW)
※ 1-PL 50x8x77(SMA400AW)
2-FB 50x6x521
2-BN M16x45(2-W付)

注 記

1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. ※印付き部材は、本体付き部材を示す。
3. ※印部材以外は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
   亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
   但し、鋼材については、
   板厚3.2mm以上5mm以下の部材HDZ45
   板厚3.2mm未満の部材及びボルト・ナット類は
   HDZ35とする。

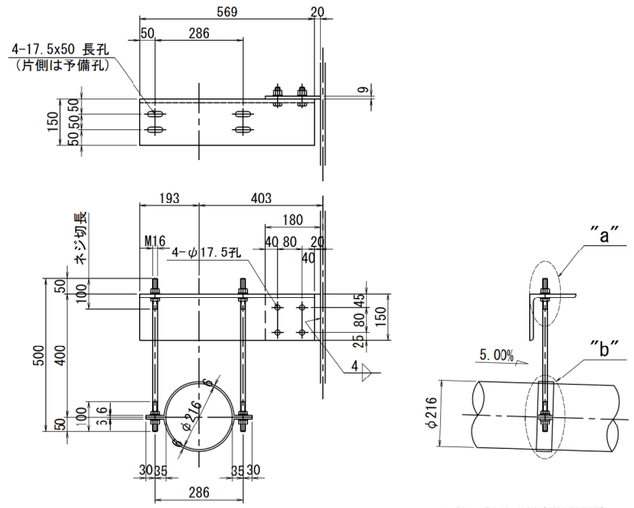
工事名	
図面名	上部工排水装置(その15)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工排水装置(その16) S=1:10

排水金具詳細図

B4

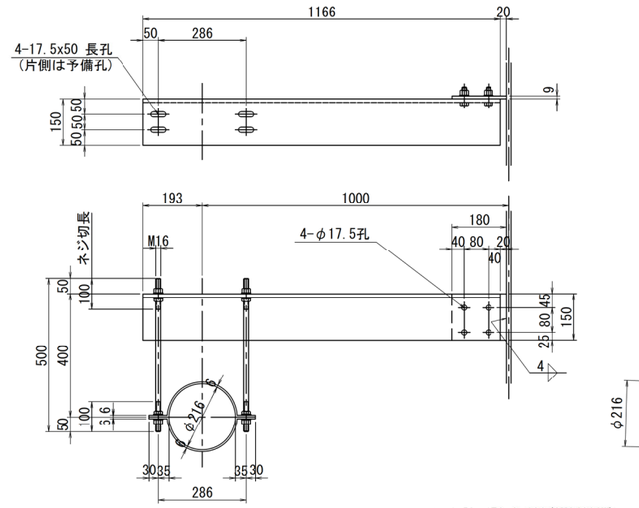
製作数: 6



※ 1-PL 150x9x180(SMA400AW)
1-L 150x150x12x569
2-PL 50x6x467
4-BN M16x45(1-W付)
2-RB φ16x500
4-NUT M16
4-NUT M16(3種)
8-WASHER M16

B5

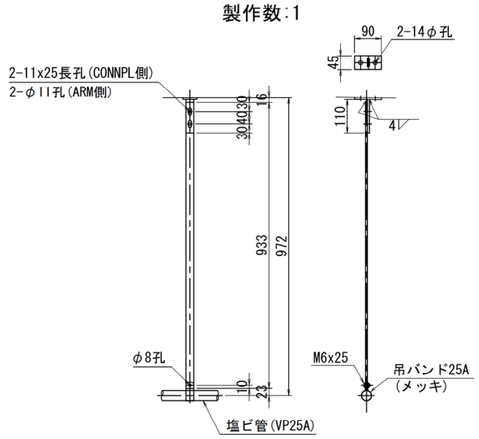
製作数: 6



※ 1-PL 150x9x180(SMA400AW)
1-L 150x150x12x1166
2-PL 50x6x467
4-BN M16x45(1-W付)
2-RB φ16x500
4-NUT M16
4-NUT M16(3種)
8-WASHER M16

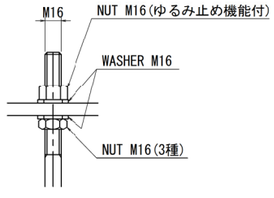
K1

製作数:1

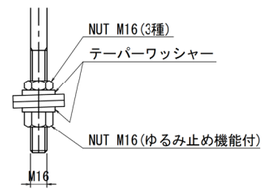


1組当り
1-PL 45x6x90(SM400A)
1-PL 25x6x110(SM400A)
1-PL 25x6x933
2-BN M8x25(1-W付)
1ー吊バンド25A(A10157同等品)(メッキ)(M6x25付き)
2-BOLT M12x65(1-W,1-SW付)
2-ｺﾝｸﾘｰﾄｱﾝｶｰ M12x100

"a"部詳細 S=1:3

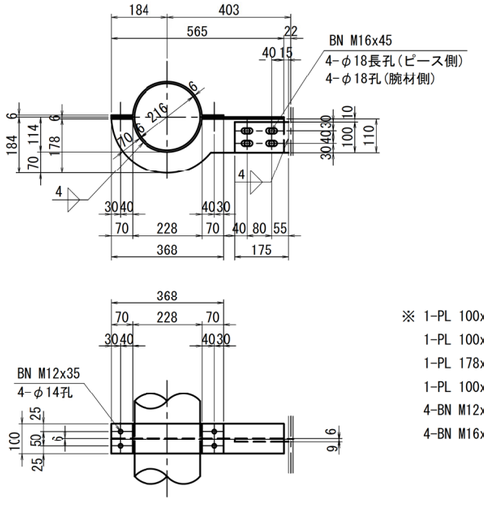


"b"部詳細 S=1:3



BR1

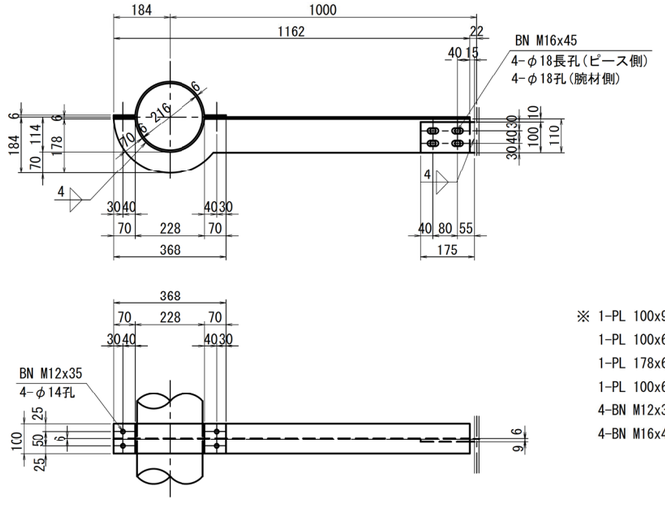
製作数:94



※ 1-PL 100x9x175(SMA400AW)
1-PL 100x6x686(SM400A)
1-PL 178x6x565(SM400A)
1-PL 100x6x489
4-BN M12x35(2-W付)
4-BN M16x45(2-W付)

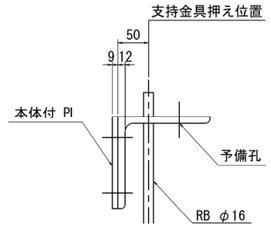
BR2

製作数:92



※ 1-PL 100x9x175(SMA400AW)
1-PL 100x6x1283(SM400A)
1-PL 178x6x1162(SM400A)
1-PL 100x6x489
4-BN M12x35(2-W付)
4-BN M16x45(2-W付)

支持金具押え要領 S=1:5



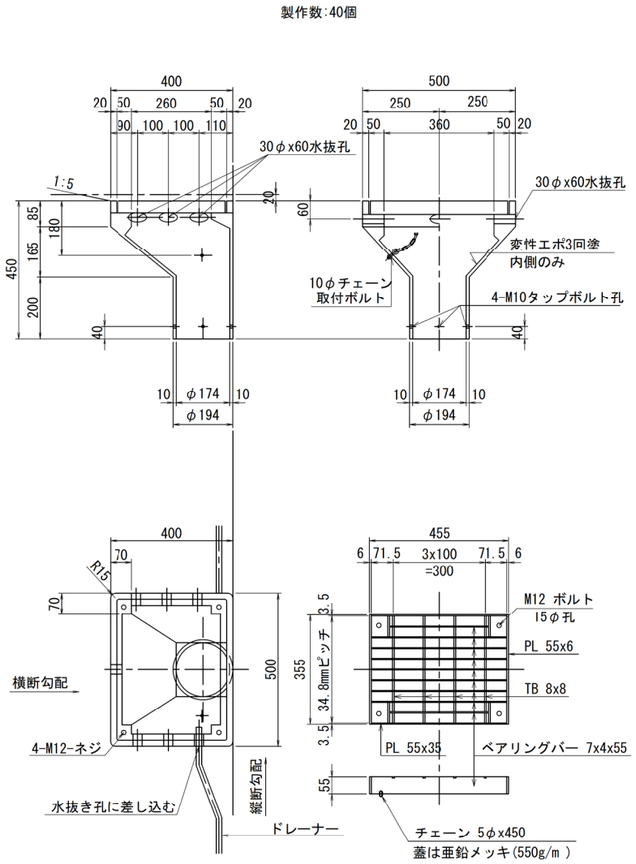
注 記
1. 特記なき材質は、全て SS400 とする。
2. ※印付き部材は、本体付き部材を示す。
3. ※印部材以外は、溶融亜鉛メッキ仕上げとする。
亜鉛の付着量はJIS H 8641 HDZ55とする。
但し、鋼材については、
板厚3.2mm以上5mm以下の部材HDZ45
板厚3.2mm未満の部材及びボルト・ナット類は
HDZ35とする。

工事名			
図面名	上部工排水装置(その16)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

上部工排水装置(その17)　S=1:10

排水桝詳細

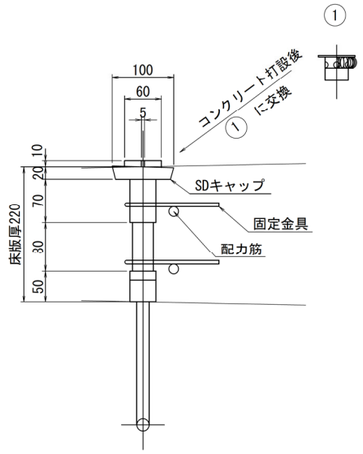
製作数:40個



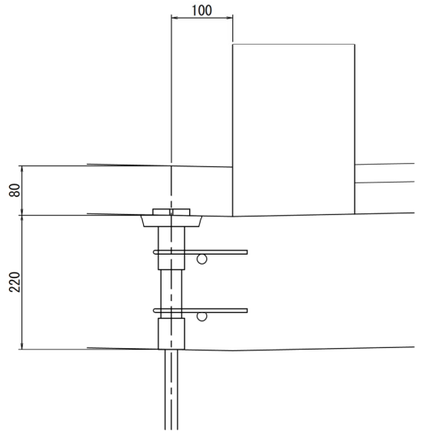
1箇所当り

符　号	品　　名	材　質	数　量	重 量(Kg)	備　　考
1	本　　体	FC250	1	66.2	塗装面積:0.7m2
2	グレーチング	SS400	1	13.7	亜鉛メッキ
3	M12 ボルト	SS400	4	0.1	亜鉛メッキ
4	チェーン	SS400	1	0.1	亜鉛メッキ
5	φ10 ﾁｪｰﾝ取付ボルト	SS400	1	0.1	亜鉛メッキ
6	M10 タップボルト	SS400	4	0.096	亜鉛メッキ
1 組 分 合 計				80.3 kg	

スラブドレーン詳細図　S=1:5



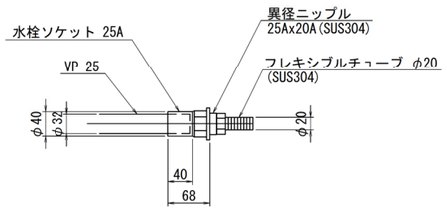
スラブドレーン詳細図　S=1:5



橋面排水管接続部詳細図　S=1:5

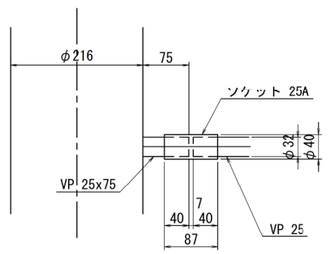
TD1

製作数:1



TD2

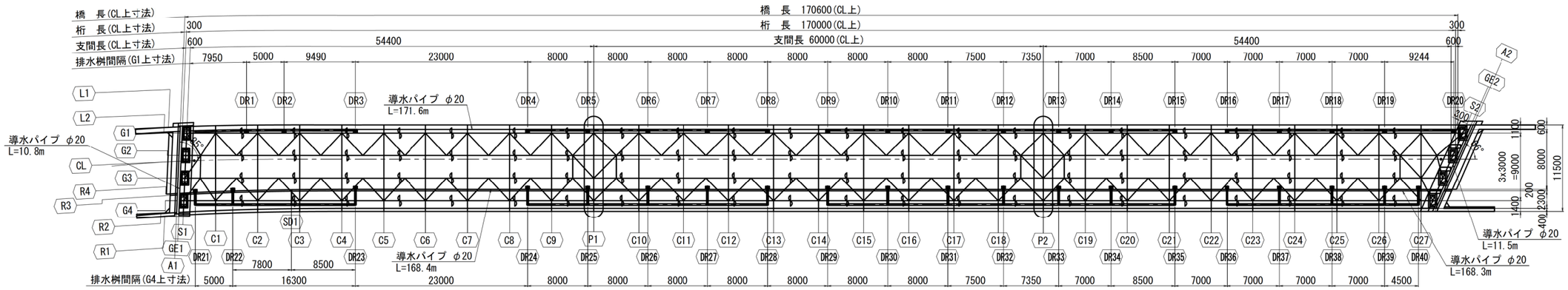
製作数:1



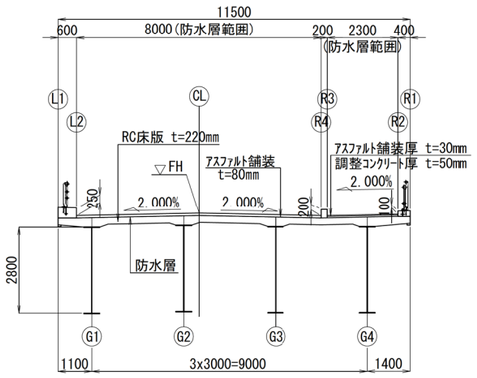
工事名	
図面名	上部工排水装置(その17)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

橋面排水 S=1:300

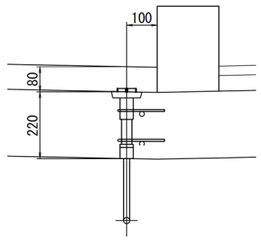
平 面 図



断 面 図 S=1:100

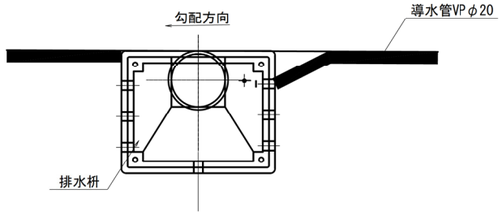


床版排水孔詳細 S=1:10



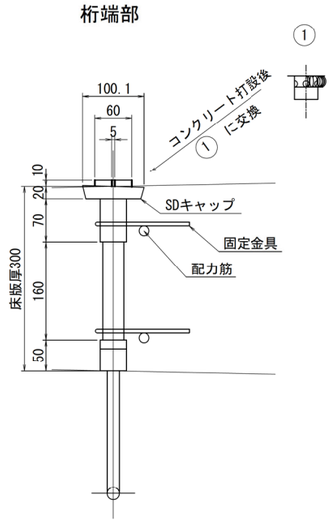
導水管接続部詳細 S=1:10

排水桝に接続部



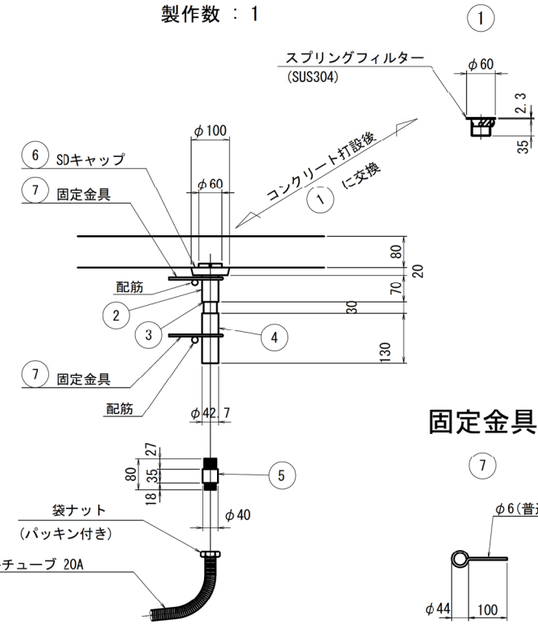
スラブドレーン詳細図 S=1:5

桁端部



床版水抜きパイプ詳細 S=1:8

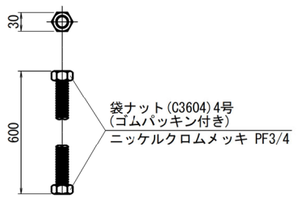
製作数 : 1



固定金具

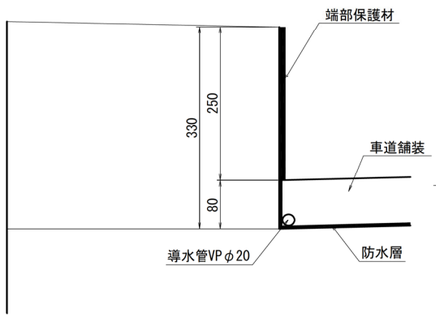
フレキシブルチューブ管詳細 S=1:5

製作数 : 1

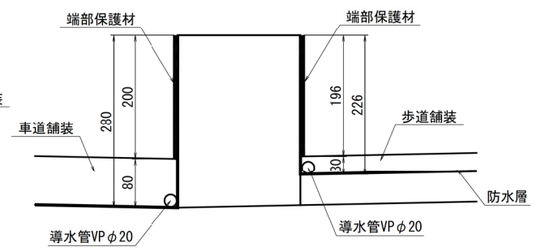


防水層端部詳細図 S=1:5

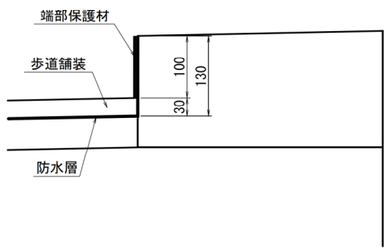
左側地覆部



歩車道境界部



右側地覆部



スラブドレーン材料

	部品名	寸 法	数量	備 考
①	本体構成部品	φ34.0x35	1個	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)キャップ付(2.3txφ60)
②	本体構成部品	φ42.7x70	1個	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
③	本体構成部品	φ34.0	1個	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
④	本体構成部品	φ42.7x130	1個	鋼管(亜鉛メッキ仕上げ)
⑤	本体構成部品	φ40.0x80	2個	合成樹脂製 排水側のパイプにも取付ける。
⑥	SDキャップ	φ100x45	1個	合成樹脂製
⑦	固定金具	φ6(φ44リング状)	2個	普通鉄線

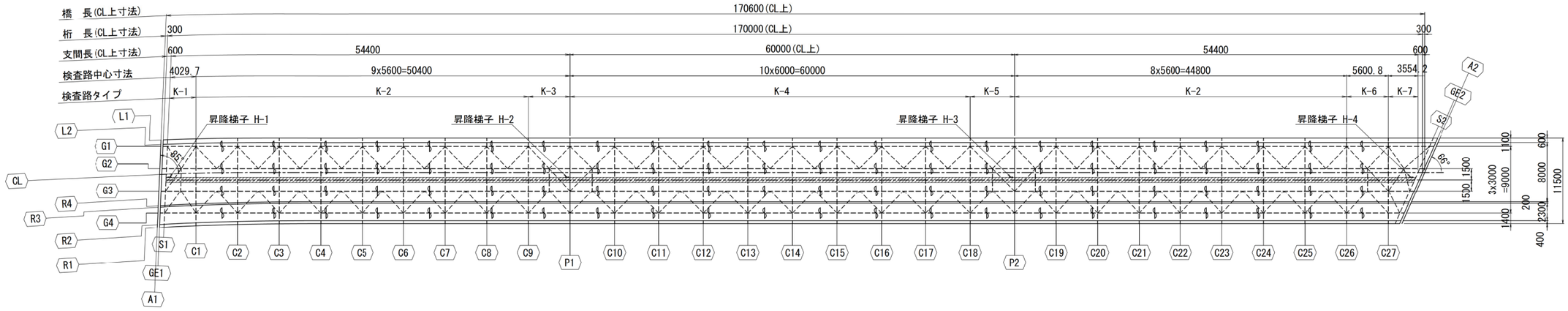
橋面排水総括表

名 称	単位	数量	適 用
スラブドレーン	個	1	
スパイラルパイプ	m	530.6	スプリングメッシュ φ20
端部保護材延長	m	680.0	シルバーメッシュ同等品
舗装面積	m²	1751.0	t=80mm
防水層面積	m²	1915.2	
フレキシブルチューブ	個	1	φ20x1100

工事名			
図面名	橋面排水		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

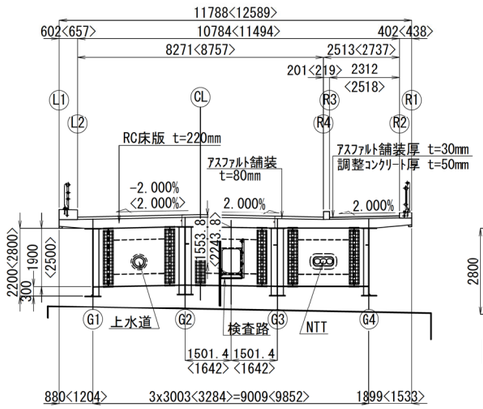
上部工検査路(その1) S=1:300

平 面 図

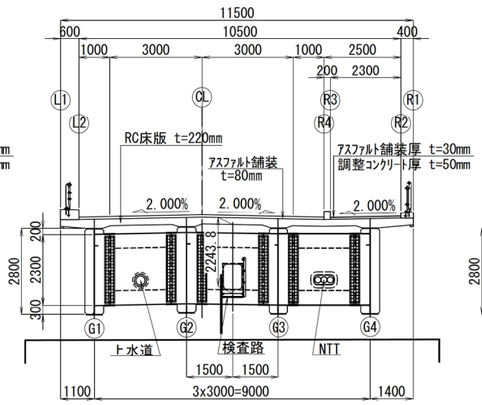


断 面 図 S=1:100

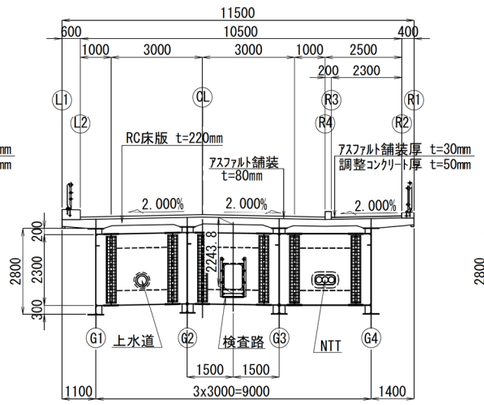
端支点横桁S1<S2>



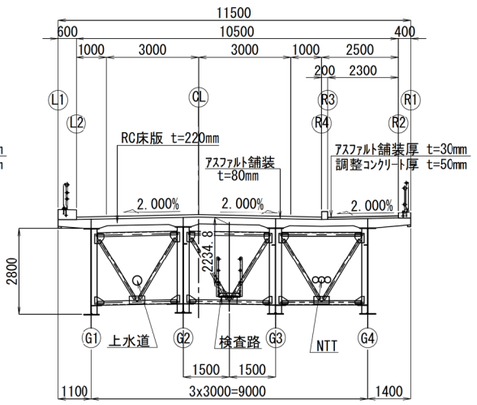
中間支点横桁



分配横桁



中間対傾構

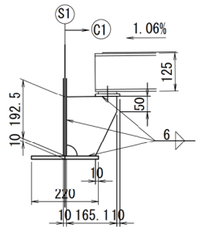


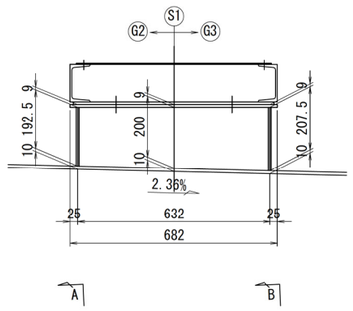
工事名			
図面名	上部工検査路(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

上部工検査路(その2) S=1:10

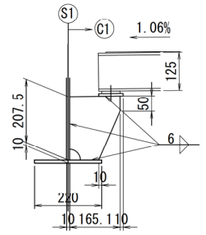
S1
(製作数：1)

A － A



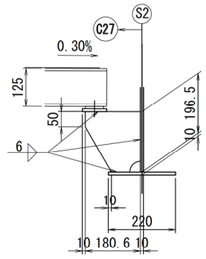


B － B

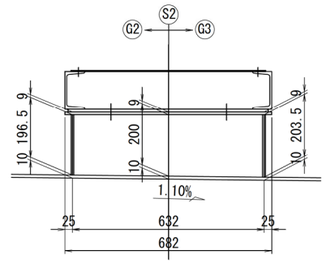


※ 1-FLG PL 80 x 9 x 686 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 165 x 9 x 194 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 165 x 9 x 209 (SMA400AW)
2- BN M16 x 45 (2-W)

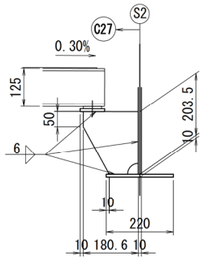
C － C

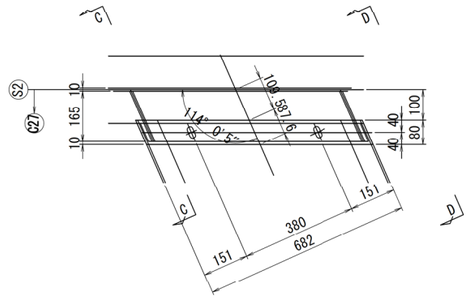


S2
(製作数：1)



D － D

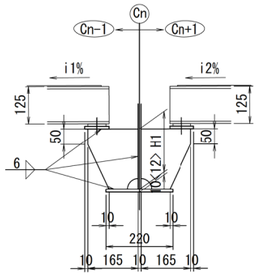


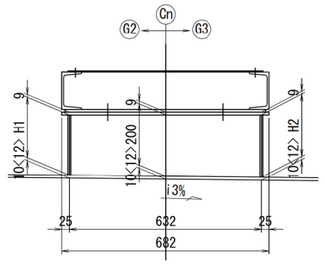


※ 1-FLG PL 80 x 9 x 782 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 181 x 9 x 197 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 181 x 9 x 204 (SMA400AW)
2- BN M16 x 45 (2-W)

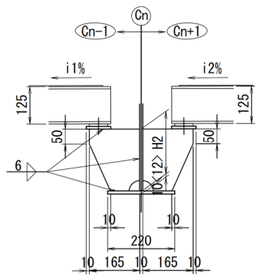
C3, C5, C7, C12, C14, C16, C21, C23, C25, <P1, P2>
(製作数：各1)

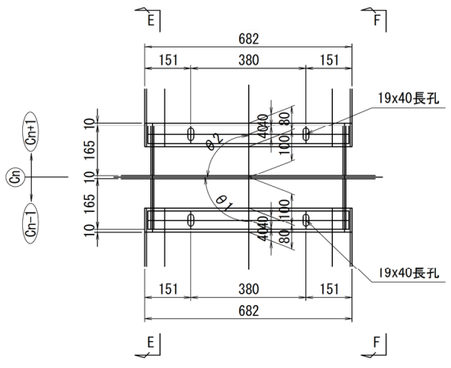
E － E





F － F





※ 2-FLG PL 80 x 9 x 682 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 165 x 9 x h1 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 165 x 9 x h2 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 165 x 9 x h3 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 165 x 9 x h4 (SMA400AW)
4- BN M16 x 45 (2-W)

Cn	H1	H2	h1	h2	h3	h4	i1%	i2%	i3%	θ1	θ2
C3	195.5	204.5	196	200	204	209	-0.51	2.67	1.41	89° 59′ 54″	90° 0′ 6″
C5	195.8	204.2	199	197	207	206	1.83	0.99	1.33	89° 59′ 54″	90° 0′ 2″
C7	195.8	204.2	196	196	204	204	0.14	-0.30	1.33	89° 59′ 54″	90° 0′ 6″
P1	195.8	204.2	196	196	204	204	-0.30	-0.30	1.33	90° 0′ 6″	89° 59′ 58″
C12, C14	195.8	204.2	196	196	204	204	-0.30	-0.30	1.33	90° 0′ 3″	89° 59′ 57″
C16	195.8	204.2	196	196	204	204	-0.30	-0.30	1.33	89° 59′ 55″	90° 0′ 5″
P2	195.8	204.2	196	196	204	204	-0.30	-0.30	1.33	89° 59′ 55″	90° 0′ 6″
C21	195.8	204.2	196	196	204	204	-0.30	-0.30	1.33	90° 0′ 2″	89° 59′ 54″
C23	195.8	204.2	196	196	204	204	-0.30	-0.30	1.33	90° 0′ 2″	89° 59′ 58″
C25	195.8	204.2	196	196	204	204	-0.30	-0.30	1.33	90° 0′ 2″	89° 59′ 56″

注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
3. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
4. ※印以外の鋼材は全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

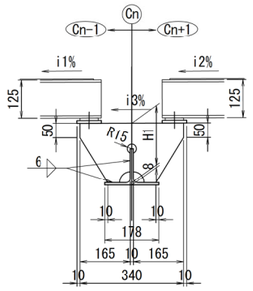
工事名			
図面名	上部工検査路(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

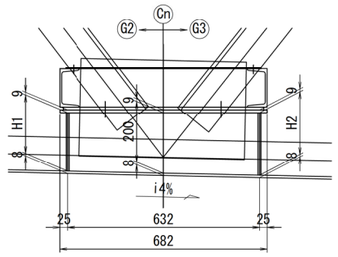
上部工検査路(その3) S=1:10

C1, C2, C4, C6, C8～C11, C13, C15, C17～C20, C22, C24, C26, C27

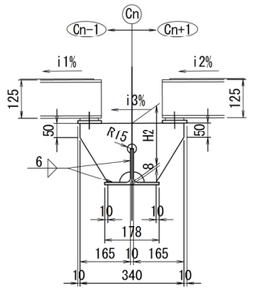
(製作数：各1)

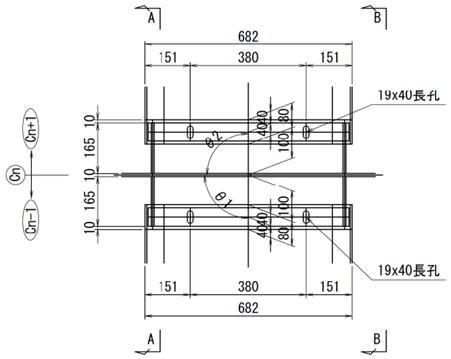
A － A





B － B

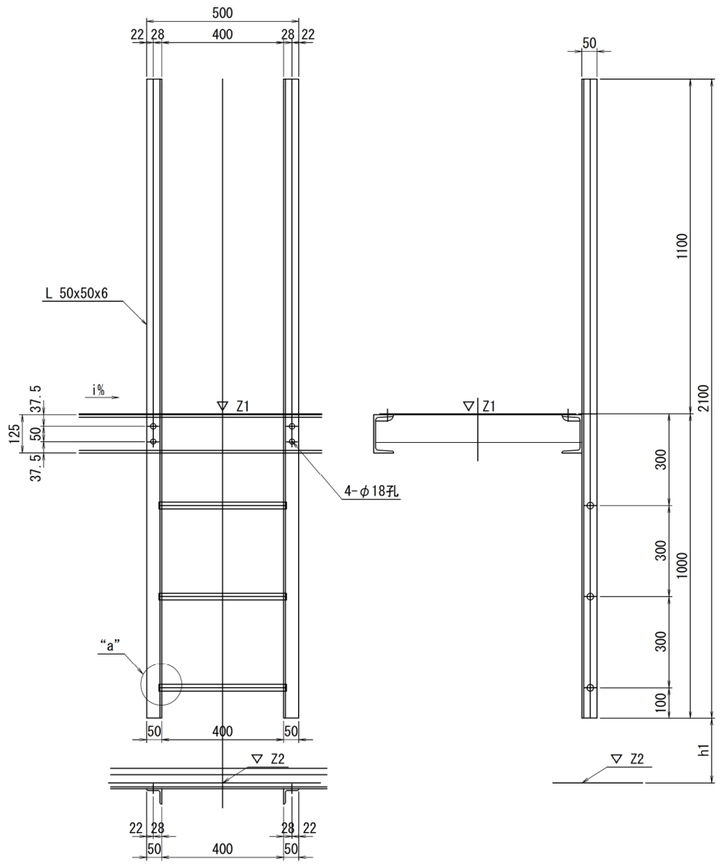




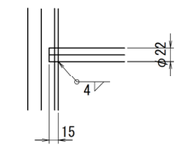
※ 2-FLG PL 80 x 9 x 682 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 340 x 9 x h1 (SMA400AW)
※ 1-RIB PL 340 x 9 x h2 (SMA400AW)
4- RN M16 x 45 (2-W)

Cn	H1	H2	h1	h2	i1%	i2%	i3%(平均勾配)	i4%	θ1	θ2
C1	193.2	206.8	194	208	1.06	0.32	0.69	2.16	90° 0′ 6″	89° 59′ 59″
C2	194.3	205.7	194	206	0.32	-0.51	-0.10	1.81	89° 59′ 58″	90° 0′ 3″
C4	195.5	204.5	199	208	2.67	1.83	2.25	1.43	89° 59′ 54″	90° 0′ 6″
C6	195.5	204.5	196	205	0.99	0.14	0.57	1.43	89° 59′ 58″	90° 0′ 6″
C8,C10,C19,C20,C24	195.5	204.5	196	205	-0.30	-0.30	-0.30	1.43	90° 0′ 2″	89° 59′ 58″
C9	195.5	204.5	196	205	-0.30	-0.30	-0.30	1.43	90° 0′ 2″	89° 59′ 54″
C11	195.5	204.5	196	205	-0.30	-0.30	-0.30	1.43	90° 0′ 2″	89° 59′ 57″
C13	195.5	204.5	196	205	-0.30	-0.30	-0.30	1.43	90° 0′ 3″	89° 59′ 57″
C15,C17,C18	195.5	204.5	196	205	-0.30	-0.30	-0.30	1.43	89° 59′ 55″	90° 0′ 5″
C22	195.5	204.5	196	205	-0.30	-0.30	-0.30	1.43	90° 0′ 6″	89° 59′ 58″
C26	195.5	204.5	196	205	-0.30	-0.30	-0.30	1.43	90° 0′ 4″	89° 59′ 56″
C27	195.5	204.5	196	205	-0.30	-0.30	-0.30	1.43	90° 0′ 4″	89° 58′ 34″

昇降ステップ詳細図



"a"部詳細



製作数：各1
2 － L 50 x 50 x 6 x 2100
3 － RB 22φ x 430
4 － BM M16 x 40 (2-W.1-SW)

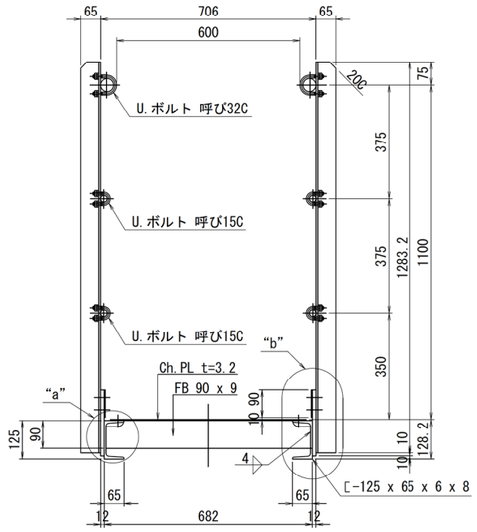
	i%	h1	Z1	Z2
梯子H-1	-1.06	175	245.990	244.815
梯子H-2	0.30	427	246.212	244.785
梯子H-3	0.30	419	246.032	244.613
梯子H-4	0.30	184	245.949	244.765

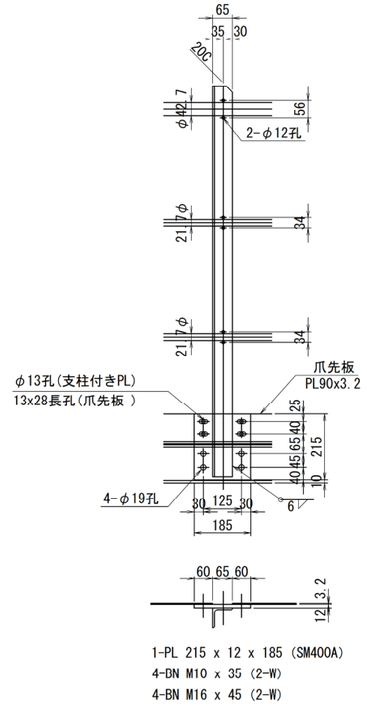
注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
3. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
4. ※印以外の鋼材は全て溶融亜鉛めっきとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

工事名			
図面名	上部工検査路(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

上部工検査路(その4) S=1:10

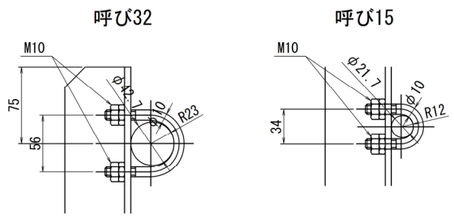
歩廊断面及び構造詳細図



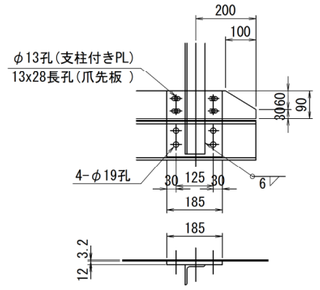


1-PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
4-BN M10 x 35 (2-W)
4-BN M16 x 45 (2-W)

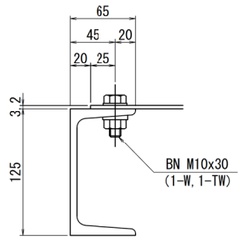
Uボルト詳細 S=1:3



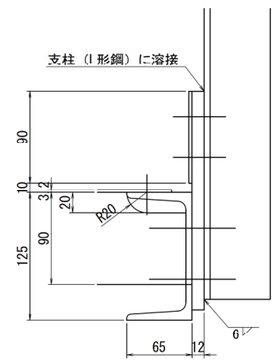
端支柱部



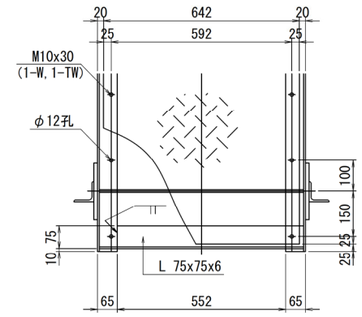
"a"部詳細 S=1:3

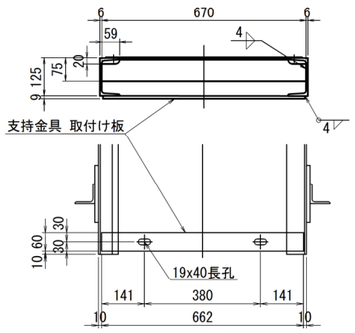


"b"部詳細 S=1:3

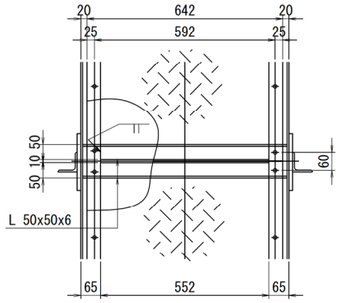


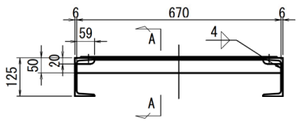
歩廊端部詳細図



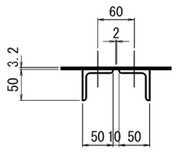


歩廊中間部詳細図





A - A S=1:5

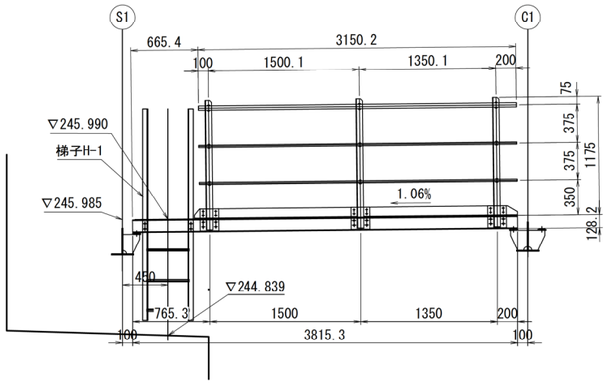


注記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 特記なきスカーラップは、全て35Rとする。
3. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
4. ※印以外の鋼材は全て溶融亜鉛めっきとする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
5. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

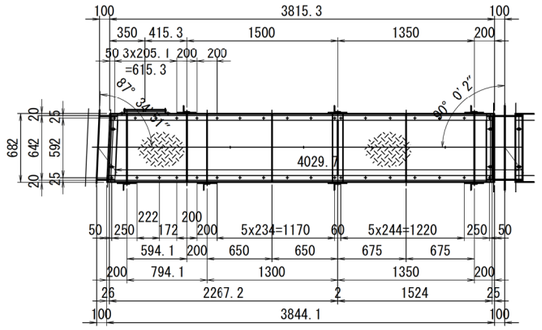
工事名			
図面名	上部工検査路(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

上部工検査路(その5) S=1:30

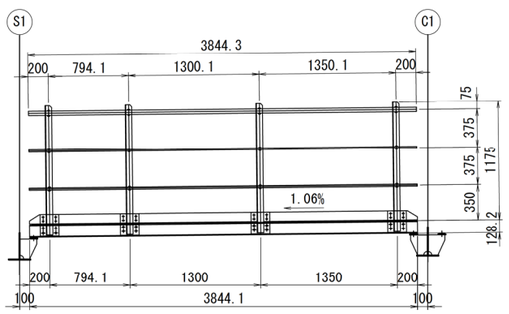
K-1
(製作数：1)



1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 3150 (STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3150 (STK400)
3 - L 65 x 65 x 6 x 1283
1 - PL 90 x 3.2 x 1615
1 - PL 90 x 3.2 x 1520
3 - PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
12 - BN M16 x 45 (2-W)
12 - BN M10 x 35 (2-W)
3 - Uボルト 呼び32C
6 - Uボルト 呼び15C

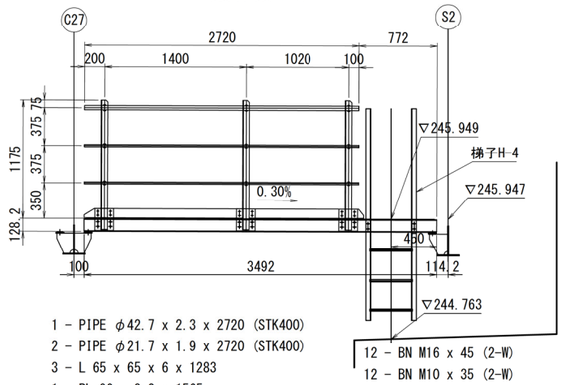


1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 2267(SS400相当品)
1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1524(SS400相当品)
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3818
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3844
1 - L 75 x 75 x 6 x 670
1 - L 75 x 75 x 6 x 671
2 - L 50 x 50 x 6 x 670
6 - FB 90 x 9 x 670
36 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW)
1 - PL 60 x 9 x 665 (SM400A)
1 - PL 60 x 9 x 662 (SM400A)

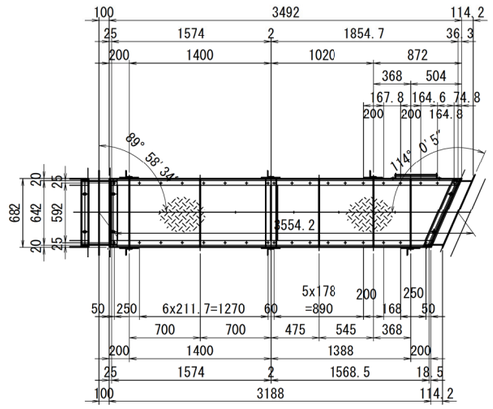


1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 3844 (STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3844 (STK400)
4 - L 65 x 65 x 6 x 1283
1 - PL 90 x 3.2 x 959
1 - PL 90 x 3.2 x 1235
1 - PL 90 x 3.2 x 1520
4 - PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
16 - BN M16 x 45 (2-W)
16 - BN M10 x 35 (2-W)
4 - Uボルト 呼び32C
8 - Uボルト 呼び15C

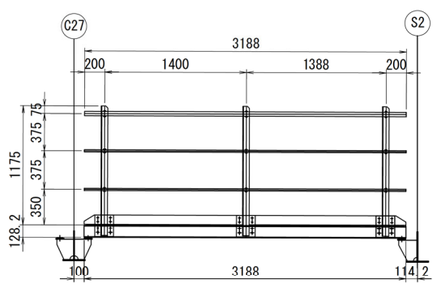
K-7
(製作数：1)



1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 2720 (STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 2720 (STK400)
3 - L 65 x 65 x 6 x 1283
1 - PL 90 x 3.2 x 1565
1 - PL 90 x 3.2 x 1140
3 - PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
12 - BN M16 x 45 (2-W)
12 - BN M10 x 35 (2-W)
3 - Uボルト 呼び32C
6 - Uボルト 呼び15C

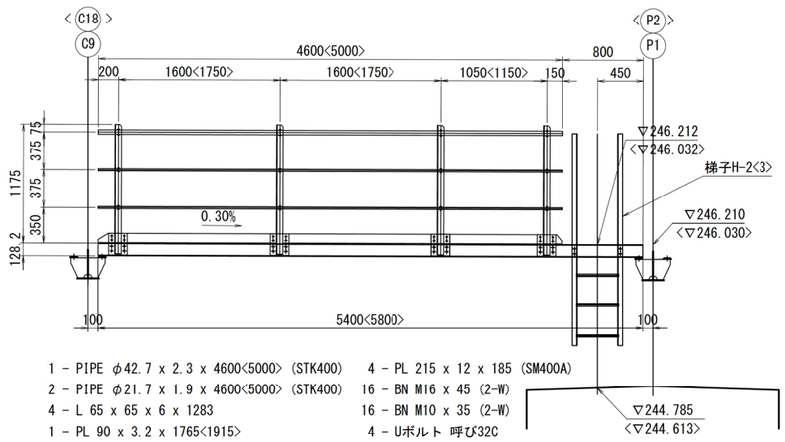


1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1574(SS400相当品)
1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1855(SS400相当品)
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3492
1 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 3217
1 - L 75 x 75 x 6 x 670
1 - L 75 x 75 x 6 x 734
2 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - FB 90 x 9 x 670
36 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW)
1 - PL 60 x 9 x 752 (SM400A)
1 - PL 60 x 9 x 662 (SM400A)

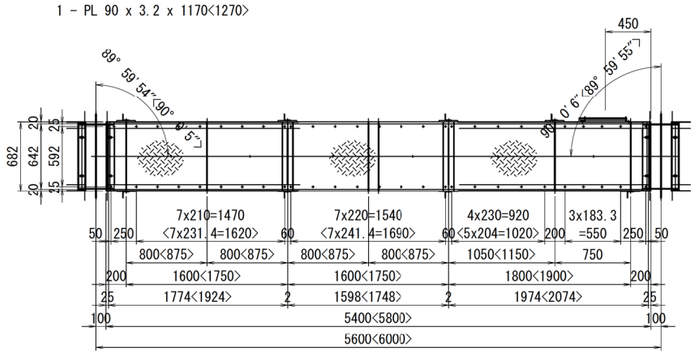


1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 3188 (STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 3188 (STK400)
3 - L 65 x 65 x 6 x 1283
1 - PL 90 x 3.2 x 1565
1 - PL 90 x 3.2 x 1558
3 - PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
12 - BN M16 x 45 (2-W)
12 - BN M10 x 35 (2-W)
3 - Uボルト 呼び32C
6 - Uボルト 呼び15C

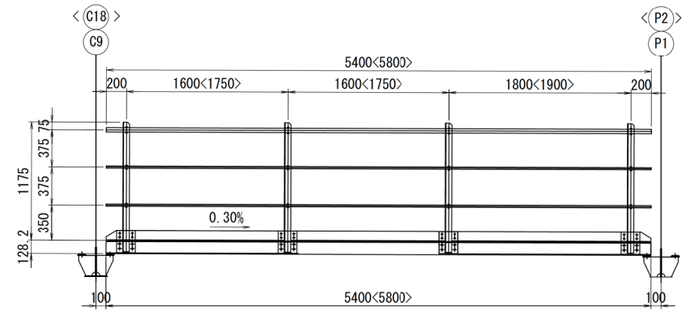
K-3<K-5>
(製作数：各1)



1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 4600<5000> (STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 4600<5000> (STK400)
4 - L 65 x 65 x 6 x 1283
1 - PL 90 x 3.2 x 1765<1915>
1 - PL 90 x 3.2 x 1535<1685>
1 - PL 90 x 3.2 x 1170<1270>
4 - PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
16 - BN M16 x 45 (2-W)
16 - BN M10 x 35 (2-W)
4 - Uボルト 呼び32C
8 - Uボルト 呼び15C



1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1774<1924>(SS400相当品)
1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1598<1748>(SS400相当品)
1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1974<2074>(SS400相当品)
2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 5400<5800>
2 - L 75 x 75 x 6 x 670
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - FB 90 x 9 x 670
54<56> - BN M10 x 30 (1-W,1-TW)
2 - PL 60 x 9 x 662 (SM400A)



1 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 5400<5800> (STK400)
2 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 5400<5800> (STK400)
4 - L 65 x 65 x 6 x 1283
1 - PL 90 x 3.2 x 1765<1915>
1 - PL 90 x 3.2 x 1535<1685>
1 - PL 90 x 3.2 x 1970<2070>
4 - PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
16 - BN M16 x 45 (2-W)
16 - BN M10 x 35 (2-W)
4 - Uボルト 呼び32C
8 - Uボルト 呼び15C

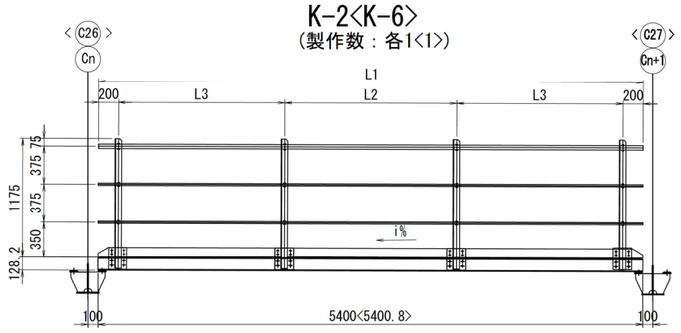
注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35～HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。

工事名			
図面名	上部工検査路(その5)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

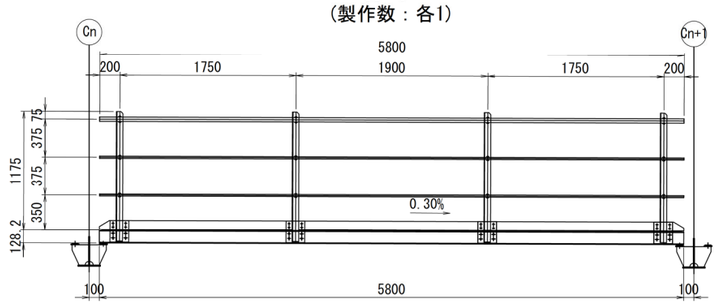
上部工検査路(その6) S=1:30

K-2<K-6>
(製作数：各1<1>)

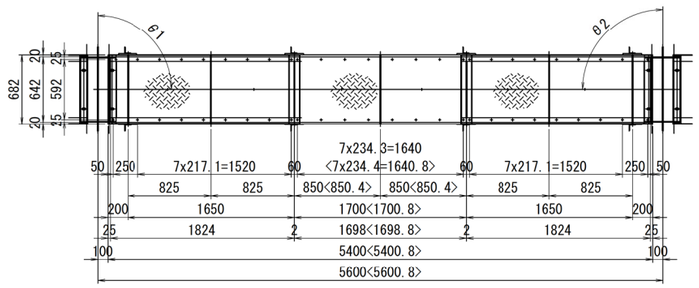


2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x LL1 (STK400)
4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x LL1 (STK400)
8 - L 65 x 65 x 6 x 1283
2 - PL 90 x 3.2 x LL2
2 - PL 90 x 3.2 x LL3
2 - PL 90 x 3.2 x LL4
8 - PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
32 - BN M16 x 45 (2-W)
32 - BN M10 x 35 (2-W)
8 - Uボルト 呼び32C
16 - Uボルト 呼び15C

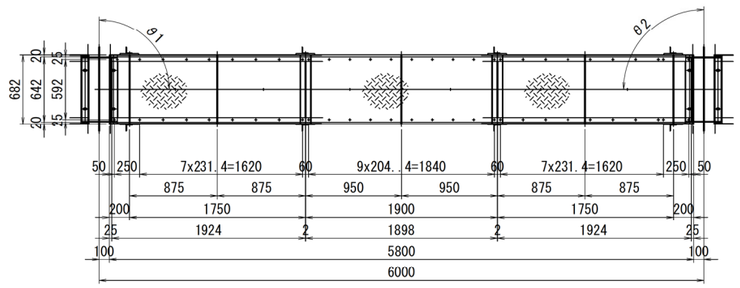
K-4
(製作数：各1)



2 - PIPE φ42.7 x 2.3 x 5800 (STK400)
4 - PIPE φ21.7 x 1.9 x 5800 (STK400)
8 - L 65 x 65 x 6 x 1283
2 - PL 90 x 3.2 x 1915
2 - PL 90 x 3.2 x 1835
2 - PL 90 x 3.2 x 1920
8 - PL 215 x 12 x 185 (SM400A)
32 - BN M16 x 45 (2-W)
32 - BN M10 x 35 (2-W)
8 - Uボルト 呼び32C
16 - Uボルト 呼び15C



2 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1824(SS400相当品)
1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1698<1699>(SS400相当品)
2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x LL1
2 - L 75 x 75 x 6 x 670
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - FB 90 x 9 x 670
52 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW)
2 - PL 60 x 9 x 662 (SM400A)



2 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1924(SS400相当品)
1 - Ch.PL 642 x 3.2 x 1898(SS400相当品)
2 - CH 125 x 65 x 6 x 8 x 5800
2 - L 75 x 75 x 6 x 670
4 - L 50 x 50 x 6 x 670
5 - FB 90 x 9 x 670
56 - BN M10 x 30 (1-W,1-TW)
2 - PL 60 x 9 x 662 (SM400A)

	Cn	Cn+1	L1	L2	L3	LL1	LL2	LL3	LL4	i%	θ1	θ2
K-2	C1	C2	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	0.32	89° 59′59″	89° 59′58″
	C2	C3	5400.1	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.51	90° 0′3″	89° 59′54″
	C3	C4	5401.9	1700.6	1650.6	5402	1816	1636	1821	2.67	90° 0′6″	89° 59′54″
	C4	C5	5400.9	1700.3	1650.3	5401	1815	1635	1820	1.83	90° 0′6″	89° 59′54″
	C5	C6	5400.3	1700.1	1650.1	5400	1815	1635	1820	0.99	90° 0′2″	89° 59′58″
	C6	C7	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	0.14	90° 0′6″	89° 59′54″
	C7	C8	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30	90° 0′6″	90° 0′2″
	C8	C9	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30	89° 59′58″	90° 0′2″
	C19	C20	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30		
	C20	C21	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30		
	C21	C22	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30	89° 59′54″	90° 0′6″
	C22	C23	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30	89° 59′58″	90° 0′2″
	C23	C24	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30		
	C24	C25	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30		
	C25	C26	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30	89° 59′56″	90° 0′4″
	P2	C19	5400.0	1700.0	1650.0	5400	1815	1635	1820	-0.30	89° 59′56″	90° 0′4″
K-6	C26	C27	5400.8	1700.8	1650.0	5401	1815	1636	1820	-0.30	89° 59′58″	90° 0′2″

Cn	Cn+1	θ1	θ2
C10	C11	89° 59′58″	90° 0′2″
C11	C12	89° 59′57″	90° 0′3″
C12	C13		
C13	C14		
C14	C15	89° 59′57″	89° 59′55″
C15	C16	90° 0′5″	89° 59′55″
C16	C17		
C17	C18		
P1	C10	90° 0′6″	90° 0′2″

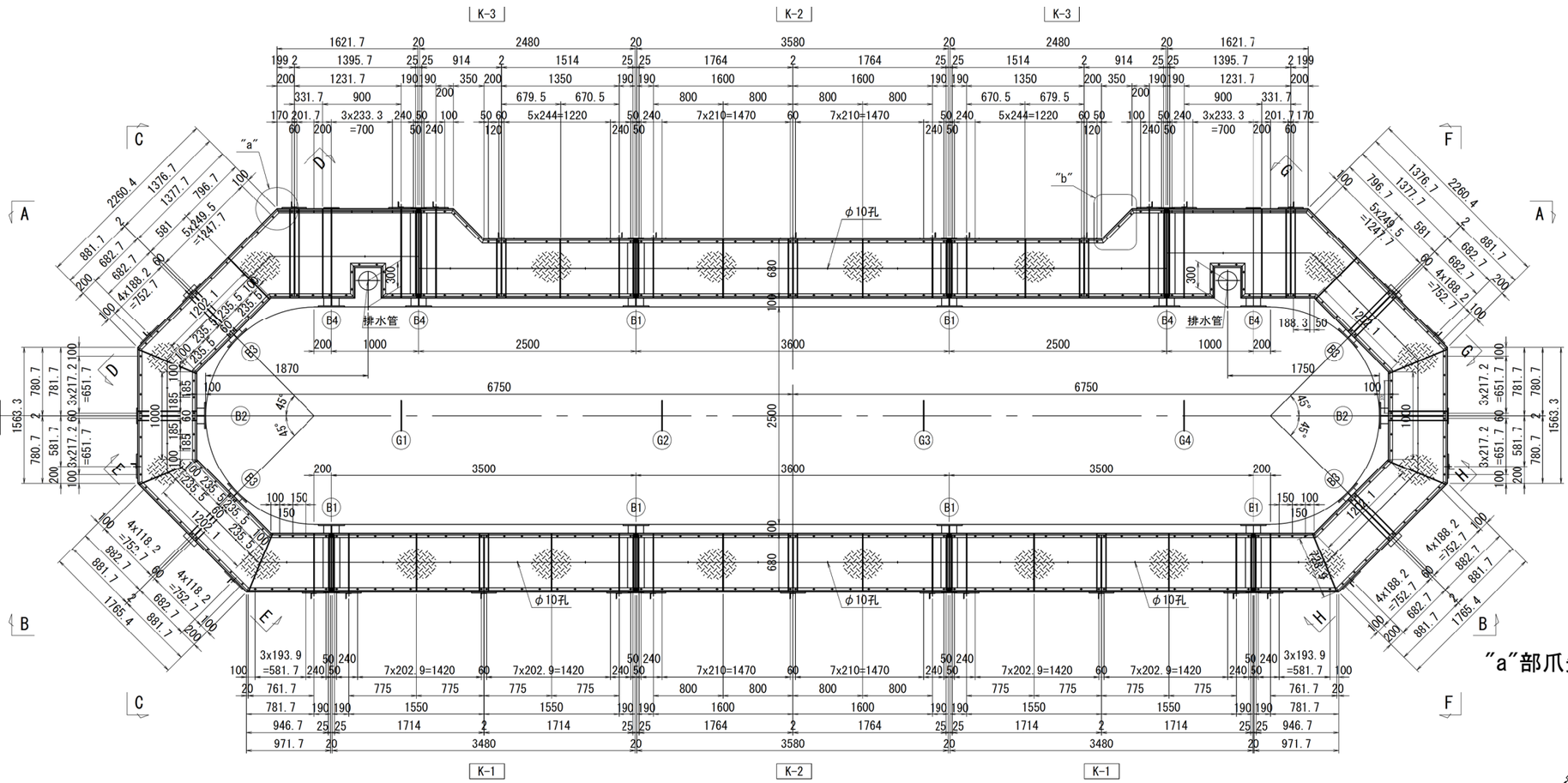
注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZ35～HDZ55とする。但し、ボルト・ナット類は、HDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けるのが良い。

工事名			
図面名	上部工検査路(その6)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

下部工検査路(その1) S=1:30

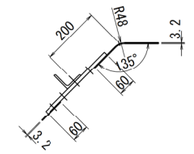
P1<P2>橋脚(1)



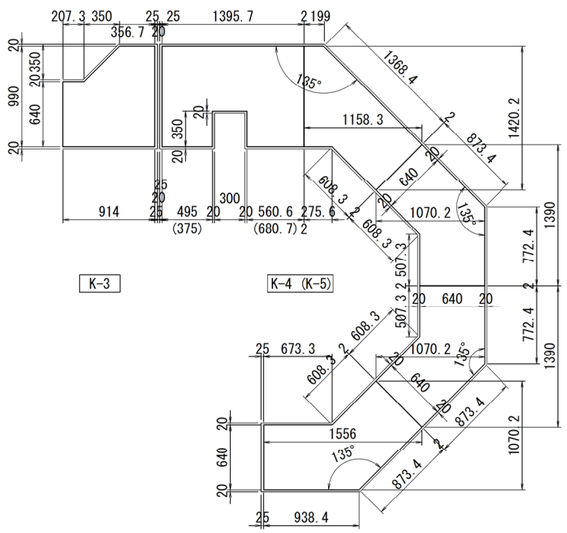
K-5製作数:2
- 1-Ch.PL 1070 x 3.2 x 1396(SS400相当品)
- 1-Ch.PL 1158 x 3.2 x 1420(SS400相当品)
- 2-Ch.PL 1070 x 3.2 x 1390(SS400相当品)
- 1-Ch.PL 1070 x 3.2 x 1556(SS400相当品)
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1622
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2260
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1563
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1765
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 972
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 711
- 2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1244
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1041
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 991
- 3-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 400
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 420
- 1-L 75 x 75 x 6 x 670
- 1-L 75 x 75 x 6 x 1020
- 6-L 50 x 50 x 6 x 670
- 2 L 50 x 50 x 6 x 1020
- 2-FB 90 x 9 x 670
- 3-FB 90 x 9 x 729
- 2-FB 90 x 9 x 1020
- 78-BN M10 x 30(1-W,1-TW付)
- 3-PL 160 x 9 x 660(SM400A)
- 1-PL 60 x 9 x 660(SM400A)
- 2-PL 60 x 9 x 1010(SM400A)

K-4製作数:2
- 1-Ch.PL 1070 x 3.2 x 1396(SS400相当品)
- 1-Ch.PL 1158 x 3.2 x 1420(SS400相当品)
- 2-Ch.PL 1070 x 3.2 x 1390(SS400相当品)
- 1-Ch.PL 1070 x 3.2 x 1556(SS400相当品)
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1622
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2260
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1563
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1765
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 972
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 711
- 2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1244
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1041
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 871
- 3-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 400
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 540
- 1-L 75 x 75 x 6 x 670
- 1-L 75 x 75 x 6 x 1020
- 6-L 50 x 50 x 6 x 670
- 2 L 50 x 50 x 6 x 1020
- 2-FB 90 x 9 x 670
- 3-FB 90 x 9 x 729
- 2-FB 90 x 9 x 1020
- 78-BN M10 x 30(1-W,1-TW付)
- 3-PL 160 x 9 x 660(SM400A)
- 1-PL 60 x 9 x 660(SM400A)
- 2-PL 60 x 9 x 1010(SM400A)

"a"部爪先板曲げ加工詳細 S=1:10



縞鋼板(Ch.PL)詳細

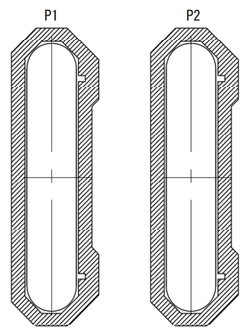


K-1製作数:4
- 2-Ch.PL 640 x 3.2 x 1714(SS400相当品)
- 2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3480
- 2-L 75 x 75 x 6 x 670
- 2-L 50 x 50 x 6 x 670
- 4-FB 90 x 9 x 670
- 36-BN M10 x 30(1-W,1-TW付)
- 2-PL 60 x 9 x 660(SM400A)

K-2製作数:4
- 2-Ch.PL 640 x 3.2 x 1764(SS400相当品)
- 2-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 3580
- 2-L 75 x 75 x 6 x 670
- 2-L 50 x 50 x 6 x 670
- 4-FB 90 x 9 x 670
- 36-BN M10 x 30(1-W,1-TW付)
- 2-PL 60 x 9 x 660(SM400A)

K-3製作数:4
- 1-Ch.PL 990 x 3.2 x 914(SS400相当品)
- 1-Ch.PL 640 x 3.2 x 1514(SS400相当品)
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 390
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 516
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 1761
- 1-CH 100 x 50 x 5 x 7.5 x 2480
- 1-L 75 x 75 x 6 x 670
- 1-L 75 x 75 x 6 x 1020
- 2-L 50 x 50 x 6 x 670
- 2-FB 90 x 9 x 670
- 1-FB 90 x 9 x 1020
- 26-BN M10 x 30(1-W,1-TW付)
- 1-PL 60 x 9 x 660(SM400A)
- 1-PL 60 x 9 x 1010(SM400A)

配置図



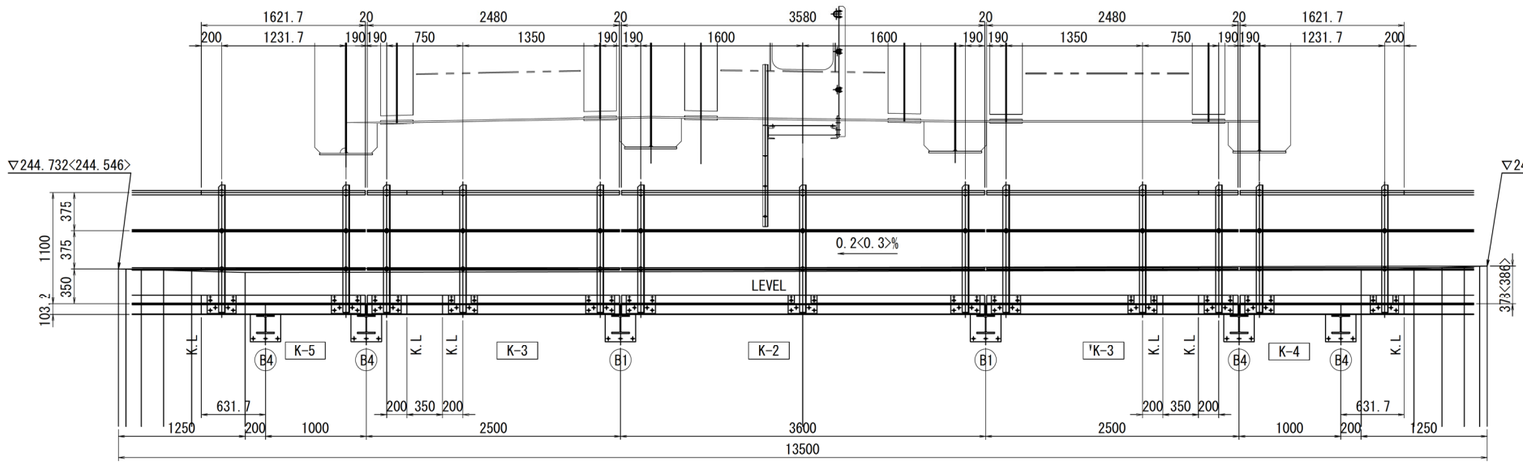
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て弛み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮しボルト径＋3mmを標準とする。

工事名			
図面名	下部工検査路(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

下部工検査路(その2) S=1:30

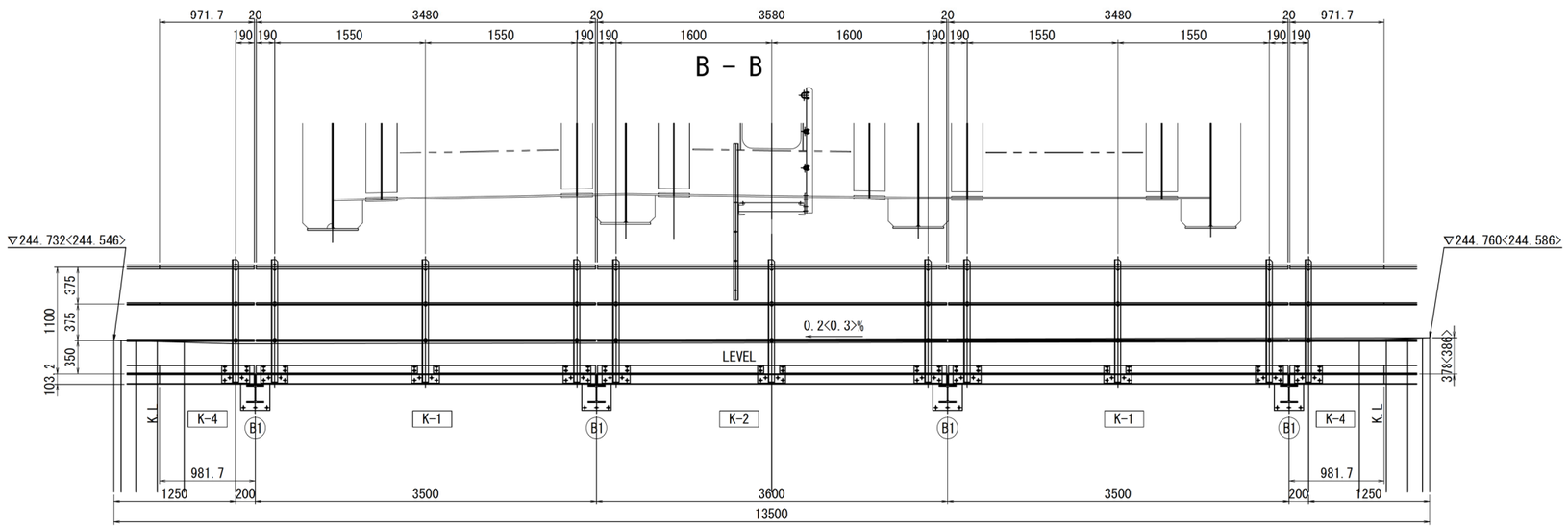
A - A

P1<P2>橋脚(2)



K-3製作数:4
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 1753(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 513(STK400)
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 395(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 1744(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 504(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 395(STK400)
3-L 65 x 65 x 6 x 1258
1-PL 90 x 3.2 x 1458
1-PL 90 x 3.2 x 1001
3-PL 190 x 12 x 285(SM400A)
12-BN M16 x 45(2-W付)
12-BN M10 x 35(2-W付)
3-U.Bolt 呼び 32C
6-U.Bolt 呼び 15C

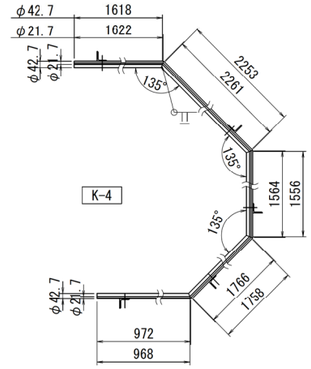
B - B



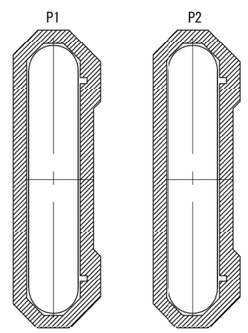
K-1製作数.4
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 3480(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 3480(STK400)
3-L 65 x 65 x 6 x 1258
2-PL 90 x 3.2 x 1658
3-PL 190 x 12 x 285(SM400A)
12-BN M16 x 45(2-W付)
12-BN M10 x 35(2-W付)
3-U.Bolt 呼び 32C
6-U.Bolt 呼び 15C

K-2製作数.4
1-Pipe φ42.7 x 2.3 x 3580(STK400)
2-Pipe φ21.7 x 1.9 x 3580(STK400)
3-L 65 x 65 x 6 x 1258
2-PL 90 x 3.2 x 1708
3-PL 190 x 12 x 285(SM400A)
12-BN M16 x 45(2-W付)
12-BN M10 x 35(2-W付)
3-U.Bolt 呼び 32C
6-U.Bolt 呼び 15C

手摺り曲げ加工詳細 S=1:20



配置図



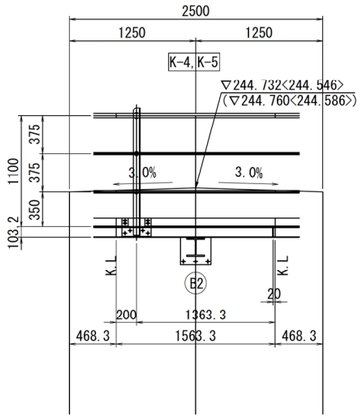
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て弛み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
亜鉛の付着量は JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮しボルト径＋3mmを標準とする。

工事名			
図面名	下部工検査路(その2)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

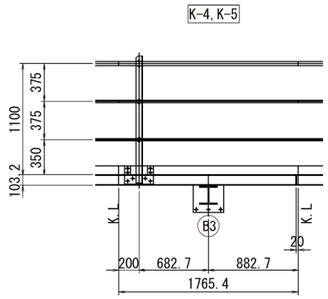
下部工検査路(その3) S=1:30

P1<P2>橋脚(3)

C - C(F - F)



E - E(H - H)

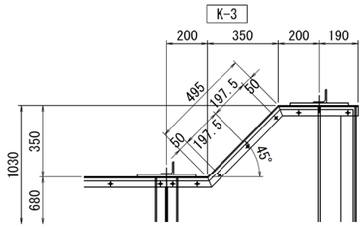


D - D(G - G)

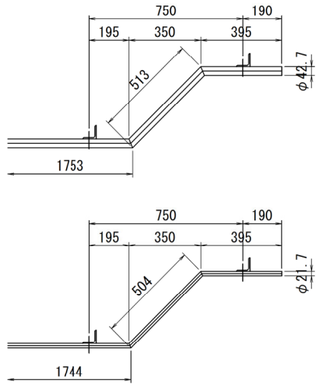
K-4, K-5製作数:各2

1-Pipe	φ42.7 x 2.3 x 1627(STK400)
1-Pipe	φ42.7 x 2.3 x 977(STK400)
1-Pipe	φ42.7 x 2.3 x 2270(STK400)
1-Pipe	φ42.7 x 2.3 x 1573(STK400)
1-Pipe	φ42.7 x 2.3 x 1775(STK400)
2-Pipe	φ21.7 x 1.9 x 1627(STK400)
2-Pipe	φ21.7 x 1.9 x 2270(STK400)
2-Pipe	φ21.7 x 1.9 x 1573(STK400)
2-Pipe	φ21.7 x 1.9 x 1775(STK400)
2-Pipe	φ21.7 x 1.9 x 977(STK400)
7-L	65 x 65 x 6 x 1258
1-PL	90 x 3.2 x 1339
1-PL	90 x 3.2 x 1413
1-PL	90 x 3.2 x 518
1-PL	90 x 3.2 x 1398
1-PL	90 x 3.2 x 1600
1-PL	90 x 3.2 x 1089
7-PL	190 x 12 x 285(SM400A)
28-BN	M16 x 45(2-W付)
28-BN	M10 x 35(2-W付)
7-U.Bolt	呼び 32C
14-U.Bolt	呼び 15C

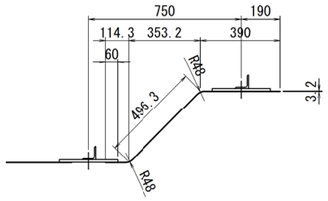
"b"部曲げ加工詳細 S=1:15



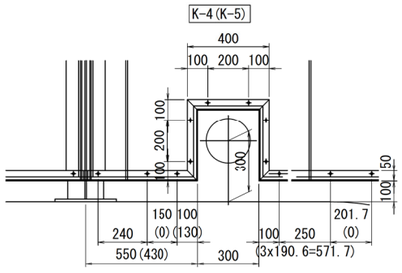
手摺り詳細 S=1:15



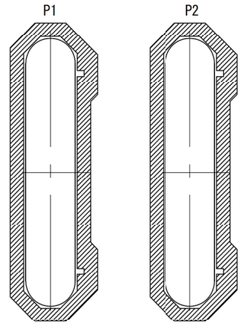
爪先板詳細 S=1:15



排水管切り欠き部詳細 S=1:15



配置図



注 記

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て弛み止めナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮しボルト径＋3mmを標準とする。

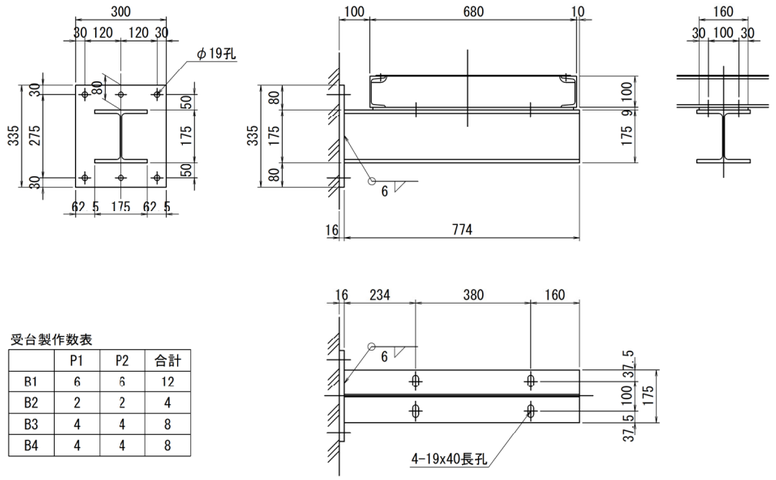
工事名			
図面名	下部工検査路(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

下部工検査路(その4) S=1:10

ブラケット詳細図

B1

製作数:12



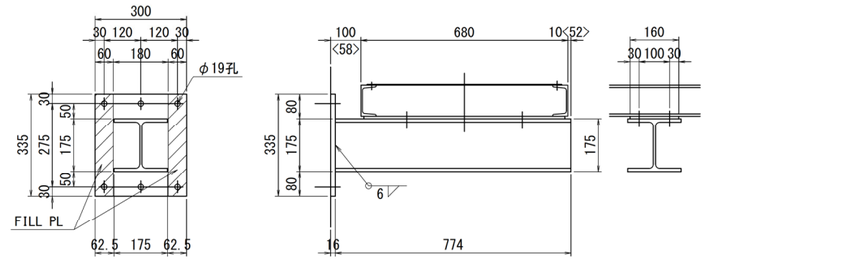
受台製作数表

	P1	P2	合計
B1	6	6	12
B2	2	2	4
B3	4	4	8
B4	4	4	8

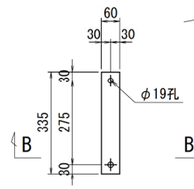
1-H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 774
1-BASE PL 335 x 16 x 300(SM400A)
6-打込式アンカー M16 x 125
4-BN M16 x 50 (2-W)

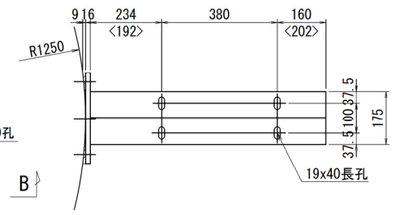
B2 <B3>

製作数:4<8>

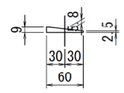


FILL PL





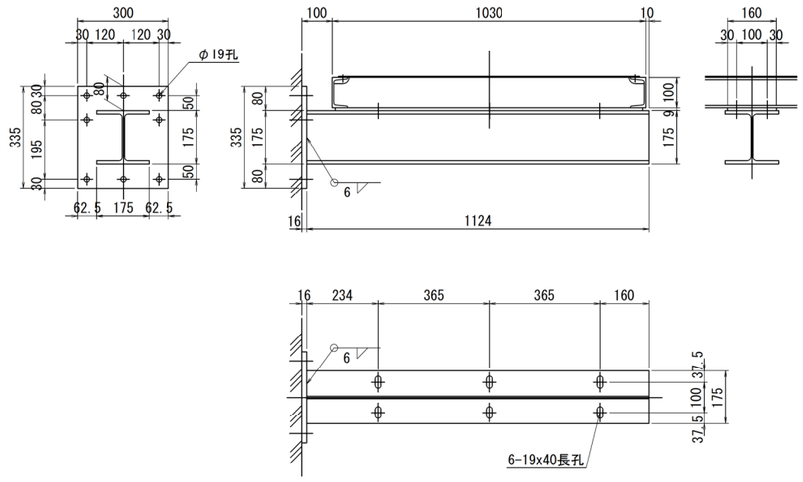
B - B S=1:5



1-H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 774
1-BASE PL 335 x 16 x 300(SM400A)
2-FILL PL 60 x 9 x 335
6-打込式アンカー M16 x 125
4-BN M16 x 50 (2-W)

B4

製作数:8



1-H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 1124
1-BASE PL 335 x 16 x 300(SM400A)
8-打込式アンカー M16 x 125
6-BN M16 x 50 (2-W)

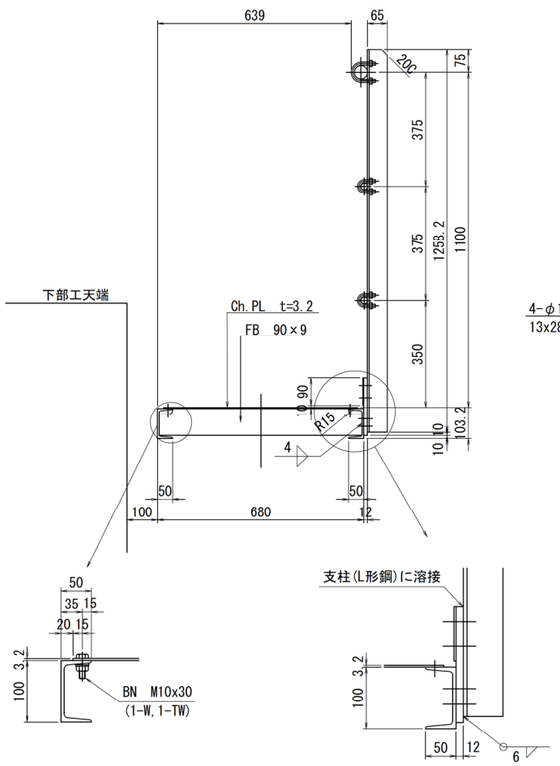
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て弛み止め
   ナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し
   ボルト径＋3mmを標準とする。

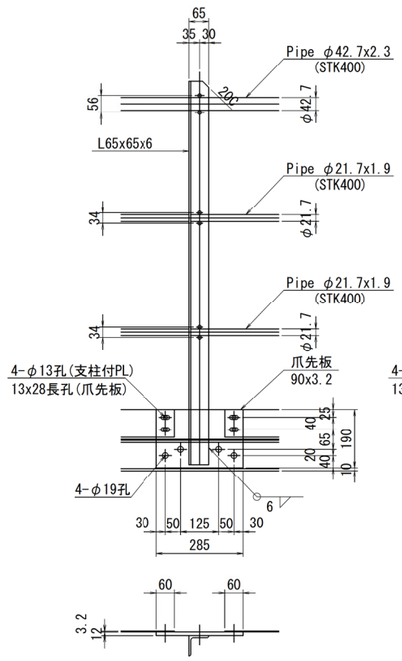
工事名			
図面名	下部工検査路(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

下部工検査路(その5) S=1:10

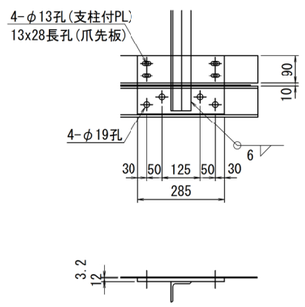
歩廊断面及び構造詳細図

標準部



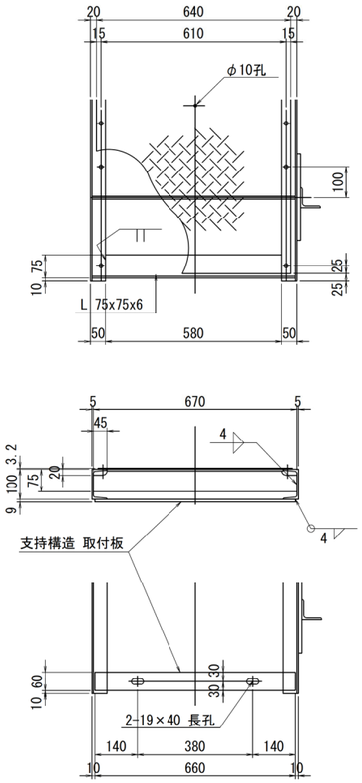


端 部

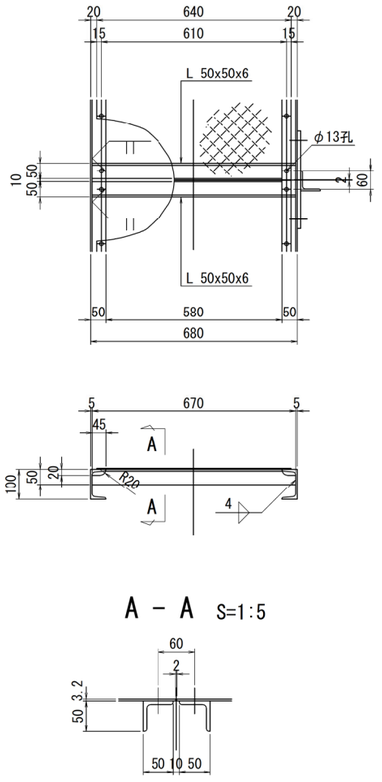


歩廊詳細図

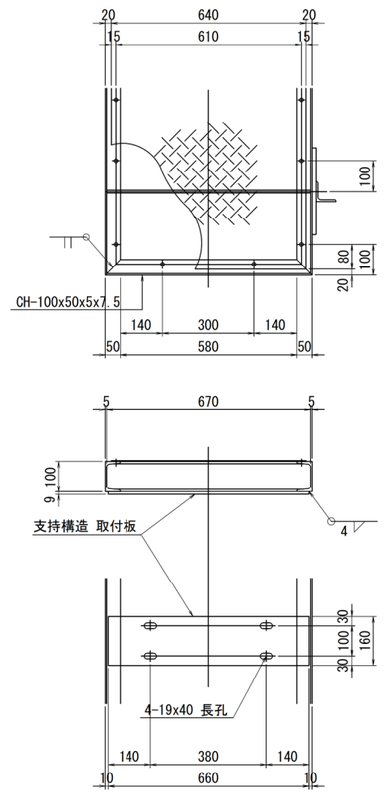
架け違い部



中間部



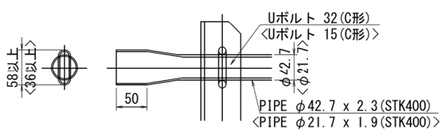
端 部



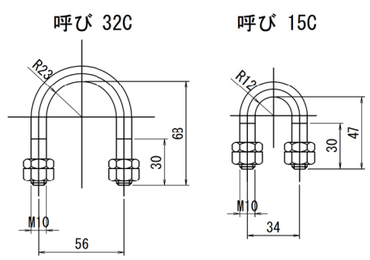
A - A S=1:5

手摺抜け落ち防止加工 S=1:5

支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ
図面中は☆印で示す



Uボルト詳細 S=1:2



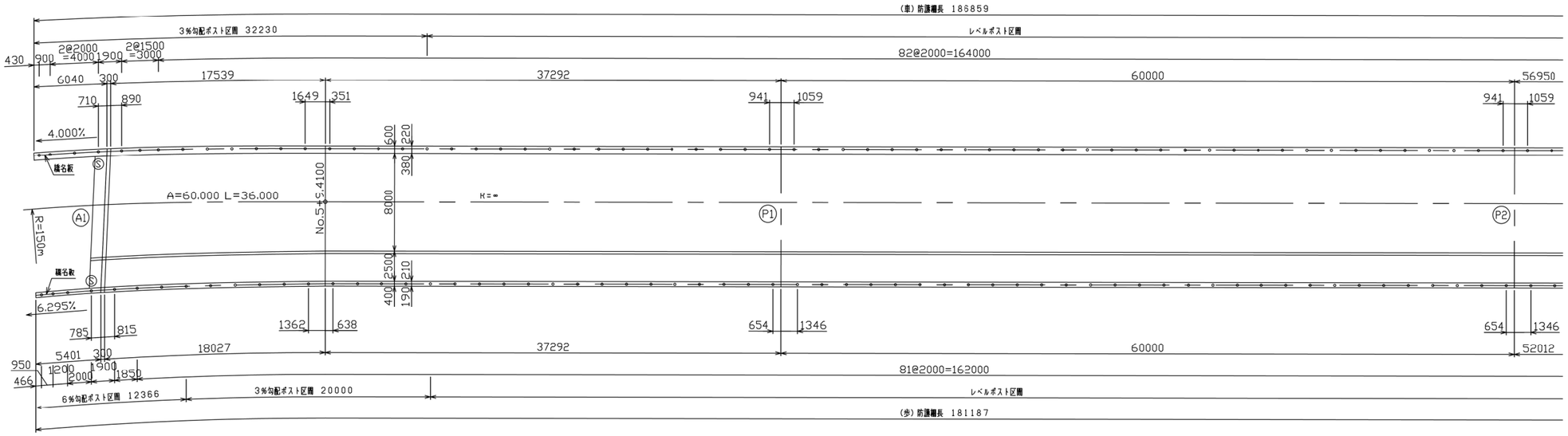
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは全て弛み止め
   ナットを使用すること。
3. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。
   亜鉛の付着量は JIS H 8641 HDZ35～HDZ55とする。
   但し、ボルト・ナット類はHDZ35とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し
   ボルト径＋3mmを標準とする。

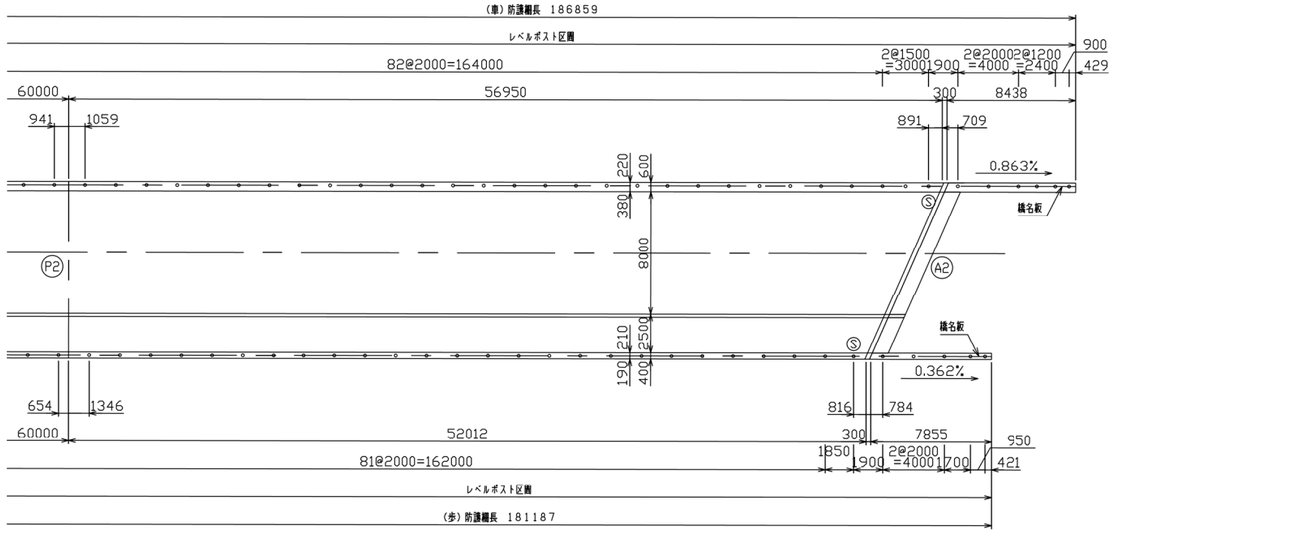
工事名			
図面名	下部工検査路(その5)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

防護柵詳細図（その1）

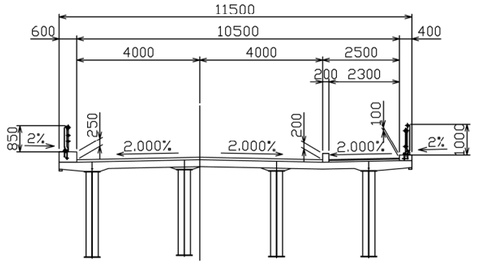
平面割付図　S＝1：200

<注記>
・防護柵長およびポストピッチはアンカー中心位置での実長を示す。
・Ⓢ部は伸縮継手取付ポスト位置を示す。

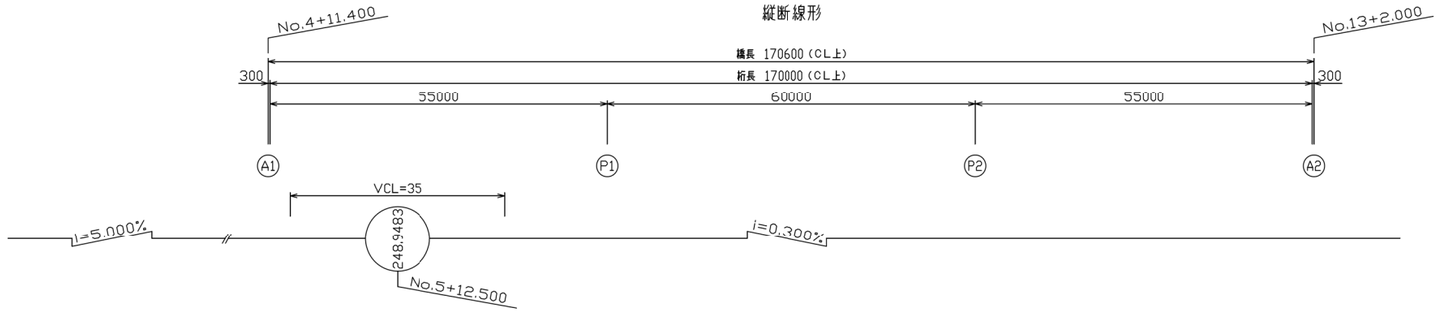




断面図　S＝1：100



縦断線形



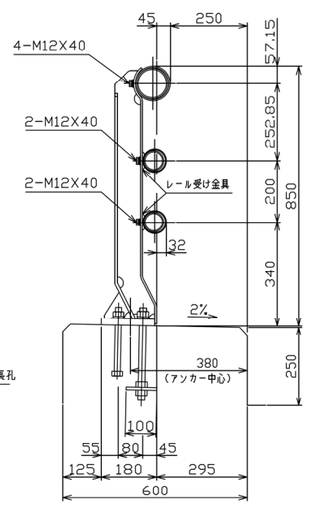
工事名			
図面名	防護柵詳細図(その1)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

防護柵詳細図(その2)

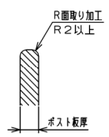
橋梁用ビーム型防護柵　S＝1：10

（単）SK-3CF-85S-G

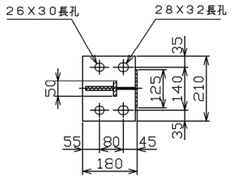
（2%勾配対応）



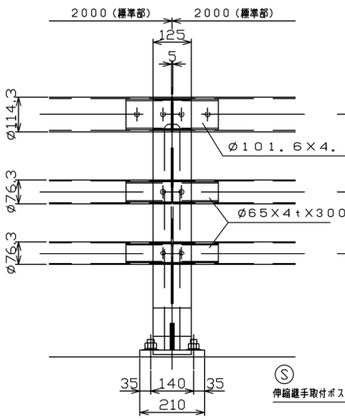
ポスト外周端面　S＝1：1



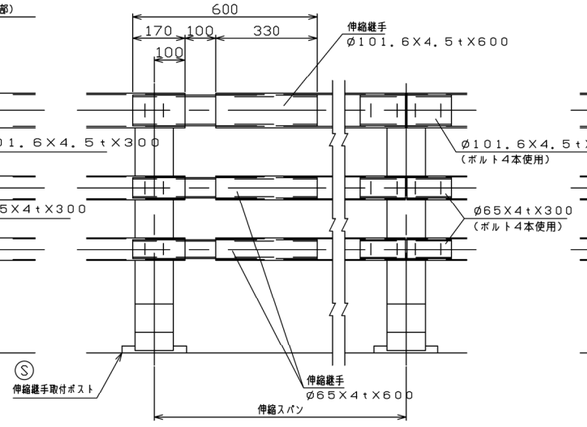
ベース図



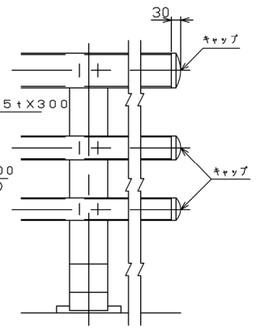
標準部



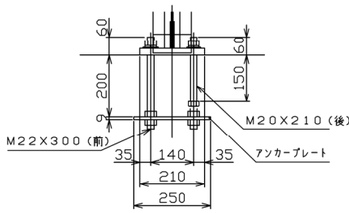
伸縮継手部



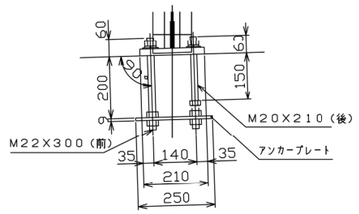
端部



レベルポスト定着部



3%勾配ポスト定着部



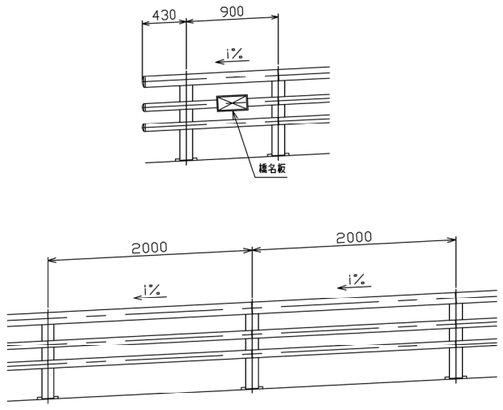
材料表

（単）SK-3CF-85S-G　　（標準部ポストピッチ2m／10m当り）

名　称	寸　法	材　質	単重	数　量	重　量
ポスト	845X180X210	SS400	16.61	5.0 本	83.1
レール	ø114.3X4.5t	STK400	12.20	9.975 m	121.7
レール	ø76.3X2.8t	STK400	5.08	19.950 m	101.3
継手	ø101.6X4.5tX300	STK400	3.23	5.0 本	16.2
継手	ø65X4tX300	STK400	1.81	10.0 本	18.1
レール受け金具	60X80X2t	ステンレス	0.12	10.0 コ	1.2
止メボルト	M12X40(B.W.SW)	強度区分:6.8以上	0.06	40.0 本	2.4
アンカーボルト	M22X300(B.3N.W.SW)	強度区分:8.8以上	1.14	10.0 本	11.4
アンカーボルト	M20X210(六角全ネジB,N,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.69	10.0 本	6.9
アンカープレート	100X250X9t	SS400	1.70	5.0 枚	8.5
				合　計	370.8Kg

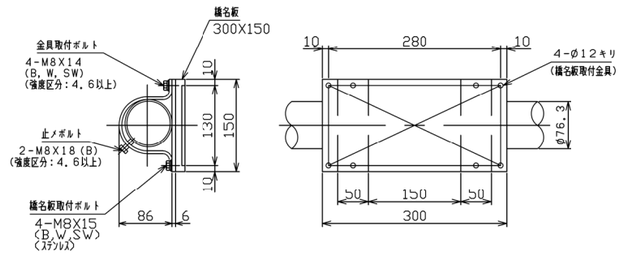
防護柵長	L＝ 186.859m
3%勾配ポスト区間	L＝ 32.230m
伸縮処理	2ヶ所
ポスト総数量	97本
橋名板および取付金具	2組(3型)
表面処理：溶融亜鉛めっき後、高耐久塗装117S（標準塗装膜厚155μm）	
・塗装色は「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」に準拠とする。	
・止メボルトは高耐食性ボルト仕様、アンカーボルトはHDZ35仕上げ。（但しアンカープレートは黒皮品、レール受け金具は未塗装）	
注＞ポスト外周端面はR面取り加工を施す。	
注＞橋梁用ビーム型防護柵は（一社）全国高欄協会で認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。	
注＞線形確認のうえ、製作の事。	
NETIS登録商品　：　登録番号QS-110039-VE（応力集中型鋼製防護柵「FLEMBEE」フレンビー）	

勾配部姿図　S＝1：30



橋名板取付金具3型　S＝1：5

橋名板：300X150



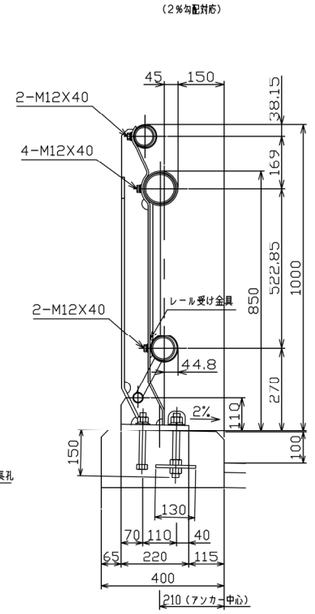
工事名	
図面名	防護柵詳細図(その2)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

防護柵詳細図(その3)

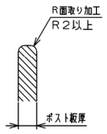
橋梁用ビーム型防護柵　S＝1：10

(歩) SK-3CF-100KMS-G

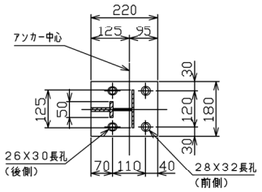
(2%勾配対応)



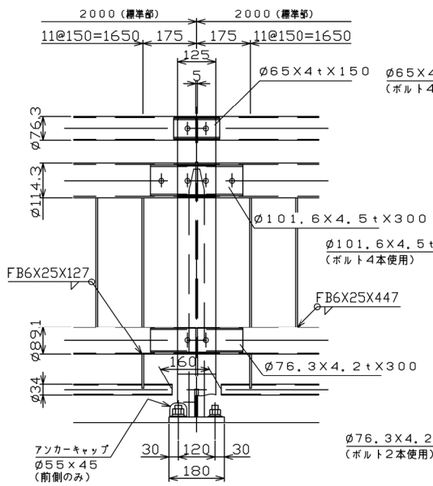
ポスト外周端面　S＝1：1



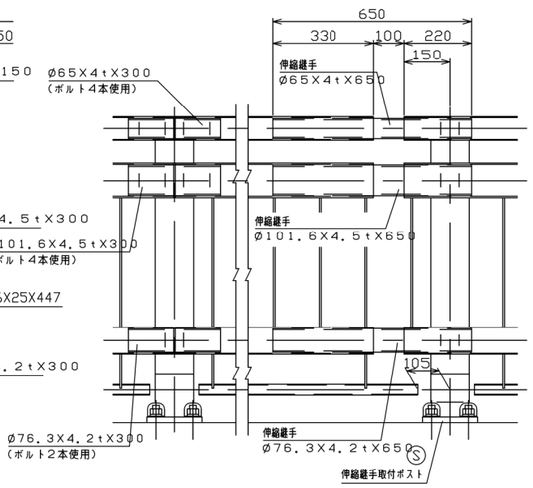
ベース図



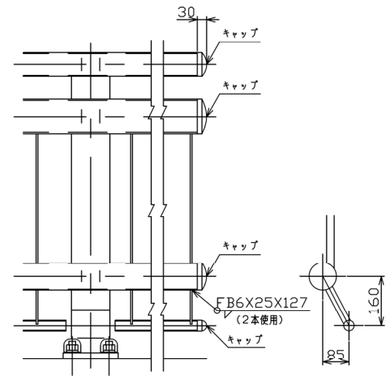
標準部



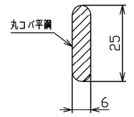
伸縮継手部



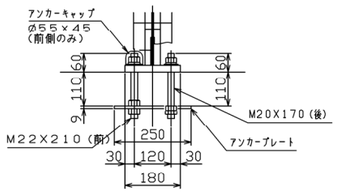
端部



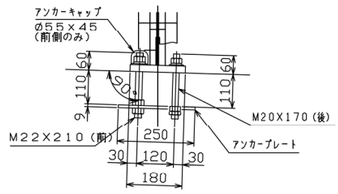
立貫断面　S＝1：1



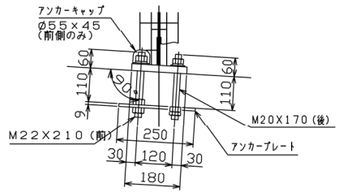
レベルポスト定着部



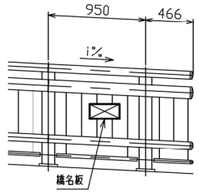
3%勾配ポスト定着部

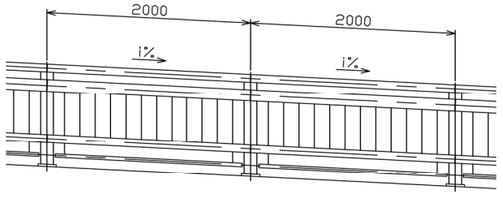


6%勾配ポスト定着部



勾配部姿図　S＝1：30

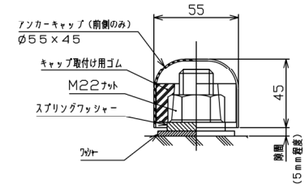




アンカーキャップ　S＝1：2

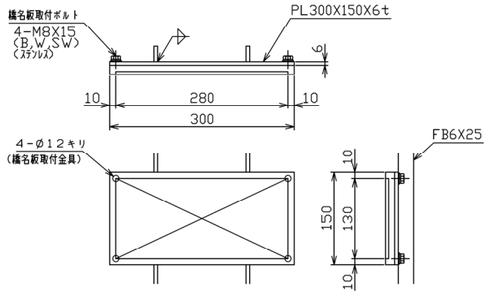
(前側アンカー鋼製保護キャップ)

注>アンカーキャップは前側に取付。後側は取付不要。



橋名板取付金具直付型　S＝1：5

橋名板：300X150



材料表

(歩) SK-3CF-100KMS-G　　(標準部ポストピッチ2m／10m当り)

名　称	寸　法	材　質	単　重	数　量	重　量
ポスト	995X220X180	SS400	18.67	5.0 本	93.4
レール	Ø114.3X4.5t	STK400	12.20	9.975 m	121.7
レール	Ø89.1X2.8t	STK400	5.96	9.975 m	59.5
レール	Ø76.3X2.8t	STK400	5.08	9.975 m	50.7
補助レール	Ø34X2.3t	STK400	1.80	9.200 m	16.6
継手	Ø101.6X4.5tX300	STK400	3.23	5.0 本	16.2
継手	Ø76.3X4.2tX300	STK400	2.24	5.0 本	11.2
継手	Ø65X4tX150	STK400	0.91	5.0 本	4.6
レール受け金具	60X80X2t	ステンレス	0.12	5.0 コ	0.6
立貫	FB6X25X447	SS400	0.53	60.0 本	31.8
支持板	FB6X25X127	SS400	0.15	10.0 本	1.5
止メボルト	M12X40(B,W,SW)	強度区分:6.8以上	0.06	40.0 本	2.4
アンカーボルト	M22X210(B,3N,W,SW)	強度区分:8.8以上	0.87	10.0 本	8.7
アンカーボルト	M20X170(六角全ネジB,N,W,SW)	強度区分:4.6以上	0.59	10.0 本	5.9
アンカープレート	130X250X9t	SS400	2.23	5.0 枚	11.2
				合　計	436.0Kg

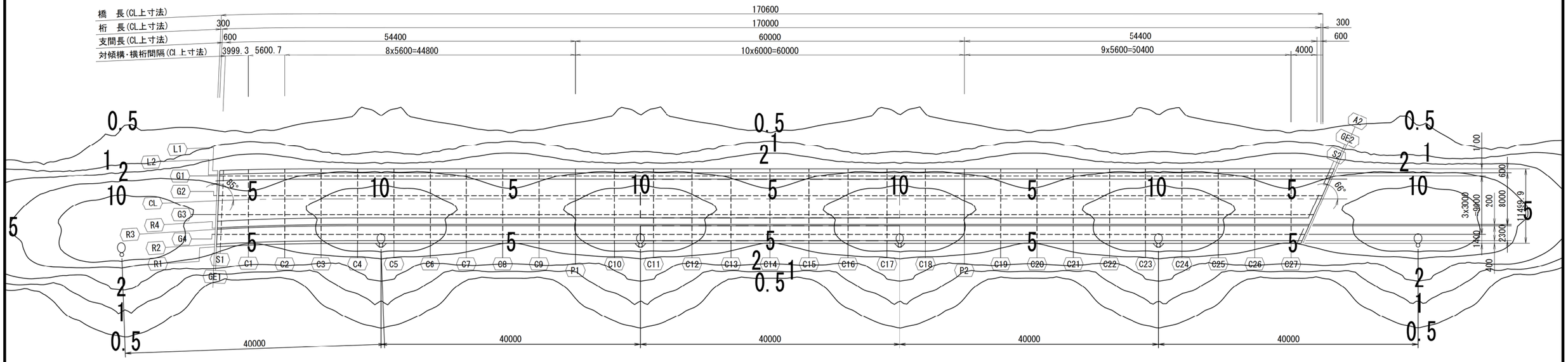
防護柵長	L＝ 181.18／m
3%勾配ポスト区間	L＝ 20.000m
6%勾配ポスト区間	L＝ 12.366m
伸縮処理	2ヶ所
格子端部処理	2ヶ所
アンカーキャップ	186コ
ポスト総数量	93本
橋名板および取付金具	2組(直付型)
表面処理：溶融亜鉛めっき後、高耐久塗装117S（標準塗装膜厚155μm）	
・塗装色は「景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン」に準拠とする。	
・止メボルトは高耐食性ボルト仕様、アンカーボルトはHDZ35仕上げ。（但しアンカープレートは黒皮品、レール受け金具は未塗装）	
注>立貫材は丸コバ平鋼（角Rタイプ）使用	
注>ポスト外周端面はR面取り加工を施す。	
注>橋梁用ビーム型防護柵は（一社）全国高欄協会で認定された静荷重試験機により性能確認された製品とする。	
注>緩形確認のうえ、製作の事。	
NETIS登録商品　：　登録番号QS-110039-VE（応力集中型鋼製防護柵「FLEMBEEJフレンビー）	

工事名			
図面名	防護柵詳細図(その3)		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

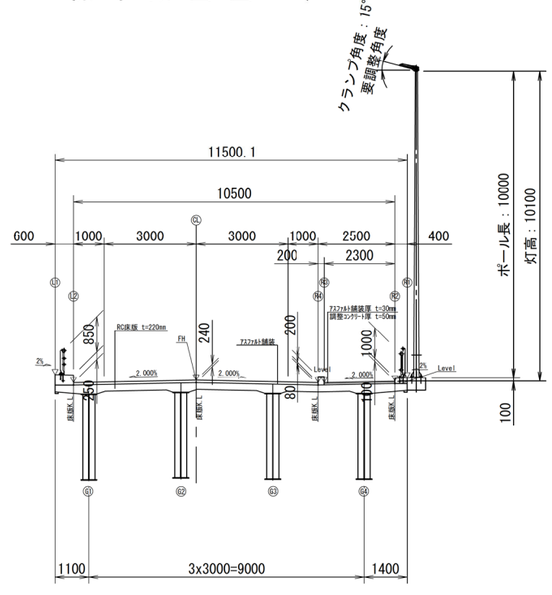
照明配置計画図　S=1:300

水平面維持照度分布図

平　面　図



標 準 断 面 図 S=1/100



凡　例

	○
照明器具形式	E77283SAJ9/K07L クランプ角度:15° ※要調整角度
光　　源	昼白色LED
光　束(lm)	8500
保　守　率	0.7
灯　高 (m)	10.1 (ﾎﾟｰﾙ10m)
アーム角度	－ (ポールトップ取付)
数　量（台）	6

照度及び計算範囲　[　　]内

	車道	歩道
平均照度(lx)	9.4	11.2
最小照度(lx)	4.3	5.3
最大照度(lx)	18.1	20.2
均斉度(最小/平均)		0.473

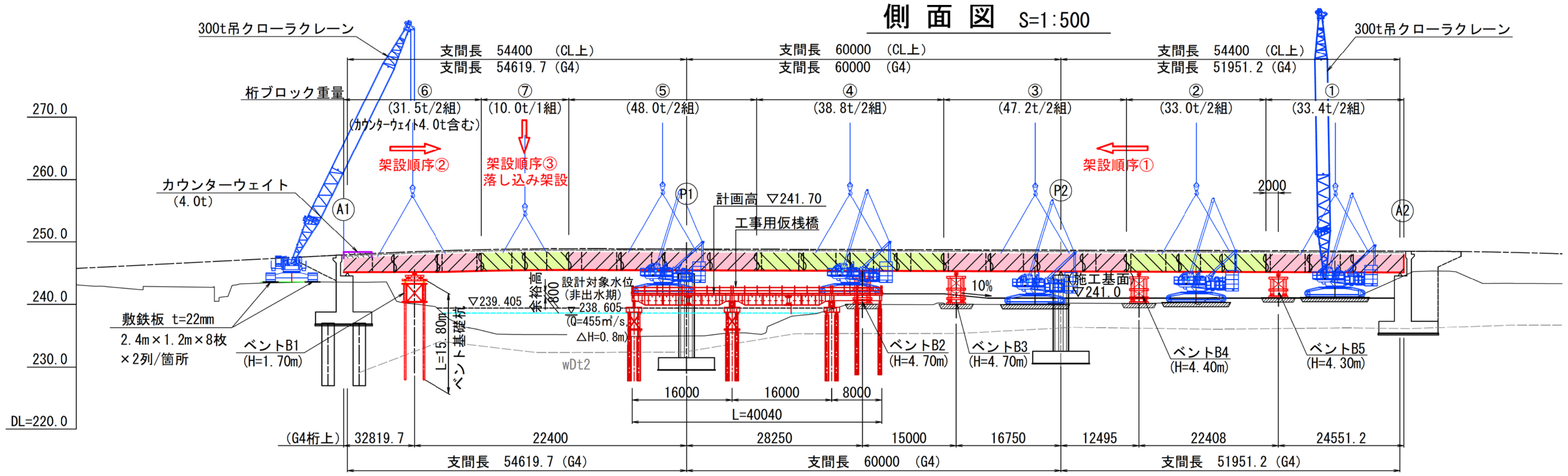
(注記)

1. 曲線上の数値は、維持水平面照度を示す。　単位:(lx)
2. 計算は平面とし、障害物等の影響は考慮しないものとする。

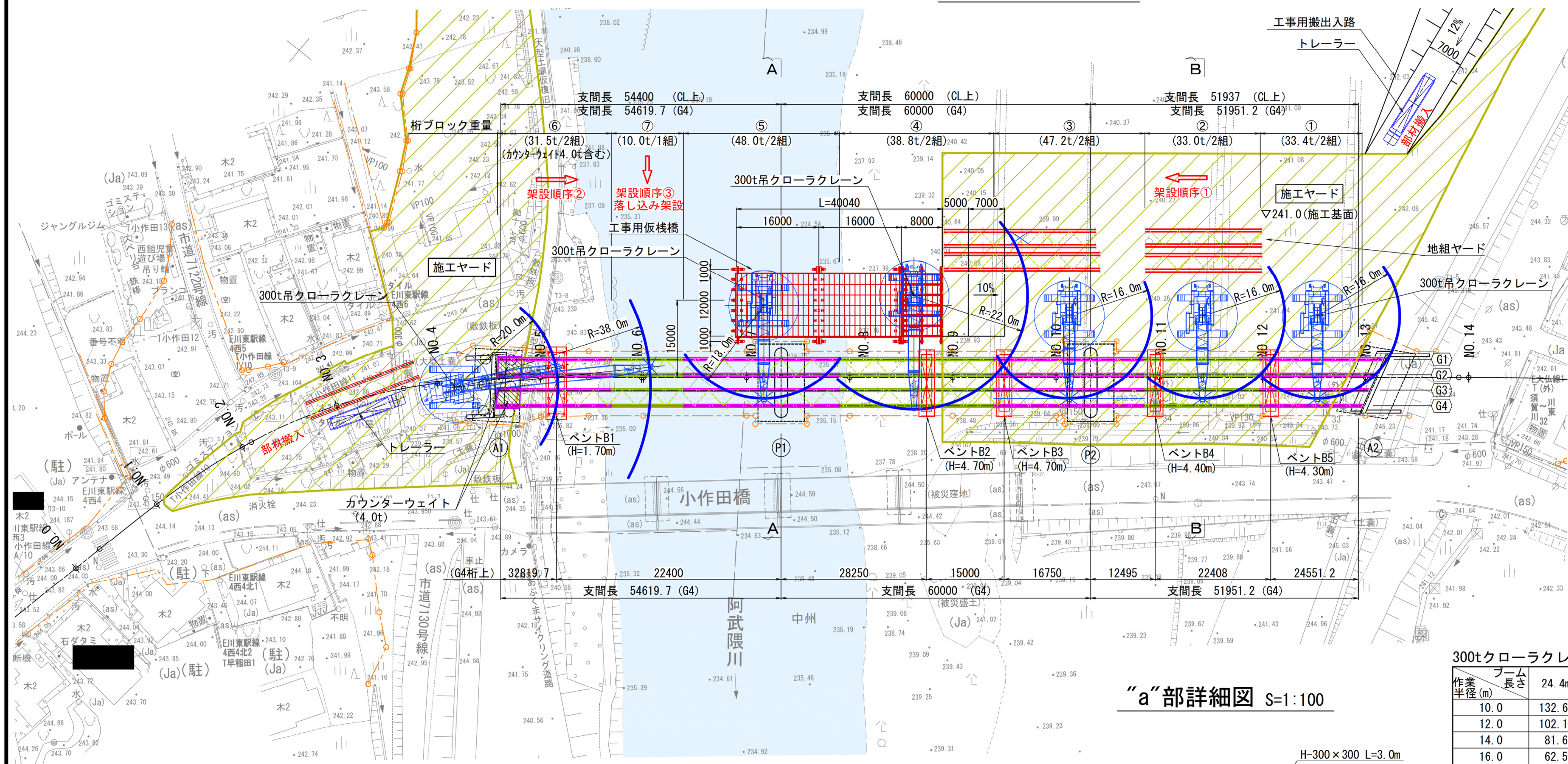
工事名			
図面名	照明配置計画図		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

架設計画図

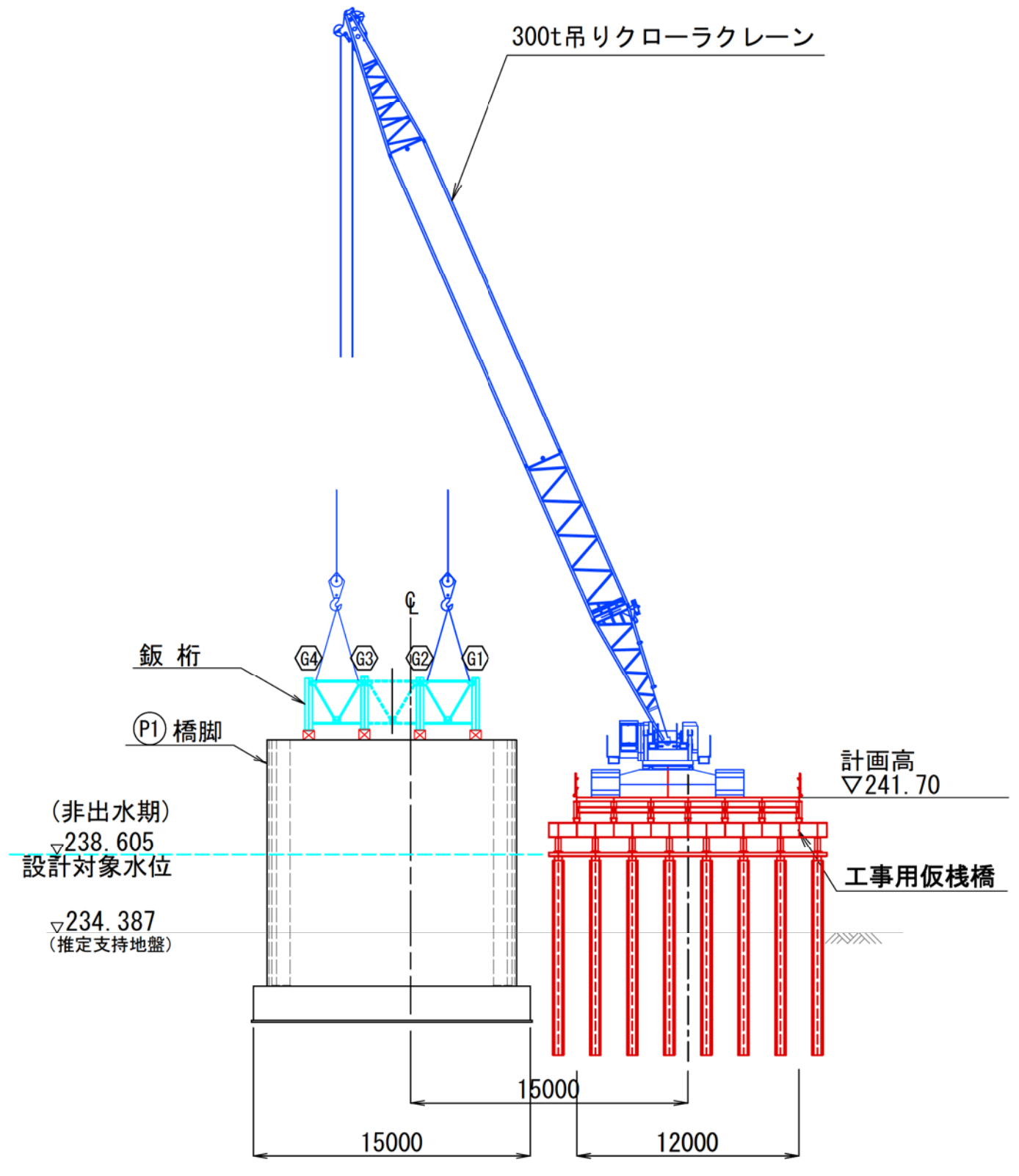
側面図 S=1:500



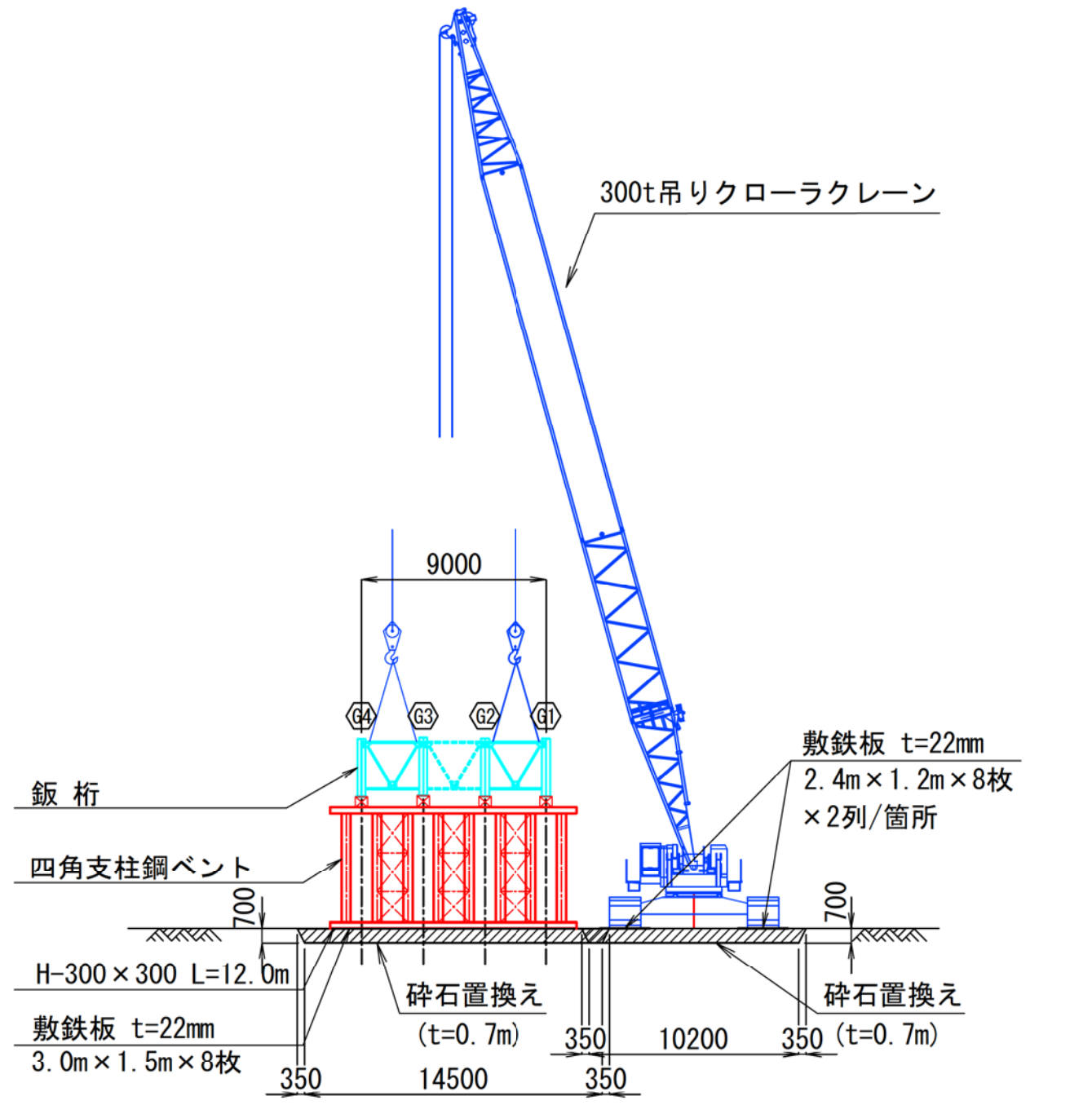
平面図 S=1:500



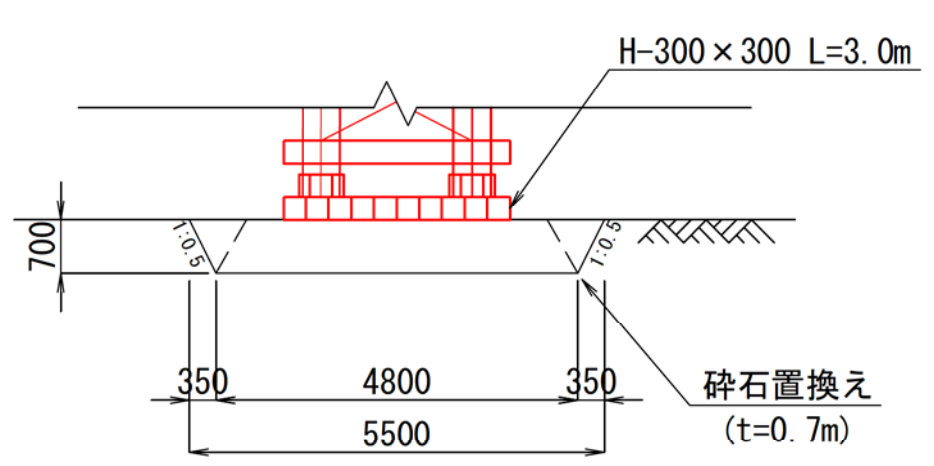
断面図 S=1:300
A－A



断面図 S=1:300
B－B



"a"部詳細図 S=1:100



※置換えは砂層上面までとする。

300tクローラクレーン能力表

単位(t)

作業半径(m) ＼ ブーム長さ	24.4m	24.4m	30.5m	36.6m	42.7m
10.0	132.6	140.0	140.0	140.0	140.0
12.0	102.1	108.9	108.9	108.9	108.9
14.0	81.6	87.9	87.9	87.9	87.9
16.0	62.5	73.0	73.0	73.0	72.9
18.0		61.6	61.6	61.6	61.5
20.0		52.5	52.5	52.5	52.5
22.0		45.0	45.0	45.0	45.0
24.0			41.4	41.0	40.6
26.0			36.7	36.6	36.1
28.0			32.2	32.2	32.4
30.0				29.8	29.2
34.0					24.0
38.0					20.4

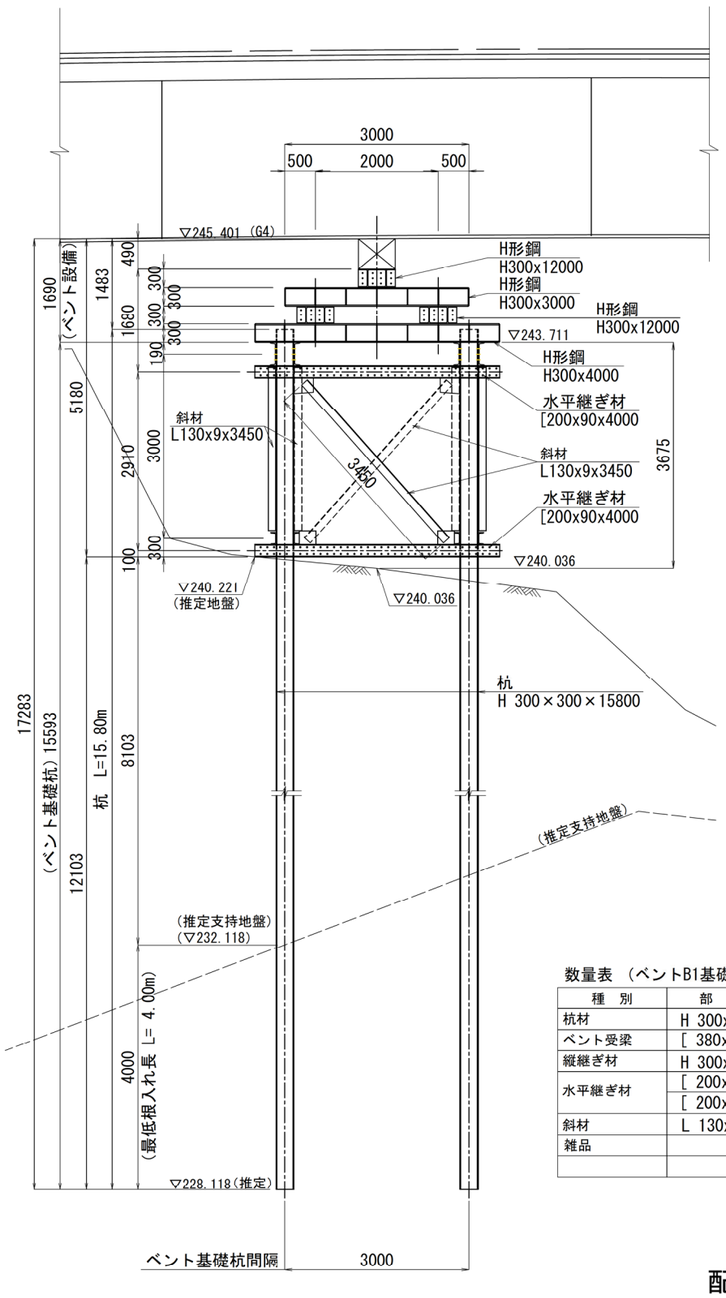
(kobelco 7300)

80tフック重量W5＝2.10ｔ

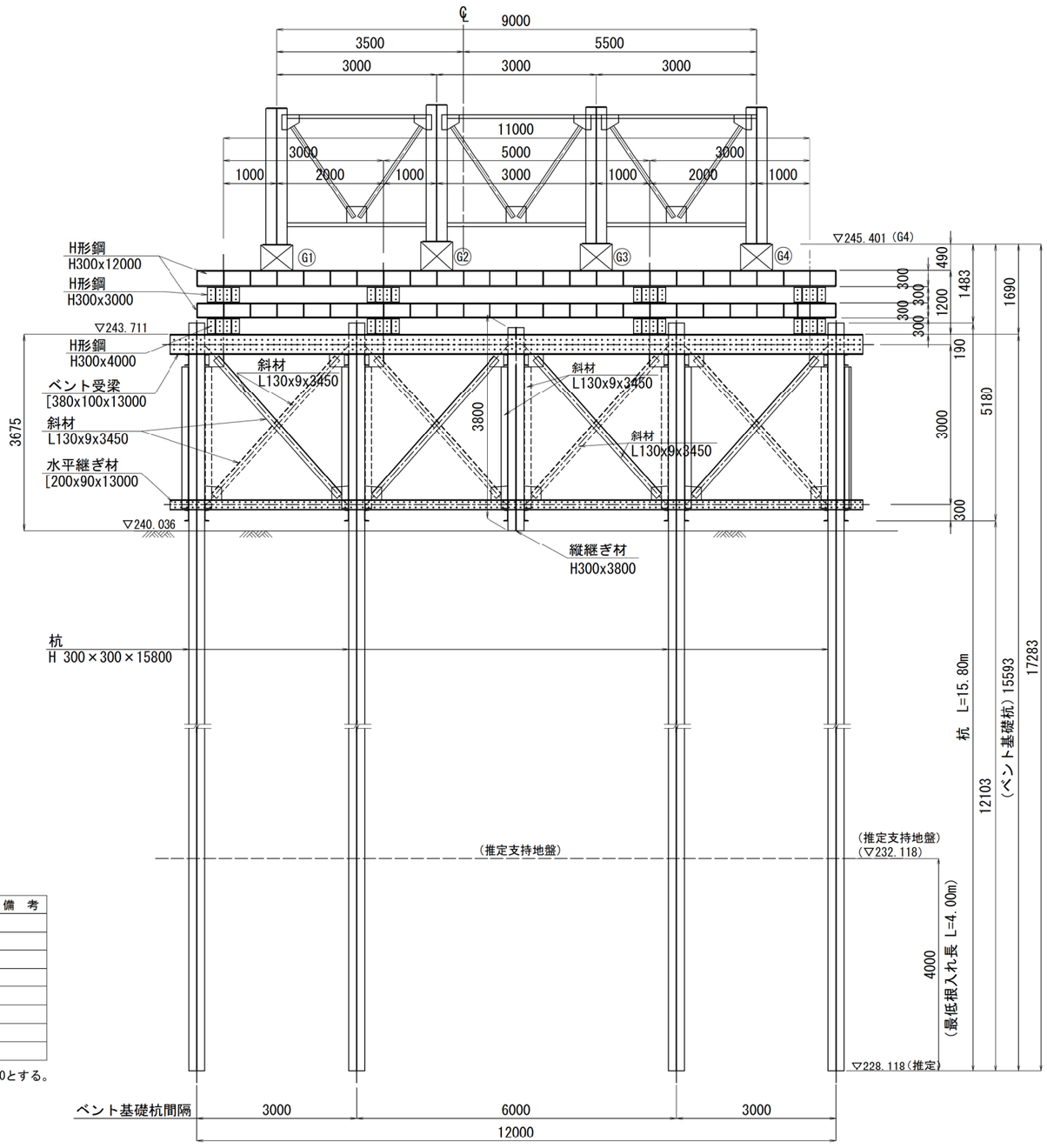
工事名			
図面名	架設計画図		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

ベントB1基礎杭図（参考図） S = 1:50

側 面 図



断 面 図

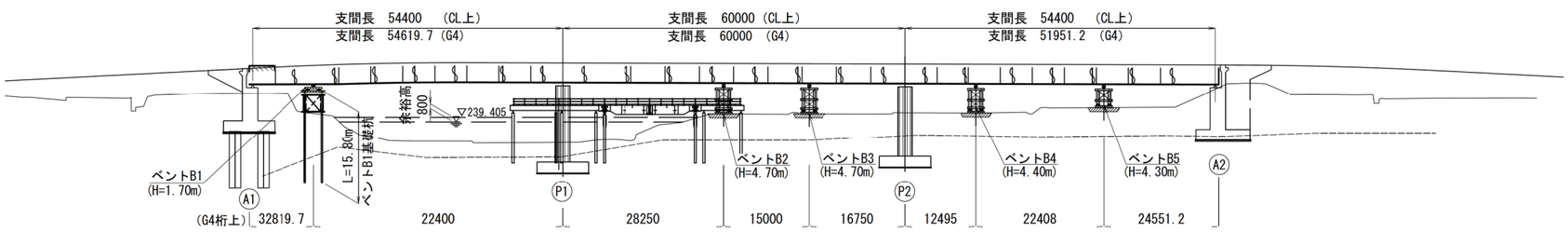


数量表 （ベントB1基礎杭）

種 別	部 材	長さ(mm)	数 量	単位質量 (kg/m)	重量 (kg)	備 考
杭材	H 300x300x10/15	15800	8 本	93.0	11755.0	
ベント受梁	[380x100x13/16.5	13000	4 本	62.0	3224.0	
縦継ぎ材	H 300x300x10/15	3800	2 本	93.0	707.0	
水平継ぎ材	[200x90x8/13.5	13000	4 本	30.3	1576.0	
	[200x90x8/13.5	4000	20 本	30.3	2424.0	
斜材	L 130x130x9/12	3450	26 本	17.9	1607.0	
雑品				上記計の5%	1065.0	
				合計	22358.0	

注： 材質はSS400とする。

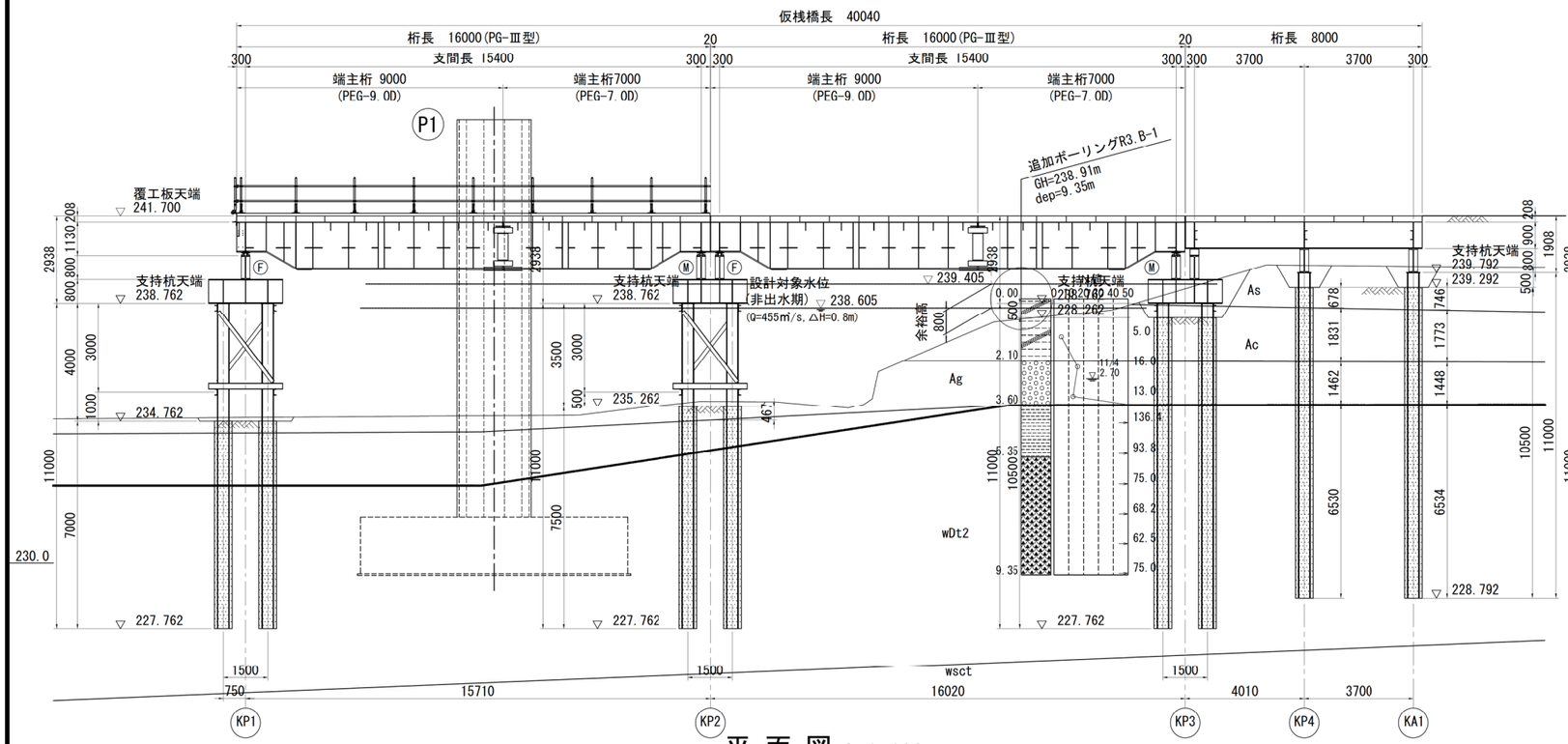
配 置 図



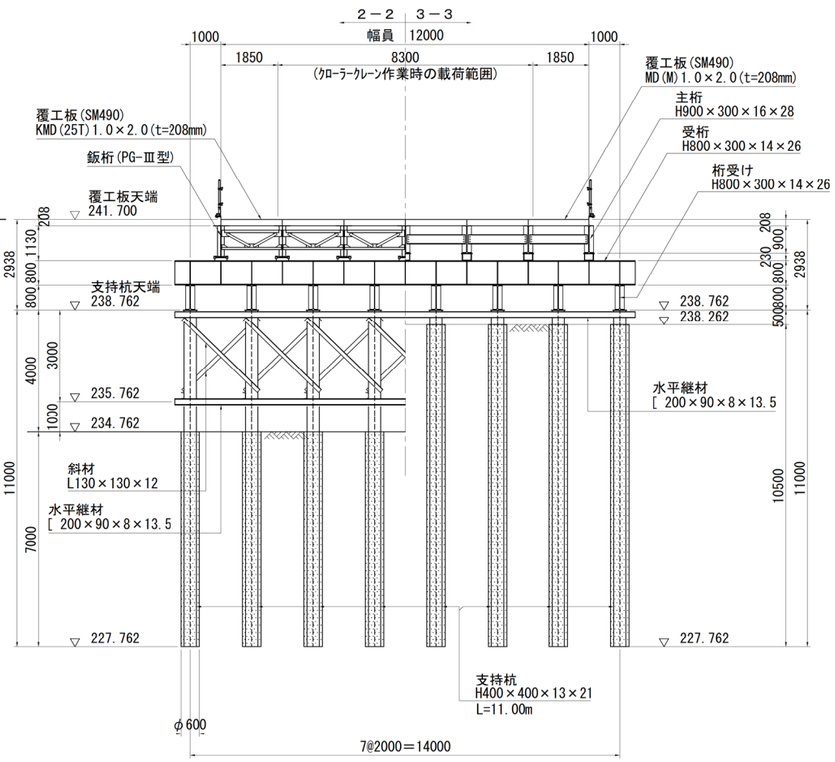
工事名	
図面名	ベントB1基礎杭図
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工工事用仮橋

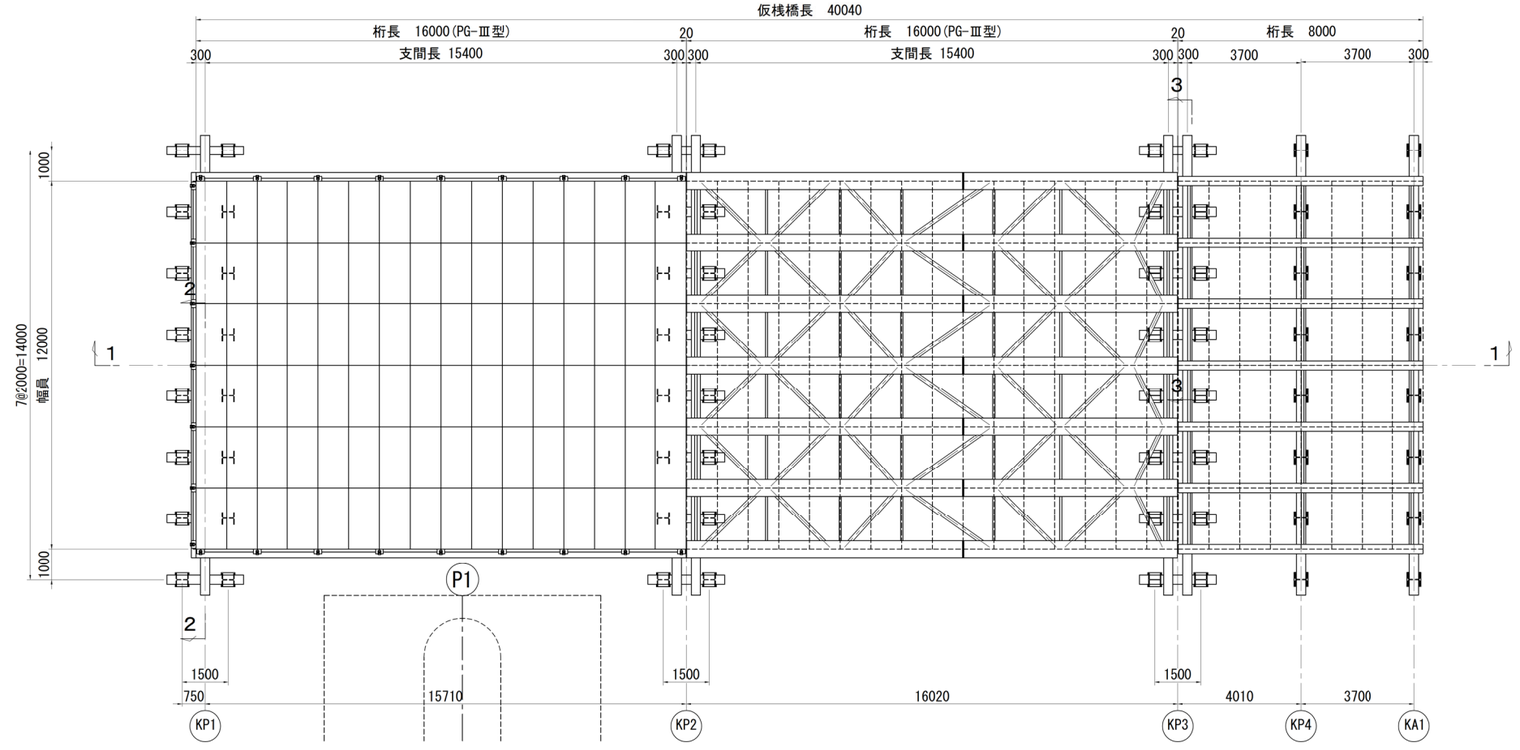
１－１ 断面図 S=1:100



断面図 S=1:100



平 面 図 S=1:100



設 計 条 件

上部工	活荷重	建設用重機荷重	300t吊クローラークレーン 作業時重量： 2,786.0 kN 吊荷重 ： 506.2 kN
	衝撃荷重	覆工板	衝撃係数 i＝0.40
		覆工板以外	鈑桁部：衝撃係数 i＝20／(50＋15.40)＝0.306
			H鋼桁：衝撃係数 i＝0.30
	たわみ		鈑桁部：L／500以下
			H鋼桁：L／400かつ25mm以下
下部工	形式		杭橋脚
	水平荷重	建設用重機荷重	活荷重×15%
	たわみ		L／400かつ25mm以下
	支持杭の施工方法		プレボーリング工法(砂充てん・振動工法による先端処理) 先端支持力度の係数 α=1.0 周面摩擦力度の係数 β=0.5
許容応力度の割増係数			1.5
準拠基準			道路土工－仮設構造物工指針 社）日本道路協会 H11.3 道路橋示方書・同解説 Ⅰ・Ⅱ 社）日本道路協会 H24.4

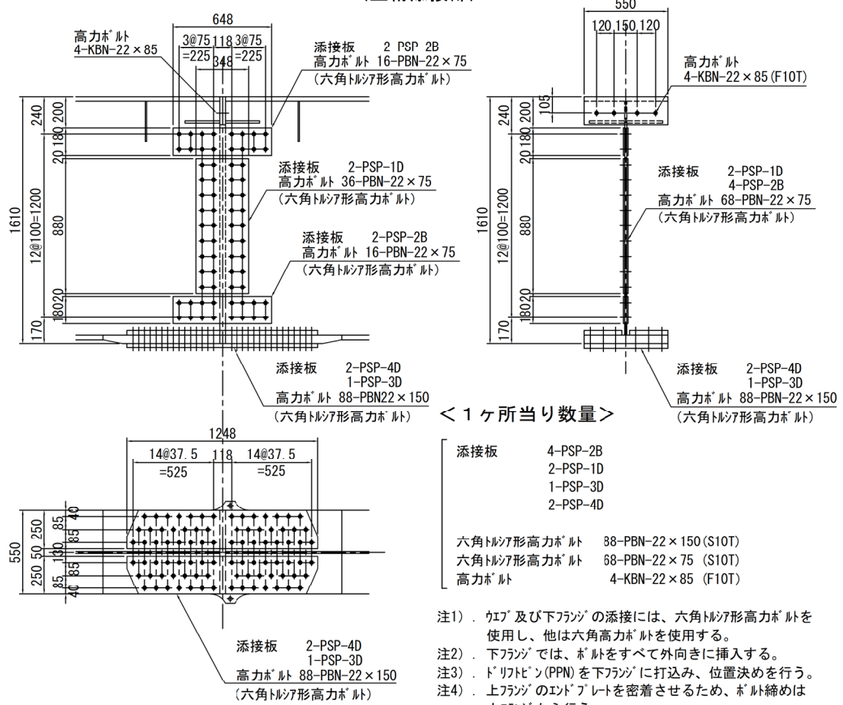
注記）1.クローラクレーン作業時における載荷範囲は、幅員中央8.30m以内とする。

工事名			
図面名	上部工工事用仮橋		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

上部工工事用仮橋詳細図(その1)

A－部詳細図 S=1:20

(主桁添接部)



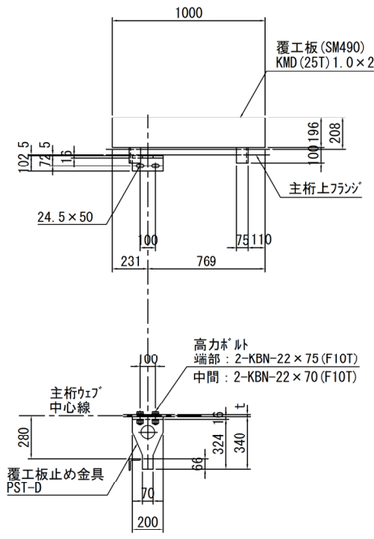
＜１ヶ所当り数量＞

添接板	4-PSP-2B
	2-PSP-1D
	1-PSP-3D
	2-PSP-4D
六角ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	88-PBN-22×150(S10T)
六角ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	68-PBN-22×75 (S10T)
高力ﾎﾞﾙﾄ	4-KBN-22×85 (F10T)

注1) . ｳｪﾌﾞ及び下ﾌﾗﾝｼﾞの添接には、六角ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄを使用し、他は六角高力ﾎﾞﾙﾄを使用する。
注2) . 下ﾌﾗﾝｼﾞでは、ﾎﾞﾙﾄをすべて外向きに挿入する。
注3) . ﾄﾞﾘﾌﾄﾋﾟﾝ(PPN)を下ﾌﾗﾝｼﾞに打込み、位置決めを行う。
注4) . 上ﾌﾗﾝｼﾞのｴﾝﾄﾞﾌﾟﾚｰﾄを密着させるため、ﾎﾞﾙﾄ締めは上ﾌﾗﾝｼﾞから行う。

覆工板止め金具取付詳細図 S=1:20

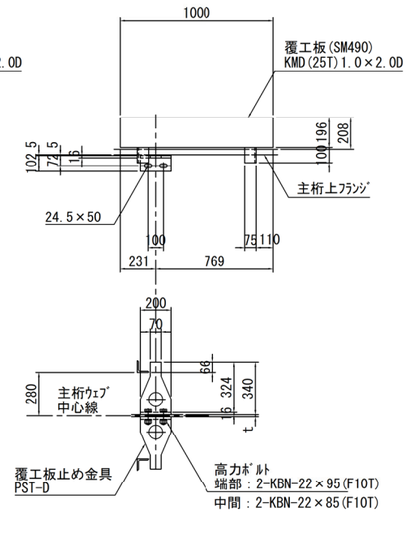
外 桁



端部
- 覆工板止金具： 1-PST-D
- 高力ﾎﾞﾙﾄ ： 2-KBN-22×75(F10T)
- 主桁ｳｪﾌﾞ厚 ： t=19mm

中間
- 覆工板止金具： 1-PST-D
- 高力ﾎﾞﾙﾄ ： 2-KBN-22×70(F10T)
- 主桁ｳｪﾌﾞ厚 ： t=13mm

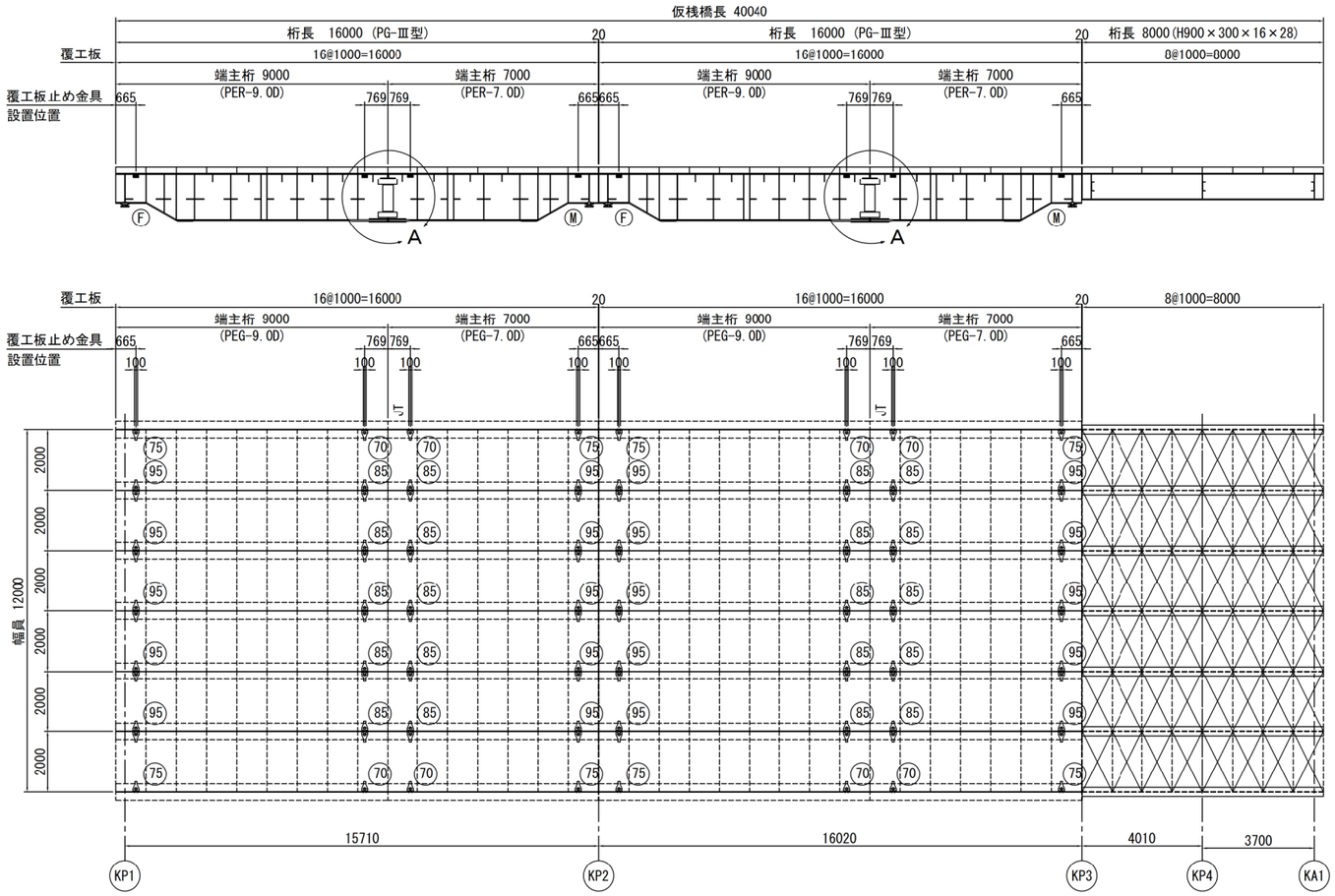
内 桁



端部
- 覆工板止金具： 2-PST-D
- 高力ﾎﾞﾙﾄ ： 2-KBN-22×95(F10T)
- 主桁ｳｪﾌﾞ厚 ： t=19mm

中間
- 覆工板止金具： 2-PST-D
- 高力ﾎﾞﾙﾄ ： 2-KBN-22×85(F10T)
- 主桁ｳｪﾌﾞ厚 ： t=13mm

覆工板および覆工板止め金具配置図 S=1:100



覆工板および覆工板止め金具数量表

品 名	記 号	単位	鈑桁部 KP1～KP2	鈑桁部 KP2～KP3	H鋼桁部 KP3～KP4	H鋼桁部 KP4～KA1	合計数量
覆工板(SM490)	KMD(25T)-1.0×2.0D	枚	96	96	－	－	192
		(㎡)	(192.0㎡)	(192.0㎡)	－	－	(384.0㎡)
覆工板(SM490)	MD(M)-1.0×2.0	枚	－	－	24	24	48
		(㎡)	－	－	(48.0㎡)	(48.0㎡)	(96.0㎡)
覆工板止め金具	PST-D	個	48	48	－	－	96
高力ﾎﾞﾙﾄ	KBN-22×95(F10T)	本	20	20	－	－	40
〃	KBN-22×85(F10T)	本	20	20	－	－	40
〃	KBN-22×75(F10T)	本	8	8	－	－	16
〃	KBN-22×70(F10T)	本	8	8	－	－	16

添接部数量表

品 名	記 号	単位	鈑桁部 KP1～KP2	鈑桁部 KP2～KP3	H鋼桁部 KP3～KP4	H鋼桁部 KP4～KA1	合計数量
		ヶ所	7	7	－	－	14
添接板	PSP-2B	枚	28	28	－	－	56
〃	PSP-1D	枚	14	14	－	－	28
〃	PSP-3D	枚	7	7	－	－	14
〃	PSP-4D	枚	14	14	－	－	28
六角ﾄﾙｼｱ形高力ﾎﾞﾙﾄ	PBN-22×150(S10T)	本	616	616	－	－	1,232
〃	PBN-22× 75(S10T)	本	476	476	－	－	952
〃	KBN-22× 85(F10T)	本	28	28	－	－	56

- 覆工板 KMD(25T)-1.0×2.0D
- 覆工板 MD(M)-1.0×2.0

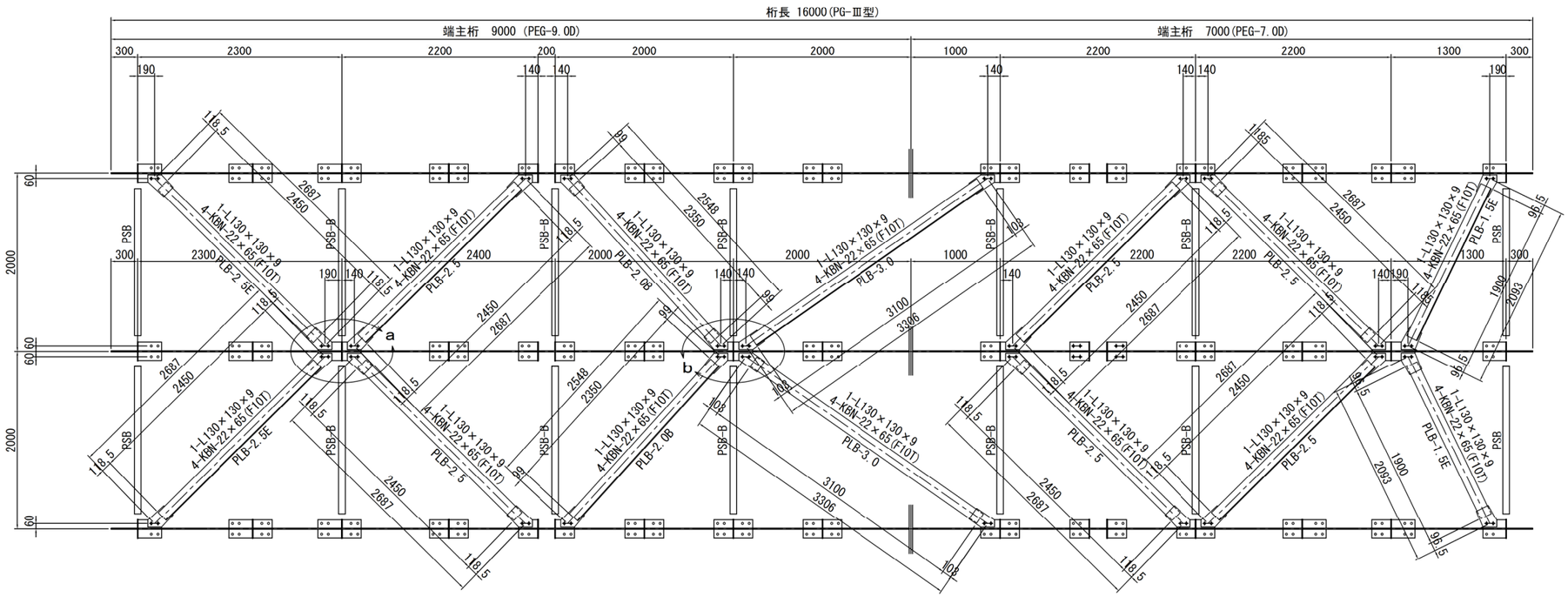
- (95) :高力ﾎﾞﾙﾄ 2-KBN-22×95
- (85) :高力ﾎﾞﾙﾄ 2-KBN-22×85
- (75) :高力ﾎﾞﾙﾄ 2-KBN-22×75
- (70) :高力ﾎﾞﾙﾄ 2-KBN-22×70

- ：覆工板止金具 2-PST-D
- ：覆工板止金具 1-PST-D

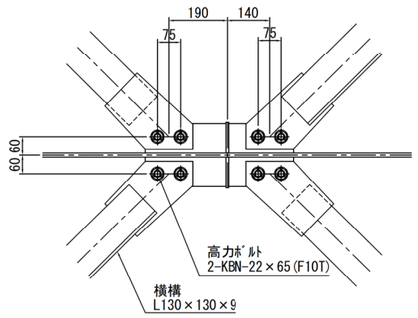
工事名	
図面名	上部工工事用仮橋詳細図(その1)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工工事用仮橋詳細図(その2)

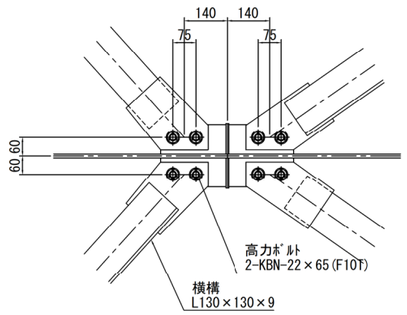
横構取付詳細図 S=1:30



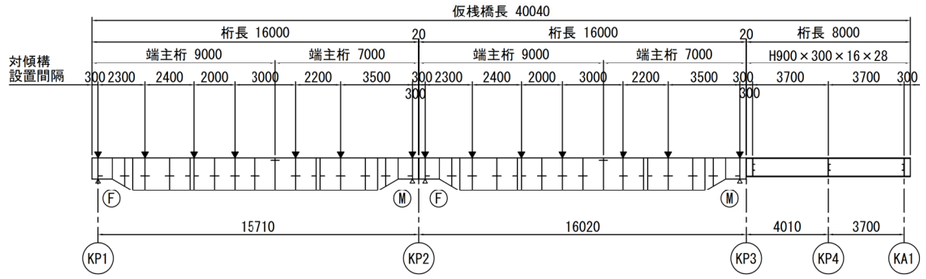
ａ-部 詳細図 S=1:10

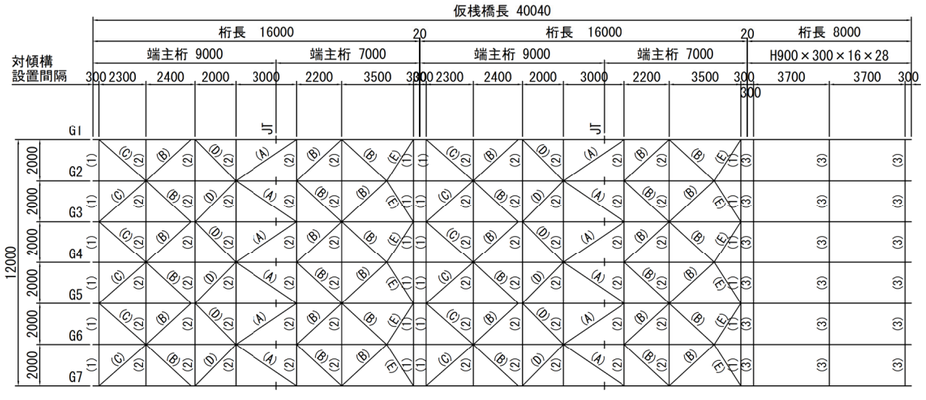


ｂ-部 詳細図 S=1:10

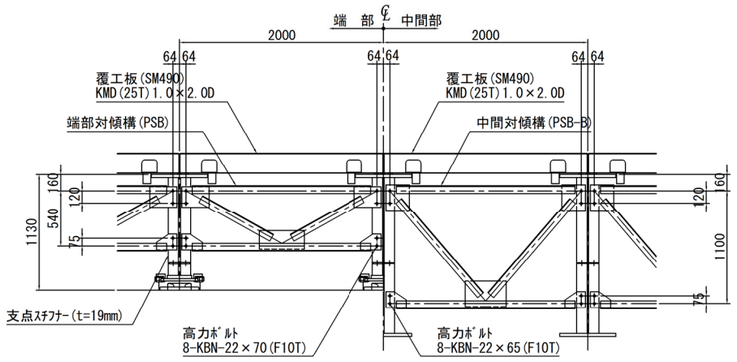


対傾構および横継材配置図 S=1:150

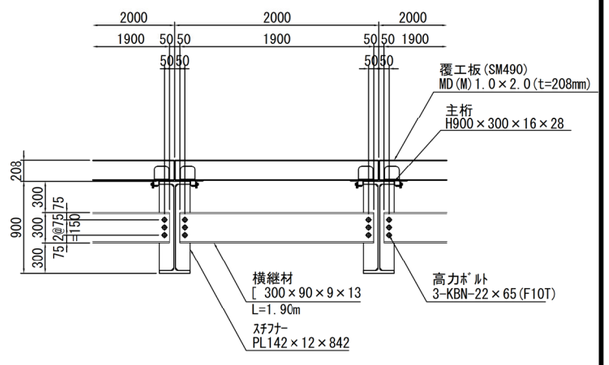




対傾構取付詳細図 S=1:20



横継材取付詳細図 S=1:30



対傾構および横継材数量表

品 名	記 号	単位	鈑桁部 KP1～KP2	鈑桁部 KP2～KP3	H鋼桁部 KP3～KP4	H鋼桁部 KP4～KA1	合計数量
端部対傾構(1)	PSB	体	12	12	－	－	24
中間対傾構(2)	PSB-B	体	30	30	－	－	60
横継材	[300×90×9×13	体	－	－	12	6	18
高力ﾎﾞﾙﾄ	KBN-22×70(F10T)	本	96	96	－	－	192
〃	KBN-22×65(F10T)	本	240	240	72	36	588

横構数量表

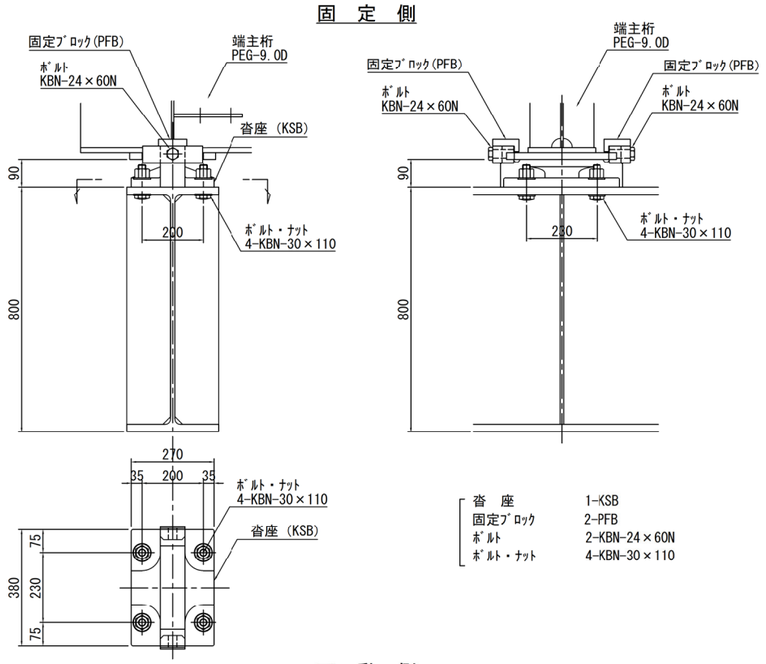
品 名	記 号	単位	鈑桁部 KP1～KP2	鈑桁部 KP2～KP3	H鋼桁部 KP3～KP4	H鋼桁部 KP4～KA1	合計数量
横構(A)	PLB-3.0	体	6	6	－	－	12
横構(B)	PLB-2.5	体	18	18	－	－	36
横構(C)	PLB-2.5E	体	6	6	－	－	12
横構(D)	PLB-2.0B	体	6	6	－	－	12
横構(E)	PLB-1.5E	体	6	6	－	－	12
高力ﾎﾞﾙﾄ	KBN-22×65(F10T)	本	168	168	－	－	336

工事名	
図面名	上部工工事用仮橋詳細図(その2)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工工事用仮橋詳細図(その3)

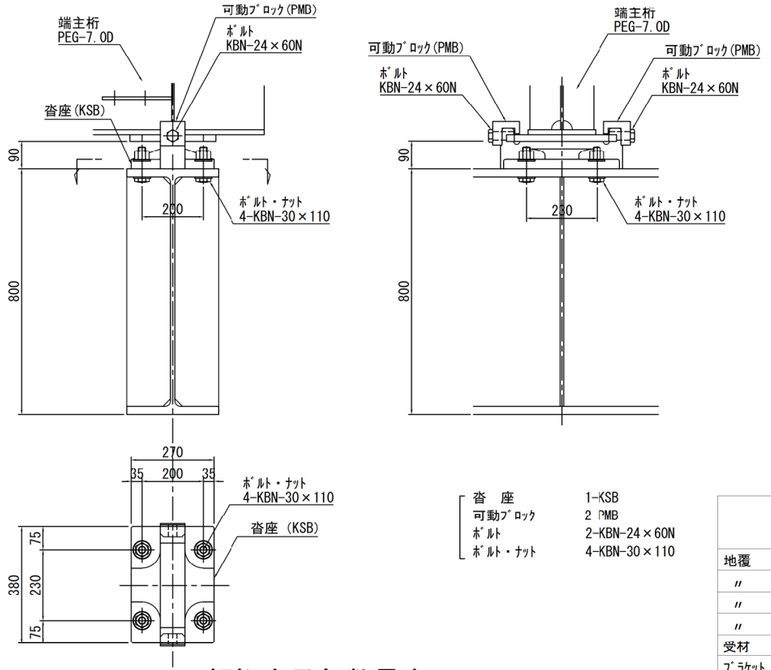
支承部取付詳細図 S=1:10

固　定　側



沓　座	1-KSB
固定ﾌﾞﾛｯｸ	2-PFB
ﾎﾞﾙﾄ	2-KBN-24×60N
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ	4-KBN-30×110

可　動　側

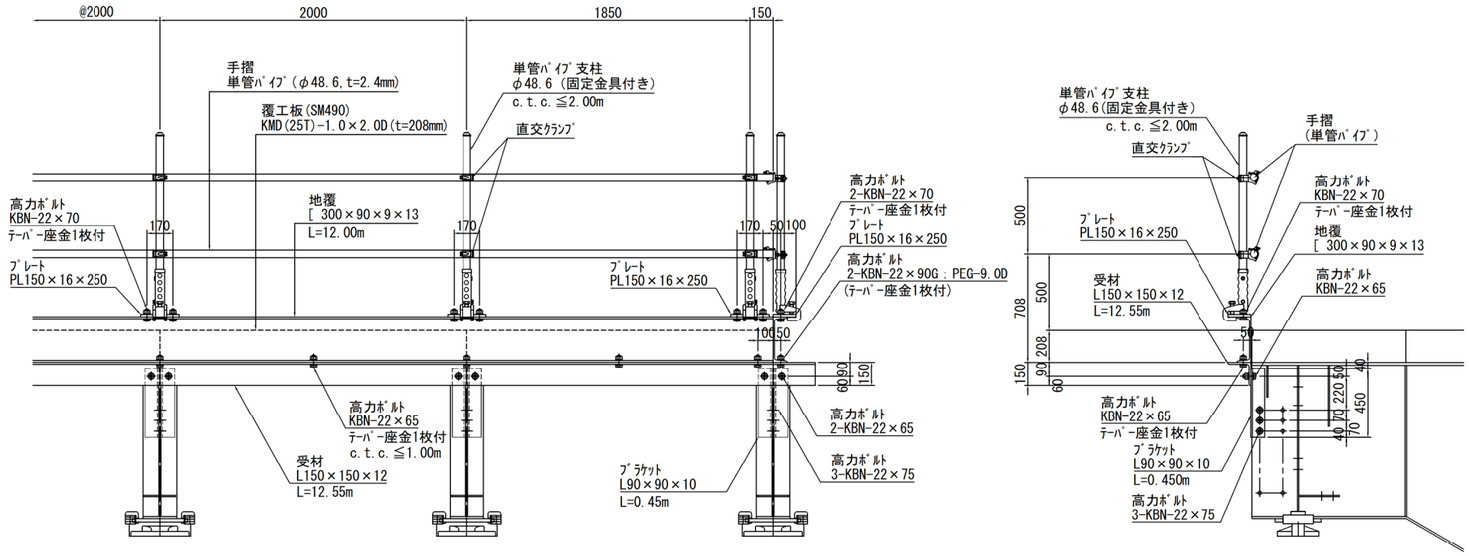


沓　座	1-KSB
可動ﾌﾞﾛｯｸ	2 PMB
ﾎﾞﾙﾄ	2-KBN-24×60N
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ	4-KBN-30×110

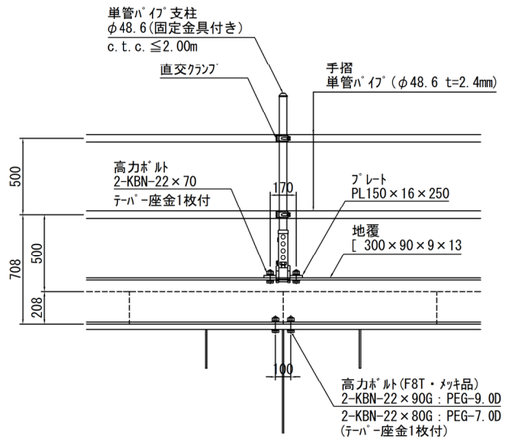
鈑桁支承部数量表

品　名	記　号	単位	鈑桁部 KP1～KP2	鈑桁部 KP2～KP3	H鋼桁部 KP3～KP4	H鋼桁部 KP4～KA1	合計数量
沓座	KSB	個	14	14	－	－	28
固定ﾌﾞﾛｯｸ	PFB	個	14	14	－	－	28
可動ﾌﾞﾛｯｸ	PMB	個	14	14	－	－	28
ﾎﾞﾙﾄ	KBN-24×60N	枚	28	28	－	－	56
ﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄ	KBN-30×110	本	56	56	－	－	112

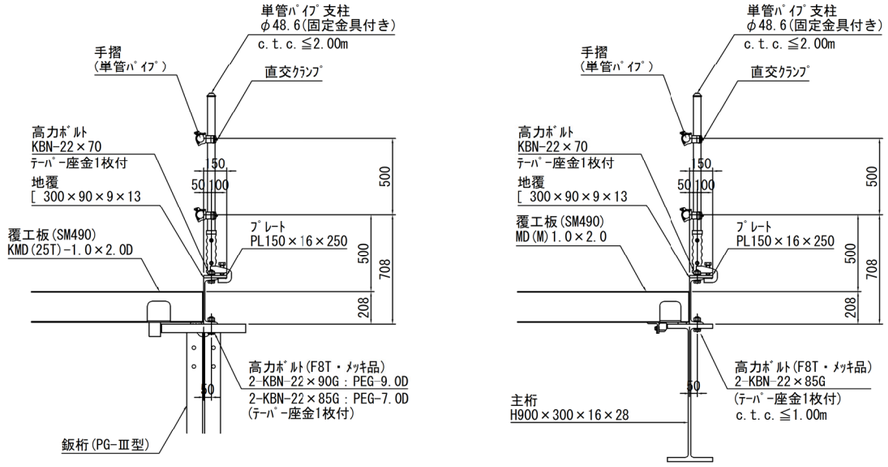
桟橋部端部の仮設高欄取付詳細図 S=1:20



仮設高欄取付詳細図(鈑桁部) S=1:20



仮設高欄取付詳細図(H鋼桁部) S=1:20



地覆および取付用部材数量表

品名	記　号	単位	長さ	鈑桁部 KP1～KP2	鈑桁部 KP2～KP3	H鋼桁部 KP3～KP4	H鋼桁部 KP4～KA1	合計数量	合計数量
地覆	[300×90×9×13	(m)	12.000m	1	－	－	－	1	
〃	[300×90×9×13	(m)	9.000m	2	2	－	－	4	
〃	[300×90×9×13	(m)	7.000m	2	2	－	－	4	
〃	[300×90×9×13	(m)	4.000m	－	－	2	2	4	
受材	L150×150×12	(m)	12.550m	1	－	－	－	1	
ﾌﾞﾗｹｯﾄ	L90×90×10	(m)	0.450m	14	－	－	－	14	
ﾌﾟﾚｰﾄ	PL150×16×250	枚	－	25	18	6	6	55	
高力ﾎﾞﾙﾄ(F8T・ﾒｯｷ品)	KBN-22×90G	本	－	20	20	－	－	40	主桁＋地覆
〃	KBN-22×85G	本	－	8	8	10	10	36	主桁＋地覆
高力ﾎﾞﾙﾄ(F10T)	KBN-22×65	本	－	14	－	－	－	14	受材＋地覆
〃	KBN-22×70	本	－	50	36	12	12	110	地覆＋ﾌﾟﾚｰﾄ
〃	KBN-22×75	本	－	21	－	－	－	21	主桁＋ﾌﾞﾗｹｯﾄ
〃	KBN-22×65	本	－	14	－	－	－	14	受材＋ﾌﾞﾗｹｯﾄ
ﾃｰﾊﾟｰ座金	M22用	本	－	92	64	22	22	200	

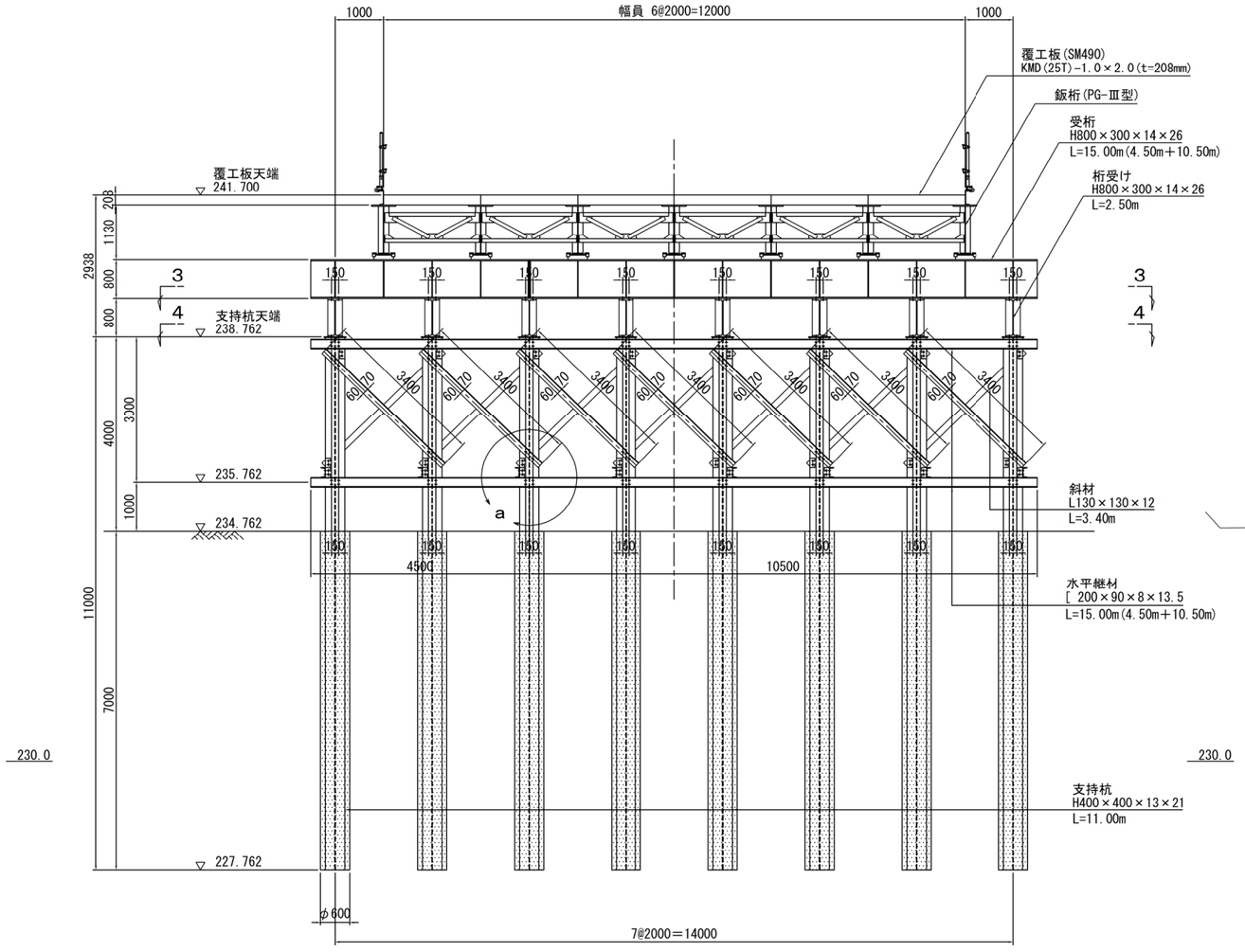
仮設高欄数量表

品 名	記　号	単位	長さ	鈑桁部 KP1～KP2	鈑桁部 KP2～KP3	H鋼桁部 KP3～KP4	H鋼桁部 KP4～KA1	合計数量
単管ﾊﾟｲﾌﾟ(手摺)	φ48.6(t=2.4mm)	(m)	16.000m	4	4	－	－	8
〃	φ48.6(t=2.4mm)	(m)	12.000m	2	－	－	－	2
〃	φ48.6(t=2.4mm)	(m)	4.000m	－	－	4	4	8
単管ﾊﾟｲﾌﾟ支柱	φ48.6(固定金具付)	本		25	18	6	6	55
単管ｼﾞｮｲﾝﾄ		個		16	12	－	－	28
直交ｸﾗﾝﾌﾟ		個		50	36	12	12	110

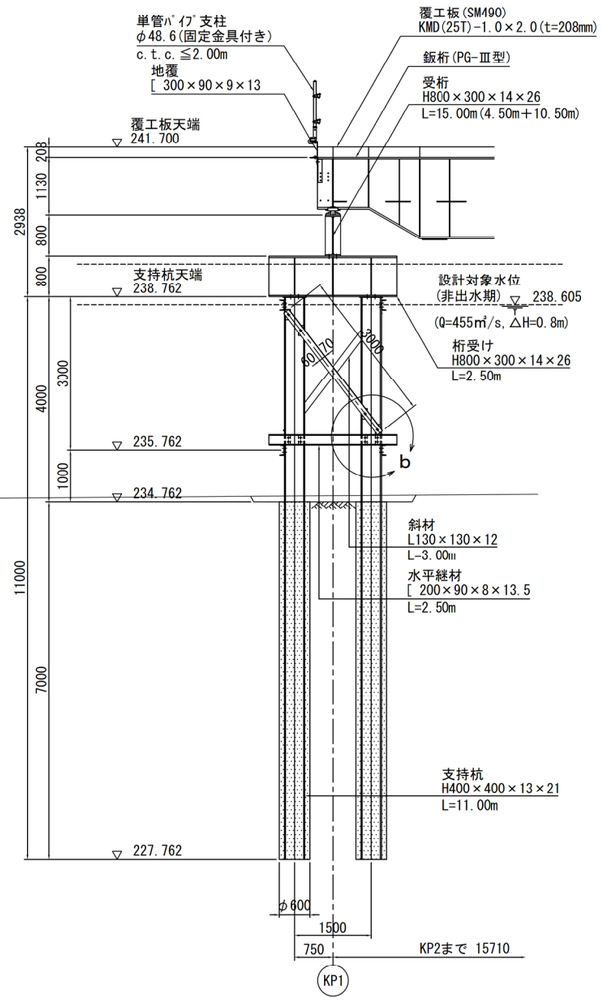
工事名	
図面名	上部工工事用仮橋詳細図(その3)
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工工事用仮橋詳細図（その4）

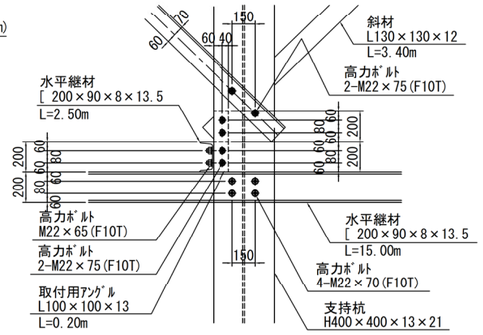
１－１断面図 S=1:60



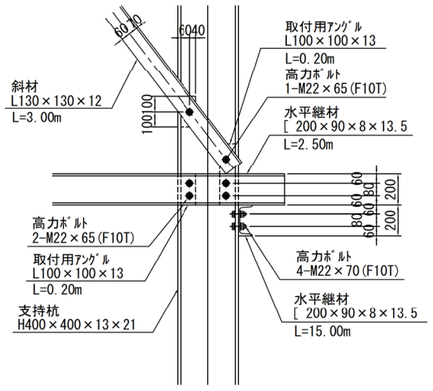
２－２断面図 S=1:60



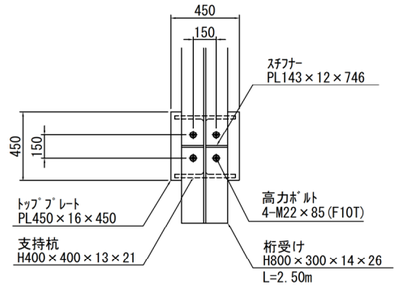
ａ-部 詳細図 S=1:20



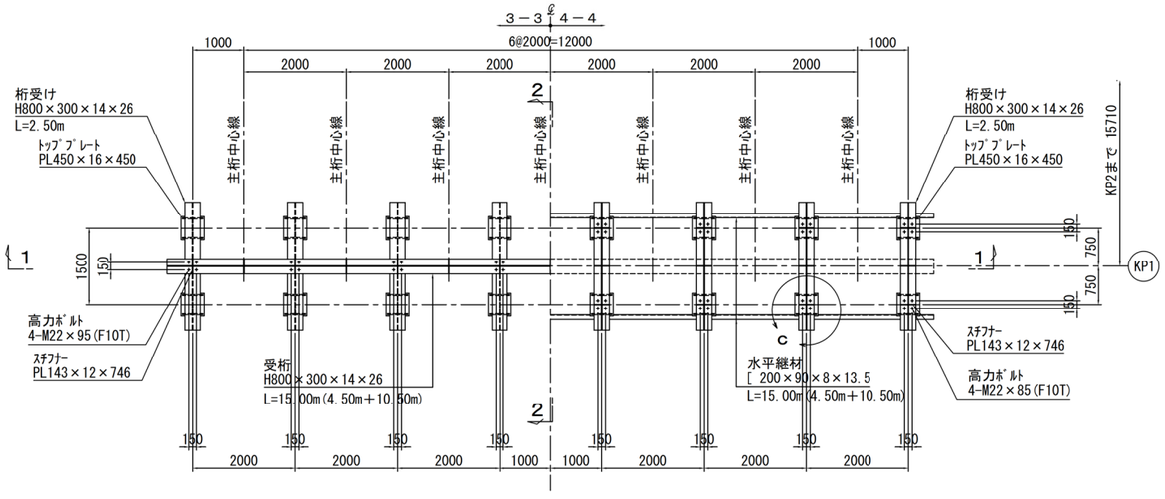
ｂ-部 詳細図 S=1:20



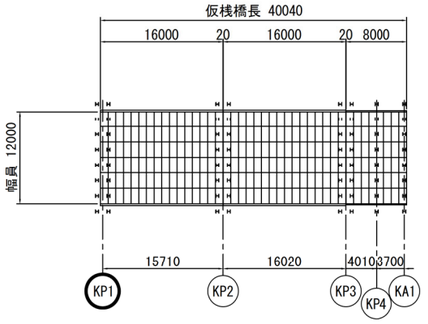
ｃ-部 詳細図 S=1:20



平 面 図 S=1:60



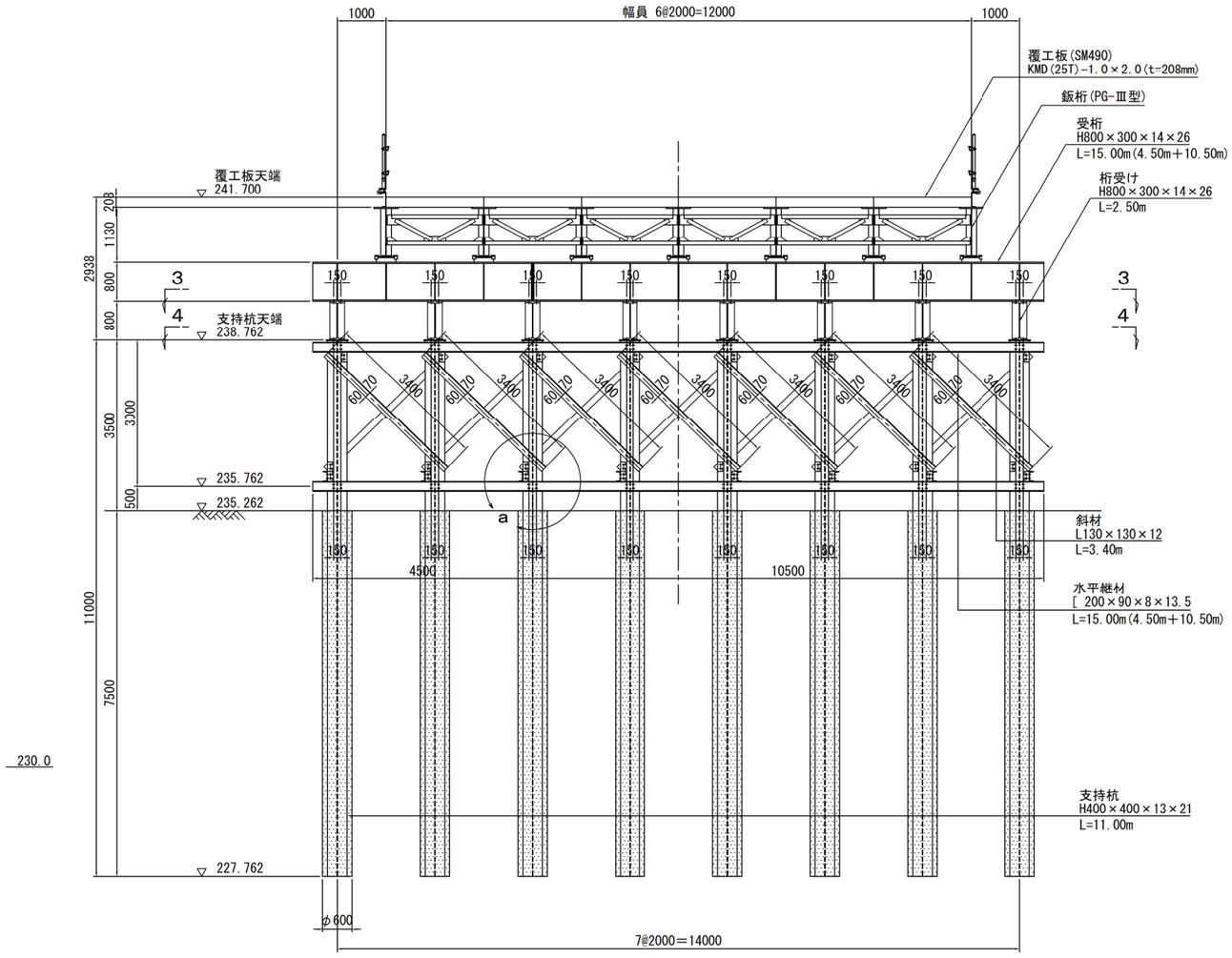
Key Plan



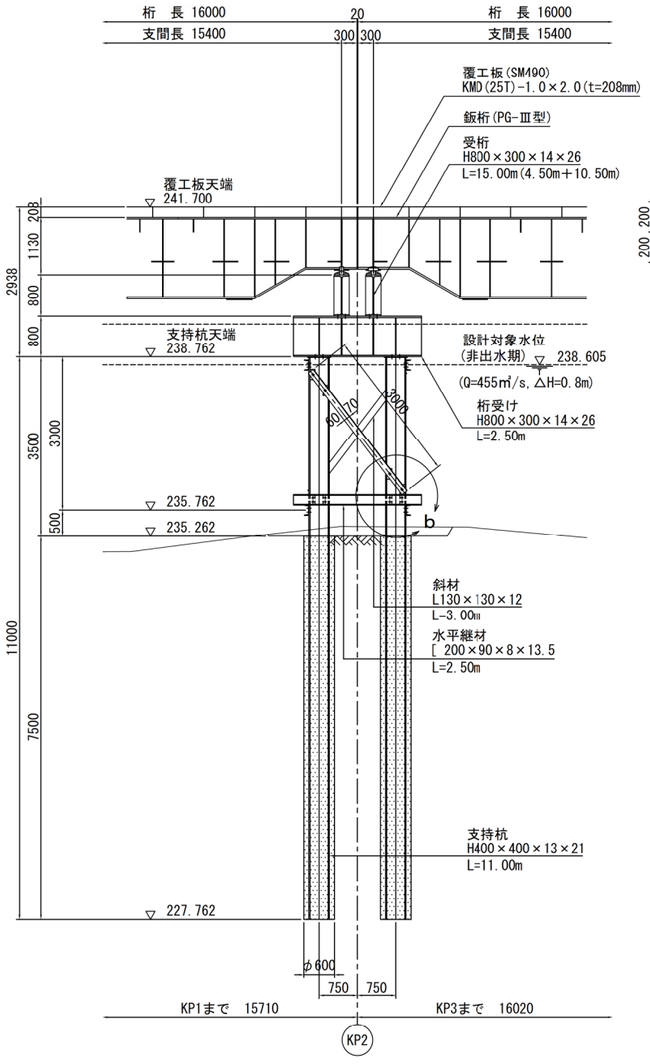
工事名			
図面名	上部工工事用仮橋詳細図(その4)		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

上部工工事用仮橋詳細図(その5)

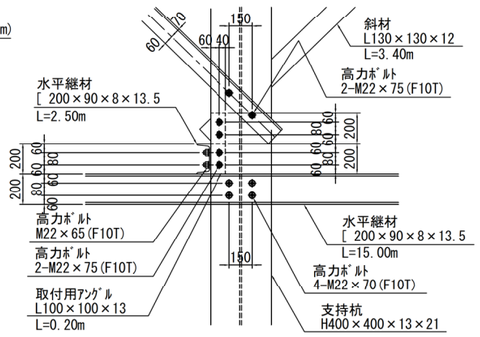
１－１断面図 S=1:60



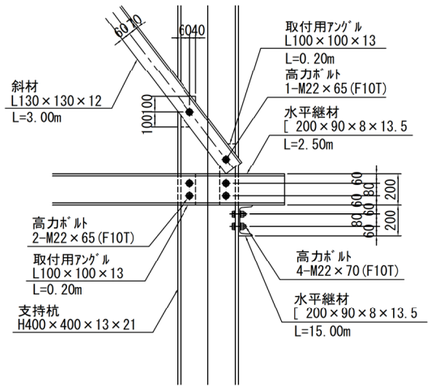
桁長 16000 / 支間長 15400



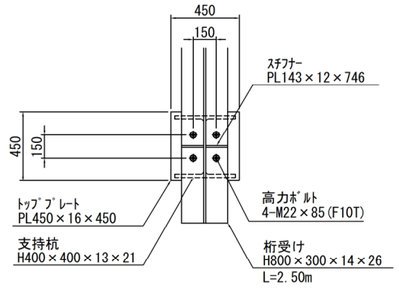
ａ-部 詳細図 S=1:20



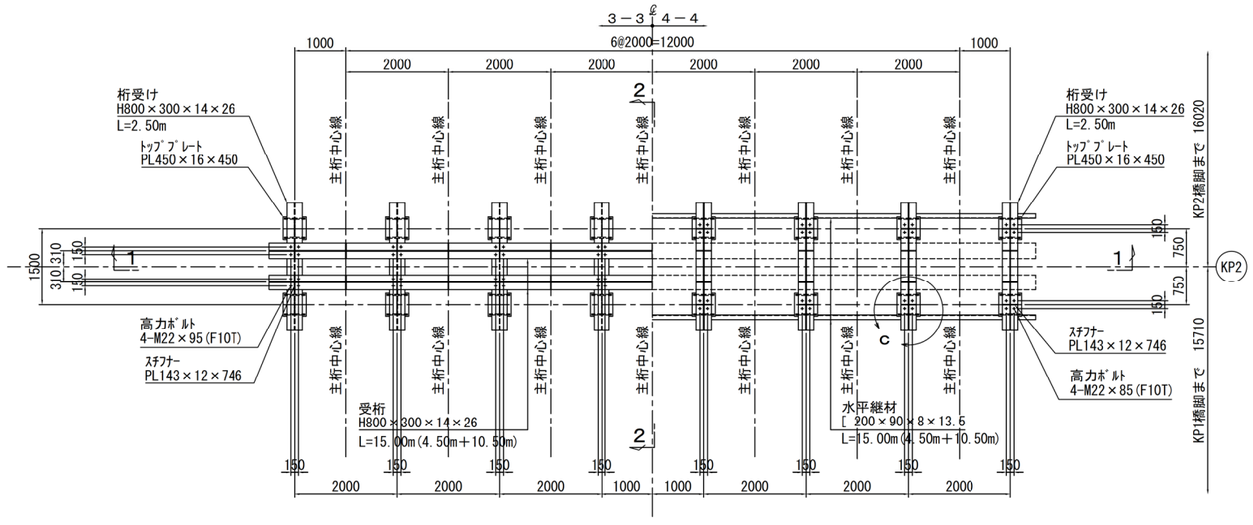
ｂ-部 詳細図 S=1:20



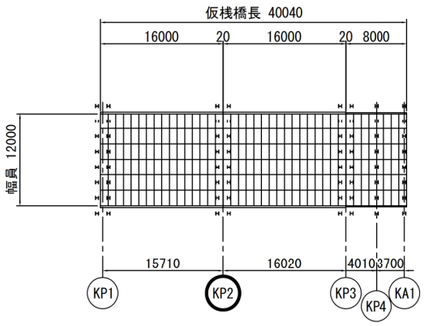
ｃ-部 詳細図 S=1:20



平面図 S=1:60



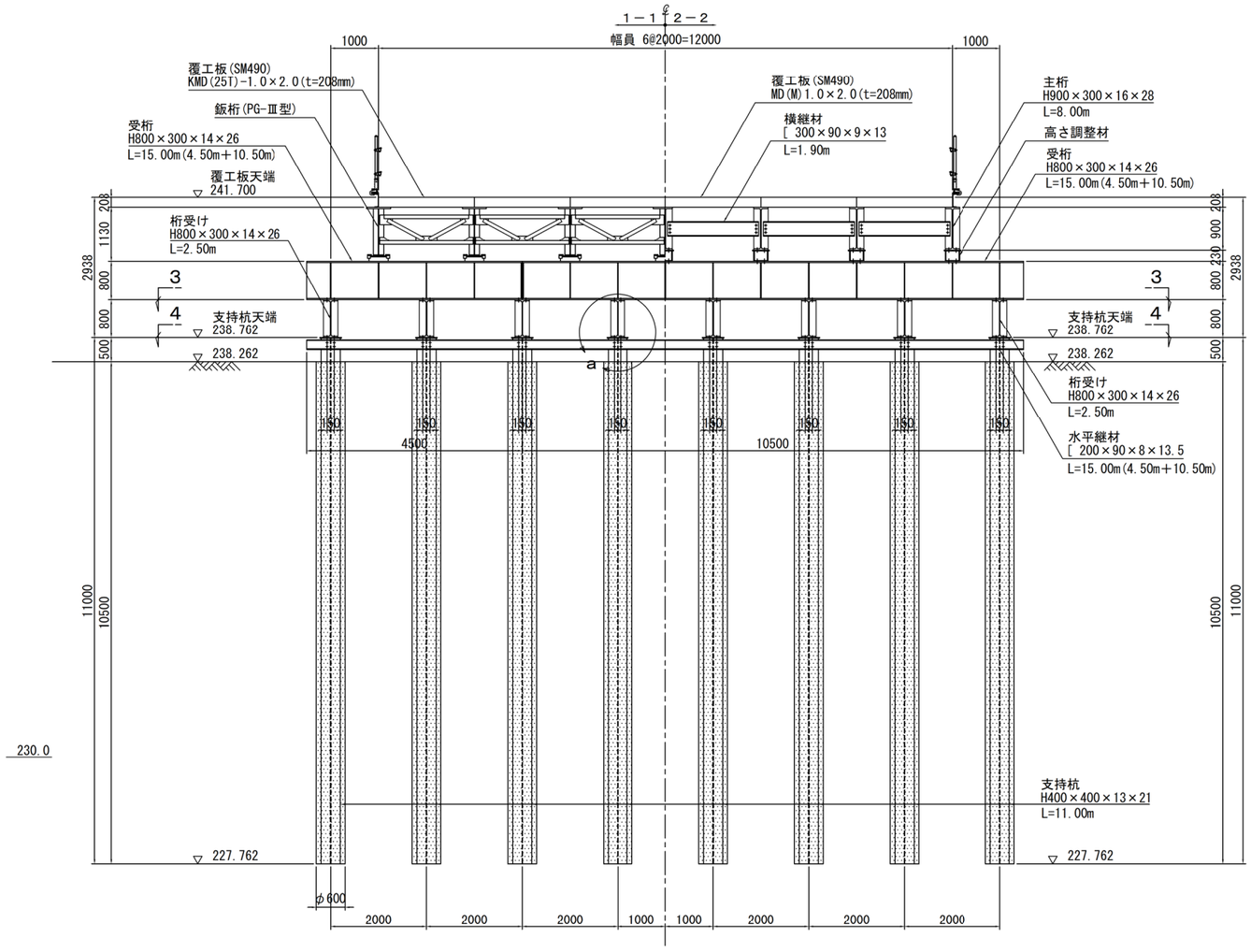
Key Plan



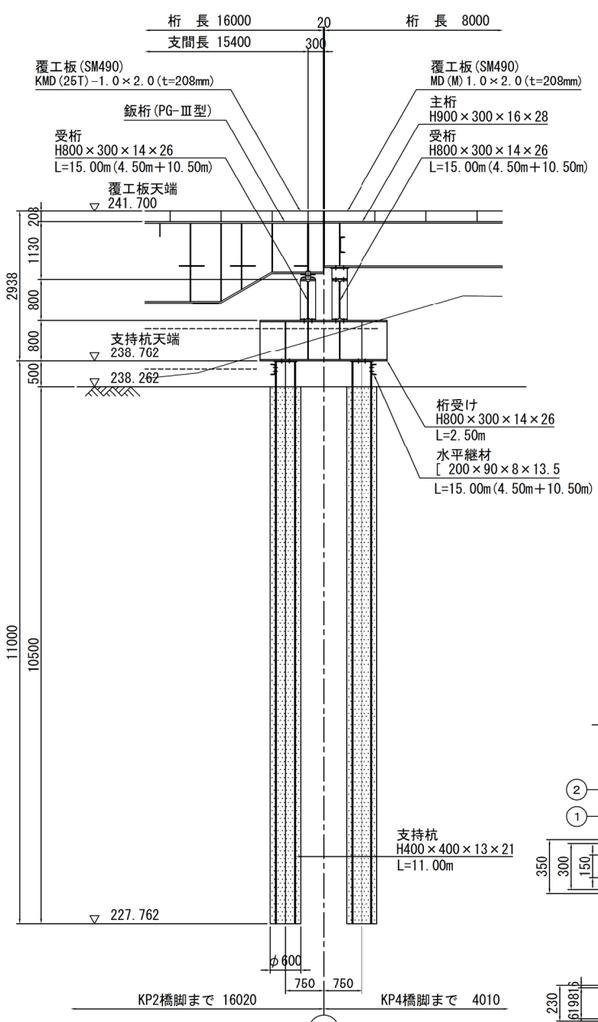
工事名	
図面名	上部工工事用仮橋詳細図(その5)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工工事用仮橋詳細図(その6)

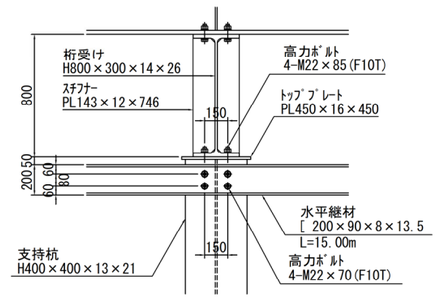
断 面 図 S=1:60



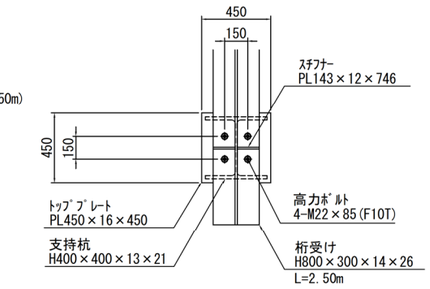
５－５断面図 S=1:60



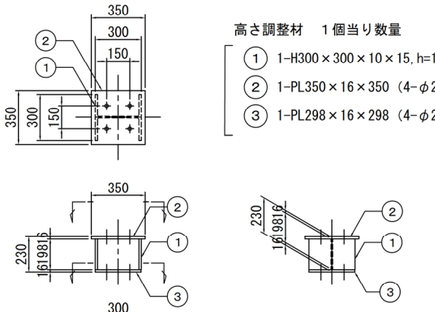
ａ－部 詳細図 S=1:20



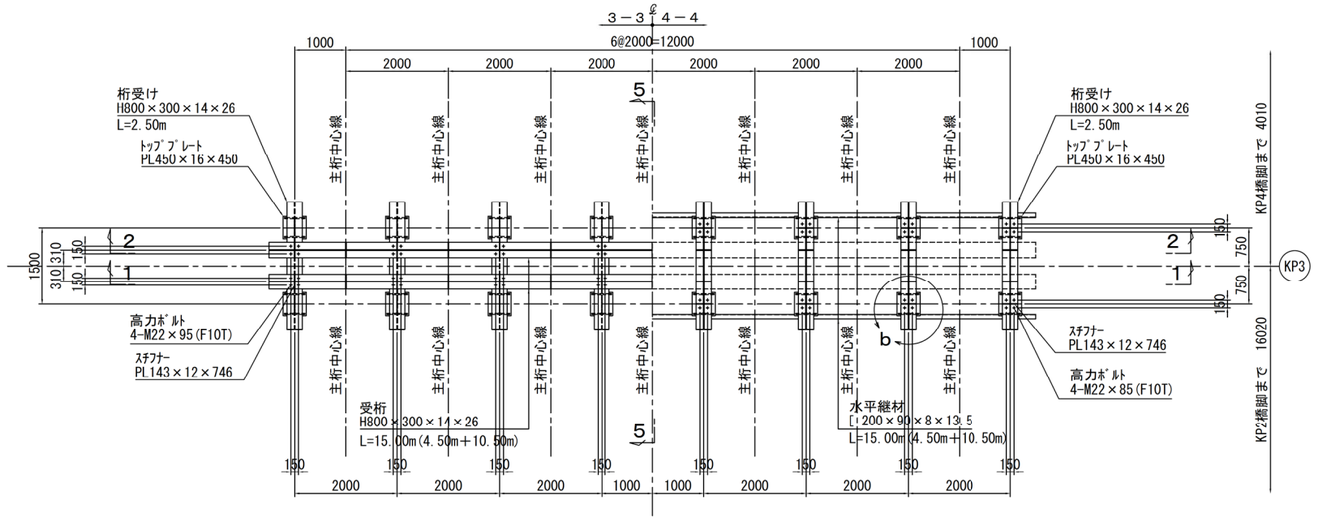
ｂ－部 詳細図 S=1:20



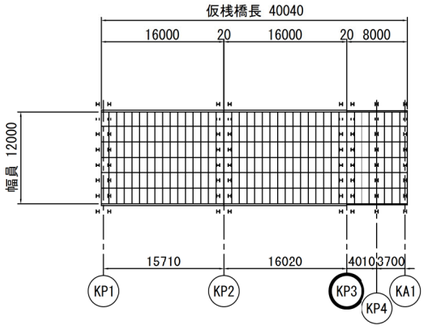
高さ調整材形状寸法図 S-1:20



平 面 図 S=1:60



Key Plan



高さ調整材 材料表

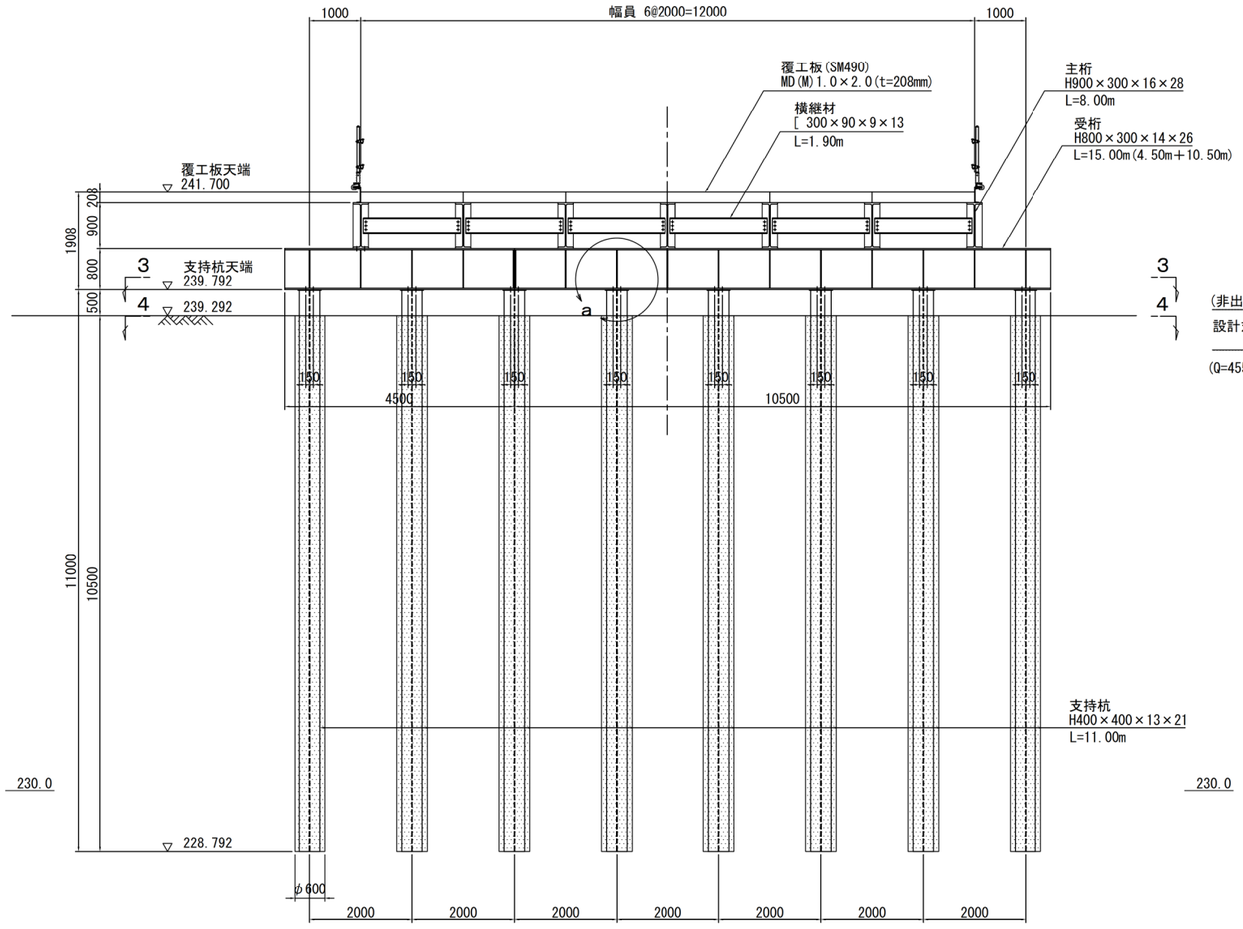
製作数 7体

品番	品名	断面寸法 (mm)	長 さ (mm)	単品質量 (kg)	員数	質 量 (kg)
①	本体	H300×300×10×15	198	18.41	1	18.4
②	トッププレート	PL350×16×350		15.39	1	15.4
③	ベースプレート	PL298×16×298		11.15	1	11.2
				合計質量(kg)：		45.0

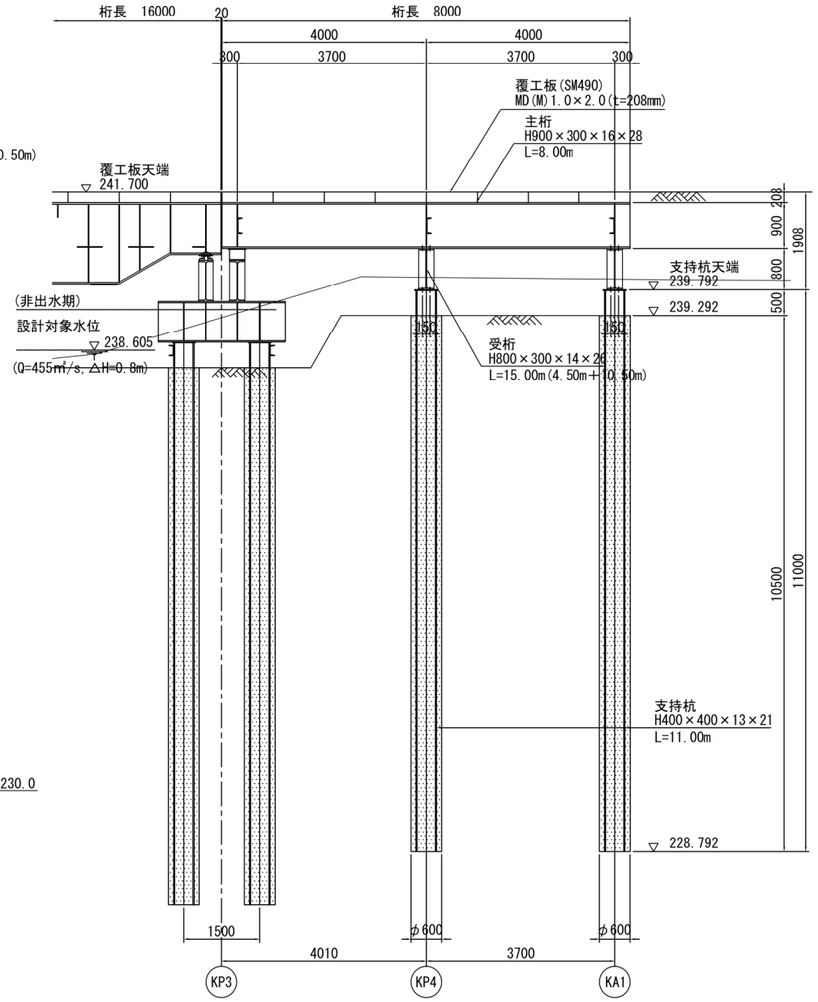
工事名	
図面名	上部工工事用仮橋詳細図(その6)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

上部工工事用仮橋詳細図(その7)

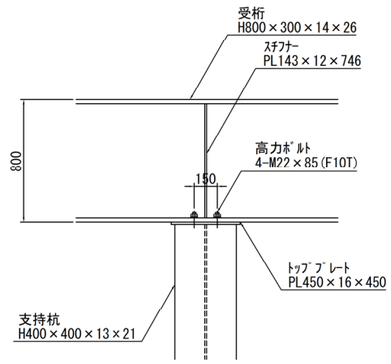
１－１断面図 S=1:60



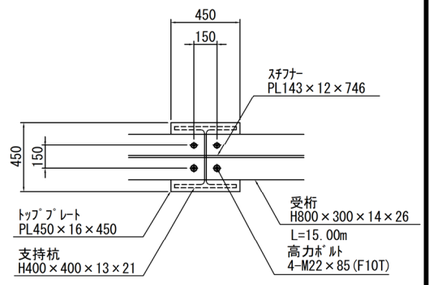
２－２断面図 S=1:60



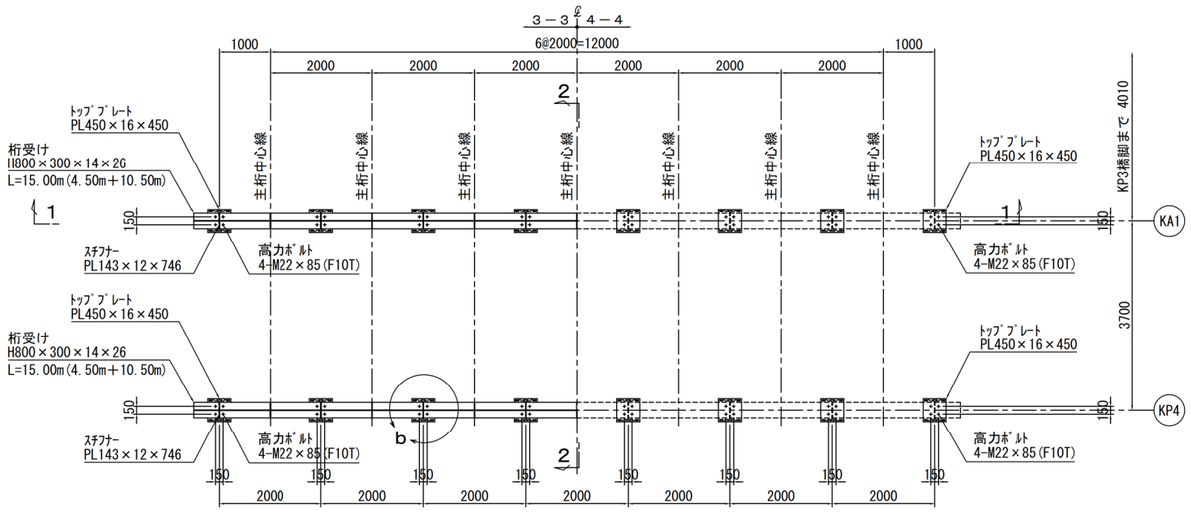
ａ-部 詳細図 S=1:20



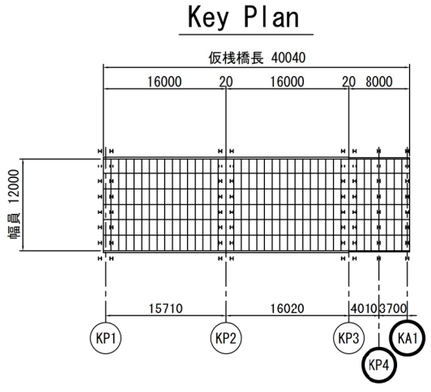
ｂ-部 詳細図 S=1:20



平 面 図 S=1:60



Key Plan



工事名	
図面名	上部工工事用仮橋詳細図(その7)
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 / 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

施工手順図（その8）　※非出水期

■上部工施工手順

【その8】
1. 工事用仮桟橋設置
   ・上部工架設

2. 支承設置

3. 鋼ベント設置（5基）
   ・B1，B2，（杭基礎）WJ併用油圧バイブロ
   ・B3，B4，B5（砕石置換基礎）

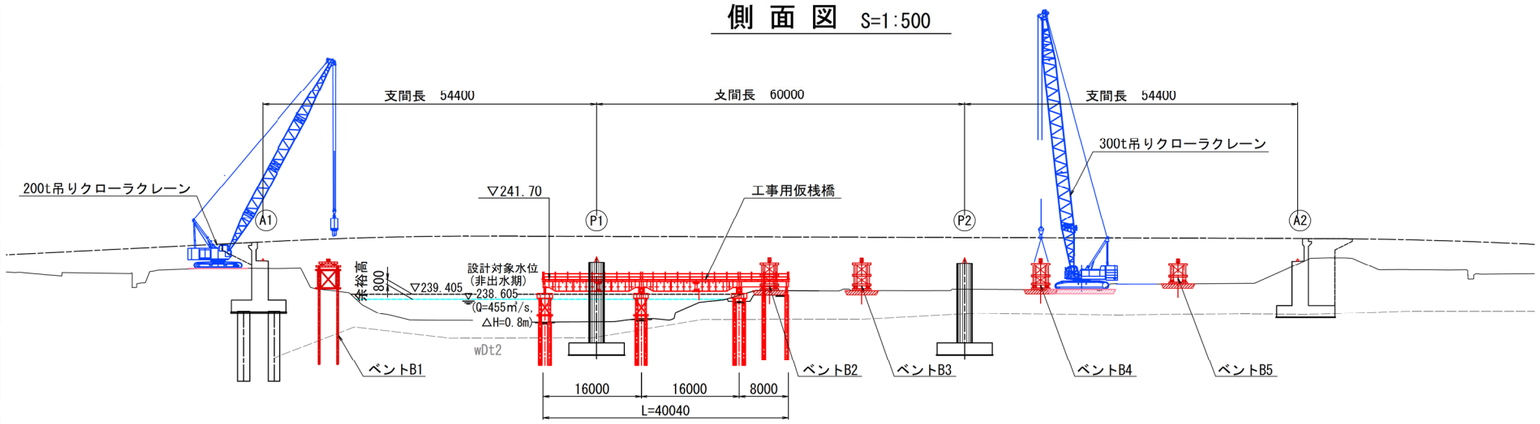
【その9】
4. 桁架設，検査路架設
   ・桁地組ヤードは高水敷または桟橋上
   ・A2側より，1主桁づつ順次架設
   （300tクローラークレーン）

【その10】
5. 工事用仮桟橋等撤去
   ・鋼ベント撤去（5基）
   ・桟橋撤去

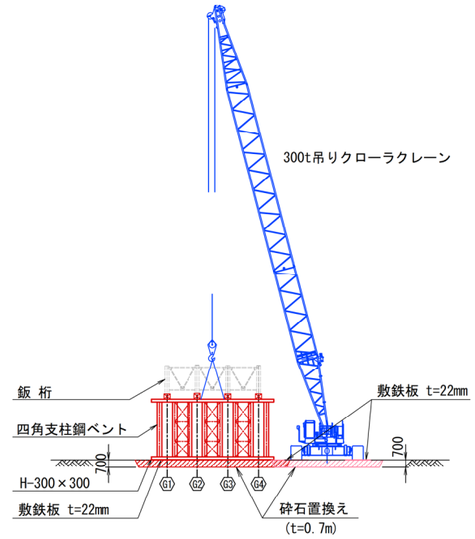
6. 床板工（地覆含）
   ・打設順序：
   ①支間中央⇒②端部側径間⇒③中間支点上

【その11】
7. 橋面工
   ・伸縮，排水，高欄，舗装
   ・添架物

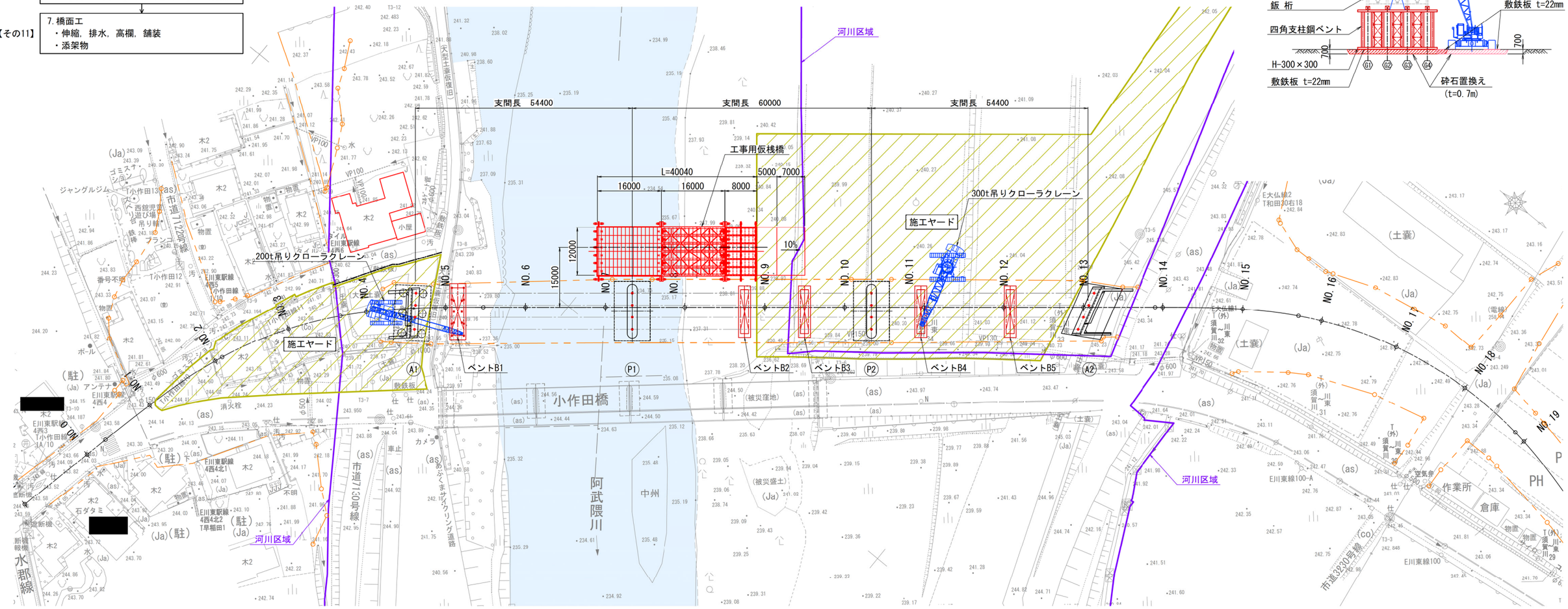
側 面 図 S=1:500



断 面 図 S=1:300
（ベントB5）



平 面 図 S=1:500



工事名			
図面名	施工手順図（その8）		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

施工手順図（その9）　※非出水期

■上部工施工手順

【その8】
1. 工事用仮桟橋設置
   ・上部工架設

2. 支承設置

3. 鋼ベント設置（5基）
   ・B1, B2（杭基礎）WJ併用油圧バイブロ
   ・B3, B4, B5（砕石置換基礎）

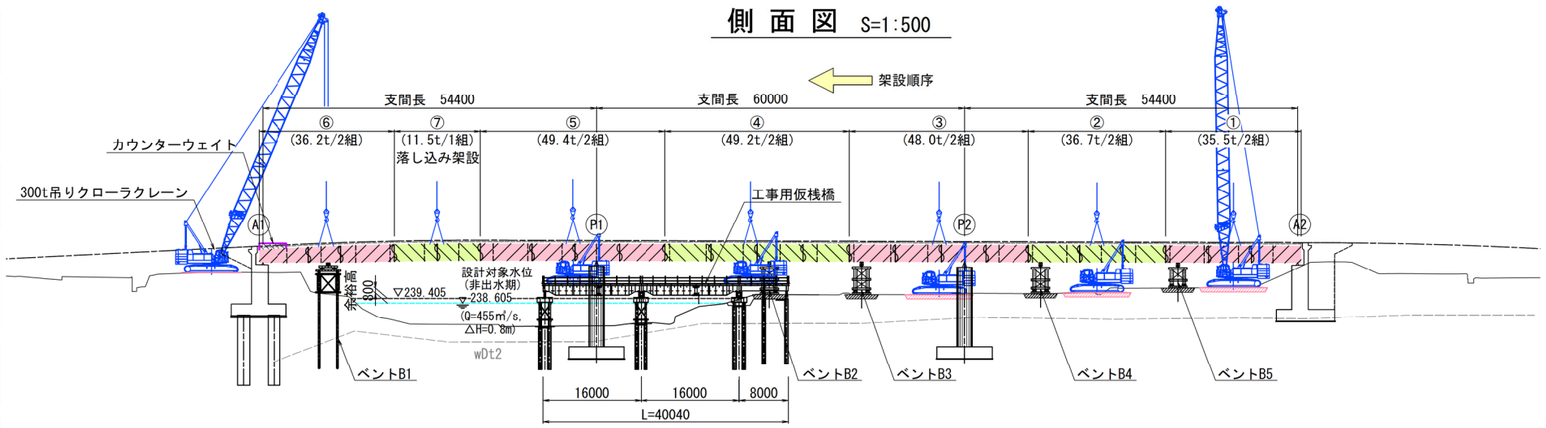
【その9】
4. 桁架設，検査路架設
   ・桁地組ヤードは高水敷または桟橋上
   ・A2側より，1主桁づつ順次架設
   （300tクローラークレーン）

【その10】
5. 工事用仮桟橋等撤去
   ・鋼ベント撤去（5基）
   ・桟橋撤去

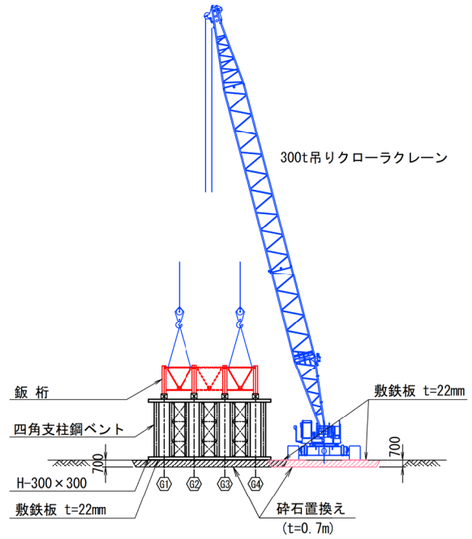
6. 床板工（地覆含）
   ・打設順序：
   ①支間中央⇒②端部側径間⇒③中間支点上

【その11】
7. 橋面工
   ・伸縮，排水，高欄，舗装
   ・添架物

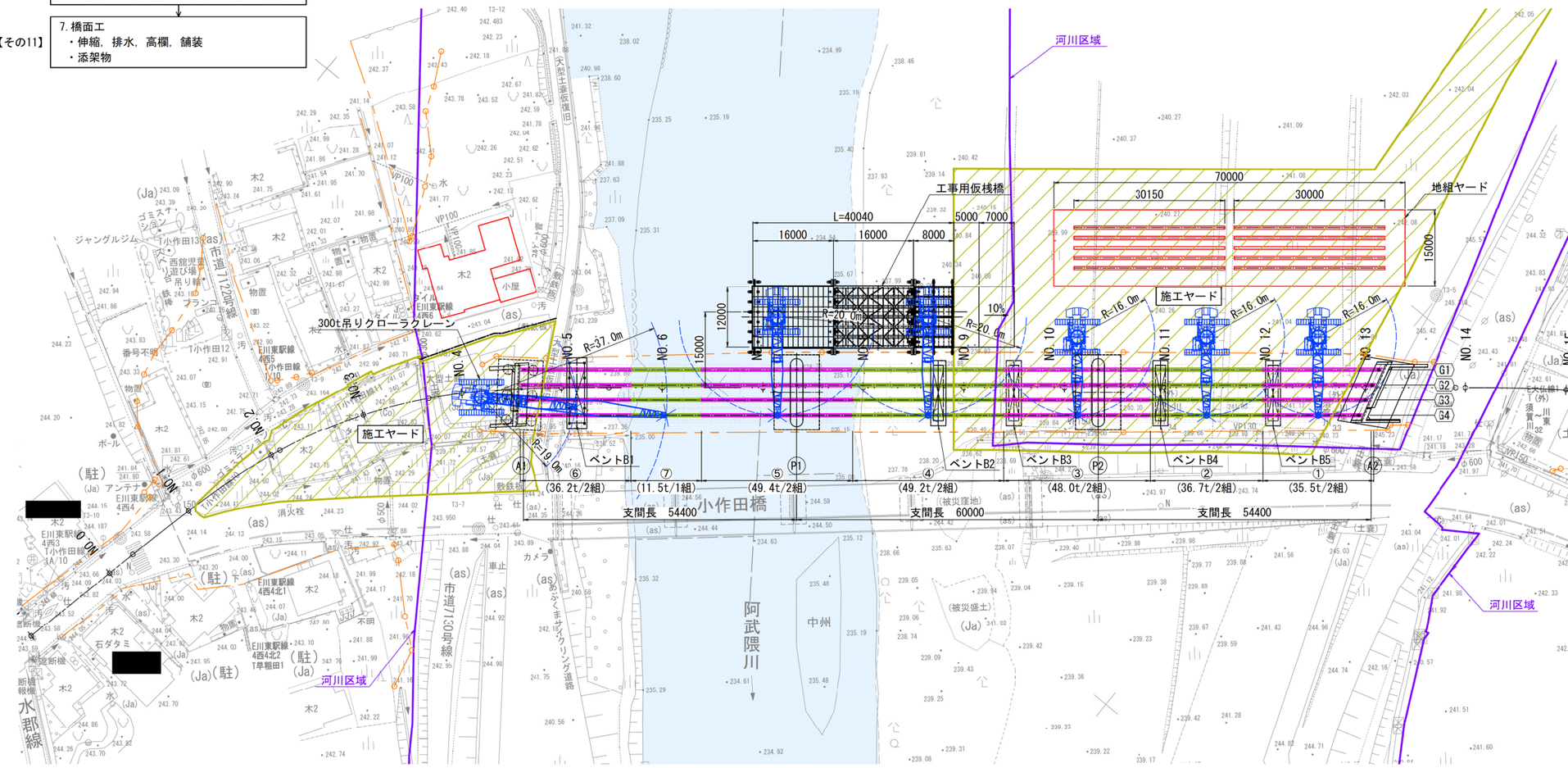
側面図 S=1:500



断面図 S=1:300



平面図 S=1:500



300tクローラクレーン定格総荷重表

■ ヘビイデューティーブーム　　単位：t

ブーム長さ(m) / 作業半径(m)	30	36	42
14	87.9	87.9	87.9
16	73.0	73.0	72.9
18	61.6	61.6	61.5
20	52.5	52.5	52.5
22	45.0	45.0	45.0
24	41.4	41.0	40.6
26	36.7	36.6	36.1
28	32.2	32.2	32.4
30		29.8	29.2
34			24.0
38			20.4

工事名	
図面名	
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

施工手順図（その10-1）　※非出水期

■上部工施工手順

【その8】
1. 工事用仮桟橋設置
・上部工架設

2. 支承設置

3. 鋼ベント設置（5基）
・B1, B2,（杭基礎）WJ併用油圧バイブロ
・B3, B4, B5（砕石置換基礎）

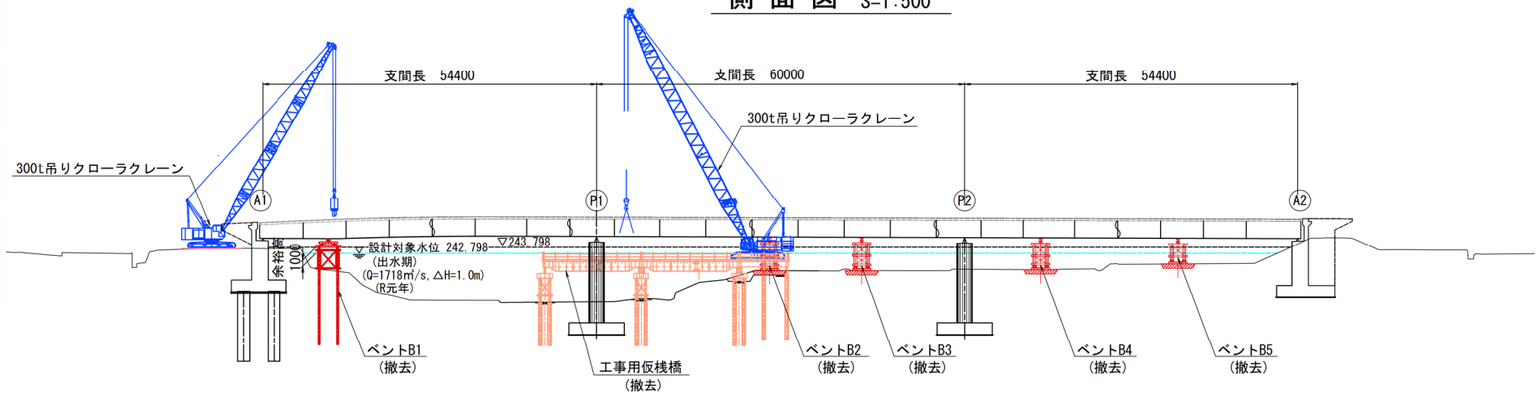
【その9】
4. 桁架設，検査路架設
・桁地組ヤードは高水敷または桟橋上
・A2側より，1主桁づつ順次架設
（300tクローラークレーン）

【その10-1】
5. 工事用仮桟橋等撤去
・鋼ベント撤去（5基）
・桟橋撤去

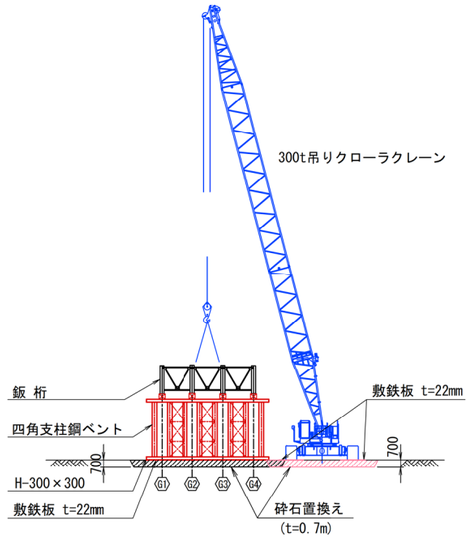
【その10-2】
6. 床板工（地覆含）
・打設順序：
①支間中央⇒②端部側径間⇒③中間支点上

【その11】
7. 橋面工
・伸縮，排水，高欄，舗装
・添架物

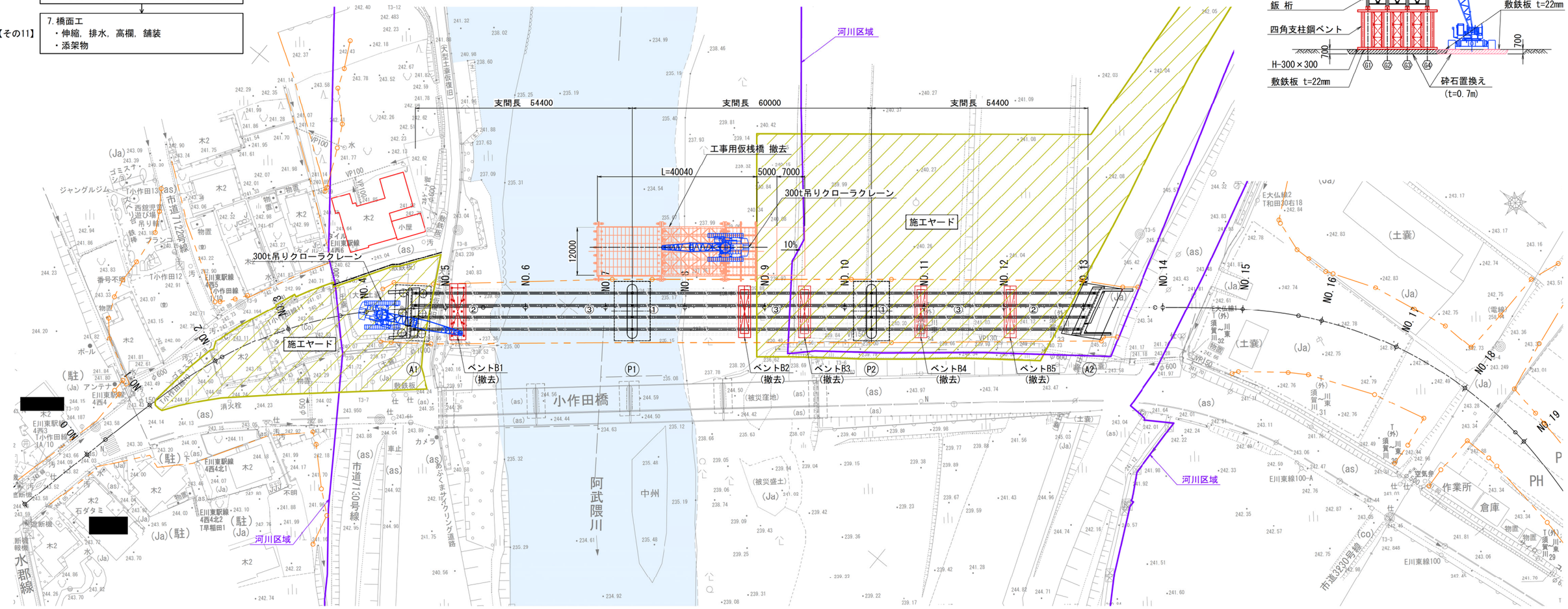
側面図 S=1:500



断面図 S=1:300



平面図 S=1:500



工事名			
図面名	施工手順図（その10-1）		
作成年月日	令和 4 年 3 月　日		
縮尺	図　示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

施工手順図（その10-2）　※出水期

■上部工施工手順

【その8】
1. 工事用仮桟橋設置
・上部工架設

2. 支承設置

3. 鋼ベント設置（5基）
・B1, B2,（杭基礎）WJ併用油圧バイブロ
・B3, B4, B5（砕石置換基礎）

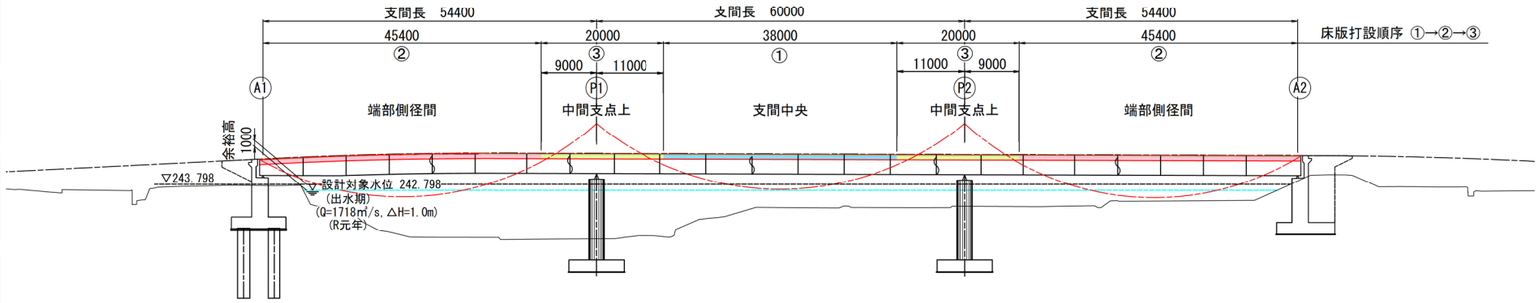
【その9】
4. 桁架設，検査路架設
・桁地組ヤードは高水敷または桟橋上
・A2側より，1主桁づつ順次架設
（300tクローラークレーン）

【その10-1】
5. 工事用仮桟橋等撤去
・鋼ベント撤去（5基）
・桟橋撤去

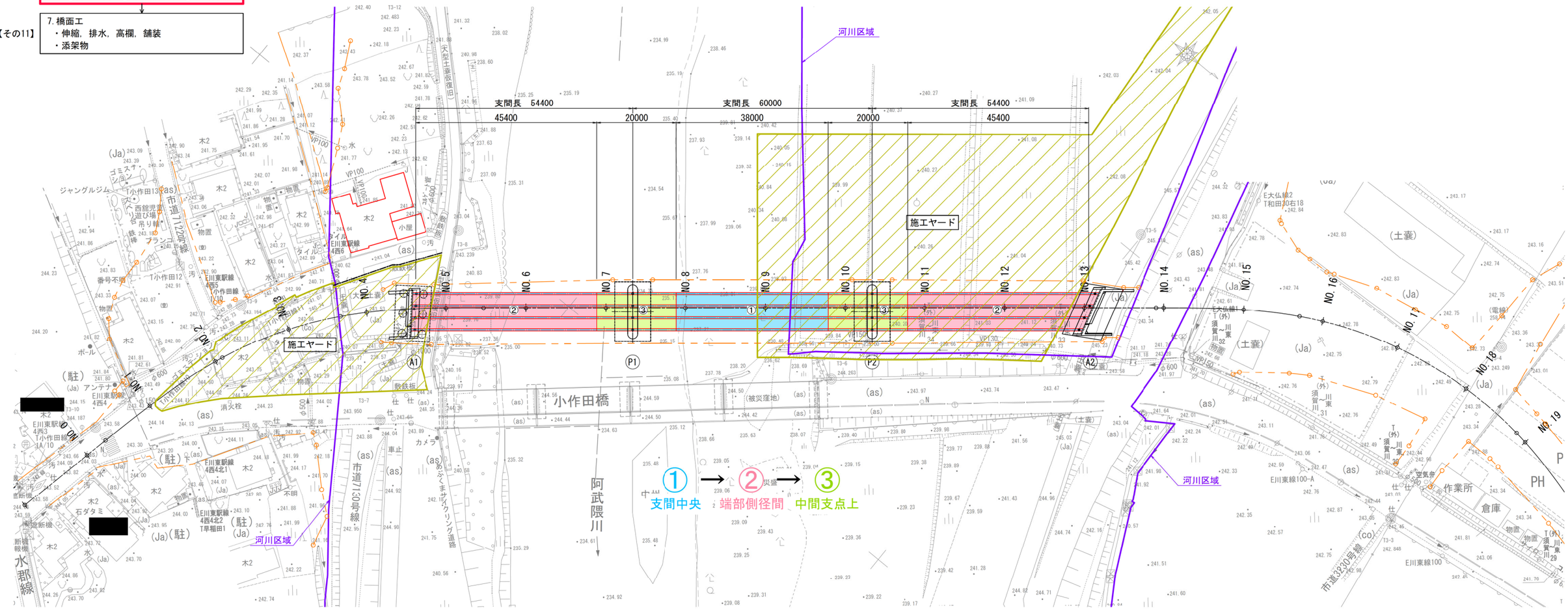
【その10-2】
6. 床板工（地覆含）
・打設順序：
①支間中央⇒②端部側径間⇒③中間支点上

【その11】
7. 橋面工
・伸縮，排水，高欄，舗装
・添架物

側 面 図　S=1:500



平 面 図　S=1:500



工事名	
図面名	施工手順図（その10-2）
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

施工手順図（その11） ※出水期

■上部工施工手順

【その8】
1. 工事用仮桟橋設置
   ・上部工架設

2. 支承設置

3. 鋼ベント設置（5基）
   ・B1, B2,（杭基礎）WJ併用油圧バイブロ
   ・B3, B4, B5（砕石置換基礎）

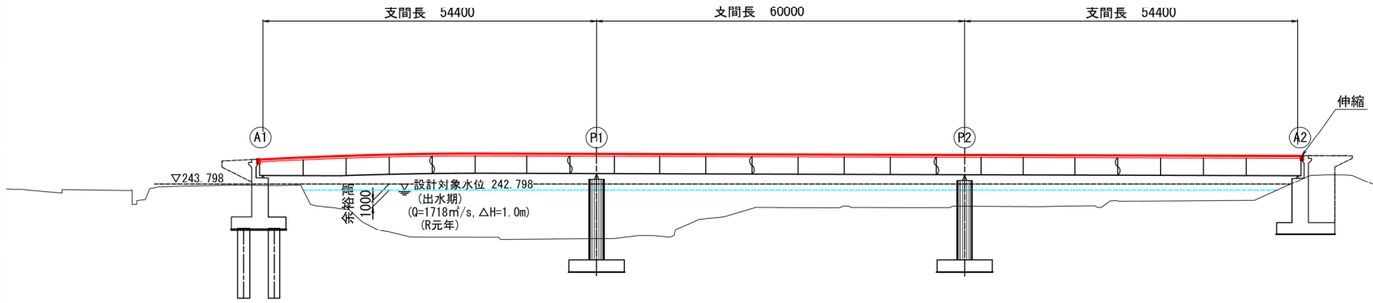
【その9】
4. 桁架設，検査路架設
   ・桁地組ヤードは高水敷または桟橋上
   ・A2側より，1主桁づつ順次架設
   （300tクローラークレーン）

【その10】
5. 工事用仮桟橋等撤去
   ・鋼ベント撤去（5基）
   ・桟橋撤去

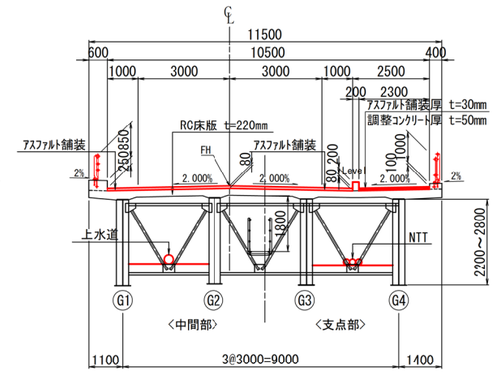
6. 床板工（地覆含）
   ・打設順序：
   ①支間中央⇒②端部側径間⇒③中間支点上

【その11】
7. 橋面工
   ・伸縮，排水，高欄，舗装
   ・添架物

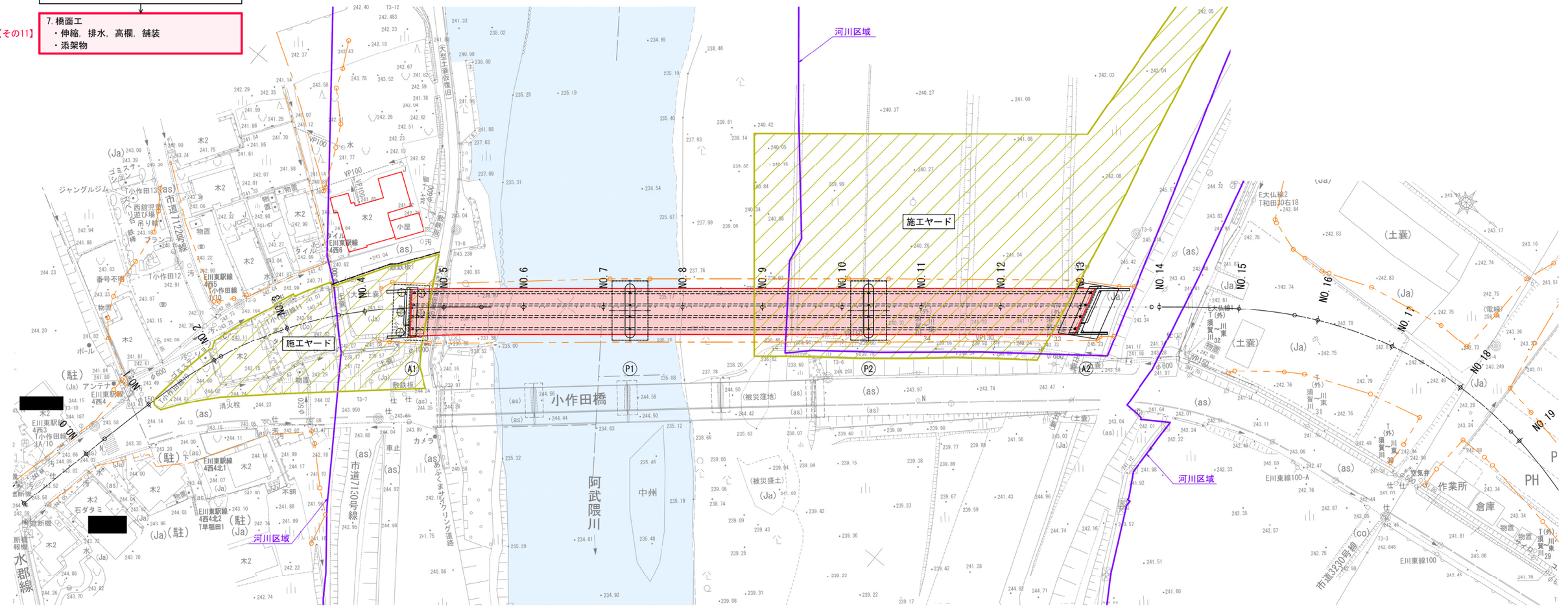
側 面 図 S=1:500



断 面 図 S=1:100



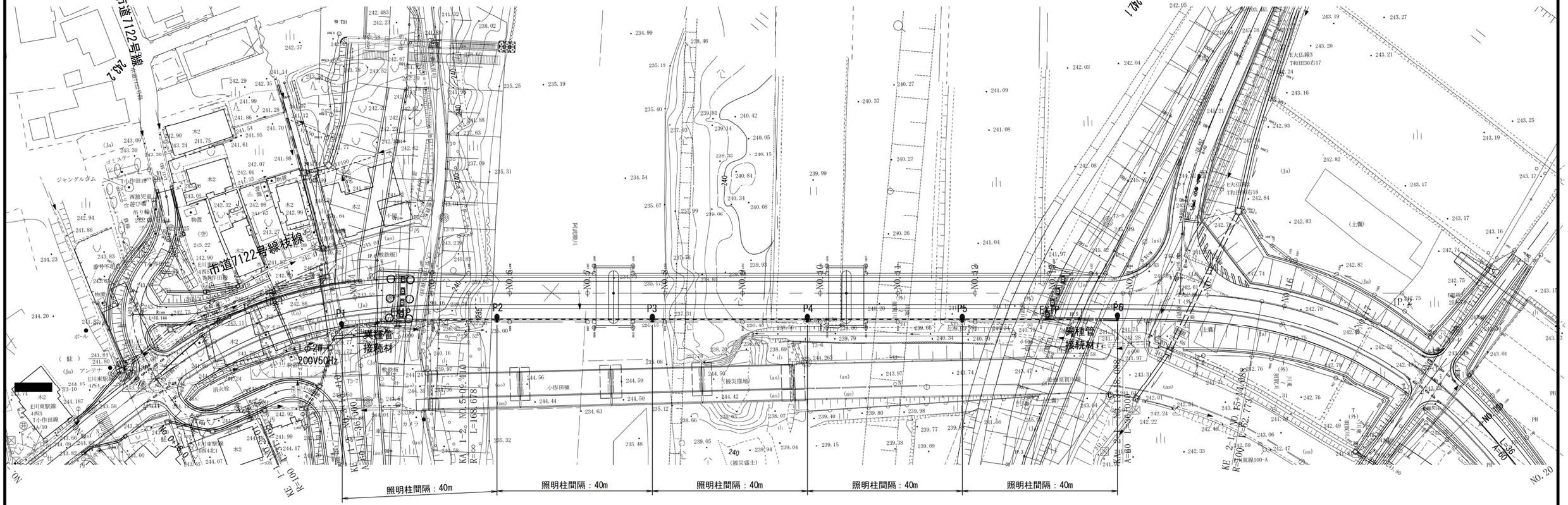
平 面 図 S=1:500



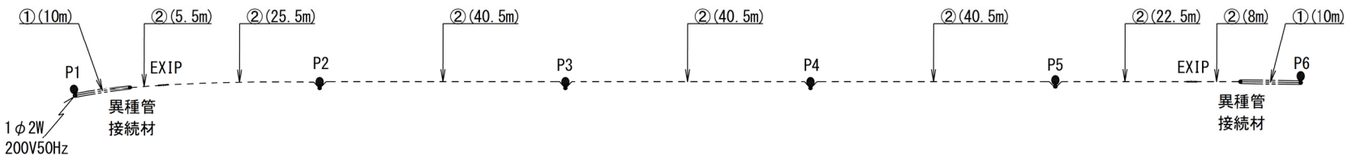
工事名	
図面名	施工手順図（その11）
作成年月日	令和 4 年 3 月 日
縮尺	図 示 ／ 図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

照明配置・配管配線図（参考図）

S=1:500



配 線 系 統 図



凡　例

記　号	記　号	仕　様	数　量
P1	照　明　柱	E77283SAJ9/K07L(KCE070-3),直線形ﾃｰﾊﾟｰﾎﾟｰﾙ H=10m（溶融亜鉛メッキ）,自動点滅器付,丸ベース（土工部設置）※架空引込	1 基
P2~5	照　明　柱	E77283SAJ9/K07L(KCE070-3),直線形ﾃｰﾊﾟｰﾎﾟｰﾙ H=10m（溶融亜鉛メッキ）,角ベース（橋梁部設置）	4 基
P6	照　明　柱	E77283SAJ9/K07L(KCE070-3),直線形ﾃｰﾊﾟｰﾎﾟｰﾙ H=10m（溶融亜鉛メッキ）,丸ベース（土工部設置）	1 個
EXIP	ｴｷｽﾊﾟﾝｼｮﾝｶｯﾌﾟﾘﾝｸﾞ	ベローズ式28用	2 個
●	異種管接続材		2 個
═══	地中埋設配管	波付硬質合成樹脂管（FEP30）（道路横断部:GL-800以上）	
- - - - - -	地覆埋設配管	耐衝撃性硬質ビニル電線管（HIVE管28）（コンクリート地覆内配管）	

配管配線表

No.	配 線 名 称	配管サイズ
①	CV3.5ｽｹ －3C	FEP 30
②	CV3.5ｽｹ －3C	HIVE 28

ケーブル余長　　配管余長

照明柱立上：1.5m　照明柱立上：0.5m

注　記

1．配線配管記号付随の（　）内寸法は、区間長を示す。

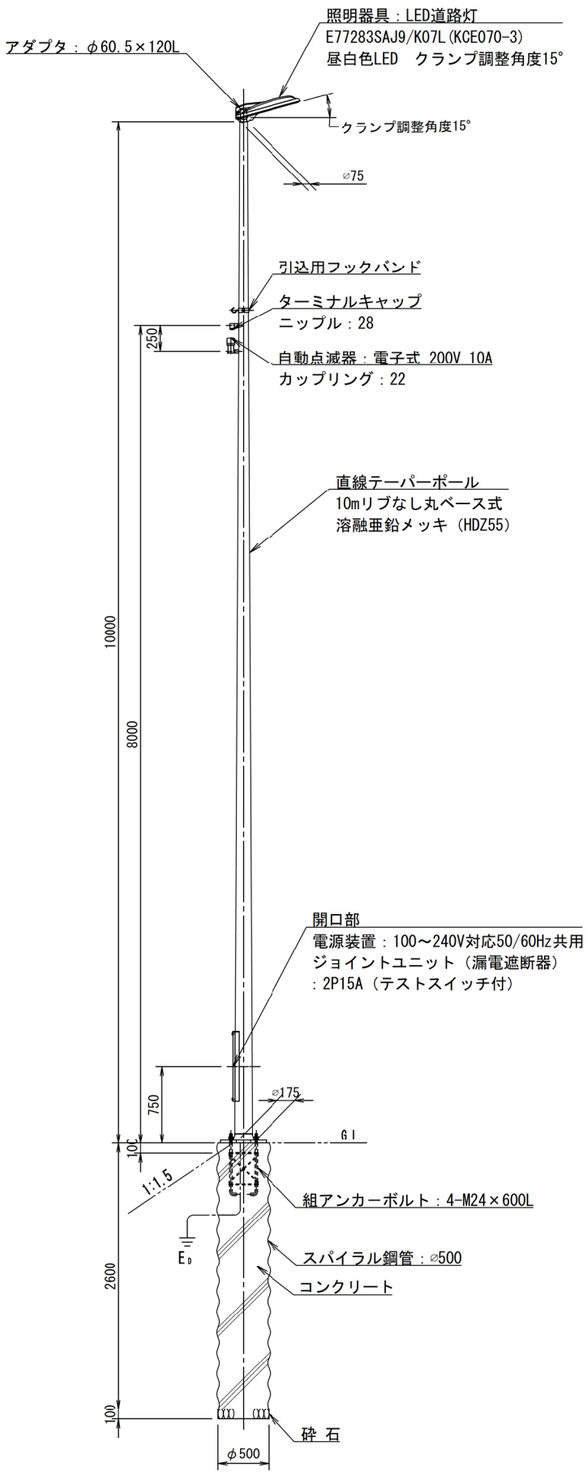
2．接地は、CVケーブルの３芯中１芯を接地線とし、P1付近にて一括D種接地工事を施すものとする。

工事名	
図面名	照明配置・配管配線図（参考図）
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所

照明詳細図 その１（参考図）

照 明 柱 姿 図 S=1:30

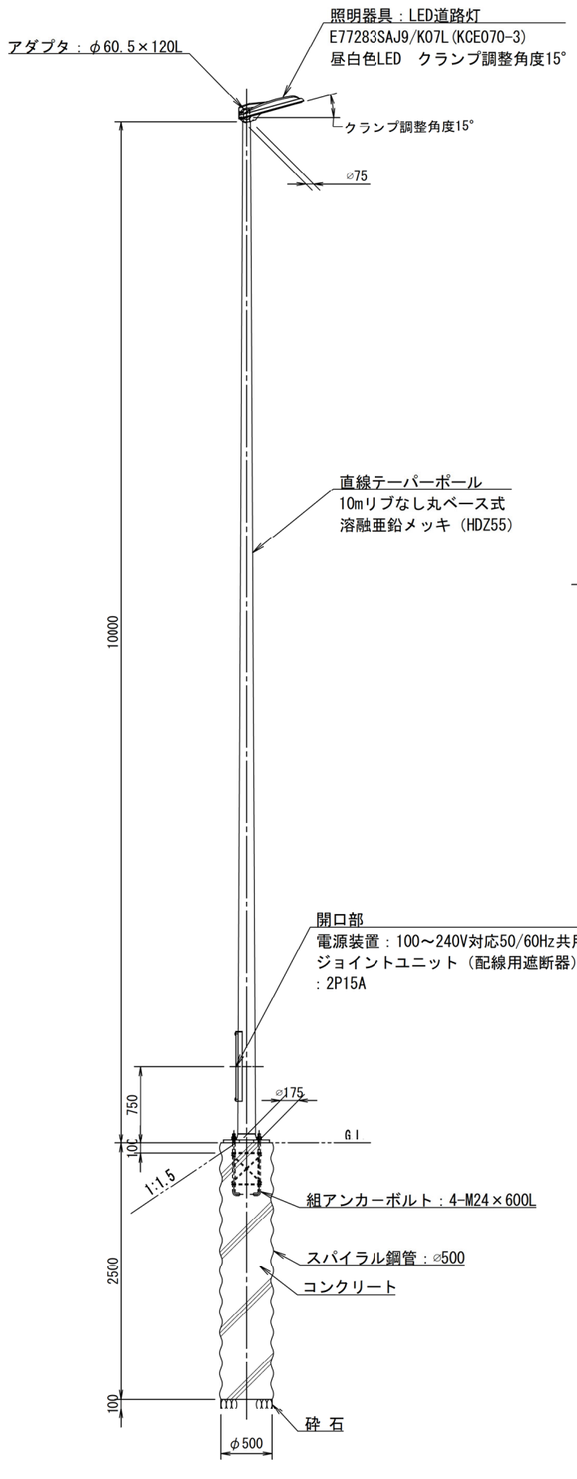
P1用（土工部引込受電用）



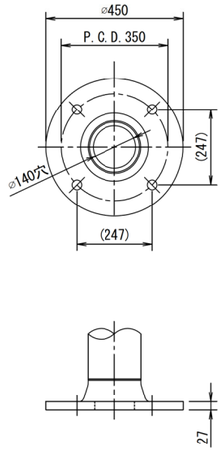
注記）接地はP1にて一括アースとする。

照 明 柱 姿 図 S=1:30

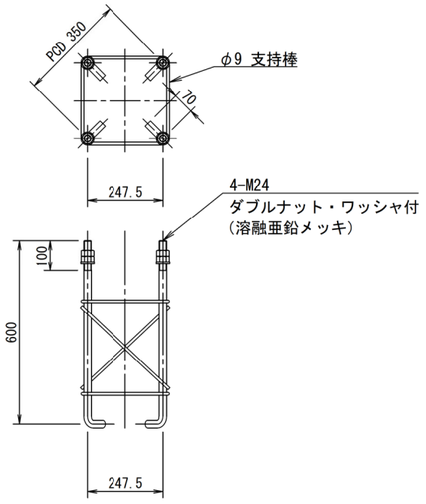
P6用（土工部用）



ベースプレート参考図 S=1:10



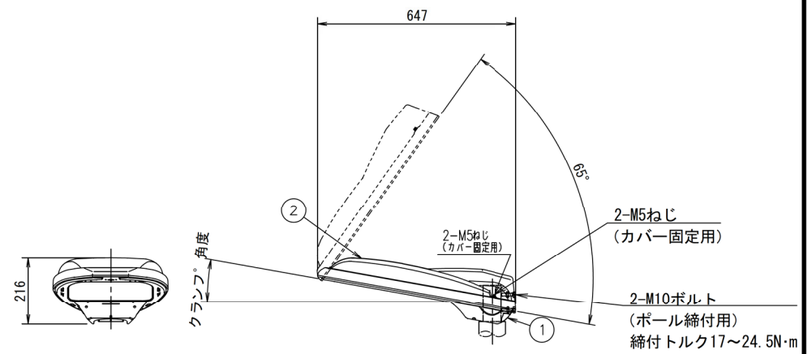
アンカーボルト参考図 S=1:10



注記）ネジ切り部は、溶融亜鉛メッキとする。

照明器具参考図 S=1:10

E77283SAJ9/K07L（KCE070-3）



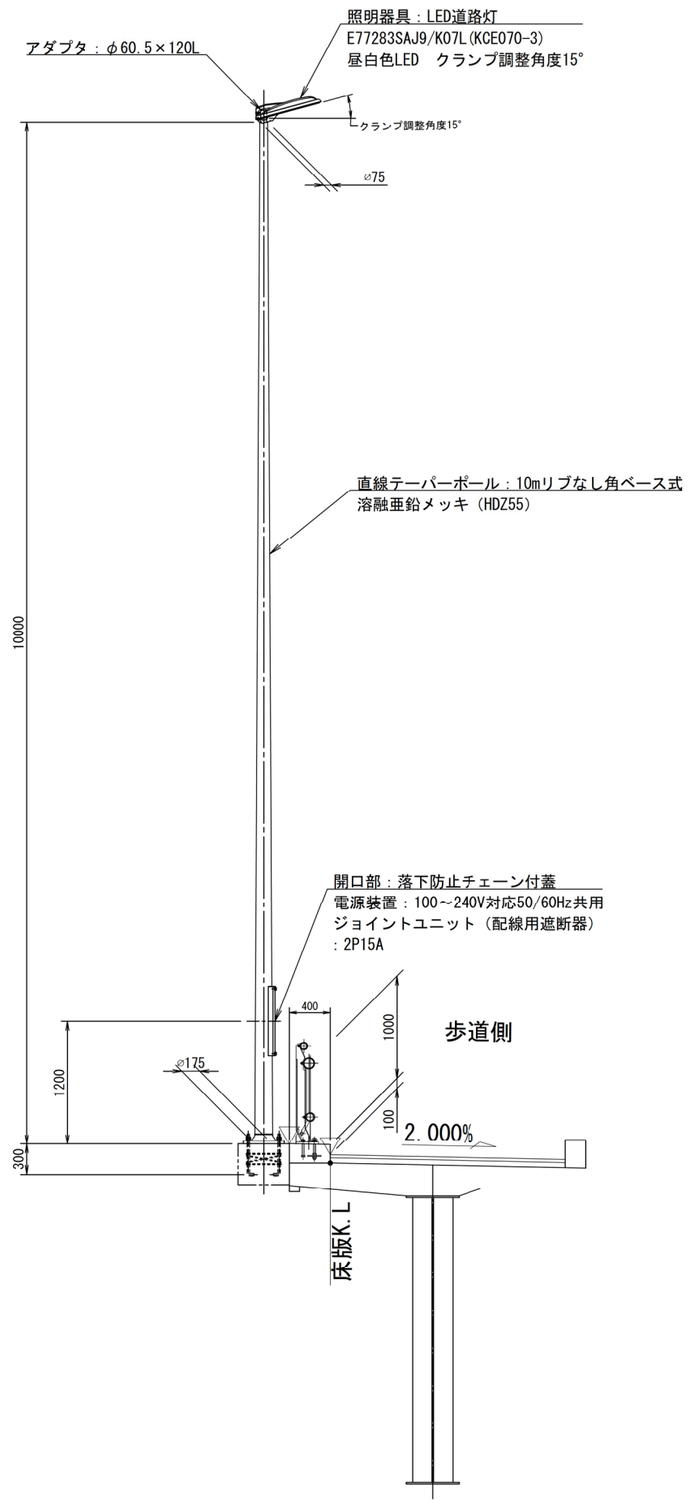
部番	部 品 名	材質・材厚	数	備 考
1	本体	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
2	カバー	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
3	クランプ	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
4	前面ガラス	強化ガラスt4	1	透明

工事名			
図面名	照明詳細図 その１（参考図）		
作成年月日	令和 4 年 3 月 日		
縮尺	図 示	図面番号	
会社名	東京コンサルタンツ株式会社		
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所		

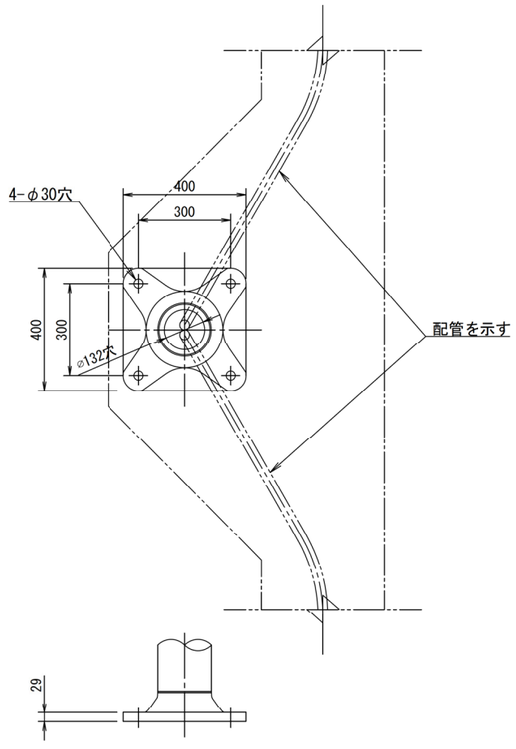
照明詳細図 その２（参考図）

照 明 柱 姿 図　S=1:30

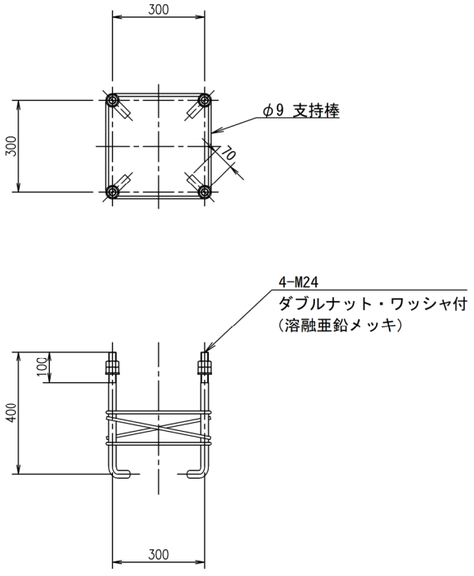
P2～5用（橋梁部用）



ベースプレート参考図　S=1:10



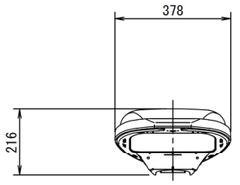
アンカーボルト参考図　S=1:10

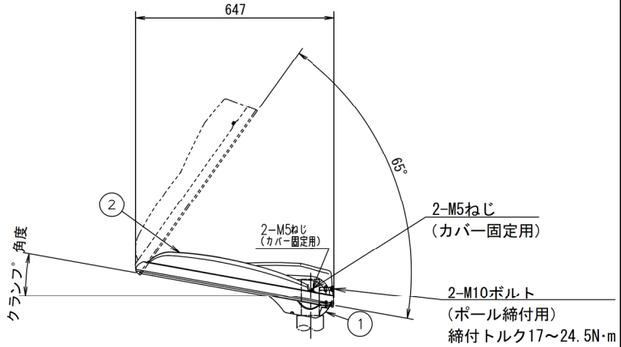


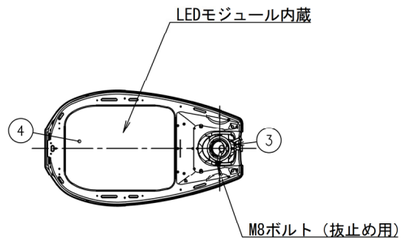
注記）ネジ切り部は、溶融亜鉛メッキとする。

照明器具参考図　S=1:10

E77283SAJ9/K07L (KCE070-3)







部番	部 品 名	材質・材厚	数	備　　考
1	本体	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
2	カバー	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
3	クランプ	アルミダイカスト	1	アクリル塗装
4	前面ガラス	強化ガラスt4	1	透明

工事名	
図面名	照明詳細図 その２（参考図）
作成年月日	令和 4 年 3 月　日
縮尺	図　示　　図面番号
会社名	東京コンサルタンツ株式会社
事業者名	東北地方整備局 福島河川国道事務所